

○加藤委員長 日程第五、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五七七號——紹介議員 紅露昭君

○加藤委員長 日程第六、氣仙沼、前谷地間未成線敷設ノ請願、文書表第五九〇號——紹介議員 山崎之助君

○加藤委員長 日程第七、納内、下蘆別間鐵道敷設ノ請願、請願文書表第五九八號——紹介議員 坂東幸太郎君

○加藤委員長 日程第八、大樹、浦河間鐵道敷設ノ請願、請願文書表第六〇一號——紹介議員 東條貞君

○加藤委員長 日程第九、赤河内村内鐵道建設工事ニ因ル減水ニ關スル請願、請願文書表第五四八號

○加藤委員長 日程第十、大樹、浦河間鐵道敷設ノ請願、請願文書表第六〇一號

○加藤委員長 日程第十一、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第十二、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第十三、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第十四、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第十五、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第十六、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第十七、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第十八、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第十九、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第二十、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第二十一、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第二十二、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第二十三、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第二十四、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第二十五、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

○加藤委員長 日程第二十六、德島臨海鐵道敷設ノ請願、文書表第五二二號

探採ニナツテ居リマスノデ、オ役所ノ方デモ十分御調査下サイマシテ、私共ハ本年度御改革下サルヤウニ伺ツテ居ルコトデアリマスガ、資料ノ關係上延ビタト云フコトヲ伺ツテ居リマシテ、成ベク早く一ツ改策ノ御着手ヲ願ヒタイ、ソレトモウツハ四國ノ中デハ德島驛ガ一番收入及ビ旅行客モ多イサウデゴザイマスノデ、其ノ邊モ御含ミノ上デ御採擇アラント御願ヒ致シマス

○阿曾沼政府委員 御請願ノ御趣旨ハ二ツアルト思ヒマス、一ツハ德島驛ノ本屋ヲ改築シテ奥レト云フコト、一ツハ德島驛ノ驛設備ヲ擴張シテ奥レ、斯ウ云フ二ツノ事柄ト御伺ヒ致シマシタガ、德島驛ノ本屋ノ改築ハ鐵道トシテモ必要ヲ認メテ居ルノデアリマシテ、唯豫算ノ關係ト、外ニ斯ウ云フ種類ノ仕事ガ澤山アルモノデスカラ、其ノ順位ノ關係トデマダ實現ノ運ビニ至ツテ居ナイ次第デアリマス、驛ノ設備ノ擴張ノ方モ其ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、唯アノ儘デ驛設備ヲ擴張スルト云フノデハ、德島驛ノ將來トシテドウカト思ヒマスノデ、ヤレバ大キクヤラウカト思ヒマシテ今尙ホ能ク研究中デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員 採擇ニ決シマス、是デ鐵道省所管ノ議事日程ハ終了致シマシタ

○加藤委員 次ハ厚生省所管ニ移リマス、政府委員ノ御都合ニ依リマシテ、日程第二ヨリ始メマス
日程第二、養老年金法制定ニ關スル請願

文書表第五四五號 紹介議員稲田直道君
○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ國家ハ官吏、軍人等ニ對シテ、ソレノ恩給其ノ他ノ優遇方法ヲ講ジテ居リマスガ、是等以外ノ者デ、一意専心老ニルマデ農工商其ノ他ノ業務ニ精勵シ、兵役、納稅ノ義務ヲ果シ、我が國運ノ進展ニ貢獻セル模範内地國民タル男子ニ對シテ、何等優遇方法ヲ講ゼラレナイコトハ洵ニ遺憾ナル、仍テ政府ハ是等一般國民ニ對シ、官吏、軍人等ニ賜ハル位階勲等ニ類似スル御恩賞ヲ廣ク拜受シ得ルノ方途ヲ開クト共ニ、是等ノ者ニ對シテ養老年金制度ノ實施方ニ付キ、配慮セラレタイト云フコトヲ要望スルノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○川村政府委員 國民ノ老後ニ於ケル生活不安ヲ除去致シマス爲メ、國民一般ヲ對象トスル養老年金制度ヲ設ケマシテ、全國民ガ安シク生活スルニ精勵シ得ルヤウニ致スコトハ、趣旨トシテ洵ニ結構ナルコトニ存ジマスガ、何分モ其ノ對象ノ種々キ者ガ複雑多岐ニ互リマシテ、且ツ種々事情異ニスルモノガアリマシテ、立法技術上慎重ニ研究ヲ必要ト致シマスシ、又財政上カラ見マシテモ國庫ノ巨額ノ補助ヲ必要ト致スト云フヤウナ事情モアリマシテ、國民各層ヲ網羅シテ養老年金制度ヲ俄カニ實現スルコトハ至難ノコトデアリト存ズルノデアリマス、隨テ政府ト致シマシテハ必要性ノ緊急ナ方而カラ漸次此ノ種ノ制度ヲ設ケルト云フ方針ヲ以テマシテ、先年先ツ海上労働者ニ對シテ船員保險法ヲ設ケマシテ、海運國策ノ遂行ニ寄與致シマシタ、更ニ又今同時局下生産力擴充ノ緊要性ニ鑑ミマシテ、工場、

○稻田直道君 紹介者ガ選クナリマシテ大變失禮致シマシタ、政府委員ノ御答辯ヲ全部聽カズニシマツタノデアリマスガ、政府ハ要スルニ御賛成デアツテ、而シテ近キ將來ニ於テ之ヲ實現スルコト云フ御意思ガアルノデスカ
○川村政府委員 請願ノ御趣旨ニ對シテハ全ク同意デアリマス、只今中上デマシタヤウニ非常ニ對象ガ複雑多岐ニ互ツテ居リマス關係ヤ、國家財政ノ都合モアリマシテ、緊要ナ方而カラ漸次實現ヲ圖ツテ行クト云フ方針ノ下ニ、今議會ニ於キマシテモ勞働者年金保險法ヲ御協賛ヲ得ヤウナ次第デアリマスノデ、引續キ其ノ他ニ對シテモ出來得ル限リ此ノ種ノ制度ヲ設ケタイト考ヘテ、目下準備ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○稻田直道君 費用ガ澤山掛ルト云フ意味デスカ、養老年金ト云フノデナシニ、此ノ提出ノ理由ニモ書イデアリマスヤウニ、他ノ官吏軍人等ガ位階勲等ナドヲ貰フガ如ク、一般ノ農民、商工業者ノ中ノ優良國民ニ對シテ、何等カノ方法ヲ以テ位階勲等ニ代ルガ如キ上ノ御恩典ニ浴シタイト云フ意味モアルノデスカ、ソレハ如何ニ御考ヘ

○川村政府委員 其ノ點モ御趣旨ハ洵ニ御尤モト考ヘマスルガ、全國民ニ對スル様ナ制度ヲ實現スルコトニ付テハ多ク研究ヲ要スル問題ガアルト存ジマスノデ、政府トシテ十分ニ研究ヲ續ケテ行ク積リデゴザイマス、左様御承知願ヒマス
○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第一、醫藥分業ノ理想一掃ニ關スル請願、文書表第三四五號 紹介議員土屋清三郎君
○坂東委員 是ハモウ審議ハ大體此ノ前済ンデ居リマシテ、唯土屋君ノ希望デ文部大臣ノ出席ヲ要求シテアツタノデアリマスガ、本日ハ文部大臣ハ見エテ居リマセヌ、併シ厚生省關係トシテハ大體済ンデ居リマス、其ノ時分ノ動議ハ政府參考送付ト云フコトニナツテ居リマス、文部大臣ノ出席モアリマセヌカラ、ヤハリ其ノ時ノ動議ノ通り、政府參考送付ヲ要致シマス
○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員 參考送付ニ決シマス

○加藤委員 日程第三ハ都合ニ依リマシテ暫時後廻シニ致シマス
○加藤委員 次ハ拓務省所管ニ移リマス、日程第一、南方政策實現促進ニ關スル請願、文書表第五八〇號 紹介議員石坂豐一君

○石坂豐一君 一寸趣旨ヲ申上ゲマス、申上ゲルマデモナク、我が國ノ大東亞共榮圈ノ確立ニ付キマシテハ、南方進出ト云フコトハ免ルベカラザル進路デアルト思ヒマス、之ニ付キマシテ、南方ニ居リマス我が國第一線ノ同胞ニ於キマシテハ、我が國ノ施設萬端ニ付テ、非常ニ關心ヲ持ツテ居リマシテ、今尙私ト安藤正純君ノ二人ニ對シテ紹介ヲ依頼シテ來タ次第デアリマス、本請願ノ趣旨ハ吾々トシテハ今マデノ議會ヲ通ジテ最モ力ヲ入レ、色々國民モ亦之ニ關スル國政ノ運営ニ付テ大イニ期待ヲ持ツテ居ルト存ズルノデアリマス、政府ハ無論此ノ點ニ付テ遺憾ナキ施設ヲシテ居ラレトコトトハ考ヘマスケレドモ、唯國內ニ於テハ議論ノミガ喧シクテ、現地ニ於テハソレ程映リガ宜クナイノデアリマス、仍テドウゾ此ノ請願ヲ御通過下サイマシテ、一層南方進出ノ強化ヲ圖ルコトニ努力アリタイト思ヒマシテ、之ヲ紹介シタノデアリマス、ドウゾ御採擇アラント御願ヒ致シマス、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス
○森部政府委員 一寸速記ヲ中止シテ戴キマス
〔速記中止〕
○加藤委員 速記ヲ中止致シマス
○永田委員 只今政府委員カラ御懇篤ニ御説明ヲ戴キマシテ満足スル次第デアリマスガ、茲ニ一二不可解ナ點ガアリマスカラ御尋ネ致シマス、私ハ特ニ南方政策ノ實現ノ上ニ於テ、何ト云ツテモ此ノ實現ニハ交通政策ヲ第一ニ進メナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ無論佛印ト云ヒ、蘭印ト云ヒ、我が國トハ色々船ニ依ツテ交通ハ行

ハレテ居リマスケレドモ、私ハソレヨリモ第一ニ急ガナケレバナラヌコトハ航空路デアルト思フノデアリマス、是ニハ今ノ説明ニモ一寸承リマシタガ、ボルトガル領ノ「チモール」ニ今航空路ノ方デ試験飛行ヲマシテ居ル、是ハ固ヨリ結構ナルコトデアリマスケレドモ、隨レ物ニ手ヲ掛ケルヤウニボルトガル領ノ「アニア」云フ側マデ行クヤウナコトヲナサラヌデ、ナゼ堂々ト蘭印ニ向ツテ國際航空路ヲ開クト云フヤウニ政府ガ御交渉ヲナサラナイノカ、特ニ第一回ノ小林サンガオイデニナル際モ、又今回芳澤サンガオイデニナル際モ、日本ニハ民間ニモ陸海軍ニモ立派ナ飛行機ガアルノデアリマス、ソレヲ二週間モ掛ツテ船デヨチノ行ク、其ノ間ニ「アメリカ」邊ハ太平洋ヲ渡ツテ向フヘ行ツテシマフコト云フヤウナヘマヲ致シタノデアリマス、是ハ世界周知ノ物笑ヒナノデアリマス、今日ハ戰爭ニ於テ航空機ガ必要デアルト共ニ、通商、外交凡ユル方面ニ於テ此ノ航空ノ利用ト云フコトハ最モ重要デアツテ適切デアルト云フコトハ皆御承知ノコトト思フノデアリマス、私ハ何故ニ今少シク折衝關係ニ於テモ——北方ノ滿洲方面ノ航空路ハ随分注意モ拂ツテ、色々仕事モシテ充備シテ居ラレマスケレドモ、此ノ南方ニ限ツテ何時モ應レ物ニ手ヲ觸レラヤウナ優柔不斷ノ態度ニ出ラレルコトハ、甚タ此ノ南方政策ノ實現ノ上ニ於テ嘆カハシイコトト思フノデアリマス、聲バカリデナク實ヲ取ルト仰シヤルガ、實ヲ取ルナラバ何故ニ斯ウ云フ方面ニ向ツテ航空機ヲ御利用ナサラヌノカ、殊ニ皮肉ニモ「ボルトガル」領ノ「チモール」ニコソソリト行クト云フヤウナ卑劣ナ行動ヲ取ラヌデ、

正々堂々蘭印ニ向ツテ日本ノ民間航空路ヲ開ク、或ハ陸海軍ノ飛行機ガ護衛シテモ宜シク、其ノ位ノ意氣ヲ以テ御交渉ナサラヌノカ、此ノ點ノ御伺ヒ致シマス
○加藤委員 速記ヲ止メテ……
〔速記中止〕
○加藤委員 速記ヲ始めテ……
○坂東委員 本請願ハ採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員 採擇ニ決シマス——拓務省所管ハ是デ終リマシタ

○加藤委員 次ハ厚生省所管 議事日程第三、温泉法制定ニ關スル請願 紹介議員木暮武太夫君
○木暮武太夫君 私ハ只今議題トナリマシタ温泉法制定ニ關スル請願ノ趣旨ヲ説明致シタイト思ヒマス、日本ガ世界ニ冠絶シテ居ル温泉國デアルト云フコトハ周知ノ事實デアリマス、其ノ泉質ガ種々多ク多種多クデアリ、而モ其ノ温泉ノ數ガ非常ニ多ク、湧出量ハ豊富デアツテ、其ノ澤山ノ温泉場ト云フモノガ殆ド皆山紫水明ノ環境ニ恵マレマシテ、國民ノ保健保養ノ資源ニ適シテ居ルト云フコトハ、モウ書言フ要シナイノデアリマス、最近日本温泉協會ナドノ研究ノ結果ニ依リマシテ、温泉治療ノ效果ト云フモノガ明カニセラレマシテ、之ヲ利用スル人モ交通機關ノ整備ト共ニ逐年増加ノ傾向ヲ迪ツテ居ルノデアリマス、今議院ヲ明確ニ致シマス爲メ、統計ヲ此處デ引用スルコトヲ御許シテ願ヒタイノデアリマスガ、如何ニ澤山ノ温泉ガアルカト云フコトハ昭和十五

年八月ノ調査ニ依リマシテモ、温泉場ノ數ハ九百三十三デアリマス、内譯ヲシマスト温泉六百五十六箇所、冷泉ガ二百七十七箇所デアリマス、而シテ源泉ノ口數ニ致シマス、總數ハ六千三百五口、其ノ口カラ滾々トシテ源泉ガ湧出サレテ居ルノデアリマス、サウシテ最近ノ交通機關ノ整備ニ依リマシテ温泉利用者ガ激増致シマシタ、其人數ハ亦九百三十三モアル源泉場ノ中デ、著名ナル二百五十二箇所ノ源泉場ノ統計ヲ取ツテ見タダケナノデアリマシテ、他ノハ數ニ入レテアリマセヌガ、二百五十二箇所ニ付テ申シマス、昭和十四年度ニ於キマス所ノ温泉療養者ノ人員即チ宿泊延人員ガ二千六百六千五百五十八名ト云フ非常ニ大キナ數ニ上ツテ居ルヤウデアリマス、顯ミマスルノニ支那事變ヲ處理シテ、進んで東亞共榮圈ノ確立ヲシテ、東亞ノ安定勢力タル地位ヲ日本ガ確保シナガラ、共榮圈内ノ諸國ヲ指導シテ、政治的ニモ經濟的ニモ大發展ヲシテ行カウト云フノ一番大切ナルモノハ、申スマデモナク人的資源デアアルノデアリマス、之ヲ確保スルト云フコトハ非常ニ必要ナコトト云フ、是ニ内務省カラ厚生省ト云フモノガ分離獨立シタ所以モ亦是ニアルダラウト思フノデアリマス、一方人口ノ都市集中ト云フ傾向ハ最近益々シクナツテ參リマシテ、時局産業ガ都市ヲ中心トシテ發展致シマシタコトハ、人口ノ都市集中ノ傾向ニ拍車ヲ掛ケマシテ、不健康地デアアル所ノ都會地ニ密集セル國民大衆ノ保健状態ト云フモノガ將來憂フベキモノデアルト云フコトハ、何人モ否定スルコトガ出來ナイノデアリマス、一所ニ七百

ヤウナコトハ、非常ニ不健康ナコトデア
ノデアリマス、斯ウ云フ夥シイ都會人ハ、
病氣ニ罹ラナイマデモ病氣ニ冒サレ易イ状
態ニアルト云フコトヲ申上ゲテ差支ナイト
思フノデアリマシテ、所謂病氣ニナル前夜
ノ状態ニアルト云フテ宜イデアリマス、
人間ノ體ノ調整ガ失ハレテ居ル状態ニアル
ノデアリマシテ、此ノ「アン・パランス」ノ状態
ニアルモノヲ元ニ復スルト云フコトニハ、
ヤハリ天然ノ山ナ海ニ惠マレテ居ル所ノ日
本ノ地下資源デアル温泉ヲ利用スルト云フ
コトガ一番適當デアルコトハ、長イ間ノ人
間ノ歴史ニ依ツテ之ヲ證明シテ居ルノデア
リマシテ、斯ウ云フ不健康地ニ在ル「アン・
パランス」ノ健康状態ニアル都會人、工場
労働イテ居ル人、商店員ノ人達ガ一種ノ調
律運動トシテ我ガ國獨特ノ地下資源タル温
泉ヲ利用スルト云フコトガ、今日ノ温泉ノ
利用ノ新シイ正シイ方向デアアルト云ハナク
テハナラズト思フノデアリマス、更ニ進
デ既ニ病魔ニ冒サレテ居ル大勢ノ人達ノ爲
ニ温泉ガ奇蹟ノ効能ガアルト云フコト
ハ、是ハ昔カラ言傳ヘラレタコトデアリマ
シテ、現在ノ醫學ノ風ニ證明シテ居ル所デ
アルノデアリマス、今次事變ニ當リマシテ
不幸傷ツケル勇士、病マレタル所ノ勇士ノ
多數ノ人達ガ醫者ノ周到ナル指導注意ノ下
ニ、我ガ國獨特ノ地下資源デアル温泉ヲ利
用シテ、サウシテ更生サレテ居ルコト云フ數
ハ相當多數ニ上ツテ居ルダラウト思ヒマス、
之ニ付キマシテハ數字ヲ發表致スコトガナ
イノデアリマスケレドモ、相當多數ノ方々
ガ更生恢復サレテ此ノ道ニ温泉ガ大イニ
貢獻致シテ居ルコトハ世人ノ既ニ知ル所デ
アリマス、斯ウ云フ日本ニ特ニ多イ地下資源

シテハ確タル法律ノ保護ト云フモノガナイ
ノデアリマス、我ガ國ニ於キマシテハ唯水ニ
關スル法律、田用水ニ關スル法律ト云フヤ
ウナモノヲ温泉ノ法律ニ採用致シマシテ、
サウシテ慎重ヲ尊重シテヤルト云フコトダ
ケガ過去ニ於ケル判例ニ現ハレテ居ルノデ
アリマシテ、實際ニ是ガ法廷ノ問題ニナリマ
スト、殆ンド裁判官ハ是ガ取扱ニ困ツテ、
其ノ正邪ヲ決定スルコトガ出来ナイヤウナ
状態デアアルデアリマス、斯ウ云フ風ナ工
合ニ温泉ノ所有權ガ法的ニ確認サレコト
ガ洵ニ薄イノデアリマスケラ自然等ガ起
ル、所有權ガ明確ニ法律的ニ保護サレル途
ガアリマセスケラ、之ニ對シテ相當ノ資金
ヲ投ジテ之ヲ一般大衆ノ人的資源ニ爲
ノ保健資源トシテ利用スルト云フヤウナコ
トモ阻止サレト云フヤウナ處ガアルノデ
アリマス、或ハ又一方デハ國民ノ温泉ヲ愛
好スル所ノ風潮ニ乘ジマシテ、温泉ニアラ
ザルモノガ温泉ノ名ヲ僭稱シテ世人ヲ惑ハ
スト云フヤウナ幾多ノ弊害ガアリマスノデ、
此ノ大切ナル國家ノ地下資源デアアル温泉利
用ノ上ニ起リマスル幾多ノ弊害ヲ除クコト
ヲ意味カラ申シマシテモ、又大切ナル地下
資源ヲ積極的ニ保護指導スルコトニ依ツテ
事變下一番必要ナル人的資源ノ涵養向上ト
云フコトニ役立タセルト云フ意味カラ申シ
マシテモ、是ハドウシテモ温泉法ト云フデ
ノヲ制定シテ戴クコト云フコトガ一番必要
アルト思フノデアリマス、曩ニ本院ニ於キ
マシテハ或ハ請願ニ依リ、或ハ豫算委員會分
科會ノ質問ニ依リ、此ノ温泉法ヲ速ニ制定
スベシト云フ議論ガ起ツタノデアリマスガ、
今日マデ其ノ事ナキコトハ洵ニ世界無比ノ
温泉國デアアル日本トシテ遺憾ノ至リデア

ト考ヘマスノデ、速ニ温泉法ヲ制定サレ
コトヲ希望スル者デアリマス、以上ヲ以テ
マシテ温泉法制定ノ請願ノ趣旨ヲ終リマス
○加藤政府委員 國民ノ保健衛生上カラ致
シマシテ、温泉ノ保護ナリ開發ナリヲ圖リ
マスコトノ肝要ナ點ニ付キマシテハ全ク同
感デアアルノデゴザイマシテ、御話モゴザイ
マシタガ、從來動モ致シマス、此ノ温泉
ノ掘鑿ナリ或ハ利用ナリニ關聯致シマシテ、
各地ニ紛議ヲ醸スヤウナコトノアリマスノ
ハ洵ニ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、
隨ヒマシテ政府ニ於キマシテモ、豫テカラ
數年來之ニ關聯致シマシテ色々調査研究ヲ
致シテ居ルノデアリマスガ、只今紹介議
員モ御話ノゴザイマシタヤウニ、此ノ温泉
ノ權利關係ト申シマスモノハ中々複雑デモ
アリ、難カシイ關係ガ多ク横タハツテ居ル
ノデゴザイマシテ、是等ノ點ニ付キマシテ、
目下鏡意研究ヲ進メテ居ルヤウナ状態デゴ
ザイマス、左様ニ御承知ヲ御願ヒ致シタイ
ト存ジマス

組合貯金、其ノ他命令ヲ以テ定ムル預金ノ
利子ハ、分類所得稅ヲ賦課セラレザルヲ以
テ、預金額ヲ同一ノ額内ノ者ニ課稅免除額
以內ニ分割シテ課稅ヲ免レントスル者アリ、
仍テ同一ノ額内ニ於ケル家族名義ノ貯金
ハ、之ヲ戶主ノ貯金ト看做シ、其ノ合計額
ニ依リ課稅シ、以テ課稅ヲ防止スルノ要ア
リ、又現行市稅ハ戶數割ニ比シ有産者ニ
輕ク無産者ニ重キ、憾ミアルヲ以テ、速カ
ニ是ガ適切ナル改正ヲ講ゼラレタコト云フ
請願デアリマス、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致
シマス

○松隈政府委員 産業組合貯金等ノ利子
ハ、從來非課稅トナツテ居ツタノデアリマ
スガ、昨年所得稅法ヲ改正致シマシテ、
新タニ課稅スルコトニ致シタノデアリマス、
而モ甲種ノ配當利子所得ト致シマシテ、源
泉課稅ニ屬スルモノデアリマスノデ、其
ノ徵收上ノ便宜等ヲ考慮致シマシテ、同
一人ガ同一店舗ニ對スル貯金等ヲ合算シテ、
元本三千圓ヲ超エルモノニ課稅スル方
針ヲ採ツタ次第デアリマシテ、妻子女子等ノ名
義ト致シマシタ場合ニ於テモ、是等ヲ合算
スルト云フ所マデハ致サナカツタ次第デア
リマス、併シ事情ニ應ジテ將來慎重考究ス
ルコトト致シタイト存ジテ居リマス

次ニ市民稅創設ノ趣旨ハ、之ニ依ツテ多
額ノ財源收入ヲ擧グルコトヲ其ノ主タル目
的トスルモノデアリナイノデアリマシテ、全
ク負擔分任ノ精神ヲ地方稅制ニ存置スルコ
トニアリノデアリマス、隨ヒマシテ市民稅
ノ負擔其ノモノダケヲ取上ゲテ見マス、
或ハ住民ノ負擔力ト完全ニ相合シナイト云
フヤウナコトガアリマスケレドモ、負擔ガ
均衡ヲ得テ居ルカドウカト云フコトハ、寧

○中央地方兩稅ヲ通ジテ考ヘルコトデアリ
マス、又一方カラ言フト荷モ負擔力ノアル
以上、總テノ住民ガ幾何ナリトモ負擔ヲ分
任致シマスコトハ、地方自治ノ精神涵養上
適當ト存ズルノデアリマス、併シナガラ租
稅原則トシテ負擔力ヲ無視スルト云フヤウ
ナコトガアツテハナリマセモノデ、是ガ爲
メ貧民ガ著シク不相應ノ課稅ヲ受ケテ負擔
ニ苦シムト云フヤウナコトガアリマスナラ
バ、將來監督ニ依ツテ是正シ得ルコトモ考
ヘラレマスルノデ、市町村民稅ニ關スル規
定ヲ改正致シマスコトハ其ノ必要ガナイカ
ト存ジテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 此ノ市民稅ノコトデ御尋ね申
上ゲマスガ、市民稅ノ賦課スル課稅物件ノ
調査ガ市町村デハ甚ダ粗漏デアリマス、現
ニ私ノ實見シマス町會デアリマスガ、半分
以上切符ヲ配付シタガ、餘リニ不公平デ町
内デビツクリシテ、ソレ等ヲ返シテヤリ直シ
ヲヤウツ例ガアリマス、市町村ガ扱フ規定
ニ付キマシテモ今少シ嚴重ニシマシテ、各
階級ノ負擔ガ均衡ヲ得ルヤウニ十分政府ノ
御調査研究ヲ願ヒタイ、尙ホ本請願ハ採擇
ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議ゴザイマセヌ
カ

○加藤委員 採擇ニ決シマス、大藏省所
管ノ議事日程ハ是デ終了致シマシタ

○加藤委員 次ハ農林省所管ニ移リマス
議事日程第一、味噌溜溜原料確保ニ關スル
請願、文書表第五三七號——紹介議員樋口
善右衛門君

○服部英明君 私人紹介者デアリマセヌ

ガ、此ノ際委員會ノ御許シヲ願ツテ、本請
願ノ陳述ヲ致シタイト思ヒマス、請願ノ趣
旨ハ戰時國民生活ノ安定ニハ必需食品供
給ノ確保ヲ要スルコトヲ言フ俟タナイノデア
リマス、然ルニ昨年以來味噌溜溜、醬油ノ如ク
日常生活ニ絕對缺タベカラザル物資ノ供給
難ニ是ガ主要原料タル大豆ノ輸入甚シク圓
滑ヲ缺キ、爲ニ配給統制モ實效ニ伴ヒマ
セヌ、隨テ業界ハ未曾有ノ原料難ニ直面致
シテ居リマス、此ノ儘ニシテ推移セシカ、
遂ニハ社會人心ノ不安ヲ惹起スル虞ナシト
致サナイノデアリマス、仍テ政府ハ速ニ原
料確保ノ方策ヲ樹立シ、味噌溜溜必需量生
産ノ方途ヲ講ゼラレタコトヲ言フノデゴザイマ
ス、此ノ際政府ノ御所見ヲ伺ヒマシテ、採
擇ヲ御願ヒ致シマス

○辻政府委員 味噌溜溜其ノ他一般ノ味噌並
ニ醬油等方國民生活必需品トシテ、日常生
活上必要缺タベカラザルモノデアアルコト、
隨ヒマシテ其ノ生産ノ確保並ニ配給ノ圓滑
ヲ期スル必要ノ極メテ重大デアリマスコト
ニ付キマシテハ申スマデモナイ所デア
ザイマス、政府ト致シマシテ味噌、醬油ノ
生産用資材、米、鹽、大豆ノ確保ニ付
キマシテハ、昨年以來種種々苦心ヲ重ね
テ參ツテ居ル所デアリマスガ、大體本年
度ノ見通シト致シマシテモ、當初一定
ノ計畫ヲ立テテ居リマスルガ、御承知ノ通
リ滿洲カラ入リマスル大豆、是モ當初ノ豫
想通りノ數量ノ確保ニ付テ相當ノ困難ガ豫
想セラレ、又朝鮮カラ入ツテ參リマスル大
豆、是モ朝鮮ニ於ケル食糧事情ノ關係カラ
致シマシテ多ク期待出来ナイ、一方内地
ニ於キマス大豆ノ生産狀況亦相當窮乏ナ
事情ニアリ、殊ニ内地ニ於ケル主要産地デ

配給ノ關係ニ付キマシテハ、農林省內資材部所管致シテ居リマスル關係上、便宜適當ナ機會ニ資材部長カラ申上ゲタイト思ヒマス

○樋口委員 私ハ食料中最モ大切ナル味噌溜醬油ノ原料デアル大豆ノ確保ト云フコトニ付テハ、政府委員ガ御答辯ニナルニ付テハ、恐ラクハ其ノ關係部長デナクモ私ハ政府部内ニ於テ此ノ計畫ト云フモノハ當然重要視シテ御承知ニナツテ居ルコトト思ヒマスルガ、其ノ關係ガ違フト云フノ詳細ハ分ラズト云ハレコトハ、御尤モデアリマセウケレドモ、重要ナル食料デアリナガラ、サウ云フコトカラ見ルト、如何ニモ私ハ今日マデノ配給ト云フモノハ政府ハ其ノ原料ヲ確保シテ居ラズト云フコトヲ私ハ思フノデゴザイマス、何トナレバ昨年ノ配給ト云フモノハ愛知縣ヲ中心ト致シマスル所ノ味噌溜醬油ニ對スル配給ハ、昨年一月カラ十一月マデノ平均ト云フモノガ二割四分デゴザイマス、現在又此ノ十六年度ニ至リマシテモ全ク其ノ配給ノ状態ガ非常ナ少イモノデ、假ニ百發位要ルト云フモノニ對シマシテ、僅カニ七發カ八發ト云フ問題ニナラヌ配給ノ現狀デゴザイマス、御承知ノ如ク、味噌溜醬油ハ一年乃至二年ヲ經テケレバ出來セヌモノデアツテ、是ガ昨年以來十六年度ニ於テモ原料ヲ確保セズ、漫然トシテ過キ去ツテ行キマスルナラバ、來年ノ今頃ニ至リマシテ米麥以上ニ此ノ味噌溜醬油ノ缺乏ノ爲ニ國民ノ不安ヲ買フコト甚大ナルモノダト思フノデゴザイマス、仍テ私共ハ政府ガ確保致シテ居ルト云フコトガ初メカラアルナラバ、當然今頃ソシナ二割三

割ト云フヤウナ配給ヲシテ居ル皆ハナイト思フノデアリマス、來年ノ今頃ニナツテカラ外國カ輸入スルコトモ出來セヌカ、尙ホ我が國民トシテ從來ノ國民ノ榮養カラ行キマシテモ、嗜好カラ行キマシテモ、經濟カラ行キマシテモ、一般國民ノ一汁一菜ハ最低限度ノモノデアリマシテ、尙且ツ是ガ米麥以上ニ時ニ必要ナルモノデアリマス、ソレヲ今日ニナツテ、九十何万トカラ入ツテ來テ居ルモノヲ、油ヲ造ルトカ、其ノ他ノ方ヘソレヲ分ケラレタニ依ツテサウ云フ少イ配給ニナツタト私ハ思ヒマス、勿論其ノ他ノ用途ニ於キマシテモ、國家今日ノ場合必要デアアルコトハ重々承知シテ居リマスガ、米麥ニ較ビテ味噌溜醬油ノ原料デアアル分ノ約四十万トシ、此ノ四十万トシト云フモノヲ先ニ押ヘテ置イテ、其ノ餘ヲ以テ他ニ配給サレルコトガ當然ダト存スルノデアリマス、然レニ何ゾヤ九十五万トシカラ入ツテ來テ居ルモノガ、配給サレタル數字ヲ明カニセラレラナラバ、私ハ驚クベキ少數ナモノダト思フ、尙又内地大豆ノ例ニ舉ゲテ居ラレマスガ、二十五万トシト云ハレマスケレドモ、只今御述ベニナリマシテ北海道ハ、北海道ダケヲ需給デ足りス程度デアアル、況ン内地ノ方ニ於キマスモノハ、内地生産サレタモノハ自由販賣ニナツテ居ルカラ統制外ニアル、之ヲ以テ醸造家ハ不足ヲ補ヘト云フ政府ノ趣旨デアリマスケレドモ、今日内地ノ豆ハ北海道ヲ除キマスレバ、青森、岩手、福島若クハ鹿児島、熊本ト云フヤウナ所ニ統計表カラ見レバ二万トシ以上ノ生産ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ是等ノ地方ハ多クハ醸造家ノ醬油味噌ヲ使ツテ居ラス所デ

アツテ、自家醸造ノ多イ所デアリマス、ノミナラズ豆ノ統計ハアリマスケレドモ、是モ實ニ不完全ナ統計デアアル、況ン其ノ他ノ各府縣ニ於キマシテハ、内地ノ産ト云フモノハ果シテ三成程三十何万トシデアアルカ言ヒマスケレドモ、ソレヲ農家一戸ニ當テマスレバ五升カ一斗ニ當ラスノデアリマス、自家醸造ニモ足ラス、其ノ他豆ハ馬ノ飼料ニモ致シマスシ、其ノ他ノ自家消費ノ用途ニ之ヲ使ツテ居リマシテ、今日ノ我が國ノ農家ハ斯様ナ原始的作物ヲ作ツテ居ラスノデアリマス、混保大豆若クハ朝鮮大豆、少クトモ北海道ノ大豆ヲ以テ計算ニ入レラレルナラバ宜イガ、コナ自家醸造ノ統計表ヲ基礎ニシテ、之ヲ以テ醸造家ノ原料ニセヨト云フコトハ、ソコニ原料ヲ確保ト云フ確乎タル政府ノ計畫ノナカクコトヲ私ハ遺憾ニ思フノデアリマス、適當ナ機會ニ資材部長カラ御答辯ガアルト云フ御話デゴザイマスガ、私ハ此ノ答辯ヲ聴カントスル者デハナイ、ドウカ明年度ニ至ツテ只今吾等ノ憂フルヤウナ結果ヲ來サスヤウニ政府ニ於テハ十分ナル原料ヲ確保スルコト、米麥ト同様ニ優先的ニ味噌溜醬油ノ原料ヲ配給ニ専念セラレンコトヲ希望致シマシテ政府ノ醬油原料確保ニ關スル參考ニ致シタイト思ヒマス

○西岡竹次郎君 只今議題ニナリマシタ長崎縣對馬ノ豆酸漁港ノ修築速成ニ關スル請願デアリマスガ、豆酸漁港ヲ修築シナケレバナラナイト云フコトニ付キマシテハ、農林當局ニ於カレマシテモ技師ヲ派遣ナサツク程デアリマシテ、御認メニナツテイラツシヤルコトグラウト思フノデアリマス、其ノ理由ハ委員長ノ御許シテ得マシテ速記ニ載録ヲ願ヒマシテ省略致シマス、當局ノ御意見ヲ伺ヒマシテ御探擇賜ハラントコトヲ御願ヒ致シマス

○西岡竹次郎君 明年度ニヤツテ載タト云フ御氣持ノヤウデスガ、一寸御説明ノ中ニ

御話ノ通り地元デ負擔ガ一寸困難ダツタ、併シナガラ地元デ躍起トナリマシテ十五万円ダケ既ニ負擔金ヲ積立テテ居リマス、今年度更ニ積立テマスカラ、明年度ニナリマシタナラバ相當土負擔金ヲ負擔シ得ルノデアリマス、此ノ十五万円ハ十五年度ニ於キマシテモ貯蓄致シテ居ルノデスカラ、サウシマスルト縣當局ノ心配シマシタ點、農林當局ノ御心配ノ點ハ解消スルト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ、明年度ニ是非御造リ載ケマセデセウカ

○平岡政府委員 今マダ此處デ造ルトカ造ラズトカハツキリ申上ゲ兼ネルノデゴザイマスケレドモ、兎ニ角サウ云フ御事情デアリ、實ハ地元デモ十五万円バカリ集マリ兼ネテ居ルト云フ御話ヲ聞イテ居リマシタガ、今ノ御話デスト、ソレモチヤントナルヤウデアリマスカラ、別ニ故障ハナイヤウニ思ヒマスガ、他ノ縣トノ振合モ考ヘマシテ、出來ルダケ御趣旨ニ副フヤウニ取計ラヒマ

シムルガ如キ虞レナシトセザルハ洵ニ遺憾ニ堪ヘズ、仍テ政府ハ生産擴充、食糧並ニ肥飼料増産ノ見地ヨリ漁村ノ振興ヲ圖ル爲メ前記漁業法規運用ノ缺陷ヲ是正セラレンコトヲ要望スルモノデアリマスガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○平岡政府委員 政府ニ於キマシテハ漁業法規制定以來漁業組合制度ト云フモノヲ確立致シマシテ、沿岸、遠洋ノ漁業ヲ振興致シ、又共同施設ト云フヤウナモノノ普及ニ努メマシタリ、又水産動物ノ繁殖保護ト云フコトニ努メテ居リマシテ、漁村ノ維持振興ニハ努メテ參ツタ積リテ居リマスケレドモ、御話ノヤウナコトガナイトモ限リマセスカラ、尙ホ十分今後トモ注意致シマシテ、漁村ノ維持振興ト云フコトニハ努力致シタイト考ヘマス

○坂東委員 此ノ漁村振興ノ件ニ關係シマシテ、一寸具體的ノコトヲ御伺ヒシタイノデス、ソレハ北海道ノ蒲鉾工業組合ニ關スルコトデゴザイマスガ、出テ居リマス規定ニ依リマシテ、北海道ノ蒲鉾ハ規格ガ決ツタノデアリマスガ、其ノ規格ハ實際ト鮮ト二種ニ限ツタノデアリマス、所ガ眞鱈ハ非常ニ高イノデアリマシテ、一貫目ニ十圓、鮮ハ一貫目六圓、ソレデ製造シテモ蒲鉾トシテハ賣ルコトガ出來ナイノデアリマス、此ノ二種以外ノ物デ拵ヘルト非常ニ値段ガ安タナルニモ拘ラズ、他ノ物デ造リマシテ違反ニナル、サウ云フ關係デ今仕事ヲ休ンデ居ルノデアリマス、二月ニ農林省ニ掛合ヒマシタ結果、其ノ原料ノ中ニ眞鱈、宗八、赤鱈、淺葉鱈ヲ入レルト云フコトヲ、農林當局ハ承諾シテ居リマスガ、法規ノ上ニハ現ハレテ居ラナイノデアリマ

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、漁村振興並漁業法規尊重ニ關スル請願、文書表第五八三號 紹介議員川崎巳之太郎君

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○永田政府委員 御話ノヤウニ「ブリキ」罐ガ不足致シマシテ、結局ハハ硝子罐ニ代ヘナクテハナラナイ譯ナドゴザイマス、硝子ノ原料モ只今ノ所窮屈デアリマス、又今御話ノ是ノ附屬ノニ使ヒマスル資材モ非常ニ窮屈デアリマス、中々餘裕ノアル配給ハ出来マセスケレドモ、必要ナ方面ニ十分配給致シマスルヤウニ努力致シテ居ル次第デアリマシテ、只今マデノ所全體ノ數量トシマシテ、此ノ邊詰用ノ資材ガ特ニ不足シテ居ルト云フ風ナコトハ私ハ聞イテ居ナイノデアリマス、若シ具體的ノ御話ガゴザイマシタラ伺ハシテ載キマシテ善處致シタイト思ヒマス

○川崎(三)委員 此處ニ見本ヲ持ッテ參リマシタガ、硝子不足デスガ、是ハドウヤラ間ニ合フ、此ノ冠ノ金不足シテ居リマスガ、是モ間ニ合フ、冠ノ内ニ塗ル色々ノ材料デアリマス、ソレヲ内ニ塗ラナケレバナラヌコトハ當局ノ風ニ御承知ノ通りデアリマス、所ガ算計ナラバ鍵ガナクモ物ヲ入レテ置クニハ足リマスケレドモ、此ノ内ニ塗ルモノガナケレバ冠ノ硝子ガアツテ駄目デアリマス、ソレデ必要ナ部分ニ相應ニ間ニ合フ程度ニ、不足ノ中カラ御奮發シテ供給シテ下サルト云フコトハ大層有難ウゴザイマスガ、此ノ當業者ノ連中ガ私ニ色々實情ヲ懇ヘテ泣言ヲ言フ所ニ依ルト、迎モ相當ドコロデハナイ、ソコデ本人共ガ認メテ來タ「タイプライター」デ打ツタ十數枚ノ詳細シイモノガゴザイマス、之ヲ讀ンダリ何カスルコトハ避ケマシテ、委員長ヲ通ジテ商工省ノ方ニ御願ヒ致シテ置キマスカラ、後ヲ御覽下サイマシテ、善意ヲ以テ供給シテ下サツテ、只今ノ御趣意ニ副ウテ善處シテ存ジマス

○加藤委員 承蒙致シマシタマシタガ、能ク一ツ書類ヲ拜見シテ考慮致シタイト思ヒマス、御承知ノヤウニ總テノ物資ガサウデゴザイマスガ、是マデノ所大體過去ノ實績ニ應ジテ配給ヲ致シマシテ、サウシテソレノ「ノ」物ヲ造ラシテ居リマス、新シク色々ノ物ヲ造ラシテ居リマス、ソレヲ工業化シタイト云フ風ナ場合ニハ、中々其ノ原料ガ得ラナイヤウナコトガアリマシテ、御困リノ事情ガアラウカト思ヒマス、併シ政府ト致シマシテハ出来ルダケ良イ品物ヲ造ツテ貰フヤウニ致シタイト云フ氣持ハ十分持ッテ居リマス、詰リ新シク與ツテ來マシタヤウナ品物ニ對シマシテモ、出來ルダケノ資材ヲ配給致シタイト思ヒマスガ、先程申シマシタヤウニ原料ガ限ラレテ居リマシテ、ソレヲ前カラ造ツテ居ツタ人トノ間ニ分ケ取リヲシナケレバナラヌ事情ガゴザイマス、新シイ人ニ十分満足ヲ與ヘル程行カナイヤウナ事情モアラウカト思ヒマス、其ノ點ハ一ツ政府ガ新與ノ製品モ十分ノ補助シテ行ク積リテ配給ヲ考ヘテ居ルト云フコトヲ御承承リ願ヒタイト存ジマス

○川崎(三)委員 御尤デアリマス、御趣旨ハ有難ク御受ケ致シマスガ、古イ仲間ガ今マデ供給ヲ受ケタ程度マデト云フ程ニ懇張ルノデハナク、甚ダ不十分ト云フコトヲ聞イテ居リマスカラ、ドウゾ十分實情ヲ御調査願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ冠ノ内ノ「ゴム」モ從前「アメリカ」カラ入ツテ居ツタノサウデゴザイマスガ、ソレガ方共昨今ハイケナイノデアリマス、

○辻政府委員 本請願ハ商工省ノ關係ノ方ニナツテ居リマスガ、先般商工省、農林省ノ事務調整ノ結果ト致シマシテ、備詰用空配給ニ關スル問題ハ農林省所管トナリマシタノデ、私カラ御答ヘ申上ゲマス、只今御述ベニナリマシタヤウニ備詰方軍需上、又輸出産業ト致シマシテモ、將又國民保健衛生乃至ハ食糧貯蔵ト云フ方面カラ致シマシテモ極メテ重要性ガアリ、又理想ニ近イモノデアルト云フ點ニ付キマシテハ、大體御同様ニ考ヘルノデアリマス、唯從來ト致シマシテハ備詰製造ニ必要缺クベカラザル「ブリキ」罐ノ資源、鐵材資源ノ關係ガ申スマデモナク非常ニ窮屈デゴザイマス、空配給給付規則ノ運用ニ依リマシテモ、主トシテ軍需品並ニ輸出品ノ製造トシテ空配給ヲ配給スル、内地用ニ對シテハ原則的ニ制限ヲスルト云フコトヲ參フコトヲデゴザイマス、所ガ是モ御述ベニナリマシタヤウニ、其ノ後ニ於ケル事情ノ變化、殊ニ日獨伊三國同盟ノ締結以來海外市場ノ變遷、從來輸出市場トシテ依存シテ居リマシタ「イギリス」「アメリカ」「フランス」其ノ他「ヨーロッパ」諸國ノ市場ノ變遷ニ依リマシテ、輸出ノ進展上非常ニ困難ヲ蒙ツタノデゴザイマス、其ノ結果備詰ノ相當數量ガ現在「ストック」ニナツテ居ル狀況デゴザイマス、隨ヒマシテ「ストック」如キ現貨ノ事情ヲ前ニ致シマシテ、今後ノ備詰産業ヲ如何ナル方針ノ下ニ指導シテ參ルカト云フコトハ、極メテ大

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

日本人ノ業者ノ仲間デ工夫シテ之ヲヤリマス、此ノ冠ノ内ノ色々ノ「ゴム」其ノ他ノ藥モ同ジヤウニ使ツテ、同ジヤウニ持ッテ行クノデゴザイマス、ソコデ輸入ガ出來テ居ル時ナラバ、是タケ獎勵シテモ、以テ輸入防ギ、正貨ノ流出ヲ防グ課デアリマスガ、今ハ輸入ガ出來ナイノデゴザイマスカラ、自慢ニモナラヌデスガ、サウ云フ風ナ次第デゴザイマシテ、ドウゾ業者ノ色々困ツテ居ルコトヲ御察シ下サツテ何分ノ御配慮ヲ御願ヒ致シマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○平岡政府委員 御答ヘ致シマス、只今ノ御話ハ全ク御同感デゴザイマシテ、近頃ハ漁獲高ガ非常ニ減ツテ參リ、又一面畜産品ガ減少致シマシテ、動物性ノ蛋白質ト云フヤウナモノモ魚類ニ求メネバナラズ、魚類ノ需要ガ非常ニ殖エテ參ツタト云フヤウナ實情ニ鑑ミマシテ、唯水産ノ行政的ナ方策ヲ實施スルバカリデナク、一面科學的ニ色々研究ヲスル必要ガアルト云フコトヲ痛感致シテ居リマス、ソレデ昨年カラ地先深海漁場開發調査費ト云フモノヲ一年ニ六萬圓位ツツ出シテ、五箇年計畫ヲ調査ヲ始メマシタ、サウ云フ風ニ近頃ハ非常ニ水産試驗場ノ活動ト云フモノヲ重視致シテ居リマスガ、唯豫算ガ思フヤウニ取レマセ、併シ豫算ノ許ス限リ試驗場乃至試驗場支場ノ設置ニ付テ考ヘタイト思ヒマス、ソレデ此ノ問題ニ付キマシテモ、此ノ際十分其ノ要否ヲ検討致シマシテ、速カニ造ルベキモノナラバ造ツテ、時局下ニ於ケル魚類ノ需給ト云フヤウナモノニ即シテヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ヲ希望致シマス
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 日程第三、小賣市場商品配給ニ關スル請願、文書表第五九號

○加藤委員長 日程第四、鑛業權保護ニ關スル請願、文書表第五三號

○川崎(白)委員 此ノ請願ノ趣旨ハ時局下鑛業ノ隆盛ハ國運ノ消長ニ重大ナル影響ヲ與フルコトハ是レ云フマデモナイコトドゴ

アツテハ洵ニ困ルチヤナイカ、昔話デ、此ノ頃モアルカドウカ分リマセヌガ、北海道

○加藤委員長 日程第三、小賣市場商品配給ニ關スル請願、文書表第五九號

○加藤委員長 日程第四、鑛業權保護ニ關スル請願、文書表第五三號

○川崎(白)委員 此ノ請願ノ趣旨ハ時局下鑛業ノ隆盛ハ國運ノ消長ニ重大ナル影響ヲ與フルコトハ是レ云フマデモナイコトドゴ

アツテハ洵ニ困ルチヤナイカ、昔話デ、此ノ頃モアルカドウカ分リマセヌガ、北海道

○加藤委員長 日程第三、小賣市場商品配給ニ關スル請願、文書表第五九號

○加藤委員長 日程第四、鑛業權保護ニ關スル請願、文書表第五三號

○川崎(白)委員 此ノ請願ノ趣旨ハ時局下鑛業ノ隆盛ハ國運ノ消長ニ重大ナル影響ヲ與フルコトハ是レ云フマデモナイコトドゴ

アツテハ洵ニ困ルチヤナイカ、昔話デ、此ノ頃モアルカドウカ分リマセヌガ、北海道

注イデ下サツタナラバ、當業者モモ様ナ無駄ナコトヲセズニ濟ムノチヤナイカト思フ

○加藤委員長 日程第四、鑛業權保護ニ關スル請願、文書表第五三號

○川崎(白)委員 此ノ請願ノ趣旨ハ時局下鑛業ノ隆盛ハ國運ノ消長ニ重大ナル影響ヲ與フルコトハ是レ云フマデモナイコトドゴ

アツテハ洵ニ困ルチヤナイカ、昔話デ、此ノ頃モアルカドウカ分リマセヌガ、北海道

○加藤委員長 日程第五、鶏肉ノ公定價格引上ニ關スル請願、文書表第五三六號、紹介議員樋口善右衛門君

ニ依リマシテ、生産ノ關係ニ於テモ從來ニ比ベマスト非常ニ遺憾ナク状態ニナツテ居リマス、又配給ノ點ニ付キマシテモ現在マダ十分ニ配給ノ機構ガ完備致シマセヌノデ、此ノ點ニ付キマシテモ出來ルダケ早ク配給ノ機構ノ整備ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス、同時ニ公定價格ノ點ニ付キマシテモ、一應鶏肉ニ其ノ他ノ食肉ニ付キマシテ公定價格ガ決メラレテ居リマスケレドモ、公定價格設定後ニ於キマスル諸般ノ事情、即チ各食肉ノソレノ生産ノ事情、又需給關係、ソレカラ尙ホ今御連ニナリマシタヤウニ、鶏肉ト其ノ他ノ食肉トノ價格ノ差ガ不當デアルカドウカト云フ點ニ付キマシテ、公定價格設定後ノ事情ニ關シマシテ、目下各方面ノ實情ヲ調査致シテ居リマス、調査ヲ完了致シマシタ上デ其ノ間ノ價格ノ調整ヲ行フ必要ガアルモノニ付キマシテハ、出來ルダケ其ノ不均衡ヲ是正致シタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○樋口委員 更ニ御伺ヒ致シマスガ、此ノ請願ノ要旨ハ、牛肉ト鶏肉トノ比較ノ上カラ云ツテ、斯様ニ差ノアルト云フコトハ全ク困ルト云フコトナラザリマス、牛肉ト鶏肉トノ差ヲ斯クノ如ク隔リヲ置イタト云フ理由ハドウ云フ譯デアリマスカ

○加藤委員長 鶏肉ノ公定價格ノ問題、延イテハ鶏肉以外ノ食肉ノ公定價格ノ適正ヲ缺クガ爲ニ食肉ノ配給ノ混亂ヲ來シ、出廻リノ不足ヲ生ジテ居ルト云フ御趣旨ノヤウニ拜聴致シマスガ、色々當局ト致シマシテモ食肉ノ出廻リ促進ト云フ方面ニ付テモ考慮ヲ致シテ居リマス、殊ニ何ト申シマシテモ生産ノ増加、其ノ爲ニハ飼料ノ適正ナル確保ト云フコトガ必要ト考ヘラレルノデアリマスガ、御承知ノ通りノ飼料ノ事情

○加藤委員長 是ハ總務局長ト御答辯ニ相成ルガ宜シサウデスガ、只今御臨席ガゴザイマセス、食品局長ガオイデニナツテ居リマスガ、其ノ御答辯宜シウゴザイマスレバ此處デ御答辯ヲ願ヒマス、若シ御不満足ナラバ後週シニ致シマス

○樋口委員 此ノ請願ノ趣旨ハ此ノ文書表ニアリマス如ク、大體鶏肉ノ相場ト云フモノハ牛肉ト略々同格ニナツテ居ル、若クハ其ノ以上ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ度公定價格ノ決定ニ際シマシテハ非常ニ牛肉ト鶏肉トノ差ガ少ク、隨テ養鶏家ノ之ニ對シテ蒙ル損害ハ少ナカラザルモノデアリマシテ、此ノ養鶏業者ノ不振ノ結果ハ鶏卵ノ故ニ鶏肉不足ヲ來スト云フ現狀ニアルノデゴザイマスガ、政府ノ之ニ對スル御所見ハ如何デアリマスガ、之ヲ伺ヒマス

○加藤委員長 了承致シマシタ、尙ホ川崎委員ニ御答ヘ致シマス、仰セ御尤デゴザイマス、鐵道省ノ政府委員ハ省議ノ爲ニ已ムヲ得ズ御出席ガナカッタノデアリマス、仰ツシヤルコトハ了承致シマシタ

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 了承致シマシタ、尙ホ川崎委員ニ御答ヘ致シマス、仰セ御尤デゴザイマス、鐵道省ノ政府委員ハ省議ノ爲ニ已ムヲ得ズ御出席ガナカッタノデアリマス、仰ツシヤルコトハ了承致シマシタ

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

○加藤委員長 許可致シマス

紹介議員世耕弘一君
 ○世耕弘一君 請願ノ要旨ヲ簡單ニ申上ゲ
 マス、紀州備長白炭、輝炭及ビ輝「牛丸」割
 ノ既定ノ公定價格ニテハ生産費モ充分シク、
 仍テ本縣特有ノ前記炭種ガ全減ノ狀況ニア
 リマス、故ニ茲ニ馬目標木炭同様特別ノ價
 格公定ヲ煩ハシタイト云フ請願デアリマ
 ス、輝炭備長木炭ハ其ノ硬度及ビ熱度高ク
 燃焼力ニテモ亦長時間ヲ保チ、而モ立消
 ノ憂モ全クナク、特ニ最近重工業方面及ビ
 銅、鐵鋼ノ研磨用、更ニ軍需ノ活性炭其ノ
 他ニ必要缺クベカラザル特徴ヲ有シテ、全
 ク獨自ノ効用價值ヲ認メラレ、而モ他ニ代
 用品ノナイ特殊炭デアリマス、馬目及ビ輝
 牛丸割ハ現在白炭ノ中ニ含まレテアリマス
 ガ、右ハ使用價值ニ於テ甚大ナル差異ガア
 リ、殊ニ是ハ申上ゲルマデモナク、活性炭
 原料トシテ丸、或ハ小丸ト何等異ラナイ所
 ヲ以テ其ノ價值方價付ケラレテ居ルモノ
 デアリマスカラ、此ノ際白炭公定價格カラ
 除外シテ特別ノ規格ヲ設定シテ裁キタイト
 云フノ方第三點ノ要求デアリマス

○井出政府委員 只今議題ニナリマシク備
 長白炭ノ公定價格ノ問題デゴザイマスルガ、
 此ノ點ニ付キマシテハ從來ハ御述ベニナリ
 マシタヤウニ、備長炭ノ白炭ニ價格ヲ付ケ、
 ハ普通ノ白炭ニ比較シテ稍、高價價格ヲ付ケ、
 又サウ云フ特殊ノ規格ヲ認メテ居ルマデ
 アリマシタガ、昨年御承知ノヤウニ木炭ノ非
 常ナル生産ノ短期間ニ確保致シテ參ルト云
 フコトヲ致シマス際ニ、各地方ノ資材及ビ
 勞力等ノ關係カラ申上ゲマシテ、從來非常
 ニ多種多様ニ分レテ居リマシタ木炭ノ規格
 ヲ申シテ見ララバ、全國各地方各種ノ規格
 寄セマシテ一万余百種類ニ上ツテ居リマシ

テ、其ノ規格ヲ極ク簡單ナモノニ致シマシ
 テ之ヲ百五十内外ノ規格ニ致シマシタ、之
 ニ對シマシテ價格ヲ付ケ直ス、其ノ價格ハ
 大體當時ノ木炭價格ノ水準ヲ變ヘナイ範圍
 ニ於テ付ケ直スト云フコトヲ致シマシテ、
 ソレデ急遽ニ木炭ノ生産ヲ學ガテ參リ、生
 産者方面ノ利便ヲ與フルコトヲ致シマシ
 タ、其ノ際ニ御話ノヤウナ經過ニ依リマシ
 テ從來特殊ノ規格トシ、又隨ヒマシテ特殊
 ナ、稍、高價價格ヲ付セラレテ居リマシタ
 炭ト云フモノノ中ニ之ヲ入レテシマヒマシ
 タ、多少ソレ等ノ部分ニ付テハ從來ノ價格
 ヲリ公定價格ガ下ツタト云フ事實ハゴザイ
 マス、其ノ後此ノ規格及ビ公定價格ヲ實施
 致シマシタ結果ニ依リマシテ、尙ホ只今ノ
 所檢討致シテ居リマスルガ、此ノ和歌山縣
 其ノ他ニ於テキマシテハ大體今御述ベニナル
 ヤウニ馬目標ハ勿論デアリマスガ、其ノ他
 之ニ準ズル輝炭ノ備長炭ニ依ル白炭ハ、輝炭
 林ノ造成カラ、又御話ノヤウニ之ヲ燒キマ
 スル製造過程モ餘程特殊ノ過程ヲ經テ居リ
 マシテ、只今ノ規格及ビ公定價格ノミヲ以
 テ致シマシテハ、洵ニ御話ノヤウナ點ニ付
 キマシテ、相當考ヘ直サナケレバナラナイ
 點ガアルヤウナコトモ多少分ツテ參リマシ
 タ故ニ、成ベク速カク機會ニ是等ノ點ハ是
 正致シタイト思ヒマス、殊ニ御話ノヤウニ
 此ノ用途ニ付キマシテハ、備長炭ハ從來特
 殊ノ材料ヲ作りマス等ノ用途アリマス外
 ニ、御話ノヤウナ時局下ニ於テ相當重要ナ
 工業ノ原料材料トシテモ缺クベカラザルモノ
 デアルト云フコトニナツテ居リマスノデ、
 是等ノ點ニ付テハ供給ヲ確保スルト云フ意
 味ニ於テ、此ノ生産ヲ保護シ、之ヲ維持シ

テ參リ、必要ニ依ツテハ更ニ之ヲ増加シテ
 參ルト云フヤウナ見地カラ申シマシテモ、
 之ニ對シマシテ一般ノ白炭ノ規格ト別ニ致
 シマシテ取扱ツテ參ルト云フ風ナ點ヲ考慮
 スル必要ガアラウカト考ヘマス、ソレ等ノ
 具體的ノ點ニ付テハ、只今成ベク速カニ解
 決致シタイ積リデ考究致シテ居ル所デアリ
 マス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシ)ト呼ブ者アリ
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第七、八丁味哈公定價
 格引上ニ關スル請願、請願文書表第五七九
 號、第六〇〇號 紹介議員岡本實太郎君
 ○岡本實太郎君 先刻樋口委員、川崎委員
 並ニ紅露議員カラ申サレテ趣旨ニ依ツテ、今
 來ル二十四日ノ日ニ政府委員農林省總務局
 長ガ御出席ニナルコトヲ信ジマスノデ、今
 日申上ゲテモ重ナルコトヲ信ジマスカラ、
 其ノ時ニ便宜題シタイト思ヒマス、尙ホ其
 ノ時ニ、總務局長ハ直接ノ價格ノ關係デス
 ガ、原料ノ配給ノアルナシガ價格ニ影響ス
 ル所頗ル多ク、仍テ資材局長モヤハリ御出
 席ニナルコトヲ希望シテ置キマス

○加藤委員 是ニテ商工省所管ノ議事日
 程ハ終了致シマシタ

御意見ヲ伺ヒマシテ、滿場一致御採擇アラ
 ンコトヲ御願ヒ致シマス

○關口政府委員 德島ニ帝國大學開設ニ關
 係致シマス請願ニ付キマシテ御答申上ゲ
 マス、此ノ時局ニ際會致シマシテ、高度國
 防國家建設ノ爲ニ、一層科學ノ振興ヲ圖リ
 マスルト共ニ、其ノ方面ニ活動スベキ人材
 ヲ愈々多ク養成致シマスコトハ、極メテ重要
 ノコトト存ジマス、文部省ニ於テキマシテ
 モ時局以來特ニ此ノ點ニ鑑ミマシテ、大學
 研究所等ノ創設及ビ其ノ施設ノ充實ヲ圖ツ
 テ參リマシタ、或ハ又學生ノ募集ノ數ヲ増
 加致シマシテ、如上ノ趣旨ヲ達成スルコト
 ニ努力ヲ致シテ居ル請願デアリマス、豫テ數
 回御請願ニナリ御採擇ニナツテ居リマス、
 又本請願ノ御趣旨ニ御記載ニナツテ居リマ
 スコトモ以上申上ゲマシタヤウナ目的ニ副
 フ爲ニ、地域的ニ見テ德島市ニ四國帝國大
 學ヲ創設セントスルモノデアリマス、固ヨ
 リ現下極メテ重要ナコトト考ヘテ居リマ
 ス、唯御承知ノ通りニ帝國大學ヲ創設致ス
 コトニナリマス、相當巨額ノ經費又多大
 ノ資材ヲ要スルコトデアリマシテ、國家ノ
 財政其ノ他ノ關係等ニ鑑ミマシテ、此ノ點ハ
 慎重ニ考慮研究ヲ要スル所ト存スルノデゴザ
 イマス、御請願ノ御趣旨ニ付キマシテ八十
 分ニ之ヲ尊重致シマシテ、將來研究シテ參
 リタイト斯様ニ存ジマス

○坂東委員 十分御研究ヲ願フ意味ヲ採擇
 ヲ願ヒマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシ)ト呼ブ者アリ
 ○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 日程第二、德島高等工業學
 ○加藤委員 日程第二、德島縣ニ高等水

校校格ニ關スル請願、文書表第五七五號
 紹介議員紅露昭君

○紅露昭君 此ノ請願モ數回御採擇ヲ願ツ
 テ居リマスノデ、請願ノ趣旨ハ文書表ニ
 記載ノ通りデアリマスカラ、一切省略致シ
 マス、此ノ際政府ノ御意見ヲ承レバ洵ニ結
 構ト思ヒマスガ、其ノ上デ御採擇アラソコ
 トヲ望ミマス

○關口政府委員 御答ヘ申上ゲマス、生産
 力擴充ニ必要ナル技術員ノ養成ニ關シマシ
 テハ、政府ニ於テキマシテモ、中等ノ實業學校
 專門ノ實業學校ハ勿論、大學ノ技術者養成
 ノ關係ニ於テキマシテモ、ソレノ機關ニ
 依リマシテ、増加養成ニ最善ノ努力ヲ傾倒
 致シテ居リマス所デアリマス、殊ニ高等工
 業學校程度ノ終了ヲ致シマシタ技術員ハ、
 特ニ多大ノ需要ガゴザイマスノデアリマシ
 テ、御承知ノ通り昭和十四年度、昨年度カ
 ラ、新タニ七校ノ高等工業學校ヲ増設致シ
 マシテ、此ノ程度ノ技術者ノ極力増加養成
 ニ努力致シテ居リマス實情デアリマス、既設
 ノ德島ノ高等工業學校ヲ請願ノ御趣旨ノ通
 リニ、單科大學ニ變更スルコト云フコトニ付
 キマシテハ、時局柄各般ノ事情ヲ考慮致シ
 マセスト、直チニ決定シ難ネルモノデアリ
 マス、請願ノ趣旨ヲ尊重致シマシテ、此ノ
 點ニ付キマシテモ篤ト研究ヲ致シタイト存
 ジマス

○坂東委員 本請願ハ十分研究ヲ願フ意味
 デ採擇ヲ望ミマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシ)ト呼ブ者アリ
 ○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 日程第二、德島縣ニ高等水
 產學校設置ノ請願、文書表第五七六號
 紹介議員紅露昭君

○紅露昭君 本請願モ數回御採擇ニナツテ
 居リマス、文書表記載ノ通りデアリマスガ、
 唯政府ニ於テキマシテハ、北海道方面ニハ水
 產學校ヲ御設置ニナツテ居ルデアリマス、
 ガ、所謂東日本ニ多クデアリマシテ、西
 日本ニハナイデアリマス、僅カ九州ニモ
 ナカクツト思ツテ居リマス、色々考ヘテ見
 マシタガ、位置ノ關係カラ考ヘマシテ、ドウ
 モ四日本ニ高等水產學校ヲ設置スルナラ
 ベ、四國ナドハ適當デハナイカ、斯様ニ考
 ヘテ請願致シテ居ル次第デアリマス、殊ニ
 先程申シマシタ通り、數回御採擇ニナツテ
 居リマスノデ、政府ノ御意見ヲ伺ヒマシテ
 滿場一致御採擇アラソコトヲ御願ヒスル次
 第デアリマス

○關口政府委員 再應ノ請願デゴザイマシ
 テ、其ノ都度御答ヘ申上ゲテ居ル請願デアリ
 マス、尙ホ本日ノ請願ニ對シマシテモ一應
 御答ヘ申上ゲマス、水産資源ノ開發ト云フ
 コトハ日本ノ國柄カラ申シマシテ當然デゴ
 ザイマスガ、殊ニ時局柄水産資源ノ開發ヲ
 更ニ擴充スルコト云フコトノ必要ハ政府當局
 モ認メテ居ル所デアリマシテ、其ノ方面ニ
 活動致シマスル人材ノ養成機關ノ増設ヲ圖
 ルト云フコトニ付キマシテモ、十分ニ其ノ
 必要ヲ認メテ居ル請願デアリマス、請願ノ御
 趣旨ノ中ニ御記載ニナツテ居ラレマス通り、
 現在高等水産ノ教育機關ト致シマシテハ、
 專門學校程度ニ函館高等水産學校、ソレカ
 ラ農林省所管ノ水産講習所ト此ノ二ツガゴ
 ザイマス、大學程度ニ於テキマシテハ東京帝
 國大學ノ農學部水産學科並ニ北海道帝國大
 學ノ農學部水産學科、此ノ二ツガ設置サレ

テ居ル請願デアリマス、而モ先程申シマシタ
 通り、時局柄水産資源ノ開發、必要ナコト
 ヲ認メマシテ、昭和十六年四月、明年度カ
 ラ九州帝國大學ノ農學部ニモ水産學科ヲ設
 置セラレル見込ニナツテ居ルデアリマス、
 而シテ尙ホ以上ノ施設ヲ以テ致シマシテ
 モ、決シテ十分ハ思ツテ居リマセス、殊
 ニ御話ノ通りニ高等水産學校ハ專門程度ノ
 水産技術者養成機關ト致シマシテ、東京ト
 北海道トニツアルノミデアリマシテ、地
 域ニ稍、偏在シテ居ルヤウナ憾ミモ御話ノ
 通りアルト考ヘテ、當局ト致シマシテハ此
 ノ種ノ教育機關ノ増設擴張ヲ洵ニ必要デア
 ルト思ヒマシテ、ソレノ多少ノ内部ノ計
 畫ハ致シテ居ルデアリマス、唯時局柄ニ
 逼迫シタ状態デアリマシテ、財政ノ關係カ
 ラ申シマシテモ、資材ノ關係カラ申シマシ
 テモ、中々直チニ之ヲ増設スルコト云フコト
 ハ色々困難ナ事情ガアルノデアリマス、ソ
 レ等ノ點モ考慮致シマシテ、本請願ニ對シ
 マシテハ慎重ニ考究致シタイト斯様ニ考ヘ
 テ居リマス

○坂東委員 本請願ハ採擇ヲ願ヒマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシ)ト呼ブ者アリ
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第二、德島縣ニ高等水
 產學校設置ノ請願、文書表第五四一號
 紹介議員紅露昭君

○紅露昭君 此ノ三ツ四ツ併セテ御説明申
 上ゲマス、本請願ハ雙方トモ數回本院ニ於

テ參リ、必要ニ依ツテハ更ニ之ヲ増加シテ
 參ルト云フヤウナ見地カラ申シマシテモ、
 之ニ對シマシテ一般ノ白炭ノ規格ト別ニ致
 シマシテ取扱ツテ參ルト云フ風ナ點ヲ考慮
 スル必要ガアラウカト考ヘマス、ソレ等ノ
 具體的ノ點ニ付テハ、只今成ベク速カニ解
 決致シタイ積リデ考究致シテ居ル所デアリ
 マス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシ)ト呼ブ者アリ
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第七、八丁味哈公定價
 格引上ニ關スル請願、請願文書表第五七九
 號、第六〇〇號 紹介議員岡本實太郎君
 ○岡本實太郎君 先刻樋口委員、川崎委員
 並ニ紅露議員カラ申サレテ趣旨ニ依ツテ、今
 來ル二十四日ノ日ニ政府委員農林省總務局
 長ガ御出席ニナルコトヲ信ジマスノデ、今
 日申上ゲテモ重ナルコトヲ信ジマスカラ、
 其ノ時ニ便宜題シタイト思ヒマス、尙ホ其
 ノ時ニ、總務局長ハ直接ノ價格ノ關係デス
 ガ、原料ノ配給ノアルナシガ價格ニ影響ス
 ル所頗ル多ク、仍テ資材局長モヤハリ御出
 席ニナルコトヲ希望シテ置キマス

○加藤委員 是ニテ商工省所管ノ議事日
 程ハ終了致シマシタ

○加藤委員 是ニテ商工省所管ノ議事日
 程ハ終了致シマシタ

○加藤委員 日程第七、八丁味哈公定價
 格引上ニ關スル請願、請願文書表第五七九
 號、第六〇〇號 紹介議員岡本實太郎君
 ○岡本實太郎君 先刻樋口委員、川崎委員
 並ニ紅露議員カラ申サレテ趣旨ニ依ツテ、今
 來ル二十四日ノ日ニ政府委員農林省總務局
 長ガ御出席ニナルコトヲ信ジマスノデ、今
 日申上ゲテモ重ナルコトヲ信ジマスカラ、
 其ノ時ニ便宜題シタイト思ヒマス、尙ホ其
 ノ時ニ、總務局長ハ直接ノ價格ノ關係デス
 ガ、原料ノ配給ノアルナシガ價格ニ影響ス
 ル所頗ル多ク、仍テ資材局長モヤハリ御出
 席ニナルコトヲ希望シテ置キマス

○加藤委員 是ニテ商工省所管ノ議事日
 程ハ終了致シマシタ

第三類第一號 請願委員會議錄 第十回

テ御採擇ヲ願フテ居リマス、請願文書表記
載ノ通りデゴザイマスカラ一切省略シマ
スガ、唯中島港ニ付キマシテハ政府ニ色々
御願ヒ致シマシテ、目下ナツテ居リマス那
賀川ノ改修工事モ着々進ンデ居リマスノデ、
是ト並行シテ修築シテ戴キタイト云フコト
ヲ附加シタイト思ヒマス

○加藤委員長 兩請願トモ採擇ニ決シマス
○加藤委員長 日程第一、國道第二十號線
延長ニ關スル請願、文書表第五五八號 紹
介議員田中好君
○坂東委員 便宜上代ツテ紹介致シマス、
此ノ請願ノ趣旨ハ國道第二十號線ノ終點京
都府加佐郡東大浦村大字田井ヨリ分岐スル
都道第三〇二號田井、新舞鶴線ノ重要經過
地タル同村大字成生ハ沿線有數ノ産業基地
セラルト共ニ、舞鶴要港地帯第一區ニ編入
セラレマシテ、國防上産業上愈々重要性ヲ加
ヘ、最も重要ナル地域トナツタノデアリマ
ス、仍テ前記國道第二十號線ヲ京都府加佐
郡東大浦村大字田井ヨリ同村大字成生マデ
ニ延長セラレタイト云フ請願デアリマスガ、
政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 此ノ地方ノ近時重要性ヲ
加ヘテ參リマシタコトハ、只今御述ベニナ
リマシタ通り存ジマス、内務省ト致シマ
シテモ能ク海軍當局トモ協議ヲ致シマシテ、
實情ヲ調査致シ、篤ト考究致シタイト思ヒ
マス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス
○加藤委員長 日程第二及第三ハ暫時後
廻シニ致シマス
○紅露昭君 本請願モ數回御採擇ヲ願フテ
居ル案件デゴザイマスシテ、文書表記載ノ通
アリマスガ、第一種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

第三類第一號 請願委員會議錄 第十回

○加藤委員長 日程第五、國土計畫中ニ海
岸線整理包括ノ請願、請願文書表第五八二
號 紹介議員坂東幸太郎君
○坂東委員 國土計畫ト云フコトハ、現在
ノ國土ヲ如何ニ整備スルコトガ國土トシテ
ノ效用ヲ遺憾ナク發揮シ得ルカ、又將來ハ
如何ニ擴充スベキカト云フ諸點ニ付テ、凡
ユル角度カラ計畫セラルベキモノデアルト
思ハレマス、本請願ハ其ノ中ノ一部門トモ言
フベキ沿岸線ノ整備ニ付デアリマス、我
ガ國ノ沿岸ハ概シテ日本海沿岸ノ國土八
年消滅減耗スルニ反シテ、太平洋沿岸八
年増大スルデアリマス、勿論其ノ箇所箇
所ニ依ツテハ是ト反スル現象モナイデハア
リマセスケレドモ、大體左様ニナツテ居ル
ト思ヒマス、先ツ第一、此ノ大現象カラ
考察シテノ沿岸整備計畫ヲ打立テネバナラ
ス、現在ノ沿岸整備ナルモノハ、港灣計畫
及ビ道路保持上必要ナル以外ノ沿岸ニ對シ
テハ、ソレガ激浪ノ爲ニ如何ニ破壊セラレ
テモ棄テテ置キザルガ如キヤリ方デアリマ
ス、ソコデ考ヘマスルニ、抑、沿岸ニ對シマ
シテハ一貫セル根本方針ヲ樹立シテ、永久
的ニ各種ノ施設ヲ繼續シテ、以テ沿岸國土
ヲ保持シテ、其ノ安全ヲ期スベキモノデア
リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

○飯沼政府委員 德島港ヲ第一種重要港灣
ニ指定スルコトニ付キマシテハ、地元ニ於
キマシテ熱心御希望ヲ持ツテオイデニナ
リマスコトハ、私共能ク承知致シテ居リマ
ス、修築工事モ段々進行致シテ居リマス
シ、港勢モ追々發展ヲ見テ來テ居ルコトデ
アリマスガ、第二種港灣ニ指定スルト云フ

厚生省所管

- 一 醫療器械用資材配給其ノ他ニ關スル請願(第六五三號)
- 二 處方箋ノ交付強制反對ニ關スル請願(第六五五號、第六六七號)
- 三 接骨師法制定ニ關スル請願(第六六一號)
- 四 失格醫師復権ニ關スル請願(第六七三號)
- 五 醫師技師科醫師ニ對スル二重行政處分撤廢ニ關スル請願(第六七四號)
- 六 稻荷山町屠殺場存置ニ關スル請願(第六七五號)

陸軍省所管

- 一 靖國神社神域擴張ニ關スル請願(第六〇五號)

選信省所管

- 一 門崎村ニ無集配郵便局設置ノ請願(第六〇三號)

司法省所管

- 一 岩國區裁判所廳舎改築ニ關スル請願(第六一九號)

文部省所管

- 一 文部省編纂「國體ノ本義」改訂ニ關スル請願(第六三〇號)
- 二 旭川市ニ實業專門學校設立ノ請願(第六三八號)
- 三 中等學校ノ増設及擴張ニ關スル請願(第六四〇號)
- 四 函館市ニ官立商船學校設立ノ請願(第六六〇號)
- 五 國定教科書中ニ大東亞共榮圈ニ關スル題材ヲ編入ノ請願(第六四四號)
- 六 男子ノ徳性涵養ニ關スル教材ヲ國定

教科書ニ編入ノ請願(第六四七號)

- 七 學生ノ風紀振肅ニ關スル請願(第六三九號)
- 八 史蹟範圍擴張ニ關スル請願(第六一八號)
- 九 日本佛教ノ覺悟體制ニ關スル請願(第六一五號)

鐵道省所管

- 一 常磐線那珂川橋梁附近流失軌條引揚ニ關スル請願(第六三二號)
- 二 鹿兒島線急行列車ヲ特急富士ニ連絡ノ請願(第六二六號)
- 三 大杉、大田口兩驛ニ急行列車停車ノ請願(第六五六號)
- 四 八橋驛ニ貨物取扱開始ノ請願(第六五七號)
- 五 土佐山田、後免兩驛間ニ臨時農産物積込驛設置ノ請願(第六五八號)
- 六 大牟田、八代間複線敷設ノ請願(第六二五號)
- 七 余市、余別間鐵道敷設ノ請願(第六三三號)
- 八 勝田、上菅谷間鐵道速成ノ請願(第六七二號)
- 九 春日出町ニ停車場設置ノ請願(第六八八號)

○加藤委員長

是ヨリ會議ヲ開キマス、日程ニ入ルニ先ダチマシテ御報告致スコトガアリマス、味喰源原料確保ニ關スル請願、文書表第六二一號外六件、青年禁酒法制定反對ノ請願、文書表第六六一號外一件、以上

ハ既ニ審査ヲ終リマシタ請願ト同一趣旨ノ請願デアリマスカラ、前請願ト同一議決ヲシタルモノトシテソレノ議院ニ報告致シマス

是ヨリ日程ニ入リマス内閣所管

- 一 長慶天皇御史蹟並御陵墓調査ニ關スル請願、文書表第六三六號
- 二 官公紀振肅ニ關スル請願、文書表第六三七號
- 三 長慶天皇御史蹟並御陵墓調査ニ關スル請願、文書表第六一七號
- 四 中世ニ於ケル皇族ノ御事蹟調査ニ關スル請願、文書表第六二〇號
- 五 對外挑發の文書並請願等取締ニ關スル請願、文書表第六一九號
- 六 以上五請願ヲ一括上程致シマス

○坂東委員長

過日ノ請願委員會ニ於キマシテ生産機構擴張ニ關スル請願ガ採擇ニナツテ居リマス、ソレハ帝國水産會ノ請願デアリマスガ、帝國水産會ト致シマシテモ、勿論水産省ノ獨立ヲ要望致シテ居リマスガ、色々遠慮シタ爲ニ極々狭イ意味ノ請願デアツタノデアリマス、私ハ竿頭一歩ヲ進メマシテ此ノ水産省ノ獨立ヲ請願スル者デアリマス、其ノ趣旨ハ申スマデモナク、漁獲高世界ニ冠タル我が國水産業ノ現狀ニ於キマシテ、其ノ行政機關ガ僅カニ農林省ノ一水産局ニ止マルガ如キコトハ、現下國策遂行上洵ニ遺憾トスル所デアリマス、仍テ速カニ水産省ヲ獨立セラレンコトヲ要望スルノデアリマスガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○佐藤政府委員

我が國ノ水産業ガ世界ニ冠タルモノデアルト云フコトハ御話シテ通

リデアリマス、政府ノ水産行政ニ付キマシテハ、其ノ意味ニ於キマシテ、過般農林省ノ機構改革ノ際ニ於キマシテモ、十分其ノ點ヲ考慮シテ、水産行政ノ圓滑ヲ期スルト共ニ、戰時食糧政策、農村政策ノ綜合的の遂行ニ遺憾ナカラシムルヤウニシテ次第デアリマシテ、過般農林省ノ機構ヲ改革シタバカリデアリマスカラ、今直チニ水産省ヲ獨立スルト云フコトハ、適當デナイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員長

農林省ノ機構ヲ改革シタバカリデアリマスガ、日本ノ水産業ノ地位ニ鑑ミマシテ、十分此ノ點ハ研究セラレンコトヲ要望致シマシテ、採擇ヲ希望致シマス

○川崎(巳)委員

政府委員ノ御答辯ハ一應ハ御尤デアリマスガ、此ノ間片付ケタバカリダト云フノハ提出者及ビ紹介議員デアリマス、事柄ガ重大デアラカト云フ意味ヲ提出セラレ、紹介セラレタモノデアルト思フノデアリマス、ト云フノハ、私モ色々ノ時期ニ於テ水産局ヲ農林省ノ隅ツコノ方ハ片付ケテ置クコトハ甚ダ水産行政ノ爲ニ遺憾ナラコトノ體験ヲ有シテ居ルノデゴザイマス、水産局ノ仕事ハ申スマデモ、北洋漁業、是モ大キナ仕事、今度建川大使ガ「ロシヤ」へ行ツテ「ロシヤ」ト色々協調スルト云フ時ニ之ヲドウスルカト云フコトガ重大問題ニナツタノデアリマス、一時ハ北洋漁業ヲ犧牲ニシテ愛嬌ヲ「ロシヤ」ニ振向ケルノダト云フヤウナ説ガアツタノデ、北海道ノ函館市長初メ大勢有力者ガ出テ來テ大騒ギヲシタ、併シソレハ間違ヒデアルト云フコトガ分ツタノデアリマス、ソレカラ南洋漁業是モ水産局ノ仕事ニナルンデセウ、大キナ

國策會社方何カ立テルヤウニ進行中ナルヤ

ニ承ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ南極及ビ北極ニ於ケル漁業、是モ水産局ガ主管スルヨリ仕方ガナイノデス、斯ウ云フ大キナ問題ニナツテ居ルシ、又四面海ヲ環ラズ我ガ島國ニ於キマシテハ、グルリニ漁村ガズツトアリマシテ、四千程ノ漁業組合ガ既ニ出來テ居ルノデアリマス、其ノ漁港ノ修築ヤ何ヤ澤山金ガ要ル、之ヲ内務省ノ土木局ト競争シクハ張合ヒラシテ水産局デ金ヲ出スト云フヤウナコトニナツテ居ツテ、金額ナドモ甚ダ多イ、ソレヲ舊體制片付ケテ置クコト云フハ時勢ノ進運ニ副ハナイ所デアルト私共ハ考ヘルノデゴザイマス、殊ニ人事モ隨ツテソレニ準ジマスガ故ニ、此ノ間マデ大阪ノ營林局長ヲシタガ、水産局長ニナツテ來ル、ココデ色々押問答ヲシテモ、山ノ人ニ海ノ話ヲスルノデアラカラ一向分ラナイ、ソレモ新任勿々ダト云フ話デハ、此ノ議會デモ何デモ水産ノコトニ付テ實劍ニ審議ガ出來ナイ、ソレハ僅カ人事ノ一端デゴザイマスガ、左様ナコトデ、此ノ間直シタバカリダト云フヤウナ話デハ反響ガ薄イト思フノデアリマシテ、私ハ此處デ色々議論ヲ申上ゲルノデゴザイマセスガ、モウ少シ水産事業ト日本帝國ノ發展ト云フコトノ關係ノ重大ナルコトニ鑑ミテ、政府ハ善處セラレンコトヲ要望致シマシテ、此ノ請願ヲ採擇ヲ望ミマス

○加藤委員長

日程第一、水産省設置ニ關スル請願ヲ採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員長

採擇ニ決シマス

○坂東委員長

官公紀振肅ニ關スル請願デア

リマス、此ノ請願ノ趣旨ハ、近時官公吏ノ態度ガ動モスレバ冷淡、暴慢ニ流レマシテ、國民ノ心情、立場、境地等ヲ顧慮スルコトナク、一片ノ理念ニ執着シテ事ヲサナントスル結果官民ノ心情ニ疎隔ヲ來シテ、國家統治上大ナル支障ヲ與ヘツツアルコトハ遺憾ニ堪ヘザルコトデアリマス、仍テ政府ハ大イニ官公紀ノ振肅ヲ圖リ、以テ官民融合協力ノ實ヲ擧ゲラレンコトヲ要望致シマス、勿論之ニ政府ハ反對スル譯ハアリマスマイガ、之ニ關スル御所感ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○佐藤政府委員

御話ノ通り現在ノ非常時局ニ當リマシテハ、官民一致シテ此ノ時局ノ處理ニ當ラナケレバナラスノデアリマス、ソコデ現内閣ト致シマシテモ、組閣勿々ニ基本國策要綱ト云フモノヲ決メマシテ、其ノ一ツトシテ行政新體制ノ樹立ト云フコトヲ考ヘ、既ニ官制制度ノ問題デアルトカ、官紀振肅ノ問題等ニ付キマシテハ十分研究シテ居ル次第デアリマシテ、其ノ或ルモノハ既ニ實現サレ、又將來實現サレントシテ居ルノデアリマシテ、請願ノ趣旨ニ十分副ヒ得ルコトト信ズル次第デアリマス

○坂東委員長

此ノ點ハ恐ラクハ各委員諸君ハ大イニ意見ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、此ノ頃ハ非常ニ官吏ハ宜クナイノデアツテ、一ツノ例ヲ申上ゲマス、ソレハ或ル經濟警察官更ガ當ニ經濟統制問題ニ付キマシテ善カラズ嗜ガアツタノデアリマス、偶々其ノ家ニ小火ガアリマシタ時分ニ消防ガ必要以上ニ「ホース」ヲ向ケテ、ジヤンク水ヲ打込ンデ物ヲ出シマス、何ゾ知ラン多クノ純綿、其ノ他ノ物ガ出テ來タノデアリマス、サウ云フ善カラズコトガアル、是

ハ一例デアリマスガ、實ニ經濟關係官吏等

ハ家デハ白米ヲ食フコトガアツテ、サウ云フ爲テ居ルトカ云フコトガアツテ、サウ云フ爲ニ官民ノ疎隔ヲ來シテ居リマス、是ハ重大問題デアリマスカラ、十分研究サレマシテ、今少シ眞劍ニ官公紀ノ振肅ヲ圖ラナケレバナラスト思ヒマス、ドウゾアナタカラモ十分ニ大臣其ノ他ニ御進言アラントコトヲ希望致シマシテ採擇ヲ望ミマス

○加藤委員長

日程第二ハ採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員長

採擇ニ決シマス

○坂東委員長

是モ私ノ紹介デアリマスガ、長慶天皇御史蹟並御陵墓調査ニ關スルモノデアリマス、金匱無缺ノ名國タル我が國ニ於テ、而モ近世ニ御在シマス第九十八代長慶天皇様ノ御陵墓ガ未ダ確定セザルコトハ返ス／＼モ遺憾ノ至リニ堪ヘマセス、而モ其ノ候補地ハ數十箇所ノ多キニ互ツテ居ルト聞キマスケレドモ、其ノ中ノ御一基ニ在ハシマスコトハ疑ヒガナイノデアリマス、サウシマスレバ政府ニシテ熱意ヲ更ニ新タニシ、具體的、科學的調査ヲ進メマシタナラバ之ヲ確定シ得ナイ理窟ガナイト思ヒマス、畢竟政府ノ熱意ノ問題デアルト思ハレマス、學者中此ノ研究ニ從ハレタル人ハ東北帝大初メ多岐アリマス、而シテ其ノ候補地青森縣三戸町山腹ニ御在シマスモノハ私モ拜見シタコトガアリマスガ、先ヅ有力ナル候補地デアラト考ヘラレマス、何レニシテモ政府ハ此ノ御調査ノ爲ニ官制ヲ設ケルナリ、其ノ他適切ナル方法ヲ以テ速カニ史蹟的調査ヲ行ヒ御陵墓確定ニ資セラレ

シコトヲ切望スル次第デアリマス、政府ノ

是等ノ調査ニ關スル經過及ビ御意見等ヲ伺ヒマス

○佐藤政府委員

御陵墓ノ問題ハ事官内省ニ關スル問題デアリマシテ、政府トシテハ一寸何トモ申上ゲ難キマス、ソレカラ御史蹟ノ調査ノ關係ハ文部省ニ於キマシテヤツテ居ル管デアリマス、文部省ノ政府委員ガ見エル答ニナツテ居リマスカラ、或ハ其ノ時ニ詳細答辯サセテ戴クト都合ガ好イト思ツテ居リマス

○坂東委員長

勿論御陵墓ニ確定シタナラバ官内省所管デアリマシケレドモ、確定スルマデハ文部省其ノ他ガ調ベナケレバナラス關係ニアルト思ヒマス、唯時間モアリマセスカラ、アナタガ政府委員トシテノ御考ヘダケテ同ヒタイト思ヒマス

○佐藤政府委員

御趣旨ニ從ヒマシテ十分調査シテ國體明確ニ資シタイト思ヒマス

○坂東委員長

採擇ニ決シマス

○加藤委員長

採擇ニ決シマス

トト信マシマス、仍テ政府ハ前記ノ方々ノ御事續御血統ヲ調査スルト共ニ、其ノ御後裔ニ對シ適當ナル待遇ノ方途ヲ講ゼラレタリト云フコトヲ要望スル次第デアリマス、實ハ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、後醍醐天皇様ノ御子孫ハ僅カテ十數人居ラレト思ヒマスガ、事續ガ明瞭デナイ方モアラレマス、其ノ御子孫ノ中ニ現在血筋デアルト云フ記録ノアル人モ私ハ知ツテ居リマス、其ノ關係上中世ト申シマシテモ大體吉野朝デアリマスガ、ソレ等ニ對シテ政府ハ調査シタコトガアリマスガ、又ソレ等ニ關シマシテドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマスカト云フコトヲ御伺ヒ致シマス

○佐藤政府委員 此ノ問題ハ事皇族ニ關スル問題デアリマシテ、極メテ重大ナ問題デアリマスノデ、慎重研究致シタイト思ヒマス

○坂東委員 ドウカアナタカラ文部省ノ方ニ進言ヲ願ヒタイト思ヒマス、文部省ハ斯ウ云フ問題ニ對シテ熱ガナイノデスカラ、政府トシテ十分文部省ニ此ノ點ニ熱ヲ持ツテ調ベルヤウニ、御進言アラントコトヲ希望致シマシテ採擇ヲ望ミマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○坂東委員 是モ私ノ紹介デアリマスカラ申上ゲマス、對外挑發的文書並官廳等取締ニ關スル請願デアリマスガ、本請願ノ趣旨ハ現下國際情勢ハ時々刻々變遷推移シテ、殆ド端倪スベカラザルモノガアリマスルニ鑑ミ、公然敵性ナキ國家ニ對シマシテ徒ラニ挑發的言動ヲナスガ如キハ其ノ國家國民ニ無用ノ刺戟ヲ與ヘマシテ、我々國トノ國交ヲ害シ外交上不利ヲ招來スル虞ガアリマス、仍テ政府ハ對外挑發的文書並官廳等取締ニ關シマシテ適當ナル措置ヲ講ゼラレタリト要望スルノデアリマス、實例ヲ申シマスト現在日ソ關係ハ大體順調ニ進シテ居ルト思ヒマスルニ拘ラズ、世上動モルトソ聯討ツベシト云フヤウナビラフ帖ツタリスルコトガ屬アルノデアリマス、從來モ澤山サウ云フコトガアツタノデアリマス、是ハ甚ダ遺憾ナコトデアリマスカラ、政府ハ之ニ對シマシテ適當ナル取締ノ方法ヲ講ジテ貫ヒタイ、政府ノ御考ヘヲ御伺ヒ致シマス

○佐藤政府委員 御話御尤モデゴザイマシテ、國際情勢極メテ重大デアリマス秋ニ、此ノ徒ラナル挑發的文書ヲ出ス爲ニ國交ヲ蓋リニ害スルコト云フコトガアツテハ困ルノデ、現内閣ガ出來マシテ間モナク、情報宜傳機關ヲ統合シマシテ、内閣ニ情報局ト云フモノヲ作りマシタ、其ノ情報局ニ於キマシテ、外務、内務、陸海軍、其ノ他關係省ガ集マリマシテ、斯ウ云フ問題ニ付テハ十分ニ適切ナル措置ヲ講ズルヤウニシテ居ル次第デアリマス、請願ノ趣旨モアリマスノデ、尙ホ一層其ノ點ヲ注意シタイト云フ風ニ思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第五、國旗掲揚ニ關スル請願、文書表第六五九號——紹介議員川副隆君

○川副委員 是ハ今國旗ノ掲揚方ガ非常ニ區々ニナツテ居リマスノヲ統一シテ欲シト云フ請願デゴザイマス、國旗ハ大日本帝國ヲ表徴致シマスルモノデゴザイマスルカラ、二ツ同ジモノガ交又サレタリ、或ハ併立シタリスルノハ、洵ニ世界ニ一ツデアル所ノ大日本帝國ヲ表徴致シマスルモノトシテ相應シカラザルモノデアルト云フノデアリマス、大キイ官廳其ノ他大キイ所アラバ、少シ大キイ旗ヲ一ツ、小キイ民家ハ小キイ旗ヲ一ツト云フヤウナ工合ニ、現在ハ併立サレテ居リマスノヲ一ツニ統一シテ欲シト云フノデゴザイマス、尙ホ是ハ文書表ニハゴザイマセスカ、私ノ縣ノ長崎縣デハ、是ハ全國的カ存ジマセスカ、門ノ内面カラ右側ガ慶祝ノ掲揚ノ仕方デアリ、門ノ内面カラ見マシテ左側ニ立テルノガ、敬弔ヲ現ハスモノデアルト云フヤウナ達シガアツタヤウニ記憶致シマスルガ、併シ是ハドウモ其ノ家ノ構造等ニ依リマシテ左ノ方ニハドウシテモ立テニクタイト云フヤウナ民家モアルト存ジマス、尙又内面カラ、或ハ外カラト云フ立テ方ガ若シモ違ヒマシタ時ニハ、慶祝スベキ所ニ或ハ敬弔シ、敬弔申上ゲナケレバナナイ場合ニ祝賀ノ意ヲ表スルヤウナコトニナリマシテハ洵ニ不敬ナコト存ジマス、ソレデハ全國的カ存ジマセスカケレドモ、右デモ左デモ一本デアレバ宜シイ、サウシテ慶祝ノ場合ハ其ノ儀、敬弔ノ場合ハ黒イ布ヲ附ケルトカ、或ハ上ノ金ノ丸イ所ヲ包ムトカ云フヤウナ風ニ御統一ナサツタ方ガ宜イデアリナカ、此ノ事ヲ附加ヘテ申上ゲタイノデアリマス、此ノ請願ヲ致シテ居リマス林ト云フ人ハ、小學校ノ校長トカ、或ハ村長トカ云フヤウナコトヲヤ

○加藤委員 日程第二、警察官吏待遇改善ニ關スル請願、文書表第六七六號——紹介議員伊豆富人君

ツテ是方再使用ヲ圖ルノ外途ナシ、即チ概算五百万圓以上ノ死蔵古自轉車ヲ適當ナル設備ニ依ツテ加工スル時ハ、其ノ利益蓋シ少カラザルモノガアリマス、仍テ是方合理の集荷機關トシテ古自轉車回收會社ヲ設立サレタイト云フ請願デアリマス、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 近來自轉車ノ需要增加スルニ拘リマセズ、資材ノ關係上自轉車ノ生産數量ハ制限セラレルノ已ムナキ事情ニアルノデゴザイマス、隨ヒマシテ極力必要方面ヘノ供給ヲ確保致シマス爲ニ、昨年十月ヨリ自轉車並ニ同部品及ビ附屬品ノ配給統制ヲ行ツテ來テ居ルノデアリマスガ、更ニ進ンデ古自轉車ノ再生利用ヲ積極的ニ圖ル必要ヲ認メマシテ、本年一月ニ其ノヤウナ方針ヲ定メタノデゴザイマス、即チ第一ニハ、古自轉車ノ蒐集ハ自轉車小賣商ヲシテ行ハシメルト云フコトデアリマス、第二ニハ、自轉車小賣商ニ於テ修理シテ再使用シ得ルヤウナモノハ、自轉車小賣商ニ於テ修理ヲ致シ、地方廳ニ於キマシテ定ムル方針ニ基イテ販賣スルコトト致シタコトデアリマス、第三ニハ、塗裝鍍金ヲ致シマシテ再使用シ得ルモノニ付キマシテハ、自轉車小賣商ニ於キマシテ、所屬ノ小賣商商業組合ヲ通ジテ塗裝鍍金工業組合ニ依頼致シマシテ、其ノ製品ハ地方廳ニ於テ定ムル方針ニ基キマシテ、ソレノ販賣スルコトト致シタコトデアリマス、第四ニハ、再生加工ヲ必要ト致シマスモノハ、自轉車小賣商商業組合ニ於キマシテソレヲ取リメテ自轉車工業組合ニ販賣致シマシテ、自轉車工業組合ニ於キマシテハ、組合員ヲ再生加工業者ヲシテ再生加工セシムルコトデアリマス、又第六師團司令部ノ所在地

○川副委員 是ハ今國旗ノ掲揚方ガ非常ニ區々ニナツテ居リマスノヲ統一シテ欲シト云フ請願デゴザイマス、國旗ハ大日本帝國ヲ表徴致シマスルモノデゴザイマスルカラ、二ツ同ジモノガ交又サレタリ、或ハ併立シタリスルノハ、洵ニ世界ニ一ツデアル所ノ大日本帝國ヲ表徴致シマスルモノトシテ相應シカラザルモノデアルト云フノデアリマス、大キイ官廳其ノ他大キイ所アラバ、少シ大キイ旗ヲ一ツ、小キイ民家ハ小キイ旗ヲ一ツト云フヤウナ工合ニ、現在ハ併立サレテ居リマスノヲ一ツニ統一シテ欲シト云フノデゴザイマス、尙ホ是ハ文書表ニハゴザイマセスカ、私ノ縣ノ長崎縣デハ、是ハ全國的カ存ジマセスカ、門ノ内面カラ右側ガ慶祝ノ掲揚ノ仕方デアリ、門ノ内面カラ見マシテ左側ニ立テルノガ、敬弔ヲ現ハスモノデアルト云フヤウナ達シガアツタヤウニ記憶致シマスルガ、併シ是ハドウモ其ノ家ノ構造等ニ依リマシテ左ノ方ニハドウシテモ立テニクタイト云フヤウナ民家モアルト存ジマス、尙又内面カラ、或ハ外カラト云フ立テ方ガ若シモ違ヒマシタ時ニハ、慶祝スベキ所ニ或ハ敬弔シ、敬弔申上ゲナケレバナナイ場合ニ祝賀ノ意ヲ表スルヤウナコトニナリマシテハ洵ニ不敬ナコト存ジマス、ソレデハ全國的カ存ジマセスカケレドモ、右デモ左デモ一本デアレバ宜シイ、サウシテ慶祝ノ場合ハ其ノ儀、敬弔ノ場合ハ黒イ布ヲ附ケルトカ、或ハ上ノ金ノ丸イ所ヲ包ムトカ云フヤウナ風ニ御統一ナサツタ方ガ宜イデアリナカ、此ノ事ヲ附加ヘテ申上ゲタイノデアリマス、此ノ請願ヲ致シテ居リマス林ト云フ人ハ、小學校ノ校長トカ、或ハ村長トカ云フヤウナコトヲヤ

○加藤委員 日程第二、警察官吏待遇改善ニ關スル請願、文書表第六七六號——紹介議員伊豆富人君

トデアリマス、右再生加工品ハ、政府ニ於キマシテ四半期毎ニ定ムル配給計畫ニ基キマシテ販賣スルモノト致シタノデアリマス、而シテ再生加工ニ必要デアル所ノ資材ニ付キマシテモ別途ニ之ヲ考慮致シマシテ、中古自轉車、再生自轉車、同部品、附屬品ノ販賣價格モ決定セラレ、買入レ古自轉車ノ價格ニ付キマシテハ、關係組合間ニ於キマシテ協議認定スルコトトナツテ居ルノデアリマシテ、古自轉車ノ集荷、再生加工、販賣ハ綜合的、組織的ニ行ハレ居ルモノト云フコトガ出來ルト思フノデアリマシテ、大體ニ於テ請願ノ目的トシテ居ル所ニ既ニ副ツテ致シテ居ルト云フヤウニ私共ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○坂東委員 此ノ問題ハ民衆ノ交通機關トシテ極メテ重要ナル問題デアリマスカラ、政府ノ御答辯デ大體其ノ意ヲ得テ居リマスケレドモ、尙ホ遺憾ナイヤウニ最善ノ努力ヲ拂ハレントコトヲ希望致シマシテ、本請願ハ採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員 次ハ内務省所管
日程第一、大牟田、八代間國道鋪裝ニ關スル請願、文書表第六二四號——紹介議員伊豆富人君

○伊豆富人君 福岡縣大牟田市、熊本縣八代間國道鋪裝ニ關スル請願ヲ御紹介致シタイト思ヒマス、其ノ趣旨ト致シマシテハ、熊本縣ハ、大體九州ノ中央ニアリマシテ、其ノ首都熊本市ハ九州交通ノ要衝デアルノデアリマス、又第六師團司令部ノ所在地

地位ハ飛躍的ニ重要性ヲ加ヘ來ツタノデアリマス、ソコデ生産物ハ固ヨリ食糧其ノ他ノ日常生活必需品、殊ニ農林礦工業ノ重要生産物ノ輸送力ヲ以テシテハ甚ダ不便ヲ感ズルニ至ツタノデアリマス、然ルニ福岡縣大牟田市ヨリ以南ノ國道幹線ハ概ネ路面ノ鋪裝工事ヲ施行シテ居ラレマセズ、貨物自動車、馬車等ニ依ル運輸力ヲ著シク減殺シテ居リマス爲ニ、産業ノ發展ヲ阻害スルコト測リ知ルベカラザルモノガアルノデアリマス、加フルニ一朝有事ノ際ハ、其ノ國防的見地ヨリ致シマシテ速カニ大牟田市カラ八代市ニ至ル國道幹線ノ路面鋪裝工事ヲ施行セラレントコトヲ熱望スル次第デアリマス、何率其ノ趣旨ニ御賛成ヲ賜ハリマシテ、御採擇ヲ戴キタイト思フノデアリマス

○坂東委員 政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 大牟田、八代間ノ國道ノ重要デアリマスコトハ只今モ御話ガゴザイマシタガ、政府ニ於テ十分認メテ居ル所デゴザイマシテ、其ノ爲ニ既ニ改良鋪裝ニ着手ヲ致シマシテ、最モ惡イ部分カラ現ニ工事ヲ施行中デゴザイマス、尙ホ國庫財政ノ許ス限リ成レバ早く完成ヲ圖リマシテ、其ノ軍事上、産業上重要ナ使命ヲ達成セシメタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第二、警察官吏待遇改善ニ關スル請願、文書表第六七六號——紹介議員伊豆富人君

介議員清淵二郎君
 ○坂東委員 私人ツテ紹介致シマス、本請願ノ趣旨ハ、警察官吏ノ社會的地位ニ其ノ職責ニ鑑ミ、是ガ物質上並ニ精神上ニ於ケル待遇ノ向上ヲ圖ルコトハ現下ノ社會情勢カラシテ最モ必要ナリト信ジマス、仍テ警察官吏待遇改善ヲ圖ラシテ云フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 斯様ナ非常ノ時局ニ於キマシテ、警察官吏ガ重要性ヲ加ヘテ居ルノデアリマシテ、只今亦警察官吏ノ待遇ニ付キマシテ御紹介ニナツタノデアリマスガ、警察官吏ノ待遇ニ關シマシテハ、其ノ職務ノ特別ナル點ニ鑑ミマシテ、一般ノ官吏ト異ナリマシテ俸給ノ外ニ精勤加俸、特別手當、精料、非番勤務手當云フヤウナ給與ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテモ、地方財政ノ許ス限リ豫算ノ増加ヲ圖リマシテ向上ヲ致シ改善ヲ圖ツテ參リタイト考ヘテ居リマス、尙ホ昨年カラ一般官吏ト同様ニ臨時家族手當ヲ支給致シテ居ル譯デアリマスガ、更ニ近ク臨時手當給與ノ實施方ニ付テ只今考慮致シテ居ル所デゴザイマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

ノ神祇奉養ト云フコトノ本義カラ考ヘマシテ、頗ル重大ナコトデアリマスノデ、慎重ニ考究ヲ要スルモノト考ヘマス
 ○坂東委員 本請願ハ採擇ヲ希望致シマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス
 ○加藤委員 日程第六ハ都合ニ依リマシテ後廻シニ致シマス

(異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス
 ○加藤委員 日程第三、街路照明統制ニ關スル請願、文書表第六〇六號
 日程第四、共同建築法制定ニ關スル請願、文書表第六〇七號、以上二請願ヲ一括上程致シマス——紹介議員星島二郎君
 ○星島二郎君 請願者ハ阪谷男爵デアリマス、是ハ個人デ出テ居リマスケレドモ、事實ハ都市美協會ト云フ協會ノ代表者デアリマス、私モ其ノ會員ノ一人デアリマスガ、第一ニ街路照明統制ニ關スル請願ト致シマシテ、街路照明方今日ハ商業者ヤ或ハ商業團體ヤ其ノ他私人ノ任意ノ經營ニ任サレテ居リマスノデ、設備モ甚ダ變ナ所モアリマシ、旁、防空或ハ都市ノ美觀或ハ交通等ノ色々ナ點カラ見マシテヤハリ是ハ道路法ニ附屬セシメテ統制シテ、イザト云フ場合ニハ同時ニ消ストカ、或ハ其ノ設計其ノ他ニ付キマシテ統制シテ行クコトガ宜イコト云フコトヲ此ノ會デ研究シタノデアリマス、輒近都市ノ膨脹、道路ノ整備ヲ非常ニ必要トシマス場合ニ是非共ニハ一ツ御採擇願ヒマシテ、御實施ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、政府ノ御意見ヲ承リ且ツ御採擇ヲ賜ラントコトヲ願フ次第デアリマス
 尙ホ今一ツハ共同建築法制定ニ關スル請願デアリマスガ、最近都市ニ於ケル建築ノ美觀ノ點、或ハ耐震、耐火、或ハ防空ノ目的達成ノ爲ニ色々ナ點ヲ考ヘナクテハナラズノデアリマスガ、ソレニ付キマシテモ共同建築法制定セラレタイノデアリマス、殊ニ大都會ノ中心地ニ於キマシテハ、此ノ

點ガ防空ノ上ニ於テ、或ハ美觀ノ上ニ於テ、或ハ耐震耐火、保安ノ點ニ付キマシテモ必要デアル、今日ノ東京ノ如キハ不揃ヒ極マル建築デアリマシテ、或ハ窓トカ扉トカ、其ノ他ニ付キマシテモ規格ノ上カラ見マシテ統制シナケレバ、ナラス點モアリマセウシ、材料其ノ他ニ付キマシテモ考ヘル點ガアリマセウシ、此ノ統制經濟ノ時代ニ於キマシテ一番放任サレテ居ルヤウニ思フノデアリマシテ、是等ヲ徹底ノ統制シテ、一面カラ言ヘバ防空、或ハ規格ノ上ニ於テ無駄ヲ省ク、材料ヲ節約スルコト云フ點カラ言ヒマシテモ、現在ノ都市計畫法ノヤウナモノデナシニ、モット進ンダ共同建築法制定セラレマシテ、是等ヲ速カニ實施セラレタイ、斯ウ云フヤウナ請願ノ趣旨デアリマス、何卒御採擇賜ランコトヲ御願致シマス

○飯沼政府委員 御答ヘ申上ゲマス、街路照明ノコトニ付キマシテハ、只今ヤウニ無統制ニ私人ノ經營ニ任セテ置キマスコトノ不適當デアリマスコトハ仰セノ通りデアリマス、都市ノ美觀ト云フ點カラ申シマシテモ、或ハ又保安上ノ點カラ申シマシテモ、改良致サナケレバ、ナラス點ガ十分ニアルヤウニ思フノデアリマス、唯此ノ問題ニ付キマシテハ費用ノ負擔關係、其ノ他色々考究ヲ要スル點ガアラウト思ヒマスノデ、尙ホ篤ト研究ヲ致シタイト考ヘマス

ソレカラ共同建築法制定ニ問題デアリマスガ、是モ只今御話ノゴザイマシタ通り、都市ノ美觀ト云フ點、或ハ又耐震耐火防空ト云フヤウナ點カラ申シマシテ、都市ノ中心部ニ於ケル建築ニ對シテモウ少シ何等カノ工夫ヲ加ヘル必要ナルコトハ御同感デアリマス

ゴザイマス、唯此ノ共同建築ノ問題ハ是マデ内務省ニ於キマシテモ色々研究ヲ致シタコトデアリマスガ、建築敷地ニ關シマスル權利ヲドウ云フ風ニシタラ宜イカ、ドウ云フ風ニシテ之ヲ整理スルコトガ出來ルカ、又建築費用ノ分擔ノ方法或ハ又出來上リマシタ建築物ノ管理、利用ノ仕方、銘々ノ所有一部分ノ決定ト云フヤウナ中々複雑ナ問題ガ深山ニアリマスノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ今後尙ホ十分研究ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 内務省所管日程第三、第四トモ採擇ヲ希望致シマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第五、文化神社創建ニ關スル請願、文書表第六一四——紹介議員坂東幸太郎君
 ○坂東委員 是モ代ツテ紹介致シマス、其ノ趣旨ハ、軍事殉國ノ英靈ハ靖國、護國兩神社ニ祭祀セラレテ國幣ノ典ヲ享ケルモ政治、經濟、産業、宗教、文學、美術等ノ文化事業ニ偉功ヲ貽セシ先賢ノ英靈ヲ祀リ其ノ遺徳ヲ顯彰スベキ神社ナキハ洵ニ遺憾ナリ、仍テ政府ハ是等文化事業ニ貢獻セル先賢ヲ祭祀スル文化神社ヲ創建セラレタシト云フデアリマス、政府ノ御所見ヲ御伺ヒマス

○飯沼政府委員 國難ニ殉ゼラレマシタ方方ハ今日特別ノ思召ヲ以テマシテ、靖國神社ニ合祀セラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ請願ノヤウニ文化事業ニ貢獻セラレマシタ先賢ノ靈ヲ合祀スルコト云フ一ツノ神社ヲ創立スルコト云フコトニ付キマシテハ、今日

○加藤委員 議事日程第六、村社若宮神社昇格ニ關スル請願、文書表第六一六號——紹介議員藤生安太郎君
 ○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ佐賀縣西松浦郡黒川村大字小黒川鎮座村社若宮神社ハ昔時ヨリ地方民ノ崇敬メテ厚ク氏子及ビ崇敬者ノ昇格ヲ望望スルコト切ナルモノアリ、仍テ國體明徴敬神崇祖ノ見地ヨリ前記若宮神社ヲ速カニ郷社ニ昇格セシメラレタシト云フノデアリマスガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒマス

○飯沼政府委員 此ノ村社若宮神社ハ只今モ御話ガアリマシタ通り、昔カラ地方ノ崇敬ノ中心デアツタノデアリマス、其ノ由緒ノ方カラ見マシテ、他ノ郷社ト均衡ニ鑑ミマシテ直ダニハ餘議ガ難カシイノデハナイカト考ヘマスガ、尙ホ十分取調ベルコトニ致シマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第七、村社白山社昇格ニ關スル請願、文書表第六六九號——紹介議員坂東幸太郎君
 ○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ愛知縣葉栗郡木曾川町大字黒田宇東古川鎮座村社白山社ハ大己貴命、菊名姫命及伊弉諾尊ノ三神ヲ奉祭セル由緒深キ神社デアリマシテ、境内廣ク相當ノ財産ト千餘戸ノ氏子及崇敬者ヲ有スル神社デアリマシテ、之ヲ郷社ニ昇格セシムルコトハ現下ノ時局ニ鑑ミ最モ必要ナリト信ジマス、仍テ政府ハ前記白山社ヲ地方ニ於キマシテ一般衆庶ノ崇敬ヲ受ケラレテ居ツタ神社デアリマスガ、併シ之ヲ郷社ニ昇格セシムルコトニ付キマシテハ他ノ郷社ト均衡モアリマスシ、由緒、其ノ他ニ關シマシテ尙ホ慎重ニ考究ヲ致シタイト考ヘマス

○坂東委員 之ニ付キマシテハ地元カラ近日手續ヲスル管デアリマスガ、十分ニ研究セラレマシテ速カニ實現セラレンコトヲ御願ヒ致シマシテ採擇ヲ希望致シマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○坂東委員 此ノ頃宗谷村ハ純漁村デアリマシテ、相當水産物ノ多イ所デアリマスカラ、ドウカ財政ノ都合ヲ付ケマシテ、速カニ此ノ請願ノ趣旨ヲ貫徹スルヤウ政府ニ希望致シマシテ採擇ヲ望ミマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第八、宗谷村船入漁業施設工事促進ニ關スル請願、文書表第六四五號——紹介議員坂東幸太郎君
 ○坂東委員 此ノ請願ハ私モ實地ヲ視察シテ其ノ必要ヲ感ジマシタ、所ガ此ノ締切マデニ請願書ガ遅レルヤウデアリマスカラ私カラ出シタノデアリマス、其ノ請願ノ趣旨ハ北海道宗谷郡宗谷村船入漁業ニ關シテラレタケレドモ、防波堤ヲ設置シタバカリデアリマシテ、未ダ漁内ノ掘鑿浚渫工事ノ施行ヲ見ナイコトハ同地方漁業開發上洵ニ遺憾デアリマス、仍テ政府ハ速カニ前記船入漁業施設ノ竣工ヲ竣成セラレタイト云フノデアリマス、政府ノ御意見ヲ御伺ヒマス

○鈴木(橋)政府委員 只今御話ノ宗谷村泊内村ハ御話ノ通り昭和十一年度カラ十三年度ニ掛ケマシテ工事ヲ施行致シマシテ、大體出來上ツタノデゴザイマスガ、ソレ以來各地方ニ於キマスル沖合漁業ガ段々發達シテ參リマシテ、船ノ形モ段々大キナリマシタ關係上、有效水域ガ狹隘トナツタノデアリマスカラ、速カニ其ノ船入漁ノ浚渫擴張ノ必要ガアルト考ヘマス、成ベク早イ機會ニ於キマシテ是ガ擴張工事ヲ致シタイト考ヘデゴザイマス

○坂東委員 此ノ頃宗谷村ハ純漁村デアリマシテ、相當水産物ノ多イ所デアリマスカラ、ドウカ財政ノ都合ヲ付ケマシテ、速カニ此ノ請願ノ趣旨ヲ貫徹スルヤウ政府ニ希望致シマシテ採擇ヲ望ミマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第九、仙法志村船入漁業施設工事促進ニ關スル請願、文書表第六四六號——紹介議員坂東幸太郎君
 ○坂東委員 仙法志村船入漁業施設工事促進ノ件デアリマスガ、是モ實地ニ行ツテ痛感シタノデアリマス、其ノ趣旨ハ北海道利尻郡仙法志村ハ全道屈指ノ漁村デアリマシテ、現在工事中ノ船入漁業ノ完成シマスレバ、其ノ漁獲高ハ數倍ヲ豫想セラレテ居リマスガ、工事ガ進捗セナイ爲ニ地方民ノ蒙ル不利益ハ甚ダ大ナルモノガアリマス、仍テ速カニ前記仙法志村船入漁業施設工事ヲ促進セラレタイト言フノデアリマス、政府ノ御意見ヲ御伺ヒマス

○鈴木(橋)政府委員 只今御話ノ仙法志村船入漁業施設工事ニ付キマシテハ、昭和十一年度カラ是ガ工事ヲ起シマシテ、十四年度ニ於キマシテハ一應工事ノ完成ヲ見タノデアリマス、併シ同地方ガ段々隆盛ニナリ、又漁業ノ根據地ト致シマシテモ大切ナル點ニ鑑ミマシテ、昭和十五年度ニ於キマシテ船入漁業ノ掘鑿浚渫ヲ圖ツタノデアリマス、更ニ政府ハ昭和十六年度ニ於キマシテモ是ガ擴張工事ヲ施行致シマシテ、其ノ完成ヲ期シタイ意向ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 此ノ村ハ非常ニ熱心デアリマシテ、其ノ村民ガ努力ヲ盡スル場合ニハ、才醫者サンデモ、坊サンデモ、地主サンデモ學校ノ先生デモ、皆出テヤル位ノ熱心サデアリマスカラ、ドウカ政府モ十分其ノ熱心サヲ買ハレマシテ、其ノ速成ヲ要望致シマシテ、採擇ヲ希望致シマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 議事日程第六、村社若宮神社昇格ニ關スル請願、文書表第六一六號——紹介議員藤生安太郎君
 ○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ佐賀縣西松浦郡黒川村大字小黒川鎮座村社若宮神社ハ昔時ヨリ地方民ノ崇敬メテ厚ク氏子及ビ崇敬者ノ昇格ヲ望望スルコト切ナルモノアリ、仍テ國體明徴敬神崇祖ノ見地ヨリ前記若宮神社ヲ速カニ郷社ニ昇格セシメラレタシト云フノデアリマスガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒマス

○飯沼政府委員 此ノ村社若宮神社ハ只今モ御話ガアリマシタ通り、昔カラ地方ノ崇敬ノ中心デアツタノデアリマス、其ノ由緒ノ方カラ見マシテ、他ノ郷社ト均衡ニ鑑ミマシテ直ダニハ餘議ガ難カシイノデハナイカト考ヘマスガ、尙ホ十分取調ベルコトニ致シマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス
 ○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)
 ○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第十、日本「フアイバー、ヤーン」統制協會ハ公正着實ナ實績ヲ有スル多數同業者ヲ無視除外シ、専ラ數名ノ協議ニ依リ設立シタルモノデ、而モ之ニ依ツテ利益獨占ノ目的ノ下ニ組織化サレタ團體デアル、斯クノ如キ團體ノ存立ハ事變下ニ於テ許スベキモノニアラズト信ジマス、現ニ着實ナ

○世耕弘一君 日本「フアイバー、ヤーン」統制協會ハ公正着實ナ實績ヲ有スル多數同業者ヲ無視除外シ、専ラ數名ノ協議ニ依リ設立シタルモノデ、而モ之ニ依ツテ利益獨占ノ目的ノ下ニ組織化サレタ團體デアル、斯クノ如キ團體ノ存立ハ事變下ニ於テ許スベキモノニアラズト信ジマス、現ニ着實ナ

○加藤委員 日程第十一、日本「フアイバー、ヤーン」統制協會ハ公正着實ナ實績ヲ有スル多數同業者ヲ無視除外シ、専ラ數名ノ協議ニ依リ設立シタルモノデ、而モ之ニ依ツテ利益獨占ノ目的ノ下ニ組織化サレタ團體デアル、斯クノ如キ團體ノ存立ハ事變下ニ於テ許スベキモノニアラズト信ジマス、現ニ着實ナ

○加藤委員 日程第十二、日本「フアイバー、ヤーン」統制協會ハ公正着實ナ實績ヲ有スル多數同業者ヲ無視除外シ、専ラ數名ノ協議ニ依リ設立シタルモノデ、而モ之ニ依ツテ利益獨占ノ目的ノ下ニ組織化サレタ團體デアル、斯クノ如キ團體ノ存立ハ事變下ニ於テ許スベキモノニアラズト信ジマス、現ニ着實ナ

ル同業者中ニハ前述ノ協會ノ專横ニ依リ遂ニ營業不能ニ陥ル者ガ多數アル現狀ヲアリマス、就テハ此ノ際日本「フアイバー」ヤーンノ統制協會ヲシテ國策ニ順應セシムルヤウ組織變更方御取計ヒ願ヒタイト云フノガ本請願ノ趣旨デアリマス、尙ホ其ノ一例トシテ統制協會ガ如何ニ獨善的ニシテ而モ專横デアラカト云フコトハ、此ノ「フアイバー」ヤーンノ輸入ニ付テノ量ヲ見マスト、インヴェイス「三百二十五」ルービールヲ三百七十「ルービール」トシテ届出テ居ルコトヲ云フヤウナリ方デアリマス、又内地ニ於ケル入札ノ方法ニ致シマシテモ、安價ナシキ方法ガアルニモ拘ラズ、寧ろ高價ナシキ方法ヲ講ジテソレヲ利用シテ暴利ヲ食ツテ居ルコトヲ實例デアリマス、其ノ内容ヲ見マスト、今日日本「フアイバー」ヤーンノ協會ノ理事長ハ全漁聯ノ役員ガソレヲ占メテ居ルト云フヤウナリ關係、即チ業者ニ利便ヲ與ヘルベキ趣旨ノ下ニ組織サレタモノガ、寧ろ逆ニ協會ノ利益ヲ目的トシテ居ルガ爲メ、却テ業者ハ其ノ犧牲ニ供サレテ居ルト云フ事實ガ各所ニ發見サレルヤウナリ實情ノ報告ガ出テ居ルヤウナリ次第デアリマス、故ニ此ノ際十分ニ此ノ點ヲ御研究ノ上、改組シテ國策ニ副フヤウニシテ裁キタイト希望スルノガ本請願ノ趣旨デアリマス、尙ホ此ノ際申上テ置キタイノハ、一昨年デアリマシタカ、ヤハリ之ニ類スル所ノ肩鐵會社ガ肩鐵統制ノ實現ノ名ノ下ニ可ナリ暴利ヲ貪ツテ居ル例ガアリマシテ、ソレヲ指摘シテ實ハ商工省ノ方カラ御注意ヲ願フテ相當改革シテ裁キタイ例モアルヤウデアリマス、ドウモ最近國策ト云フ名前ノ下ニ組織サレタ色々ナ協會トカ、或ハ會社ナルモノガ往々

ニシテ其ノ本旨ヲ脱却シテ、寧ろ獨占ヲ宜イコトニシテ暴利ヲ貪フテ居ル例、必ズシモ一例ニ止マラナイノデアリマス、此ノ點ハ將來トモ十分ニ監督ヲ行届キヤウニシテ裁キタイト云フコトヲ希望シテ巴マナイノデアリマス、此ノ際委員長ノ御許シテ願フテモウ一點之ニ類似ノ例ヲ申上テ見タイト思フコトハ、漁業水産カラ生シマス所ノ鮫ノ皮其ノ他ノモノデアリマス、此ノ點ハ實ハ和歌山縣ハ事變前ハ皮革業ニ關係シタモノデ毎年生産ガ千二百萬圓餘ニ上ツテ居ソトノデアリマスガ、此ノ事變後色々ナ關係ヲ殆ド工場其ノ他ガ休止ノ状態ニアルノデアリマス、是ガ一般牛馬皮ノ自由使用ガ出來ナイ爲メ代用皮ト致シマシテ、水産ノ鮫皮ナカカヲ統制シテ使ツテ居ワノデアリマス、昭和十四年八月七日ノ農林省令第三十九號ニ依リマシテ、皮革原料タル水産動物ノ販賣制限ニ關スル件ト云フ省令ニ基キテ、水産皮革統制株式會社ヲ設立サレタヤウデアリマス、所ガ遺憾ナガラ其ノ設立サレタ統制會社ノ會員ト云フモノハ全國デナシカ此ノ組合員ノ中カラ入ツテ居ラナイヤウデアリマス、而モ明治初年以來日本ノ皮革ノ元祖トモ云フベキ和歌山縣ノ關係業者約七十餘名、三千人バカリノ從業者ガ實ハ此ノ中ニ加ハツテ居ナイ、最近此ノ加ハツテ居ル所ノ十九名ノ履歷ヲ調べ見ルト、寧ろ新シイ人ガ加ハツテ居ツテ日本ノ皮革ノ開祖ヲシタト云フヤウナリモノ、所謂始祖トモ云フベキ業者ガ是カラ除外サレテ居ル、其ノ爲メ御承知ノ通り我ガ和歌山縣ハ全國ニ冠絶シタ水産皮革デアリマスガ、其ノ業者ガ手持無沙汰デ、折角多クノ鮫其ノ他ノ魚皮ガ水揚げサレテモ腐ラサレテ居ルト云フ

ヤウナリ現狀デアリマス、斯ウ云フヤウナリ結果折角ノ良案ガ實現サレナイト云フ實例ガアルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ對シテモ何カ一ツ工風ヲナサレ御考ヘガアルカドウカ、序ナガラ御考ネシテ置キタイト思フノハシテ置キマス、何卒御承知ノ上御採擇ヲ御願ヒテ置キマス

○榎原政府委員 日本「フアイバー」ヤーンノ統制協會ノ機構ナリ運営ノ方法ニ付テ御話ガアツクノデアリマスガ、御承知ノヤウニ組織變更ノ狀況カラ考ヘマシテ、運営致シテ參リマス上ニ於テドウシテモ適當ニ統制ガ必要ナリデアリマス、唯御話ノヤウニ、ソレガ極ク一部ノ者ニ限リテ當業者ガ排除サレルト云フガ如キコトハ、統制ノ趣旨トスル所デアナイト考ヘルノデアリマス、又協會ノ運営上ニ於テ利益ヲ獨占致シマストカ、御指適「インヴェイス」ノ點ナリ、入札方法ノ點等適正ヲ缺クモノガアリマスレバ、是ハドウシテモ是正シナケレバナラナイノデアリマス、吾々ノ方ニ於テキマシテモ能ク一ツ當協會ノ實情ヲ調査致シマシテ、必要ニ應ジテ適當ニ善處致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス

○坂東委員 本請願ハ採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第二ハ暫時後廻シト致シマス

○加藤委員 日程第四軍需ノ被服地等受註ニ關スル請願、文書表第六二八號一紹介議員渡邊玉三郎君

○坂東委員 代ツテ御紹介致シマス、其ノ趣旨ハ全國生産高ノ六割以上ヲ生産スル愛知縣中小毛織物製造業者ハ軍ノ注文ヲ受ケ、軍需用ノ織物ヲ製造シツツアルモ、原料ノ供給不調滑ノ爲メ全機能ヲ發揮シ能ハサルコトハ甚ダ遺憾デアリマス、依テ政府ハ該地方ノ生産設備ニ應ジ製織原料線ノ配給ヲナスト共ニ、中小工業維持育成ノ爲メ一貫作業ニ依ル大工場ト中小工業者ノ兩者ニ對スル發註品ノ利潤ヲ公平ナラシメラレタイト云フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○榎原政府委員 軍需ノ發註ノ關係並ニ受註ニ關スル御考ネデアアルノデアリマスガ、御承知ノヤウニ是ハ主ト致シマシテ軍當局ノ關係ノ御考ヘニ依リ譯デアリマス、勿論軍需關係ガ地方ニ於テキマスル中小企業ニ重大ナ關係ガアリマスノデ、商工當局ト致シマシテモ是等ノ發註ナリ受註ナリガ出來得ル限リ中小工業ノ保持育成ニ合ヒマスルヤウニ、軍當局ニモ御話致シテ居ルデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ今後トモ遺憾ノナイヤウニ行ハレルモノト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第二、工業小組合設立ニ關スル請願、文書表第六二七號一紹介議員渡邊玉三郎君

○坂東委員 是モ代ツテ御紹介致シマス、請願ノ趣旨ハ、毛織物及ビ雜織物ノ主産地タル愛知縣尾西地方ハ中小工業者ニ依ツテ

現在ノ如キ斯業ノ發達ヲ見タル實狀ニ鑑ミ、該地方ニ於ケル企業ノ合理化策トシテハ工業小組合法ニ依ル合同ヲ以テ最モ該地方事情ニ即應スルモノナリト信ズルモ、組合ノ設立ニ關シ其ノ人員及ビ加入資格ニ付テ明確ナル規程ナキハ洵ニ遺憾ニ堪ヘズ、仍テ政府ハ毛織物機織機以下ノ工業者ヲ資格者トシテ工業小組合ノ設立ヲ認可セラレタイト云フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ御承知致シマス

○榎原政府委員 中小企業ヲ整備合同致シテ參リマス上ニ於テ工業小組合ヲ作ツテ參ルト云フコトハ、地方ノ實情ガソレヲ適當ト致シマスナラバ吾々ト致シマシテモ結構ニ考ヘテ居ルデアリマス、唯工業小組合設立ノ方針ト申シマスガ、基準ハ相當明確ニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、工業小組合ノ建前カラ申シマシテ、大體ニ於テ資本金ガ十萬圓ノ限度トシ、又構成致シマス人員ハ十名内外ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、唯是ハ工業小組合ノ設立ノ標準デアリ且ツ基準デアアルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハサウ不明確トハ考ヘテ居ラナイデアリマス、唯實際上此ノ基準ヲソレノニ適用シテ小組合ヲ設立致シテ參リマス上ニ於テ、特ニ其ノ地方ノ實情ニ合ハナイト云フヤウナリ場合ガ必ズシモナイデモナイノデアリマス、左様ナ場合ニ於テキマシテハ、例ヘバ員數ニ致シマシテモ、十名内外ガ例デアリマスケレドモ、或ル程度ノ人數ガソレヨリ増スト云フコトモ必要ニ應ジテ認メテ參リ居ルデアリマス、又資本金ノ點ニ關シテマシテモ、單ニ設備費數百圓以下ト云フ風ニ之ヲ限定致シマシテハ組合ノ性質上參ラナイノデアリマシテ、

大體設備ノ評價等ニ依リマシテ、小組合トシテノ性質ヲ洩却シナイ程度ニ於テ是ガ設立ヲ認メテ參ルト云フ風ニ處理致シテ參リタイト考ヘテ居ルデアリマス

○坂東委員 色々政府ノ御意見モアリマシガ、兎ニ角尾西地方ニハ中小工業者ガ多イノデアリマスカラ、必要ガアルカラ斯ウ云フ請願ガ出ルノデアリマス、此ノ前ニモ出タコトガアルノデアリマスカラ、理窟ニ因ハレズニ實際ニ適スルヤウニ何トカ方法ヲ講ゼラレントコトヲ切望致シマシテ、採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第五、公定價格維持ニ關スル請願、文書表第六三三號一紹介議員瀧澤七郎君

○坂東委員 是モ代ツテ御紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ、政府ハ公定價格ヲ定メテ價格維持ヲ策セラレテ居リマスガ、資材不足ノ爲メ、資材獲得者ハ配給切符入手ヲ好ムニ、中小工業者ニ對シテハ難キ價格ヲ以テ製作ニ當ラシメラル爲メ、是等業者ニシテ其ノ轉落ヲ餘儀ナクセシメラル者ノ多イノハ洵ニ遺憾デアリマス、仍テ政府ハ、公定價格ヲ維持スルハ固ヨリ、經濟界ノ混亂ヲ招來セザルヤウ萬全ノ對策ヲ講ゼラレタイト云フ請願デアリマスガ、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○榎原政府委員 御話ノヤウナリ事實ニ付テハ承知致シテ居リマセマスガ、最近物資ガ不足シテ參リマシテ、公定價格ヲ決メマスト、仰セノヤウナリ事實ガアラウカト存ジマス、

今後公定價格ヲ決メマスト場合ニハ、物資ノ流レヲ調整シテ、必要ナリモノガ行クヤウニシナケレバナラナスト考ヘテ居リマスガ、十分事實ヲ調査致シマシテ、ソレ等ノ調整ヲ圖リタイ、又公定價格ヲ設定スル上カラモ、サウ云フ弊害ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス、是ニテ商工省所管ノ日程ハ終了致シマシタ

○加藤委員 次ハ農林省所管ニ移リマス

○加藤委員 日程第一ヨリ第五マデハ、マダ政府委員ガ御見エニナリマセスカラ、之ヲ暫時後廻シニ致シマス

○庄司委員 議事進行ニ付テ一政府委員ガ來ラレナイト云フ理由ハ如何デスカ

○加藤委員 マダ御見エニナリマセスカ、御出デニナルヤウニ今要求シテ居リマス

○加藤委員 次ハ日程第六、全國木炭企業株式會社設立ニ關スル請願、文書表第六四八號一紹介議員伊東若男君

○伊東若男君 此ノ請願ハ宮崎縣木炭商業組合聯合會理事長竹内勳氏ヨリノ提出デアリマスルケレドモ、實際ハ宮崎縣ノ木炭企業家全部ノ總意デアアルノデアリマス、簡單ニ請願ノ理由ヲ申上ゲマスルガ、瓦斯用木炭、工業用木炭、一般民需用木炭ヲ統一シテ全國ノ木炭會社ヲ設立セシメテ、地方生産縣ニ是ガ地方會社ヲ設立セシメテ、眞ニ計畫生産、配給統制ノ理想ヲ實現セラレタイ、特ニ此ノ請願ノ重點ハ、只今宮崎縣デ

木炭企業株式會社ノ設立準備中デアリマスルノデ、特ニ國家的ノ援助ヲ仰ギタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマスルガ、木炭ノ生産擴充ヲスルト云フコトハ喫緊ナル今日ノ急務デアリマス、然ルニ此ノ原木ノ減少ニ伴ヒ資材ハ次第ニ僻地ニ求メル外ナク、隨テ不便ナル山間ニ設備スル爲メ努力ト資本ノ投入額ガ激増シタ爲メ、地方産業組合ノ如キ貸付金ノ最高限度小額ナル單ニ一實行組合員ノ力ヲ以テ是等ノ資材ヲ開發スルコトハ、資金ト企業ノ經驗トニ於テ不可能デアルコトハ明カデアリマス、即チ企業者ヲシテ其ノ任ヲ果サシムルコトガ最モ適切ナリデアリマス、特ニ宮崎縣ノ實情ニ於テキマシテハ、企業製炭ヲ獎勵シテ木炭ノ生産ヲ圖ルコトガ最モ妥當デアルト信ズルノデアリマス、然ルニ現況ハ、企業者ヲ統合指導スル確乎タル統制機關ノ存在セザル爲メ、産業組合聯合會ト木炭商業組合聯合會トノ二ツニ分レテ、企業者等ハ僅カニ其ノ統制範圍ヲ消極的ニ生産ヲヤツテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ二ツノ團體ニ對スル當局ノ取扱モ必ズシモ公平ニ參ツテ居ラズニ、對立摩擦ノ情勢ガアル次第デアリマス、今日ニ於テハ木炭ノ集荷配給ト云フヤウナコトガ國家管理化シマシテ、隨テ價格等ニ付キマシテモ非常ニ公正ニナツタノデアリマス、ソコデ一際ノ副業製炭業者ト數千窯ヲ有スル企業者ト同格ノ取扱ニテハ本當ノ企業ノ生産發達ヲ期スルコトガ不可能デアルコトハ論ヲ俟タナイノデアリマス、速カニ企業者ノ組織ヲ完全ニシテ、製炭企業ノ強力ニ相互的ノ經營ヲナサシムルコトヲ云フコトガ非常ニ必要ダト思フノデアリマス、ソコデ宮崎縣デハ此ノ企業者ヲ土豪ニシタ木炭企業會社ヲ

○景山政府委員 只今ノ門崎村ニ郵便局ヲ設置致シマスルコトハ、郵便ノ方カラ見マシテモ計畫上ハ適當ナモノト考ヘラレル次第デアリマス、隨ヒマシテ將來他ノ地方ニ於ケル郵便局ノ設置トノ振合ヒヲ見マシテ、出來ルダケ速カニ設置スルヤウニ考慮致シタイト存スル次第デアリマス

○坂東委員 採擇ニ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

スレバ擴張ヲ致シタイ希望ハゴザイマスケレドモ、御承知ノヤウナ周圍デゴザイマスシ、又之ヲ擴張致シマスコトニナリマスト、多クノ經費ト又資料其ノ他ノ關係ガゴザイマスノデ、軍部ト致シマシテハ今直チニ之ヲ實行スルコトハ望ミ難イコト考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 此ノ趣旨ニ付キマシテハ政府ハ反對デモナイヤウデアリマスカラ、十分此ノ實現ノ爲ニ絶エズ御努力アラント切望致シマシテ、採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ

テ、當局ト致シマシテハ御承知ノ如ク勞務動員計畫ノ中ニ織込ミマシテ、地方的ニ色色勞力ノ不足ヲ來タスヤウナ跛行ノ結果ヲ來サナイヤウニ、十分計畫ノ中ニ織込ミテ實施ヲシテ居ルヤウナ積リゴザイマス、殊ニ農林省ノ關係ニ於キマシテハ分村懇談會デアリマストカ、開拓協力協議會等ヲ中央ニ設ケマシテ、各關係省ト緊密ナル連絡ノ下ニ、其ノ計畫ヲ遂行スルニ努力シテ居ル次第デアリマス、隨テ御承知ノ如ク勞務關係ニ於キマシテ、地方ニ於テ跛行ノ非、常ニ増産ニ影響アルヤウナ遂行方法ハ執ラナイ積リテ居ルノデゴザイマス、尙ホ請願ノ趣旨ノ如キ事情ガ地方ニアルト致シマスレバ、當局ト致シマシテハ出來ルダケサウ云フ事態ヲ生ジナイヤウニ、今後トモ注意シテ参リタイと思ヒマス

○坂東委員 是ハ無論臺灣ノ島民諸君ノ權利ノ伸張、議會トシテハ無量ニ望ミ、又政府モ反對ノ譯デハナイノデスカ、唯時期其ノ他ノ關係上今少シ研究シタイ、サウ云フヤウナ意味デアリマセウカラ、十分御研究ヲ願フト云フ意味ヲ參考送付ニセラレンコトヲ希望致シマス

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

補助ヲ出シテ居ラレト云フコトヲ御答辯ニナツテ居リマスガ、ソレハ町村デハナク郡單位ノ分村計畫ノ場合等ニ於ケル二百圓デハゴザイマセウカラ、實ハ私ハ宮城縣柴田郡ノ分村計畫委員デアリマス、又宮城縣ノ滿洲移民ノ評議員、或ハ其ノ他ノ役員ヲ勤メテ居リマスガ、只今ノ御答辯ノヤウニ一町村ニ對シテ分村移民或ハ其ノ他綜合的ノ移民等ニ於テ、二百圓ヲ下サルト云フヤウナ御計畫デアルガ、今マデ實際的ニ町村單位ニ御實施ニナツテ居ルカドウカ、一寸私ハ其ノ點ガ不明デアリマス、今一ツ御伺ヒシタイノハ左様ナ意味ニ於テ、私ノ縣ナンカハ郡單位ノ分村計畫ト云フモノニ、只今御協力ヲ申上ゲテ居ル次第デアリマスガ、郡デアリマスカラ、郡ニモ大小ハゴザイマスガ、宮城縣ハ平均約十二箇町村位ガ一郡ヲ成シテ居リマス、サウ云フ關係ニ於テ郡單位ノ場合ハ郡ノ町村會長ガ囑託ヲ受ケテ、移民ノ委員長ヲヤツテ居ルト云フヤウナ按配デアリマスガ、假ニ仰シタル通り十二箇町村位アリマスニ、二百圓頂戴スルト致シマシテモ、一町村ニ之ヲ割リマシテ場合ニハ、一箇町村ニ二十圓ニモ該當シナイノデアリマス、成程勞務動員ノ協議會等ノ經費モアリ、或ハ滿洲移民ニ關スル所ノ各種ノ獎勵移民等ノ會合等ニ相當ノ經費モ掛ル、又積極的ニ各部落ヲ訪問シ、其ノ家庭或ハ其ノ親類等ノ諒解ヲ得ル爲ニモ、相當ノ經費ガ掛ツテ居ルノデアリマス、縣ノ職業課ノ方ヨリ假ニ御説ノヤウニ二百圓ト云フモノガ一郡ニ參リマシテモ、恐ラク實際掛ル所ノ經費ハ其ノ五倍、乃至ハ積極的ニヤレバアル程其ノ十倍モ掛ルト云フヤウナ現狀ニアルノデアリマス、一町村平均二百圓

○庄司委員 綜合移民ニ關聯ヲ致シマシテ、一、二拓務省ノ御高見ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス、只今ノ政府ノ御答辯ノ中ニモ、町村ニ對シテ分村計畫等ノ場合ニハ二百圓ノ

○中嶋政府委員 簡單ニ申上ゲマス、臺灣ガ産業上、國防上極メテ重要ナル地位ニアルコト、殊ニ最近南方進出ノ前進基地ト致シマシテ、特ニ重要視セラレテ居リマスルコトハ、只今御述ベノ通りデゴザイマス、併シナガラ何ト申シマシテモ五百万ヲ超セル島民ノ文化教育ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、尙ホ内地ト相當ノ程度ガアルヤウナ事情デゴザイマシテ、今衆議院議員選舉法施行ト云フコトニ付キマシテハ、其ノ素地ニ缺ケル所ガアルヤウニ存ジマス、未ダ其ノ時機ニ到ラザルモノ、斯様ニ政府ニ於キマシテハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○加藤委員 朝鮮ノ場合ニモ述べマシタガ、兎ニ角其ノ趣旨ニ於テ反對スベキモノデナク、又島民ヲ治メル上ニ於キマシテ、彼等ニ希望ヲ與ヘルト云フ意味カラ、之ヲ研究シテ實現スルヤウニ努力スルコトガ必要デアルト思ヒマス、吾々ハサウ云フ立場カラ此ノ請願ヲシテ居リマス、其ノ意味カラ是非共採擇アラントヲ希望致シマス

○加藤委員 一寸速記ヲ止メテ...

○加藤委員 速記ヲ始めテ...

○坂東委員 是ハ無論臺灣ノ島民諸君ノ權利ノ伸張、議會トシテハ無量ニ望ミ、又政府モ反對ノ譯デハナイノデスカ、唯時期其ノ他ノ關係上今少シ研究シタイ、サウ云フヤウナ意味デアリマセウカラ、十分御研究ヲ願フト云フ意味ヲ參考送付ニセラレンコトヲ希望致シマス

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ

業專門學校ノ設置未ダナキハ甚ダ遺憾デア
リマス、仍テ地理的關係カラ見テ最適地デ
アル旭川市ニ、此ノ種ノ種々ハ何デモ宜
イノデアリマスガ、此ノ種業專門學校ヲ
設置セラレタイト云フノデアリマス、政府
ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○藤野政府委員 只今ノ旭川市ニ實業學校
設立ノ請願ニ付キマシテハ、北海道ニ旭
川地方ガ實業學校ヲ設置スルコトニ依リマ
シテ、同地方ノ産業開發ノ上ニ裨益スル所
モ多大デアルト云フ所ノ御見解ハ、政府ト
シテモ御同感ヲ申上ゲルノデアリマス、併
ニ付テ直チニ旭川市ト云フ所ヲ考ヘテ、課
參リマセシガ、今後諸般ノ狀況ニ依リマシ
テ實業學校新設等ヲ必要ト致シマス場合ニ
於テ、財政、資材或ハ學校分布等ノ狀況モ
併セ考ヘマシテ調査研究ヲ致シ、十分考慮
致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第三、中等學校ノ増設
及擴張ニ關スル請願、文書表第六四〇
號——紹介議員坂東幸太郎君

○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ、我が國教
育ノ發達ニ伴ヒマシテ中等學校入學志望者
激増シ、所謂入學難ナルモノヲ發生致シマ
シテ、入學者ノ健康ヲ害シ、父兄間ニ種々
ナル情實運動ヲ惹起セシムル等ノ惡結果ヲ
生ミツアルコトハ洵ニ遺憾ナク次第デアリ
マス、是ガ根本ノ防止策ハ中等學校ノ増設
及ビ擴張ニ依ル外途ハナイト信ジマス、仍

テ政府ハ中等學校ノ増設及ビ擴張ニ依リマ
シテ特殊ノ便宜ヲ與ヘテレバ尤モ特ニ御配
慮ヲランコトヲ切望スルノデアリマスガ、
之ニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○中野(善)政府委員 中等學校ノ普及及發達
ニ伴ヒマシテ中等學校ガ普及シテ、此ノ情
勢ニ鑑ミマシテ、文部省ニ於キマシテ、此ノ情
勢ガ根本ノ對策トシテ、入學考査法ノ改善ヲ
關リマス爲メ、極力生徒收容力ノ増加ヲ圖ル
コトヲ致シマシテ、即チ昨年十一月十九日通
閣ノ決議ニ依リ、入學考査法ノ完備ヲ期シマ
シテ、適宜且ツ必要デアルト認メマス場
合ニハ、生徒定員ヲ千五百名マデ増加スル
コトモ之ヲ許可シヨウト云フコトニ致シマ
シテ、更ニ進ミマシテ例外的臨時措置ト
致シテ、例ハバ授業時刻ヲ異ニスル特定ノ
學級ヲ編成スルコト云フガ如キ方法ニ關シマ
シテモ、是ガ認可ヲ考慮スルナドト云フヤ
ウナ方法ニ依リマシテ極力生徒收容力ノ増
加ヲ圖ルコトヲ致シマシテ、以上申上ゲマ
シテ、學校新設ニ關シマシテハ出來ル限
リ其ノ認可ノ條件ヲ緩和致シマシテ増設ヲ
促進スルコトニ致シテ居リマス

○坂東委員 成程一面サウ云フコトモオア
リデゴザイマセウガ、又實際ニ於キマシテ
ハ不便ナ例ガ澤山アリマス、新設學校ノ場
合ニハ二學年以上ノ編入ヲ絕對許サスト云

フコトモアリマスシ、設立ノ場合ニハ地方廳
デ形式的ニヤカマシイ條件ヲ附シマシテ新
設出來ザル場合ガアリマス、本年度モ生徒
ノ入レナイ者ガアリマスカラ、中等學校入
學級ノ積極的途ニ出ラレンコトヲ切望致
シテ本請願ハ採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第四、函館市ニ官立商
船學校設立ノ請願、文書表第六六〇號——
紹介議員大島吉吉君

○大島吉吉君 本請願ハ函館ニ官立商船學
校設立ノ請願デアリマスガ、函館ハ數年前
マデ三十年ノ歸史ヲ持ツテ居ル商船學校
ガアツクノデアリマスガ、戰爭前デ一時海
自通關ト云フヤウナコトカラ廢校ニナツタ
ノデアリマス、昨一昨年官立商船學校ガ
各地ニ設立サレルニ付キマシテ、函館モ問
題ニナツクノデアリマスシテ、又地方分布
ノ上カラ言ヒマシテモ、又技術的方面カラ
言ツテモ、海軍省或ハ海濱省アタリデモ、
北海道ニ商船學校ノ必要ヲ痛感サレテ居ル
ノデアリマス、吾々モ現ニ幾多承ツテ居ル
ノデアリマスガ、遺憾ナガラ昨年ノ春ハ
政治的解決ニ依ツテ瀬戸内海ニ三校ノ官立
商船學校ガ設立サレタノデアリマスガ、之
ニ依リマシテ函館市ニモ是非商船學校ヲ此
ノ時局ニ鑑ミマシテ設立サレンコトヲ御願
ヒスル次第デアリマス、現ニ相當ナル或一二
ノ海運業者ニ於キマシテハ、十萬圓ヲ一人
寄附テ致シテ、一日モ早ク設立シテ貴ヒ
タイト云フヤウナ點ヲ頻リニ言ウテ申込シ
テ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ他ハ多

ク申上ゲマセウガ、若シ御許シ出來ルモノ
ナラバ、此處ニ理由書ガアリマスルカラ、
此ノ理由書ヲ速記ニ載セルコトヲ御許シラ
願ヒマシテ、私ノ説明ハ是デ終リマスガ、
當局ノ御意見ヲ伺フテ速カニ採擇アランコ
トヲ御願ヒ致シマス

○藤野政府委員 只今函館市ニ官立商船學
校設置ノ件ニ付キマシテ、御述ベガゴザ
イマシテ、仰セノ通り函館市ニハ昔々商船
學校ノ設置ヲ完了致シマシテ、當時ハ海
員供給ノ關係等モアリマシテ、一應廢校ニ
ナツテ今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、唯
高等海員ノ養成ノ機關ト云フモノハ御承知
ノヤウニ、本年度ヲ以テマシテ高等商船
普通商船共ニ之ヲ官立ト致シマス建前ヲ執
リマシテ、大體一應ノ整備ヲ見タト云フヤ
ウナ狀況ニアノデアリマス、隨テ只今直チ
ニソレチヤ函館市ニ官立商船學校ヲ新設ス
ルト云フヤウナコトニ付テ當局トシテ考ヘ
テ持ツテ居ルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノ
デアリマス、併シナガラ今後ノ海運ノ國策
トシテノ進捗計畫ノ狀況、ソレカラ其ノ他
諸般ノ狀況モアルコトデゴザイマスカラ、
是等ヲ併セマシテ今後ノ問題トシテ十分考
究ヲ致シテ見タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
カラ御諒承テ願ヒタイノデアリマス

○坂東委員 十分ニ研究ヲ願フコトニシテ
採擇ヲ願ヒマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第五、國定教科書中ニ
大東亞共榮圈ニ關スル題材ヲ編入ノ請願、

文書表第六四四號——紹介議員坂東幸太郎
君

○坂東委員 國策遂行ノ根本ハソレニ關ス
ル知識ヲ國民ニ徹底周知セシムルヲ以テ其
ノ要諦トスベキモノナリト信ジマス、抑、大
東亞共榮圈ノ確立及ビ之ヲ指導スルモノハ
我が國ナルコトハ言フマデモアリマセウ、之
ヲ強ク把握シテ初メテ東洋永遠ノ平和
ガ得ラレルノデアルト思ヒマス、此ノ大國
策ヲ實現スルニハ單ニ政府ノ努力、議會ノ
贊成ノミナラズ、一般國民ノ眞ノ協力ヲ要
スル次第デアリマスレバ、之ヲ徹底周知セ
シムル方法トシテハ小、中等教育ノ國定教
科書中ニ之ニ關スル多量ノ題材ヲ多角的ニ
編入スルニアリト信ジマス、政府ハ此ノ點
ニ對スル精細ナル研究ヲ努力ヲ拂ヒ本請願
ノ趣旨ヲ實現ニ邁進セラレンコトヲ希望致
シマシテ政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○松尾政府委員 是マデ國定教科書ニ於キ
マシテハ支那事變ヲ契機ト致シマシテ日滿
支ノ提携ノ重要ナル點ヲ説キマシテ教材ヲ
可ナリ色ニナ教科書ニ掲ゲテ居ルノデアリ
マス、其ノ後時勢ガ進展致シマシテソレニ
伴ツテ教科書モ段々修正ヲ加ヘテ參リマシ
テ、大東亞共榮圈ノ確立ト云フモノガ日本
ニ取ツテ必要缺クベカラザルモノデアリマ
シテ、云フコトヲ兒童ノ理解シ得ル程度ニ應ジマ
シテ色々教科書ニ採入レテ按配シテ載セテ
居ルヤウナ次第デアリマス、更ニ今度ノ國
民學校教科書ノ編纂ニ當リマシテモサウ云
ツタウナ精神ニ基キマシテ大東亞共榮圈
ノ確立ノ必要性ト云ツタウナモノ或ハ其
ノ聖主タルベキ日本ノ地位ト云ツタウナ
モノヲ可ナリ強調致シマシテ大國民トシテ
ノ品格ヲ養成スルヤウニ努メテ居ル積リデ

ゴザイマスガ、尙ホ今後ニ於キマシテモ是
等ノ點ニ付キマシテハ一層考慮致シマシテ
十分注意ヲ加ヘテ參リタイ思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、男子ノ徳性涵養
ニ關スル教材ノ國定教科書ニ編入ノ請願、
文書表第六四七號——紹介議員坂東幸太郎
君

○坂東委員 我國ニ於テハ婦人ノ徳性涵養
ガ教育ノ上ニ於テ相當ニ徹底セラレ、是ガ
我國ノ家庭ノ基礎ヲ鞏固ニシ、子女教育ノ上
ニモ大貢獻ヲナシツウアルコトハ爭フベカ
ラザル事實ト思ヒマス、併シナガラ凡ソ家
庭ノ基礎ヲ鞏固ニシテ其ノ健全ナル發達ヲ
圖リ子女ノ教育ヲ徹底サスコト其ノ父タル
男子モ亦男徳ヲ發揚シ、夫妻相携ヘテ之ニ
當ラザルベカラザルコトハ正ニ當然ノ仕事
ト思ハレマス、然ルニ我國ノ家庭ノ實情ハ
妻トシテ母トシテ、即チ婦人ノ徳性涵養
程度ニ比シテ夫タリ父タル、即チ男徳發揚ノ
程度ニ至リテハ、之ヲ婦人ニ比シテ稍劣
ルノ感ガナイデモアリマセウ、是ハ國家ノ
基礎單位ナル家庭ノ健全ナル發達ヲ期スル
上ニ於テ頗ル遺憾ナル點ト思ヒマスレバ故
ニ、國定教科書中ニ於テ男子ノ徳性ニ關ス
ル各種ノ題材ヲ編入セラレンコトヲ請願ス
ル次第デアリマス、一應政府ノ御意見ヲ承
リ御採擇ヲ希望致シマス

○松尾政府委員 教科書ノ教材ト云フモノ
ハ總テ皇國民ノ健全ヲ目的ト致シモノデア
リマスカラ、只今ノ請願ノ御趣旨ノ通り父

トシテ又夫トシテ守ルベキ心得ヲ教ヘ論ス
ト云フコトガ重要デアルト云フコトハ勿論
デゴザイマス、隨テ國定教科書ニ於キマシ
テハ低學年ノ方デハ何分是ハ小サナ項是ナ
イ子供デゴザイマスノデ、ソレ等ニ對シテ
ハソレ等ノ子供ノ立場ト云フモノヲ十分考
慮致シマシテ、其ノ立場カラ父タリ、或ハ
夫タル男ノ世界ヲ眺メルト云フヤウナ態度
デ以テ書イテ居リマシテ、自ら兒童ニ理解
サセルト云フヤウニ致シテ居ルヤウナ次第
デアリマス、漸次高學年ニ進ムニ從ヒマシ
テ、其ノ記述ノ仕方ヲ次第ニ發達サセマシ
テ、出來得ル限リ分り易ク記述致シマシテ
家ニ關スル教材ト云フヤウナモノヲ多分ニ
採入レテ、其ノ中ニ或ハ父タルノ道、或ハ
夫タルノ道ヲ書キマシテ、只今御述ベニナリ
マシタウナ御趣旨ヲ點ヲ説明致シテ居ル
ヤウナ次第デアリマス、今後一層ソレ等ノ
點ニ付キマシテハ考慮ヲ拂ツテ行キタイト
思ヒマス、尙ホ一口申シ添エテ置キマスガ、
本省中等學校ノ教科書ヲ編纂致シテ居リ
マスガ、其ノ中ノ修身ノ教科書ノ中ニハ、
家ニ關スル教材ヲ隨分入レテ居リマス、其
ノ中ニ父タリ夫タルノ道ト申シマスガ、遊
幸實踐スベキ要點ニ付キマシテハ可ナリ詳
細ニ記述致シテ居ル積リデゴザイマス

○坂東委員 日本ハ元來男尊女卑ノ國デハ
ナイノデアリマスシテ、婦人ヲ尊重シテ國柄
デアリマシタガ、戰國時代カラ男子ガ尊重
サレテサウ云フ點カラ男尊女卑ノ傾向ガ習
性トナツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付
テ甚ダ遺憾ノ點ガゴザイマス、私モ多少研
究ノ結果出シテ請願デアリマスカラドウカ
シテ、次ノ機會ニ尙ホ一層男子ノ徳性涵養

ニ關スル教材編入ニ篤ト御配慮アランコト
ヲ希望致シマシテ採擇ヲ御願ヒ致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第七、學生ノ風紀振肅
ニ關スル請願、文書表第六三九號——紹介
議員坂東幸太郎君

○坂東委員 大學及ビ專門學校ノ卒業者ハ
將來社會各方面ニ於ケル幹部級ノ人物トナ
ツテ活動セザルベカラザル大切ナル職責ヲ
有スベキデアリマス、隨ツテ在學中當ニ學
問ニ勉勵スルノミナラズ、健康ノ増進ハ勿
論、徳性ノ涵養ニ大熱意ヲ有セシメネバナ
ラナイト思ヒマスガ、近時ノ傾向ハ學問ノ
研究ニノミ重點ヲ置キ過ギテ、後ノ徳性ノ
涵養ニ國家トシテモ、學校トシテモ熱意ヲ
缺クノ嫌アルコトハ眞ニ痛嘆ニ堪ヘナイノ
デアリマス、盛リ場ノ「カフエ」ノ客ノ大
部分ガ學生デアツタリ、朝寢、夜更カシ等
ノ不攝生ガ常習トナリ、恩師ニ對シテ父母
ニ對シテ敬愛尊崇ノ念薄ク、三ヶ月ニ渉ル長
期ノ夏季休暇中ハ慢然トシテ之ヲ空費スル
ノ狀況ニアリマシテ、其ノ家庭ノ手傳ヲナ
ス者ハ殆ドナイト云フヤウナ狀態デアリマ
ス、斯クノ如キコトハ將來社會各方面ニ幹
部タル教育ヲ怠ル者ト稱スベキモノデアリ
マシテ、眞ニ由々シキ大事ト思ヒマス、現
在ノ時局ハ斯カル安逸ヲ許サルベキモノデ
ハアリマセウ、故ニ政府ハ學校當局ノミニ
一任スルコトナク、十分ニ之ニ活ヲ入レマ
シテ此ノ弊風ヲ打破シ、彼等ノ自覺反省
ヲ促シ、社會各方面ノ大量幹部養成ニ對
シマシテ努力セラレンコトヲ特ニ御願ヒス

ル所ノ請願アリマスガ、尙ホ政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○藤野政府委員 只今學生ノ風紀振肅ニ關シテ、御同感ヲ申上ゲ、且又極メテ重要ナ事柄ヲ考ヘテ見マシテモ、又來ルベキ難局、如何ナル事態ノ發生ニ對シテモ、搖ギナク我ガ帝國ノ國策ヲ遂行シテ行ク、サウシテ東亞ノ新秩序、世界ノ新秩序ノ建設ト云フ指導的ナ役割ヲ遂行スルコト云フ爲ニ、國民生活ノ全領域ニ互ツテ刷新ヲ要スルモノガアルノデアリマスガ、殊ニ將來國家ノ根柢ヲ培フベキ教育ノ分野ニ於キマシテ其ノ必要ノアルコトハ言フヲ俟チマセズ、中堅國民タルベキ學生ト云フモノノ風紀振肅ハ、仰セテ通りニ刻下ノ緊要事デアルト考ヘテ居リマス、文部省ト致シマシテモ只今ノ御陳述ニナリマシタ點、例ハ學生ノ間ニ遊惰安逸ノ風ガアリ、進ンデ此ノ時局、國難ニ對處シテ皇國ノ青年トシテノ意氣ヲ十分ニ發揚スルノ氣概ノ尙ホ足ラザルモノアルコトヲ感ジマシテ、本省トシマシテハ教育ノ全般ニ互リマシテ改革ヲ只今企テマシテ、教育ノ内容ヲシテ皇國ノ道ニ則テ師弟一體、先生ト生徒學生トガ一體トナリ、俱學俱進、教師モ生徒モ學生モ共ニ學ビ共ニ道ヲ求メ共ニ精進スルコト云フ建前ヲ以テマシテ皇國國民ノ鍊成ヲ主眼トスル教育ヲシメタイ、要約スレバ學業ニ致シ教育ノ精神ヲ確立スルコト云フコトト共ニ、皇國ノ地位使命ト云フモノノ自覺ヲ十分徹シマシマシテ、大國民ノ氣魄、資質ノ啓培ト云フコト

トニ努メタイト云フ點カラ教育ノ刷新ニ努メツアルノデアリマス、十六年度カラ幸ヒニ御協賛ヲ經マシテ實施ニナリマスル國民學校制度ノ如キハ正ニ此ノ精神ヲ採ツタモデゴザイマス、同時ニ此ノ國民學校ノ精神ト相照應致シマシテ、大學、專門學校教育ノ方面ニ於キマシテモ、制度内容共ニ改善スベキモノガ多クアルト考ヘテ居リマス、教育審議會ノ調査審議ノ結果ト並行致シマシテ、既ニ專門學校、高等學校等ノ教授要目モ相當ニ改正ヲ致シ、又集團勤勞作業ト云フヤウナコトモ勤勞ノ尊重、勤勞ヲ通ジテ心身一體トスル一ツツ修練ヲ積ム、之ニ依ツテ大イナル教育的ナ效果ヲ收メルト云フ建前カラ是等ノ作業、實施等モ致シテ居リ、最近ハ又學内ニ修練組織ヲ確立シテ團員マシテ校長、學長ヲ中心トスル修練組織、一體ノ組織ヲ作りマシテ、或ハ鍛鍊部、訓練部ト云フヤウナ部モ設ケ、教育者並ニ學生生徒ガ一體トナツテ皇國青年學徒トシテノ修練ヲ積ムヤウナ組織モ今作りマシテ、是方徹底ニ折角努力ヲ致シ、計畫モ逐次進メツツアルコト云フ建前デアリマス、尙ホ此ノ外ニ只今御話ノゴザイマシタ點、尙ホ此ノ腹ヲ作ルコト云フ建前カラ、學生生徒ニ對シマシテ修練ヲ重シズルノ氣風ヲ昂揚スルコト云フ建前カラ、是マデ置カレテ居リマス大學、高等專門學校ノ學生主事或ハ生徒主事ト云フヤウナ者ヲ集メマシテ、サウシテ鍛鍊講習等ヲ行ヒ、行方中心ト致シマシテ講習等モ實施致シマシテ、主事等ノ心構モ新トシ、是ヲ以テ學生生徒ノ指導ニ積極的ニ乘出スルコト云フ努力メテ居リマス、最近、御承知ノ如クイテ居ルカト思ヒマスガ、大學、例ハ巴同志社大學或ハ高等學

校等ハ學生生徒ノ方カラ進ンデ修練講習ヲ受ケタイト云フ點ガ起リマシテ、極ク最近ニ於キマシテモ第六高等學校等ハ修練講習會ヲ實ハ實施スル運ビニナツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ與亞學生トシテノ氣魄ヲ十分ニ鍊リマスル爲ニ、與亞學生勤勞報國隊ヲ組織致シマシテ、昨年度ニ於キマシテハ總力二千五、六百人、本年度ニ於キマシテモ大體同數位ノ大學、高等專門學校ノ學生ヲ選ビマシテ滿洲、支那、北支、南支等ニ派遣ヲ致シ、或ハ專攻致シマシテル學科ヲ通ジテ特長ヲ得テ滿洲ノ建國ニ奉仕シ、或ハ北支ノ後方勤務等ニモ携ハラシテ戰クコト云フヤウナコトモ致シテ居リマシテ、本年モ之ヲ實施スル積リデアリマス、要スルニ今日マデノ稍、遺憾ト致シマスル西洋風ナ大學ノ考ヘ方ト云フモノヲ一新致シマシテ、眞ニ皇國青年學徒トシテノ徹シタル自覺ヲ得セシムルコト云フ建前ノ學風ヲ作興スルコト云フコトニ努力ヲ致シテ居リマス、御述ベノ點ハ、私共如何ニモ御尤モ存スルコト、今後更ニ此ノ點ニ付テ十分ノ對策ヲ講ジ、努力ヲ拂ヒタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

水戸ガアルト云フコト、三年程前カラソレヲ採ルコトガ出來ナクナツタノデスガ、其ノ赤井部落ハ非常ニ貧乏村デアリマシテ、氣候モ寒イシ、田モ畑モ思ハシクナイ、仍テ五十町歩ナント云フ廣イ地積ハ要ラナイト下サツテ、後ノ部分ハ貧乏ノ生活ノ爲ニ開放シテ載キタイ、一、二度私ハ斯ウ云フ御願ヒラシクノデスガ、マダ實現シマセスカラドウゾ御願ヒシタイ、此ノ機會ニ天然紀念物ト保存ノ範圍ヲ御考慮ヒタイ、斯ウ云フコト一ツ御願ヒシテ置キマス

○阿原政府委員 採擇ニ決シマシタ

○阿原政府委員 御請願ノ御趣旨ノゴザイマスル各寺院ニ於キマシテ、或ハ日夕御詣ヲ拜讀致シマスルコト、又聖德太子ノ御像ヲ御祀リ致シマスルコト云フコトハ、私共御請願ノ趣旨ニ存スル建前デアリマス、尙ホ政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

本問題ニ付キマシテハ今後ニ於キマシテモ政府ニ於キマシテ十分研究ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○川崎(巳)委員 今坂東君ハ平田親負ノ件ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、吾々別ノ例ヲ澤山持ツテ居リマス、其ノ中ノ一ツノ例ハ此ノ委員會デ昨年デスカ一昨年デスカ、大層問題ニナツタコトデアリマスガ、明治天皇ガ甲州(行幸セラレタ時)ノ色々史實ニ徴スベキモノガアツテ、山梨縣出身ノ議員諸君ガ此處ニ大勢出マシテ、其ノ事績ヲ述ベ、其ノ條件ニ嵌ル嵌ラナイト云フヤウナ答辯ヲ其ノ時ハ政務官ガ答ヘラレタケレドモ、其ノ材料ヨリモ議員諸君ノ述べタ方ガ詳シクテ正シイヤウニ私共傍觀者ニ見エマシタカラ、採擇ヲ致シマシタガ、ソレデモ文部省ハ聽カナイ、何デモ後デゴザイシテ、聖蹟顯彰會ノ仲間ハ會ヲ作ツテ、碑ヲ建テテシマツタ、サウスルト其ノ石屋ニ縣廳カラ干渉ヲシタトカ何トカ云フ話モ、是ハ實否ハ分リマセズガ、ソナナ時ガアツタ、ソレデスカラ範圍ヲ擴張スルト云フ意味ニ當ルカドウカ分リマセズガ、サウデナクテモ、サウ云フ事柄ガ澤山アリマスル事例ニ鑑ミマシテ、文部省デ監督ヲナサツテ居リマスル史蹟調査會ノ方針カ何カラモウ少シ實情ニ副フヤウニ、餘リ窮屈ナ自體自縛ノヤウナモノニシナイヤウニ、一ツ直スコトモ此ノ際御考慮下サツテハ如何カト思ヒマスノデ、ソレデ此ノ請願ニハ賛成ヲ致シマス

○大橋委員 今ノ問題デスガ、私モ適切ナ例ヲ此ノ間御願ヒラ致シタノデス、品川ノ明治天皇ノ聖蹟デアリマス、アレモ中々文部省デヤツテ呉レナカツタ、私ハ保存會ノ會長ヲシテ居リマス、西郷侯爵ハ日本ノ戰ハシク、所ガ今坂東サンノ御話ノ如ク、形ガナイト云フ、形ガアリツコトハナイ、火事ニ再三罹ツテ居ルカラ形ハナイ、併シナガラ本陣ノ敷地ノ形ハ明瞭ニ殘ツテ居ル、而モ東京府ハ惡イ病院ガアルノヲ移轉シテ、聖蹟ノ保存ニ力ヲ盡シ、東京市亦區民ガ上納シマシテ土地ヲ公園ニシテ、サウシテ既ニ石碑ヲ建テテシマツタ、文部省ノヤツテ居ルコトハ甚ダ申上ゲテハ激越ナル言葉ニナリマスガ、思想ノ導線ト云フヤウナ言葉ガアルケレドモ、サウ言ツタヤウナ實際ノ

問題ニ觸レテ、遷都ノ初ニ威儀ヲ整ヘサセラレテ江戸城ニ入ラレタト云フ、維新史ノ上ニ大キナ印象ヲ國民ニ與ヘルヤウナモノサヘモ其ノ儘ニナツテ居ル、私ハ長イコトヲ申上ゲテ甚ダ相濟ミマセズガ、ドウカ今ノヤウナ坂東サンノ御話ノ如ク、何分トモ窮屈ニナラザルヤウ、場所モ考證ノ所ヲ御考ヘ下サイマシテ、適當ニ御處置ヲ願ヒタイ、關聯シマシテ一言申上ゲテ置キマス

○阿原政府委員 御請願ノ御趣旨ノゴザイマスル各寺院ニ於キマシテ、或ハ日夕御詣ヲ拜讀致シマスルコト、又聖德太子ノ御像ヲ御祀リ致シマスルコト云フコトハ、私共御請願ノ趣旨ニ存スル建前デアリマス、尙ホ政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○中野(寅)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、天然紀念物ノ保存ノコトデス、是ハ福島縣北津郡津村、猪苗代湖水ノ南ニ赤井谷地ト云フ所ガアリマス、其ノ谷地ニ稀ナ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員 採擇ニ決シマシタ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員長 採擇ニ決シマシク、是ニテ文部省所管ノ議事日程ハ終了致シマシク、暫時休憩致シマス、午後一時半ヨリ開會致シマス

午後一時休憩
午後一時四十分開議

○加藤委員長 是ヨリ開會致シマス、農林省所管

日程第一、農業保險法改正ニ關スル請願、文書第六五二號——紹介議員渡邊健君
○渡邊健君 請願ノ要旨ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、第一ハ農業保險法ノ第一條ニ依リマシテ、市町村農會ノ共済事業ノ目的タル農作物及ビ小作料ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ、其ノ勅令ノ第一條ヲ見ルノニ、陸稻ガ共済事業ニ加ハツテ居ラナイノデアリマス、之ヲ加ヘテ實フコト云フコトガ請願ノ第一條ニ加ヘテ載クコトニナリマス、第二條ニモ陸稻ガ一番困ツテ居ル災害ノ中ノ旱害及ビ風水害ヲ共済事故ニ加ヘテ載キタイノデアリマス、ソレカラソレニ關シテ第三條ノ共済責任期間デアリマスガ、之モ右ト同様ニシテ載キタイト云フコトガ大體ノ要旨デアリマス、其ノ理由ハ、陸稻ハ水稻ニ次グ主要食糧デアリマシテ、一般ニ米ト云フモノノ中ニハ陸稻モ入ツテ居ルノデアリマス、今日食糧増産ヲ叫バレテ居ル時ニ、陸稻ハ水稻ト同様國及ビ縣カラノ割當ニ依ツテ増産ニ努力シテ居ルノデアリマスガ、遺憾ナガラ陸稻ハ旱害又ハ風水害ニ罹ルコトガ非常ニ多ク、毎年減反ノ傾向ヲ辿ツテ居ルノデアリマス、

是ハ茨城縣ノ狀況デアリマスガ、茨城縣ノ昭和十一年、十二年、十三年、十四年、十五年ヲ比較シテ見マスト、昭和十一年ハ三萬六千七、十二年ハ三萬八千八、十三年ハ三萬九千九、十四年ハ三萬九千九、十五年ハ三萬九千九、是ハ作付面積ニ依ツテ肥料ノ供給ヲ多クシテ與レルト云フ意向ダツタノデ、數字ハ殖産エテ居リマスガ、實際ノ作付ノ反別ハドウカト云フト、是ハ減ツテ居ルト思ヒマス、水稻ニ付テハ農業保險法施行令第一條乃至第三條ニ依リマシテ共済金ノ交付ヲ受ケルコトガ出來ルノデアリマスガ、陸稻ハ除外サレテ居ル爲ニ、昨年ノ如キハ關東一帯ニ互ツテ總面積ノ六割全減ト云フヤウナ被害ヲ被ツテ居リマスガ、縣及ビ國カラハ何等ノ救済ヲ受ケテ居ナイノデアリマス、關東地方ノヤウニ陸稻ヲ以テ飯米トスルヤウナ地方デハ、本月ノ初旬頃カラ配給米ヲ以テ、飯米トスルヤウナ狀況デアリマシテ、六、七月頃ニナリマスト、殊ニ茨城縣ノ陸稻ヲ多ク栽培スル地方ナドハ農家自身ニ飯米ガナクナツテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、農業保險法第三十六條第一項ニ依ツテ保險組合員ニ對シテ共済金ノ交付ヲナス事業ヲ實施シテ居ルノデアリマスガ、今度ノヤウニ七割以上ノ減收ヲ見マスト、中々拂ヒ切レナイノデアリマス、其ノ初メノ約束ハ反當五圓ノ共済金ヲ出スト云フノデ、二十錢ツツ徴收シテ居ツタノデアリマスガ、今度ノ旱魃ニ依ツテ見ルト、多イ所デ反當四十九錢、少イ所デ二十三錢ノ共済金シカ拂ツテ居ナイノデアリマス、是デハ種代ノ半分ニ

モナラナイト云フ狀況デアリマス、サウ云フ風デアリマスカラ、陸稻ノ栽培ハ段々減ツテ行クト思ヒマス、茨城縣ノ狀況デハ陸稻ヲ栽培スルト反當四十三圓二十錢ノ收穫ヲ上ゲルノデアリマス、反當一石二升二合デスカラ、最近ノ平均デハ四十三圓二十錢ノ收穫ヲ上ゲルノデアリマスガ、拂出シハドウカト云フト六十七圓五十五錢、二十四圓三十五錢ノ手間賃ノ損ト云フコトニナツテ居リマス、之ヲ甘藷ニ比較致シマスト、廿八圓八十一圓八十八錢ヲ上ゲテ居リマシテ、七十三圓十五錢ノ支出ニナリマスカラ、八圓七十三錢ノ利益ニナリマス、大豆ヲ見ルト、大豆ハ五十二圓七十五錢ノ收穫ヲ上ゲ三十三圓九十一錢ノ支出デアリマスカラ、十五圓八十四錢ノ得ト云フコトニナルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ陸稻ヲ栽培スルコトガ一番損ダト云フヤウナ立場ニナツテ來ルト、ドウシテモ陸稻ノ栽培ト云フモノハ少クナツテ來ルヲ得ナイ、サウ云フコトカラ考ヘテ見マシテ、陸稻ノ共済金ノ農業保險法ノ第一條ニドウシテモ加ヘテ載イテ、政府ニ今少シ之ニ對シテ盡力シテ載キタイノ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、殊ニ是ハ他ノ地方ハ能ク知リマセマスガ、關東地方デハ陸稻ヲ栽培シテ、サウシテ陸稻ハ御承知ノ通りマヅイモノデアリマスカラ、其ノマヅイ米ヲ農家デ食ベテ來タノ他ニ賣出ハサウデナク、マヅイ米モオイシイ米モ全部國家管理ニナルト云フヤウナ都合ニナツテ來ルト、陸稻ハ段々減ツテ來タナツテシマフノデアリカト云フコトヲ考ヘマスト、斯ウ云フ農業保險ト云フ制度デ此ノ方ヲ少シデモ生カシテ行クヤウニシテ載キタイト

思フノデアリマス、是ガ請願ノ理由デアリマス
○坂東委員 政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス
○岸政府委員 只今御話ノ陸稻ヲ農業保險法施行令ノ第一條ノ共済目的ナル農作物ニ加ヘルト同時ニ、其ノ共済ノ事項ノ旱害風水害等ノ事項ヲソレニ考ヘテ實フ、サウ云フヤウナ點ニ付テノ御意見ガアリマシタガ、陸稻ノ點ニ付キマシテハ、農業保險法ガ出來マス際ニ於テモ十分検討サレタノデアリマシテ、其ノ際ニ共済ノ對象ニ入レナカツタト云フコトハ、是ガ主トシテ關東地方ニ限ラレテ居ルヤウナ傾向モアツタノト、ソレカラ又其ノ排作ヲシテ居ル作付ニ或ハ新墾地ニ作ルト云ツタヤウナコトデ、相當異同ガアル、斯ウ云フヤウナコトモアリマス、又只今御話ニナリマシタヤウニ、旱害ノ危險モアルト云フノデ、其ノ危險ノ狀態ヲ一定ニ豫想スルコトモ中々難カシイヤウナ事情ガアリマシタノデ、政府ガ再保險ヲ行フ所ノ農業保險ノ對象デアル農作物ニ加ヘナカツタ、斯ウ云フヤウナ譯デアリマス、併シ地方的ニハ色々考ヘナケレバナラズコトデアリマス、先程御話ニナリマシタヤウニ、保險法ノ第三十六條第一項ノ農業保險組合ノ中ニ於テオヒヒ共済スル所謂第二類ノ種類ノ中ニ入レテ居ルヤウナ譯デアリマス、之ヲ米麥ト同ジヤウニ取扱フコトニ付テハ、尙ホ只今申上ゲマシタヤウナコトニ付テ十分研究シナケレバナラズコトダト思フノデアリマシテ、困難性ハ相當アルト思ヒマス、併シ吾等トシテモ十分研究ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

尙ホ陸稻ノ栽培ヲ或ル程度維持シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、勿論斯ウ云フ方面カラ研究スルコトモ必要デアリマセウガ、同時ニ耐寒性ノ品種ヲ作ツテ行ク、或ハ其ノ栽培法ヲ合理化シテ行クト云フヤウナ點ニ付テ或ル安定性ヲ與ヘテ行ク、又収益性ヲ加ヘテ行クト云フヤウナ方面カラヤハリ努力ヲシテ行カケレバナラズ思フノデアリマス、ソレ等ヲ併セテ十分研究ヲシテ見タイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○渡邊(健)委員 陸稻ハ非常ニ出來不出來ガ多イトカ、其ノ理由デ中々難カシイト云フ御話デアリマスガ、政府側ノ方カラ考ヘルト、安定性ガナイト云フコトハ保險ノ對象トスルノ非常ニ御困リダト思ヒマスガ、併シ農民ノ側カラ申シマスト、安定性ガナイカラ是非斯ウシテ徹底シテ方策ヲ執ツテ實ヒタイノデアリマス、災害ガ少ク、ソレカラ又出來不出來ガナイト云フヤウダツタラ、何モコンナ共済制度ハ必要ガナイノデアリマス、殊ニ陸稻ハ水稻其ノ他ヨリモ非常ニ災害ノ程度ガヒドイノデアリマス、慎重御考慮ノ上是非實施シテ載キタイト思ヒマス、採擇ヲ御願ヒ致シマス
○坂東委員 採擇ヲ希望シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセマスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

ガ、是モ段々加ヘテ行カケレバナラズヤウナ時勢、國情ニナツテ來タノデハナイカト存ジマス、請願者ノ趣意ヲ體シマシテ簡單ニ其ノ趣意ヲ簡明致シマス、平常ナラベ政府ノ豫算ガ澤山出ルノニ對シテ議會ノ方ハソレヲ減ラヌコトガ慣例デ、殊ニ議員ハ少シデモ減ラヌコトガ慣例、如クニナツテ居リマス、今度ノ議會ニ於キマシテハ、所謂實業會議、協力會議、何デモ彼デモ御手傳ヒシテヤツタノデアリマス、殊ニ食糧増産ニ關シテハ議會ノ側デ以テ、ソナテ貧弱ヲ追加豫算デハイカスデハナイカト云フコトデ、無理ヤリ政府ヲ鞭撻シテト云フト語弊ガアルカモ知レマセマス、腕ツクノヤウナ談判マデシテサウシテ三千万圓餘分ニ奮發シテ上ゲタ、ソレ程議會ハ眞剣ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ重要食糧品増産ノ中ニ「ライ」麥ガ入ツテ居ナイコトハ、今マデノ實情カラ見テ已ムヲ得ナイ事情モアリマセウケレドモ、是カラ先ノコトヲ思ヘバ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、「ライ」麥ニ付テハ當局者ガ私共素人ヨリ遙カニ能ク御存ジノ通り、北ヨロシバ、「カナダ」米國等ノ寒イ處ニ主ニ澤山出來ルノデアリマス、ソコデ其ノ數量ガ餘所ノ國ノ食糧品トシテハ非常ニ大キイモノデ、一九四〇年ノ表ニ依リマスト、「ソウ」エト「デ」二千萬、キロ出來マス、「一番」ガ「ドイツ」デ九百三十八萬、キロ「三番」ガ「ポーランド」デ七百六十三萬、キロ「アメリカ」ハ湖ツテ三百七十七萬、キロ「カナダ」ハ「ハンガリー」「リス」ア「オランダ」「フィンランド」等澤山出來マス、サウシテ其ノ栽培面積ハ四千六百六十萬ヘクタールヲ世界デ此ノ爲ニ使ツテ居リ生産高ハ五億萬「キントル」ト稱セラ

レテ居リマス、之ヲドウシテ日本デ以テ手ヲ掛ケナイカ、日本ニハ左様ナ寒地帯ガナイカト云フト、樺太ガアリ、北海道ガアリマス、ソレカラ最近ハ日滿經濟一體デゴザイマシテ、「ソ」滿國境ニ面シタ所ノ北滿地帯ガズツ、「ライ」麥ニハ非常ニ適シテ居ルト思ヒマス、又日本内地ニ於キマシテモ、日本「アルプス」ト稱スル方々ノ山ノ荒レテ居ル處ニ極ク適シテ居ル、唯之ヲ不便ダト云ツテ放ツテ置クダケノ話デ、此ノ邊ノ農家ハ智慧モナシ何モナイカラ放ツテ置クノモ已ムヲ得ナイガ、農林當局トシテハ世界ノ農産物ノ大勢ナドヲ能ク御調ベニナリ、又日本内地ノ方ノコトモ御考ヘニナツテ居ルノデゴザイマスカラ、少シ眼界ヲ廣クシテ且ツ御親切ノ度ヲ増シテ、是等ノ山村ニ殖ヤサセル方法ヲ御考ヘ下サツテハドウカ、斯ウ云フノガ御相談ヲ申上ゲ、且ツ請願ヲ致ス趣意ナドデゴザイマス、ソコデ内地ノ食糧品トシテモサウデゴザイマスガ、樺太ナドニ日本ノ移住者ヲ獎勵シナケレバナラズ北海道ニ移住ヲ獎勵シナケレバナラズ、ソコデニナツテ居ルガ何デモ彼デモ米バカリ食ベサセルト云フ政策ハ間違ツテ居ルカラウト思ヒマス、況ヤ高山タノ荒レタ所「ライ」麥ヲモツト作レバ出來ルノデアリマス、少シバカリノ空地利用ト云フコトハ「悪い」コトデハナイガ、此ノ頃始終叫バレテ居ル目先ノ空地ヨリモ非常ニ大キナ面積ガアルノデアリマセウガ、實行シテ居リマセウカ大イニ奮發シテヤツテ載キタイ、殊ニ又軍隊ノ方カラ見マスト、先年「シベリア」出兵ヲ日本デシタコトガアリマス、サウスト、「イルク」ツク「ダ」ノ「チタ」

ダノ、アノ方面ヘ行キマスト、日本ノ米ガ其ノ當時一石三十圓方内地ノ相場デアツタノデアリマスガ、段々手數ヲ掛ケテ、軍隊ノ安イ經費デ持ツテ行キマシテモ、「イルク」ツク「ダ」ノ「チタ」ツク、アノ方面ヘ行キマスト、一石九十圓モスル米ヲ兵隊ノ軍需ガセツタト云フ、何處マデガ事實カ知リマセウガ、驚クベキ話ヲ聽カサレタ、是カラ先「シベリア」ハマアドウカ知リマセマスガ、其ノ近クノ「ソ」滿國境ナドニ日本ノ兵隊、ソレニ附屬スル軍馬若シクハ唯ノ人民ガ行ク譯デアリマスカラ、現地調辨カ何カサセナケレバ、日本カラ持ツテ行ツテ、石九十圓ニナラマデニモ、コチラデモ甚ダ拂底シテ居ルモノヲソコマデ運ンデ行クト云フ政策ハ甚ダ愚ダト思フ、マア承リマセバ、我が支那ニ行ツテ居ル澤山ノ軍隊ノ食糧品ニ付キマシテモ、近頃ハ成ベク現地調辨ノ方法ヲ執ツテ、南支方面ニ居ル軍隊ハソコデ米ガ出來マスカラ、其ノ土地ノ米ヲ用ヒルコトニナツテ居ルト承ツテ居リマス、南支那ノ方ハソレ宜シイ、中支那モソレ宜シイ、ケレドモ北支那及ビ是カラ先永久ニ日本軍ガ駐シナケレバナラズ蒙疆、是ハ日支條約ニ依リマシテモ永久ニ兵ヲ置カケレバナラズ講デアリマセウガ、アンナ米ノ出來ナイ所ニ米ヲ餘所カラ持ツテ行ツテ食ハセル政策デハイケナイ、サウ云フ方面ハ陸軍ノ當局ガ御考ヘニナルデアリマセウガ、ソレ等ノ爲ニモ日本ノ政治上ノ權力ノ下ニアル所ハ無論ノコト、蒙疆ノヤウナ、我が領土デハナイニシテ見タ所ガ、實際大キナ勢力ノアル所ニハ段々之ヲ獎勵スルヤウニシテ載キタイ、斯ウ云フコトヲ御願ヒシタイノデアリマス、ソコデ朝鮮

○加藤委員長 日程第二、「ライ」麥増産獎勵ニ關スル請願、文書表第六三三號——紹介議員川崎巳之太郎君
○川崎(巳)委員 「ライ」麥ハ只今マデ重要食糧品ノ中ニ加ハツテ居ラナイノデアリマス

第三類第一號 請願委員會議錄 第十一回 昭和十六年三月二十二日

ニ於キマシテハ、承ル所ニ依ルト、十年程前テアリマスガ、時ノ總督方火田民ヲ使ヒマシテ、サウシテ極ク瘦セテ他ノモノノ稔ラス荒地等ニ「ライ」ヲ播カシテ收穫サセテ、ソレガ大部分ヲシテアルト云フコトヲ承ツテ居リマス、其ノ分量ハ五十万石乃至百万石ノ間ダラウト云フコトデス、是ハソレヲ昨年アタリ或ル方面デコテラヘ移入シヨウトシテ所ガ、朝鮮總督府ニ於テモ大都合ガアツテ、ソレハ中止ニナツタト云フ話デス、マア其ノ話ハ何處マデガ事實デ何處マデガ間違ヒデアルカハ存ジマセスガ、兎ニ角朝鮮デサヘモ火田民ニ作ラセテ、山ノ上ヲ獲テ地ノヤウナ所デ是ガ出來ルナラバ、尙更日本デサウ云フモノヲ獎勵シタナラバ宜イダラウト思フ、ソレデ此ノ「ライ」ハ榮養分ガ多クテ、肉桂カ何カ香料ヲ混ゼマスト、非常ニ香バシイ、私共ハ「ドイツ」人ガ好キナ、黒「パン」ト云フノハ大好キデアリマス、「ドイツ」ナリ「フランス」ナリ、アノ邊ノ人間ガ力ガ強イノハ、此ノ黒「パン」ノオカシテ居ルアル「フランス」人ハ「ノ」バカリ嚙ツテ居ルアル「フランス」人ハ「ノ」通リ弱クナツタノデアリマス、旁、色色ノ方面カラ「ライ」ヲ生産スルガ吹ク既ニ若干生産シテ居ル所デハソレヲ増産スルコトヲ大規模ニ計畫ヲ立テテ戴キタイ、斯ウ云フ趣意デアリマス、只今樺太若シクハ内地、朝鮮デレ位「ライ」ヲ作ツテ居ルノデアリマセウカ、統計デモ御分ナラバソレヲ伺ヒタイ、續イテ今後トモ此ノ問題ニドシテ風ニ對シテ行ク御立場カ、農林當局ノ御意見ヲ伺フテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 只今「ライ」ヲ栽培獎勵ニ付テ御意見ヲ述ベラレマシタガ實ハ其ノ「ライ」ヲ麥ガドノ位作ラレテ居ルカト云フ統計ハナイノデアリマス、朝鮮ノ話モ私存ジテ居リマスシ、北海道方面デ多少試驗シテモ存ジテ居リマス、又内地デモチヨク最近ノ食糧事情カラデアリマスセウガ、栽培シテ居ル所モアルヤウデアリマス、マダソレダケノ量ニナツテ居ラヌ様デアリマス、此ノ「ライ」ヲ麥ガ地ニ適スルト云フコトハ、今御話ノ通りデアリマス、「ヨーロッパ」ノ狀態カラ言ヘバ、寧ロ小麦等ノ出來ナイ所、外國人カラ言ヘバ小麦ハ主要食糧デアリ、ソレヲ確保スルコト云フコトガ出來レバ其ノ方ヘ移ルノデアリマスガ、其ノ方ニ行キ得ナイト云フヤウナ部分ニ付テ「ライ」ニ依テ存スル傾向ガアルヤウデアリマス、北海道ノ經營調査等ヲ見マシテモ、「ライ」ヲ麥ガ所ニ作ラセテ居ルノガアリマスガ、ドツチカト云フト、最近ハハナリ栽培ガ減ツテ居ル、經營上カラ拔ケテ行クト云フ傾向ガアル、是等ハ一面其ノ内容ヲ考ヘテ見ルト、二毛作ヲアル所デ「ライ」ヲ作ルノデアリマスガ、若シ他ノ主作ト衝突スルト云フコトニナリマス、其ノ點ヲ考ヘテハハナリ他ノ麥ヲ作ルノカ、豆類ヲ作ルノカ云フ形デ寧ロ經營スルノデハナイカト思ヒマス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルデアリマス、之ヲ食糧ノ足りナイ時デアルカラ、積極的ニ増産スルヤウナ計畫ヲ立テロト云フ御話、一應御尤モダ思ヒマスガ、只今申シマシタヤウナ主作トノ關係ヲ考ヘルコトニナリマス一期作ニナルト云フコトハ明カデアリマスカラ、ソレ等ノ點等、或ハ一反歩當リノ食糧ヲ生産スル數量ハドレ位ニナルカ

ト云フヤウナ研究ヲシタケレバナラヌデアリマセウシ、又採算ノ點ニ於テモ考ヘテ生活ニ直ダ結付イテ、ソレニ依ツテ利用スルコトガ出來マスガ、「ライ」ヲ方ニナルサウ簡單ニ行カナイ色々事情ガアリマスカラ、是等ノ點ニ付テハ十分慎重考慮シテヤラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、勿論御意見ノ點ニ付テハ、今後一ツ十分研究シテ見タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○川崎(己)委員 當局ノ御意見ヲ承リマシテ、大分事情ガ分リ、又了承シタ點ガアルコトヲ感ジマスガ、内地トカ北海道トカ云フ値段ノ高イ米若クハ小麦等ノ澤山出來ル所ニソレヲ強ヒタ所ガ、ソレハ出來ナイノデアリマスガ、ソレ以外ノ小麦モ出來ナイノデアリマス、出來ナイト云フ非常ニ瘦セタ荒地デ麥イ所ニ出來ルノハ、只今當局ノ御説明ニモアツタ通りデアリマスカラ、空閑地利用ノ規模ヲ大キナモノニ御考ヘ下サツテ、日本「アルプス」ナドヘ時々學生ガ物好きニ夏中行ツテ死シタリシテ、學校ナドニ迷惑ヲ掛ケルノデアリガ、アンナト云フサセズ、少シ今申シタヤウナ所ニ奮發シテ行ツタリ宜イ、栽培サセル方法モ、是ハ農林省デ方針ヲ立テナケレバナラヌ、村落ノ人間中青年團ガソノナモノナリハシナイ、既ニ朝鮮デ澤山ノ收穫ヲ擧ゲテ經驗ガアルノデアリマス、是ハ他人ノ國デモ何デモナイ、滿洲ヨリハモウ少シ關係ノ深イ間柄デアリマスカラ、朝鮮總督府ノ其ノ方ノ御係リトモ連絡ヲシテ、サウシテ「ライ」ヲ麥政策ト云フモノヲ立テ戴キタイノデアリマス

○永田委員 採擇ヲ希望シマス

○加藤委員 御異議アリマセウカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 次ハ日程第三ノ管デアリマスケレドモ、政府委員ノ都合ニ依リマシテ日程第四ノ上程致シマス

○樋口委員 第三ハドウ云フ譯デ……

○加藤委員 政府委員ガマダ御見エニナリマセウデ、暫時ドウ御待チテ願ヒマス

日程第四、織物用糊トシテ澱粉使用禁止ニ關スル請願、文書表第六〇四號——紹介議員青山憲三君

○永田委員 紹介議員ハ見エマセウケレドモ、此ノ請願ノ要旨ヲ讀ンデ見マス「右請願ノ要旨ハ現下食糧問題ノ重大ナルトキ主要食糧タル澱粉ノ全生産額ノ約二割ヲ織物用糊ニ使用スル爲メ織物用糊用「ノ」ハ其ノ用途ヲ極塞セラレ滯貨其シグ市價ノ暴落ヲ見タルハ甚ダ遺憾ナリ依テ政府ハ織物用糊トシテ澱粉ヲ使用スルコトヲ禁止スルト共ニ「ノ」ノ使用方ヲ獎勵セラレタリト謂フニ在リ」斯ウ云フコトガ書イデアリマス、是ハ要スルニ布海苔ノ使用方ヲ獎勵保護シテ戴キタイト云フノガ趣意ニナツテ居リマスケレドモ、一面ニ於テ澱粉業ヲ排撃シテ居ル文句ガ並ベテアリマス、斯カルコトハ國內産業ノ調和ヲ保ツ上カラ以テ私利私考ヘマスノニ、澱粉ト雖モ、是ハ食料トカ、飼トカ、或ハ織物ノ方面等ニ澤山使用セラレルノデアリマス、殊ニ澱粉業ノ如キハ南ハ鹿兒島地方カラ北北海道マデ、甘藷、馬鈴薯澱粉ノ生産業者ハ到ル處ノ農村ニ澤山アルノデアリマス、斯ウ云フ澱粉ノ使用

禁止ト云フ如キ文句ハ甚ダ不穩當デアツテ、斯カル國內ノ産業ヲ一面ニ於テ政府ハ獎勵シテ居ラレ立場ニアルノニ、布海苔業者ガ之ヲ禁止シテ與レナドト云フコトハ他ノ既得權ヲ破壊シ、侵害スルヤウナ亂暴ヲ請願デアリ、此ノ請願人ハ東京市布海苔製造組合長栗本和昭ト書イデアリマスガ、布海苔ノ相場ガ惡クテ自分ガ苦シイナラバ、市價ガ暴落シテ困ルカラ何トカ政府ノ力デ防止シテ與レト云フ請願ナラバ當テ得テ居リマスガ、自分ノ職業ヲ保護スル爲メ、日本全國ノ澱粉業者ヲ排撃スルヤウナ請願ノ趣旨ハ、甚ダ私ハ穩當ヲ缺イテ居ルト思ツテ居リマス、以上ノ理由ヲ以テマシテ、斯カル惡質ノ請願ハ本請願委員會ニ於テ不採擇ニナルヤウニ希望スル次第デアリマス、此ノ際政府ノ所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 布海苔ヲ使ツテ澱粉用ノ糊ヲ止メ、斯ウ云フヤウナ請願ノ趣旨デアルトコトハ只今御話ノ通りデアリマス、布海苔ト云フモノハ非常ニ安クテ有効ニ使ヘルト云フコトデアレバ或ハ一ツノ考ヘ方カモ知レマセウ、併シ現狀ヲ見マス中サウ簡單ニモ行カナイ譯デアリマス、ドツチカト云フト布海苔ハ高級品ニ使ハレテ居ル、ト云フノハオ値段モ澱粉ニ比ベマスト相當高イ、澱粉トシマシテハ或ハ八割トカ、「ス」トカ、綿トカ云ツヤウナ方面ノ用途ニ使ハレルト云フノハ、ソレハ價值ガ安イト云フコトモアリマス、又ソレ等ノ織物ノ織上ツク状態ニツノ商品ノ價值ヲ與ヘル爲ニハ布海苔等ヨリモ有効デアリ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方モアルヤウデアリマス、サウ云フヤウナ状態デ澱粉ヲ使ツテ居ル工業ガ

○加藤委員 採擇ハ之ヲ延期致シマス

相當アルト思ヒマスガ、是ハ急ニ方向轉換ヲスルト云フテモ、只今申上ゲタヤウナ事情中々困難デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレレ譯デアリマス、是ハ十分慎重ニ取扱ハナケレバイカス問題デアリカト思ヒマス

○永田委員 當局ノ説明ヲ承リマシテモ、吾々ガ察シテ居ル通り、澱粉ノ生産ハ莫大ノモノデアリマスケレドモ、東京灣ノ布海苔タケヲ以テ日本ガ世界ニ誇ル所ノ織物工業用ノ糊ヲ一手ニ引受ケテヤルナドト云フコトハ不可能ノコトデアリ、斯カル不可能ノコトヲ以テ澱粉業ヲ排撃シテ、自己ノ布海苔ノ保護ヲ爲メ斯カル請願ヲナサレルコトハ、甚ダ請願ヲナサル人モ宜シクナイ心掛ト思ツテ居リマス、先刻私ガ申上ゲマシタ通り、布海苔業者ガ本當ニ其ノ立場ガ苦シイナラバ、是ニ請願ノ方法モアルシ、自己ノ生産保護ヲ爲メハ自ラ外ニ穩當ナル方法ガアルモノト思フ、苟クモ日本全國ノ澤山ノ生産者及ビ農民ニ迷惑ヲ與ヘ、又織物業者トシテモ今承ル所ニ依リマスト歡迎ヲシナイ、斯ウ云フ不可能ノコトヲ請願スルコトハ將來ニ惡例ヲ貽スト思ヒマスカラ、是ハアツサリ不採擇アラントコトヲ希望致シマス

○中野(寅)委員 マダ考究スル餘地モアルト思ヒマスカラ參考送付ニセラレタイ、是モヤハリ國民ノ聲デアリマスカラ、永田君ハ一刀兩斷ニヤレト云フノデアリマスガ、私ハ參考送付ニ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員 一寸速記ヲ止メテ……

○加藤委員 速記中

○加藤委員 速記ハ速記ヲ始めテ下サ

○加藤委員 日程第五、第七ハ之ヲ次會ニ廻ハシマス

○加藤委員 日程第八、新潟縣ニ生絲検査所設置ノ請願、文書表第六四九號——紹介議員ハ私デアリマスカラ、此ノ席上ヨリ請願ノ趣旨ヲ聲明致シマス

本請願ハ新潟縣製絲業組合長外四百七十七名ノ請願デアリマシテ、御承知ノ如ク今期議會ニ、蠶絲業統制法ノ成立ヲ見、新策一元の統制ヲ企圖セラレルコトハ蠶維國策遂行上必然の施設デアリマシテ、蠶絲ニ關係シテ居ル業者ハ皆舉ツテ是ガ圓滑ナル運營ヲ冀ウテ已マザレ第デアリマス、然ル所政府ハ蠶絲業統制法ノ實施ト相俟ツテ全國蠶業ノ地ニ蠶絲検査所ノ設置ヲ計畫セラレテ居ルト仄聞致スデアリマスガ、若シソレガ本當デアルトシマスナラバ、新潟縣下ニ一ツ之ヲ設置セラレタイト云フデアリマス、新潟縣ハ昔時ヨリ生絲ノ集散地トシテ知らレ、最近一箇年ノ生絲生産高ハ十五萬貫ヲ算シマスガ、併シ縣下ノ機業地タル五泉、加茂、見附、栃尾、十日町等デ消費スル生絲ハ一箇年四十五萬貫ノ多キヲ算シ、之ヲ全國ノ上ヨリ見マスルト第四位ニ在ルノデアリマス、然ルニ新潟縣ハ積雪地デアリマシテ、冬季間ノ交通意ノ如クナラズ、物資ノ輸送上ニ支障ノ多イコトハ御諒察ノ通りデアリマシテ、若シ遠方トハ御諒察ニ生絲ノ検査ヲ委嘱シナケレバナラヌヤウナコトニ相成リマスト、縣内ニ於テ生産セラレタル生絲ハ當該検査所マデ之ヲ輸送シ、又之ヲ回送シテ是ガ消費ニ充テネバナラヌコトナリ、其ノ煩雜ト其ノ支障トハ全く想像ノ外デアルト思フノデアリ

○吉田政府委員 只今御話ノアリマシタヤウニ蠶絲業統制法ガ出來マシテ、國用生絲ノ全部ヲ日本蠶絲統制株式會社ガ買フコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ買入ニ先ダチマシテ、全部ノ生絲ニ付テ品質ノ検査ヲスルト云フコトヲシナケレバナラヌコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、現在検査設備ト致シマシテハ、御承知ノヤウニ蠶絲ト神戶ニ國立ノ完備致シマシタ検査所ガゴザイマス、隨ヒマシテ國內ニ消費サレマスル生絲モ出來得ル限リ多數ノモノニ付キマシテ此ノ兩検査所デ検査ヲ致シテ買入レルト云フコトニ致サナケレバナルマイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ致シマシテモ尙ホ全部ノ生絲ニ付キマシテ検査ヲスルト云フコトハ困難ト豫想サレマス、極メテ少量ノ荷物デアリマスル生絲デアリマスルコトヲ持ツテ居リマスル生絲デアリマスルコトヲ云フヤウナモノニ付キマシテハ、地方ニ於テ補充的ニト申シマスルカ、検査ヲスル設備ヲシタイ、斯様ナ考ヘ方デ生産ノ狀況、或ハ消費ノ狀況、ソレカラ主トシテ消費地ヘ輸送致シマスル狀況、是等ノ關係、且又横濱、神戶ノ現在ノ國立検査所ニ於テ大イニ能率ヲ擧ゲテ検査ヲ致シマスルナラバ、ドノ程度ノ數量ヲ検査出來ルカ、斯様ナ點ヲ

十分比較検討致シマシテ、國內生絲ノ検査所ノ建設所數ト云フヤウナモノヲ決メテ、イト思フテ、目下色々検討中ナリト云フヤウニ、此ノ種ノ設置ノ要望ニ付キマシテハ、方々カラ色々希望モアリマスシ、出來ルコトナラバ皆ノ御希望ヲ聽キタイノデアリマスガ、餘リ是ガ多クナリマスト無駄ガ多クナルコトト、検査ガ統一サレナイデ却ツテ區々ニナルト云ツタヤウナコトモゴザイマスノデ、ソコヲ點ヲ考ヘマシテ、已ムヲ得ザル最少限度ノ數ニシタイト云フヤウナ考ヘ方デ、検討致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、御趣旨ノ點ハ十分吾々モ頭ニ置キマシテ決定致シタイト、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、尙ホ目下今申シマスヤウニ検討中デアリマスカラ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○中野(實)委員 是ハ政府ニ於テモ非常ニ同意デアル御意見ノヤウニ伺ヒマスカラ、十分急イデ検討ヲシテ其ノ實現ヲ期サレルヤウニ御願ヒシテ、採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 一寸政府委員ニ御同ヒ申上ゲテ置キタイト思フノハ、今ノ御説明ハ洵ニ御尤モ至極ニ詳致シマシタガ、ソレガ検討ガ出來マシテ、サウシテソレノ此ノ必要ナ所ノ検査所ヲ御設ケニナリマスマデノ間デゴザイマスガ、其ノ間ノ生絲検査等ノ取扱、ソレハドウ云フ風ニ御願ヒ出來ルデアリマセウカ、其ノ際ノ御決定所トカ、或ハ其ノ他ノ機關ヲ一時利用致シマシテ、サウシテ當業者ニ差支ナイヤウニシテ戴クヤウナ御考ヘガオアリデアラウカドウカ、其ノ邊ヲ一寸此ノ際御同ヒ申上ゲタイト思ヒマス

○吉田政府委員 先程モ申シマシタヤウニ、検査ヲ全部ヤラナケレバナリマセヌノデ、今申シマスヤウナ考ヘ方デ、設備ノ方ノ擴充ヲ急イデ居ルノデゴザイマスガ、何サマ差迫ツテ居ルコトデアリマスカラ、初メテ地方検査所ヲ設ケルヤウナ所ハ設備其ノ他ヲ急ギマシテモ、或ハ相當日子ガ掛ルト云フヤウナコトニモナリマシテ、検査ニ支障ヲ起サユウナコトガアリマシテハト存ジマシテ、今委員長カラノ御話ノヤウナ點モ併セテ研究致シテ居ルノデアリマシテ、差當リ若シ出來マシレバ正式ノ検査所ヲ設ケテラウト思フテ居リマスガ、設備等ノ點ニ付キマシテハ、今ハハスト云フヤウナ場合ニハ、今ノ御話ノヤウニ或ハ製絲工場等ニ付キマシテ設備ノアル所ヲ利用致シマスノカ、府縣ニ検査所ヲゴザイマシテ検査所ニ検査設備モゴザイマスカラ、斯ウ云フモノヲ利用致シマスノカ、或ハサンブルダケデモ取リマシテ横濱、神戸ノ検査所ニ於テ總荷ハ地方デヤツテ、サンブルダケニ付テ横濱、神戸デヤルトカ、斯ウ云ツタヤウナ便宜ノ方法ヲ講ジナケレバナリマスカト考ヘマシテ、斯ウ云フヤウナ場合モ豫定致シマシテ併セテ研究致シテ居ルノデゴザイマス

○加藤委員 政府ノ只今ノ御言明ヲ信賴致シマシテ、採擇ニ決シテ宜シウゴザイマス

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 次ハ第九、養蠶實行組合指導員設置助成金増額ニ關スル請願、文書表第六五〇號、此ノ請願モ紹介議員ハ私デアリマスカラ、此ノ席上ヨリ請願ノ趣旨ヲ辨明致シマス

○加藤委員 採擇ニ決シマス

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤委員 採擇ニ決シマス

蠶絲業ノ現状ニ鑑ミ、養蠶指導ノ完備ヲ期スルハ極メテ重要ノコトデアリマシテ、蠶業指導員ノ活動ニ依ツテモ甚大ナルモアルハ多量ヲ要セザル所デアリマス、殊ニ蠶絲業統制法實施ノ曉ニ於テハ、繭生産ノ低減、遺棄及ビ繭質低下ノ防止、産繭ノ確保等ヲ基本トスル生産ノ計畫、蠶種繭ノ配給處理、桑園ノ管理等ニ關シ、養蠶業團體ノ事務ハ必然ノ複雜多岐トナリ、蠶業指導員ノ活動ノ範圍ハ勢ヒ廣汎トナリマシテ、是ガ重要性ハ一層加重セラルルモノト思ハルノデアリマス、然ルニ蠶業指導員ノ待遇ハ極メテ薄ク、其ノ地位ハ極メテ不安定デアリマスノデ、養蠶團體ト致シマシテハ能フ限リ是ガ待遇改善ニ努力致シテ居リマスガ、併シ現在ノ状態デハ漸ク平均五十四圓ヲ支給スルニ過ギマセヌ、而モ養蠶團體ノ負擔能力ハ既ニ限度ニ達シ、到底是レ以上ノ負擔ニ堪ヘ得ザルノ状態デアリマシテ、徒ラニ指導員ヲ生活ノ脅威ニ曝シテ置クコトハ甚ダ遺憾ノ至リニ堪ヘナイデアリマス、若シ現在ノ状態デ此ノ儘ニ放任シテ置キマシタラバ、必ズヤ指導員ノ士氣ハ萎縮シ、甚ダシキハ其ノ職域ニ止マルコトガ出來ナイヤウナ事態ニ立到ルデアリマセウカ、斯クテハ蠶絲業統制法運用上ニ重大ナル支障ヲ惹起スルモノト思ハレ、洵ニ寒心ニ堪ヘザル所デアリマス、政府當局ニ於ケレマシテハ何卒右ノ事情ヲ御察ノ上、蠶業指導員ヲシテ飽クマデモ挺身其ノ職域ニ殉ズルノ決意ヲ以テ、有能活潑ナル活動ヲ爲サシムル爲メ、是ガ待遇ノ改善ヲナシ得ルヤウ、政府ノ養蠶實行組合ノ指導員設置助成金増額シ、郡市農會技術員設置助成金同額ヲ交付セラルルヤウニ御願

ヒシタイト云フノガ本請願ノ趣旨トスル所デアリマス、此ノ際政府當局ノ御意見ノ存スル所ヲ伺ヒ、本請願ノ目的ヲ達スルヤウニ致シタイト存スルノデアリマス

○吉田政府委員 養蠶實行組合指導員網ノ擴充竝ニ之ノ待遇改善ノ問題ニ付キマシテハ、御説ノ通り全ク吾々モ同感ナリト云フヤウニ、是ハ前々カラ色々要望モアル問題ナリデアリマシテ、私共モ毎年はハ相當ニ努力モ致シテ居ルノデゴザイマスガ、何サマ財政逼迫ノ際デ、十分ノ結果ヲ擧ゲルコトノ出來マセヌコトハ、洵ニ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ、今後トモ一層其ノ實現ニ付キマシテ十分努力ヲ致シタイト考ヘマス、尙ホ今度統制法ガ出來マシテ、色々事情モ變ツテ參リマスコトニモナリマスノデ、何等カノ方法ニ依リマシテ此ノ養蠶實行組合ノ指導員ノ設置或ハ待遇改善ニ依リマシテ、養蠶經營ノ問題ハ極メテ關係ガ重大ナルト思ヒマスカラ、何等カノ形ニ於テ御趣旨ノ結果ガ擧ルヤウニ、今後トモ一段ト努力ヲ致ス決心デ居ルノデゴザイマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセウカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 次ハ日程第三、玄米小賣公定價格設定ニ關スル請願、文書表第六一三號、紹介議員樋口善右衛門君

○樋口委員 本請願ハ都合ニ依ツテ二十四日ニ延バシテ戴キマス

○加藤委員 ソレデハ此ノ請願ハ二十四日ニ延期致シマス

○加藤委員 日程第一〇、水飴ノ配給並適正價格設定ニ關スル請願、文書表第六六二號、紹介議員長野高一君

○長野高一君 本請願ノ要旨ヲ極メテ簡單ニ御紹介申上ゲマス、現在水飴ノ原料トスル全國ノ製菓業者ガ、是ガ配給ノ不圓滑ニ基イテ殆ド菓子ノ製造ヲ中絶スルノ實情ニアルノデアリマシテ、此ノ爲ニ業者ノ被ル打撃ハ勿論デアリマスガ、又一面一般需要家ニ及ボス影響モ洵ニ大キナモノガアルノデアリマス、而シテ此ノ水飴不足ガ時局ノ關係デ全ク生産ガ足りナイト云フコトデアリマスナラバ、尙ホ忍ブベキ點ガアルノデアリマスケレドモ、其ノ大部分ノ原因ガ一部水飴製造業者ノ反時局ノ不徳義行爲ニ依ルモノデアリマシテ、從來此ノ點ニ付キマシテ屢々製菓業者カラ政府當局ニ對シテ陳情ヲ致シテ居ルヤウデアリマスケレドモ、残念ナガラ、マダ之ニ對スル對策ガ樹立サレテ居ラス、又適切ナ措置ガ講ゼラレテ居ラスト云フコトハ洵ニ、業者一同ノ遺憾トスル所デアリマス、大體此ノ水飴製造業者ガ其ノ原料タル澱粉ヲドウ云フヤウニシテ手ニ入レテ居ルカト申シマス、是ハ昭和十二年、十三年、十四年度ノ實績ヲ以テ統制會社カラ配給サレテ居ルノデアリマスカラ、自然斯ウ云フ方法ニ依ツテ澱粉ヲ手ニ入レテ其ノ澱粉ニ依ツテ水飴ガ製造サレルノデアリマスカラ、其ノ實績ノ基礎タル製菓業者ニ對シテソレノ公平圓滑ニ配給サルベキハ言ハレタナイ所デアリマス、然ルニ現在ノ實情ハドウカト申シマス、是等水飴製造業者ノ大部分ガ配給機構ノ確立サレテ居ラスニ乗ジテ、幾多非難排斥スベキ手段ヲ以テ自己ノ私益ヲ圖ルニ汲々タル有様

ニ、検査ヲ全部ヤラナケレバナリマセヌノデ、今申シマスヤウナ考ヘ方デ、設備ノ方ノ擴充ヲ急イデ居ルノデゴザイマスガ、何サマ差迫ツテ居ルコトデアリマスカラ、初メテ地方検査所ヲ設ケルヤウナ所ハ設備其ノ他ヲ急ギマシテモ、或ハ相當日子ガ掛ルト云フヤウナコトニモナリマシテ、検査ニ支障ヲ起サユウナコトガアリマシテハト存ジマシテ、今委員長カラノ御話ノヤウナ點モ併セテ研究致シテ居ルノデアリマシテ、差當リ若シ出來マシレバ正式ノ検査所ヲ設ケテラウト思フテ居リマスガ、設備等ノ點ニ付キマシテハ、今ハハスト云フヤウナ場合ニハ、今ノ御話ノヤウニ或ハ製絲工場等ニ付キマシテ設備ノアル所ヲ利用致シマスノカ、府縣ニ検査所ヲゴザイマシテ検査所ニ検査設備モゴザイマスカラ、斯ウ云フモノヲ利用致シマスノカ、或ハサンブルダケデモ取リマシテ横濱、神戸ノ検査所ニ於テ總荷ハ地方デヤツテ、サンブルダケニ付テ横濱、神戸デヤルトカ、斯ウ云ツタヤウナ便宜ノ方法ヲ講ジナケレバナリマスカト考ヘマシテ、斯ウ云フヤウナ場合モ豫定致シマシテ併セテ研究致シテ居ルノデゴザイマス

○加藤委員 政府ノ只今ノ御言明ヲ信賴致シマシテ、採擇ニ決シテ宜シウゴザイマス

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤委員 採擇ニ決シマス

デアリマシテ、其ノ一、二ノ例ヲ申上ゲマス、其々會社ニ於キマシテハ公定價格ノ高イ土地ニ自分ノ傍系會社アルトカ或ハ支店ヲ設置致シマシテ、サウシテ自己ノ製品ヲ流シテ來ルノ需要家ニ對スル實績配給ト云フモノヲ無視致シテ居ルノデアリマス、又或ル工場ニ於キマシテハ自己ノ傍系會社又ハ支店ヲシテ其製菓業者トノ間ニ水飴菓子ノ「ポーター」ニ依ツテ、同ジク過去ノ取引關係ヲ無視シテ水飴及ビ菓子ノ偏在ニ拍車ヲ掛ケツツアルヤウナ状態デアリマス、是等ハ何レモ其ノ一例ニ過ギナイノデアリマスガ、要スルニ是ガ是正ヲ圖リ、水飴ノ公平ニシテ圓滑ナル配給ヲ行ヒ、以テ國民ノ日常生活ニ必要タベカラザル菓子ノ生産ヲ適正ナラシムル爲メハ先ヅ以テ第一ニ水飴ノ配給機構ヲ確立シテ實績ニ基キ所ノ切符制度ヲ斷行セラレタイコト、第二ハ全國各府縣ノ水飴公定及ビ協定價格ノ現在ノ如キ一律不均等ナル現状ヲ是正スルコト、以上二點ヲ速カニ斷行セラレマシテ、正ニ漸死ノ状態ニアリマス所ノ全國製菓業者ノ急ヲ救済サレマス共ニ、昨昭和十五年十二月ニ政府カラ御示達ニナリマシタ菓子ノ偏在ノナイヤウニ云フコト此ノ御趣旨ニ副ハレルヤウニ御配慮ヲ戴キタイ、是ガ請願ノ趣旨デゴザイマス、先刻モ申上ゲマシタ如ク、此ノ點ニ付キマシテハ屢々業者カラ陳情ガアツタコト存ジテ居リマスガ、ソレニ對シマシテ其ノ後ドウ云フ風ノ御處置ヲ當局ハ執ツテ居ラレルノデアリマセウカ、又モウ一點伺ヒタイト思ヒマスコトハ、仄カニ聞キマシテ水飴ノ扱ツテ居リマス大キナ業者ニ依ツテ何カ配給統制會社ヲ作ツテヤツテ行カウト云フヤウナコトモ承ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトデアリマス、サナキダニ困ツテ居リマス中小階級ノ一般菓子製造業者ガ一層困ルヤウナ結果ニナルチナナイカ、斯様ニモ心配サレテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フコトノナイヤウナ御處置方考慮サレテ居リマスカドウカト云フ點モ併セテ御説明ヲ仰ギタイト存ジマス

○辻政府委員 水飴ニ關シマスル只今御話ノ御趣旨ハ、第一ハ水飴ノ配給機構ヲ整備スルコトヲ云フデアリマス、第二ハ水飴ノ公定價格ニ付テ考慮スルコトヲ云フデアリマス、第一ノ配給機構ノ問題デゴカト存ジマス、第一ノ配給機構ノ問題デゴザイマスガ、是ハ只今御話ノヤウニ從來業者ノ方面カラモ相當意見ノ陳述ガゴザイマシテ、當局ト致シマシテモ出來ルダケ早ク適正ナル配給機構ヲ整備致シタイト云フ風ニ考ヘマシテソレノ準備ヲ進メテ居ル次第デアリマス、何ラ申シマシテモ配給機構ヲ整備シ、配給ノ組織ヲ適正ナラシメマス爲メハ、先ヅ以テ各段階ノ生産業者、配給業者、ソレカラ消費者各團體ノ業者ヲ組織化スルコトガ第一ノ要件デアリコトハ申スマデモナイノデアリマス、水飴ニ付キマシテハ生産業者ノ方面ニ於キマシテハ或ル程度組織ガ出來テ居リマス、御承知ノ通り澱粉給工業組合、是ガ七名バカリデゴザイマスガ、ソレト相違ンデ全國製粉工業組合聯合會、是ガ六十數名ヲ以テ組織シテ居リマス、澱粉ニ生産業者ノ方ハ一應工業組合ニ結成サレテ居リマス、又水飴ノ需要者、消費者デアリマス、菓子業者ノ方面、最も只今御話ノゴザイマシタヤウニ菓子工業組合ニ結成サレ、全國菓子工業組合聯合會ガ組織サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ中間ニ居リマシテ配給業者、地方ニアル卸業者、是等ハ

今ノ所ハツキリシ組織ヲ完備致シテ居リマセヌ、出來ルダケ早く中間ノ卸業者ノ組織ヲ整備セシメマシテ、生産業者ノ團體ト中間配給業者ノ團體ト、而シテ消費者ノ團體デアリマス菓子工業組合聯合會其ノ他ニモ多少水飴ヲ消費スル者ガゴザイマスガ、サウシテ關係業者ヲ全部ノ組織メマシテ、サウシテ出來得ル限リ一定ノ計畫ノ下ニ配給ヲ行キタイ、地域的ニ又業種的ニ計畫ヲ立テマシテ、配給致シテ行キタイト云フ考ヘラ以テ準備ヲ致シテ居リマス、今マデ相當時日ガ掛リ、具體化スルコトガ遅レテ居リマスコトニ付キマシテハ、當局ト致シマシテモ非常ニ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、現在ノ所サウ云フ考ヘデ準備ヲ進メテ居ルノデアリマス、尙ホ只今御話ニナリマシタヤウニ、配給ニ際シマシテ數名ノ大規模業者ト申シマスガ、サウ云フ者ノミニ付テ配給ヲヤラセルカドウカト云フ點ノ御話ガゴザイマシタガ、是ハ申スマデモナク、關係業者全部ヲ糾合致シマシテ、配給組織ヲ考ヘテ、全面的ニ配給統制ヲヤツテ行キタイト云フコトデゴザイマス、ハ勿論持ツテ居ナイノデゴザイマス、ソレカラ第二ノ公定價格ノ問題デゴザイマスガ、是ハ現在ノ決メ方ガ東京、大阪、名古屋等大都市ニ於ケル公定價格ヲ決メテ居リマシテ、其ノ他ノ地方々々ニ於キマスル公定價格ニ付キマシテハ、地方官ヲシテ決メサセルト云フ大體ノ建前ヲ執ツテ居リマスル關係上、各地方ニ依リマシテ多少價格ノ上ニ凹凸ガアルト云フ實情ニアルヤウニ存ジマス、ソレガ爲メ以テ此ノ配給ノ圓滑ヲ阻礙スル原因ニモナツテ居ルカト考ヘラレ

ニ付キマシテハ、凡ソ驛ノ乗降ノ状態ト云フヤウナモノモ基準ニ取ツテ、サウシテ之ヲ決定致シテ居ルノデアリマス、其ノ大體ノ振合ヒト云フヤウナモノカラ見マス、御説ノヤウニ大田口、大杉ト云フ所ハ其ノ地方ニ於ケル一ツノ中心地デアリマス、ケレドモ、昭和十四年度ノ一日平均ノ乗車人員カラ見ルト、遺憾ナガラ此處ニ準急ヲ停車サセルト云フ所マデ參テ居ラヌノデアリマス、ケレドモ旅客ノ乗降ト云フヤウナコトハ、一面又其處ニ便利ナ列車ヲ停車サセルト云フヤウナコトニ依ツテ誘發サセルト云フコトモゴザイマス、將來トモ之ニ注意シテ行キマシテ、御話ノヤウニ段々來往ガ頻繁ニナルト云フコトガ分ツテ參リマス、其ノ時ニ又改メテ研究致シタイト考ヘル次第デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 此ノ際厚生省所管
日程第三、接骨師法制定ニ關スル請願ヲ上程致シマス、請願文書表第六六一號——紹介議員一松定吉君

○一松定吉君 請願ノ趣旨ヲ申上ゲマス、柔道整復術營業者ハ從來按摩術營業取締規則ヲ準用セラレ、同規則ニ依ツテ是ガ取締ヲ受ケツツアリマシタケレドモ、按摩術營業トハ全然其ノ術ヲ異ニシ、骨折、脱臼、捻挫及ビ打撲等ノ治療ヲ目的トスルモノニシテ、學識經驗ヲ有シ且ツ技術ヲ練達シ要スル點ヨリ致シマス、將又社會ノ地位ヨリ致シマス、同一法規ヲ以テ取締ラ

レルハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、仍テ政府ハ單獨ノ接骨師法規ヲ制定アラント云フ請願致スノデアリマス、請願ノ理由ト致シマシテハ、我が國接骨術ノ淵源タル由實ニ遠クシテ明カデアリマセヌカ、古代ヤ實ニ遠クシテ明カデアリマセヌカ、古代漢醫學ノ發生ト共ニ漸次研究セラレ、中古皇代國體天皇ノ御代、紀元一千六百三十一年ノ頃接骨博士十數名ノ人々ガ、各自獨特ノ手法ヲ以テ整骨シ、金創膏ト稱スル藥品ヲ使用シテ醫治ス、金創膏ト稱スル藥品ヲアリマスガ、近クハ文化五年ニ宮澤可氏ノ著書デアアル正骨術ト稱スル本ノ中ニ、正骨或ハ接骨或ハ整骨ト稱スル所ノ骨折ヲ整フルヲ謂フトノ記事ガアリマス、又文化十三年ニ著者不明ノ整骨規範ト云フ本ガアリ、又年代不明ノ軍陣備用救急摘方、或ハ延年開出版ノ高志鳳著骨刺治療專實記等、何レモ現今ノ柔道整復術ノ基礎根幹ヲ築キ上ゲタルモノガアリマス

以上申述べタル如ク我が國ノ接骨術ハ皇漢醫學時代ノ昔ヨリ醫學ノ一部門ト致シマシテ、按摩術トハ全然術分野ヲ異ニシ、骨折、脱臼、捻挫、打撲等ノ治療ニ特異ノ技術方法ヲ以テ社會ニ貢獻シテ參ツクノデアリマス、斯ノ如ク此ノ接骨ハ次ギクニ民人ノ間ニ承繼ガレ、以テ明治年間ニ至ツタモデアリマス、是ガ明治十八年四月太政官布達ニ依リ接骨營業トナリ、大正九年四月柔道整復術トナツクデアリマス、柔道整復術ハ骨折、脱臼、捻挫、打撲何レモ非觀血の治療法トゴザイマシテ、機能障礙ノ憂ヒナク、而モ國策ニ順應セル低額ノ醫療費ト早期治療ヲ目的トスル治療トゴザ

イマスカラ、社會各層ノ信頼ヲ深クシ、殊ニ健康保險被保險者ノ治療擔當ニ依リ、工場主及ビ労働者ノ爲ニ裨益スル所極メテ大デアリマシテ、其ノ技術ノ適正ナルコトハ現ニ醫師ノ資格ヲ有シナガラ、整形外科の治療法ヲ加味セザル純國粹ノ接骨術ノミヲ營業トセル者多數アルコトニ依リ、之ヲ知り得ベキノミナラズ、醫師ノ紹介狀ヲ持參シテ整復師ノ診察ヲ受タルモノ日ニ多キヲ加フルノ實情デアアルコトハ其ノ間ノ事情ヲ如實ニ立證スルモノナリト言ハナケレバナリマセヌ、今事變ニ於テモ業者中召集セラレ、戰陣ニ在ツテ軍部ニ貢獻スル所多ク、各所屬部隊ノ絶續ヲ能ハザリシコトハ顯著ナル事實トゴザイマス、接骨術ハ救上說明ノ如ク現代ノ醫療機關中特ニ重要ナル存在ノ價值ヲ有スルモノナルヲ以テ、之ニ對シテハ獨立シタル取締規則ノ設定セラルルコトハ全國柔道整復師等シテ望シ居ル所デアリマス、被ノ獨逸國ニ接骨科アリ、英國ニ接骨醫アル等ノ實情ヲ御覽察ノ上、時勢ニ適應セル單獨取締規則ヲ可及的速クニ御制定アラント切望スル次第デアリマス、尙ホ本規則ヲ制定セララルニ當リマシテハ先記ノ各項ヲ御參考セラレシコトヲ切望致シマス

○加藤委員 次ハ鐵道省所管
日程第四、八橋驛ニ貨物取扱開始ノ請願、文書表第六五七號——紹介議員豐田收君
○川崎(白)委員 御依頼ニ依ツテ豐田君ニ代ツテ御説明申上ゲマス、先年鳥取縣八橋驛ヲ常設驛ニ許サレタノハ、洵ニ町民一同ノ感謝シテ居ル所トゴザイマスガ、ソレヨリ前ニ東八橋驛ガアツテ、其處デ貨物ヲ取扱ツテ居ルノデ、此ノ新シク八橋驛ヲ常設驛ニセラレテモ其處デハ貨物ヲ取扱ツテ居ナイノデアリマス、然ルニ其ノ先方ノ東八橋驛ノ取扱ニ係ル貨物ノ半分以上ハ、此ノ常設驛、八橋驛デ扱フ品物ナノデアリマス、ソレヲ一旦東八橋驛ニ持ツテ行ツテ、ソレヲ又持チ返シ、又發送スル時モ左様ナ課デ、非常ニ手数ガ掛ル、近頃農産物其ノ他ノ物資ガ此ノ邊ニ澤山集マリマスシ、ソコ各府縣トノ間デ、持チ込ムノ發送スルノモ非常ニ其ノ數量ガ殖エテ參リマシタ、殊ニ此ノ頃ノヤウニ配給品ガエライ幅廣スル、ソレヲ一々東八橋驛ヲ經由シテハ何トシテモ不便デヤリ切レナイ、デゴザイマス、折角御許シテ戴キマシタ八橋驛ニ貨物取扱ヲ開始シテ戴キタイ、斯様ナ請願トゴザイマス、當局ノ御意見ヲ承リマシタ上御採擇ヲ願ヒマス

○長崎政府委員 八橋驛デ貨物取扱ヲ開始シテ貴ヒタイト云フ御趣旨ノヤウデアリマス、八橋驛ハ千分ノ十ノ勾配線上ニアルノデアリマシテ、此ノ驛デ貨物ノ取扱ヲシマス爲ニ勾配變更ヲシナケレバナラスノデアリマス、隨テ相當多額ノ費用ヲ要スルモノト思ハレノデアリマス、只今ノ御説明デハ東八橋驛ニ於テ取扱ツテ居ル荷物ノ中八橋町發着ノ貨物數量ガ半分ト云フコトデアリマシタガ、此ノ統制ハ少シ古イノデアリマスガ、或ハ今日ハサウ云フ風ニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、鐵道ヲ調ベマシタ十三年度ノ實績ニ依リマスト發送到着兩方トモ大體二割前後ノ模様デアリマス、左様ナ課デゴザイマスガ、尙ホ能ク此ノ問題ニ付テハ調査研究スルコトニ致シタイト存ジマス

○坂東委員 十分御調査願フコトニシテ採擇ヲ願ヒマス
○加藤委員 採擇ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第五、土佐山田、後免兩驛間ニ臨時農産物積込驛設置ノ請願文書表第六五八號——紹介議員長野廣君
○長野廣君 後免、土佐山田ノ兩驛ニ關係ノ深い地帯ハ高知縣下ノ全國ニ例ノナイ特質デアリマス、米ヲ二度栽培スル地帯デアリマス、其ノ第一回ハ七月下旬頃ニ早ク刈取ルノデアリマシテ、其ノ産額ガ十五、六万石程度デアリマス、食糧問題ノ急迫ヲ告ゲテ居ル今日之ヲ適宜ニ各方面ニ輸送スルト云フコトハ、國家の見地カラシテ

モ重視スベキコトデアリマス、一方稻ノ前作トシマシテ西瓜ノ非常ニ作ル所デアリマス、又「トマト」其ノ他野菜類ヲ大面積ニ栽培ラシマシテ、東京、大阪等ノ内地ノ都會ハ固ヨリ、遠ク外地ニマデ輸出ラシテ居ル次第デアリマス、隨テ特ニ摩擦ヲスル或ハ傷ヲ付ケルト云フコトノ爲ニ殆ド其ノ商品價値ヲ失ツテシマフ所ノ果物類、西瓜ノヤウナ蔬菜類是ハ成ベク積込ノ際ニ相當ユツクアリマシテ、從來前申シマシタ二ツノ驛カラ積込居リマシタケレドモ、荷物ノ幅廣ノ爲ニ非常ニ混亂ト、ソレカラ損傷ヲ受ケマシテ、莫大ノ損失ヲ被ツテ居ル次第デアリマス、就キマシテハ此ノ兩驛間ニ臨時ニ農作物ノ積込ノ出來マヤウナ施設ヲシテ載キマシテ、此ノ不便不利益ヲ一掃致シマスヤウニ御願ヒラ申上ゲタイト云フコトガ、一ツデアリマス、同時ニ其ノ理由トシマシテハ、此ノ地帯ニ積込驛ガ出來マスト、自然此ノ農産物ノ價值モ高マリマスシ、又隨テ關係農村ノ土地ノ直打ト云フモノモ出テ來ル次第トゴザイマシテ、茲ニ農村振興ト云フ特別ナコトニモ貢獻スルコトガ絶大トゴザイマス、斯様ナ次第トゴザイマスカラ、ドウカ一ツ現在ノ制度デ認メラレテ居リマス範圍ニ於テ、一日モ早ク左様ナ便利ヲ地方民ガ得マヤウニ御高配ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ニ對スル當局ノ御意見ヲ承リ、併セテ御採擇アラント希望致シマス

○長崎政府委員 土佐山田、後免ノ間ハ其ノ距離ハ四、五、九分トゴザイマス、此處ハ御説ノヤウニ田園ガ多イノデアリマシテ、米、西瓜其ノ他ノ著名ナ産地デアアルノデアリマ

ス、唯此ノ區間ハ御承知ノヤウニ土佐山田カラ後免ニ互ツテズツト下リ勾配ガ連續シテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ間ニ驛ヲ設置スルコトハ現状ノ儘デハ駄目デハナイカト思フノデアリマス、御請願ノ要旨ニゴザイマスヤウニ、又只今ノ御説明ニゴザイマス間ニ臨時ニ貨物ノ取扱ヲスルト云フヤウナ程度ノコトトゴザイマスナラバ、是ハ或ハ鐵道局ノ方ニサウ云フ御申出ヲシタノカモ知レマセヌガ、若シサウデナカウタナラバ一度鐵道局ノ方ニ御申出ニナツテ、局ニ於テ成程ソレガ必要ト考ヘマシレバ、一車積ノ貨物ニ限ツテハ其ノ取扱ヲ局長限リデ許スコトガ出來ルヤウニナツテ居リマセウラ、其ノ方面ノコトモ御迷惑デアリマセウガ御取連ビテ願ヒタイト思ヒマス、私共ノ方デモ斯ウ云フ要旨ノ請願ガアルト云フコトヲ鐵道局ノ方ニモ傳ヘテ置キタイト思フテ居リマス、尙ホ蔬菜或ハ西瓜等ノ荷積ミノ問題ニ付キマシテハ、是亦現地ノ出張所ナリ或ハ鐵道局ナリニ向ツテ能ク生産地ノ方ト御相談スルヤウニ中傳ヘテ置キタイト思ヒマス

熊本縣ハ九州ノ中央ニ位致シマシテ、教育、行政、産業、軍事、各方面カラ見マシテモ最重要ナ地位ニアルノデアリマス、加フルニ最近各種ノ軍事施設ガ講セラレマシテ國防上一層重要性ヲ加ヘ來ツタノデアリマス、又各種農産物、林産物、水産物、鑛産物ノ増産ニ邁進致シテ、著々實績ヲ舉ゲテ國策ノ遂行ニ協力シツツアルノデアリマス、殊ニ縣下各地ノ工業立地的ノ好條件ハ一般ニ認識セラレマシテ、諸種ノ産業ハ日ヲ逐ウテ勃興ノ趨勢ヲ示シテ居ルノデアリマス、且ツ熊本市ノ海ノ玄關デアアル三角港ノ擴張ハ近ク完成ヲ告ゲヨウトシテ居リマス、而シテ港灣トシテノ能力ノ増大ハ益々熊本市ノ重要性ヲ増加シテ居ルノデアリマス、一方八代市ハ鹿兒島本線ト肥薩線トノ分岐點デアリマシテ、是亦交通上ノ要衝デアリマス、ノミナラズ天下三急流ノ一ツトシテ誇ツテ居リマス、球磨川下流八代附近一帶ノ地ハ工業立地上無比ノ適地デアリマシテ、各種ノ産業、製造工業ガ逐年増加シテ參リマシテ、最近既ニ市制ヲ布クニ至ツタノデアリマス、而シテ八代港ノ修築計畫ハ昭和十六年度ノ豫算ニ計上セラレマシテ、其ノ完成ト併行シテ同地域一帶ハ國防産業上最重要ナル地點ニナルノデアリマス、要スルニ熊本ノ軍事上、行政上、産業上ノ地位ハ飛躍的ニ發展シテ、其ノ重要性ヲ加ヘ來ツタノデアリマス、其ノ爲ニ必然的ニ旅客貨物ノ輸送量ガ激増スルニ至リマシタ、然ルニ大牟田以南ハ單線デアリマスガ故ニ數年來不便ガ少クナカウタノデアリマスガ、只今マデ申述ベマシタ通り、熊本地方最近ノ發展ニ伴ヒマスル輸送量ノ激増ニ依リマシテ、愈々不便ヲ痛感スルニ至ツタノデアリ

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第六、大牟田、八代間複線敷設ノ請願、文書表第六二五號——紹介議員伊豆富人君
○伊豆富人君 九州線大牟田、八代兩驛間ヲ複線トシテ敷設ヲ御願ヒタイト云フ請願トゴザイマス、其ノ理由ト致シマス所ハ、

縮法規ヲ制定シテ呉レトノ御希望ガアツタノデゴザイマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ十分考究致シタイト考ヘテ居ル次第トゴザイマス

マス、ソコで大牟田八代兩開間ヲ複線トシテ其ノ輸送力ヲ増大シテ載キマスルナラバ物資ノ供給ハ固ヨリ、其ノ他國策遂行ニ多ク貢獻ヲナスニ至ルデアラウト思ヒマスガ、是ガ本請願ヲ提出致シマシテ所以デアリマス、何卒政府ノ御意見ヲ承リマシテ御採擇ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○倉田政府委員 大牟田八代開間複線ノ件デアリマスガ、鹿兒島本線ノ中門司カラ肥前旭マデハ既ニ複線ニナツテ居リマス、肥前旭カラ久留米ノ間ハ目下複線ノ工事中デアリマス、御話ノ大牟田八代開間複線ノ件增加シテ参リマシタカラ、將來複線ニスル必要ガアルトハ考ヘテ居リマスガ、マダ本區間ノ複線工事ニ著手スルマデニ至ツテ居リマセスガ、輸送量增加ノ趨勢ト資料關係トヲ觀合ハセテ、線路増設ノ時期ヲ決定シタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第七、余市、余別開間鐵道敷設ノ請願、文書表第六六三號——紹介議員坂東幸太郎君
○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ、北海道後志國積丹半島地方ハ、農、林、礦ノ資源ニ富ミ、且ツ沖合ニ無盡ノ海産寶庫ヲ擁スルモ、陸上交通ノ便ヲ缺ク爲メ未ダ開發セラレザル狀況ニアルコトハ遺憾ニ堪ヘマセス、仍テ同地方開發一般貨客運輸交通ニ資スル爲メ兩館本線余市驛ヨリ古平郡古平町、美國郡美園町、積丹郡入舨村ノ諸地方ヲ經テ積丹郡余別村ニ至ル區間ニ鐵道ノ敷設ヲ要望

スル請願デアリマス、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス
○倉田政府委員 余市、余別開間鐵道敷設ノ請願デアリマス、此ノ區間ハ延長五十一「キロ」デ、敷設法豫定線デアリマセヌカ、沿線ニハ余市町、古平町、美國町ナドガアリマス、又「マンガン」等ノ鑛産、林産、海産ノ物資モ相當アル線路デアリマス、現地ノ調査ヲシテ見マシタガ、此ノ積丹半島沿岸ノ地形ハ丘陵、斷崖ガ多ク、相當ノ陸道ガ出來ルヤウデアリマスカラ、今後研究シテ見タイト存ジマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員 採擇ニ決シマス

○川崎(巳)委員 是ハ昨年ノ請願委員會デモ一度採擇ニナツタノデゴザイマス、又東京ノ近クデゴザイマシテ、當局及ビ皆樣能ク御存ジノコトト思ヒマスカラ、長イ説明ハ略シマスガ、要スルニ水戸カラ北ノ方ニ向ウテ常磐線ガ磐城平カラ仙臺、盛岡ノ方面マデ延ビテ居マスト、一方ハ同じ水戸カラ分岐シマシタ水郡線ガ上菅谷、大宮其ノ他ヲ通ツテ大子ヲ經テ郡山マデ延ビテ居ルノデゴザイマス、サウシテ水戸驛ヲ出發シテ、見ルト云フト指呼ノ間ニ兩方ノ驛ガアルノデゴザイマス、其ノ距離ハ幾「キロ」デアリマスカ知リマセヌカ、極メテ僅カデアリマス、サウシテ畑ガ續イテ居ルノデゴザイマシテ、工事ノ樂ナコトハ是程樂ナモノ

○加藤委員 日程第八、勝田、上菅谷間鐵道敷設ノ請願、文書表第六七二號——紹介議員川崎巳之太郎君
○川崎(巳)委員 是ハ昨年ノ請願委員會デモ一度採擇ニナツタノデゴザイマス、又東京ノ近クデゴザイマシテ、當局及ビ皆樣能ク御存ジノコトト思ヒマスカラ、長イ説明ハ略シマスガ、要スルニ水戸カラ北ノ方ニ向ウテ常磐線ガ磐城平カラ仙臺、盛岡ノ方面マデ延ビテ居マスト、一方ハ同じ水戸カラ分岐シマシタ水郡線ガ上菅谷、大宮其ノ他ヲ通ツテ大子ヲ經テ郡山マデ延ビテ居ルノデゴザイマス、サウシテ水戸驛ヲ出發シテ、見ルト云フト指呼ノ間ニ兩方ノ驛ガアルノデゴザイマス、其ノ距離ハ幾「キロ」デアリマスカ知リマセヌカ、極メテ僅カデアリマス、サウシテ畑ガ續イテ居ルノデゴザイマシテ、工事ノ樂ナコトハ是程樂ナモノ

ハナイ短距離デアリマス、左様ナ關係デゴザイマスカラ、大正年間カラ既ニ是ハ豫定線ニ入ツテ居ルノデアリマスケレドモ、段後廻シニナツテ未ダ出來ナイデ居リマス所ニ、アノ邊ノ形勢ガ此ノ一、二年急ニ變ツテ參ツテ、勝田驛ヲ取圍シテ左右ニ岩佐兵器製造所ガ出來、ソレカラ日産系ノ日立製作所ガ、水戸工場ト名付ケタ大工場ヲ今建設中デ、モウ家ナドガ大分出來テ居リマス、ソレハ主トシテ此ノ名前ノ示ス如クニ軍需工業ノ大キナモノデゴザイマスガ、ソレニ向ツテ物資ノ出入、食料品ノ運搬及ビソレニ從業スル數千人ノ人間ノ出入ガ頻繁ニナツタノデアリマス、一方勝田驛カラ太平洋ニ向ツタ海岸ノ方デハ、是モ極メテ短距離デアリマスカ、那珂ノ湊、平磯方面ニ以前カラ古イ鐵道ガアリマシテ、ソレガ連絡シテ居ル、丁度勝田驛ヲ經テ十文字ニ交ヌスベキ所ヲ勝田驛カラ西方上菅谷驛マデナイノデゴザイマシテ、一寸切レテ居ル爲ニ不便ヲ感ジテ居ル、此ノ上菅谷驛マデ勝田町カラ繋ガリマセヌカ、ソレカラ奥ノ方ノ大宮町、玉川村、山方村、ソレカラ久慈川沿岸ノ諸村ヲ經マシテ大子町若クハ宮川村、黒澤村ト云フヤウナ所ニ出入連絡ガ非常ニ便利ニナツテ、ソレト海岸トノ連絡ガ頻繁ニナル、斯様ニ逸作モナク、而モ益ヲ得ルコト大ナル所ヲ御當局ガ長ク放ツテオイデニナルノデ、地方デハドウモヤリ切レナイ、斯ウ云フノデ早ク架ケテ載キタイト云フノガ請願ノ第一點デアリマス、併シ鐵材其ノ他ノ關係今日明日ニ着手スル譯ニ行カス、斯ウ云フ御説ガアルカモ知レヌ、ソレナラバ其ノ間ニ方々デヤツテ居リマス

○川崎(巳)委員 大體御意向ハ分リマシタガ、郵便局ノ方ハ鐵道ヨリ仕事ガ重クナイカラ輕便デモアルノデゴザイマセウガ、此ノ勝田町ニハ集配局モナシ、電報ヲ受ケタリ出シタリスル所モナイト云フノデ以テ、先日ソレニ應ズル爲ニヤハリ郵便局ニ集配事務及ビ電報事務ヲ扱フコトヲ開始ノ請願ヲ致シマシテ、選信省ノ方ハ宜シイ、形勢ガ非常ニ變ツタカラ直クニモヤレルヤウニ致シマセウ、斯ウ云フ御報告ニ預カツタノデアリマス、同じ場所ナノデアリマスカラ、鐵道省ノ方ハ少シ荷ハ重イデゴザイマセウガ、唯研究々々デ暇ヲ潰シテ居ル必要ハナイデハナイカト思フノデ、モウ少シ踏入ツテ一ツ早ク鐵道ナリ、自動車運輸開始ナリラスル目的ヲ以テ御考慮ノ願ヒタイ、ソレカラ自動車ノ件ノ御答ヘハゴザイマセヌカシタガ、其ノ方ハ如何デゴザイマセウカ

○倉田政府委員 勝田、上菅谷間鐵道ヲ建設シテ與レト云フ御話デゴザイマスガ、本區間ハ延長約八「キロ」、豫定線デアリマス、詳細ノ調査ハ最近シタコトガアリマセヌカ、地形ノ平坦ナ所デアリマシテ、沿線ニハ最近工場ガ相當出來テ居ルヤウデアリマス、甚ク短イ距離ノ線路デアリマシテ、研究ヲ要スルモノト考ヘテ居リマス、尙ホ直ク出來ルカドウカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ一寸今ノ所見當ハ付イテ居リマセウガ、相當資料ガ困難デアリマスカラ、サウ早速ト云フコトハ望メナイノデハナイカ、實ハ是ハマダ餘リ検討シテ居リマセヌカ、ハツキリ申上ゲラレマセヌカ、サウ云フ程度デアリマス

○長崎政府委員 自動車ノ方ハ建設局デハナクテ運輸局デヤツテ居リマスノデ、私カラ御答ヘ致シマス、省營自動車ト致シマシテハ勝田、上菅谷ノ路線ニ付テマダ一遍モ調査ヲ致シタコトガゴザイマセヌカ、御話ノコトモゴザイマスカラ、地方ノ交通並ニ道路ノ狀態ニ付テ一應取調ベテ見タイト考ヘテ居リマス、尙ホ御參考マデニ、是ハモウ川崎サン能ク御承知ノコトト思ヒマスカ、現在途中マデハ民營自動車ガ來テ居ルヤウニ見受ケラレマス、極ク短區間ガケノ所デアリマス、積イテ居ナイト云フ狀況デアリマスカラ、ソレ等ノ民營自動車ノ狀況等モ篤ト調ベテ決定シタイト思ヒマス

更ニモウ一ツ申上ゲタイノハ、是ハ無論此ノ路線ニ付テハナイト思ヒマスカ、昭和十年十二月ニ茨城縣會ハ、鐵道省ノ省營又ハ公營ノ自動車ガ茨城縣内ニ進出シテ來ルコトハ反對デアルト云フ意見書ヲ提出ガアルノデアリマス、無論斯ウ申シマシテ縣會トシテモ適當ニ御考ヘノコトト存ジマスカ、サウ云フヤウナ反對意見ガアルト云フコトモ此ノ際附加ヘテ申上ゲテ置キマスカ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 日程第九、春日出町ニ停車場設置ノ請願、文書表第六六八號——紹介議員塚本重藏君
○塚本重藏君 請願ノ趣旨ヲ述ベサセテ載キマス、此ノ請願ハ非常ニ古イ請願デアリマシテ、實ハ私共子供ノ時カラ聞カサレテ

居リマスル地方民ノ要望ナノデゴザイマス、私共若イ時カラモウ此處ニ驛ガ出來ル、今度ハ驛ガ出來ルト聞カサレタコトハ數回ニ及ンデ居ルノデアリマスガ、色々ナ事情ノ爲ニ其ノ度毎ニ實現セズニ至ツテ居ルノデアリマス、兎ニ角此處ニ驛ヲ拵ヘテ載キタイト云フ要求ハモウ三十年來ノ問題デアルト云フコトヲ一ツ御含ミ置キテ願ヒタイデアリマス、私ガ議會ノ末席ヲ汚スニ至ツテカラモ毎議會毎ニ此ノ請願ガ出テ、其ノ都度説明ヲ申上ゲテ居ルコトデアリマスカ、當局ニ於テモ十分御承知ニ相成ツテ居ル所ノ問題デアリマス、併シ一應此處デ簡單ニ經過ヲ申上ゲテ置キマスト、實ハ最近ニナリマシテ此ノ驛設置ノ請願ヲ致シマシタ場合ニ、今「ガソリン・カー」ガ運轉セラレテ居ルノデアリマスガ、「ガソリン・カー」ガ運轉シテ居ル間ハ、「ガソリン・カー」運轉ノ路線ニ於テハ新シキ驛ヲ拵ヘナイト云フ鐵道省ノ方針デアル、隨テ今「ヤウ」ニ「ガソリン・カー」ガ運轉シテ居ル間ハ希望ヲ達スルニ行カス、デアラカラアノ西成線ガ電化ニナル時期マデ待テ、其ノ時ニ考ヘヨウ、斯ウ當局ハ言ハレタノデアリマス、ソコデ地方民ト致シマシテモ、一應ソレヲ了承致シマシテ、一時驛設置ノ請願ヲ中絶致シタコトガアルノデアリマス、併シ其ノ場合ニハ是ハドウシテモ、電化ニシナケレバ驛ガ出來ナイノデト云フコトデ、爾來專ラ運動ヲ西成線ノ高架改築並ニ電化促進ノ運動ニ轉換シテ參リマシタ、時局ノ影響ヲ受ケマシテ此ノ地方ハ工業都市デアリマスル大阪ニ於テモ最も主要ナル工業ノ中心地デアリマス、殊ニ時局ノ影響ヲ受ケテ最近軍需工業ガ勃興致シテ參リマシテ、土地ノ狀況

モ全ク昔ト一變致シマシテ、私共ガ此ノ地ニ住ミマシタ時ニハ、其ノ沿線一帯ハ全ク是ハ葎原デアツタノデアリマス、併シ今日デハ西成線沿線ノ中ニ於ケル最も盛ナル地帯ト變ツテシマツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ西成線ノ利用ト申シマスカ、發展ト申シマスカ、サウ云フモノモ昔トハ全ク變ツテ居リマス、サウ云フコトカラ致シマシテ、西成線ノ問題ハ非常ニ重要ニ取上ゲラレヤウニナツテ參リマシタ、全ク輸送力ニ付テモ行詰ツテ居リマシタ、電化改築ノ問題ハ當局ニ於テモ取上ゲラレタノデアリマスガ、其ノ直前ニ於ケマシテ、昨年ノ一月國有鐵道始マツテ以來ノ一大悲慘事ガ此ノ要求シテ居リマスル安治川驛ニ於テ起ツタコトハ、當局ハ言フニ及バズ議員各位ニ於テモ尙ホ記憶ニ新タナ所ト思フノデアリマスガ、ソレ程ニ輸送力ト云フモノガ全ク行詰ツテ居ツテ、如何トモシ難イ狀態ニナツタ、此ノ實情ニ鑑ミラレテ政府ハ遂ニ電化ニ着手セラレマシタ、幸ヒニ致シマシテ其ノ工事ハ順調ニ進ミマシテ、日ナラズシテ電車ガ運轉スルノ狀態ニナツテ來タノデアリマス、斯ウ云フ風ニナツテ參リマスト、問題トナルウチハ春日出町設置ノ問題デアリマス、政府ハ電化ニナツタ時ニハ考ヘヨウト云フコトデアツタ、電化ガ實現シタノデアラカラ驛ガ出來ルモノト地方民ハ全ク信賴シ切ツテ居リマス、又私ニ致シマシテモ、前ノ喜安鐵道次官ノ時カラ色々ト話ヲ進メテ參リマシタ、喜安次官モ同様ニ電化ニナルマデ待テ、電化ニナツタ場合ニ於テ設置スルヤウニ考慮シヨウ、斯ウ云フコトデアツタノデアリマス、愈、電化ト云フコトガ決マリマシタ場合ニ關連ヒナク此ノ驛ハ拵ヘテ載ケマ

スカ、斯ウ云フ話ヲ進メテ行ツタ所ガ、ソレハ拵ヘヨウ、斯ウ云フコトデアツタ、唯其ノ間ノ多少ノ經緯ト申シマスノハ、大阪鐵道局ニ於ケマシテハ、私共ガ簡易ト停車場ヲ設ケテ貫ヒタイト云フ要求ヲシタノニ對シテ、簡易ト驛デハ困ル、拵ヘルカラニハヤハリ恆久的ナ本建築デナクテハ困ルノダト云フ御話デアリマシタ、併シソレガ出來ルナラ尙ホ結構ナコトデアルト考ヘテ居リマシタガ、當時ノ喜安次官ノ言葉ニ依リマスト、此ノ西成線ハ早晚高架ニ改築シナケレバナラズ必然ノ線デアル、隨テ今カラサウ金ヲ澤山拵ケテ拵ヘル必要ハナイデハナイカ、暫ク簡單ト驛デ、簡便ト建築物ニ依ツテ我慢シタラドウカ、サウシテ高架ニ改築ヲヤツテ、其ノ本建築ト言ヒマスカ、恆久的ナ驛ニ變ヘタ方ガ宜イ、國家ノ經濟カラ見テモ、サウ云フ風ニスベキデアル、斯ウ云フ御話ガアリマシテ、勿論ソレハ最初カラ私共ノ願ツテ居ル所デアリマスカ、結構デゴザイマスト云フコトデ、話ガ合一致シテ居ツタノデアリマス、サウ云フ話合ヒモアリマシタノデ、驛ノ出來ルコトハ萬萬間違ヒナイモノト私共モ確信シテ居リマシタシ、ソレヲ傳ヘマシタコトニ依リマシテ、地方民モ全ク信賴シ切ツテ居ツタノデアリマス、所ガドウ云フ事情デアリマスカ、今申シマスルヤウニ電化ノ工事ハ着々ト進ミマシテ、此ノ四月ニハ電車モ運轉ニナラウトシテ居ルノデアリマスガ、春日出町ノ問題ハ未ダ着工ニ至ラズ致シマシテ、調査研究ノ城ヲマダ脱シナイヤウナ風ニ聞イテ居ルノデアリマシテ、地方民ト致シマシテハ漸ク鼓ニ不安ノ念ヲ持ツニ至ツタノデアリマス、ソコデ致々其ノ事情ヲ調ベテ

第三類第一號 請願委員會議錄 第十一回 昭和十六年三月二十二日

見マスルト、最近何故一體此ノ驛ノ設置ガ出来ナイノデアルト云フコトヲ聴イテ見マスルト、大阪鐵道局ニ於テ申シテ居リマスル理由ガ二ツアリマス、其ノ一ツハ、此ノ驛ヲ拵ヘヨウト云フ所ガ、將來高架ニナル所カ、ナラナイ所カ、サウ云フコトガ未決定アル、高架ニナラナレバナラナイヤウニ、恆久的ナ驛ヲ拵ヘナケレバナラ...

ソレカラモウ一ツ大切ナコトハ、大阪ノ十大放射線ノ建設デアリマス、是ハ十餘年以來計畫致シマシテ、最後ニ殘サレタモノガ此ノ線デアリマスガ、傳法尼崎線ト言ハレテ居リマス、是ハ十二間道路ヲ以テ阪神國道カラ、阪神國道第二號道路、即チ和歌山ニ達スル國道デアリマスガ、其ノ國道ノ連絡スル所ヘ都市計畫ニ基テ所ノ十二間道路ガ接続セラレマス、今其ノ工事ガ着々トシテ、進ンデ居リマスシテ、丁度今問題ニナツテ居ル春日出ニ於ケル踏切ノ所ダ...

詰レル輸送力ト云フモノヲ非常ニ増大シテ、緩和セラレルト考ヘテ居ルコトモ、精細ニ検討シテ見ルト、電車ヲ運轉シテモ今日ノ「ガソリン・カー」運轉ト大シテ輸送力ガ増サナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレルトデアリマス、餘程増ス考ヘテ居ルコトモ、實際精細ニ調べ見マスルト、「ガソリン・カー」ノ運轉力ガ増シカハ増スケレドモ、サウ豫期シタ程輸送力ガ増シテ来ナイノデアアルカラ考ヘテ居ルコトモ、斯ウ言ハレルトデアリマス、併シ今ノ「ガソリン・カー」ハ大體二輛連結デアリマスガ、電車運轉ニナレバ是ハ勿論四輛連結ニナルモノト思ハレマス、隨ヒマシテ相當量ノ輸送力ヲ増スト云フコトダケハ事實デアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ當局ノ御心配ニナルコトヲ點モ解スルノコトハナイカト思フ、唯今申シマスルヤウニ、土地ノ開發發展ガ非常ニ急激ニ爲シテ居リマスカラ、隨ヒマシテ乘客ニ於キマシテモ非常ニ急激ニ増シテ来ルデアラウト云フコトハ想像出来マス、ソレダケ利用價値ガアル土地デアリマスト云フコトハ考ヘラレルトデアリマスカラ、此ノ旅客輸送量ノ増加ニ對シテ輸送力ト云フモノガ増シテ来ナイト云フ見解ダラウト思フノデアリマス、ソレカラ當局デハ安治川口並ニ西九條驛ニ於ケル乘客ノ狀況ニ付テハ詳カニ御調査ニナツテ居ルデアリマセウガ、其ノ結果ト致シマシテ、西九條驛、安治川口驛ノ利用者ト云フモノハ非常ニ多イ、ソコデ此ノ中間ニ驛ヲ設ケルナラバ、其ノ驛ノ利用者ト云フモノガ非常ニ増加シテ来ラウト云フコトハ當局モ御認めニナツテ居リマス、ソレダウカシテ来ルト、鐵道省ノ方デハ又輸送力ノ問題ニ困ルコトニナルカラ、實ハ踏切シテ居ルノダト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、ソレニ對シテ私ハ斯ウ云フコトヲ申セマス、成程今四島島地方ノ者ガ安治川口マデ歩いて行ツテ、其地方ノ者ガ安治川口マデ歩いて行ツテ、乘車シテ居リマス、ソレデスカラ春日出驛ガ出来マスレバ、今西九條驛マデ、安治川口マデ歩いて居ツタ者ガ一番近イ春日出驛利用スト云フコトニナル、ソコデ乘客ガ殖エルト云フコト、利用者ガ殖エルト云フコトハ事實デアリマス、併シナガラ一方ニ於テ其ノ爲ニ西九條驛ノ乘客ガ或ル程度減ズル、安治川口ノ乘客ガ或ル程度減ズルト云フコトハ考ヘラレルトデアリマス、今春日出驛ガ爲ニ、兩驛ヲ利用シテ居ツタガ、ソレガ新シク出来タナラバ、其ノ驛ニ集マルト云フコトハ自然ノ勢ヒダラウト思フノデアリマス、併シサウシテ見マスルト成程驛ガ出来ヌ爲ニ利用者ガ殖エルト云フコトハ間違ヒナイ所デアリマスケレドモ、當局ノ御心配ニナツテ居ル程ニ殖エルト云フコトハナイカト思フノデアリマス、又サウ云フ見透シガ付ケバ付ク程其處ニ驛設置ノ必要性ト云フモノガ認めラレルトデアリマシテ思フノデアリマス、何レニ致シマシテモ是ハ、是非トモ此ノ機會ニ於テ一ツ三十有餘年ニ亙ル地方民ノ要求ヲ容レテ實現ヲシテ戴キタイ、若シサウ云フヤウナ杞憂ニ依ツテ此ノ驛ガ出来ナイト云フコトデアラナラバ、恐ラク私ハ高架ニナツタ場合ニ於テモ同様ノ理由ガ附纏ツテ来ルト思フ、段々進歩シテ參リマスル都市ノ狀況カラ見マスレバ、更ニ又次ノ高架ニナツタ場合ニ於テハ土地ガ今日ヨリ

送力ノ問題ニ困ルコトニナルカラ、實ハ踏切シテ居ルノダト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、ソレニ對シテ私ハ斯ウ云フコトヲ申セマス、成程今四島島地方ノ者ガ安治川口マデ歩いて行ツテ、其地方ノ者ガ安治川口マデ歩いて行ツテ、乘車シテ居リマス、ソレデスカラ春日出驛ガ出来マスレバ、今西九條驛マデ、安治川口マデ歩いて居ツタ者ガ一番近イ春日出驛利用スト云フコトニナル、ソコデ乘客ガ殖エルト云フコト、利用者ガ殖エルト云フコトハ事實デアリマス、併シナガラ一方ニ於テ其ノ爲ニ西九條驛ノ乘客ガ或ル程度減ズル、安治川口ノ乘客ガ或ル程度減ズルト云フコトハ考ヘラレルトデアリマス、今春日出驛ガ爲ニ、兩驛ヲ利用シテ居ツタガ、ソレガ新シク出来タナラバ、其ノ驛ニ集マルト云フコトハ自然ノ勢ヒダラウト思フノデアリマス、併シサウシテ見マスルト成程驛ガ出来ヌ爲ニ利用者ガ殖エルト云フコトハ間違ヒナイ所デアリマスケレドモ、當局ノ御心配ニナツテ居ル程ニ殖エルト云フコトハナイカト思フノデアリマス、又サウ云フ見透シガ付ケバ付ク程其處ニ驛設置ノ必要性ト云フモノガ認めラレルトデアリマシテ思フノデアリマス、何レニ致シマシテモ是ハ、是非トモ此ノ機會ニ於テ一ツ三十有餘年ニ亙ル地方民ノ要求ヲ容レテ實現ヲシテ戴キタイ、若シサウ云フヤウナ杞憂ニ依ツテ此ノ驛ガ出来ナイト云フコトデアラナラバ、恐ラク私ハ高架ニナツタ場合ニ於テモ同様ノ理由ガ附纏ツテ来ルト思フ、段々進歩シテ參リマスル都市ノ狀況カラ見マスレバ、更ニ又次ノ高架ニナツタ場合ニ於テハ土地ガ今日ヨリ

非常ニ發展スル、サウ云フコトニナリマスレバ、ヤハリ輸送力ト旅客トヲ對比シタ問題ト云フモノガ殘サレト思フ、デアリマスカラ今ノ場合ニ於テ斷乎トシテ驛ヲ設ケテ戴カナレバナラナイ事情ニアルコトハ想像出来ルノデアリマス、長イ間ノ希望ヲ達成スルノハ此ノ機會デアアル、地方民ハ一ニ此ノ機會ニ望ミテ居ルノデアリマス、請願書ノ中ニモ書イテアリマスヤウニ、之ヲ利用致シマス戸數ハ、民家ダケ約三万戸ヲ數ヘテ居ル、其ノ外ニ近代ノ軍需工場ガ澤山アルコトハ言フマデモアリマセ、其處ニ通ツテ居ル労働者ノ數モ大體私ノ見ル所デハ三万近イモノガアラウト考ヘラレルトデアリマス、是等ノ事情ヲ御考察ナリマスレバ、此ノ機會ニ此ノ驛ヲ設置シテ戴ケルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、ドウソ一ツ此ノ機會ニ多年ニ亙ル地方民ノ希望ヲ達成セラレルヤウニ、私ハ是ガ最後ノ議會ニ於ケル請願トナランコトヲ、サウシテ次ノ議會ニ臨ム場合ニ於テハ既ニ驛ガ出来テ居ルト云フ事態ニナルコトヲ心カラ望ンデ已マナイノデアリマス、之ニ對シマスル當局ノ御意見ヲ御伺ヒシ、併セテ委員諸君ノ熱烈ナル御賛成ノ上ニ御探擇アランコトヲ切ニ御願シテ已マナイ次第デアリマス

○長崎政府委員 西成線ノ西九條、安治川口兩驛ノ間ノ春日出ニ驛ヲ設置スルト云フコトニ關シマシテハ、只今塚本サシカラ様々御説明ガゴザイマシタ通り、度々當省並ニ議會ニ請願ガアツタノデアリマス、前議會ニ於キマシテモ、電化ヲスルコトニナツテ居ルカラ是ト關聯シテ調査ヲ致シマセウト云フコトヲ申上ゲタヤウニ考ヘルノデアリ

マスガ、無論ソレニ付テ目下研究調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、同線ノ情勢、此ノ驛設置ノ請願、或ハ線路ノ高架ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、私カラ申シマスヨリ塚本サシニ於ケレバ、非常ニ詳細ニ御承知ノ通りデアリマス、御承知ノヤウニ西成線ハ近時非常ニ貨客ノ激増ヲ見テ居ルノデアリマシテ、之ヲ現在ノヤウニ貨物列車ト旅客列車ト併用ノ儘デ置クコトハ非常ニ困難ハナイカ、現狀ノ儘ノ線路デハ困難ト云フコトガ最早今日ニ於テハ必至ノ狀況デアリマス、隨ヒマシテ私カラ申上ゲルヨリ以上ニ御詳シイ塚本サシノ御理解ガアルヤウデアリマスガ、大體ニ於テハサウ云フヤウナ理由カラ致シマシテ貨物線ト旅客線ト分離スルト云フコトニ付テハ各種ノ案ガ考ヘラレ、又御承知ノヤウニ現在中央市場ニ參リマス貨物線トノ關係モゴザイマス、其ノ外道路或ハ現ニ交叉致シテ居リマス軌道トノ關係等各種ノ關係ガ非常ニ此ノ線ハ複雑デゴザイマス、無論驛設置ト云フコトハソレニ關係ナシニモ決メラレルトデアリマシカト云フ御議論デハゴザイマスケレドモ、サウ簡單ニハ之ヲ解決スルニモ參リマセウ、驛ノ増加ノミヲ考ヘマスレバ出来ルノデアリマスガ、場合ニ依レバ貨物線ト旅客線トヲ分離スルト云フコトカラ色々ナ問題モ豫想サレルトデアリマシカト思ヒマス、先程申シマシタ電化ト同様ニ、大阪鐵道局ニ於テ詳細ナル調査ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、其ノ意見ハ不日吾々ノ手許ニ參ル管デアリマス、ソレヲ拜見致シマシテ、ソレヲ如何ニ實施スルカト云フコトヲ更ニ深く研究致

シタイト思ヒマス、成程長イ間ノ問題デゴザイマシテ、請願サレル方カラ見マスレバ、電化ノ機會ヲ以テ此ノ問題ヲ解決スルト云フコトノ御希望ハ御尤モデゴザイマスガ、吾々ト致シマシテハヤハリ此ノ線路ガ複雑デアリ、非常ニ工事ノ方面カラ申シマシテモ、運賃ノ方面カラ申シマシテモ、アノ通り人家橋比ノ間ヲ通ツテ居ル線路デアリマスカラ、ソレニ改良改善ヲ加ヘルト云フコトニ付テハ相當慎重ナル態度ヲ進ンデ行カナケレバナラサト考ヘルノデアリマシテ、其ノ點ハドウソ御諒承願ヒタイト思ヒマス、尙ホ此ノ驛ヲ設置シタイト決メタ譯デアリマシテナイノデアリマシテ、更ニモウ少シ研究シテ見タイト云フコトヲ重ねテ申上ゲル次第デアリマス

- 塚本重雄君 尙ホ簡單ニ申上ゲマス、申シ落シマシタガ、驛ノ設置ニ付キマシテモ、幸ヒニ致シマシテ線路ノ兩側ニ相當ノ鐵道省所有ノ土地ガアル譯デアリマシテ、サウ大シテ土地ノ買収モ要セズシテ、鐵道ガ今日持ツテ居リマス土地ダケデ大體無理ヲスレバ行ケルノデアリマシカト私共考ヘテ居ルデアリマスカラ、鐵道省ノ決意ガアリマシナラバ非常ニ簡單ニ問題ハ片付タノデアリマス、モウ一ツ御理解願ツテ置キタイト居ラレルトデアリマスガ、問題ニナルノハ「ラッパ・アワー」ヲ一層困難ニシハシナイカト云フ心配デアリマスガ、是ハ私ハ其ノ心配ハナイト思ヒマス、今請願致シテ居リマスル者ノ希望カラ致シマスナラバ「ラッパ・アワー」ト反對ノ旅客ガ之ヲ希望シテ居ルノデアリマシテ、モウ一ツハ鐵道本省ニ於テモ通勤労働者ニ對シマシテ「キヨ」未
- 加藤委員長 日程第一〇、紀伊湯淺驛構内「ガード」擴築ニ關スル請願、文書表第六三四號——紹介議員世耕弘一君
- 世耕弘一君 請願ノ要旨ヲ簡單ニ申上ゲマス、紀勢西線和歌山縣有田郡湯淺町紀伊湯淺驛構内「ガード」ハ、前後ノ町ノ道路ハ幅員二米八〇有スルモ、其ノ幅員一米八三、高サ内法一米七ニシテ甚ダ低ク且ツ狭イノデアリマシテ、小型「ダクト」ハ勿論積荷馬車ト雖モ通行出来ザル狀態デゴザイマス、附近廣村、南廣村、津木村ヨリ町外ノ青木、山田、別所、部落、又同部落ヨリ隣村及ビ町内ノ物資ノ運搬ハ「右」ガ「ド」低狭ノ爲メ「已」ムヲ得ズ遠距離ヲ迂回シナケレバナリマセウ、時間ト努力ヲ費スルミナラズ、尙ホ「ガード」ノ東部ノ隣ニ後白河

尋ねマシタ、サウスルト橋田文部大臣ハ其ノ答辯ニハ是ハ全部讀ムト長クナリマスカラ要所ヲ申シマスガ、私ノ問ヒニ對シテ「アノヤウナ方法ハ面白クナイト云フコトハ今御話戴イタ通り考ヘテ居ル一人デゴザイマス」斯様ニ肯定セラレマス、サウシテ終ヒニ「斯様ニ述ベテ居ラレマス、併シ私人トシテノ立場カラ申シマスナラバ、アノヤウナコトガアツテハナラナイト云フコトハモウ固ク信ジテ居ル一人デゴザイマス、將來法律案トシテ出来マス時、ドウ云フ形式ニ於テ私ノ意見ガ求メラレカ存ジマセスケレドモ、若シ意見ガ求メラレマシタ時ニハ、私ハ固ク信念ヲ十分ニ披瀝スル積リデ居リマス」斯様ニ答辯セラレテ居ルノデゴザイマス、此ノ案ニ付キマシテハ他ノ委員會ニ於テ、他ノ委員ノ質問ニ對シテ厚生大臣ガ答辯セラレテ居リマスガ、ソレニ十分ニ考ヘタ上ニ云々ト云フコトデ、マダ厚生省ノ方針ハ確定致シテ居ラナイト存ジマス、既ニ此ノ委員會ニ於キマシテモ——此ノ請願ハ前ニモ申上ガマシタ如ク多數ノ各階層ノ人達數百名ノ請願デゴザイマス、請願締切ノ期限ハ十五日デ終ツタノデアリマスケレドモ、今尙未續々私ノ手許ニ此ノ請願ガ届イテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、此ノ健デ参リマスト愈々各方面ノ不安ヲ増スヤウナコトニナラウト存ジマスカラ、世界、何處ノ國ニモナイ所ノ此ノ誤レル案、サウシテ現閣僚ノ一人デアツテ而モ唯一ノ醫學者出身デアル文部大臣ガ、只今申上ガマシタ如ク明快ニ「斯様ナ案ハ宜シクナイト云フコトヲ申シテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、ドウカ此ノ點ヲ御諒察賜ハリマシテ、御採擇アラシコトヲ希望致シマス」

○坂東委員 是ハ請願者ナリ紹介議員ノ御熱心ハ洵ニ敬服シマスガ、既ニ醫藥制度調査會改善ニ關スル件ト云フ是ト同ジ意味ノモノガ出テ居リマス、又醫藥分業ノ理想一掃ニ關スル件ガ出マシテ、二案トモ參考送付ニナツテ居リマス、同一議會内容ノ同様ナモノニ對シテ其ノ取扱ハ二三ニスルヤウナコトハ出来ナイヤウナ事情モアリマスカラ、尙ホ一應政府ノ御意見モ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○加藤政府委員 此ノ問題ニ付キマシテハ醫藥制度調査會ニ於キマシテモ熱心ニ研究討議セラレタノデアリマスガ、國民醫藥ノ上カラ致シマシテ、極メテ重要ナ事柄デモアリマスノデ、尙ホ慎重ニ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○川崎(E)委員 此ノ醫藥分業ト云フハ、大分久シイ議論デ、福澤諭吉先生在世ノ頃カラ頻リニ唱ヘラレテ居タラシクモカシイ話デ、研究シ盡サレタ問題ト思ヒマス、兩方ニ色々専門家ノ意見ガアツテ、私共素人ハ其ノドチラニモ加擔スベキモノデナイノデアツテ、唯社會一般ノ情勢ニ鑑ミテ、公平ニ善處スベキモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ専門家デナイダケニ社會人ノ一般ノ空氣ヲ知ツテ居ルノデゴザイマシ、掛ツタ醫者ニ藥ヲ必ズ貰ハナケレバナラナイ——強制的ルコトハ是ハ惡イノデス、何處デ貰ハウトモ無理ニ貰ハナケレバナラヌトナルト、飲マナイデ拾テシマフカモ知レナイ、ソノコトヲ法律ヲ何カ決メテ強制的ニキキデハナイ、ソレト同時ニ強制的ニ處方ヲ押付ケラレテソレヲ受ケナクテハナラス、自分ハ肺病デアルカ何カ分ラナイノニ肺病ノ藥ヲ押付ケラレレバ氣ヲ惡

クスル、強制的ニスルコトハイカナイ、外ノ議論ハ別トシテ、此ノ請願ハ處方ノ強制交付ニ反對ノ請願デアリマス、強制スルコトニ反對スル、此ノ點ノ請願ハ餘リ今マデナカクカト思フ、能ク存ジマセスケレドモ、私ハサウ云フ風ニ記憶シテ居ル、處方箋ノ交付ヲ強制スルコトモ、掛リノ醫者カラ藥ヲ貰ハナクテハナラスト云フコトヲ強制スルノモノ、強制ハ其ダ宜シクナイカラ、其ノ強制ニ反對スル請願ハ尤モト思フ、唯醫藥分業ガ正シイカドツチガ正シイカ知リマセス、ソレハ私共、橋田文部大臣ノヤウニ醫學博士ノ知識ト經驗ヲ持ツテ居ル方デナシ、又紹介議員ノ土屋君ノヤウナ専門家デナイカラ存ジマセスカラ、其ノ議論ノ中ニ入ルノデヤナイ、唯強制シテ處方箋デモ藥デモ押付ケルト云フ制度ニ反對スルハ當然ト思ヒマシテ、一寸私ノ意見ヲ述ベテ置キマス

○坂東委員 ドウモ先刻申シマシタヤウニ二回トモ參考送付ニナツテ居リマスノデ、ソレヲ採擇ト扱フコトハ同ジ議會ハ困難ナコトチヤカカラウカト思ヒマス、強ヒテ色々説ガアリマスルナラバ採擇ヲ延期シテ貰フヨリ仕方ガアリマセスガ、如何デスカ

○土屋清三郎君 紹介議員デアツテ委員デアリマセスカラ、茲討論スルコトハ避ケマスガ、唯今坂東委員ハ同ジ問題ダト申サレマシタケレドモ、サウ云フ風ニ御考ヘニナルナラバ、是ハ一ツ御再考ヲ願ヒタイ、——同ジ問題チヤナイノデス、是ハ今マデ出テ居ル問題ト全然同一ト云フコトデハアリマセス、蓋シ問題ニナツタノハ、醫藥制度調査會ノ内容ヲ變ヘテ、答申ヲ再吟味シテ貰ヒタイト云フノデアツテ、總テガアノ中ニ含マレテ居ルガ、是ハ其ノ中ノ處

方箋ヲ強制シテ交付サスト云フ一點ダケノ問題デアル、又仰シタル所ノ醫藥分業其ノモノデモアリマセス、此ノ點ヲ一ツ十分ニ誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、マタ先般醫藥制度調査會ノ再吟味ノ問題ノ際ニ、坂東君ハ政府ノ方デモ是ハ同意デアルカラト云フ意味デ、採擇ヲ主張サレ、他ノ案ニハ參考送付ヲ御主張ナリマシタガ、斯様ナ意味デ參考送付或ハ採擇ト云フコトガ考ヘラレラナラバ、此ノ案ニ付テハ只今私ノ申上ガマシタ通り、文部大臣モ反對デアリ、マダ厚生省ヲ代表シテノ衛生局長ノ御意見ハ只今御聞キノ通り、十分ニ研究シテ見ル、斯ウ云フノデアツテ、前ノトハ違フノデアリマスカラ、此ノ點ハ一ツ誤解ノナイヤウニ御願ヒテ致シタイ、殊ニ私ハ此ノ問題ハ日本ノ醫藥ノ根本ニ關ル問題デアリマスカラシテ、若シ坂東君ノ仰シタルヤウナ意味デ醫藥制度調査會ノ問題ガ一方ハ採擇ニナリ、一方ハ參考送付ニナルト云フコトデアリマスレバ、近々本會議ニ醫藥制度調査會ノ問題ガ上程サレル場合ニ於テ、私ハ議員ノ一人トシテ是ハ何處マデモ争ハナケレバナラス問題ダ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、成ベク左様ナコトハ避ケテイト存ジマスカラ、ドウカ坂東君モ其ノ點ヲ御諒解下スツテ、此ノ問題ハアナタガ先ダツテ御シヤツタ問題トハ切り離シテ御考ヘニナルレコトヲ私ハ希望スル、若シ同ノ問題デアラナラバ、事務當局ニ於テモ同ジ見出しノ下ニ同ジモノトシテ先例ニ依ツテ處理サルベキデアリマスガ、全然アレトハ同一視シ得ナイ爲ニ別ノ問題ヲ掲ゲラレテ此ノ委員會ニ現ハレテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ヲ十分御諒察願ヒタイ、尙

ホ委員長ニ於テモ其ノ意味デ此ノ問題ハ取扱ヒテ願ヒタイ

○坂東委員 一寸政府委員ニ御尋ネシマスガ、其ノ答申案ノ中ニハ強制ト云フ意味ヲ含ンダ文句等ガアリマスカ、一ツ御尋ネ致シマス

○加藤政府委員 只今正確ニ記憶ヲ致シテ居リマセスガ、處方箋ノ強制交付ト云フヤウナ文字ハ答申ノ中ニハナカク記憶致シマス

○坂東委員 委員長一寸速記ヲ止メテ下サ

○加藤委員 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○加藤委員 是カラ速記ヲ始メマス——坂東君

○坂東委員 本請願ハ採擇ヲ延期サレンコトヲ希望致シマス

○加藤委員 延期ニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤委員 延期スルコトニ致シマス

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤委員 土屋サント川崎サニ御相談致シマスガ、第四ト第五ト一括シテ如何デゴザイマスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤委員 日程第四、失格醫師復權ニ關スル請願、文書表第六七三號

○加藤委員 日程第五、醫師並齒科醫師ニ對スル二重行政處分撤廢ニ關スル請願、文書表第六七四號——紹介議員川崎巳之太郎君

○川崎(巳)委員 私人醫者ノコトハ全ク不案内デゴザイマスガ、唯現實ニ或ル事件ニフツカリマシテ、斯様ナコトノ行ハレラデハ大變ナコトダト云フ感ヲ深クシマシタ

ノデ、此ノ請願ノ紹介者トナツタノデゴザイマス、ソコデ醫者モ、辯護士ナドト同ジヤウニ、免許ヲ開業スルモノデゴザイマスカラ、其ノ職務上失態等ガアレバ、刑法上ノ罰ナリ、行政上ノ制裁ナリヲ受ケルノハ當然デゴザイマシテ、其ノ原則ヲ破ルトカ、直サウトカ云フコトデハサラノ、ナイノデゴザイマス、併シナガラ茲ニ或ル醫者ガアツテ、其ノ失格シタ事情ガ氣ノ毒デアリ、其ノ失格後數年ニ互リマシテ懊惱呻吟シテ居ル状態ヲ見ルニ見兼ネルコトヲ目撃シマシタノデ、其ノ一人ノ爲メデハナク、此處ハ公ノ場所デゴザイマスカラ、左様ナ者ガ外ニモ深山アルカモ知レヌト思ヒマシテ、若シソレナラバト云フノデ、失格醫者ヲ復權スルコトニ關シテ、厚生省ニ御考ヘテ願ヒタイト思フノデゴザイマス、私ハ唯聞イタケデ此處大嚴ギノ請願ヲスル譯デアナイノデアリマス、私ガ紹介議員トシテ、ドナナ事實ヲ持ツテ居ルカト云ヒマス、昭和九年ニ或ル醫者ガ失格ヲシタ、其ノ失格ハ醫師法何條トヤラニ觸レタト云フコトデ失格ニナツタ、詰リ醫者トシテ營業スルコトヲ禁止サレタノデアリマス、何故ニソレニ觸レタカト云フト、麻酔藥カ阿片カ、正式ノ名前ハ知リマセスガ、密カニ賣ツテハイケナイノ賣ツタト云フコトデアリマス、ソレハ非常ナ犯罪デハナイイカト、斯ウ言ヒマス、其ノ醫者ハ日本人デスガ、自分ノ長ク診テ居ル患者ニ朝鮮人ガ居ル、ソレガ「モルヒネ」ノ注射ヲシテ貰ハスト、痲痺カ何カデ始終困ルカラ、一日毎ニ來ルニハ、勞働カ何カシテ居ル人間デセウガ、手數ガ掛ツテ困ルカラ、一部分少シ分ケテ貰ツテ、病氣ガ起ツタ

時ニ注射カ使用ヲシタイト云フ話ナノデ、長年來テ居ル患者デアリマスカラ、サウカト云フノデ、人情ニ引カサレテ一部分ヲ分ケテヤツタ、サウスルト麻藥ノ取締法ニ觸レテ、ソレニ依ツテ檢査セラレ、其ノ罪ヲ問ハレテ、裁判モ經ナイノデセウガ、二百圓ノ罰金ニ處セラレタ、所ガ麻藥ノ取締法ニ觸レテ二百圓ノ罰金ニ處セラレタ者ハ更ニ醫師法ニ依ツテ醫師ノ資格ヲ奪ハレルト云フコトニナツタ、二百圓ノ罰金ハ醫者トシテ世ノ中ニ立ツテ居リ、ソレデ以テ一家ヲ支ヘ、子供ヲ教育シテ居ル、其ノ大事ノ醫者ノ道ヲ斷タレタ、生活ヲ斷タレルト云フノハ其ノ邊ノコトデアアルカト思フノデスガ、後ノガ輕イノナラ宜シイケレドモ、後ノハ馬鹿ニ重イ、重クトモ改悔ノ實ガナケレバ是ハズツト重ク罰シテヤルベキデアリマスガ、其ノ小サナ事件ニ、初メテノコトデゴザイマスカラ、エライビツクリシテ、非常ニ謹慎シテ居ルノデス、ソレヲ見ルニ見兼ネマシテ、飯村五郎君ガ前ニ厚生省參事官デアリマシタ時ニ、衛生局ノサウ云フ仕事モ見テ、是ハ不都合ダ、衛生局ノ方々ハソレニ慣レテ居ルカラ何デモナイカモ知ラヌガ、餘所ノ普通ノ常識カラ考ヘテ見ルト、是ハ罪ノ輕イノニ關ガ餘リ重過ギル、斯ウ云フコトデ以テ、ドウカアレバ復權サセラレナイモノカト云フヤウナコトヲ話シタケレドモ、其ノ在任中ハ幾ガ付カナイデ、今日マデ持越サレタノデアリマス、隨テ飯村君ハ此ノ請願案ニ私ト一緒ニ名前ヲ並ベマシテ、紹介議員ニナツテゴザルノデス、

普通ノ者ガ考ヘルト、如何ニモ是ハ重過ギル、憲法ニ於テハ臣民ノ權利ノ所デ、帝國臣民ノ正式ノ裁判ヲ受ケル權利ヲ奪ハレルコトハナイ、是ハ日本帝國臣民ノ堂々ト憲法ヲ認メラレタ權利デアリマスガ、此ノ場合ノヤウニ行政處分ヲ左様ニ施サレテシマフト、控訴スルコトモ出来ナイ、別ニ裁判ヲ受ケルコトノ途モナイノデアリマス、ソコデ其ノ時ニ處罰セラレタ醫者ノ友人カ何カガ、其ノ時内務省所管ノ衛生局ニ泣付イタリ、警視廳ニ泣付イタリシタ所ガ、ソレハ一般ノ犯人ト同ジヤウニ恩赦ト云フコトガアルカラ、恩赦ノ時ニ君ノモ復權ニナルノダト云フコトデ、ソレヲ待ツテ居ツテ、非常ニ謹慎ヲシタ、其ノ謹慎ヲシタ形ガドナナ風ニ現ハレテ居ルカト云フト、其ノ犯罪ハ昭和九年ノ話デ、十年ニ左様ナ處罰ヲ受ケタノデスガ、非常ニ謹慎ヲシテ、敬神ノ念ガ深クテ、神社ナドニ參拜シ寄附ヲモ致シマシテ、昭和十一年ニハ、ソレノ郷里ノ茨城縣多賀郡神會ニ、無職業ノ居ルニ拘ラヌ、二百五十圓ノ寄附ヲ致シマシタノデ、神會會カラ感謝狀ヲ貰ウテ居リマス、此處ニ其ノ感謝狀ガアリマス、ソレカラ其ノ次ハ、多賀郡ノ松岡町ノ町長茂又竹五郎並ニ消防組頭積城大城カラ、消防組其ノ外町ノ公共事業ニ盡力シタト云フノデ、十二年ノ三月ニ感謝狀ヲ貰ツテ居リマス、ソレモ此處ニゴザイマス、ソレカラ更ニ改悔ノ形跡顯著ナリト認メマシテ、警視廳ヨリ昭和十四年四月一日附ヲ以テソレニ向島區警備防團班長ヲ命ズルト云フ辭令ヲ寄越シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ切ストシテ一旦過失ニ觸レタコトヲ何トカシテ取返サウトシテ一意専心努力シテ居ル、

ソレハコソ風ナ實物ヲ以テモ分ルノデア
リマス、ソコデ一方昭和十四年二月、向島ノ
醫師會會長及比其ノ區會議員トカ近隣ノ者
ガ一同決テ連ネテ其ノ時ノ醫務課長ノ上山
孝一氏ヲ訪ウテ色々話シテ所ガ改修ノ實ガ
上ツタト云フコトヲ警視廳ガ認メレバ、ソレ
デ他等ノ方ハ宜シト云フテ居ル、ソコデ
其ノ仲間ガ更ニ警視廳ニ行ツテ改修ノ實ガ
上ツタヤウニ思フガアナタノ方ノ御調べハ
ドウデスカト聽イタ所ガ、昭和十四年二月
警視廳ノ中田巡查部長ト云フノガ、ソレハ
謹慎ノ實ガ上レバ宜イノデ、私ノ方デハ所
轄警察署ヲ經テ本人ノ行狀ナドヲ詳シク調
ベタ所ガ、謹慎ノ實ガ上ツテ居ルト云フ報
告デアラカラモ宜イト思フ、斯ウ云フ話
ヲ警視廳ノ係員ガ言ハレタ、ソコデ其ノ仲
間ガ何時頃御救シニナルノデセウカト問ウ
タ所、サア是カラ手續ニ數箇月掛ツテ、七
八月ノ暑イ頃マデニハ大體免ガ付クダラウ
ト言ハレタ、ソレニ拘ラズ十四年二月カラ
モウ二箇年經ツノデゴザイマスガ、今年ノ
二月ニナツテ向島區長吉田久義ト云フ方カ
ラ、本人ニ宛テ官ノ判ヲ捺シテ通知書ガ來
マシタ「再免許方厚生大臣宛申候處年遺憾
今般再免許ハ致サザル方針ナル旨府學務部
長ヨリ通達有之候ニ付右御諒承相成度此段
及御通知申上候」是デハ前ノ話ト違フ、警
視廳ガ宜シト認メタト云フ話ト、此ノ通
知トハ話ガ違フ、府ノ學務部長ガコ、飛出
シテ來テ、イカナイト云フ通知ヲシラシ
イ、是ハドシナコトニナツテ居ルカ私共ハ
分ラナイノデ後程衛生局長ノ御説明ヲ伺ヒ
タイト思フノデアリマスガ、斯様ナ慘酷ナ
コトヲシテハ重過ギルノデハナイカ、元來
日本ノ刑罰ノ方法ハ監獄ニ入レタモノハイ

死シテ居ルノデアリマス、其ノ姉ニ涙ヲ流
シテ意見ヲサレタ、私ハ紀元節ニ女ナガラ
モ表彰サレル身ニナツタ、ソレナノニオ前
ハドウ云フ惡イコトヲシタノカ、昭和九年
以來今日六、七年ニナルノニマダ救免ニナ
ラナイノカト言ツテ泣カレタノデ、其ノ男
ハ返シ言葉ガナイトワイ、泣キナガラ話
シタノデアリマス、ソレデ改修ノ實ガ上
ナイナラバ別デアリマスガ、上ツタ者ニ對
シテ左様ナコトヲスル、裁判官デモナイ行
政官ガドウスルスト云フコトハ酷デハナ
イカト思ヒマスノデ、復權ヲシテ戴キタイ
ト云フノデアリマスガ、色々厚生省ノ御意
見モアルト思ヒマスガ、ソレヲ承リマシ
テ更ニ申上ゲタイコトガアレバ申上ゲタイ
ト思ヒマス

○加藤政府委員 只今ノ醫師ノ復權ニ關ス
ル問題デアリマスガ、御承知カト思ヒマス
ガ、醫師法第十條ト云フ規定ニ依ツテ、醫
師ガ一定ノ犯罪ヲ犯シ、又ハ業務ニ關シテ
不正ノ行為ガアツタ時ニハ免許ヲ取消ス或
ハ期間ヲ定メテ業務ヲ停止スルト云フノガ
行政處分トシテ規定サレテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ本條ノ取消處分ヲ受ケタ者ト雖モ
改修ノ情願著ナル時ハ再免許ヲ與フルコト
アルベシト云フ規定ニナツテ居ルコトモ御
承知ト思フノデアリマス、御話モアリマシ
タヤウニ醫師ノ免許狀ヲ取上ゲル、免許ヲ
取消スルコトヲ事柄ハ其ノ本人ニ取リマシ
テハ極メテ重大ナ問題デアリマスガ、左様
ナ處分ヲ致シマスルニハ、只今鈴木云々ト
云フ御話ガアリマシテ具體的ノ事件ノ内容
ハ私能ク承知致シマスガ、ヨクノ事
情ノナイ場合ハ免許狀奪ト云フヤウナ手段
ハ執ツテ居ラナイノデアリマス、御話モア

リマシテ法ノ適用ガアルカナイカト云フコ
トニナラウカト存ズルノデアリマス

○川崎(巳)委員 御伺ヒ致シマスガ、改修
ノ情ガ付イタ付カナイカハ何處デ想像ス
ルノデアリマスガ、ソレトモ警視廳ニ調ベ
テ御任セニナルノデアリマスガ

○加藤政府委員 是ハ中々難カシイ問題デ
アリマスガ、各方面色々ナ角度カラ觀察ヲ
致シマシテ、而モ相當ノ期間觀察ヲ致シマ
シタ上デ決定スルノガ適當カト存ジテ居
マスノデ、警視廳ノ係員ノ者ノ證明ガアレ
バ即チ宜シト云フ風ニモ申上ゲ兼ネルヤ
ウニ存ジテ居リマス

○川崎(巳)委員 此ノ問題デ澤山時間ヲ取
ルコトハ恐縮デスカラ私ハ是デ終リマス
ガ、警視廳ハ昭和十四年ニ既ニ改修ノ情願
著ナリト認メタ、ダカラ是ハ同年二月ノ話
デ七、八月頃ニハ大抵復權ニ改メルト云フマ
デニ行ツタノデアリマシテ、ソレヲ打消ス
ルノ事實ガアツタカ、ソレハ只今ノ局長
ガ御著任前ノ話デ御存ジナイデアリマセウ
ガ、私共亦ドシナ事實ガアツテ警視廳ガ左
様ナ證明ヲ取消スヤウニナツタカ不可思議
ニ思フ、犯罪當時ハヨクノコトデドシ
ナコトガアツタカ、私ハ局長ト同ジ立場ニ
居ルノデ存ジマセウガ、併シ問題ハ其ノ時
デハナクテ、改修ノ事實ガドウスルコト
フ話デゴザイマス、警視廳ガ信用ガ置
ケナイト云フコトデハ何ウモ話ニナラナイ
是ハ警視廳デ現ニ角ヤウツ外ニ中央衛生
會トカ何トカ云フコトノ機關ヲ經ルコト
ハ當然デアリマス、ソレガ世間ノ人殺シナ
ドヲ企テテ人ナドヨリモツト話ニシテア
ル、ソレデハ釣合ガ取レナイデハナイカ、
サウ云フ權限ヲ持ツテ居ル方ハチト察シテ

デメテイデメ抜イテモ構ハナイ、昔ハ斯ウ
云フコトデアリマシタ、ソレハ日本ノミナ
ラズ何處ノ國デモ古イ思想デアツタガ、近
來ハ改修ノ段々改修ニ赴イタモノハ救免
ト云フコトノ方針ニナツテ、監獄ハ人ヲ罰
シテヒドイ目ニ遣セル所デアリマシタ、改修
サセル一種ノ寺院若クハ學校ノヤウニ扱ワ
テ居ルノガ今日ノ刑事政策デアアルコトハ申
上ゲルマデモナイノデアリマス、然ルニ裁
判官デモナイ行政官ガ馬鹿ニ其ノ事情ヲ自
分ノ權限内ニアルト云フノヲ奇貨トシテ、
宜イヤウニ判斷シタリ何カシテ、裁判所ノ
判決ヲ受ケテ罪人ニナツタ者ニモ報ヒルニ
云フコトヲ警視廳ノ責任アル巡查部長ガ言
フコトモ他ノドコカデソレヲ曲ゲラレルト云
フコトニ私ノ方ニハ報告ガアリ、又關係書
類ヲ見セニ參ツテ居リマスガ、是ハ甚ダ怪
シカラスト思フ、ドレダケ失格醫者ガ全國
ニアルカ、又其ノ事情ガドウデアアルカ存ジ
マセウガ、私ノ方ノ問題ニナツテ居リマス
者ダケハ、餘リ酷デハナイカト思フノデアリ
マス、ソコデ最後ニ一言加ヘマスガ、此ノ
失格醫者ハ六十歳ヲ、愛國婦人會ノ茨城縣
多賀郡松岡町ノ副會長何方ヲシテ居ルノ
デアリマスガ、非常ニ事變以來骨ヲ折ツタ
ト云フノデ、此ノ間ノ紀元節ニハ縣カ町會
カラ記念品ヲ添ヘテ表彰サレテ、本年二
月二十三日ノ「イバラキ」新聞ニ其ノ記事ガ
載ツテ居ルノデ、申々感心ダト思ツテ私ハソ
レヲ讀シタノデアリマス、然ルニ此ノ六十
歳ノ姉、弟ハ五十歳デ十歳程違フノデアリ
マスガ、子供ノ時ニ其ノ姉ニ世話ニナツタ
ノデ母ノヤウニ思ツテ居ル、實ノ母ハ既ニ

トガ出來ルヤウナ規定ニナツテ居ルノデア
リマス、所ガ醫師法ニ依ル診察所ニ關スル
規定ガ命令ニ讓ラレテ居リマシテ、ソレニ
依ツテ厚生省令トシテ診察所取締規則ト云
フモノガ出テ居リマス、其ノ二十八條ニ、
醫師ガ診察所ノ開設者トシテ業務ニ關シテ
犯罪又ハ不正ノ行為ノアツタ場合ニハ、診
察所ニ依ル診察ヲ停止シ又ハ閉鎖ヲ命ズル
コトガ出來ルト云フ規定ガアルノデアリマ
ス、此ノ規定ガアル爲ニ醫師ガ業務ニ關シ
テ犯罪ヲナシ或ハ不正ノ行為ガアツタ場合
ニハ、醫師法ノ第十條ニ依ツテ行政處分ヲ
受ケルコトガ出來ルシ又此ノ診察所取締規
則ノ二十八條ニ依ツテ行政處分ヲ受ケルコ
トガ出來ルヤウニナツテ居リマス爲ニ、開
業醫ハ同ジ行為ニ對シテ、初メハ診察所取
締規則ニ依ツテ地方官限リニ其ノ診察所
ニ依ル診察ヲ停止シ命ゼラレ或ハ診察所ノ
閉鎖ヲ命ゼラレテ全然診察ガ出來ナクナリ
マシタ上ニ、更ニ日ヲ經テ今度ハ厚生大臣
カラ醫師法第十條ニ依ツテ業務ヲ停止シ命
ゼラレ若シハ其ノ免許取消ノ處分ヲ受ケ
ルト云フニ重ナル處分ヲ受ケル危險ガアルノ
デアリマス、實ニ觀念的ニ此ノ危險ガアル
バカリデナク、最近ニモ其ノ實例ガゴザイ
マシタ、即チ其ノ醫師ハ東京ノ警視廳管下
ニ於テ診察所ヲ開イテ診察ニ従事シテ居タ
醫師デアリマスガ、偶々自分ノ使ツテ居ル所
ノ代診ガ、自分ガ學校醫トシテ學校ノ児童
ヲ連レテ他ニ行ツテ居ル間ニ、平生掛リ付
ケノ患者カラ急ニ呼バレテ、サウシテ診察
ヲシタト云フコトガ問題ニナリマシテ、其
ノ代診ハ免許ヲ得ズシテ營業ヲ爲シタルモ
ノトシテ警察ノ取調ベテ受ケテ、檢事局デ
略式命令罰金ニナツタ、其ノ醫師ハ取調

ベテ受ケマシタケレドモ、自分ノ留守ノ爲
ニヤウコトデアリマスガ、處分ハ受ケ
ズニ済ミマシタガ、併シ代診ヲ使ツテ其ノ
代診ガ無免許デヤウト云フコトハ宜クナイ
ト云フコトカラ、其ノ醫師自身ハ罰金ニ處セ
ラレタ譯デモ何デモアリマセウガ、突然警視
廳ノ方カラ診察所ノ閉鎖ヲ命ゼラレタ、サウ
シテ此ノ區内デハ診察所ノ開設ハ許サス、斯
ウ云フコトデアリマシタノデ、多數診察中ノ
患者ヲ抱ヘテ途方ニ暮レテ、色々他區ニ於
テ工夫ヲ致シマシタケレドモ、實家ノ少イ東
京ノ現狀ニ於テハ到底ソレヲ求メルトコトガ出
來ナイ、數箇月經ツテ私ノ所ニ參リマシタノ
デ、私ハ事情ヲ聽イテ氣ノ毒ニ思ヒマシテ、
警視廳ノ方ニ行ツテ色々頼ンデ諒解ヲ得マ
シテ、私自身ガ診察所ノ開設者トシテ其ノ
醫師ガ從來通り患者ノ診察ヲ繼續スルヤウ
ニナツタ、所ガ其ノ後ニナリマシテ厚生大
臣カラ二箇月間醫師法第十條ニ依ツテ業務
ヲ停止シ命ズル旨ノ連ヲ受ケタ、ソレデ二
箇月間診察ヲ止メル、本人ハ自分ガ罰金ニ
處セラレタノデモナイ、然ルニ診察所取締
規則ニ依ツテ診察所ノ閉鎖ヲ命ゼラレタ、
恐ラク地方官ノ考ヘハ、無免許ノ代診ヲ
使ツタト云フコトヲ、業務ニ關シ不正ノ行
爲アリト云フ解釋ヲ採ツテ、診察所ノ閉鎖
ヲ命ジタト思フノデアリマスガ、其ノ後ニ
於テ同ジ事情ニ對シテ厚生大臣カラ今度ハ
營業ヲ停止シ命ゼラレタト云フ事實ガアツ
タノデアリマス、洵ニ氣ノ毒ナコトデアリ
マスガ、私ハ此ノコトデ段々規定ヲ調ベ
テ見マス、同ジ規定ガ齒科醫師法及ビソ
レニ基クテ所ノ齒科診察所取締規則ニモアリ
マシテ、之ニハ醫師法ノ規定ヲ準用スルヤ
ウニナツテ居リマスガ、齒科醫師モ當然

ソレハコトナク風物ヲ以テモ分ルノデア
リマス、ソコデ一方昭和十四年二月、向島ノ
醫師會會長及比其ノ區會議員トカ近隣ノ者
ガ一同扶ヲ連テ其ノ時ノ醫務課長ノ上山
孝一氏ヲ訪ウテ色々話シテ所ガ改後ノ實ガ
上ツタト云フコトヲ警視廳ガ認メレバ、ソレ
デ他等ノ方ハ宜シト云フテ居ル、ソコデ
其ノ仲間ガ更ニ警視廳ニ行ツテ改後ノ實ガ
上ツタヤウニ思フガアナク、方ノ御調ハ
ドウデスカト聴イタ所ガ、昭和十四年二月
警視廳ノ中田巡查部長ト云フノガ、ソレハ
謹慎ノ實ガ上レバ宜イノ、私ノ方デハ所
轄警察署ヲ經テ本人ノ行狀ナドヲ詳シク調
告デアラカモウ宜イト思フ、斯ウ云フ話
ヲ警視廳ノ係員ガ言ハレタ、ソコデ其ノ仲
間ガ何時頃頃シニナルノデセウカト問ウ
タ所、サア是カラ手續ニ數箇月掛ツテ、七、
八月ノ暮イ頃マデハ大體處分付クダラウ
ト云ハレタ、ソレニ拘ラズ十四年二月カラ
モウ二箇年經ツノデゴザイマスガ、今年ノ
二月ニナツテ向島區長吉田久義ト云フ方カ
ラ、本人ニ宛テ官ノ判ヲ捺シテ通知書ガ來
マシク、再免許方厚生大臣宛申候處遺憾
今般再免許ハ致サザル方針ナル旨府學務部
長ヨリ通牒有之候ニ付右御諒承相成度此段
及御通知申上候ニ是デハ前ノ話ト違フ、警
視廳ガ宜シト認メタト云フ話ト、此ノ通
知トハ話ガ違フ、府ノ學務部長ガコ、へ飛出
シテ來テ、イカナイト云フ通知ヲシタラシ
イ、是ハドンナコトニナツテ居ルカ私共ハ
分ラナイノデ後程衛生局長ノ御説明ヲ伺ヒ
タイト思フノデアリマスガ、斯様ナ慘酷ナ
コトヲシテハ重過ギルノデハナイカ、元來
日本ノ刑罰ノ方法ハ監獄ニ入レタモノハ

死ンデ居ルノデアリマス、其ノ姉ニ涙ヲ流
シテ意見ヲサレタ、私ハ紀元節ニ女ナガラ
モ表彰サレル身ニナツタ、ソレナノニオ前
ハドウ云フ惡イコトヲシタノカ、昭和九年
以來今日六、七年ニナルノニマダ救免ニナ
ラナイノカト言ツテ泣カレタノ、其ノ男
ハ返シ言葉ガナイトワイ、泣キナガラ話
シタノデアリマス、ソレデ改後ノ實ガ上ラ
ナイナラバ別デアリマスガ、上ツタ者ニ對
シテ左様ナコトヲスル、裁判官デモナイ行
政官ガドウスルスト云フコトハ酷デハナ
イカト思ヒマスノ、復權ヲシテ戴キタイ
ト云フノデアリマスガ、色々厚生省ノ御意
見モアルト思ヒマスカラ、ソレヲ承リマシ
テ更ニ申上ゲタイコトガアレバ申上ゲタイ
ト思ヒマス

○加藤政府委員 只今ノ醫師ノ復權ニ關ス
ル問題デアリマスガ、御承知カト思ヒマス
ガ、醫師法第十條ト云フ規定ニ依ツテ、醫
師ガ一定ノ犯罪ヲ犯シ、又ハ業務ニ關シテ
不正ノ行為ガアツタ時ニハ免許ヲ取消スル
ハ期間ヲ定メテ醫業ヲ停止スルスト云フノガ
行政處分トシテ規定サレテ居ルノデアリマ
ス、尙ホ本條ノ取消處分ヲ受ケテ者ト雖モ
改後ノ情狀申上ル時ハ再免許ヲ與フルコト
アルベシト云フ規定ニナツテ居ルコトモ御
承知ト思フノデアリマス、御話モアリマシ
タヤウニ醫師ノ免許狀ヲ取上ゲル、免許ヲ
取消スト云フ事柄ハ其ノ本人ニ取リマシテ
ハ極メテ重大ナ問題デアリマスカラ、左様
ナ處分ヲ致シマスルニハ、只今鈴木云々ト
云フ御話ガアリマシテ具體的ノ事件ノ内容
ハ私能ク承知致シマスガ、ヨク／＼ノ事
情ノナイ場合ハ免許狀ヲ取上ゲルノ手段
ハ執ツテ居ラナイノデアリマス、御話モア

リマシテ法ノ適用ガアルカナイカト云フコ
トニナラウカト存スルノデアリマス

○川崎(巳)委員 御伺ヒ致シマスガ、改後
ノ情ガ付イタカ付カナイカハ何處デ想像ス
ルノデアリマスガ、ソレトモ警視廳ニ調ベ
テ御任セニナルノデアリマスガ

○加藤政府委員 是ハ中々難カシイ問題デ
アリマスガ、各方面色々ナ角度カラ觀察ヲ
致シマシテ、而モ相當ノ期間觀察ヲ致シマ
シタ上デ決定スルノガ適當カト存ジテ居
マスノ、警視廳ノ係員ノ者ノ證明ガアレ
バ即チ宜シト云フ風ニモ申上ゲ兼ネルヤ
ウニ存ジテ居リマス

○川崎(巳)委員 此ノ問題澤山時間ヲ取
ルコトハ恐縮デスカ私ハ是デ終リマス
ガ、警視廳ハ昭和十四年ニ既ニ改後ノ情狀
著ナリト認メタ、ダカラ是ハ同年二月ノ話
デ七、八月頃ニハ大抵復權ニ改メルト云フマ
デニ行ツタノデアリマシテ、ソレヲ打消ス
ドシナ事實ガアツタカ、ソレハ只今ノ局長
ガ御著任前ノ話デ御存ジナイデアリマセウ
ガ、私共亦ドンナ事實ガアツテ警視廳ガ左
様ナ證言ヲ取消スヤウニナツタカ不可思議
ニ思フ、犯罪當時ハヨク／＼ノコトデドン
ナコトガアツタカ、私ハ局長ト同立立場ニ
居ルノデ存ジマセウガ、併シ問題ハ其ノ時
デハナクテ、改後ノ事實ガドウスウト云
フ話デゴザイマス、警視廳ガケデ信用ガ置
ケナイト云フコトハ何ウモ話ニナラナイ
是ハ警視廳デ見ニ角ヤツタ外ニ中央衛生
會トカ何トカ云フコトノ機關ノ經ルコト
ハ當然デアリマス、ソレガ世間ノ人殺シナ
ドヲ企テテ罪人ナドヨリモツト酷ニシテア
ル、ソレデハ釣合ガ取レナイデハナイカ、
サウ云フ權限ヲ持ツテ居ル方ハチト察シテ

吳レナクテハ困ルデハナイカ、五・一五事
件デモ、血盟團事件デモ、二・二六事件デ
モ、死刑ニテモ處セラレタ人間ハモウ歸ツテ
ハ來ナイガ、其ノ外ノハ大抵出テシマツテ
殘ツテ居ルノハナイ、アレ位天下ヲ引繰返
スヤウナ大キナ懸キヲシタノガサウデア
ソレヲ人ノ痛イノハ何處マデモ我慢ヲスル
ト云フヤウナコトデハ困ル、醫ハ仁術ナリ
ト申シマスガ、醫者ヲ取締ル方ノ衛生局長
ノ中央衛生會ナリノ諸公ニ考ヘテ戴カナケ
レバナラス問題ダト思ヒマス、ソコデ兎ニ
角ソノ風ニ辻褃ノ合ハナイコトモ先程述
ベタヤウニアルノデアリマスケレドモ、警
視廳ノ左様ナ證言ヲシタコトヲ何處デドン
ナ理由デ取消シタカ、ソコデドンナ決定ヲ
與ヘタノカ、其ノ邊ハアナタハ新シク着任
セラレタノダカラ能ク御證言ヲ願ヒタイ、
サウシテ善處セラレントコトヲ希望致シタイ
ノデゴザイマス、隨テ此ノ請願ハ採擇ヲ御
願ヒ致シマス

○土屋清三郎君 只今川崎君カラ一旦免許
取消ノ處分ヲ受ケテ醫師ノ復活ニ付テ極メ
テ同情アル請願趣旨ノ御話ガゴザイマシ
タ、私モ聴イテ居リマシテホロリト致シタノ
デアリマス、此ノ請願ハ私ガ紹介議員デア
ツテ、而モ私自身ガ請願者デゴザイマシテ、
川崎君ノ御紹介ニナリマシタ醫師法第十條
ノ行政處分ニ關スル問題デアリマス、只今加
藤衛生局長カラ御話ニナリマシタ通り、醫師
ノ行政處分ニ關シテハ、醫師法第十條ニ
醫師ガ六箇年以内ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラ
レ或ハ醫師ノ業務ニ關シテ罰金ニ處セラレ
若シハ不正ノ行為ガアツタ場合ニハ厚生
大臣ハ中央衛生會ノ審議ヲ經テ其ノ免許ヲ
取消シ又ハ期間ヲ定メテ醫業ヲ停止スルコ
トガ出來ルヤウナ規定ニナツテ居ルノデア
リマス、所ガ醫師法ニ依ル診察所ニ關スル
規定ガ命令ニ讓ラレテ居リマシテ、ソレニ
依ツテ厚生省令トシテ診察所ノ取捨規則ト云
フモノガ出テ居リマス、其ノ二十八條ニ、
醫師ガ診察所ノ開設者トシテ業務ニ關シテ
犯罪又ハ不正ノ行為ガアツタ場合ニハ、診
察所ニ依ル診察ヲ停止シ又ハ閉鎖ヲ命ズル
コトガ出來ルト云フ規定ガアルノデアリマ
ス、此ノ規定ガアル爲ニ醫師ガ業務ニ關シ
テ犯罪ヲナシ或ハ不正ノ行為ガアツタ場合
ニハ、醫師法ノ第十條ニ依ツテ行政處分ヲ
受ケルコトガ出來ルシ又此ノ診察所ノ取捨規
則ノ二十八條ニ依ツテ行政處分ヲ受ケルコ
トガ出來ルヤウニナツテ居リマス爲ニ、開
業醫ハ同行爲ニ對シテ、初メハ診察所ノ取
捨規則ニ依ツテ地方官限リニ其ノ診察所
ニ依ル診察ヲ停止ヲ命ゼラレ或ハ診察所ノ
閉鎖ヲ命ゼラレテ全然診察ガ出來ナクナリ
マシタ上ニ、更ニ日ヲ經テ今度ハ厚生大臣
カラ醫師法第十條ニ依ツテ醫業ヲ停止ヲ命
ゼラレ若シハ其ノ免許取消ノ處分ヲ受ケ
ルト云フ二重ノ處分ヲ受ケル危險ガアルノ
デアリマス、嘗ニ觀念的ニ此ノ危險ガアル
バカリデナク、最近ニモ其ノ實例ガゴザイ
マシタ、即チ其ノ醫師ハ東京ノ警視廳管下
ニ於テ診察所ヲ開イテ診察ニ從事シテ居タ
醫師デアリマスガ、偶々自分ノ使ツテ居ル所
ノ代診ガ、自分ガ學校醫トシテ學校ノ兒童
ヲ連レテ他ニ行ツテ居ル間ニ、平生掛リ付
ケノ患者カラ急ニ呼バレテ、サウシテ診察
ヲシタト云フコトガ問題ニナリマシテ、其
ノ代診ハ免許ヲ得ズシテ醫業ヲ爲シタルモ
ノトシテ警察ノ取調ヲ受ケテ、檢事局デ
略式命令デ罰金ニナツタ、其ノ醫師ハ取調

ベラ受ケマシタケレドモ、自分ノ留守ノ爲
ニヤツタコトデアリマスカラ、處分ハ受ケ
ズニ済ミマシタガ、併シ代診ヲ使ツテ其ノ
代診ガ無免許デヤツト云フコトハ宜クナイ
ト云フコトカラ、其ノ醫師自身ハ罰金ニ處セ
ラレタコトカラ、診察所ノ閉鎖ヲ命ゼラレタ、
此ノ區内デハ診察所ノ開設ハ許サス、サ
ウ云フコトデアリマシタノ、多數診察中ノ
患者ヲ抱ヘテ途方ニ暮レテ、色々他區ニ於
テ工夫ヲ致シマシタケレドモ、貸家ノ少イ東
京ノ現狀ニ於テハ到底ソレヲ求メルトガ出
來ナイ、數箇月經ツテ私ノ所ニ參リマシタノ
デ、私ハ事情ヲ聴イテ氣ノ毒ニ思ヒマシテ、
警視廳ノ方ニ行ツテ色々頼ンデ諒解ヲ得マ
シテ、私自身ガ診察所ノ開設者トシテ其ノ
醫師ガ從來通り患者ノ診察ヲ繼續スルヤウ
ニナツタ、所ガ其ノ後ニナリマシテ厚生大
臣カラ二箇月間醫師法第十條ニ依ツテ醫業
ノ停止ヲ命ズル旨ノ達ヲ受ケテ、ソレデ二
箇月間診察ヲ止メル、本人ハ自分ガ罰金ニ
處セラレタノデモナイ、然ルニ診察所ノ取捨
規則ニ依ツテ診察所ノ閉鎖ヲ命ゼラレタ、
恐ラク地方官ノ考ヘハ、無免許ノ代診ヲ
使ツタト云フコトヲ、業務ニ關シ不正ノ行
爲アリト云フ解釋ヲ採ツテ、診察所ノ閉鎖
ヲ命ジタト思フノデアリマスガ、其ノ後ニ
於テ同ジ事柄ニ對シテ厚生大臣カラ今度ハ
醫業ノ停止ヲ命ゼラレタト云フ事實ガアツ
タノデアリマス、洵ニ氣ノ毒ナコトデアリ
マスカラ、私ハ此ノコトデ段々規定ヲ調ベ
テ見マス、同ジ規定ガ齒科醫師法及ビソ
レニ基クテ所ノ齒科診察所ノ取捨規則ニモアリ
マシテ、之ニハ醫師法ノ規定ヲ準用スルヤ
ウニナツテ居リマスカラ、齒科醫師モ當然

斯ウ云フ災厄ニ遭ハナケレバナラヌ、斯ウ云フコトハ法律ノ全ク豫想シナイ所デアリ...

醫師會ノ會員デモナイ、本來ハ岩手縣ノ人デアツテ、或ル犯罪事件ノ爲ニ上告ヲシテ...

停止スルモノデアリマシテ、各其ノ目的トスル所ハ、自然異ナル建前デアルノデアリ...

所、尿場ノ整理廢合ニ付テハ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテ別段地方廳ニ指示ヲ致シ...

(大島寅吉君發言參照)

紹介議員 大島 寅吉 衆議院議員 田代 正治 同 渡邊 泰邦

ソレカラ御質問デ醫師法第十條ノ取消又ハ停止處分ヲスル場合ニ、業務ニ關セザル犯罪ニ依ツテ、殊ニ執行猶豫等ノ措置ヲ受ケ...

一、興亞建設ト海運 興亞建設ノ重大要件中興亞ナルモノトシテ資源開發、物資ノ輸送ヲ數フベク...

第三類第一號 請願委員會議錄 第十一回 昭和十六年三月二十二日

フルニ燈臺、無線局、航路標識等ノ設備不十分ナルニヨリ往々ニシテ事故ヲ惹起シ不測ノ國家の大損害ヲ招クコト...

三、學校配置ト地理的關係 農ニ政府御當局ニ於テハ高等海員養成機關タル商船學校ヲ必要トシ從來ノ縣立商船學校ヲ初回ニ於テ四校、次...

夏季休暇中ハ漫然トシテ之ヲ空費スルノ情況ニアリテ其家庭ノ手傳ヲナス者ノ如キモノナドハ殆ド見當ラザルノ有様デア...

日本佛教ノ體質體制ニ關スル請願書 推古天皇ノ詔勅ニ發シ、聖德太子ノ憲法ニ基キ、歷代、天皇ノ垂範遊バサレタル...

一、政府ハ帝國領土内ノ佛教寺院(以下日本佛教寺院ト稱ス)ニ任職ラシテ、本堂ニ御座代、天皇ノ佛教御垂示ノ詔勅ヲ謹...

四、函館市ノ優越性 (一) 北日本ノ中央部ニ位シ交通ノ要衝ニ當リ教職員及生徒ノ獲得容易ナリ...

函館市長 齋藤與一郎 函館市會議長 登坂 良作 函館商工會議所會頭 齋藤榮三郎...

保護委員、檀家防貧保護委員、檀家思想保護委員、檀家司法保護委員ニ任命ス...

請願要旨第四項ノ說明 (一) 政府ハ日本佛教寺院住職ヲシテ、檀家住所ノ行政區別別ニ、寺院ノ檀家名簿ヲ作製セシメ、之ヲ當該行政...

シ、(ホ)ノ保護ヲ、檀家防貧保護委員ノ任務トス (五) 警察署長ガ思想犯人ヲ檢舉セルトキハ本人住所ノ區町村長ヲ通ジ...

網走町長 大橋千次郎 厚岸町長 齋藤 廣市 稚内町長 富田 敬政...

大東亞 (坂東委員發言参照) 國策遂行ノ根本ハ夫レニ關スル知識ヲ國民ニ徹底周知セシムルヲ以テ其要諦トス...

男子ノ徳性 我國ニ於テ婦人ノ徳性ノ涵養ハ教育ノ上ニ於テ相當徹底セラレレ之方我國ノ家庭ノ基礎ヲ鞏固ニシテ女教養ノ上ニモ大貢獻...

請願理由 日本ノ佛教ハ、推古天皇ノ佛法興隆ノ詔勅以來、皇統御歷代ノ御崇信深厚ニ在シマシテ、天武天皇ヲ始メ奉ル四十八尊位...

ナル住職ヲ推薦セザルトキハ、文部省ハ有能ナル宗教家ヲ選任シテ住職事務取扱者ヲ任命ス (九) 文部省ハ佛教各宗派ノ教學機關ニ對シ、上述ノ四種ノ檀家保護委員事務ノ精神ト學理ト實際ト教育ヲ習シ...

ノ續出セルハ、是ヲ裏書シテ餘リアルモノナリ、肇國以來ノ大國難ノ下、尙國民ノ間ニハ治ヲトシテ私欲私益ヲ計リテ顛ミザル徒輩アリ、又ハ敵性民族ヘノ謀報行爲ヲ勤メテ恬然タル實國奴アリ、六百年前元寇ノ大軍ヲ撃退セル國民ノ意氣、又ハ明治征清征露ノ戰役當時ノ國家の緊張ニ比シ實ニ雲泥ノ相違ヲ見ントス、即チ國家ガ事變以來繁鎖ナル法律規則ヲ新制シテ辛ウジテ之ヲ懲罰防止セント厲心スルガ如キ狀況ハ、豈金甌無敵ナル大日本帝國最大ノ恥辱ニ非ズヤ、茲ヲ以テ現時曠古ノ非常時局下國民ハ一億一心、國體明徴ノ立場ヨリ、皇祖皇宗ノ御崇信遊バサレタル鎮護國家慈悲無我ノ日本佛教ヲ再ビ國民生活ノ各機構中ニ實現實踐セシメ、御歷代 天皇ノ大御心ニ沿ヒ奉ラザルベカラズ、コレガ爲メニハ國家ハ戒心自省シテ先ヅ寺院住職使命遂行ノ道ヲ開カザルベカラズ、余ガ淺學不識ヲ恥ヂズ自ラ故ニ日本佛教ノ實體體制ニ關スル請願ヲナス理由ハ是ニ存ス、冀クハ本請願ノ趣旨ヲ採用實施アラレンコトヲ

(一) 松定吉君發言參照
(二) 柔道整復術ノ名稱ヲ接骨術ト御改正相成度
(理由)
柔道整復術ナル名稱ハ世人ニ通セス殊ニ柔道ノ字句ヲ冠セル爲メ柔道ノ教授ヲ爲ス何レノ道場ニ於テモ施術ヲ受ケ得ラルルモノト誤信サレ其ノ結果無資格者ノ違反行爲甚ダ多ク依テ一般世人ニ容易ニ熟知シ得ラルル接骨術ト改正相成度候

昭和十六年三月二十二日印刷
衆議院事務局

(二) 大日本接骨專門學校創立ヲ切望ス
(理由)
現今柔道整復術營業者ハ學歴ノ差大ニシテ下ハ義務教育修了者ヨリ上ハ大學修了者ニ至ル實狀ナリ從テ人格學識等ニ於テモ其開キ實ニ大ニシテ社會的信用ヲ得ルニ支障ヲ來スコト多シ、醫學ノ基礎的知識ヲ會得セシムルニハ少クトモ中等學校程度ノ學力ヲ有セサルヘカラスコレニ專門的學術並ヒニ技術ヲ三ヶ年若クハ四ヶ年ニ互リテ收得セシムル事極メテ肝要ナリ茲ニ關東關西ニ各一ヶ所接骨專門學校ヲ創設シテ將來優秀ナル接骨師ヲ養成シコレカ卒業生ヲシテ接骨營業ヲ成サシメラレ度
(三) 軍陣外科ノ一部ノ擔當ヲ計ラレ度
(理由)
接骨專門學校卒業者ヲ以テ一朝有事ノ際ハ軍陣外科ノ一部ヲ擔當シ特殊技能ヲ發揮シ國家ニ御奉公ヲ盡サシメラレ度、之今時事變ニ戰陣中幾多ノ貴重ナル體験ニヨリテ充分必要性ヲ有スルモノト信スルヲ以テ軍醫又ハ準軍醫トシテ御採用相成ル様御取計ヒ相成度
(四) 柔道整復術受驗資格ノ改正ヲ望ム
(理由)
當分ノ間柔道整復術ヲ受驗セントスルモノハ中等學校卒業者又ハ同等程度ノ者ニシテ柔道整復術ノ學識並ヒニ實地ヲ師ニ就キテ四ヶ年修業シ現ニ柔道ノ教授ヲ爲スモノト御改正ノ上柔道試験ヲ行ハレ度
(五) 柔道整復術ノ試驗方法改正ニ就イ

(理由)
現今各府縣毎ニ實施セラルル試驗制度ハ統一ヲ缺ク嫌ヒアリ故ニ營業者ノ實力ニ於テ大ナル等差無キ能ハサル狀態ニ在ルハ誠ニ遺憾ナル次第ナリ故ニ各縣ニ於テ實施セラルル試驗制度ヲ此際廢止セラレ大阪東京ニ於テ年一回厚生省主催ノ試驗ヲ施行相成度
(六) 現營業者約參千有餘名ノ再教育ヲ實施相成度事
(理由)
柔道整復術ニ必須ナル生理解剖學、病理學及ヒ、診斷學、藥學(一部)ノ講習ヲ我國六大學ニ依頼シテ比較的長期ニ互ル而モ嚴肅ナル再教育ヲ受ケテ以テ骨折脫臼ノ非靦血的治療ノ御許可ヲ得度、更ニ現業業者ノ登錄相成度此儀當局各位御承認ノ上特別ノ御指導賜リ度
(七) 現營業者新法規ニ依リテモ資格ヲ有スルコトトセラレタキコト
(理由)
現ニ柔道整復術營業者ハ多年斯業ノ爲貢獻シ來リタルモノナレハ單獨ノ法規御制定ノ際ハ新法規ニ依リテモ資格ヲ保有スルコトトセラレ度

昭和十六年三月二十三日發行
衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第三類 第一號

第七十六回帝國議會 請願委員會議錄(速記) 第十二回

會 議
昭和十六年三月二十四日(月曜日)午前十時
二十分開議

出席委員左ノ如シ
委員長 加藤 知正君
理事大橋清太郎君 理事川崎巳之太郎君
理事庄司 一郎君 理事永田 良吉君
理事坂東幸太郎君 理事福田 悌夫君
理事森 幸太郎君
仲井開宗一君 林 平馬君
樋口善右衛門君 丸山辨三郎君
渡邊 健君 渡邊玉三郎君
阿部 茂夫君 小高長三郎君
河合 義一君 川副 隆君
北原阿智之助君 山川頼三郎君
小野 寅吉君 坂下仙一郎君
田中 源君 中野 寅吉君

出席政府委員左ノ如シ
神祇院副總裁 飯沼 一省君
教務局長官 藤野 惠君
農林省總務局長 周東 英雄君
農林省山林局長 井出 正孝君
農林省食品局長 辻 謹吾君
農林省資材部長 重政 誠之君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員深澤豐太郎君 同 大野 一造君
同 岡本實太郎君 同 土屋清三郎君
農林書記官 山添 利作君
鐵道事務官 小林 重國君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ
內務省所管
一 鹽竈町ニ市制施行ノ請願(第五四〇號)
二 清水、甲府間自動車道路開鑿ニ關スル請願(第五八一號)
三 清水港第二期修築工事促進ニ關スル請願(第五六〇號)
四 鹽竈漁港修築ニ關スル請願(第五八九號)
農林省所管
一 宮城縣鹽業共同施設組合設立許可ニ關スル請願(第六四一號)
二 鷓肉ノ公定價格引上ニ關スル請願(第五三六號)
三 八丁味噌公定價格引上ニ關スル請願(第五七九號、第六〇〇號、第六二二號)
四 玄米小賣公定價格設定ニ關スル請願(第六一三號)
五 織物用糊トシテ澱粉使用禁止ニ關スル請願(第六〇四號)
六 味噌澱粉原料ノ確保其ノ他ニ關スル請願(第六〇八號)
七 猪苗代町地内國有林野拂下ニ關スル請願(第六七一號)
八 藏王山毒水防止ニ關スル請願(第五三九號)

文部省所管
一 文部省編纂「國體ノ本義」訂正ニ關スル請願(第六三〇號)
厚生省所管

一 處方箋ノ交付強制反對ニ關スル請願(第六五五號、第六六七號)
○加藤委員長 是ヨリ開會致シマス、內務省所管
日程第一、鹽竈町ニ市制施行ノ請願、文書表第五四〇號——紹介議員庄司一郎君
○坂東委員 私ヨリ代ワテ紹介致シマス、本請願ノ要旨ハ、宮城縣鹽業共同施設組合近頃町勢顯ニ進展シ、特ニ內務省直轄施行ノ鹽竈漁港工事ノ完成ト開港場指定、工場用地トシテノ縣營海面埋立工事ノ竣功トハ、相俟ツテ海運ノ隆昌、工業ノ勃興ヲ招來シ、商工都市トシテ又商漁港トシテ一大躍進ヲ爲シタルヲ以テ、今ヤ町村制ニ依リ自治體構ヲ以テシテハ町勢ノ伸張ニ伴フ諸般ノ施設經營ニ困難ナル狀態ニ在リ、仍テ政府ハ速カニ前記鹽竈町ニ市制ヲ施行セラレタイト云フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ御同ヒ致シマス
○飯沼政府委員 本件ニ付キマシテハマダ內務省ノ方ニ上申書ガ出テ居リマセヌノデ、只今ハウキリシタ意見ヲ中上ガルコトハ出來マセヌガ、縣ノ方デモ只今慎重調査中デアラウト思ヒマスノデ、何レ縣ノ方ノ意見モ聽キマシタ上デ善處シタイト思ツテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
(異議ナシト呼ブ者アリ)
○加藤委員長 採擇ニ決定致シマス
○飯沼政府委員 日程第二、清水甲府間自動車道路開鑿ニ關スル請願、文書表第五八一號——紹介議員深澤豐太郎君
○坂東委員 是モ代ワテ紹介致シタイト思ヒマス、此ノ趣旨ハ靜岡縣ト甲信地方トノ交易ハ、近時産業文化ノ發展ニ伴ヒ年々増加シ、特ニ靜岡縣清水港ノ第一期修築工事ノ完成並ニ富士身延鐵道ノ國營移管以來兩地方ノ關係ハ一層緊密ヲ加ヘタノデアリマス、然ルニ是ガ交通運輸機關トシテハ唯富士身延鐵道アルニ止マリ、單線ニシテ其ノ輸送力極メテ少ク、富士川沿岸ノ兩地ヲ繋グ縣道亦幅員三、四メートルノ内外ニシテ、且ツ勾配屈曲甚ダシク危險多キ爲、物資ノ大量輸送ヲ頗ル困難トスル實情ニアリ、仍テ速カニ甲府市清水港間ニ自動車道路ヲ開鑿シ、以テ時局下兩地方ノ産業ノ開發ニ資スルト共ニ、軍事交通ノ完備ヲ期セラレタイト云フ請願デアリマス、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒマス
○飯沼政府委員 此ノ道路ハ指定府縣道ニナツテ居リマシテ、甲駿兩地方ノ發展ニ伴ヒマシテ、益々重要性ヲ持ツテ參ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、交通上重要ナル幹線ヲナシテ居ルノデアリマシテ、政府ニ於テキマシテモ年々其ノ改良ノ助成ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、前申上ガマシタヤウニ、其ノ使命ニ鑑ミマシテ、國ノ財政ノ許ス限リ、成ベク速カニ其ノ完成ヲ圖リタイト思ツテ居リマス
○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○加藤委員長 採擇ニ決定致シマス

○加藤委員長 日程第三、清水港第二期修築工事促進ニ關スル請願、文書表第五五六〇號、紹介議員深澤豊太郎君

○坂東委員 是モ代ツテ紹介致シマス、此ノ請願ノ趣旨ハ清水港ハ横濱名古屋兩港ノ中間ニ位シ、靜岡縣下第一ノ良港ニシテ、本縣ヲ初メ、隣接縣ノ急激ナル産業ノ發展ニ伴ヒ、近時港勢年ト共ニ發展シ、内外物資ノ集散、旺盛活潑トナリ、加フルニ臨港地帯ニ於ケル各種工業ノ發達ト相俟ツテ將來ノ飛躍ハ將ニ刮目スベキモノガアルノデアリマス、然ルニ港灣設備甚ダ不完全ナル爲ニ、同港ノ機能ヲ十分ニ發揮スルコトガ出來ナイコトハ洵ニ遺憾デアリマス、依ツテ速カニ前記清水港ノ第二期修築工事ヲ施行セラレ、時局下産業貿易ノ發展ニ資セラレタイト云フ請願デアリマスガ、政府ノ御所見ト伺ヒマス

○飯沼政府委員 清水港ハ付テ大正十年カラ工事ヲ始メマシテ一應修築工事ガ竣工致シテ居ルノデアリマスガ、更ニ之ヲ修築擴張スルコトニ關シマシテハ、只今御述ベニナリマシタ趣旨ヲ十分酌ミマシテ、今後國庫ノ財政ノ許ス限リ努力スルコトニ致シタイト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○加藤委員長 採擇ニ決定致シマス

○加藤委員長 日程第四ハ農林省所管ニ移ス方ガ適當ト認メマスカラ、内務省所管ヨ

リ之ヲ省キマス、内務省所管ノ請願ハ是デ全部議了致シマシタ

次ニ川崎委員ヨリ鑛業權保護ニ關スル請願ニ付テ鐵道省政府委員ノ御意見ヲ承リタ

イト云フノデ發言ヲ留保セラレテ居リマス、只今鐵道省ノ小林事務官ガ此處ニオイデニ

ナツテ居リマスカラ此ノ際川崎委員ノ發言ヲ許シマス

○川崎(巳)委員 去ル二十日ニ鑛業權保護ニ關スル請願ヲ致シマシテ、是ハ所管ハ商工省デゴザイマスケレドモ、鑛業權ヲ害スル仕事ハ多ク選信省所管ノ水力電氣工事ト鐵道省所管ノ鐵道敷設等ニ依ツテ行ハレマスカラ、連絡ヲ執ツテ裁キタイト云フ意味

デ、鐵道省ノ方ハモ代表者ヲ御出シ下サルヤウ、不辛ニシテ其ノ時ハドナタモ御見エニ

ナラナカウツノデアリマス、ソコデ今日申上

ゲル次第デゴザイマスガ、此處デ法律論ヲ戦ハセルノデアリマセヌケレドモ、御

答辯下サルコトハ鐵道省ノ責任ヲ以テ御答

ヘ下サルコトト諒承シテ宜シイデゴザイマ

セウカ、ソレナラバ御等致シタイノデア

アリマス

○小林説明員 大體鐵道省ノ答辯トシマシ

テ御答ヘ出來ルト思ヒマス

○川崎(巳)委員 ソコデ極メテ簡單ニ此ノ

前ノ鑛業權保護ニ關スル請願ハドシナコト

デアツタカノ趣旨ヲ申上ゲテカラ、鐵道省

ノ御答ニ入りマス、此ノ非常時ニ際シマシ

テ何ガ必要ダト申シマシテモ、鐵砲彈ハ鐵

道造リ出シ、何ヤ是ヤデ金及ビ鑛物類、石

炭ニ至ルマデ是ガ非常ニ必要デ、戰爭ヲ進

メテ行クノ一日モ缺クベカラザルモノデ、

一刻モ忽セニスルコトガ出來ナイコトニナ

ツテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ政府ハ、

就中其ノ當事者タル商工省ハ、ヘライ大車輪

ノ努力ヲ發シテ以テ鑛産物ノ増産ニオ骨ヲ折

ラレテ居リマス、既ニ事變ニナリマシテカ

ラモ國策上ノ產金會社ノ大規模ノモノヲ

拵ヘ、更ニ帝國鑛業開發會社ト云フヤウナ

大キナモノヲ拵ヘマシタケレドモ、帝國鑛

業開發會社ノ如キハ三千万圓ノ社債ト、六

千万圓ノ借入金デヤツテモ、ソレダケデハ

迎モ足リナイカラ更ニ補償額ノ擴張ヲ要請

スルコト云フコトニ今ナツテ居リマス、是ハ

御尤モナコトデ、十分官民共ニ力ヲ注イデ

鑛産物ノ掘上ニ努力セナケレバナラナイヨ

トハ、是ハ異論ノナイコトト思フノデアリ

マス、デゴザイマスカラ、ソレノ世話ヲ下

サル商工省ニ於キマシテモ、鑛産物ヲ掘出

スルコトニ邪魔ノアル仕事ガ出來タナラバ、

其ノ仕事トノ間ノ調節ヲ圖ツテ貰ツテ、鑛

業權ノ貴重ヲ認認セシメ、鑛業權ニ對シ

テ十分ナル保護ヲシテ裁キタイ、斯ウ云

フ請願ヲ致シタノデ、商工省當局ハソレハ

御尤モカカラ其ノ趣旨ニ副フト云フ御答辯

ガアツタノデゴザイマス、ソコデ然ラバ實

際ノ實際ト致シマシテ、鑛業權ハドシナ場

合ニドノ位侵奪サレテ居ルカト云フト、是

ハ極メテ數ガ多イ、ケレドモ鑛業者ハ勿論

ノ資本家モアリマスケレドモ、中ニハ中位

ノ資本家ガ持ツテ居ルノガ數百、數千ニ及

ンデ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ鑛業權ヲ

害スルモノハ水力電氣ト云フ大キナ資本團

體ガヤリ、若シタハ鐵道敷設ト云フコトデ

鐵道省若シタハ其ノ外ノ有力ナ會社ガヤル

ノデゴザイマスカラ、ソレト裁判ヲスル業

者ハ所謂戰團力ニ事ヲ缺クモノデスカラ、

中以下ノ者ハ泣寝入ヲスル、ソレニ乘ジテ此

ノ鑛業權ノ貴重ヲ認認スル實際ガ澤山ア

ル、斯ウ云フコトヲ申述ベタノデゴザイマ

ス、サウシテ然ラバソレヲ一々保護ハ出來

ナイコトハナイカト、斯ウ仰シヤルカモ知レ

マセヌケレドモ、ソレガ發シテ訴訟ニナツテ居

ルノヲ見マス、多クハ同ジ問題デ大審院ヘ

ノ上申ニナツテ居ル、訴訟ヲ起シタ人間ハ自

分ダケガ此ノ問題ニ打突カツク積リデ、辯

護士ヲ頼ンデ大騒ギヲシテヤルノデゴザイ

マス、ケレドモソレガ片付ク、判決例ニハ

チヤントナツテ居ルノダガ、各鑛業者ハ判

決例ヲ知ラスノデ、勉強シテ居ルノデハナ

イカラ隣ノ鑛業者ガ又ソレヲヤルト云フノ

デ、非常ニ苦痛ヲ感ジテ居ル、デアリマス

カラ斯様ナコトハ訴訟ニナラス中ニ保護監

督ノ責任ノ在ル商工省ガモウ少シ一腰入レ

テ鑛業權ヲ保護シテ呉レタナラバ宜イデヤ

ナイカ、其ノ點ニ於テ鐵道省若シタハ選信

省ハ積極的ニ働キ掛ケ協力シテ骨ヲ折ツテ

呉レテハドウカ、サウシマセウト云フ御話デ

アツタ、ソコデ其ノ實例トシテ二ツ舉ゲタ

ノデス、富山縣ノ黒鉛、是ガ工作物收去並

妨害排除請求事件トシテ昭和九年才第七

百二十二號、昭和十年二月二十八日第一民

事部判決ニナツテ居ルノデゴザイマス、初

メ富山ノ地方裁判所デ行ハレマシテ、第二

審カ名古屋控訴院ニ行ハレテ、第三審目ガ

シマス通りニ昭和十年二月二十八日ニアツ

タノデゴザイマス、之ニ依リマスルト、黒

鉛ヲ掘ツテ居ル所ハ水力電氣會社ガ大正十

一年ノ頃カラ出掛ケテ來テ、段々鐵道等ヲ

掘ツテ採掘隊ヲ害シテシマフカラ、其ノ

水力電氣ノ工事ヲ撤廢シテ呉レト云フ訴訟

ガアツタ、サウシテ是ハ鐵道省ニ關係ガナ

イノデゴザイマスシ、此ノ番號デ申上ゲレ

バ能ク御分リニナルノデゴザイマスカラ内

容ハ申上ゲマセヌ、ソコデ大審院ハ其ノ工

事撤廢ヲ命ジタノデ終結ガ付イタノデゴザ

イマス、ソレマデニ恐ラクハ十年近ク若シ

タハソレ以上モ掛ツテ居ル、小サイ鑛山業

者ガコトナコトヲ一々ヤツテ行ツタラ是レ

日モ足ラスコトデアリマスノデ、商工省ハ

モウ少シ此ノ邊ハ選信省ト連絡ヲ執ツテ保

護シテ貰ヒタイトテ其ノ例ヲ述ベタ一ツハ

説明員ト個人的ニ懸ツテ又色々具申

ヲ致シタコトデアリマス、例ノ水郡鐵道ヲ

ナコトヲ委細辨ハズ鐵道省ガ獨善主義デヤ

ツテシマツテ、國策ガ斯ウ云フ風ニナツテ

居ルノニ、構ハスデ居ルト云フノハ、是ハ

鐵道省デアラウガ何デアラウガ困ル話デ、

鐵道省デアレバコソ、尙ホ一層石炭ノ輸送

ニモ食料品ノ運搬ニモ又鑛物ノ採掘ニモ共

ニ國策ニ殉ズルコトヲシナケレバナラスノ

ニヤライ、其ノ點ニ付テハ國策ニ殉ジテヤ

ツテ裁キナケレバナラス、カガ故ニ斯様ナ

問題ニ付テハ、鐵道省ニハ技師モ居ルノデア

リマセウシ、其ノ鑛脈ハドウデアアルカ、其ノ歴

史ニ付テ、且ツ鑛石ニ付テ、或ハ實況ニ付テハ

鑛山局或ハ鑛山監督局ニ專門ノ方ガ澤山ア

ルノダカラ分ル管ダ、同ジ政府デ一方ハ鑛業

權ヲ保護スルノダト云フテ獎勵ヲシナガラ、

一方デハ左様ナコトデ、鐵道省ノ方デハ類

被リテ通ス、斯ウ云フコトデ人民ニ取ツテ

ハ同ジ役所デ同ジ日本政府ヲ戴イテ居ルノ

ダカラ、一緒ニナツテドツツチカ話ヲ決メテ

呉レナケレバ困ル、鑛山局ト交渉ヲシテウ

レハオ前位位入リヲスルヨリ外ナイ、斯ウ

云フ話ナラバ鑛山局ニ獎勵金ヲ貰フナリ、

外ノ途ヲ講ズルナリリス、併シ唯獎勵ヲス

ルダケデ其ノ仕事ニ關係ガナクテハ困ル、

鐵道省モ公益ノ事業ダガ、鑛山業モ個人ガ

ヤルモノデモ、今日ニ於テハ國策上甚ダ大

キナ公益事業ダ、後カラ來タ公益事業ガ前

ノ公益事業ヲ害シテシマツテ、其ノ儘デハ

困ルノデアリマスガ、今賠償ガドウノ法律

論ガドウノ言フナラ、材料ト論論トハ持

ツテ居ルノデゴザイマスガ、外ノ方ノ御迷

惑ヲ察シテ省キマス、唯、一點鐵道省ノ責任

ヲ以テ御答ヘテ願ヒタイノハ、鑛山局ヲ持

ツテ居ル所ノ商工省ニ於テハ、左様ナ問題

ニ付テ、水力電氣ニ付テハ選信省鐵道省ノ

トニ付テハ鐵道省ト連絡ヲ保ツテ、適當ニ

調整ヲシヨウト云フ意思ヲ發表ニナツタノ

デゴザイマスガ、商工省ト連絡ヲ保ツト云

フ御意思ガ鐵道省ニ於テアルカ、或ハ獨善

主義デ、俺ノ方ハ一人デヤルノダト云フ御

意思デアアルカ、ソコヲ鐵道省ヲ代表シテ此

ノ席デ御答辯ヲ願ヒタイ、是ダケノ話デゴ

ザイマス

○小林説明員 仰セノ如ク最近國策上鑛物

ヲ開發シマスコトハ非常ニ重要ナ問題デゴ

ザイマス、併シナガラ鐵道省ニ於テ偶、鐵道

敷設ノ爲ニ鑛區ヲ通過スルヤウナコトガア

ルノデゴザイマス、其ノ爲ニ鑛業法ノ十一

條ノ規定ニ依リマシテ鑛業權ノ行使ガ制限

サレルコトハ鑛業權者ニ取リマシテ洵ニオ

シレデアリマスカラ斯ウ云ツタヤウナ場合

ニハ鑛業權者ト十分御話合ノ上デ相當ノオ

金ヲ交付シテ居ルノデアリマス、川崎委員

カラ御話ノゴザイマシタ金山ニ付キマシテ

モ、當時ノ鑛業權者ト十分話合ヲシマシテ、

相當ナル見舞金ヲ交付シタモノト思ツテ居

ル次第デアリマス、尙ホ商工省トノ間ニモ

十分連絡ヲ取ツテ斯ウ云フ問題ヲ處置シテ

行クコトニ付キマシテハ同感デアリマス

○加藤委員長 農林省所管ニ移リマスガ、

政府委員ノ御都合ニ依リマシテ日程第一ヲ

後廻シニ致シマス

○加藤委員長 日程第二、鶏肉ノ公定價格

引上ニ關スル請願、文書表第五三六號

紹介議員樋口善右衛門

○樋口委員 本請願ノ趣旨ハ文書表ニアル

如ク、元來鶏肉ト云フモノハ牛肉同様若シ

クハ上ノ價格ヲ持ツテ居リマシタノガ、昨年

第三類第一號 請願委員會議錄 第十二回

昭和十六年三月二十四日

二六五

醸成シテ出サユウニナツテ居ルノデアリマスカラ、現在味噌製造業者が倉庫ノ中ニ貯蔵シテ居ル原料ハ、今日政府カラ材料ノ配給ニナツタモノヲ三年溜メテ、三年後ニ出スノダカラ、其ノ間、二年間ハ味噌ガ出テ来ナイト云フコトナラバ、由々シイ問題デアリマスケレドモ、決シテサウデヤナイ、先祖傳來ノ材料ガ三年間ツツ倉庫ノ中ニ居坐ツテ今日マデテ居ルノデアリマスカラ、今年戴イタ豆ハ三年先ニ出マスカ、併シナガラ味噌ハハハリ今年モ米倉庫カラ出シテ賣ツテ居ルノデアリマスカラ、決シテ三年間倉庫ニアルカラハ、實澤ダト云フヤウナコトハ何ダカ考ヘ間違ヒデハナイカト思フノデアリマス、殊ニ三年間置カナケレバナラスト云フ絶対性ノモノデモナイノデアリマシテ、唯良イ味噌ヲ出サウト思ヘバ三年間置カナケレバ、隨テ原料ガ少イ場合ニハ已ム得ナイカラソレヲ二年半ニ短縮スルトカ二年ニ短縮スルトカ一年半ニ短縮スルトカ云フコトガ出来マス、左様ナ短縮ガ出来ルコトハ、即チ過去ノ材料ガ此ノ非常時ニソレダケ融通性ヲ持ツテ居ルノデ、寧ロ爲政者ハ斯様ニ保存性ヲ持ツテ居ル味噌ニ對シテ、頭カラ實澤ダト云フヨリモ、其ノ融通性ガアルコトニ對シテハ感謝ヲセネバナラナイ位ニ思ツテ居リマス、決シテ是ガ實澤ダト云フ議論ハ何處カラ考ヘテ見テモ出テ来ナイノデアリマス、ソレカラハ丁味噌ハ價值ガ高イカラ實澤ナノダト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスカ、一體物ノ價值ガ高イカ安イカト云フコトハ何デ決メルノデアリカ、ソレハ食ベテ見テ旨イカ高イ安イカ決メルノカ、或ハ其ノ中ノ成分ガ營養價值ガアルカナイカニ依ツテ其ノ

價值ヲ決メルノカ、味噌其ノ物ニ水分ガ餘計含シテ居レバ、水ヲ高ク買フコトニナルカラ、水分ノ多イ物ハ安ク、水分ノ少イ物ガ高クナルノダト云フヤウニ、凡ユル角度カラ味噌ノ價值ヲ決メナケレバナラスト思フノデアリマス、勿論食品デアリマスカラ、第一其ノ營養價值ニ重點ガ置カレナケレバナラス、其ノ次ニハ味噌ノ如キ水分ノ多イ物ハ一定量ノ水分ヲ基準トシテ相場ヲ決メナケレバナラス、其ノ上ニ味噌ノ善シ惡シヲ以テ決メル、斯ウ云フ三ツカラ決メルベキモノデアラウト思フノデアリマス、ソコデ營養價值ニ付テドンナ調ベガ出テ居ルカト申シマス、内務省ノ發表ニ依ル東京衛生試験所ノ試験成績デハ八丁味噌、所謂三河ノ豆味噌ハ蛋白質ガ二三・五、脂肪ガ一〇・二、含水炭素ガ三・五、カローリ一〇・二、ハニ・四アル、然ルニ東京方面ノ豆ト米トヲ以テ造ツテ居リマス倍ニ米味噌ト稱スル味噌ハ、蛋白質ガ二・三デ八丁味噌ノ半分デ、脂肪ハ三・六デ八丁味噌ノ三分ノ一、カローリ一・ハニ・一ハニ・五デ四分ノ一位少イ、斯ウ云フ所カラ考ヘマスナラバ、營養價值カラ云ヒ、カローリ一ナドカラ言ツテ、豆味噌ノ方ガ米味噌ノ倍ノ價格デモ決シテ國民ガ之ヲ常食ニシテ損ハナイト云フ結論ニナルノデアリマス、是ハ正シイ内務省ノ發表ノ統計デアリマス、カラ間違ヒハナイト考ヘテ居リマス、其ノ上吾々ハ食物ヲ食ツテ同ジ營養分ヲ食ヒマシテモ、其ノ物ガ旨ク食ベラレルカ、マツタ食ベラレルカニ依ツテ其ノ人ノ食欲ヲ助長スルカシナイカ、而シテソレガ十分ニ消化サレテ體質ニ十分吸收サレルカ否カト云フコトハ、ヤハリ調味ノ巧サニモ關係スル

ノデアリマス、其ノ調味料トシテノ味噌ハ恐ラク天下ノ一品ト稱セラレマス、斯様ニ考ヘマシタレバ決シテ八丁味噌ナルモノハ實澤品トシテ排撃サレルベキモノデハ毛頭ナイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ豆味噌、所謂八丁味噌、或ハ米味噌ト云フヤウナ物ニ對シテ價格ヲ決メルノニ、一體水分ハ何レ位アルカ、斯ウ云フヤウナ點ヲ考ヘテ見マス、八丁味噌ハ豆一石ヲ標準トスルト、豆三十五貫、鹽六貫五百匁、水十貫目デ味噌ガ五十二貫出来ルガ、米味噌ノ方ハ豆三十五貫、米三十九貫、鹽十三貫、水五十八貫、合計百四十五貫、此ノ水ノ程度ハ多少ノ相違ハアリマセウガ、調ベテ見マス、八丁味噌ガ全體ノ分量ニ對シテ二割ノ水分ヲ持ツテ居ルニ米味噌ハ四割ノ水分ヲ持ツテ居ル、サウナル之ヲ目方デ賣ツテ、是ガ幾ラダト云フヤウニ決メル時ハ、片方ノ水分ハ二割、片方ハ四割デ、四割ノ方ハ二割餘計ナ水ガ味噌ノ代價トシテ賣ラレテ居ルコト云フコトヲ考ヘルト、其ノ水分ヲ引カナイ價格ハ何ノ價值モナイ、斯ウ云フコトニナリ、現在ノ味噌ニ對シテ水分ノ制限ヲ與ヘテソレガ價格ノ上ニ現ハレテ居ルカドウカト云フコトヲ私ハ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、若シ水分ノ制限ガ規定セラレテ居ナイナラバ、只ノ水ヲ入レテ軟カクシタ味噌ヲ賣ルコトガ商人トシテ一番利益ニナル、斯ウ云フコトニナレバ、國民ハ非常ナ損ヲ受ルコト云フ結果ニナルノデアリマス、ソコデ是ガ製造賣價ヲ原料ノミニ付テ今申上ゲタ數字ニ依ツテ計算シマス、米味噌ヨリ豆味噌ノ方ガ原料ハ高ク付クノデアリマス、水ノ二割餘分ニ入ツテ居ルノヲ取ツタモノデ見ルト、米

味噌ハ原料ダケガ一貫目ニ付キ四十四錢、八丁味噌ハ六十六錢バカリ、此ノ外ニ石炭代カラ夫賃カラ營業費カラ總テ入ル、此ノ公定相場ハドウデアアルカト云フト、四十四錢出来ル方ノ公定相場ガ七十七錢デア、六十六錢原料代ニ掛ツテ居ル方ガ六一錢ト云フ公定相場ニナツテ居ル、是ハ逆ニ公定相場ヲ作ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、殊ニ味噌醬油ト云フモノハ非常ナ嗜好品デアリマス、誰ニモ向クト云フモノデハナイガ、之ヲ常ニ食ベテ居ル者ハ、ソレガナケレバ全ク食膳ニ上ツテモ味ガ出ナイト云フモノデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテ政府ハドウ云フ所ヲ基準トシテ、豆味噌ノ公定相場ヲ付ケラレタカ、而シテ八丁味噌ガドウシテ實澤ト認メラレルコトニナツタガ、其ノ邊ノ御意見ヲ伺ヒタイ、私ガ申上ゲマス如ク八丁味噌ハ決シテ實澤デハナイ、價格ガ高クトモ其ノ價值ハ十分ニアルト云フ點ニ御賛成ヲ下サイマシテ、御採擇ヲ願フ次第デアリマス、此ノ際岡本君カラモ……

○岡本實太郎君 私モ同ジ趣旨ノ請願ヲ紹介シテ居リマス、文書表第六〇〇號、第六二二號ニ付テ少シク説明致シマス、只今ノ八丁味噌ノコトニ關シテハ、大野議員カラ詳細ニ付テ少シク補ツテ申上ゲマス、只今申サレタヤウニ、八丁味噌ハ大體實澤品ナリト云フヤウナ觀念ガアルヤウダガ、私ハ實澤品ニアラズト云フコトヲ、他ノ趣旨カラ少シク申述ベタイ、現在ノ公定價格ガ決メラレタ基礎ハ仄聞シマス、米ヲ主トシテ原料トシタモノハ大體上等デアアルカラ、先

ツ百匁十錢、麥ヲ主トシテ原料トシタモノハ中等品トシテ九錢、而シテ豆ヲ主トシテ原料トシタモノハ大體ニ於テ下等品トシテ八錢、斯ウ決メラレタヤウデアリマス、サウシマス、八丁味噌ト云フ我ガ愛知縣地方デ出来ル味噌ハ、豆ヲ主トシタ原料トシテ出来マスカラ、一番下等ノ八錢ト云フ價值ニナツタノデアリマス、是ハ正確ナコトハ知リマセウガ、仄聞スル所サウデアリマス、所ガ實際ニ於テハ必ズシモサウデナイ、只今大野君ノ仰セラレタヤウニ、水分ノ多イ少イト云フコトガ餘程影響致シマス、八丁味噌ハ先刻申サレタヤウニ、貯蔵三箇年ヲ過ギテカラ出スト云フノデアリマスカラ、水分ハ最も少イ、ダカラ通俗ニ申シマス、同ジ目方デ、普通ノ米或ハ麥ヲ原料トシタモノガ、味噌汁ガ二杯出来ル所ヲ、八丁味噌ヲ使ヘバ三杯或ハ三杯半ノ味噌汁ガ出来ル、水分ガ少イノミナラズ隨分ナ合ツテ居ル、鹽味モナレテ居リ、豆ノ味モナレ合ツテ居テ、口當リガ非常ニ宜シイ、サウシテ味噌汁等ニスレバ斯ウ云フ結果ニナル、ダカラ此ノ點カラ言ツテモ食養上實澤ト云フコトハ言ハレナイ、一面三年モ貯蔵スルコトハ實澤デヤナイカ、斯ウ云フ説ガ出テ參リマスガ、是モ初メノ三年ダケハ利子其ノ他設備等ニ於テ實澤ト云ハレデセウガ、其ノ後ニ於テハズツト連續シテ居リマスカラ、結局ハ毎年作ルノ同ジデアリマス、始マツテカラ四十年ノ歴史ヲ持ツテ居ル此ノ三河岡崎ノ八丁味噌デアリマス、ダカラ初メノ三年ハ實澤ノヤウデアリ、生産「コスト」モ高イ、併シ次カラ順ニ送ツテ行クカラ、結局ハ毎年造ルト同ジデアリ、斯ウスレバ製造方法カラ云ツテモ敢テ實澤ナ

リト云フコトハ言ハレナイダラウ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、元ノ趣旨ハ只今大野君カラ申サレタ通りデ、私ハ通俗ニ申シタノデアリマス、尙ホ最近最モ困リマスノハ、原料ハ不足デアルシ、又仕込時ガ他ノ味噌ト違ヒマスガ爲ニ、一層價格ガ安イト云フ觀念ガ出テ来ル、ト云フノハ、普通ノ味噌デスルト二箇月或ハ三箇月デ順送りニ出シマス、八丁味噌ハ三年貯蔵スルト云フノデアリマスカラ、自ラソコニ原料ノ供給ガ違ツテ来ル、此ノ一、二、三月頃ノ冬ノ寒サノ時ニ、仕込時ト云フモノハ決マツテ居リマス、他ノ味噌ノ如ク二月三月月ニ漸次醸造シテ行クノデハナイノデアリマス、ダカラ原料ノ配給モ一度デナイト困ル、丁度酒ノ釀造ニ冬寒サノ折ニ釀造季節ガアルト同ジデアリマス、ソレカラアノ風味ガ出来テ来、アノナレ合ツタ良イ味ハヒガ出テ来ルノデアリマス、斯ウ云フ趣旨デアルノニ、近頃ノ原料ノ配給ヲ見マスニ御話ニナリマセウガ、此ノ請願者ノ加藤ト云フ者ノ如キハ、恐ラク一年ニ二千五百石乃至四千石ノ豆ヲ要シテ居リマス、其ノ豆ガ只今ドノ位ノ供給カト云フト、滿洲カラ參リマシタ大豆ガ漸ク三百石、其ノ他ハ少シモ手ニ入りマセウガ、近ク或ハモウ少シ積ムルカモ知レマセウガ、モウ暖カクナツテ彼此レ釀造季節當カラ行ケバ約一千石ハ來ル筈デアリマカ、ソレガ三百石シカ參ツテ居リマセウガ、朝鮮大豆ハ少シモ來ス、北海道ノ大豆モマダ本年ハ少シモ手ニ入レルコトガ出来ナイ、愛知縣或ハ近縣カラ手ニ入レル豆ハドウカ、是モ相當アツタノデスガ、最近ノ事情ヲ見ルト、少シモ買フコトガ出来ナイ、ナ

ゼ買フコトガ出来ナイカト言ヘバ、昨年ハ十七、八圓デ買ウタ豆ガ、其ノ後ニ公定價格ガ決メラレマシテ、十二圓七十錢程ニナツタ、サウ致シマス、此ノ公定價格ヲ違守スレバ到底買フコトハ出来マセウ、買ヒニ行キマシテモ農家デハ相手ニシテ賣ツテ呉レナイ、或ハ他ノ用途ニ使ハレルカモ知レマセウ、疑ヘバ何處カニ問テ取引スル者ガアツテ其ノ方ニ逃ゲルカモ知レス、本年ハ少シモ入手スルコトガ出来マセウ、眞面目ニ商賣シヨウトスレバ原料ハ手ニ入ラス、全ク自己ノ仕事ガ出来スト云フ風ニ今日ハ、ナツテ居ル、三千五百石、四千石要ル所ニ僅カニ三百石シカ入ツテ居ル、イ、モウ既ニ釀造季節ハ過ギントシテ居ル、是ガ實情ナノデアリ、私ハ此ノ事カラ推量致シマス、去ル二十日ニ樋口君カラ申サレタヤウデアリガ、來年ノ味噌ハドウナルカ、半分ニモ、三分ノ一ニモ足ラヌモノニナツテシマフト云フコトヲ愛フルノデス、尤モ八丁味噌トシテハ三年後ニ是ガ結果ニ於テ出マスケレドモ、其ノ他ノ短期間デ釀造スルモノモ恐ラク原料ニ於テハ斯ウ云フ非常ナ窮屈ナコトニナツテ居ルト思ヒマス、ドウナルカト云フコトハ吾々ハ實ニ心配デア、味噌或ハ醬油ト云フモノハ、食料品トシテ吾々日本人トシテナクテハナラヌモノデア、日本人トシテ進養ヲ攝ル食料ハ先ツ米ニ、味噌ニ、豆、漬物、是ダケアレバ結構デア、是ガ主食ナノデア、肉類等モ必要デアアリマスケレドモ、ナクテモ済ムモノデア、斯ウ云フ主たる一般ノ食物ノ味噌ガ、來年再來年ト云フコトヲ推量シタラドウナルカト云フコトニナルト、實ニ懸念ニ堪ヘナイ、斯ウ云フ原料ノ狀態デ

アルト現在ノ設備ガ遊ビマス、是ハドウノ味噌モ同ジデセウガ、殊ニ八丁味噌ノ如キハ其ノ設備ハ四百八十年此ノ方是デヤツテ来テ居リマシテ、十分ナモノデアリマスカ、是ガ遊ビマス、又原料ノ供給ガナイ爲ニ、冬ナドノ農閑期ノ努力ヲ利用シテヤツテ居ウタノガ、此ノ努力ノ利用ガ出来ナイノデ、勞働者ノ方モ收入ガナクテ困ツテ居ルト云フヤウナ實情デアリマス、ダカラ斯ウ云フコトヲ考慮シテ載イテ能ク此ノ公定價格ヲ御考ヘ願ツテ之ヲ引上ゲテ載キタイ、尤モ原料ノ供給難ニ依ル其ノ分ヲ見テ公定價格ヲ御決メニナツタラ非常ナコトニナリマスカラ、ソコマデ申スノデアリマセウガ、少クモ他ノ味噌ト比例ヲ取ツテ載キタイ、唯單ニ實澤ナドト云フ普通言フコトダケニ耳ヲ藉サズシテ、能ク其ノ實體ヲ御覽メ願ヒタイ、ドウカト云フト、是ハ斯様ナ良イ味噌デアアルカラ口當リハ宜シ、滋養モアリ、又使ツテ見テ割得ダト云フ良イ味噌デスカラ、東京地方デハ從來ノ例ニ依ルト價值ガ割合ニ高カクツヤウデアリマス、却元ノ方デハ安イガ東京ノ小賣ニ來テ高クナツテ居ル、殊ニ八丁味噌ダケハ、事變前ノ昭和十一年、十一年當時ノ價格ヨリモ安クシテ居ツタ、九一八ノ相場ノ出ル前ニ安クシテ居ツタ、吾々東京ニ居ル愛知縣地方ノ者ハ、他ノ物ハドウノ上ノノニ、ナゼ八丁味噌ハ斯ウ下ルノカト不思議ニ思ツタノデスガ、斯ウ云フヤウナ實情カラ見テモ元ノ方デハ別ニ價值ヲ上ゲテ居ツタノデアナイ、唯小賣ノ方ニ至ル途デ段々上ゲテ居ツタ、斯ウ云フヤウナ實情デ、此ノ三四年前ノ價值ノ高カクツタ時ヲ言ハレテ、唯實澤ト云ハレルト云フコトハ、私ハ餘程實情ニ反シテ

來ルヤウニ思フノデアリマス、斯様ナ趣旨
デアリマスカラ、ドウゾ此ノ請願ノ趣旨ヲ
御認メ戴イテ御採擇ニナリ、政府モ亦成ベ
ク早ク此ノ公定價格ヲ直サレンコトヲ希望
シテ置キマス

○周東政府委員 一寸御答へ致シテ置キマ
ス、先程來カテ御話ガゴザイマシタガ、私
共ノ方デ必スシモ八丁味噌ガ實價アルト
カ云フヤウナコトヲ別ニ申シテ居ル譯デハ
アリマセヌ、殊ニ御話ノヤウニ食糧ト云フ
モノハ、榮養分ノアルカナイカト云フコト、
又嗜好品デアリマスカラ其ノ味ノ良サ、口
當リノ良サト云フヤウナ事柄ガ可ナリ關係
ヲシテ居ルカラ、ソレニ付テ價格ヲ決メテ
ルベキダト云フコトニ付テハ別ニ異議ヲ持
ツテ居ルモノデアリマセヌ、併シ只今ノ
所ハ御承知ノヤウニ時局ノ現狀ニ於キマシ
テハ、何ト申シテモ、只今國本サンノ仰シ
ヤイマシタヤウニ、原料其ノモノノ供給ニ
付テモ可ナリ窮屈ナ狀況ニアルノデアリマ
ス、豆ノ供給ニ於キマシテモ、只今資材
部長ガ見エテ居ラレマスガ、非常ナ苦勞
ト努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、何ダ
カ政府ハ手ヲ拱イテ居ルカラ原料ガ來ナ
イ、是ハ怪シカラスト云フヤウニ響キマシ
タガ、決シテサウデアハアリマセヌ、豆ニ
付キマシテハ御話ノヤウニ豆ハ食糧ニ、或
ハ油ノ原料トシテ絕對ニナクテハナラヌ
モノデアリマスカラ、非常ナ努力ヲシテ
居ルニモ拘ラヌ、色々ナ事情ガ窮屈ナ事
情ニアル、是ハ他ノ物ニ付テモ同様デア
ラウト思ヒマスガ、結局斯ウ云フ時局下
ニ於テハ窮屈ナ原料材料ヲ出來ルダケ普通
的ニ國民ニ配ツテ行クト云フコトヲナケレ
バナラス、サウ云フコトニナルト、結局大

事大豆原料トシテ食糧ニ付テダケ申シマ
シテモ、殘念ナカラ質ナリ榮養ノ問題ヨリ
モ量ノ問題ニナルノデアリカト私ハ思ヒ
マス、決シテ八丁味噌ニ榮養價値ガナト
カ、口當リガ良クナイト云フヤウナコト
ヲ申シテハ居リマセヌ、良イト云フコトハ
十分認メテ居リマス、併シ此ノ物ニ付テ長
ク置イテ、順次出シテ行クト云フヤウナコ
トヲ待ツテ居ルベキモノデアラウト出來ルダケ
少イ數量デモ速製ト申シマスカ、速ク造ッ
テ出來ルダケ多ク食ベサセテ行ク、サウシ
テ豆カラ得ル榮養ヲ取ラセルト云フヤウナ
方法ヲ執ツテ行カナケレバナラスダラウト
思ヒマス、勿論運賃ノ二箇月ノ三箇月ノ味
味ガ八丁味噌ニ比ベテ良イト云フヤウナコ
トヲ申シテ居ル譯デアリマセヌケレド
モ、出來ルダケ足ラヌモノヲ速ク製造シテ
供給ヲシテ行クト云フコトガ食糧政策
トシテハ今日ヤウテ行カナケレバナラス時
期ダト思ヒマス、隨テ八丁味噌ヲ三年モ貯
藏シテ置クコトガ實價ダト云フコト
デナシニ、寧ろサウマデシテ、三年モ持ツ
材料ニ仕込シテ置クコトモ、寧ろ少イ材料
ガ必要デアリカ、更ニ三箇年置イテ先
出スノデアリカ、三年前ニ造ツテアルノヲ
毎年出シテ配ルノダト仰シタルガ、現時ニ
於テハ良イモノヨリモ量ヲ餘計ニシテ味噌
ノ供給ヲ圓滑ニシテ行クトガ必要デアリ
イカト思ヒマス、サウシマスト、八丁味噌
ニ付テハ既ニ味噌工業組合聯合會ニ於テハ
其ノ規格ニ合セテ相當ニ引伸バシテ供給シ
テ戴イテ居ルヤウデアリマス、御話ノヤウニ
三年モ掛ル所ニ材料ヲヤレナイト云フヤウ
ナコトハ、三年前ノ順次出シテ居ルノ

ダト云フ御話デアリマスガ、其ノ通りデア
ラウト思ヒマスガ、ソレヲ更ニ御頭ビ致シ
マスコトハ量ヲ餘計ニシテ、足ラヌ味噌ノ
供給ヲ圓滑ニシテ戴クコトガ現時局下ニ於
テハ必要デアリカト思フ、可ナリ引伸バ
シテ八丁味噌ガ現在賣ラレテ居ルヤウデア
リマス、既ニ總決メ方ニ於キマシテハ此
ノ検査規定ニ基イテ味噌工業組合聯合會ニ
於テ其ノ規格ニ合セテ、或ハ引伸バシテ供
給サレテ居リマス、又其ノ間ニ味噌、麥
味噌等ニ於ケル規格ト申シマスガ、格差ト
申シマスガ、サウ云フモノハ大體適正ニ行
ハレテ居ルヤウニ承知致シテ居リマス、私
共ノ心持ハ、是ハ農林省デ決メテ居ルハア
リマセヌガ、今マデ決メテ居ラレタ價格ト云
モノハ、ソコニ担ヒガアツタノダト思ヒマ
ス、決シテ八丁味噌ガ悪イカラトカ、榮養
價値ガナイカラトカ、或ハ嗜好ヲ無視シテ
ドウ斯ウト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマ
セヌ、結構ナ味噌ダト考ヘテ居リマセヌケ
レドモ、現在ノヤウナ材料供給ノ不足ノ時ハ、
稍、質ガ劣ツテモ毛角味噌ノ生活必需品デ
アリマスカラ、出來ルダケ多ク廣ク供給サ
セルヤウニシタイ、ソレハハ質ガ劣チテモ
仕方ガナイ、八丁味噌ハ三年モ掛ツテ造ル
結構ナ味噌デアリマスケレドモ、サウ云フ
味噌ヲ造ツテ戴クコトガ必要デアリカト考
ヘテ居ルノデアリマス、材料ノ供給ニ付テ
ハ資材部長ガオイデデアリマスカラ御説明
ガアルカト思ヒマスガ、私ニ關係スル範圍
ニ付テ御答辯ヲ申上ゲテ置キマス、サウシ
テ價格ヲ決メ方ニ付テハ大體味噌、麥味
味噌、豆味噌ニ付テ原料ノ價格ガ中心ニナツ
テ決メラレテ居リマス、サウシテソレヲ更

ニ現實ニ賣ル場合ニハソレノ規格ニ合
フヤウニ、更ニ販賣ノ場合ニ於テ決メテ行
ク、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリ
マス、今マデノ所ハ大體サウ云フ經過ヲ迪
ツテ價格ヲ決メテ居ル譯デアリマス、併シ
御説ノ事柄ニ付キマシテハ、新シク農林省
ニ全部所管ガ移ツテ參ツテ居リマスカラ、
若シモ全く不合理デアルト云フコトデア
ス、御承承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大野一造君 品質ガ良イトハ認メテ居
ル、榮養價値モ認メテ居ルノダ、唯今物ガ
少イカラ引伸バシテ出セ、一體ドウシテ引
シテ出スノカ、引伸バシテ出シテハ、分量
ヲ多クシテ出セト云フコトハ水ヲ割ツテ軟
カクシテ出セト云フコトデアル、水ヲ割ツ
テ軟カクシテ出スト云フコトハ非常ナ間違
ヒノ政策デアリカ、斯ウ思フノデアリマ
ス、ドウモ最近醬油ノ良イモノハ鹽ヲ入レ
テ水ヲ割ツテ三割位ハ引伸バシテ出セ、味
味モ水ヲ割ツテダラノニシテ出セ、斯ウ
云フコトデアリマスガ、一體水ヲ割ツテ出
ストドレダケ利益ニナルカ、水ヲ割ツタ所
デ、割ラレタモノガ家庭ニ行ツテ引伸バシ
レバ結局同ジコトデス、水ヲ割ツテ出シタ
モノハ早ク腐敗スル、家庭ニ持ツテ歸ツテ
早ク味ガ悪クナル、ソレヲ輸送スル爲ニ三
割モ容器ガ餘計要ル、資材ノ少イ時ニ態々容
器ヲ餘計使ハスト云フコトハ國策ノ得タル
モノデアリカト思フ、又三割容量ガ殖ニレバ
運賃ガ三割高クナル、サウスルト家庭ガ今
マデ醬油、味噌ニ水ヲ入レタモノヲ買ツ
テ、三割ダケ運賃其ノ他ヲ拂ツテ食ツテ居
ルト云フコトニナル、國民モ國家モ、輸送

機關ノ足りナイ鐵道輸送モ、總テノ點カラ
割出シテ見テ、水ヲ割ツテ引伸バシテ出セト
云フコトニ效果ノアルモノハ、一ツモナイ、
寧ろソレヨリモ、ソレハ餘計ノ醬油ヲ使ツ
テハ勿體ナイ、餘計ノ味噌ヲ使ツテハ勿體ナ
イノダト云フコトデアレバ、將來造ル醬油、
味噌ニモツト鹽氣ヲ餘計ニシテ、家庭ニ行
ツテ十分ニ割レバ、所謂材料ガ少クテ餘
計ニ使ヘルノデアリマスカラ、増産シタ方
ガ宜イノデアリカ、サウスレバ容量同
ジデアリ、目方同ジデアツテ、腐ラナクテ
變味シナクテ、サウシテ運賃ガ安ク上ツテ
材料ガ要ラナイ、斯ウ云フ政策ヲ御執リニナ
ツタ方ガ本當ノ國策デアリカト思フ、唯
外見上ノ値段ガ安クナルノダト云フコトバ
カリニ頭ヲ費サレテ、國民生活ハヨリ悪イモ
ノヨリ高ク買フノダト云フ結果ニナルコ
トハ大ナル間違ヒデアリカ、此ノ點ニ付
テ政府ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマ
ス

○周東政府委員 極端ナ點カラ申上ゲルト
話ガ段々困ル譯デアリマスガ、現在決メテ
レテ居リマスル價格ニ從ツテ行キマシテ
モ、八丁味噌ト云フモノノ個々ノ賣場ノ場
合ニ於テ、各府縣ノ味噌工業組合等ニ於テ
ソレノ検査制度ヲ採ツテ居ルコトハ御承
知ノ通りデアリマス、ソコデソレノ検査
規程ヲ決メテ、ソレニ合フヤウナ範圍ニ
於テ具體的ノ販賣ヲ實行シテ行ケバ、從來
製造サレテ居リマスル八丁味噌ノ賣却ニ付
テハ引合ヒ兼ネルト云フ程度ニマデ價格ガ
決メテナイ、斯ウ云フ程度ニ私ハ聞イテ居
リマス、是カラ仕込ム、是カラ造ルト云フ
モノニ付キマシテハ、先程國本サンノ仰シ
ヤイマシタヤウニ、原料ノ取得難減ハ價格

ノ値上リト云フコトデ中々困難ナ事情ガア
ルカモ知レマセヌガ、今日賣ラレントスル
八丁味噌ハ既ニ三年前ニ仕入レラレテ、其
ノ材料ヲ生産サレタモノデアリマスノデ、
ソレ等ヲ頭ニ含メテアルヤウデアリマス、
其ノコトヲ頭ニ置イテ、各府縣ノ味噌工業
組合等ニ於テソレノ検査規格ニ合ハセ
テ具體的ノ販賣ヲ致シマスルニ於テハ、引
合ハナイ價格ニハナツテ居ラナイヤウニ聞
イテ居リマス、其ノコトヲ私、申上ゲタ積
リデアリマス、尙ホ能ク細カキコトニ付キ
マシテハ、調査致シマシテ考ヘテハ見タイ
ト思ヒマス

○林(平)委員 政府ノ御所見ヲ伺ツテ居リ
マス、八丁味噌ニ付テハ一定ノ規格ニ合
フヤウニ引伸バシテ行ケルノダカラ、引合
ハナイヤウナコトハナイ積リデアルト云フ
御見解ノヤウデアリマスガ、單ニ其ノ點
ダケハ間違ヒテ居ナイカモ知レマセヌ、價
格ヲ先ツ決メタノダカラ、其ノ價格ニ合フ
ヤウニ引伸バシテ行ケバ何モ算盤ガ合ハス
コトハナイノチヤナイカト云フ御見解ハ、
ソレハ其ノ通りデアリマセウ、併シナガラ
引合ハナイモノハ消費者タル國民大衆デア
リマス、製造者ハ成程價格ヲ抑ヘ付ケラレ
テシマツタカラ引伸バシテ行ケバ宜イト云フ
方法ヲ農林省モ認メラレテ居ルノダカラ、ソ
レハ引合ヒマセウガ、引合ハザルモノハ國
民大衆ダト思フ、其ノ點ヲ御考ヘ願ハナク
テハナラス、醬油ニシテモサウデス、醬油
ノ溜リ例ハ一石ニ付テ鹽水五斗ヲ混合
スルコトガ原則デアツタモノガ、今ハ現ニ
一石ニ對シテ一石三四斗ノ鹽水ヲ打込シ
居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、全ク亂
暴至極デアリマス、政府委員ノ方々ハ、毎

日御歸リニナツテ奥サン方ヨリオ叱言ハゴ
ザイマセヌカ、鹽水ニ色ヲ着ケタノ今日
ノ醬油デゴザイマス、アア云フ風ニシテ引
合フコトノ御考ヘニナルヨリモ、引合ハザ
ル國民大衆ノ立場カラ御覽ヲ願ハネバナラ
ス、鹽水ヲ賣付ケテ居ルト云フコトハ運賃
取扱ノ上カラ見マシテモ、味ハヒカラ見マシ
テモ、ドノ方面カラ見テモ百害アツテ一利
テモ、ドノ方面カラ見テモ百害アツテ一利
ハナイト思ヒマス、寧ろ價格ヲ抑ヘルト云フ
ヨリハ、品質ヲ劇シテハナラスト云フコト
ヨリハ、品質ヲ劇シテハナラスト云フコト
デ抑ヘテ、品質ニ相應シタ所ノ價格ヲ上ゲ
テ居ルト云ヒナガラ、實價ハ價格ヲ引キ上
ゲテ居ルノデアリマス、抑ヘバ酒ニシテモ
サウデス、酒ノ價格ヲ抑ヘテ見タ所ガ、實
際家庭ニ持ツテ歸ツテ水ヲ割ルコトガ出來
ナイヤウナ酒ヲ賣付ケラレルトデスカラ、
事實ハ高イ酒ヲ買ハサレテ居ルト同様デア
ル、縦シバ酒ノ値段ヲ上ゲテ見タ所デ、
一升ノ酒ニ二合ナリ三合ナリノ水ヲ自分ノ
家デ適宜割ルコトガ出來タナラバ、決シテ
其ノ酒ハ高クハナイノデスカラ、消費スル
國民ノ立場カラ御覽ヲ願ヒマシテ品質本位
ノ價格ヲ決メテ戴キタイト思ヒマス、今請
願ノ八丁味噌ノ御紹介ヲ伺ヒマス、洵ニ
筋ノ通ツタ御話デアリマシテ、農林當局ト
ノ行違ヒノ點ヲ段々拜聴シテ居リマス、
農林省ノ方デハ今申シマシタヤウニ、價格
ヲ抑ヘテ見タ所ガ引伸バサレルト云フカラ引
合フノデアリカト云フコトデアリマスガ
ラ、寧ろヤウデゴザイマセウケレドモ、國民
大衆ノ方面カラハ非常ニ迷惑ダト云フコト
ヲ御考ヘ置キ下サイマシテ、味噌ニ限ラズ、
醬油ヤ酒ニ限ラズ、其ノ品質ヲ落サスト云
フ所ニモツト深ク御考慮ヲ願ツテ、總テノ

公定物價ニ付イテ再檢討ヲ致サレンコトヲ
私ハ此ノ際ニ希望致シマス

○樋口委員 私も少シ關係シテ御伺ヒ致シ
マスガ、此ノ公定價格ノ問題デアリマスガ、
先程カラ八丁味噌ノコトニ付キマシテハ、
大野君並ニ國本君カラ色々御話ニナツテ居
リマスガ、私ノ御考ニ致サウト思ヒマスコ
トハ、此ノ豆味噌ト云フモノハ御承知ノ通
リ愛知縣ヲ中心トシテ、三重縣、岐阜縣ニ
限ツテ居ルノデゴザイマス、静岡ノ一部ニ
モアルノデアリマスガ、外ハ何レモ味噌
麥味噌デアリマス、ソコデ此ノ公定價格ヲ
決メラレル場合ニ、何ニ依ツテ此ノ豆味噌
ト云フモノヲ一番最低ノ價格ニ御決メニナ
ツタカ、其ノ據ツテ決メラレタ基礎ヲ御伺
ヒ致シマス

○周東政府委員 是ハ大體原料ノ價格ニ於
テノ相違ガ主ニナツテ居ルノデアリマシテ、
米、麥、豆ト云フヤウナ關係ニ於テ、原
料ニ付テノ關係カラ來テ居ルヤウデアリマ
ス

○樋口委員 原料カラ申シマスレバ、先程
大野君、國本サンカラ言ハレタヤウニ米味
味噌以上ニ豆味噌ノ方ハ掛ル譯デアリマス、
米ハ屑米デアルノデゴザイマス、精米デハ
ナイノデアリマス、ソコデ豆味噌ノ方ハ決
シテソノ米味噌、麥味噌ノヤウニ原料ガ
安ク出來ルモノデアリナイノデアリマス、ソ
レヲ原料ノ爲ニト言ハレレバ、是ハ大ナル
違算ガアルノデアリマス、私共ノ察スル所
デハ斯ウデアラウト思フ、醬油ノ方ハ兎ニ
角其ノモノ實價ヲ壓搾シテ、ソレヲ醬油
トシテ作ツテ居ル、此ノ豆味噌ノ場合ニ於
テハ愛知縣ヲ中心トシタル地方ニ溜リト云
フモノニナツテ居ルノデアリマス、此ノ溜

リヲ其ノ味喰カラ取ル、仍テ此ノ赤味噌ト云フモノハ、是ハ溜リヲ取ツタ粉デアル、斯ウ云フコトカラ米味噌、麥味噌ノ下ニ之ヲ持ツテ行ツテ、極メテ劣惡ナルモノノ公定ヲ附セラレタモノト思フ、是カ私ハ大ナル原因ヲ成シテ居ルト先ヅ思ハザルヲ得ヌ、デゴザイマス、サウスレバ何處ニモ米味噌、麥味噌ニ對シテ原料ガ安イ、生産費其ノ他ガ安イト云フコトハ見出スコトガ出來スノデアリマス、若シ夫レ溜リヲ取ツタ粉デアルト云フナラバ、是ハ成程劣等ナモノデアリマスガ、愛知縣ヲ中心ト致シマシテ造ツテ居ルモノノ中デ、味噌ト云フモノハ溜リヲ取ラス所ノモノガ千四百萬貫アツテ、先ヅ七八割ハ八丁味噌ニ次グ所ノ本當ノ豆味噌トシテ、醬油ヲ取ツテ居ラスノデアリマス、ソレヲ醬油ヲ取ツタ粉ト假定セラレタガ故ニ、一番薄ノ値段ヲ付ケラレタモノト思フ、隨テ現在ニ於キマシテハ、先程大野君カラ言ハレタヤウニ、此ノ豆味噌ト云フモノハ大體ガ乾イタモノデゴザイマス、殊ニ八丁味噌ハ特別デアリマスケレドモ、乾イテ居ル、其ノ味噌ニ先ヅ鹽水ヲ差シテ、サウシテ現在デハ杓子デ搦ハネバイカサウナ味噌ニナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ政府ガ低價政策ト言ヒマスカ、或ハ只今御述ベニナツタヤウニ、實ノ問題デハナイ、量ノ問題ダ、之ヲ先ヅ本ニシテ、オヤリニナツタ量スルナラバ、此ノ量ノ問題ダト云フコトハ先程カラ大野君カラモ繰返サレテ居リマスガ、味噌ト云フモノハ普通一人一回二十匁要スルモノデアリマス、サウスレバ先ヅ學生ナドノ下宿屋デハ三杯飲マセルコトガ出來ル、所ガ今年三麥ナリ名古屋ノ學校ナドノ寄宿ニ於テ例ノ通り十匁持ツテ行ツテ果シテ

ドウカ、一杯モ十分ニナイト云フヤウナ哀レナ濃度ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是デ果シテ消費者ガ利益ヲ得ルノデアリマセウカ、只今林サンカラモ言ハレタ通り、其ノ轉嫁スル所ハ消費者ニ來ルノデアルガ、我が國ノ味噌、醬油ト云フモノハ兎ニ角ニモ是ハ一般國民大衆ノ使フ所ノ嗜好デアリ、經濟的ナモノデアリ、又營養的ナモノデアリ、國民生活ノ最低限度ヲ保障スルト政府ハ言明セラレケレドモ、一汁一菜、之ヲ以テ最低限度ト致ス場合ニ於テ、味噌ノ質ヲ惡クシテ是ガ最低限度ト言ハレルナラバ、是ハ一般國民大衆ニ對シテ政府トシテ果シテ親心アル所ノ御意見デアラウカ、下級ナル一般大衆ニハ何ヲ食ハセテ置イテモ宜イト云フ風ニマデ御考ヘニナルナラバ、是ハ思想上ニ及ボス影響ハ大ナルモノガアルト私ハ思フ、先程御述ベニナツタヤウニ牛肉ナドハ特選ヲ認メテ居ル、ナゼモ牛肉同様にシテヤラナイカ、特別ナルモノハ要ラズト言ハレバソレマデデアリマスガ、併シハ特別ナルモノヲ造ルノニハ特別ナル所ノ技術モ必要ナル、是ハ私ハ御認メニナツテ何モ差支ナイト思ヒマス、何故此ノ八丁味噌ニ對シテ、何年掛ラナケレバイカスト云フ其ノ生産上ノ過程ヲ言ハレルナラバ、牛肉ノ如キハ本當ノ好イ肉ヲ作ラウトスルニハ其ノ生産上ニ於ケル過程ニハ無駄モアルノデアリマス、ケレドモソレハ其ノ物ニ依ツテ特質ヲ持ツテ居ルモノデアリ、斯ウ云フ場合ニ於テ、此ノ八丁味噌ノ如キハ眞ニ是ハ誰ガ買ツテ見マシテモ調味料モ要リマセヌ、其ノ價食ベテモ宜シイ、是ハ先程岡本サンノ言ハレタ通りニ普通ノ味噌ノ三倍モ濃度ノ利クモノデアリ、決シテ高イト

カ云フモノデハナイ、唯三年モ貯藏シテ置クモノヲ云々ト言ハレマスケレドモ、我が國ニ於テ四百年、五百年ノ歴史ヲ有シ傳統ヲ持ツテ居ツテ、長クモ宮中ノ御前ニ於テ御使ヒニナル所ノ光榮ヲ持ツテ居ル味噌デゴザイマス、是ハ獨リ八丁味噌ニ限ラズ全國各地ニ斯ウ云フモノハ澤山アルト思フガ、如何ニモ質薄ダト云フテ之ヲ振拾テモ彼モト云フ風ニ、サウスレバ見方ヲスルコトガ果シテ當然デアルカ、此ノ營養デアリ、經濟デアリ、國民一般ノ使フ所ノ實ヲ示シタ所ノ此ノ八丁味噌ノ如キハ、傳統ノ歴史ヲ持ツタモノガ中心トナツテ來テ居ルモノデアルト云フ、是等ノ點ニ鑑ミマシテモ、唯單ニ之ヲ質薄ダトカ、物ノ經濟ニ惡イカ云ツテ振拾テラレナイデ、特ニ此ノ點ニ考慮セラレテ、ソレガ直接間接ニ及ボス影響ヲ考ヘル時ニハ、今御答辯ニナツタヤウナ簡單ナモノデハナイト思フノデアリマス、同時ニ私共ハ此ノ愛知縣ノ味噌ヲ溜リヲ取ツタ粉ダト云フ風ニ見ザレバ、コンナ馬鹿ナ安イ値段ヲ決メラレル苦ハナイト思フ、現在デハ脈ノ餌ニスル所ノ味噌ハ醬油ヲ取ツタ味噌デアリ、ソレカラ肥料ニスル味噌、是ガナクナツテ、サウシテ悉ク一般ノ赤味噌ノ中ニ混ゼラレテ、ソレニ鹽水ヲ混ゼテ質ヲ落シテ量賣ツテ居ルト云フヤウナ現在ノ狀況デアリマス、仍テ只今林サンノ言ハレタヤウニ、營業者ハソレデヤツテ行カレルノデアリマスガ、醬油デモ何デモ一等級ハアリマスガ、二等級、三等級ヲ賣ツテ居ル所ハアリマセヌ、平素ハ一等級、二等級、三等級アツタニ依ツテ、政府ハ公定價格ヲ決メラレタガ、二等級、

三等級ハ恐ラク今日ハ醬油デモアリマセヌ、隨テ味噌デモ溜リデモ一等級バカリデアリマス、此ノ一等級ト稱セラレルモノガ事變前ニ於ケル所ノ、又公定價格決定以前ニ於ケル品質ヲ保持シテ居ルカドウカ、甚ダ疑ハシイモノデアレバ此ノ負擔ハ消費者ニ掛カル譯デアリマス、苟モ國民生活最低限度ヲ保障スルト言ハレタカラニハ味噌位ハ現在ヲ維持シテ行カセルト云フコトガ私ハ國民ノ一般ヲ思ハレ政府ノ親切デアルト同時ニ又是位經濟的ノモノハナイ、味噌ガマツクテ、味噌汁ガマツク、コンナ味噌汁ガ食ヘルカト云フヤウナコトデ是以上ノ生活ヲスルヨリ外ナイト云フタラ物資節約ノ上カラ言ツテモ大ナル損害ヲ受ケルモノデアルト考ヘルノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付キマシテハ、時間モナイヤウデゴザイマスカラ、以上ノ御尋ネニハ御答辯ハ私ハ求メマセヌガ、ドウソ一ツ成ベク早クは私御考ヘ願ツテ、適切ナ價格ニ更正セラレマシテ消費大衆ノ爲ニ、大イニ一ツ御心配ヲ煩ハシクイト存スルノデゴザイマス

○周東政府委員 誤解ガアルトイケマセヌカラ一言申上ゲテ置キマス、私ハ味噌ニ付テソレガ國民一般ノ生活必需品ノ最モ重要ナモノデアルト云フコトニ付テハ、先程申上ゲタ通りデアリマス、隨テ味噌ニ付テハ出來ルダケ之ヲ苦シイ中デモ供給ノ增加スルヤウニシケレバナラズト云フコトハ、先程申上ゲタ通りデアリマスガ、唯私ハ今マデノ決メラレタ程度カラ見マシテ、是ハ甚ダ八丁味噌ノ請願ノ御方々ニ申上ゲマセヌガ、或ハ私ハ言ヒ過ギカモ知レマセヌガ、八丁味噌ハ、現在日本全國デ造ラレテ販賣セラレテ居ル味噌醬油ノ中ノ一割ガ豆

味噌デ、其ノ豆味噌ノ大體二分五厘位ニ當ツテ居リマス、隨テ私共ノ方デハ非常ニ是ハ良イト云フコトハ能ク存ジテ居リマス、併シ他ノ今日造ラレテ居ル味噌ニ付キマシテ八丁味噌ニ比ベテ見マス、榮養價值其ノ他色々ナ點ニ付テ、先程岡本サンノ御話ノヤウニ品質ガ違フト云フ點ガアツテモ、我慢シテ行クトスレバ、サウスレバ方面ニ集中のニヨリ多ク生産ガ出來テ一般大衆ノ爲ニモ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、總テノ味噌ヲ混ゼテ惡イモノニシテ消費者ガ困ルト云フコトヲシテモ宜イト云フコトハ私共決シテ考ヘテ居ナイ、サウスレバ意味デアリマスカラ附加ヘテ申上ゲ置キマス

○樋口委員 一寸伺ヒマスガ、サウスレト豆味噌ト云フモノハ、米味噌、麥味噌トシテ方宜イト云フヤウナコトデ豆味噌ヲ安クシタト云フコトニナルノデアリマスカ
○周東政府委員 サウスレトデアリマセヌ、唯八丁味噌ノヤウナ三年間モ置イテ非常ニ品質ガ良クナリ、非常ニ宜ク醸造上モ考ヘラレテ居リマスガ、サウスレト特殊ノモノヲ造ツテ、一般的ニ向ケル程ニ材料ガ今日餘ツテ居ナイデヤナイカ、斯ウ云フ所ニ私共ノ考ヘ方アルノデアリマス、豆味噌ヲ多ク造ラセヌ爲ニ價格ヲ下ゲタ、サウスレト八丁味噌ノ價格ヲ下ゲテ豆味噌ノ價造ラ減ラスト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、他ノ一般ノ味噌ニ付テハ今皆サノ御意見ノヤウニハ行カヌノデアリマス、豆味噌ト一般ニ申シマスガ、八丁味噌ノ公定價格ノ引下ゲノコトニ付テ御意見ガアルヤウデアリマス、八丁味噌以外ノ豆味噌ニ付テハ只今御意見ヲ承ツテ居ラスノデアリマス、此ノ

點ハ能ク御承取願ツテ置キマス
○樋口委員 私ハ此ノ機會ニ八丁味噌ノ請願者デハナイノデアリマスケレドモ、事必需品ニ關係スルコトデアリ、殊ニ豆味噌ニ關係スルコトデアリマスカラ御尋ネスルノデアリマスガ、一般豆味噌ニ對シテハ、米味噌、麥味噌ヨリ原料及ビ生産「コスト」ガ安イニ依ツテ其ノ價格ヲ安ク決メタト云フコトニ間違ヒガナイノデアリマス
○岡本實太郎君 味噌ノ必需品ナルコトハ言フマデモナク、其ノ中ノ上等品ナリトサレタ八丁味噌モ亦必需品デアリマス、或ハ濃淡ノ點カラ數年前ニハ東京地方デハ質薄トサレタカモ知レマセヌガ、我が愛知縣ニハ普通一般ニ使フノデアリマス、決シテ質薄デハナイノデアリマス、而モ私ハ新聞見マシタ所ニ於テ委員ノ高田君カラ煙草ニ付テ委員會ニ對スル河田大臣ノ答辯ノ要領ノ質問ニ對スル河田大臣ノ答辯ハ嗜好物ナラフ故ニ需要ニ應ズルダケノ供給ヲセネバナラズト共ニ、此ノ品質ヲ低下セシムルコトハ出來ヌ、斯ウ云フ趣旨ノ御答辯ガアツタ、煙草ヲ嗜好物デアラト前提シテ置イテ尙ホ其ノ品質ヲ低下スルコトガ出來ヌ、斯ウマデ大藏大臣ハ明カニ答辯シテ居ラレタル故ニ此ノ品質ヲ低下スルコトガ出來ヌト云フコトハ是ハ當然ノコトデアリマス、況ニ先刻來各議員カラ御説明ガアツタヤウニ、必需品中ノ而モ上等デアリ、割合ニ得デアル、決シテ質薄ナモノデナイ、斯ウ云フモノデアラカラ此ノ品質ヲ低下セシメテ、或ハ水ヲ加ヘ、或ハ早ク之ヲ造ツテ市場ニ

出サセルト云フヤウナコトハ、此ノ大藏大臣ノ答辯ノ趣旨トハ全ク相反シテ居ルヤウニ思フ、ドウソ此ノ點モ御一考願ヒタイ
○中野實委員 是ハモツト聽キタイコトガアリマスガ、口八丁手八丁ノ周東サンモ此ノ八丁味噌ダケニ付テハ研究ガ足りナイヤウデアリマスカラ、併シ政府モ善處スルコトヲ御考ヘ、確カニアルト思ヒマスカラ、此ノ程度ニ止メテ一ツ御採擇ニ願ヒマス
○庄司委員 採擇ニハ私ハ異議ハアリマセヌガ、先程カラ八丁味噌ニ關スル紹介議員デハアリマセヌケレドモ樋口先輩デアリマスカ、豆味噌ハ愛知縣ノ殆ド獨占的ノ產物デアリカノ如キ御話デ、他府縣ハ大部分米味噌或ハ麥味噌デアリカノ如キ御話ガアツタヤウニ覺ニテ居リマス、大分愛知縣ダケノ手前味噌ヲ述ベラレタヤウデアリマスガ、手前味噌ハ六十二萬石ハ御承知ノ仙臺味噌デアリマス、一定原料ノ豆ヲ基本原料トシテ味噌ノ最モ正確ナル鹽四種六、是ガ仙臺味噌ト云フモノハ豆ガ原料デアリ、天下一品デアラカドウカハ是ハ申上ゲマセヌケレドモ、可ナリ全國的ノ著名デアルモノガ濃却サレマシテ、他府縣ノ多クハ豆味噌デアリ、米或ハ麥ノ味噌デアリカノ如キ獨斷的ノ御批判ハ仙臺味噌遺傳千萬デアリマシテ、斯ウ云フ意味ニ御是正願ヒマシテ採擇ニハ異議ナイ譯デアリマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
○加藤委員 採擇ニ決シマス、此ノ際文部省ノ政府委員ノ方ニ非常ニ御急ギノ御用件ガ出來致シテ居ルサウデアリマスカラ、

特ニ同省所管ノ中日程第一、文部省編纂「國體ノ本義」訂正ニ關スル請願ノ上程致シマス、文書表第六三〇號——紹介議員川崎巳之太郎君

リヲ其ノ味喰カラ取ル、仍テ此ノ赤味噌ト云フモノハ、是ハ溜リヲ取ツタ粕デアリ、...

ドウカ、一杯モ十分ニイト云フヤウナ衰レナ濃度ヲ持ツテ居ルノデアリヌマ、...

カ云フモノデハナイ、唯三年モ貯蔵シテ置クモノヲ云々ト言ハレヌケレドモ、...

三等級ハ恐ラク今日ハ醬油デモアリマセヌ、...

味喰デ、其ノ豆味噌ノ大體二分五厘位ニ當ツテ居リヌ、...

點ハ能ク御諒承願ツテ置キマス ○樋口委員 此ハ此ノ機會ニハ八丁味噌ノ請願者デハナイノデアリヌケレドモ、...

出サセルト云フヤウナコトハ、此ノ大藏大臣ノ答辯ノ趣旨トハ全ク相反シテ居ルヤウニ思フ、...

特ニ同省所管ノ中日程第一、文部省編纂「國體ノ本義」訂正ニ關スル請願ヲ上程致シマス、...

部省ガ時局ニ鑑ミ、國體ノ本義ヲ明徴ナラシムル爲ニ、特ニ「國體ノ本義」ヲ編纂シテ、廣ク之ヲ頒布シテ居リマスガ、其ノ御意モハ洵ニ多トスベク、其ノ文章ハ又見ルベキモノト少クゴザイマセスケレドモ、國體ノ神髓ヲ説クニ尙未ダ徹底セザル所アリヤニ觀ハレマス、忠孝ノ本義ヲ説クノニ亦至ラナイ所ガアリハセスカト云フ處ガゴザイマス、仍テ此ノ際適當ノ改訂ヲ加ヘラレタシ、斯ウ云フノガ趣意デゴザイマス、ソコデハドンナ點ガ國體ノ神髓ヲ説クニ徹底シナイト民間デ思フカト云フト、文部省デハ無論是デ徹底シテ居ルト思フノデセウガ、私共ハサウデナイト云フ憾ミガアル、忠孝ノ本義ヲ説クノニ至ラナイト云フノハドウ云フ點カト云フノデ、自然是ハ例ヲ設クベナクテハナラナクナツテ參ルノデゴザイマス、ソコデ此ノ本ハ文部省ガ發行セラレルニ當リマシテ、其ノ趣意初メニ辯明シテゴザイマスニ、本書ハ國體ヲ明徴ニシ、國民精神ヲ涵養振作スベキ刻下ノ急務ニ鑑ミ、編輯シテ「斯ウ云フ」ノデスカラ、如何ニ割引シテモ八丁味喰位ノ重要性ヲ帯ビルノデゴザイマス、斯様ナ大キナ目的ヲ以テ編輯シテ、十二年五月以來、全國ニ刷出シテ配布シマシテ、此ノ本ノ終リニアリマスノニモ、十二年五月カテ十五年ノ十一月マデ三年半ニ六十三万部ヲ配布シテ、學校、官衙及一般民間ニ廣ク出シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ國體明徴ノ目的デヤツテ居ルト云フコトデゴザイマスカラ、中々大任掛ノモノデゴザイマシテ、宜イ加減ノ變ナ雜誌カ冊子ノヤウナモノデハナイノデゴザイマス、ソコデ此ノ頃ハ文部省デ善良ナル圖書ヲ推薦下サル、是ハ洵ニ結構デアル、サウシテ「ラ

チオ」ヲシテ放送セセル、本屋ハ非常ニ賣ンデ居ル、讀ム方モ亦ブカ知レナイガ、文部省ガ太鼓ヲ叩イテ見レカラ本屋ハ非常ニ賣ンデ居ル、所ガ是ハ文部省ガ全責任ヲ負ウテ、斯様ナ重大目的ノ爲ニ編輯シテ、又ソノナニ廣イ範圍ニ頒布ナツテ下サルノデアリマスカラ、是デ宜イカ惡イカハ吾々一億國民ガ應ト吟味シナケレバナラスシ、其ノ吟味ノ結果ハ文部當局ニ於テハ日夜ドウデアラウカト云フコトデ、親心デ研究シヨウト云フ御志ヲ持ツテ下サレコトト思フノデゴザイマス、ソコデ之ヲ發行シテハドウシテカト云フト、其産主義、社會主義色々旺シナツテ來テ、ソレ等ノ根柢ヲナス所ノ、天皇機關説、憲法學トシテハサウ云フモノガ旺シナツテ來タ、其ノ機關説ハ數十年間行ハレテ居ツタ、此ノ頃局長ヲ知事ニナツテ居ラレ方ハ大抵天皇機關説ヲ信仰ヲ持ツテ、ソレデ高文試驗ヲ受ケケレバ知事ニモ裁判官ニモ會社ノ重役ニモナレナイ程度タ行ハレテ居ル、ソレガ國體ノ明徴ニ反スルト云フ問題ガ起ツテ、其ノ時文部省ガヤツタ仕事ガ二ツアル、一ツハ金子堅太郎伯ニ御願ヒシテ、日本憲法制定ノ由來ト云フコトノ講演ヲ開カレテ、其ノ速記モ發行シテ記録ニ殘サレテ居リマス、ソレハ洵ニ結構デアリマス、コドイツノ憲法、「イギリス」ノ憲法、「オーストリヤ」ノ憲法ト日本ノ憲法トハ斯ク根柢ガ違フト云フコトヲ明カニシテ、國體明徴ヲ大イニ明カニシタノデ敬服シテ居リマスガ、其ノ次ニ今度ハ文部省自身ノ責任ヲ以テ、此ノ時節柄大イニ清冽刺ヲ投ジヨウトシテ二年掛リ、研鑽ノ末發行セラレタノガ此ノ

「國體ノ本義」デ、三年半ノウチニ六十三万部ヲ配布シテ居ル、ソコデ全體ヲ拜見シマスルト洵ニ結構ニ出來テ居ル、是ガ世道人心ヲ益スルコト勿論甚大ト考ヘルノデス、思想界混亂ノ時ニ明治二十三年ニ教育勸諭ガ出テ、ズツト國民ノ腦ヲ所ヲ示シ給ウタノハ實ニ辱ケナイ次第デゴザイマスガ、其ノ後ニ次ガ位ノ功績ガアルト思ツテ、此ノ功績ハ確ニ認メマスケレドモ、斯様ナ大任掛ノ趣意デ以テヤツテ居ルノデゴザイマスカラ、氣ニ食ハヌ所ガアレバヤハリ指摘シテ直シテ戴ク、ソレハ、熊ノハナイ、文部省ニオテ見マス、翻譯倫理ヲ戀愛物ヲ教科書中ヨリ禁止シテ、實業專門學校方面ノ檢閲ヲモ強ヒ化スルト云フコトガ出テ居ル、其ノ中ハ省キマスガ、ソコデ十數種ノ本ヲ檢査ニ舉ゲテ居ル、此ノ中ノ教科書若シクハ教員生徒ノ參考書ニナルモノサヘ禁止マデスルト云フ、源氏物語ナドモ戀愛物語ノ露骨ナ所ハ禁止ヲ受ケルト云フコトデアリマス、ソコデ此「國體ノ本義」下云フ文部省ガ大看板ヲ掲ゲテ大聲叱呼宣傳シテ居ル所、不行届ノ簡所ガアルカドウカ分ラヌガ、若シアレバソレハ御直シ下サルト云フ誠意ヲ持ツテ居ラレト思フ、ソレデ此ノ本ノ效能ニハ感服ヲ致シマスルケレドモ、同時ニ工合ノ惡イ所ガ色々アルノデス、例ヘバ第一ハ如何ニモ粉飾ニ過ギテ居ルノデス、ソレハ神代上古ノ宣命カラ、勸諭カラ、其ノ言葉ノ儘ヲオ引キニナツテ、萬葉集モ古今集モ何モカニ引イテ居ツテ、如何ニモ田舎ノオ嬢サンガ厚イ口紅ヲ塗シテ、引眉ヲ引イテ、白粉ヲベタベタ付ケテ居ルニ似テ、本人ハ大得意デアルカモ知レマセヌガ、ドウモ見ル方デハ閉

口スルト云フ傾キガアルノガ第一、是ハドナタモ隱シ難イコトデアルト思フ、ソレカラ非常ニ難解デアル、其ノ儘中古ノモノヲ無暗ニ引イテ居ルノデアリマスカラ、子供ニ牛乳ヲ飲マセセルノデナクテ、子供ニ固イ餅ヲ焼イテ食ハセセルト云フヤウナ傾キガアル、餅ナリ煎豆ナリハ榮養分ガアルデアリマセウ、併シ固イ餅デ子供ヲ食ハセバハシナイカ、論ヨリ證據、此ノ本タケデハ分ラナイ、續々註釋書ガ出テ居ル、一番早ク出タノハ三浦彌作ト云フ方ノ國體ノ本義解説ト云フノデ、菊版五百頁デアリマス、是ハ三年四箇月ノ間ニ百十五版デ、此ノ方ト本屋ガ大儲ケヲシテ居ルト思ヒマス、菊版デ五百頁モ註解セナケレバ分ラナイ、其ノ原本ヲ小學校教員其他ニ六十何万部ト配本シテ居ルカラ、小學校教員ハ一生懸命ノヲ買ツテ讀マナケレバナラス、所ガ是バカリナラバ宜イガ、塚本哲三ト云フ方ノ國體ノ本義解説ト云フノガ、是ハ國體ノ本義解説ガ餘リ實レルノデ、俺モヤラウト云フイ字デ書イタ四百五十頁ノ本ガ、十五年一月カラ十六年二月マデノ間ニ何十版ト出テ居ル、其ノ外ニ二三種國體ノ本義ノ註釋書ガ出テ居ル、又續々出ルト云フ大變ナ騒ギデアリマス、日本書紀ナラ本居先生ノ註解ト云フノモ宜イガ、何十冊モコンナモノガ出テ、サウシテ是ハ一回五十錢ニハ三四五十錢、之ヲバ現ニ暮シニ困ツテ國庫カラ今更ニ月十四ツツノ臨時手當ヲ貰ハナケレバナラス小學校教員ニ皆買ハセル、只今國體ノ本義解説ハ百十五版ト云フ大變ナ實レ方デアリマス、文部省ノ此ノ騒ギハ紙量ノ拂底ノ折柄

洛陽ノ紙價ヲ高クシテ居ル、其ノ方モ一ツ考ヘナケレバナラスコトト思フノデアリマス、ケレドモソレハ附ケタリノ話デ、「國體ノ本義」中ニ述ベテ居ル趣意ガ良ケレバ左様ナ副産物ガアツテモ我慢ラシマス、所ガ趣意ハ良イ、ケレドモ少シ不足カ及バナイ所ガナイカト云フ點デス、ソレハ澤山山並ニタイノデアリマスガ、委員長カラ特ニ簡單ニト御注意ガアリ、又政府委員ガ御急ギタト云フ御話デアリマスノデ、考ヘテ來マシタコトヲズツト略シマシテ、僅カニ三點タケラ拾ツテ見タイト思フノデアリマス

一ツハ此ノ中デ孝行ヲ説イテ居ル點デゴザイマス、今マデノ教科書ニ鬼角孝行ノ説キ方ガ不足シテ居ルノデ、此ノ席遺體ヲ述ベタノデアリマスガ、此ノ説キ方ハ良イ方ヲ言ヘバ洵ニ結構ニ説イテ居ル、ケレドモ此ノ本註ニ由レバ孝ハ忠ノ小サイ附屬物ノヤウニ結局ナツテシマフ、ソレハ果シテソレデ宜イカ、孝義天皇ガ孝行ノ各家ニ一掃ツツ備ヘサセタト云フ古イ御趣意ハ暫ク措イテ、明治天皇ガ明治十五年十二月二日ニ御下賜ニナツタ欽定幼學綱要ヲ元田永孚先生ガ奏上シテ御裁可ヲ仰イタ時ノコトデゴザイマス、孝行ノ方ハ故ニ孝ヲ以テ人倫ノ最大義トナス、忠方ハ故ニ眞ノ忠節ヲ此ノ孝行ニ對ベテ人倫ノ最大義トナス、斯ウ云フコトガ、明治天皇ノ御裁可ヲ經テ發表セラレテ居ルノデゴザイマスカラ、是ト此表セラレテ居ルノ差異ヲドウ調整スルノデアラウカト思ヒマスガ、是ハ又論ズルト長クナリマスカラ、暫ク保留シ、他日機會ノアル時ニ論ジマシテ更ニ御説ヲ伺フコトニ致シマセウ

其ノ次ハ此ノ中ニ水戸學ヲ説イテ居ルノデアリマス、此ノ國體ノ本義ノ著者ハ、多分大勢ノ學者ガ金子堅太郎先生ノ講演以來、二箇年モ掛ツテ評議ヲ重ねテ持ヘタモラシイ、ケレドモ其ノ方々ノ説ク水戸學ハ、其ノ方々ガ想像ニ描イタ水戸學デ、實際ノ水戸學デモ何デモナイヤウデアリマス、何トナレバ、斯様ニ説イテ居ル、此ノ十七頁ニ德川幕府ハ朱子學ヲ採用シ、此ノ學統ヨリ大日本史ノ編纂ヲ中心トシテ水戸學ガ生ジ、又ソレガ神道思想、愛國ノ赤心ト結ンデハ、山崎闇齋ノ所謂崎門學派ヲ生ジタノデアルト云フノデアリマスカラ、水戸學ハ朱子學ノ一分派ニ過ギナイト云フコトヲ初メニ斷定シ、山崎闇齋ニ比シテ神道思想ト愛國ノ赤心ノ足リナイモノデ、而モ朱子學カラ分派シタノガ則チ是レ水戸學ダト云フコトニ此處デハナツテ居リマス、是ハ此ノ學者ノ方々ガ頭ニ描イタ水戸學デ、實際ノ水戸學デハアリマセヌカラ、コンナコトヲ書イテ、コンナ風ニ註釋シテ、何百方部ト賣捌イテ居ル、是ハ將來天下ニ誤解ヲサセルコト甚大ト思ヒマスガ、孝ト云フ議論モ是ハ學問上ニ互ル大キナ議論デアリマスカラ、水戸學ト孝トノ二點ハ他日ニ延バシテ置キマス

第三點ハ德川光圀ニ關シテ一言モ書イテ居ナイ、是デ國體ノ本義ヲ分ラセル本ト言ヒ得ルカ、是ハ誰ガ考ヘテモサウ思フノデアリマス、七十八頁ニハ、太平記、頼山陽ノ日本外史、會澤正志齋ノ新論、藤田東湖ノ弘道館記述義、其ノ他國學者ノ論著等ト共ニ、幕末ノ勤皇ノ志士ニ多大ノ影響ヲ與ヘタト書イテアリマス、其ノ下ニ本居宣長ノ古事記傳、平田篤胤ノ惟神ノ大道ト云フヤウナ傳説スベキ國學者ノ著書モ大變ナ實レ方デアリマス、其ノ外ニモ斯ウ云フ古人ノ名ヲ澤山並ニテアリマスガ、獨リ不思議ナコトニハ水戸義公、德川光圀ノコトハ文部省ガ此ノ中ニ一言半句モ述ベテ居ナイ、是ハドンナ積リデアルカ、是デ國體ノ本義ガ明瞭ニナカト云フコトヲ私ハ疑問ニ思ツテ御伺ヒシタノデアリマス、德富蘇峰先生ハ、大日本史ハ名高イケレドモ、讀マナイ人ノ多イノモ日本一ダト皮肉ヲ言ツテ居リマス、其ノ大日本史ヲ讀ンダカドウカ分リマセヌガ、國體ノ本義ヲ持ヘタ學者達ハ、兎ニ角大日本史ヲ讀ンデモ話解出來ナカツタカ、或ハ大日本史ガ日本ノ國體上幕末ノ勤皇思想及ビ其ノ後ノ憲法ノ中ニ入り、教育勸諭ノ中カ、又今後我ガ帝國ノ發展ニドノ位設立ツカト云フコトガ充分判ラナカツタラシイ、ソレタケハ掩フコトガ出來ナイ、彼等ニ個人デ話ヲスレバ滔々辯ズルカモ知レマセヌガ、此處ニハソレガ全クナイ、ソコデ眞ニ述ベマシタ會澤正志齋ノ新論、頼山陽ノ日本外史ハ結構ナ本ニ違ヒナイガ、大日本史ト云フノハ是トハ全然物ガ違フノデアリマスト云フノハ、明曆三年義公ガ編輯ス、ト書ヒマスノハ、明曆三年義公ガ編輯ヲ始メテ、明治三十九年ニ今ノ德川國體公ガソレヲ大成シテ、最後ノ體本ヲ致シタノノ著書デスウ云フモノガ二ツトアリマス、ソレハ長サノ方デアリマスガ、其ノ中ニアル事柄ハ無論皇室中心主義デゴザイマスガ、一言デサウ簡單ニ片付ケテ行クベキモノデハナイ、二百五十年掛ツテ全部四百二卷ヲ朝廷ヘ奉ツタ、コンナノハ文部省ヘ奉ラナイカモ知レナイケレドモ、文部省ノ技

ヲモ加ヘタ、日本書紀モ神皇正統記モ大友
皇子ヲ其ノ儘ニシテ置イタ、然ルニ大日本
史ハ光圀ノ英斷ニヨリ之ヲ帝王ニ列シタノ
デ、皇皇ノ列統ノ中ニ二ツ變リガ出來タ、
ソレヲ 明治天皇ガ明治三年ニ詔リセラ
レテ、弘文天皇ト云フ御謚ヲサセラレ
タ、義公ハ實ニ多クイコトデアリガ、
明治天皇トスルマデ呵吟ノ呼吸ガ合フ
デゴザイマス

其ノ次ハ南北朝ノ話デ、是ハ既ニ能ク分
ツテ居ル事ダカラ申上ガメセガ、此ノ「國
體ノ本義」ニ依リマス、二十頁デス、三種
ノ神器ノ所ヲ説クニ當ツテ「從ツテ歷代ノ
天皇ハ、皇位繼承ノ際コレヲ承ケサセ給ヒ、
天照大神ノ大御心ヲソノママニ傳ヘサセ
レ」云々トゴザイマス、所ガドウデスカ、歷代
ノ天皇ト申シマスレバ、萬世一系ノ皇皇
ナノデス、萬世一系ノ皇皇ノ中ノ歷代ノ
天皇ノ中ニハ、北朝ノ何代カノ 天皇様モ
無論加ハツテ居ルコトデアリマス、皇位繼承
ノ際ニ之ヲ承ケサセ給ヒトナツテハ居ナ
イデハナイカ、三種ノ神器ヲ持タナイ北朝
ノ帝王ガ吉野朝ノ時代ニ數代、五十七年カ
何カ御積キニナツタ、是ハ唯萬世一系ノ皇
室ノ血ヲ承ケタガ方ガ王位ニ即ケバト云フコ
トダケデハ説明ガ出來ナイノデス、皇皇ノ
正シイ血サハ受ケレバト云フノデハ日本ノ
國體ニハ甚ダ危險デス、是ハ日本ノ國體ヲ
考ヘル者ハ眞劍ニ攻究セネバナラヌコトデ
ス、徳川家康ハ幕府ヲ江戸ニ立テルヤ僧天
海ノ助言ダト言ハレマスガ、輪王寺宮ヲ上
野寛永寺ノ法主ニ仰ギ奉ツタ、ソレデ京都
ノ方カラ攻メテ來タナラバ、皇皇ノ血統ヲ
引イテゴザル官様デゴザルカラ、此ノ方ヲ
奉ジテ錦旗ニ双向ヒラスル、コツチモ皇皇

ノ血統ダト云フコトデアリ策略デナカウツ
カト云フコトヲ歴史家モ皆言ツテ居ル、唯
萬世一系ノ皇皇ニ違ヒナイガ、皇皇デモ斯
様ナコトガアツテハ、是ハ日本ノ國體上山
由シイ大事デアル、之ヲ力説シテ即位ヲセ
ラレナカウツ神功皇后ノミデナク、三種ノ
神器ヲ持タナイ即位ニ立タレタ御方々ハ、
假令御血統ハ免モアレ斷然間位ダト云フコ
トニセラレタ、隨テ其ノ方ヘ加増シテ尊氏
其他ハ逆賊ダ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、
單ニ御血統ダケヲ重視シテ此書ノヤウニ
ベラ／＼トコソナ風ニ書イタノデハ、尊氏禮
讓論ヤ何カガ是カラ出ルノデ當リ前ダト云
フコトニナリマスマイカ、折角ニ明治四十
四年 明治天皇ノ聖斷ニ由リ決定シテ千古不
磨ノ鐵則トセラレタ南朝正統論ヲ、又モヤ
覆ヘスノ處アル筆法ヲ文部省ガ弄ンデハ相
濟マヌデナイカ、今更斯クモフザケテ居
レハ困ル、シツカリ御檢討ヲ願ヒタイト
思フノデゴザイマス、ソレカラ長慶天皇ノ
崩御ノ年月及ビ場所ナドガ不明瞭ダト云フ
コトデ、皇統カラ從來全ク省カレテ居ツ
ケレドモ、獨リ大日本史ハ斯様ノ正統ノ位
ヲ繼イダ南朝ノ末ノ天子様ヲ、ソノナ風ニ
シテハ相濟マヌト云フコトデ、帝統ノ中ニ
加ヘ奉ツタ、是ハ吾々現代ノ人間ハ、アナ
タ方モ私モ承知シテ居リマスヤウニ、大正
十五年、若槻内閣ノ時ニ、大正天皇ノ御裁
斷ヲ經マシテ之ヲ皇統ニ加ヘタ、斯様ナコ
トデアルカラ形迹ガハツキリシナイトカ、
力ガ弱テ不幸討死ヲセラレタト云フコ
トデモ、正當ナ血統ヲ繼ガレ、正當ナ順序
ヲ經テ即位サレ、正式ニ三種ノ神器ヲ御受
ケ遊バシタモノハ、斷ジテ擁護シナケレバ
ナラス、是ガ方日本國民ノ思想デアル、之ヲ

リマス、之ヲモウ少シ俗ナ分リ易イ言葉デ
言ヒマストビカ一ダ、此ノ勤皇ノビカ一ノ
コトヲ何ヲ遠慮シタノカ、此ノ本ノ全體ヲ
通シテ一言半句モ書イテ居ナイ、ソレデ國
體ノ明徴ト云ツテ抑、何ヲ教ヘルノカ、是デ
ハ國體ノ教ヘヤウガナイデハナイカ、既
ニ義公ノ名ナク事績ガ無イカラ、本屋モ註
釋家モ此ノ點ヲ紹介スルノ途ガナイト云フ
ノガ私共ノ遺憾ニ考ヘテ居ル次第デゴザイ
マスノデ、之ニ付テコソナ小サナ源氏物語
ダ、何ダ彼ダデ蚤ヲ抑ヘルヤウニ一生懸命
追掛ケテ、マアソレモ御苦勞デゴザイマセ
ウガ、ソレモ宜イコトデセウガ、此ノ本ヲ
發行スル趣意書ノ初メニハ「國體ヲ明徴ニシ
合ハスデナイカ、尤モ著者ハ斯ウ云フ一寸
謙遜デスガ、コソナ言葉モアルノダカラ」
「我が國體ハ、大深遠デアツテ、本書ノ敘
述ガヨクソノ眞義ヲ盡クシ得ナイコトヲ
懼レル」其ノ途ノ學者ガ一致シテ指ヘタノニ
斯ウ言ツテ居ル、是ダケデ宜イと思フケレ
ドモ、餘リ御化粧ガ多過ぎテ或ハ眞義ヲ盡
サナイカモ知レナイト云フコトヲ御本人共
ガ言ツテ居ルノデスカラ、アナタ方當局者
諸君ハ遠慮スルコトハナイ、斯様ナ問題ガ
民間ニ起ツテ居ルコトハナイ、斯様ナ問題ガ
訂シテ載キタイカ、サウシテハ明日辭令
思ガアルカナイカ、サウシテハ明日辭令
一本デ何處カヘ行ツテシマフト云フノデハ
困ルカラ、大臣ニ責任ヲ持ツテ御答ヘテ願
ヒタイト思フノデアリマス、其ノ大臣ニ代
ツテ御答ヘ下サルト云フ教學局長官ノ御言
葉デゴザイマスカラ喜ンデ御返事ヲ承リタ
ウゴザイマス

差シ措イテ「國體ノ本義」ヲ説クトハ何事デ
アル、此ノ日本國民ノ思想ヲ明瞭ニスル爲ニ
モ、ソノナ不都合ナ大掛リヲシテヤツテ居
ツテハ其レモノデハナイト私共ハ思フノデ
ゴザイマス

モ、主トシテ骨ヲ折ツタ者ハ先ヅ第一ニ光
陰デゴザイマス、其ノ詳シイコトハ略シマ
ス、ソレカラ即位式、大嘗會ト云フヤウナ
色々ナ儀式ガアツテモ、是マデ朝廷方式微
ノ爲ニ數百年間杜絶シテ居ツタノデアリマ
ス、之ヲ義公ガ散々ニ骨ヲ折リマシテ、侍
臣ニ命ジテドウヤラ形ヲ拾ヒ集メテ、ソシ
テ「禮儀類典」ト云フ何十冊モノ本ヲ拵ヘテ、
ソレガ唯一ノ據リ所トナツテ 明治天皇、
大正天皇及ビ只今ノ 今上陛下ノ 御即位
式大嘗會ト云フモノモ之ニ依ラレテ居ル、
山崎闇齋其他ニモ隨分良イ本ガゴザイマス
ルケレドモ、闇齋カラ神道思想ト愛國ノ赤
心トヲ差引イタノガ水戸學ダト云フヤウナ
コトヲ言ツテハ分ラナクナル、事實ヲ九デ
知ラナイ、無知ト言ハウカ、大膽ト言ハウ
カ、驚クニ堪ヘタルモノガアリマス、サウ云
フヤウナモノデ外ニマダ遠慮シテ略シマス
リマスガ、ソレハ時間ヲ遠慮シテ略シマス
最後ニ歷代ノ 天皇陛下ガ義公ヲ如何ニ
御覽下サツテ居タカト云フコトヲ一言シタ
イ、是ハ勿體ナイ、尊イ話デゴザイマスガ
ラ、公ノ大著書ト一掃ニ濯滅ニ付シテシマ
フト云フコトハ惜シイノミデナク、歷代ノ
天子様ニ對シテ奉ツテ相濟マスト思ヒマスル
カラ、ソレダケヲ終リニ拜讀スルコトヲ許
シテ載キタイ、是ハ一番早イ頃ハ靈元天
皇——靈元天皇ハ斯ウ云フ御言葉ヲ賜ウテ
居リマス、「武ヲ備ヘ文ヲ兼ネ絶代ノ名士
ナリ」斯ウ云フコトデス、ソレカラ仁孝天
皇ハ「義ヲ嗜ム」ノ至リ、身ヲ修ムルノ潔キ、
行ヒ取捨ナク、學古今ニ通ジ、關廷ノ尊ハ
久シク激烈ニ感ジ、周里ノ鄙ハ永ク流風ヲ
仰グ」云々ト云フ御勅諭ヲ賜ハツタノデア
リマス、ソレカラ 明治天皇、是ハモウ明

治二年カラ三十三年マデ始終義公ニ對シテ
ハ色々ノ思召ガアツタ、サウシテ明治二年
ニハ從一位ヲ贈ラレ、此ノ年ニ義公ニ依ツ
テ表彰セラレタ楠木正成モ多分初メテ高イ
位ニ追敘セラレタヤ、記憶致シマスガ、
ソコハハツキリ致シマセス、明治八年四月
四日、是ハ烈公ノ誕生日デアリマス、
明治天皇ガ特ニ今墨田公園ニナツテ居ル小梅
ノ水戸邸ニ行幸セラレテ色々ノ古文書ヲ御
覽ニナツテ、サウシテ御製ヲ賜ツタ、丁度
陽春四月デ以テ墨堤ノ櫻ガ咲イテ居ル時デ
アル、四月四日ニ賜ハリマシタ御製ハ斯ウ
云フモノデゴザイマス、「花ダハシ櫻モアレ
ト此ヤトノ世々ノコロロ我ハトヒケリ」
ソレハ時節柄十里ノ墨堤ニハ今ヲ盛リト咲
イタ芳バシイ櫻モアルケレドモ、自分ハソ
ノナモノヲ見ルノデハナイ、此ノ宿ノ義公烈
公以來ノ世々ノ心ヲ問ウテ居ルノダ、斯ウ
云フ勿體ナイ御製ヲ賜ヒ、其ノ短冊ガ水戸
家デ大切に保存セラレテ居リマス、又明治
三十三年十一月ニハ近衛師團ノ大演習デア
城縣ノ笠間ニ大露ヲ進メラレタコトガアリ
マス、其ノ時ハ義公ノ墓ニ勅使ヲ派遣セラ
レテ、辱ナイ勅宣ヲ賜ヒマシタ、ソレハ「洵
ニ是レ勤王ノ眞首ニシテ實ニ復古ノ指南タ
リ」マダ先ガアリマスガ、「朕適、常陸ニ幸シ
追念轉々切ナリ」ト 明治天皇ハ仰シヤツ
テ、更ニ正一位ヲ賜ハツタノデアリマス、
ソコデ勤皇家ハ深山アリ、又深山ノ御言葉ヲ
歷代ノ天子様カラ戴イタ方モ澤山アルケレ
ドモ、勤皇ノ眞首ト云フ御言葉ヲ戴イタノ
ハ一億万人ノ國民中、二千六百年間ニ外ニ
アリマスカ、私ノ寡聞ナル義公以外ニ聞イ
タコトガナイノデアリマス、左様ナ所謂最
高峰デス、勤皇ノ眞首トシテノ最高峰デア

「我が國體ハ、大深遠デアツテ、本書ノ敘
述ガヨクソノ眞義ヲ盡クシ得ナイコトヲ
懼レル」其ノ途ノ學者ガ一致シテ指ヘタノニ
斯ウ言ツテ居ル、是ダケデ宜イと思フケレ
ドモ、餘リ御化粧ガ多過ぎテ或ハ眞義ヲ盡
サナイカモ知レナイト云フコトヲ御本人共
ガ言ツテ居ルノデスカラ、アナタ方當局者
諸君ハ遠慮スルコトハナイ、斯様ナ問題ガ
民間ニ起ツテ居ルコトハナイ、斯様ナ問題ガ
訂シテ載キタイカ、サウシテハ明日辭令
思ガアルカナイカ、サウシテハ明日辭令
一本デ何處カヘ行ツテシマフト云フノデハ
困ルカラ、大臣ニ責任ヲ持ツテ御答ヘテ願
ヒタイト思フノデアリマス、其ノ大臣ニ代
ツテ御答ヘ下サルト云フ教學局長官ノ御言
葉デゴザイマスカラ喜ンデ御返事ヲ承リタ
ウゴザイマス

本義ニ付キマシテ色々ト詳細ニ互リマシテ
御述ベテ載キマシテ、私共深ク拜承致シテ
ゴザイマス、「國體ノ本義」ハ既ニ川崎サン御
承知ノ通りノ趣旨ヲ以テマシテ昭和十二年
ノ春刊行致サレマシタ、國體ノ本義ヲ闡明
致スト云フコトガ本書刊行ノ眼目デアルコ
トハ申スマデモゴザイマセス、起草ニ當リ
マシテモ專ラ是ニ意ヲ用ヒマシタ次第デゴ
ザイマス、併シナガラ御批判ニゴザイマ
シタ文節ニ過ギルヤウデアル、難解ニ過ギ
ルヤウデアルト云フヤウナ點モ御舉ゲデゴ
ザイマシタガ、實ハ文節ニ過ギルト云フ風
ニハ見テ居リマセスノデゴザイマスガ、上
古聖國ノ事實ニ付テ難カ文節ニ過ギル嫌ヒ
アリト云フ御説モゴザイマシタカラ、此ノ
點ハ私共十分ニ研究ヲ致シテ見タイト考ヘ
テ居リマス、難解ト云フ點ニ付キマシテハ、
或ハ左様ナ點モアラウカト存ジマスルガ、
本書ハ專ラ教職員等ノ參考書ト致シマシテ
作ツタト云フ氣持モゴザイマシタノデ、又
取扱ヒマスコトガ廣大ニシテ無邊ナル我が
國體ト云フモノデゴザイマスルノデ、努メ
テ難解ニ陪ルコトヲ避ケテ起草致シマシタ
モノ、或ハ其ノ點ニ付テマダ十分ナラザ
ル所ガアツタカトモ考ヘル次第デゴザイマ
ス、尙又更ニ内容的ニハ孝行ト云フコトヲ
説イテ十分デナイト云フヤウナ御批判ガゴ
ザイマシタガ、忠孝ト云フコトハ我が國體
ノ基デアル、之ヲ基トシテ臣民ノ道ト云フ
モノガアリ、之ヲ明カニスルコトニ依ツテ
國體ヲ明徴ナラシムルト云フコトガ初メテ
出來ルノデアリマス、忠君愛國、忠孝一本、
其ノ他全卷ヲ通ジマシテ忠孝ノ本義ヲ
明カニスルト云フ點、敢ニソレヲ解イテ實
踐ヲ指導スルト云フ點ヲ心掛ケテ書イテア

ル積リデゴザイマス、尙ホ水戸學並ニ水戸
光園公ニ付テノ御述ベガゴザイマシタガ、
水戸學ト朱子學トハ勿論異ナルモノト考ヘ
テ居リマスケレドモ、本章ニ於キマシテハ
御承知ノ如ク、御覽ニナリマシタ如ク、水
戸ニ於ケル大日本史ニ關係致シマシタ編纂
ト云フコトヲ掲ゲマシテ、此ノ大日本史ガ君
臣ノ大義名分ヲ詳カニスル、皇道ヲ正シ臣民
ヲ律スルト云フ所ニ、其ノ眞精神ガアルト
考ヘテ居ルノデアリマス、本章ニ於キマシテ
ハ、江戸時代ニ於ケル尊皇精神ノ發現トシテ、
大日本精神ヲ中心ト致シマスル水戸學ヲ舉
ゲタノデアリマス、水戸學ガ江戸時代ニ於
ケル尊皇精神ノ發現トシテ、上ニ大キナ影
響ヲ持チ、是ガ體テ我が國ノ國體ヲ明カ
ニスル上ニ、極メテ重要ナモノデアルト云
フコトハ、十分ニ編纂ノ上ニモ考ヘテ居リマ
シテ段々ニ御述ベモゴイマシタヤウニ、
之ヲ輕ンズルト云フヤウナ考ヘハ勿論毛頭
ゴザイマセス、之ヲ要シマスルノニ、段々
川崎サンノ御述ベヲ載キマシタ點ハ、洵ニ
懇ヨナル御話トシテ、私共モ深ク拜承致シ
テ居ル次第デアリマスルガ、固ヨリ廣大無
邊ナル此ノ國體ノ本義ト云フモノヲ、完全
ニ解イテ剩ス所ガナイト云フ風ニ致シマス
ルコトハ、中々是ハ至難ナ事柄デアリマス、
仍テ文部省ト致シマシテモ、別ニ國體ノ本
義解説書ト云フモノヲ、今刊行致シテ居
リマス、例トシテ御探上ニナリマシタ民間
ノ著書ト異ナリマシテ、文部省自ラ解説書
ヲ刊行スルコトニ致シマシテ、既ニ「國體
ノ精神」御歷代ノ聖德ニ就イテ「我が國體
ト臣道」帝國憲法ト臣民ノ眞實」等十種類
ハ刊行頒布ヲ了シテ居リマス、尙ホ今後ニ

第三類第一號 請願委員會議錄 第十二回

於キマシテ必要ニ應ジマシテ、是ガ解明ニ努メル考ヘデゴザイマス、段々ノ御懇...

共同ノ請願デゴザイマシテ、此ノ請願ノ趣旨ノアル所ハ、農林部當局ニ於カレマシテ...

加藤委員長 日程第四、玄米小賣公定價格設定ニ關スル請願、文書表第六一三號...

加藤委員長 採擇ヲ希望致シマス、採擇ニ御異議アリマセスカ...

加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ、採擇ニ決シマス...

主デアリマスル共ノ共榮製糖株式會社ノ所屬製糖家ノ特約組合ニ種ヲ製造配給ス...

政府デモ餘程ハ遲延遂進ヲセラレルヤウナ點モアラウ、私共ハ食糧問題ノ解決...

加藤委員長 御話ノヤウニ現在ノ食糧事情カラ見テ、玄米食ニシタナラバ、非常...

加藤委員長 食糧問題ニ付テ是位現在國民ニ不安ヲ與ヘテ、國家ノ立場カラ見マシテ...

加藤委員長 食糧問題ニ付テ是位現在國民ニ不安ヲ與ヘテ、國家ノ立場カラ見マシテ...

第三類第一號 請願委員會議錄 第十二回

於キマシテ必要ニ應ジマシテ、是ガ解明ニ努メル考ヘデゴザイマス、段々ノ御懇...

共同ノ請願デゴザイマシテ、此ノ請願ノ趣旨ノアル所ハ、農林部當局ニ於カレマシテ...

加藤委員長 日程第四、玄米小賣公定價格設定ニ關スル請願、文書表第六一三號...

加藤委員長 採擇ヲ希望致シマス、採擇ニ御異議アリマセスカ...

加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ、採擇ニ決シマス...

主デアリマスル共ノ共榮製糖株式會社ノ所屬製糖家ノ特約組合ニ種ヲ製造配給ス...

政府デモ餘程ハ遲延遂進ヲセラレルヤウナ點モアラウ、私共ハ食糧問題ノ解決...

加藤委員長 御話ノヤウニ現在ノ食糧事情カラ見テ、玄米食ニシタナラバ、非常...

加藤委員長 食糧問題ニ付テ是位現在國民ニ不安ヲ與ヘテ、國家ノ立場カラ見マシテ...

加藤委員長 食糧問題ニ付テ是位現在國民ニ不安ヲ與ヘテ、國家ノ立場カラ見マシテ...

ナラスノデアリマス、何トナレバハ先般翁島村民ヨリノ請願ヲ採擇イタト同ジヤウナ意味合ニナツテ居リマスノデ、前ニ採擇ニナツタモノト重複スルデハナイカト云フ御懸念ガ生ジテ來ルト思フカラデアリマス、依ツテ簡單ニ重複シナイ意味ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此ノ要旨ダケヲ見マスルト、開墾地三十五町歩云々ト云フコトガゴザイマスガ、實ハ前回御採擇ヲ願フタ翁島村ノ方ハ、耕地モ非常ニ多ク失ヒ、採草地、薪炭用地モ失ツテ居ルノデアリマスガ、千里村ノ方ハ大體ニ於テ採草地ヲ失ツテ居ルデアリマス、所ガ此ノ村ハ附近第一ノ馬産地デアリマス、馬ヲ一戸二頭ハ勿論、三頭モ持ツテ居ル家ガ澤山ゴザイマシテ、小サイ村デハゴザイマスルケレドモ、三百數十頭ノ馬ヲ持ツテ居ル珍シイ馬産地デゴザイマス、所ガ馬一頭ニ付テ一年ニ五反歩位ナケレバ馬糞ヲ充スコトハ出來ナイ譯デアリマスカラ、三百頭ノ馬ニ青草ヲ與ヘル爲ニハ百數十町歩ノ土地ガナケレバナラス譯デアリマス、ソコデ其ノ採草地ガ欲シイト云フノガ眼目デゴザイマスカラ、此處ニ開墾地ト云フコトヲ譯ツテハアリマスルケレドモ、若シ翁島ノ方ニ拂下ゲノ御許シ得タ其ノ餘分ニ尙ホ開墾地ガアリマシタラバ、食糧増産ノ計畫モアルノデアリマスカラ開墾地ヲモ幾分ナリトモ御許可願ヒタイト云フデアリマス、主トシテハ採草地ニアルノデアリマス、地元ノ人々ガ參リマシタカラ、裁願スルヤウナコトニナツテハ困ルデハナイカト云フ話ヲ致シマシテ、其ノ結果裁願デナイコトモ確メタノデアリマス、ドウカ其ノ意味合ニ於テ御採擇ヲ御願ヒ致シタイト思フデア

リマス、決シテ裁願ニハナツテ居ナイノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ農林御當局ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○井出政府委員 只今ノ御話ノ此ノ請願ハ、御話ニモアツタヤウニ、先日此處デ御審議ノゴザイマシタヤハリ猪苗代町内ノ國有林ノ開放ノ件ト大體御趣旨ニ於テハ同様ト承ツテ居ルデアリマス、其ノ際ニ申上ゲマシタト大體同様ノ方針ヲ以テマシテ、能ク現實ニ當該國有林ノ狀況ヲ調べマシテ、開墾適地或ハ採草地トシテ特ニ關係方面ノ利用ニ開放シテ然ルベキ場所ガゴザイマスカラ、更ニ地元町村ノ其ノ方面ノ利用關係ヲ見マシテ、之ニ合セテ十分善處シテ參リタイ積リデアリマス、尙ホ御話ノ中ニモアリマシタ採草地ノ點ニ付キマシテモ、此ノ地方ノ馬産地デアリマス事情ニ能ク適應致シマスヤウニ考慮シ、其ノ採草地ノ貸下其ノ他ニ付テノ開放モ同様ニ意味ニ於テ善處シテ參リタイ積リデアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセスカラ、(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤委員 採擇ニ決シマス

○加藤委員 次ハ日程第八、藏王山毒水防止ニ關スル請願、文書表第五三九號

○庄司委員 本請願ハ、宮城縣柴田郡川崎村ニ學名藏王山、俗ニ劉田岳ト云フ山ガゴザイマス、是ハ宮城、山形、福島ノ三縣ニ互ル可ナリノ高山デゴザイマシテ、是ハ現在ハ爆發或ハ噴出ヲレテ居ル火山デハゴザイマセス、所謂休火山デゴザイマセスガ、此ノ山ヲ地方デハ俗ニ御山ト云フテ居リマス

ガ、其ノ絶頂ニ御釜ト云フモノガアリマシテ、是ハ昔ノ噴火ノ跡デアリマス、其ノ御釜ヨリ北ノ方ニ山ヲ麓ニ下リマスト、三箇所程カラ盛ニ硫酸銅ガ噴出シテ居ルノデアリマス、是ハ昭和十四年七月二日ニ東北大學ノ虎石講師ニ依ツテ發見セラレタノデアリマスガ、其ノ硫酸銅、私共素人ノ謂フ毒水ガ濁川ニ入りマシテ、ソレガ松川ニ合流シテ、其ノ松川カラ更ニ白石川ニ合流シ、アリマス、此ノ濁川、松川、白石川、阿武隈川等ノ河川ヨリ灌溉用水トシテ農村ニ用水ヲ引イテ居リマス、其ノ關係町村ハ十一箇町村デ、名取郡ヲ加ヘマスト、丁度十六箇町村ガ此ノ河水ヨリ灌溉用水ヲ求メテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ毒水ニ付テハ農林省御當局ニ於テモ昨年御調査ヲ願フタノデアリマスガ、私ハ化學的ナコトハ分リマセスケレドモ、此ノ毒水ノ酸度ハ〇・二度デアアル、然ルニ河水ガ濁水シテ場合ニ於テハ〇・八度ニナルト云フヤウナ學說ヲ專門家ヨリ承ツテ居ルノデアリマスガ、今年ハ全國的ニ御承知ノ如ク雨水ガアリマセス、又東北地方ノ此ノ一帶ニ於テモ雪ガ積ツテ居リマセス、サウ云フ關係上本年ハ此ノ河水系統ハ無論ノコト、悉ク濁水シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ學者ノ調査ニ依ル酸度ハ〇・八度ニ此ノ毒水ガナルコトハ洵ニ憂慮ニ堪ヘナイコトデゴザイマシテ、昨年ハ中和スル爲ニ石灰ヲ配給ヲ受ケマシテ、千五百トシカノ石灰ヲ頂戴致シマシタ、サウシテ之ヲ苗代ニ投入シテ毒水ノ入ツテ居ル灌溉用水ヲ化學的ニ中和サセテ、ドウヤラ斯ウヤラ暫定的ノ對策ヲ執ツタノデアリマスガ、其ノ爲ニ稻作ニ於テ約二割程ノ

減收ヲ見タノデアリマス、今年モ亦田植ガ追々近ク相成ツテ參リマシタノデ、此ノ請願ノ趣旨ハ、ドウカ農林省ト内務省、或ハ宮城縣廳ト云フヤウナ關係官廳ニ於テ御協議ノ上、根本的ニハ恒久的ナル對策ヲ講ジテ裁キタイト云フコトガ第一、第二ハ差當リ本年ノ田植時期ニ適當量ノ石灰ヲ配給下サルヤウニ、御準備御手配ヲ十二分ニ御願ヒ申上ゲタイト云フコトガ第二、第三ハ、御願ヒ申上ゲタイト云フ暫定對策デアリマス、第三トシテハ、出來ルナラバ此ノ藏王山ノ毒水ニ因ル十六箇町村ノ灌溉反別約三千六百町歩ノ災害、此ノ稻作ノ減收ヲ出來ルダケ防止スル爲ニ、石灰ノ配給ニ關シテハ農林省ノ國庫補助モ購買價格ノ約半額ヲ助成シテ裁キタイト云フコトガ第三ノ具體的ノ請願デアリマス、時下食糧特ニ米ノ増産ヲ農林省ニ於テ御指導ニナツテ居ル場合、ドウカ以上三ツノ請願ヲ御容レ下サイマシテ、恒久的對策ハ到底間ニ合ハナイデアリマセウカラ、今年デナクテモ宜シウゴザイマスガ、暫定的ノ差當リノ石灰對策、石灰ノ購買價格ノ五割ノ補助ヲ頂戴シタイト云フコトガ三千六百町歩ノ關係地域内ニ於ケル農村各位ノ熾烈ナル陳情デアリマス、是ハ宮城縣知事ニモ願フテ居リマシテ、昨年左様ナ公文書ヲ關係十六箇町村長ト農會長ト連名ヲ以テ農林大臣ニ提出シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ此ノ白石川、阿武隈川一帶ニ於ケル魚族ハ殆ド斃死シテ、宮城縣柴田郡、刈田郡ノ漁業組合ハ、殆ド組合費ヲ納入サセルコトガ出來ナクナツタノデアリマス、其ノ原因ハ魚ガ極端ニ言ハバ一匹モ居ナイカラデアリマス、斯ウ云フヤウナ毒水ノ禍ガ此ノ十六箇町村ニゴザイマセノデ、農林省トシテハソレノ御調査ガア

リマセウガ、ドウカ一ツ適當ナル御對策ヲ御願ヒ申上ゲタイ、而シテ差當リノ請願ハ只今申上ゲタヤウナ三點ドウカ御願ヒ申上ゲタイト思ヒマス、ドウカ農林當局ノ御意見ノアル所ヲ拜聴致シマシテ、願クハ御同情アル御採擇ヲ御願ヒスル次第デアリマ

○周東政府委員 御話ノ點洵ニ御氣ノ毒ナ事情デゴザイマシテ、昨年モ石灰ノ配給ニ付テ臨時對策ヲ執ラレタノデアリマスガ、關係方面トモ連絡シテ應急ノ處置ハ出來ルダケ付テ行クヤウニ努力シタイト思ヒマス、但シ半額ノ助成ト云フヤウナコトヲ伺ヒマシタガ、既ニ豫算ハ決定シマシタシ、其ノ豫算中ニハ計上ガナイヤウニ私承知シテ居リマスノデ、他ノ方面カラ、研究ノ結果或ハ豫備金ト云フヤウナモノニ依ルカ、ソレデナケレバ金ノ出ル道ガナイヤウニ承知シテ居リマスガ、是等ニ付テモ能ク研究シテ見タイト思ヒマス

○森(幸)委員 此ノ問題ニ關シテ周東政府委員ニ特ニ御意見ヲ承リ、又御願ヒ致シタイト思ヒマス、鐵毒水問題ニ付テハ、昨年ノ議會ニ於テ鑛業法ノ一部改正ガアツタ當時、私モ意見ノアル所ヲ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、鑛毒水ガ動物ニ影響ヲ及ボスト云フコトガハツキリ致シマスノハ相當ノ時間ヲ經過シテ後デアリマシテ、初メ微生物ニ害ヲ及ボシ、ソレカラ魚族ノヤウナモノニ及ビ、遂ニハ人體ニ害ヲ及ボシテ來ルノデアリマス、昨年ノ鑛業法ノ改正ハ、此ノ害ヲ認メタ場合ニ誰ガ責任ヲ負フカト云フヤウナコトモ論ゼラレタノデアリマスガ、結局今日マデ鑛業ト云フモノノ經營ガ餘リニモ國策トシテ之ヲ獎勵致シマスル關

係上、其ノ業ノ經營者ガ橫暴ニ流レテ居ル嫌ヒガアルノデアリマス、サウシテ到ル處ニ原始産業ヲ墾シ、農山漁村ニ對シテ非常ナル迷惑ヲ來シテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ度々吾々ハ鑛業ノ爲ニ毒水ヲ流サレル河川、湖沼ノ沿岸、斯ウ云フモノノ淨化ニ對シテ相當法ノ制定ヲ要望致シテ居ルノデアリマス、先進國ノドイツイノ如キハ曾テ河川ガ汚濁スルコトハ其ノ國ノ鑛業ガ發達シタコトヲ現ハス一ツノ跡ト致シテ居ツタ場合モアツタノデアリマスガ、餘リニモ河川、湖沼ガ汚濁サレル爲ニ是デハ文明ノ恥辱デアアル、科學國トシテノ恥辱デアルト云フノ湖沼、河川ノ沿岸ガ清淨ナル水ニ淨化サレテ居ルト聞クノデアリマス、然ルニ今日本ハ到ル處ノ沿岸、湖沼ガ汚濁サレテ居リマス、魚族ノ棲息ノ邪魔致シテ居ルノデアリマス、今此ノ請願ニナツテ居リマス藏王山ノ毒水モ、請願ノ御趣旨ヲ承ツテ居リマスト、實ニ何ト云フ優イ地方ノ農業者ノ鑛山ヲ經營致シマシテ、サウシテ是等ノ河川ヲ汚濁シテ、三千六百町歩ニ及ブ所ノ被害ヲ現實ニ見ナガラ、其ノ除害ヲスルニ當リ請願者自身ガ石灰ヲ配給ヲ受ケ、又或ハ補助ニ依ツテ石灰ヲ購入シテ自ラ中和セントシテ居ラレバヤウデアリマスガ、何ト云フ私ハ優イ考ヘ方デアアルカト思フノデアリマス、當該鑛業者ガ自分ノ鑛業ノ爲ニ惡毒水ヲ流シ場合ニ於テハ之ヲ處理スル責任ガアルノデアリマス、殊ニ濁山デアレバ、硫酸銅ガ雨水ノ爲ニ流出スルノデアリマスカラ、是ハ石灰ノ中和ニ依ツテ除害サレルノデアリマス、コンナコトハ政府

ノ力ヲ藉ルベキデ、被害者ガ此ノ經費ヲ負擔シテヤルト云フヤウナコトハ以テノ外デアツテ、當然私ハ鑛業者ニ對シテ此ノ除害ノ設備ヲ命ズルダケノ處置ヲ政府ハ執ラレテ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フコトハ昨年ノ鑛業法改正ニモヤカマシイ問題ニナツタノデアリマス、ソレガ未ダニ斯ウ云フ風ナ請願ガ出來ルコトハ何ノ爲ニ昨年ノ議會ニ鑛業法改正サレタカ分ラナイ、斯ウ云フヤウナコトハ到ル處ニアルノデアリマス、殊ニ時局下鑛業ト云フコトガヤカマシク國策ノ上カラ獎勵サレ、督勵サレテ居リマスカラ、益々斯ウ云フ風ナ鑛業ノ爲ニ原始産業ハ害毒ヲ流サレテ居ルノデアリマス、私ハ漁業者ノ立場カラ考ヘテ見マシテモ、今日國民ノ健康保衛ノ上カラ産業ノ發達ト云フコトハ、獨リ遠洋漁業、近海漁業ノミナラズ、内地ノ水面湖沼ノ利用スルコトガ最も喫緊ナヤリ方ト考ヘ居リマス、遠洋漁業トシテハ凡ニル資材ノ不足ノ爲ニ今日思フヤウナ漁獲物ガ上ツテ居リマセス、モウ三分ノ一ニモ實ハ減ツテ居ルガラウト思ヒマス、ソレガ輸出ハ鎖サレテ居リマスカラ國內ノ需要ニハ幾ラカ廻ル率ハ殖ニテ居リマスケレドモ、生産額ノ減退ノ結果ハ國民ニ榮養ヲ供給スル給源トシテ不足致シテ居ルノデアリマス、隨テ今日ハドウシテモ此ノ内水面ヲ利用シテ蛋白質ノ給源ヲ國內水面ニ求ムルト云フコトガ唯殘サレタ内水面ト云フモノハ全ク利用サレテ居リマセス、殊ニ發電計畫或ハ此ノ請願ノ如キ鑛山業ニ依リマシテ益々河川ハ荒サレマシテ自然ノ事業ト云フモノハ失ハレテ居ルノデアリマス、此ノ川ノ如

キモ魚族ハ全滅シタト云フ話モアリマシタガ、一旦此ノ鑛毒ガ流出致シマスト、其ノ川ノ底石ト云ヒマスガ、川ノ石ニ全部鑛毒ガ附着致シマスカラ、將來再ビ致シ天然ニ硅藻類ガ發生スルコトハ困難ナノデアリマス、全部ノ砂利岩石ヲ除カナケレバ再ビ魚族ノ棲息スルヤウナ状態ニ復歸スルコトハ難カシイノデアリマシテ、一旦侵サレレバ將來其ノ川ト云フモノハ殆ド死んでシマフ、所謂活用ノ途ヲ失ハシメルコトニナリノデアリマスカラ、此ノ鑛業ト原始産業トノ關係ト云フモノハ餘程考慮シテ貰ハナケレバナラスト思フノデアリマス、特ニ私ハ此ノ際御願ヒ致シタイコトハ、斯ウ云フ風ナ請願ニアリマス石灰ノ中和ヲ請願者自身ガヤルト云フヤウナ氣ノ毒ナコトヲサセシテ、是ハ商工省ノ方ト十分御協議ノ上ニ、鑛業者自體ニ於テ責任ヲ以テ中和セシムルト云フ風ニ御配慮ニ與リタイト、サウシテ將來鑛業科學ノ發達ト原始産業ノ相剋摩擦ト云フモノハ對立スルノデアリマ

ス、併シハ食糧ノ方面カラ考ヘマシテモ、又鑛業資材ノ供給ノ方面カラ見マシテモ、何レモ重大ナ事業デアリマスカラ、此ノ摩擦ト云フモノハ將來何處マデモ除去スルコトガ出來ナイ現象ヲ繼續スルモノト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスカラ茲ニ兩者ノ事情ヲ能ク斟酌致シタル所ノ除害法ト云フ何カ法律ヲ制定サレマシテ、兩者ノ業態ガ圓滿ニ發達スルヤウ、國家ノ目的ニ副フヤウニシタイト云フコトハ吾々日頃ノ希望デアリマス、ドウカ一ツ速カニ此ノ請願ヲ採擇サレルト同時ニ、採擇サレマシタ以上政府ト致シマシテハ此ノ除害ヲ鑛業者自體ニ於テヤラシメル、サウシテ速カニ根本

的ノ対策トシテ水質汚濁防止法ト申シマス
カ、適當ナル法律ノ制定ニ付テ精々研究セ
ラレシコトヲ御願ヒシテ置キテ居リマス
○周東政府委員 非常ニ憂國ノ至情カラ出
テ居ル御意見ヲ承リマシテ感謝致シマス、
但シ只今庄司サンカラ説明サレマシテ請願
ノ趣旨ハ、是ハ鑛工業カラ出ル汚濁水ニ依
ル被害ハゴザイマセヌデ、蔵王山ノ休火
山ノ噴火口ニ溜ツク自然ノ汚水ノ排出ニ依
ル被害防止ノ問題デアリマス、隨テ責任者
ト云フ者ハアリマセヌノデ、此ノ點御諒承
ヲ願ツテ置キマス、ソレデ只今御話ニナリ
マシタ鑛工業ニ使用スル水カラ起ル原始産
業ニ對スル被害防止ニ付テハ、御話ノ通り
昨年議會ヲ通過致シマシタ法律ガアリマス
ノデ、農林省ハソレト關聯シテ僅カナ豫算
モ取り人モ置キマシテ、具體的ノ問題ノ發
生シテ居ル地方ニ技術官ヲ派シテ調査モ致
シ、必要ナ場合ハ御話ノヤウニ鑛工業者
ニ對シテ被害防止施設ヲ講ジサセルヤウニ
取計ラツテ、只今二三件其ノ實施ヲ致シテ
居リマス、尙ホ今後ニ於キマシテモ、サウ
云フ施設ハ講ジテ行キタイト思ツテ居リマ
ス、併シ御話ノヤウニ水質汚濁防止法等ノ
法律ガ出來テ、更ニ進ンデ此ノ法律ノ基礎
ニ依ツテ産業ノ開發モ出來且ツ原始産業モ
立派ニヤツテ行ケルヤウニスルコトガ私ハ
根本デアルト思ヒマス、是等ニ付キマシテ
モ農林省トシテモ再三研究ヲ進メテ居リマ
スガ、尙ホ此ノ法律ガ具體化スルニ付キマ
シテハ、中々責任者ノ歸屬ト云フ所ニ難シ
イ問題ガアルノデアリマス、嘗テ農林省ハ
隅田川沿岸ニ於ケル水質汚濁各場所ニ於テ調
査ヲ致シテ居リマシテ、其ノ結果モ出テ居
リマスガ、果シテ其ノ中ニ現ハレル汚濁ガ、

何處ニ責任ガアルカト云フコトハ申キハ、
難カシイ問題デアリマシテ、色々研究ヲ進
メテ居リマス、今後モシテ行キタイト思ツ
テ居リマス、サウ云フコトヲ根本ニヤル一
面ニ、別ノ方面カラヤハリ原始産業ヲヤラ
ナケレバナラス所ト、必要ナル汚濁水ヲ産
業ノ結果出サナケレバナラス、工業ノ實施
場所ト云フモノヲ國土計畫的ニヤハリ實
行クコトガ根本デアラウ、斯ウ云フ風ニ
私共考ヘテ居リマス、御話ハ洵ニ御尤モデ
アリマシテ、農林省トシテモ食糧増産ヲ進
メテ行ク一方、裏カラ斯ウ云フ風ナ汚濁水
ノ爲ニ減産サレルト云フコトハ考ヘテ行カ
ナケレバナラス、ソレヲ結末付ケズニ置ケ
バ尻ガ抜ケル譯デスカラ、農林省トシテハ
心配シテ出來ルダケ努力ヲ致シタイト存ジ
マス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 内務省所管ヨリ農林省所管
ニ移シマシタ
鹽竈漁港修築ニ關スル請願、文書表第五
八九號ヲ上程致シマス。紹介議員庄司一
郎君

○庄司委員 本請願ハ宮城縣宮城郡鹽竈
町長代理助役東海林祐五郎君ノ請願ニ係ル
モノデアリマシテ、守屋榮夫代議士ト私ガ
共同的ノ紹介議員ニナツテ居リマス、本請
願ノ趣旨ハ鹽竈漁港ハ東方ニ金華山沖合漁
港ヲ控ヘ世界三大漁場ノ一デアル所ノ大
漁場ヲ有シテ居リマスル關係上、此ノ鹽
竈漁港ト云フモノハ、太平洋沿岸ニ位シテ

居リマスル北海道室蘭以南ニ於キマシテハ、
最大ノ漁港デアアルコトハ今更申上ゲルマデ
モナイノデアリマス、一箇年間ニ鹽竈漁港
ニ出入スル船ノ總數ト云フモノハ四万七
千二百二十六艘ニ相成ツテ居リマス、ソレ等
ノ船ノ總トシテ數ハ百二十四萬八千トシ
ト云フヤウナコトニ昭和十四年度ノ統計ハ
相成ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨ヒ
マシテ魚族ノ水揚ガモ東洋第一ト言ハレル
鹽竈ノ市場ガ此處ニゴザイマス、昭和十四
年度ハ、トシ數ニ於テ十四萬三千九百ト
シ、其ノ賣上代金ニ於テ一千八百七十九萬
六千圓ト云フヤウナ水揚ガ高トナツテ居リ
マス、然ルニ此ノ漁港ガ十分ニ修築サレテ
居リマセヌ關係上、漁業ノ最盛期デアル九
月、十月頃ハ、特ニ時化ノ場合ニ於キマシ
テハ一日一千艘位ノ船ガ鹽竈漁港ニ避難シ
テ參リマスノデ、漁港デアアルト同時ニ一面
又避難港デアアルノデアリマス、然ルニ現在
ノ港灣施設ト云フモノハ洵ニ不完全デゴザ
イマシテ、避難船場、出漁ノ準備岸壁、
仕込地帯及ビ干鰯場等ノ綜合漁港施設ト云
フモノガ全ク缺ケテ居ル、其ノ爲ニ漁業關
係者ノ不利不便ト云フモノハ洵ニ少カラズ
現狀デゴザイマス、殊ニ近時漁撈業ノ躍進
ニ伴ヒマシテ漁港トシテ其ノ機能ヲ十分ニ
發揮シ得ザルノ憾ミ痛切ナルモノガゴザイ
マス、仍テ速カニ前記鹽竈漁港ヲ、農林省ニ
於カレマシテハ本年度ト云フ譯ニハ行キマ
スマイケレドモ、少クモ十七年度ニ於テ
相當ノ豫算ヲ獲得サレマシテ、水産振興ノ
見地カラ行キマシテモ、此ノ鹽竈漁港ト
云フモノヲ相當ノ豫算ヲ獲得サレマシテ速
カニ御修築ヲ願ヒタイト云フノガ此ノ鹽竈
漁港修築ニ關スル請願デアリマス、政府ノ

御意見ヲ拜聽致シマシテ採擇ヲ御願ヒ致シ
マス

○周東政府委員 鹽竈漁港修築ノ問題ハ、
農林省ニ於キマシテモ非常ニ場所トシテ必
要ナコトハ十分認メテ居リマス、縣モ既ニ
計畫ヲ樹テラレテ居リマス、補助申請モ出
テ居ル譯デアリマス、農林省モ縣モ共ニ必
要ヲ認メテ居ル譯デアリマスガ、財政ノ關
係中々豫算ガ認メラレナイノデアリマス
ガ、其ノ點ハ私共ノ努力ガ足ラヌ點デアラ
ウト思ヒマスガ、御話ノヤウニ來年ハ一生
懸命努力致シタイト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員長 採擇ニ決シマス、是ニテ農
林省所管ノ日程ハ全部議了致シマシタ

○加藤委員長 次ハ厚生省所管
日程第一、處方箋ノ交付強制反對ニ關ス
ル請願、請願文書表第六五五號、六六七號、
是ハ紹介議員モ居リマセヌシ、又政府委員
モオイデガゴザイマセヌ、而モ既ニ紹介議
員ノ請願ノ趣旨辯明ハ濟ンデ居リマス、是
ガ採否ハ如何致シマセウカ

○坂東委員 延期ヲ希望致シマス
○加藤委員 延期ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員長 ソレデハ延期スルコトニ決
定致シマス

○加藤委員長 是ニテ本日ノ日程ヲ全部議
了致シマシタ
此ノ際一言御挨拶ヲ申上ゲマス、本日マ
デニ受理致シマシタ請願ハ六百七十六件デ

アリマス、委員會ノ主ナル經過並ニ結果ニ
付キマシテハ、明日ノ本會議ニ詳細申述ブ
ル心組デ居リマスルガ、不慣レナ私ガ太過
ナク議了シ得マシタコトハ、偏ニ委員諸君
ノ絶大ナル御厚志ニ依ル所デアリマシテ
洵ニ感謝ノ至リニ堪ヘマセヌ、茲ニ厚ク感
謝ノ意ヲ表シマスト共ニ、今會期ノ請願總
會ヲ閉ヂタイト存ズル次第デアリマス、是
ニテ散會致シマス
午後二時十分散會

昭和十六年三月二十四日印刷

昭和十六年三月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第三類 第二號

第七十六回帝國議會 院 請願委員會第一分科(内閣、大藏省所管及他)會議錄(速記)第一回

會 議 昭和十六年二月三日(月曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

主査 小高長三郎君

飯田 助夫君 鶴 惣市君

野中 徹也君 坂東幸太郎君

丸山辨三郎君 最上 政三君

兼務 大橋清太郎君 川崎巳之太郎君

北浦圭太郎君 庄司 一郎君

鈴木 正吾君 福田 悌夫君

加藤 謙造君 金澤 正雄君

木村 武雄君 坂下仙一郎君

林 平馬君 樋口善右衛門君

福井 甚三君 松尾 三藏君

米窪 滿亮君 渡邊 健君

渡邊玉三郎君 森 幸太郎君

高橋 泰雄君 北原阿智之助君

小野 寅吉君 玉野 知義君

委員長 加藤 知正君

同日第二分科所屬員森幸太郎君及高橋泰雄君

第三分科所屬員北原阿智之助君、第四分科所屬員小野寅吉君及玉野知義君ハ孰レモ本分科兼務ト爲リタリ

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官 佐藤 基君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 北村 文衛君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一 金鶏勳章年金改正ニ關スル請願(第六號)

第三部第二號 請願委員會第一分科會議錄

第一回 昭和十六年二月三日

二 國旗記念日制定ニ關スル請願(第二〇號)

三 國號統一其ノ他ニ關スル請願(第二五號)

四 朝拜ノ時間設定ニ關スル請願(第二九號)

五 古事記正解ノ研究機關設置ニ關スル請願(第五號)

○小高主査 是ヨリ會議ヲ開キマス——加藤知正君

○加藤(知)委員 私ハ此ノ際委員長トシテノ立場カラ、議事ノ進行上最モ必要ナコトト考ヘマスノデ、暫ク希望ノ存スル所ヲ述ベサシテ載キタイト存ズル次第デアリマス、御承知ノ通り我が國ハ今昔古未嘗有ラ大國難ニ遭遇シテ居ルデアリマスガ、如何ニシテ此ノ大國難ヲ突破スルカガ、吾々國民ノ雙肩ニ懸ル大問題デアルト思フデアリマス、而シテ此ノ大問題ヲ解決スルノ途ハ幾多アルカモ知レマセスガ、併シテ天ノ時ハ地ノ利ニ如カズ、地ノ利ハ人ノ和ニ如カズデアリマシテ、今日ノ場合ハ、上下相一致シ、官民相融和シテ、一億ノ同胞ガ眞ニ一心一體トナツテ此ノ國難打開ノ衝ニ當ルヨリ外ニ良イ方法ハナイト思フデアリマス、勿論斯様ナ考ヘ方ハ私バカリデハナク恐ラク何人モ左様ニ考ヘテ居ラルコトト思フデアリマス、果シテ然ラバ此ノ一億同胞ノ一心一體ハ何ニ依ツテ之ヲ實現スルカデアリマスガ、是ハ臣道ノ實踐ニ在リト言ハレルデアリマシテ、私共モ亦左様ニ考ヘテ居ル一人デアリマス、併シナガラ其ノ

臣道ノ實踐ハ今日ノ世相ニ於テ一億同胞ニ悉ク之ヲ期待シ得ルデアリマセウカ、私ラシテ忌憚ナク之ヲ言ハシムルナラバ、其ノ心配ハ無用ナリト云フコトガ出来ナイノデアリマス、何トナレバ今日ノ世相ハ官ニ在ル多クノ者ハ、眞ニ民意ノ在ル所ヲ察セズ、民ノ多クノ者ハ、眞ニ民意ノ在ル所ヲ察セズ、ルヤウナ實情デアリマスマイカ、私ノ此ノ觀察ガ誤ツテ居ルナラバ、國家ノ爲メ洵ニ至幸トスル所デアリマスガ、萬一私ノ此ノ觀察ニ於テ誤リナシトスルナラバ、如何ニシテ此ノ臣道ノ實踐ヲ期待シ得ルデアリマセウカ、私ハ我が國刻下ノ現狀ニ鑑ミマシテ、甚シク遺憾ノ念ヲ禁ズルコトガ出来ナイノデアリマス、斯クノ如ク考ヘマス、民間ノ眞情、民意ノ存スル所ヲ、政府當局當路ノ官吏諸君ガ能ク之ヲ理解セラルルコトガ、今日ノ急務デアルト共ニ、官意ノ存スル所、政府當局ノ考ヘテ居ラルル所ヲ能ク國民ニ周知セシメ納得セシムルコトガ、極メテ重要ノコトデアルト思フデアリマス、大政覽覽會ノ方ガ上意下達、下意上達ト云フコトヲ申サレタノモ、蓋シテ是レ觀ル所アツテコトデアリマスマイカ、近頃下意上達ハ宜クナイカラ、下情上通デナクテハイケンイト申ス人モアルヤウデアリマシマセ、併シナガラ下意上達ガイケンナクテ、下情上通ト改メテ方宜イト言ハルナラバ、寧ロ上意下達ヲ官意民通トシ、下情上達ヲ民意上達トスル方宜イト考ヘルデアリマシテ、私ハ此ノ官意民通、民意

上達ノ言葉ガ最モ適切デアルト存ズルノデアリマス、ソコデ官意民通、民意上達ト云フコトガ、實際ニ於テ行ハルトシマスラナラバ、臣道ノ實踐ハ期待セズテ行ハレ、隨テ一億同胞ノ一心一體ハ期待セズトモ、着々トシテ是ガ實現シテ行クモノデアルトス様ニ考ヘルノデアリマス、斯クノ如ク考ヘマス、官意民通、民意上達ト云フコトハ、此ノ場合、否何レノ場合ニ於キマシテモ極メテ大切ナコトデアリマシテ、而モ是ガ實現機關ト致シマシテハ、此ノ請願委員會ガ最善至上ノ機關デアルト思フデアリマス、此ノ請願委員會ガ國民ニ依ツテ能ク重用セラレ、政府ニ依ツテ能ク運用セラレラバ、上下ノ一致、官民ノ融和、一億同胞ノ一心一體ガ期セズシテ實現スルコトハ、敢テ私ノ發言ヲ俟タザル所デアルト思フデアリマス、然ルニ從來政府ノ此ノ請願委員會ニ對スル態度ヲ見ルニ、甚ク感心セヌコトガ多クデアリマス、先ツ第一ニ大臣ノ如キ此ノ請願委員會ニ出席セラルルコトガ全然ナイトハ申シマセスガ、ソレハ極メテ少ナイノデアリマス、是ガ即チ政府ガ此ノ請願委員會ヲ輕視シテ居ル何ヨリノ證據デアリマスマイカ、是ハ大臣バカリデハナク、他ノ政府委員デモ、動モスレバ其ノ傾向ガアルヤウニ思ハレマス、現ニ去月二十九日ノ初總會デアリマスガ、各省ノ政府委員ハ一人モ出席セラレナイ、勿論案件ノ審議モナイ爲デアツタカモ知レマセスガ、併シ内閣ノ政府委員ニハ是非出席セラレタイト特ニ要求シテ置イタニモ拘ラズ、遂ニ

一人モ委ヲ見セラレナカッタノハドウシタコトデアリマセウカ、斯クノ如キハ此ノ委員會ヲ輕視ドコロデハナイ、蔑視セラルルモノト解釋サレテモ仕方ガナカラウト思フデアリマス、ドウカ此ノ新體制下ノ議會ニ於テハ是非此ノ際ヲ一掃セラレ、大臣モ政府委員モ努メテ此ノ委員會ニ出席スルヤウニセラレタイノデアリマス、第二ニハ是マデ此ノ請願委員會ニ出席セラルル政府委員ノ中ニハ、動モスレバ其ノ説明其ノ答辯ハ全クオ座ナリデアリマス、若シ是ガ事實デアルトシマスラバ、官意民通ドコロデハナク、官僚式ノ最モ其ダシイモノデアラウテ、洵ニ遺憾至極ノコトデアルト申サネバナリマセウ、冀クハ非常時局ノ今日、斷然之ヲ改メ其ノ説明、其ノ答辯ハ出來ルダケ丁家懇切ニサレ、官意ノ存スル所ヲ十分ニ國民ニ徹底ルヤウニセラレタイノデアリマス、第三ニハ此ノ請願委員會ニ採擇セラレタル案件ニシテ、結實有終ノ美ヲ顯ハスモノ極メテ少數ノ範圍ニ止マルノデ、自然此ノ請願委員會ガ一般ニ重キヲナサナイコトニナルト思フデアリマス、故ニ此ノ際私ガ各府ノ政府委員ノ方ニ御希望申上ゲタイコトハ、吾々ノ請願委員ノ方デモ、案件ノ處理ニ付テハ能ク慎重審議シテ、嚴選以テ是ガ採擇ヲ決スルコトニ努力致シタイト思フデアリマスカラ、一タビ採擇サレタモノニ對シテハ、官ニ於テモソレノ之ヲ具體化セラレ、以テ民意ニ副フヤウニ御願ヒシタイノデアリマス、以上ノコトハ此ノ間ノ初總會ノ席上デ申上ゲオウト考ヘテ居リマシタガ、政府委員ガ一人モ御出席ガナイノデ、烏ノ居ナイ所ニ鐵砲ヲ撃ツテモ仕方

ウゾ政府委員ニ於カレテモ此ノ加藤委員ノ發言ハ重要視シテ、サウシテ答辯ニ於テハ成ベク率直ニ親切ニアランコトヲ主査ヨリ特ニ希望致ス次第デアリマス、加藤君ノ意見御聞及ビノ通りデアリマスカラ、ドウゾ其ノ御積リデ政府委員ヨリ之ニ對スル御答ヘヲ願ヒタイノデアリマス

○佐藤政府委員 只今ノ御話ハ極メテ御尤モナ御話デ、一々同感ノ意ヲ表スル次第デアリマス、此ノ時局多端ノ折柄、殊ニ外敵ヲ控ヘテ居ルト云フコトニナリマス、我ガ國ハ戰爭ニ於テハ御承知ノ通り極メテ立派ナ戰果ヲ擧ゲテ居リマスガ、國內問題ハ又對外ノ戰鬪行爲ト同様ニ極メテ問題ガ重大デアラウテ、歴史ヲ見マス、外國等ニ於テ武力ノ方ハ非常ニ巧カクツケレドモ、國內ニ不統一、混亂ト云フコトノ爲ニ不幸ヲ結果ヲ生ジタ場合モ少クナイ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、我國ニ於キマシテモ國內關係ノ統一、一億一心ト申シマスカラ人ノ和ト申シマス、サウ云フコトハ極メテ必要ダト思ヒマス、其ノ意味ニ於テ請願ハ民間ノ意思ヲ政府ニ傳達スルモノデアル、所謂下情上通デアルト云フ意味ニ於テ極メテ重要ナコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、コト新聞ナドニ官僚獨善ト云フヤウナコトガ言ハレテ居リマスガ、政府ニ於テモ十分民間ノ意ノ存スル所ヲ斟酌致シマシテ、庶政ヲ實施致シテ居ル次第デアリマス、ケレドモ、時ニ或ハ獨善ニ流レルト云フコトガ全然ナイトモ申セマセウ、此ノ點ハ從來ト變ラス將來一層努メナケレバナラマト思ヒマスガ、殊ニ此ノ請願委員會ト云フモノハ請願ノ趣旨ニ鑑ミテ十分尊重致シマシテ、從來ト變ラズ更ニ一層其ノ點ニ於テ御意見ノ

第三類第二號 請願委員第一分科會議錄 第一回 昭和十六年二月三日

○小高主査 日程第二、國旗記念日制定ニ關スル請願文書表第一〇號紹介議員服部君吉君

○庄司委員 服部君ニ代ツテ御趣旨ヲ申上ゲマス、本請願ハ前年ノ第七十五議會ノ本委員會ニ於テ採擇トナリ、本會議ニ於テモ可決確定ヲサレテ居ルノデアリマス、要スルニ祝祭日ハ色々アルケレドモ、此ノ國旗制定ノ記念日カラ改メテ制定サレテ國旗ニ對スル崇敬心ヲ彌増シ作興シタイト云フ請願者ノ信念ノ上カラ、明治三年太政官布告ヲ以テ正式ニ國旗ヲ制定サレマシタ一月二十七日ヲ以テ國旗記念日ニ制定セラレテ欲シト云フ請願ノ趣旨デゴザイマス、何卒前回モ採擇ヲ受ケテ居リマス關係上御採擇ヲ御願ヒ申上ゲマス

○佐藤政府委員 國旗記念日ヲ明治三年太政官布告ノ出サレタ一月二十七日ト云フ御話デゴザイマシテ、此ノ一月二十七日ト云フ日ノ問題デアリマスガ、是ハ國旗ニ關スル法令ノ決メラレタ日デアラウテ、是ガ國旗ニ特別ノ緣故アルト云フコトニ付テハ一寸言ヒ切レナイヤウナ氣モ致シマス、極メテ重要ナコトデアリマシテ、御尤モナコトデアリマスケレドモ、唯之ヲ全國一齊ニヤルト云フコトニ付テハ、殊ニ政府ガヤルコト云フコトニナルト十分守ツテ行ケルト云フヤウニシナケレバナリマセウ、サウ云フ點ニナリマス、尙ホ研究スベキ問題モ少クナイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○庄司委員 採擇ヲ望ミマス

○小高主査 前七十五議會モ採擇ニナツテ居リマスノデ採擇ニ決スルニ御異議アリマセウカ

○小高主査 日程第二、國旗記念日制定ニ關スル請願文書表第一〇號紹介議員服部君吉君

○庄司委員 服部君ニ代ツテ御趣旨ヲ申上ゲマス、本請願ハ前年ノ第七十五議會ノ本委員會ニ於テ採擇トナリ、本會議ニ於テモ可決確定ヲサレテ居ルノデアリマス、要スルニ祝祭日ハ色々アルケレドモ、此ノ國旗制定ノ記念日カラ改メテ制定サレテ國旗ニ對スル崇敬心ヲ彌増シ作興シタイト云フ請願者ノ信念ノ上カラ、明治三年太政官布告ヲ以テ正式ニ國旗ヲ制定サレマシタ一月二十七日ヲ以テ國旗記念日ニ制定セラレテ欲シト云フ請願ノ趣旨デゴザイマス、何卒前回モ採擇ヲ受ケテ居リマス關係上御採擇ヲ御願ヒ申上ゲマス

○小高主査 採擇ニ決シマス

○北村文衛君 本請願ノ趣旨ヲ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ請願ノ第一ノ趣旨ハ我ガ國號ヲ國體ノ本義ニ基キ大日本皇國ト統一呼稱セラレタイト云フノデアリマス、是ト同旨ノ請願ガ一昨年ノ議會ニ於キマシテ守屋代議士ノ紹介ニ依ツテ採擇ニ決セラレテ居リマス、又第二ハ國語ノ書キ方ニ種々アリマシテ、統一ヲ缺クハ甚ダ遺憾デアル、仍テ之ヲ縱書右書ニ統一セラレタイト云フノデアリマス、何卒御採擇ヲ御願ヒ致シマス

○小高主査 政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○佐藤政府委員 我國ノ國號ヲ統一スル、サウシテ大日本皇國ト呼ブト云フ御話デアリマスガ、我國ノ國號ト致シマシテハ、憲法ニモアリマス通り大日本帝國ト云フコトガ正式ノ國號ト考ヘテ居リマス、併シナガラ從來色々ナモノニ必ズシモ大日本帝國ト云フ正式ノ國號ヲ使ハナイデ、或ハ日本國デアルトカ、日本帝國デアルトカ云フヤウナ言葉色々使ハレテ居ルノデアリマス、ソレ例ヘバ條約等ニ付キマシテ正式ニ日本文字書キ場合ニハ大日本帝國ト云フ字ヲ使ツテ居ルノデアリマシテ、之ヲ大日本皇國ト統一スルコトニ付テハ更ニ餘程研究シナケレバナラヌカト思フテ居リマス、尙ホ國語ノ書キ方ニ付テ、縱書右書ト云フ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付テハ御趣旨御尤モマシケレドモ、色々ナ場合ニ例ヘバ數字ヲ

存スル所ニ依ツテヤウテ行キタイト思ヒマス、尙ホ外ノ省ノ關係者ニモ御趣旨ノ存スル所ハ十分傳達シテ置キマス

○加藤(知)委員 只今政府委員ノ御親切ナ御答辯アルキマシテ洵ニ満足スル次第デアリマス、ドウゾ宜シク私ノ趣旨ノ徹底スルヤウ吳々モ御願ヒ申上ゲルノ趣旨ハ是デ終了

○小高主査 加藤君ノ議事進行ハ是デ終了致シマシテ、就キマシテハ日程ニ入ツテ第一、金鵄勳章年金改正ニ關スル請願、文書表第六號——紹介議員武知勇記君

○庄司委員 紹介議員武知君ガ御見エニナリマセウ、代ツテ其ノ趣旨ヲ辯明シタイト思ヒマス、此ノ日程第一ノ金鵄勳章年金改正ニ關スル請願ハ從來第六十七帝國議會以來六回衆議院ノ請願委員會ニ於テ採擇セラレ、本會議ニ於テ滿場一致可決確定シテ、衆議院ガ政府ニ要望シテ居ル問題デゴザイマス、其ノ内容ヲ極ク簡單ニ申上ゲマスナラバ、千軍萬馬ノ中ニ紛々タル榮譽アル金鵄勳章ノ拜受者ニ對スル所ノ年金ノ支給ガ極メテ薄イ、他ノ戰死者遺族或ハ傷痍軍人等ニ賜ハル所ノ賜金ガ増額サレテ居ルニ拘ラズ、此ノ金鵄勳章關係ノ拜受者ケケハ甚ダ少額デアル、仍テ速カニ金鵄勳章年金改正サレテ、時代ニ順應シタル所ノ優遇ヲ遂フ開イテ貰ヒタイト云フノデ、年々過去六箇年ノ間菊澤三郎氏外百八十六名ト云フ諸君ノ熱心ナル請願デアリマシテ、當請願委員會モ相當ノ理由アリトシテ毎度採擇ヲ致シテ參ツタノデアリマスガ、未ダニ其ノ實現ヲ見ルコトガ出來ナイト云フコトハ洵ニ遺憾ナコトデゴザイマス、此ノ際政府委員ノ御意見ヲモ參考ノ爲ニ承リマシテ、本請願ハ採擇シタイト考ヘル次

ニ名前ヲ變ヘテ貫ヒタイト云フ御趣旨ハ、憲法ノ條文ニ支障ヲ來ス處ガアルト思ヒマスカラ、其ノ點ハ參事送付トシテ、後ノ縦書右書ト云フコトヲ書キ方ノ點ハ採擇、サウ云フ工合ニ二ツニ分ケテ御願ヒシタイ、斯ク思ヒマス

○小高主査 日程第四、朝拜ノ時間設定ニ關スル請願文書表第一九號——紹介議員林平馬君

○林(平)委員 請願ノ要旨ヲ簡單ニ御紹介シマス、本請願ハ、採擇ニナツテ居ルコトハ、委員各位モ御承知ノコト思ヒマスガ、其ノ要旨ハ、我が國民ヲシテ其ノ本分タル敬神尊皇ノ大義ニ徹底セシメルガ爲ニ、毎朝先ツ至誠ヲ捧ゲテ神恩皇恩ニ感謝セシムベキ機會ヲ與ヘルコトガ最モ適當デアラウト思フノデアリマス、デアリマスカラ、政府ハ朝拜ノ時間ヲ設定シテ「ラチオ」ナリ或ハ氣笛トカ鐘トカ、其ノ他適當な方法ヲ以テ全國民一齊ニ伊勢大廟ト皇居トニ對シテ朝拜セシメル機會ヲ與ヘテ貰ヒタイ、斯ク云フ趣旨デゴザイマス、何卒御採擇ヲ御願ヒスル次第デアリマス、私ト致シマシテモ、ドウセ國民ハ朝起キテ直グニ才膳ノ前ニ坐ル譯デハナカラウト思フ、何レハソレノ其ノ家庭ノ流儀ト申シマセウカ、神様トカ或ハ祖先ニ挨拶ヲシ、感謝ヲシテ、ソレカラ食事ニ移ルコトガ凡ソ全國民ノ慣例デア

ラウト思ハレルノデアリマスカラ、時間ヤ其他ノバラ／＼ナコトヲ統一シテ、朝六時ナラ六時ニ一定ノ範圍ヲスルト云フコトハ大變ハ善イコトダト思フツテ、實ハ喜ンデ紹介ノ術ニ當ツテ居ル譯デゴザイマス、毎日七時ニナルト時計ヲ合セ、或ハ十二時ニ時間ヲ合セマス、アレハ一日二回ツツ時計即チ時間ニ注意ヲ集中セシメテ居ル譯デアリマスガ、ソレモ決シテ無駄ナコトデハナイト思ヒマス、ソノ爲ニ毎日二回ノ努力國ガ執ラレルト云フコトハ相當大キナ努力デアラウト思ヒマスガ、アノ七時ト云フノ或ハ六時ナリ五時半ナリ季節ニ從ツテ其ノ時間ヲ適當ニシマシテ、ドウセ朝拜スルニ非常ナ長時間ヲ要スルノデハナイノデアリマスカラ、此ノ時間ヲ知ラセル時刻ヲ利用シテ適當ニ考慮ヲ加ヘ其ノ機會ニ全國民ヲ精神ニ結合セシムルコトデアラウト思ヒケルコトハ最モ適當ナコトデアラウト思ヒマス、現在ハ唯物的ニ時間ト云フコトダケニ一億ノ國民ニ注意ヲ集中セシメテ居ルノデアリマスガ、更ニ時報ノ機會ヲ捉ヘテ精神ニ集中セシムルコトハ、殊ニ重大ナコトデアラウト存ジマスガ故ニ、政府ニ特別ノ御考慮ヲ願ヒマシテ、速カニ實現サレシコトヲ紹介議員ト致シマシテ、切望スル次第デアリマス、何卒御採擇ヲ願ヒマス、同時ニ政府ノ之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

マア考ヘマスト内地ニ居ル者ノミナラズ、朝鮮トカ臺灣トカ或ハ支那ニ居ル者、延イテハ其ノ他ノ外國ニ居ル者モヤツタ方宜イト云フヤウナルトモ考ヘラレマスシ、ソレト云フコトニナツテ居リマスガ、朝方宜イノカ、今御話ノ通り當時計ヲ合ハス其ノ機會ニ同時ニナルノガ宜イノカ、斯ク云フ間題ヲ劃一的ニ一般ニヤルト云フコトニ付テハ中々研究ヲ要スルノデアリマス、サウキモ御話ノアリマシタ通り官僚ガ獨善的ニ決メ、殊ニ之ヲ一齊ニヤルト云フコトニナルト、色々ノ支障ガ起ル、ドウ云フ時間ヲ選ブノガ宜イノカト云フヤウナコトニ付テ中々決マリ難ネテ居ルト云フ次第デアリマス、十分ニ研究ヲ致シタイト思フテ居リマス、御趣旨ハ極メテ結構ナコトト思フテ居リマス

○小高主査 採擇ニ決シマシタ

○小高主査 日程第五、古事記正解ノ研究機關設置ニ關スル請願、文書表第五號——庄司委員

○佐藤政府委員 古事記ノ研究ト云フモノガ從來ノ様子ヲ見ルト云フト、或ハ正鶴ヲ失シテ居ルト云フヤウナ點モアル、サウシテ其ノ爲ニ諸種ノ弊害ガアルノデ、特別ナ研究機關ヲ設ケテ國家トシテ十分研究シタイト云フ御話デアリマスガ、御趣旨極メテ御尤モト思フノデアリマス、ソコデ政府ト致シマシテハ此ノ點ニ付キマシテハ、國民精神文化研究所ト云フモノガ文部省ニアリマシテ、教學刷新ノ見地カラ斯ク云フモノヲ研究シテ居ル、其ノ外又東京帝國大學ニハ日本思想史講座、神道講座ト云フモノガアリ、京都帝國大學ニハ日本精神史講座ト云フモノガアリ、又東京及ビ廣島ノ文理科大学ニハ國體論ト云フモノガアリマシテ、其處何レモ昭和十二年ニ設置サレマシテ、其處ニ於キマシテ古事記ニ關スル研究モヤツテ居ル次第デアリマス、其ノ外尚ホ神宮學館ト云フモノガ昭和十五年ニ大學トナリマシテ、此處ニ於テモ我が國ノ古典ヲ研究スルト云フコトニナツテ居リマシテ、是等ノ機關ニ於テ何レモ古事記其ノ他ノ古典ニ付テ研究ヲシテ居ルノデアリマス、隨テ古事記ノ爲ニ特別ナ研究機關ヲ作ルト云フコトハ只今ノ所マダ其ノ必要ハナイダラウト

云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、最近出來タ所ノ各大學ノ講座デアルトカ、或ハ神宮學館大學ノ研究テ今ノ所ハ十分目的ヲ達シ得ルモノト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○庄司委員 只今議題トナツテ居リマスル古事記正解ノ研究機關設置ノ請願ハ、先程申上ゲマシタヤウニ第七十四、第七十五兩議會ノ本請願委員會ニ於テモ既ニ採擇サレテ居ルノデアリマス、私ハ此ノ請願ハ最モ尊重スベキ請願ノ一ツデアルト考ヘテ居リマス、仍テ前議會ニ於テモ、敢テ賛成演説ト云フ譯デハゴザイマセウカレドモ、此ノ請願者ニ私ハ遙カニ感ナガラ尊敬ト同情ヲ持ツテ、賛成ノ陳辯ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、此ノ請願者水野滿年君トハ固ヨリ私ハ一面識モゴザイマセウカ、ケレドモ此ノ古事記ト云フ所謂神典ヲ正解スルコトガ吾等日本國民ノ爲ニ最高至上ノ緊急事デアリ、斯ク云フ信念ニ出發サレマシテ、此ノ方ハ自己一身ノ利害關係ヲ見マスガ、又々賛成ノ趣旨ヲ簡單ナガラ申上ゲルノ餘儀ナイ状態ニ至ツタノデアリマス、特ニ今回ノ三度目ノ請願ノ文書ヲ見マスト云フト、此ノ請願者水野滿年君ノ同志者トシテ海軍大將山本英輔氏、陸軍中將栗原次郎氏、同ジク佐藤清勝氏、陸軍少將那須太三郎氏、斯様ナ陸海軍ノ將星各位ヲ始め、現時我が國ノ神典、國學ノ第一人者トシテ尊敬サレテ居ル今泉定助先生、

宮中顧問官理學博士山口鏡之助氏、靖國神社總務局長高正作氏、熱田神社宮司長谷外余男氏、明治神宮總務局長中島正國氏、大成教總務局長橋本三郎氏、黒龍會長葛生能久氏等々ヲ始め、東京或ハ名古屋、鹿兒島、島根、山口其ノ他ノ府縣ニ互リマシテ、知名ノ士、人格識見ヲ具備セラレテ居ル所ノ尊敬サレテ居ル方々、實ニ二百六十九名ト云フ多數ノ方々ガ同志トシテ本請願ニ署名捺印シテ連署ヲサレテ居リマス、之ニ依ツテモ此ノ請願ガ如何ニ眞誠ナル所ノ請願デアリマス、只今古事記ノ講義ヲ申上グル時間ハゴザイマセウカレドモ、此ノ古事記ハ上、中、下三卷ヨリ成リ、今ヨリ丁度一千二百三十年前、元明天皇様ノ和銅五年正月、天皇ノ勅命ヲ奉ジテ太安萬侶ガ三十年ノ苦心ヲサレテ編纂サレタコトハ明白ナル事實デゴザイマス、然ルニ此古事記ノ解釋ニ關スル所ノ著書ト云フモノハ古來所謂汗牛充棟モ管ナラザル數百卷ニ上ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ多クハ或ルモノハ獨善ニ陥リ、或ルモノハ自由放縱ニ流レテ居ル、或ハ考古學人類學人類學社會學、或ハ國語、訓詁、各方面ヨリ觀察サレテ來テ居ルノデアリマスガ、綜合的ナ研究、研鑽ト云フモノハ未ダ完成シテ居ナイノデアリマス、本居長翁ノ如キハ、今カラ百年前、即チ文政五年、實ニ三十年ノ長年月ニ互リ努力ニ依リ、「古事記傳」四十卷ヲ編述サレテ居ル、又平田篤胤氏ノ「古史傳」ト云フ研究モ有名ナモノデアリマスガ、未ダ絕對的完成ト云フコトハ行カナイ状態デアリマス、然ルニ最近ニ於キマシテ、此ノ解釋ハ、極メテ極端ナル自由

主義ニ趨ツタ結果ハ、甚ダ寒心ニ堪ヘナイ事實ガ多クデアリマス、其ノ實例ヲ一、二政府ニ申上ゲテ見タイ、中澤見明ト云フ人ノ著書「古事記論」ハ昭和四年十一月十日、神田區難波山閣發行デアリマスガ、是ハ古事記ト云フ神典ハ全然偽作デアル、平安朝ノ天長、承和頃ノ後年ノ作デアツテ、元明天皇ノ勅命ニ依ツテ太安萬侶ガ當時編纂シタモノデハナイ、ト言ツテ居ルガ、是ハ幸徳秋水ノ「キリスト」抹殺論以上ノ極端ナル古事記抹殺論者デアリマス、斯ク云フ著書ガ現ハレテ居ル、政府ハ此ノ中澤見明ト云フ人ノ古事記抹殺論ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ラレテ居ルカ分リマセウカレドモ、斯トスル出版物が横行シテ居ル事實ヲ政府ハ御存ジアルカドウカ、此ノ中澤ト云フ人ハ、更ニ大正十三年五月號ノ「史學雜誌」ニ古事記ハ偽書カト云フ題デ書イテ居リマス、又歴史公論ノ「記」ノ研究號、是ハ昭和五年四月號デアリマスガ、是ニモ「古事記ヲ史料トスル不安」ト云フ題ノ下ニ古事記ノ抹殺論ヲ書イテ居リマス、是ハ十數年前ノ發行或ハ雜誌登載ノコトデアリマスケレドモ、古事記ハ勅命ニ依ツテ出版サレタ神典デ、最モ尊嚴ナル所ノ法典デアルト考ヘテ居リマスガ、吾々日本國民ノ心理状態ニ斯様ナ著書ガドウ云フ影響ヲ齎スカ、政府ニ於テモ相當な處置ヲサレテ居ルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テモ政府ノ御所見ヲ承アリマセウ、著者ハ津田左右吉氏、大學教授、文學博士デアリマス、此ノ津田博士ノ著書「神代史」新シイ研究」神田區錦町二松

主義ニ趨ツタ結果ハ、甚ダ寒心ニ堪ヘナイ事實ガ多クデアリマス、其ノ實例ヲ一、二政府ニ申上ゲテ見タイ、中澤見明ト云フ人ノ著書「古事記論」ハ昭和四年十一月十日、神田區難波山閣發行デアリマスガ、是ハ古事記ト云フ神典ハ全然偽作デアル、平安朝ノ天長、承和頃ノ後年ノ作デアツテ、元明天皇ノ勅命ニ依ツテ太安萬侶ガ當時編纂シタモノデハナイ、ト言ツテ居ルガ、是ハ幸徳秋水ノ「キリスト」抹殺論以上ノ極端ナル古事記抹殺論者デアリマス、斯ク云フ著書ガ現ハレテ居ル、政府ハ此ノ中澤見明ト云フ人ノ古事記抹殺論ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ラレテ居ルカ分リマセウカレドモ、斯トスル出版物が横行シテ居ル事實ヲ政府ハ御存ジアルカドウカ、此ノ中澤ト云フ人ハ、更ニ大正十三年五月號ノ「史學雜誌」ニ古事記ハ偽書カト云フ題デ書イテ居リマス、又歴史公論ノ「記」ノ研究號、是ハ昭和五年四月號デアリマスガ、是ニモ「古事記ヲ史料トスル不安」ト云フ題ノ下ニ古事記ノ抹殺論ヲ書イテ居リマス、是ハ十數年前ノ發行或ハ雜誌登載ノコトデアリマスケレドモ、古事記ハ勅命ニ依ツテ出版サレタ神典デ、最モ尊嚴ナル所ノ法典デアルト考ヘテ居リマスガ、吾々日本國民ノ心理状態ニ斯様ナ著書ガドウ云フ影響ヲ齎スカ、政府ニ於テモ相當な處置ヲサレテ居ルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テモ政府ノ御所見ヲ承アリマセウ、著者ハ津田左右吉氏、大學教授、文學博士デアリマス、此ノ津田博士ノ著書「神代史」新シイ研究」神田區錦町二松

著書「神代史」新シイ研究」神田區錦町二松

著書「神代史」新シイ研究」神田區錦町二松

堂、大正二年十月發行デアリマス、其ノ説ク所ハ、全ク一見シテ獨創的ナ解釋デアリマス、其ノ内容ハ例ヘバ、古事記ニミリアツテ、日本書紀ニナイ物語ハ神代史ノ骨子トシテハ認メ難イトカ、記紀ノ中、後世ニ附加セラレタル分子ハ、古事記ノ方ニ多イ、斯ウ云フヤウナコトヲ斷言シテ居リマスハ、確ニ古事記ノ神聖ヲ冒瀆セルモノデナクシテ何デアリマセウ、又同氏ノ著書デ、「古事記及日本書紀ノ新研究」は大正八年八月、岩波書店發行デアリマス、此ノ著書ノ中ニ、著者獨特ノ説ヲ立テ、異端ト言ハウカ、妄斷ト言ハウカ、古事記ニ對シテ批判的ノ態度ヲ執ツテ、古事記ノ神代史ト云フモノハ信ジ難キモノデアリ、妄斷デアリ、斯ウ云フ風ニ極論シテ居リマス、又大正八年九月岩波書店發行ノ同氏ノ著書デアリ所「古事記及日本書紀ノ研究」中ニ「神代ノ卷」ハ、官府若クハ官廷ノ製作物デアツテ、國民ノ物語リデハ無ク、始メカラ文學ニ書カレタモノデアツテ、傳誦デハナイ、從而知識ノ產物デアツテ、詩トシテ生レタモノデハナイカ、特殊ノ目的ヲ以テ作ラレタモノデ、自然ニ成立ツタ國民生活ノ表象、國民精神ノ結晶デハナイ、是ハ其ノ作者ガ官府ツタカラデアリ、故ニ神代史ハ其ノ作ラレタ事情カラ云ツテモ、形ノ上カラ云ツテモ、何處マデモ貴族ノ性質ヲ有ツテ居ル」云々ト述ベテ居ルデアリマシテ、甚ダシク其ノ内容ニ異説ガ多ク、妄斷ガ多ク、是ハ昨年二月發表禁止處分ヲ受ケルト同時ニ、同氏ハ大學教授ノ職ヲ去ツタヤウデアリマス、此ノ點ニ關シテハ早稻田大學教授林發

未夫氏ノ「西洋思想ノ日本化」ト題スル著書ノ中ニ於テ、津田博士ノ説ヲ徹底的ニ非難攻撃サレテ居ルデアリマス、更ニ最モ極端ナ古事記解釋ニ關スル著書ヲ御紹介申上ゲテ置キマス、ソレハ石川三四郎ト云フ人ノ著書デアリ、此ノ著書ハ大正十年三月二十日、神田裏神保町六番地三德社ト云フ所カラ發行サレテ居ル「古事記神話ノ新研究」是ハ第四版ノ版數ヲ重ネテ居リマス、此ノ石川三四郎ト云フ人ハ其ノ當時ハ「アナキスト」デアリト云フコトニ私ハ承ツテ居リマス、ドウ云フ思想傾向ノ人デアるか斷言ハ出来マセウガ、其ノ當時ノ噂ハサウ云フ人デアリ、此ノ石川氏ノ著書デアリ「古事記神話ノ新研究」ノ内容ハ、高天原ハ「チグリス」ユトフラテス、河ノ上流ニ位シテ居ル、メソポタミアノ地方デアリ、高天原ハ豐原中津國等々ハ決シテ山嶽重疊タル大日本デハナイト斷言シテ居ル、ソレカラ「メソポタミア」ニ發生スル所ノ人類學上ノ「ヒツト」人種、或ハ「ヘット」人種ハ一方南ノ方ニ移ツテ、「テカルデア」地方ニ於テ「ユダヤ」人ト混血シテ、是ガ段々東洋方面ニ移動シテ來テ、南支ノ當世族ト云フ人種ニナツタデアリ、ソレガ日本ノ九州ノ一角ニ渡來シタデアリ、今一方此ノ「ヒツト」族ガ「シベリア」ヲ經由シテ蒙古ニ入ツテ鴨綠江近タノ西ノ方ニ定住シテ、ソレガ所謂「パタリアン」族デアリ、此ノ「パタリアン」族ガ今ヨリ約三千年前ニ出雲、東北地方一帶ニ移住シテ來タデアリ、長多イコトデアリマスガ、斯ウ云フ解釋ノ下ニ天照皇大神様ニ付テモ色々言ツテ居リマスガ、私ハ餘リ長多イコトデアリ、此處ニ表現スルコトヲ止メマス、天照皇大神様

ニ關スル限りハ止メマスガ、有名ナル天ノ岩戸ヲ再ビ開ケタル爲ニ凡ユル智慧ヲ揮ツタ當時ノ參謀長デアツタ思兼命ハ舊約聖書ニ現ハレテ居ル「モーゼ」デアリ、須佐之男命ハ夜ノ食國ノ首長デアリ、大國主命ハ舊約聖書ニ現ハレテ居ル「アブラハム」デアリ、斯クノ如ク斷定ヲ致シテ居ル、隨ヒマシテ此ノ結論ハ吾々天孫民族、大和民族ハ「ユダヤ」人ノ後裔デアリト斷言シテ居ルデアリマス、斯様ナ如何ハシイ古事記ノ註釋書ガ世ノ中ニ現ハレテ居ル、是等ニ對シテハソレゾレ政府ハ適當ナル處置ヲ執ラレテ居ルト思フデアリマスガ、恐ラク水野ト云フ請願者ガ熱心ニ年々斯様ナ請願ヲ御出シナサル信念モ、斯様ナ荒唐無稽ニ近イ、我が輩國ノ理想、國體ノ明徴、我が榮光アル建國ノ神代史ヲ賈演スルガ如キ、斯様ナ古事記ノ註釋書ハ研究書ガ幾多發表サレテ居ルコトニ衷心カラ義憤ヲ感ジテノ請願デアリト私ハ考ヘテ居リマス、尤モ其ノ反面ニ於テ相當立派ナ古事記ノ註釋書モ出テ居ル、一、二ノ例ヲ御許シテ得マシテ申上ゲレバ、國學院大學教授植木直一郎氏、「神代古事記講話」是ハ中々良イ本デアリマス、ソレカラ「古事記神代篇ノ正シキ解釋」是ハ大日本義正會ノ會長醫學博士二本義三氏ノ著書デアリマス、ソレカラ「御國ノ唯シ」是ハ高頭仁兵衛ト云フ人ノ著書デアリマス、ソレカラ「上ノ古史談」ト云フ古事記ノ解釋、是ハ弘田正郎ト云フ人ノ著書デアツテ、而モ右手ガ利カナイ爲ニ「軟カイ四」ビ」ヲ鉛筆ヲ紙メ「左手デ三十年掛ツテ書イタト云フ此ノ「上ノ古史談」ノ如キハ日本精神ノ上カラ解釋シタ所ノ正シイ古事記ノ解釋デアリト思フデアリマス、極メテ新シイ所デハ學藝館大

學ノ學長デアリ山田孝雄博士ノ著書デアリマス「古事記概説」古事記序文講義、ソレカラ「古事記諸本解説」主査ノ御許シヲ得テ「古事記諸本解説」ヲ御示シ致シマス、是ハ古事記ニ關スル凡ユル文獻ヲ集メラレテ、ソレニ簡單ナガラ適當ナル解釋ヲ示サレテ居ルモノデアリマシテ、是ハ二千六百年記念ノ事業トシテ、國幣中社鹽竈神社、志波彦神社ニ於テ發刊サレテ、全國ノ大學其ノ他教育關係ノ專門學校等ニ配ラレタ本デアリマスガ、是ハ古事記發刊以來ノ古事記ニ關スル凡ユル註釋解釋ニ關スル所ノ文獻ヲ一纏メニサレタト云フ意味ニ於テ偉大ナル努力ヲ拂ハレタ著書デアリマス、此ノ一巻ヲ記念スル爲ニ一月二十八日國幣中社鹽竈神社ニ於テカレマシテハ特ニ古事記顯彰祭ト云フ御祭リヲシテ、此ノ古事記ヲ神祕ニ獻納サレテ居ル、私ガ斯ウ云フコトヲ長タラシク申上ゲマシタ所以ノモノハ、既ニ山田孝雄博士ニ依ツテ古事記諸本解説ト云フ立派ナ基本的研究ノ基礎工事が出來上ツテ居ル、十六年度ノ豫算中、元ノ議事堂ノ跡ニ設立サレル國史館ニ對シテ政府ハ三十萬圓ノ補助ヲサレルコトニナツテ居ル、又學藝館大學ニ對シテハ十六年度ニ於テ二十萬圓ノ經費ヲ支辨サレルコトニナツテ、豫算ハ通過シテ居ルデアリマス、水野氏ノ如キ眞ニ何等自己ニ直接ノ經濟的ノ關係ノナイ問題デアリト拘ラス、東奔西走、信念トシテ、皇道精神ニ立脚シテ正シイ古事記ノ註釋書ガ欲シイ、以テ吾等國民ノ心ヲ嚮トシ、修養ノ糧トシテ盡忠報國ノ基本的精神ヲ潤ヒテ得タイト云フ意味ニ於テ、古事記ヲ正解スル機關ガ欲シイト云フ眞劍ナ叫ビニ對シテ、ソレハ文部省內ノ文化研究所ニ於テ

或ハ大學ニ於テ云々ト云フヤウナ型ニ嵌ツタ御答辯デナク、是ハ國民ノ總意デアリマス、實ニ正シイ請願デアリ、本當ニ私ヲ空シウシテ請願デアリマスガ故ニ、幸ニ古事記諸本解説ノ著者デアリ、古事記研究ノ第一人者デアリ山田孝雄博士ガ學藝館大學ノ學長ニナラレテ居ルデアリマス、故ニ古事記ニ關シテ少クモ向フ十箇年間ノ研究調査ノ部門ヲ設ケラレマシテ、新シク役所ヲ設ケラレマシテ云フコトハ私モ考ヘテ居リマセウガ、學藝館大學ヲ活用スルナリ、新シク出來上ル所ノ國史館ヲ利用スルナリ、新シク設ケラレマシテ、古事記ニ關シテ政府ハ最善ノ努力ヲシテ欲シイト云フ私ノ信念ヲ併セテ申上ゲマシテ、本請願ヲ採擇アランコトヲ希望スル者デアリマス、大變長クナリマシテ失禮致シマシタ

○樋口委員 此ノ問題ニ關聯シマシテ一言申上ゲマス、只今庄司君カラ此ノ請願ノ趣旨ニ付テハ様々御述ベニナリマシタカラ、最早其ノ必要ハアリマセウガ、私ハ愛知縣デアリマシテ此ノ水野滿年先生ハ長イ間親シク其ノ人ヲ知ツテ居ル關係上、一言申上ゲテ御參考ニ致シタイト思ヒマス、此ノ請願人ノ水野先生ハ名古屋ノ人デモ知ラス位落付イタ人デアリマス、而モ何十年ト云フ一生ヲ通ジテ此ノ古事記ノ研究ニ没頭シ、巨万ノ富ヲソレガ爲ニ無クシテ、尙且ツ今日モ其ノ事ニ付テ熱心ニ研究シテ居ラレマス、其ノ結果トシテ此ノ請願ガ出テ來タモノト思ヒマス、只今政府御當局ノ御意見デハ、學藝館ニ於テ云々ト云フヤウナ簡單ナコトニ御片付ケニナツテ居ルヤウデアリマス、兎ニ角今日ノ學生若クハ青年、將來我ガ國ヲ背負

フ所ノ大事ナ人達ガ多ク團體ノ本義ト言ヒマス、例ヘバ天孫降臨ト云フコトヲ言ヒマスレバ、如何ニモ之ヲ人の對象ニ眺メ、サウシテ迷信デアルトカ、妄想トカ云フコトニシテ行ク、是ガ延イテハ敬神崇祖ノ觀念ヲ阻害スルコトニナル關係上、其ノ重要ナル典範デアリマス、古事記ニ付キマシテハ、只今庄司君カラ御述ベニナリマシタ如ク、今日國體ノ本義若クハ日本精神ノ發揚ト云フコトヲ最モ必要トスル場合ニ於テ、尙且ツ斯ウ云フ請願ガ出ルト云フ趣旨ニ御鑑ミ下サイマシテ、更ニ一層熱心ニ政府ニ於テ是ガ施設ヲ設ケラレルト御考慮アランコトヲ御願致ス次第デアリマス、昨年日尙ホソレニ關シテ研究ノ歩ヲ進メラレタ形跡ヲ認メル譯ニ行カスノデアリマス、斯様ナ趣旨ニ於キマシテドウカ政府ニ於テハ此ノ點ニ篤ト御留意アランコトヲ御願致シマシテ、只今ノ採擇ノ動議ニ賛成ヲ致ス次第デアリマス

○坂東委員 此ノ請願ハ七十三、七十四、七十五議會ト三回採擇ニナツテ居リマス、只今庄司委員ノ贊成御意見ノ如クニ、此ノ請願ノ趣旨ハ二ツアリマス、一ツハ古事記ノ内容ニ反スル著書或ハ意見等ガアルヲ取締ルコト、一ツハ古事記其ノモノノ内容ノ解釋、之ニ對スル政府ノ方針、此ノ二ツニナル、而シテ内容ノ解釋ト云フ點カラ考ヘマスルナラバ、若シ古事記其ノ文字通りニ見マスルナラバ、現在ノ道德觀カラ考ヘルトドウカと思フ點モアリマシテ、隨テソレニ付キマシテハ、今日ノ道德カラ考ヘテモ差障リナイヤウナ意味ノ解釋ニ政府ガ其ノ方針ヲ決メ、ソレニ反スル所ノ解釋

ハ許サスト云フヤウナコトモ必要デアリマス、又此ノ趣旨ニ背ク著書、意見ノ取締リハ十分ニ嚴ニスベキデアリ、成程御答辯ノ如クニ文部省其ノ他大學、專門學校ニ之ヲ包含スベキ研究機關モアリマスガ、是ハ古事記ノ研究ト云フコトヲ切リ離シテ、積極的ニ實效的ニヤツテ貰ヒタイ、サウ云フ趣旨デアリマス、ドウカ此ノ趣旨ニ基キマシテ、實際的實效的ニ御進メアランコトヲ希望致シマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ此ノ請願ノ採擇ニ賛成ヲ致シマス

○小高主査 坂東君ノ動議ニ御異議アリマセウカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○小高主査 採擇ニ決シマス

之ヲ以テ第一分科會ノ日程ヲ議了致シマシタ、次會ハ十日午前十時ヨリ開會スルコトニ致シマス、本日は是ニテ散會致シマス

午前十一時二十分散會

昭和十六年二月三日印刷

昭和十六年二月四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第三類 第二號

第七十六回帝國議會 衆議院

請願委員第一分科(内閣、大藏省所管及他)會議錄(速記)第二回

會議

昭和十六年二月十日(月曜日)午前十時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

主席 小高長三郎君

阿部 茂夫君

坂東幸太郎君

丸山辨三郎君

兼務 川崎巳之太郎君

庄司 一郎君

加藤 謙造君

熊谷五右衛門君

樋口善右衛門君

渡邊 健君

委員長 加藤 知正君

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官 佐藤 基君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一 恩給年額四百圓以下ノ受給者並公傷ニ因ル不具廢疾者ノ待遇改善ニ關スル請願(第六六號)

二 御尊影新聞紙上奉載禁止ノ請願(第一〇九號)

三 名寄町ニ於ケル御料林一部開放ニ關スル請願(第七七號)

四 室内氷滑リ場入場稅改正ノ請願(第一〇〇號)

○小高主査 是ヨリ第一分科會ヲ開會致シ

日程第一、恩給年額四百圓以下ノ受給者

並公傷ニ因ル不具廢疾者ノ待遇改善ニ關スル請願、文書表第六六號ヲ議題ト致シマス

○坂東委員 此ノ請願ノ紹介人ハ植原悦二郎君デアリマスガ、只今席ニ居リマセシメテ、便宜上私ガ代ヲ紹介致シマス、其ノ趣旨ハ、時局下物價騰貴ノ爲ニ月給百五十圓以下ノ官公吏及ビ會社員等比較的少額所得者ニ對シテハ、臨時家族手当ヲ支給セラルルモ、生活ニ困難スル者獨リ下級給料生活者ノミニ止マラズ、年額四百圓以下ノ少額恩給受給者並ニ公傷ニ因ツテ不具廢疾トナツテ退職シタル増加恩給者等ニシテ、仍トナツテ困難スル者亦少クアリマセシ、仍テ是等受恩給者ニ對シテモ臨時家族手当ヲ支給、就職ノ斡旋等時宜ノ方策ヲ講ゼラレタイト云フノガ趣旨デアリマス、政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○佐藤政府委員 年額四百圓以下ノ少額恩給受給者等ニ付キマシテハ、御承知ノ通り現在ノヤウニ物價ガ騰貴シテ居ルト云フコトニナルト、生活ハ相當苦シイ状態ニアルト云フコトガ察セラレルノデアリマス、ソコデ此ノ割合ニ月給ノ少額ノモノニ付キマシテ、別ニ臨時家族手当ノ制度ガ作ラレタコトトノ權衡上、少額恩給受給者ニ付テモ何カ救済ノ方法ヲ考ヘヨト云フ趣旨ノ請願ダト思ヒマスガ、此ノ恩給ト申シマスノハ、生活ノ資料デアアルケレドモ、生活資料ノ全部デアハナイ、其ノ一部ヲ支給スルモノデアルト云フ趣旨デアル、ソレカラ一般ニ行ハレテ居ル臨時家族手当ヲ貰ツテ居ル官公吏等ニ付キマシテハ、其ノ官公吏トシテ勤メテ居ルト云フコトガ收入ノ源泉デアツテ、ソレ以外ニ收入ガナイト云フノガ原則トシテ考ヘラレルノデアリマス、所ガ恩給ヲ受ケテ居ル者ト云フモノハ、恩給ノ外ニ收入ガアリ得ル譯デアリマシテ、サウ云フ點カラ官公吏ニ臨時家族手当ヲ設ケタト云フコトト大分違フ、更ニモウ少シ問題ニナルノハ、昭和五六年ノ所謂非常ナ不景氣ノ時代ニ俸給ニ付キマシテハ減額ヲシテ居ル、所ガ恩給ニ付キマシテハ色々ナ事情カラ減額シナカッタ、隨テ物價騰貴ニナツテモ、物價ガ下落シタ時ニ餘リ減少シナイノダカラ、騰貴シタ場合ニモ、直ク恩給ヲ引上ゲルレト云フコトモ困難カト思ツテ居リマス、何レニ致シマシテモ、此ノ年額四百圓以下ノ少額恩給受給者ト云フモノノミナラズ、一般ノ所得ノ少イ者ノ生活安定ト云フコトハ極メテ大事デアルト云フ見地カラ、尙ホ此ノ點ニ付テハ政府トシテモ十分研究ヲ續ケテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、次ニ公傷ニ依ツテ不具廢疾トナツテ退職シタ者ノ増加恩給等ノ問題デアリマスガ、實際上ノ問題ニナリマスノハ、多ク戦病死ノ關係デアリマシテ、其ノ爲ニ増加恩給ヲ貰ツテ居ル者デアルトカ、或ハ戦病死者ノ遺族ノ問題デアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ既ニ昭和十三年ニ恩給法ヲ改正致シマシテ、相當増額シテ居ル、殊ニ遺族ノ數等ヲ考ヘマシテ、加給ト云フ制度モ出來テ居ルノデアリマス、ノミナラズ、是ハ恩

給ノ問題デアリマセシガ、御承知ノ通り軍事扶助法ト云フノガアリマシテ生活扶助ヲシテ居ルノデアリマス、其ノ生活扶助ニ付キマシテ、從來少過キタト云フノデ、今年ニナツテカラ二割位之ヲ引上ゲタ、一方ニ於キマシテサウ云フモノニ付キマシテハ、職業ノ斡旋ヲスルトカ、或ハ職業ヲ輔導スルト云フ風ナ各般ノ援護ヲ行ヒマシテ、其ノ生活不安ヲ除去スルヤウニト云フ方策ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、何レニ致シマシテモ請願ノ趣旨ハ非常ニ理由アルコトデアリマシテ、殊ニ現在ノヤウニ物價ガ騰貴シテ居ルト云フコトニナルト、其ノ生活ニ對スル影響ヲ十分考ヘマシテ、其ノ安定ヲセシムル爲ニ、更ニ政府ニ於テモ研究ヲ續ケテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○小高主査 紹介議員植原悦二郎君ガ缺席デアリマスルガ、坂東委員ノ御説明ニ依リマシテ政府モ篤ト御研究ニナルト云フヤウナ御意思デスカラ、採擇スルニ御異議アリマセシカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○小高主査 採擇ニ決シマス

○小高主査 日程第二、御尊影新聞紙上奉載禁止ノ請願、文書表第一〇九號ヲ議題ト致シマス

○坂東委員 此ノ請願ハ加藤知正君ノ紹介デアリマスガ、公務ノ爲メ席ニ居リマスカラ、私ガ代ヲ便宜上紹介致シマス、近時

(11110)

第三類第二號 請願委員第一分科會議錄

第二回 昭和十六年二月十日

九

新聞紙上ニ御影ヲ奉載願布スルコトガ類
繁デアリマス、然レドモ新聞紙ハ各種ノ包
裝、張紙、下敷紙等ニ用ヒラレテ、無
意識ノ裡ニ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルニ至ルヤ
ウナ慮ガアリマス。皇室ノ尊嚴ニ堪ヘ
テモ、是ガ新聞紙上奉載ヲ禁止セラレ
ト云フコトガ趣旨デゴザイマス、政府ノ御
意見ヲ伺ヒマス。

○佐藤政府委員 新聞紙ニ御影ヲ奉載サ
レテ居ル場合ニ、其ノ新聞紙ガ各種ノ包裝、
張紙、下敷紙等ニ用ヒラレテ、無意識ノ間
ニ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルコトハ、實
ニ恐懼ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、ソ
コデ斯ウ云フ新聞紙ノ取扱ニ付キマシテハ、
凡ソ方法十分ニ取扱者ガ注意スルヤウ
ニ仕向ケタイト思フテ居ルノデアリマス、
併シナガラ又一方カラ考ヘマス、新聞紙
ニ御影ガ出ルト云フコトハ、陛下ノ御尊
影ヲ拜シ奉ル機會ガ餘リ與ヘラレナイ所ノ
大多數ノ人間ニ付テハ又非常ニ有難イコトデ
アリマス、サウ云フヤウナ事情ヲ併セ考ヘ
テ見マス、直チニ奉載ヲ禁止スルガ宜イ
カドウカト云フコトハ尙ホ十分研究ヲ要ス
ル問題デアルト考ヘテ居リマス。

○坂東委員 此ノ問題ハ儘カ一回出タコト
ガアリマシテ相當論議ガ交換サレマシタ、
私ハ委員トシテハ只今ノ政府ノ御説明ハ大
體首肯スルノデアリマシテ、即チ一面ニハ
此ノ請願ニアリマス通り、其ノ取扱不注意
ノ爲ニ尊嚴ヲ冒瀆致シマスガ、又一面カラ
申シマスレバ、皇室ノ御尊嚴ヲ更ニ彌増ス
ト云フ意味デ、新聞紙等ニ掲載スルコト云フ
意味モ相當含シテ居リマス、私ハ其ノ意味
カラ禁止スルコト云フコトヲ希望スルノデ
アリマセ、ソコデ取扱ニ對スル取締ニ付

昭和十六年二月十日印刷

昭和十六年二月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第三類 第三號

第七十六回帝國議會 請願委員第二分科(農林省及農工商省所管)會議錄速記第一回

會議

昭和十六年二月三日(月曜日)午後一時十分
開議

出席委員左ノ如シ

- 主席 福井 甚三君
- 卯尾田毅太郎君 川崎巳之太郎君
- 鈴木 正吾君 田中 源君
- 高橋 泰雄君 長野 長廣君
- 林 平馬君 森 幸太郎君

- 庄司 一郎君 坂東幸太郎君
- 小高長三郎君 小野 寅吉君
- 木村 武雄君 北原阿智之助君
- 坂下仙一郎君 玉野 知義君
- 鶴 惣市君 樋口善右衛門君
- 松尾 三藏君 丸山辨三郎君
- 最上 政三君 福田 悌夫君
- 金澤 正雄君 渡邊 健君
- 渡邊玉三郎君

委員長 加藤 知正君
同日第三分科所屬員福田悌夫君、金澤正雄
君、渡邊健君及渡邊玉三郎君ハ孰レモ本分
科業務ト爲リタリ
出席政府委員左ノ如シ

- 神祇院副總裁 飯沼 一省君
- 北海道廳長官 戸塚九一郎君
- 農林省山林局長 井出 正孝君
- 農林省水産局長 平岡 梓君
- 農林省水産局長 湯淵 鎭一君
- 馬政局次長 湯原 元威君
- 食糧管理局長官 梶原 茂嘉君
- 商工省纖維局長 梶原 茂嘉君

第三類第三號 請願委員第二分科會議錄 第一回 昭和十六年二月三日

テハ十分ニ政府ニ御研究ヲ願フコト云フ意味
ニ於テ、ヤハリ採擇ヲ希望致シマス。
○小高主査 採擇ニ御異議ゴザイマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○小高主査 採擇ト決シマシタ

○小高主査 日程第三、名寄町ニ於ケル御
料林一部開放ニ關スル請願、文書表第七七
號——紹介議員坂東幸太郎君
○坂東委員 此ノ請願ハ既ニ第七十三、四、
五ノ三議會提出ニナツテ居ル相當重要ナモ
ノデアリマス、北海道天鹽郡上川郡名寄町
ノ東北方ニアル御料林ノ中約千五百町歩ハ
疎林デアリマシテ、有價木ガナク、自然ノ
傾斜地デアツテ地味肥沃デアリマスカラ、
農耕地トシテ最も適當ナリト信ジテ居リマ
ス、仍テ政府ハ實地調査ノ上前記ノ御料林
ノ農耕地編入ニ關シ宮内省ト折衝セラレタ
イト云フ趣旨デアリマス、尙ホ敷衍致シマ
スガ、現在北海道ノ御料林ハ儘カ約八十萬
町歩内外デアリマシテ、大體山林經營ノ方
針デアツテ居ラレマスケレドモ、北海道民
側カラ見ルト、農耕地ガ相當アリマス、
私ノ隣村ニアル立派ナ農耕地ニナルベキ山
林ニ疎林局ハ山林經營ト云フ方針カラド
ン木ヲ植エテ經營ヲシテ居ラレル例モア
リマス、吾々道民ハ山林經營ニハ勿論費成
デアリマスガ、八十萬町歩モアル中、農
耕地ニ適スル所ハ農耕地ニ編入シテ之ヲ開
放スルコトガ適當デアルト信ジテ居リマス、
サウ云フ趣旨ヲ以テ名寄町カラ提出シタ次
第デアリマス、斯ウ云フ状態ハ他ニモ澤山
アリマスノミナラズ、北海道廳ハ以前ニ林
野局ト交渉シテ、或ハ御料林ノ一部ノ開放
ヲ實行シ、又國有地ト御料林ヲ交換シテ之

ヲ開放シタヤウナ例モアリマスカラ、其ノ
折衝方ノ請願デアリマスガ、政府ノ御考ヘ
ヲ御伺ヒ致シマス。
○佐藤政府委員 只今坂東サンカラ御話モ
アリマシタ通り、御料林ハ森林經營ガ目的
デアリ、ソレヲ農耕地ニ編入スルコトハ例
外的措置デアルト云フ關係デ、宮内省ノ方
ノ人ノ意見モ聞イタノデアリマスガ、直グ
ト云フ譯ニハ中々行カナイヤウデアリマス、
サウ云フ意味ニ於テ、請願ノ趣旨ハ非常ニ
理由ガアリマスカラ、尙ホ宮内省ノ方面ト
折衝ヲ續ケタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第
デアリマス。

○坂東委員 ドウカ北海道開拓ト云フ立場
カラ、又食糧増産ト云フヤウナ大乗的見地
カラ十分宮内省林野局ト折衝アラシコト
ヲ切望致シマシテ、本請願ノ採擇ヲ希望致
シマス。
○小高主査 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○小高主査 採擇ニ決シマス

○小高主査 日程第四、室内氷滑り場入場
稅改正ノ請願ハ紹介議員ヨリ延期ノ願出ガ
アリマスノデ延期スルコトニ決シマス、之
ヲ以テ日程ヲ終リマス、本日は是ニテ散會
致シマス。
午前十時四十分散會

- 厚生省衛生局長 加藤 知正君
- 厚生省労働局長 持永 義夫君
- 主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
- 議員栗山 博君 同 伊藤東一郎君
- 同 北村 文衛君 同 小笠原八十美君
- 同 杉山元治郎君 同 中野 寅吉君
- 同 青木 精一君 同 西村 茂生君
- 外務事務官 東光 武三君
- 内務事務官 近藤 欣一君
- 農林技師 寺尾 博君

- 本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ
- 一 南極地域ノ領土權ニ關スル請願(第
一三號)
- 二 質屋利子引下ニ關スル請願(第一〇
號)
- 三 青年禁酒法制定ニ關スル請願(第二
號、第二二號乃至第二四號、第五五號
第五六號)
- 四 青年禁酒法制定反對ノ請願(第五七
號)
- 五 岐阜、大垣兩縣木之本驛間府縣道ヲ
指定府縣道ニ編入ノ請願(第一號)
- 六 郷社御祭神社昇格ニ關スル請願(第
二八號)
- 七 天鹽河口修築ノ請願(第三〇號)
- 八 聲問、更喜宮内兩川治水工事促進ノ
請願(第四四號)
- 九 稚内港改修ニ關スル請願(第四二號)
- 一〇 稚内町宇波海ニ船入潤滑設ノ請願
(第四三號)
- 一一 苦節漁港修築ノ請願(第四五號)
- 一二 助産師法制定ニ關スル請願(第四
號)

○福井主査 只今ヨリ請願第二分科會ヲ開
キマス、日程第一、南極地域ノ領土權ニ關
スル請願、文書表第十三號——紹介議員栗
山君

○栗山博君 私ハ此ノ機會ニ重ネテ此ノ請
願ヲ紹介スルノデアリマスガ、日本南極探
險隊白瀬中尉ノ一行ガ先占致シマシタ南極
領ノ領土ニ對シ、速カニ政府ガ領土權確保
ヲ宣言セラレタキ儀ニ付テノ請願ヲ紹介ス
ル者デアリマス、即チ明治四十五年一月、
日本南極探險隊ガ先占致シマシタ南極
八十度五分ト、外開南極大陸、兩洲一體
ノ占領地域約一萬二千八百四十平方哩ノ領
土ヲ日本帝國政府ハ速カニ確保宣言スベシ
ト云フコトガ本旨デアリマス、昨年

國際義ヲ無視シタル暴舉ト言ハナケレバ
ナラヌノデアリマス、昨今ノ國際情勢ニ鑑
ミマシテモ今日ハ斷乎トシテ此ノ探検隊ノ
先占領土ニ對シテ領土先占ノ宣言ヲナ
サルコトハ帝國ノ權威ヲ重カラシムルバカ
リデナク、三國同盟ノ樞軸ノ強化ヲ世界ニ
認識セシメ、殊ニ領土ノ南洋ノ諸民
族ニ對シテ帝國ノ實力ニ信賴ヲ深カラ
シメテ、以テ南方飛躍ノ最大目標トシテ廣
大ノ地域ヲ無血占領ノ實ヲ擧ゲ、廣大無邊
ナル 陛下ノ御稜威ヲ世界ニ顯現シ得ルノ
機會ガ到達シテ居ルト言ハナケレバナラヌ
ノデアリマス、故ニ私ハ政府ガ現下ノ國際情
勢ニ鑑ミマシテ、速ニ大英斷ヲ以テ宣言ヲ
ランコトヲ切望スルノデアリマス、就キヤ
シテ殊ニ其ノ參考ニ申上ゲタイコトハ、米
國ノ「ボード」少將ノ如キハ完全ニ日本ノ南
極探検隊方此ノ地方ニ優先的ニ上陸シテ居
ルト云フコトヲ保證シテ居ルノデアリマス、
而モ私ガ此處ニ持ツテ參リマシタ所ノ「ア
メリカ」ノ地學協會ニ於テ發行サレマシタ
雜誌ノ中ニモ、完全ニ英語ノ文字ヲ以テ大隈
灣トカ或ハ開南灣ト云フモノガ綴ラレテ、
ハツキリ圖上ニ載ツテ居ルノデアリマス、
更ニ又「ノールウエー」ニ於テモ著名ナル捕
鯨船長「ハールム・イワル」氏ノ報告文書ニ
依リマシテモ、明ニ日本ガ洵ニ驚異スベキ
大事業ヲ白瀬氏一行ニ依ツテ達成セラレタ
モノデアルト云フコトヲ激賞シテ居ル、斯
ノ如キ狀況ニ於キマシテ、英國ガ依然トシ
テ無謀ノ所爲ヲ以テ、當然我ガ日本ガ主張
シ得ベキ權利ヲ妨害シテ居ルト云フガ如
キハ、今日斷じて見逃スコトノ出來ナ
イ事柄デアリマスルガ故ニ、時勢ニ鑑
ミマシテ斷乎トシテ宣言ノ處置ヲ執ラレ

ンコトヲ切望スルノデアリマス、實ハ昨
年政府委員ノ説明ニ満足致シマセヌノデ、
外務大臣ノ御出席ニ依ツテ私ハ答辯ヲ希望
シテ居ツタノデアリマス、今日ハマダ外務
大臣ガ御出席ガアリマセヌノデ、洵ニ遺憾
ニ存ジテ居リマスガ、下意上達ヲ力説致シ
テ居リマス現内閣ト致シマシテハ、此ノ
民意ヲ暢達スル唯一ノ機關デアリマス本委
員會ノ如キニハ、努メテ大臣ガ御出席アラ
レルコトヲ切望スルモノデアリマス、何卒
此ノ點ニ付キマシテモ、委員長カラ私共ノ
意ノアル所ヲ政府ニ御通達アラントコトヲ切
望スルノデアリマス、ドウカ委員諸君ニ於
カレマシテハ、昨年ニ變ラズ、ヨリ以上ノ
熱意ヲ以テ之ニ御賛同ヲ賜ハランコトヲ切
ニ御願ヒスル次第デアリマス
○坂東委員 政府委員ノ御答辯ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス
○東光説明員 政府ト致シマシテハ、衆議
院ノ請願委員各位ト同ジク、白瀬中尉ノ偉
業ニ對シテハ滿腔ノ敬意ヲ表スルト同時ニ、
白瀬中尉ガナサレタル事業ヲシテ有終ノ美
アランメンガ爲ニハ、折角慎重考慮並ニ努
力モ致シツツアルノデアリマス
○福井主査 速記ヲ止メテ……
(速記中止)
○栗山博君 本委員會ニ於テハ質問ヲ繰返
ヘスコトノ例ヲ取リタクナイノデアリマス、
併シ當局カラ毎年研究中ト云フ御言葉ヲ承
ツテ居ルノデアリマスガ、事柄ガ重大デア
リマスカラ、慎重ニ御研究ニ相成ルコトハ然
ルベキコトト存ジテ居リマスガ、研究モ程
度ガゴザイマシテ、最早研究中ヲ調査中ト
云フ言葉ハ聞クニ堪ヘヌノデアリマス、私
共ハ確實ナル資料ヲ持ツテ立證シ、帝國ガ

當然權利スベキ權利ヲ主張シ國民ノ名譽ト
利益ノ爲ニ、此ノ時勢ヲ遠觀スル所アツ
テ、此ノ主張ヲ致スノデアリマスルガ故ニ、
ドウゾ當局ニ於テモ其ノ覺悟ヲ持ツテ御取
扱アラントコトヲ切ニ希望スルノデアリマ
ス、凡ソ事ヲ斷スルニ當リ時期ハ最も好イ
機會ニ於テ斷行スルコトコソ國家國民ノ爲
デアリ、世界民族ノ爲デアルト私ハ確信ス
ルモノデアリマス
○長野(長)委員 只今栗山サンカラ御説明
ノ件ニ付キマシテ、私ハ外務當局ニ御伺ヒテ
シタイト思ヒマス、徳川時代ニ於ケル經濟政
策ノ大家デアリマスル所ノ佐藤信淵先生ハ、
其ノ著「混同秘策」ナルモノノ中ニ、南洋方
面ノ開拓ヲナスコトハ、我が國ガ是非トモ
手ヲ着ケナケレバナラヌコトデアルト致シ
マシテ、而シテ特ニ其ノ基點ノ中心ヲ四國
ニ置キマシテ、サウシテ九州其ノ他二、三
ノ地方ノ國民ヲ南洋方面ニ植付ケルト云フ
コトニ付テハ實ニ徹底シタ鐵案、鐵案ヲ立
テテ主張シテ居ラルルノデアリマス、此ノ
徳川時代ニ於テ早クモ主張セラレタ所ト、
サウシテ現在ノ我が國民生活、否、此ノ高度
國防國家ノ建設ト云ツク問題ニ關聯シテ之
ヲ考ヘテ見マスルト云フト、私ハ是非トモ
外務當局ハ内務其ノ他拓務當局等ノ責任者
ノ方面ト連絡ヲ取ラレマシテ、サウシテ南
新天地ノ開拓スルト云フコトニ付テ、モウ
少シ具體的ナ、積極的ナ案ヲ立テラレベキ
デナイカト思フノデアリマス、此ノ意味ニ
於テ只今ノ栗山サンノ主張セラレマシタル
點ハ固ヨリ、其ノ他廣ク等閑ニ附セラレテ
居ル新天地ノ開拓ト云フコトニ付テ研究ヲ
進メ、又只今ノ栗山サンノ御話ノ如ク、ナ
スベキコトハ直チニ之ヲ實行スルト云フコ

トニ付テ、只今ドレダケノ御用意ガアル
カ、又今後之ヲ實行ニ移シテ行クト云フ御
意思ガアルカナイカ、之ヲ一ツ御伺ヒシタ
イト思ヒマス
○東光説明員 御答ヘ致シマス、御承知ノ
ヤウニ昨年十一月以降、南洋局ガ新設サレ
マシテ、人員ノ配備其ノ他モ完成ニ近付キ
マシテハ、只今ノ御注意モ能ク了承致シマ
シテ、御期待ニ副フヤウニ最善ノ努力ヲ致
ス積リテゴザイマス
○長野(長)委員 私ハ栗山サンノ御主張ニ
對シテハ滿腔ノ敬意ヲ表シマス同時ニ、外
務當局ガ、此ノ佐藤信淵先生ノ「混同秘策」
今日ニ至ツテモ——否、此ノ時代ニ於テ此
ノ政策コソ正ニ生キルベキ、實ニ吾々ノ尊重
スベキ鐵案デアリ、全ク具體的ニ國民ノ活
動スベキ分野マデ示サレテ立案セラレタノ
デアリマス、斯カルモノニ依ツテ直チニ日
本ノ國內ノ現狀ニ照シテ具體的ナ案ヲ作ラ
レンコトヲ切望シテ栗山サンノ請願ニ賛成
スルモノデアリマス
○坂東委員 此ノ請願ハ第七十四號ニ第七
十五議會會場一致ヲ以テ採擇ニナツテ居
リマス、斯ウ云フ機會ガゴザイマスカラ、
ドウカ英國ノ考ヘ方ナドハ齒ヲ掛ケラレ
ナイデ、直チニ實現セラレンコトヲ希望シ
テ採擇ヲ願ヒマス
○福井主査 本案ハ採擇ニ御異議アリマセ
ヌカ
(異議ナシト呼ブ者アリ)
○福井主査 滿場一致ヲ採擇スルニ決シマ
シタ

ニ關スル請願、文書表第一〇號デゴザイマ
ス——紹介議員杉山元治郎君
○杉山元治郎君 簡單ニ請願ノ趣旨ヲ説明
申上ゲマス、本請願者ハ一人ニナツテ居リ
マスガ、實ハ布市ノ「セルロイド」工業組合
ノ代表者トナツテ居ルノデアリマス、其ノ
點ヲ御承知ヒタイト思ヒマス、ココニ、
三回ノ請願委員會ニモ請願致シマシテ御採
擇ヲ願ツテ居ルノデアリマスガ、特ニ今回
モ請願致シマシタ譯ハ、最近御承知ノヤウ
ニ物資統制ノ關係デ、例ヘバ木炭デアルト
カ或ハ米穀デアルトカ、斯ウ云フモノガ配給
サレマシテ現金取引ニナリマスル關係デ、
多クノ中カラ以下ノ方々ノ間ニ於テハ、時
ニハ現金ノ持合セガナクテ、非常ニ質屋利
用ガ多イト云フコトヲ、私ハ質屋ノ隣リニ
住ンデ居ツテ、其ノ狀況ヲ能ク了承シテ居
ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ譯デ、一
面カラ考ヘマス、大變「インフレ」景氣ガ
好イヤウニ考ヘラレテ居ルノデアリマスガ、
今日ノ社會情勢ハ、今申上ゲマシタヤウニ
半面ニ於テ質屋利用ノ非常ニ増加シテ居ル
コトヲ當局モハツキリト認メテ戴キタイト
思フノデアリマス、所ガ其ノ質屋ノ利子ナ
ルモノガ、時ニハ一割、或ハ甚シクナリマ
スト三割、四割ニナルヤウナ場合ガアルノ
デアリマス、斯ウシタ高利子ヲ、今申シ
マスヤウニ、多クノ人々ガ利用シナケレバ
ナラナイ時ニ此ノ儘ニ放置スルコトハ、一
ツノ大キナ社會問題デアルト存ズルノデア
リマス、明治時代ニ警察廳ハ質屋ノ利子ニ
付テ何カ適當ナ處置ヲ執ラウト云フヤウナ
コトヲ致シ掛ケタコトガアツタノデアリマ
スガ、其ノ後今日マデ打絶エテ何ノ處置モ
ナイノデアリマス、私ハ今申述ベマスヤウ

ナ理由ニ依ツテ、或ル程度質屋利子ト云フ
モノノ引下ヲ御願ヒ致シタイ、當局ハ度々
ノ請願ニ於キマシテ、利子引下ノ困難ナル
一ツノ理由ト致シマシテ、是ハ保管料デア
ルカラ、斯ウ云フヤウナ御話ガアルノデア
リマス、一面保管ハヤハリ貸主、質屋ノ利
益ニモ相成ルノデアリマシテ、單ニ保管ス
ルト云フコトノミデ金利ヲ現在ノ儘ニ存置
シテ宜イ、斯ウ云フ理由ニハ相成ラヌト存
ズルノデアリマス、何ボ引下ゲト、斯ウ
云フコトハ申シマセスガ、今日ノヤウナ質
屋ガ多ク利用サレル場合、又低金利ノ場合、
此ノ際ニ質屋利子ヲ或ル程度引下ゲテ戴キ
タイ、斯ウ云フコトハ請願者ノ切ナル御願
ヒナノデアリマス、此ノ際ニ政府ノモウ一
度御意見ヲ伺フコトガ出來、サウシテ委員
諸君ノ御賛成ヲ得テ、御採擇ヲ御願ヒスル
次第デアリマス
○飯沼政府委員 質屋利子ノ引下ノ問題デ
ゴザイマスガ、此ノ點ハ御尤モト考ヘマ
ス、殊ニ現在ノ低金利ノ傾向ニ照シマシテ
ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、併シナガ
ラ又一面此ノ質屋營業ナルモノガ色々ノ制
限ヲ受ケテ居リマス關係上、相當ノ經費又
手數ヲ必要トスルコト、是ハ私カラ申上ゲ
ルマデモナイコトデアリマス、其ノ爲ニ從來
質屋ノ利子ニ付キマシテハ、特ニ太政官ノ
布告ニ依リ「スリ利息制限法」ニ依テ居リ
マシテ、併シナガラ先程申シマシ
デゴザイマス、併シナガラ先程申シマシ
タヤウニ、今日ノ現行利子ガ必ズシモ適當
デアリマセス以上、將來研究致サナケレバ
ナラヌト思フノデアリマスガ、唯此ノ利子
ヲ改訂致シマスコトガ當事者並ニ金融經濟

界ニ少カラス影響ヲ及ボスコトハ、是ハ等
ハレスコトト考ヘルノデアリマシテ、現在
ノ如ク他ニ適當ナ庶民金融機關ガ少イ場合
ニ之ヲ改訂致シマスルコトハ、場合ニ
依リマシテハ或ハ又却テ少額金融ノ途ヲ狭
メルヤウナ結果ニナラヌトモ限ラヌノデアリ
マシテ、隨テ之ヲ改正スルニ當リマシテハ、
慎重ニ利息制限法運用ノ狀況、一般金融界
ノ狀況ナドヲ調査致シマシテ、サウシテ改
訂ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマ
スガ、御趣旨ノ點ハ當局ニ於キマシテモ十
分研究致シテ見タイト考ヘテ居リマス
○川崎(巳)委員 當局ノ御意見ヲ承リマシ
タガ、是ハ質屋タケテ對象トシテ御話デナ
クシテ、モウ少シ庶民金融ト云フコトニ付
テノ國家トシテノ政策ガアツテ欲シト思
フノデアリマス、ソレハ大藏省ノ管轄ニ屬
スルカモ知レナイガ、内務省トシテモ關
シテ居ルコトト思フノデアリマス、兎ニ角
庶民金融ヲ設置シテモ、ソレデハ救ヒ切レ
ナイト云フノデアリマス營業ヲ許シテ居ルガ、
質屋タケテ金融ガ圓滑ニ行ツテ居ルカト云
ヘバ、サウモ行カナイデ、一方ニハ實際上
高利貸ト云フモノガ盛シニ營業ラシテ居ル、
殆ド是ハ日本タケテ話デアツテ、國辱トモ
言フベキデアルト思フ、外國ニハ殆ド日本
ノヤウナ高利貸ハゴザイマセス、ソレカラ
質屋ノ保管料ト申シテ居リマスケレドモ、
燒ケタ時ニハ其ノ責ニ任ジナイト云フノデ
兩方デ損ヲスルト云フコトニナルノデアリ
マスカラ、保管料ト云フ名義デ高利子ヲ
取ラシテモ宜イト云フ根據ハナクナル譯デ
アリマス、ソコデ一日其ノ月ニ掛ツテモ一
箇月分ノ利子ガ取ラレルト云フコトニナツ
テ居ルノデカラ、私共質屋ニ長イ經驗ノア

ル人ノ話ヲ聞クト、日本ノ現在ノ質屋ハ出
シタリ入レタリ頻繁ニスルノデ、六割ノ利
率ニ當ルサウデアル、多分政府當局ノ方ハ
サウ云フ御經驗ノナイ方デアリマセウケレ
ドモ、サウ云フ世間話モ聞クコトガアルノ
デゴザイマス、庶民金融ガ出來タノデカラ
成ベクアレニ追ヒ込ンデ大抵間ニ合フヤウ
ニシテ、高利貸トカ質屋ヲナクスルコトヲ
主眼トスル目標デ進ンデ戴キタイガ、今早
速ト云フ譯ニ行カナケレバ、質屋ノ利子ヲ
極メテ低廉ニシテ戴キタイ、是ハ社會問題
トシテ大キナ問題デアルト思ヒマスノデ、
此ノ利率ノ引下ヲ御願ヒ致シマス
○坂東委員 此ノ請願ハ既ニ第七十三、第
七十四、第七十五ノ三議會ヲ通過シテ居リ
マス、全ク請願書ノ通りデアリマス、政府
委員ノ答辯ヲ承ルト、事務的ニハ賛成デア
ルト云フコトデス、併シ低金利政策ヲ實行
シナイ時分ニ決メタモノデアリマスカラ、
現在ハ引下ガ當然デアルト思ヒマス、是非ト
モ實現ヲ要望致シテ採擇ヲ御願ヒ致シマス
○福井主査 只今ノ坂東君ノ御説ニ御異議
アリマセスカ
(異議ナシト呼ブ者アリ)
○福井主査 採擇スルコトニ決シマシタ
○福井主査 次ニ日程第三、青年禁酒法制
定ニ關スル請願、文書表第二一號第二二號乃
至第二四號、第五五號、第五六號ヲ議題ニ
シ、併セテ
日程第四、青年禁酒法制定反對ノ請願、
文書表第五七號ヲ便宜上一括シテ議題ニ
供シマス、尙ホ諸君ノ御諒解ヲ願ヒタイ
ノデアリマスガ、本問題ハ既ニ永年論議
セラレタ問題デアリマスシ、尙ホ此ノ議

ニ關スル請願、文書表第一〇號デゴザイマ
ス——紹介議員杉山元治郎君
○杉山元治郎君 簡單ニ請願ノ趣旨ヲ説明
申上ゲマス、本請願者ハ一人ニナツテ居リ
マスガ、實ハ布市ノ「セルロイド」工業組合
ノ代表者トナツテ居ルノデアリマス、其ノ
點ヲ御承知ヒタイト思ヒマス、ココニ、
三回ノ請願委員會ニモ請願致シマシテ御採
擇ヲ願ツテ居ルノデアリマスガ、特ニ今回
モ請願致シマシタ譯ハ、最近御承知ノヤウ
ニ物資統制ノ關係デ、例ヘバ木炭デアルト
カ或ハ米穀デアルトカ、斯ウ云フモノガ配給
サレマシテ現金取引ニナリマスル關係デ、
多クノ中カラ以下ノ方々ノ間ニ於テハ、時
ニハ現金ノ持合セガナクテ、非常ニ質屋利
用ガ多イト云フコトヲ、私ハ質屋ノ隣リニ
住ンデ居ツテ、其ノ狀況ヲ能ク了承シテ居
ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ譯デ、一
面カラ考ヘマス、大變「インフレ」景氣ガ
好イヤウニ考ヘラレテ居ルノデアリマスガ、
今日ノ社會情勢ハ、今申上ゲマシタヤウニ
半面ニ於テ質屋利用ノ非常ニ増加シテ居ル
コトヲ當局モハツキリト認メテ戴キタイト
思フノデアリマス、所ガ其ノ質屋ノ利子ナ
ルモノガ、時ニハ一割、或ハ甚シクナリマ
スト三割、四割ニナルヤウナ場合ガアルノ
デアリマス、斯ウシタ高利子ヲ、今申シ
マスヤウニ、多クノ人々ガ利用シナケレバ
ナラナイ時ニ此ノ儘ニ放置スルコトハ、一
ツノ大キナ社會問題デアルト存ズルノデア
リマス、明治時代ニ警察廳ハ質屋ノ利子ニ
付テ何カ適當ナ處置ヲ執ラウト云フヤウナ
コトヲ致シ掛ケタコトガアツタノデアリマ
スガ、其ノ後今日マデ打絶エテ何ノ處置モ
ナイノデアリマス、私ハ今申述ベマスヤウ

ナ理由ニ依ツテ、或ル程度質屋利子ト云フ
モノノ引下ヲ御願ヒ致シタイ、當局ハ度々
ノ請願ニ於キマシテ、利子引下ノ困難ナル
一ツノ理由ト致シマシテ、是ハ保管料デア
ルカラ、斯ウ云フヤウナ御話ガアルノデア
リマス、一面保管ハヤハリ貸主、質屋ノ利
益ニモ相成ルノデアリマシテ、單ニ保管ス
ルト云フコトノミデ金利ヲ現在ノ儘ニ存置
シテ宜イ、斯ウ云フ理由ニハ相成ラヌト存
ズルノデアリマス、何ボ引下ゲト、斯ウ
云フコトハ申シマセスガ、今日ノヤウナ質
屋ガ多ク利用サレル場合、又低金利ノ場合、
此ノ際ニ質屋利子ヲ或ル程度引下ゲテ戴キ
タイ、斯ウ云フコトハ請願者ノ切ナル御願
ヒナノデアリマス、此ノ際ニ政府ノモウ一
度御意見ヲ伺フコトガ出來、サウシテ委員
諸君ノ御賛成ヲ得テ、御採擇ヲ御願ヒスル
次第デアリマス
○飯沼政府委員 質屋利子ノ引下ノ問題デ
ゴザイマスガ、此ノ點ハ御尤モト考ヘマ
ス、殊ニ現在ノ低金利ノ傾向ニ照シマシテ
ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、併シナガ
ラ又一面此ノ質屋營業ナルモノガ色々ノ制
限ヲ受ケテ居リマス關係上、相當ノ經費又
手數ヲ必要トスルコト、是ハ私カラ申上ゲ
ルマデモナイコトデアリマス、其ノ爲ニ從來
質屋ノ利子ニ付キマシテハ、特ニ太政官ノ
布告ニ依リ「スリ利息制限法」ニ依テ居リ
マシテ、併シナガラ先程申シマシ
デゴザイマス、併シナガラ先程申シマシ
タヤウニ、今日ノ現行利子ガ必ズシモ適當
デアリマセス以上、將來研究致サナケレバ
ナラヌト思フノデアリマスガ、唯此ノ利子
ヲ改訂致シマスコトガ當事者並ニ金融經濟

界ニ少カラス影響ヲ及ボスコトハ、是ハ等
ハレスコトト考ヘルノデアリマシテ、現在
ノ如ク他ニ適當ナ庶民金融機關ガ少イ場合
ニ之ヲ改訂致シマスルコトハ、場合ニ
依リマシテハ或ハ又却テ少額金融ノ途ヲ狭
メルヤウナ結果ニナラヌトモ限ラヌノデアリ
マシテ、隨テ之ヲ改正スルニ當リマシテハ、
慎重ニ利息制限法運用ノ狀況、一般金融界
ノ狀況ナドヲ調査致シマシテ、サウシテ改
訂ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマ
スガ、御趣旨ノ點ハ當局ニ於キマシテモ十
分研究致シテ見タイト考ヘテ居リマス
○川崎(巳)委員 當局ノ御意見ヲ承リマシ
タガ、是ハ質屋タケテ對象トシテ御話デナ
クシテ、モウ少シ庶民金融ト云フコトニ付
テノ國家トシテノ政策ガアツテ欲シト思
フノデアリマス、ソレハ大藏省ノ管轄ニ屬
スルカモ知レナイガ、内務省トシテモ關
シテ居ルコトト思フノデアリマス、兎ニ角
庶民金融ヲ設置シテモ、ソレデハ救ヒ切レ
ナイト云フノデアリマス營業ヲ許シテ居ルガ、
質屋タケテ金融ガ圓滑ニ行ツテ居ルカト云
ヘバ、サウモ行カナイデ、一方ニハ實際上
高利貸ト云フモノガ盛シニ營業ラシテ居ル、
殆ド是ハ日本タケテ話デアツテ、國辱トモ
言フベキデアルト思フ、外國ニハ殆ド日本
ノヤウナ高利貸ハゴザイマセス、ソレカラ
質屋ノ保管料ト申シテ居リマスケレドモ、
燒ケタ時ニハ其ノ責ニ任ジナイト云フノデ
兩方デ損ヲスルト云フコトニナルノデアリ
マスカラ、保管料ト云フ名義デ高利子ヲ
取ラシテモ宜イト云フ根據ハナクナル譯デ
アリマス、ソコデ一日其ノ月ニ掛ツテモ一
箇月分ノ利子ガ取ラレルト云フコトニナツ
テ居ルノデカラ、私共質屋ニ長イ經驗ノア

ル人ノ話ヲ聞クト、日本ノ現在ノ質屋ハ出
シタリ入レタリ頻繁ニスルノデ、六割ノ利
率ニ當ルサウデアル、多分政府當局ノ方ハ
サウ云フ御經驗ノナイ方デアリマセウケレ
ドモ、サウ云フ世間話モ聞クコトガアルノ
デゴザイマス、庶民金融ガ出來タノデカラ
成ベクアレニ追ヒ込ンデ大抵間ニ合フヤウ
ニシテ、高利貸トカ質屋ヲナクスルコトヲ
主眼トスル目標デ進ンデ戴キタイガ、今早
速ト云フ譯ニ行カナケレバ、質屋ノ利子ヲ
極メテ低廉ニシテ戴キタイ、是ハ社會問題
トシテ大キナ問題デアルト思ヒマスノデ、
此ノ利率ノ引下ヲ御願ヒ致シマス
○坂東委員 此ノ請願ハ既ニ第七十三、第
七十四、第七十五ノ三議會ヲ通過シテ居リ
マス、全ク請願書ノ通りデアリマス、政府
委員ノ答辯ヲ承ルト、事務的ニハ賛成デア
ルト云フコトデス、併シ低金利政策ヲ實行
シナイ時分ニ決メタモノデアリマスカラ、
現在ハ引下ガ當然デアルト思ヒマス、是非ト
モ實現ヲ要望致シテ採擇ヲ御願ヒ致シマス
○福井主査 只今ノ坂東君ノ御説ニ御異議
アリマセスカ
(異議ナシト呼ブ者アリ)
○福井主査 採擇スルコトニ決シマシタ
○福井主査 次ニ日程第三、青年禁酒法制
定ニ關スル請願、文書表第二一號第二二號乃
至第二四號、第五五號、第五六號ヲ議題ニ
シ、併セテ
日程第四、青年禁酒法制定反對ノ請願、
文書表第五七號ヲ便宜上一括シテ議題ニ
供シマス、尙ホ諸君ノ御諒解ヲ願ヒタイ
ノデアリマスガ、本問題ハ既ニ永年論議
セラレタ問題デアリマスシ、尙ホ此ノ議

會ニ於キマシテモ續々請願ノアルコトト想
定致シマス、故ニ本問題ハ慎重ニ取扱ハナ
ケレバナラヌト云フ見地カラシテ、總テ總
會ニ讓ルコトニ致シタイト思ヒマスノゾ、
左様御諒承願ヒタイト思ヒマス
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○福井主査 ソレバ總會ニ讓ルコトニ致
シマス、御承知願ヒマス

○福井主査 次ニ日程第五、岐阜、大垣兩
縣木之本驛間府縣道ヲ指定府縣道ニ編入ノ
請願、文書表第一號——紹介議員伊藤東一
郎君

○伊藤東一郎君 私ハ只今議題トナリマシ
タ岐阜、大垣兩縣木之本驛間府縣道ヲ指定
府縣道ニ編入ノ請願ノ趣旨ヲ申述ベシマシテ、
皆御承知願ヒマス、由來濃
飛ノ山野、即チ岐阜縣ノ道路ハ僅カニ舊中
仙道ノ國道方東西ニ貫通シ、府縣道岐阜
富山線方南北ニ縱走シテ居リマスノミデア
リマシテ、他府縣ト交通路ハ極メテ貧弱
ナル狀況デアリマス、隨ヒマシテ、岐阜縣ト
シマシテハ、多年營々トシテ隣接縣へ
ノ府縣道貫通ニ努メ、彼ノ府縣道高山松本
線ヲ安齋橋驛ノ萬難ヲ排シテ貫通セシメ、
又續イテ所謂百萬圓道路タル府縣道、岐
阜市ヨリ高岡市ニ至ル道路貫通ノ計畫ヲ樹
テ、同時ニ府縣道高山市ヨリ福井縣大野町
ニ至ル道路ハ、油坂ノ隧道ニ依ツテ開通セ
シメントスル計畫等、長野、富山、福井各
縣ニ對シテ飛騨高原ヲ中心トスル貫通路線
ハ漸クニシマシテ曙光ヲ認ムルコトヲ得マ
シタガ、岐阜縣ノ西ノ半分、即チ西濃地方
ニ於キマシテハ未ダ府縣道十數線ノ内、一

線ダニ、福井、滋賀、兩縣ハ貫通シテ居ナ
イノミナラズ、其ノ計畫スラ樹ツテ居ナイ
コトハ洵ニ遺憾トスル所デゴザイマス、而
シテ本請願ノ路線ハ、名古屋教養園ニ於ケ
ル最短距離ノ斜線デアリ、換言スレバ太平
洋ト日本海トヲ繋グ絶好ノ路線デゴザイマ
ス、政府ノ計畫サレマシタ名教園道ハ、舊
中仙道ヲ利用シマシテ、滋賀縣長濱町へ大
迂迴シテ教養園ニ達スルモノデアリマス、觀
光路線トシテハ或ハ可ナランモ、寸時分刻
ヲ爭フ軍用路線トシマシテ、或ハ一考ヲ要
スルモノアリト思ハレノデアリマス、隨
ヒマシテ此ノ名教園道ノ複線トシテ、又捷
路トシテ、本請願ニ依ル道路ノ貫通ハ時局
下ニ滋賀縣トコト信ズル次第デアリマス、
殊ニ滋賀縣トハ柳ヶ瀬トシテ、北陸線
最難箇所ヲ避ケマスルガ爲メ、木之本驛ニ
於テ現在ノ北陸線ト分岐シテ西ノ方へ迂回
シテ、教養園ニ至ル路線ヲ工事中ニアリマス
トカラ、木之本驛ハ將來米原驛以上ノ重要
驛トナル次第デアリマス、斯様ニ考ヘマス
ルト、名古屋、岐阜、大垣ノ三市カラ、此
ノ木之本驛ニ達スル本請願路線ノ重要性ハ
一層倍加セラルモノガアルデアリマス、時
局ノ重大性ハ益々激加スルノミデアリマス、
隨テ教養園ノ重要性ハ益々刻々痛感サ
レマスル秋、名古屋教養園兩港ヲ繋グ本路
線ノ貫通ハ、實ニ緊要ノ問題ト確信致スノ
ミナラズ、沿道ハ頗ル山林茂シ地下資源ニ豐
富ナルモ、交通不便ノ爲メ此ノ寶庫方埋藏サ
レテ居ルト云フ現狀デアリマスコトカラ、茲
ニ本請願ヲ提出シタ所以デアリマス、ドウカ
皆御承知願ヒマス、御採擇アラシムコト
ヲ切望致シマス同時ニ、此ノ機會ニ於キマシ
テ政府ノ御所見ヲ伺ハレバ幸甚ト致シマス

○近藤說明員 只今御述ベニナリマシタ道
路ヲ指定府縣道ニ編入シテ貫ヒタイト云
フノガ第一デアリマスガ、此ノ問題ハ將來
指定府縣道網ニ付キマシテ改廢ヲ致シマス
際ニ、十分研究ヲ致シテ見タイト考ヘマス、
ソレカラ國庫ノ負擔ヲ以テ之ヲ改修シテ貫
ヒタイト云フコトデゴザイマスガ、本來申
シマスレバ、是ハ新シク申上ゲルマデモ
ナイコトデアリマスガ、府縣道ハ府縣知事
ガ之ヲ改築致シマシテ、經費ハ府縣ノ負擔
ト云フコトニナツテ居リマスガ、將來若シ
ニ當リマシテハ、國ノ方ニ於キマシテモ、
財政ノ許ス限リニ於キマシテ相當助成ノコ
トヲ考ヘテ見タイト存ジマス

○森澤委員 本請願ニ付キマシテハ、國防
上カラ申シマシテモ、産業上カラ申シマシ
テモ、洵ニ重要ナル路線ト考ヘノデアリマ
シテ、一日モ早ク同路線ヲ昇格ヲ致スト同時
ニ、其ノ改修ノ完成ヲ希望スルヲ諷デアリマ
スガ、只今モ御說明ニナリマシタ通り、道
路工事ハ府縣ノ事業計畫ニ依ツテ遂行サレ
ルノデアリマス、府縣ノ其ノ事業遂行ノ方
針ニ依ツテ幾等カ差異ガアリマスガ、此ノ道
路改修ニ付テ最モ今日障礙トナツテ居リマ
スモノハ、橋梁ノ改修デアリマス、或ハ又地元
ニ於ケル受益者ニ對シテ負擔デアリマス、是
ハ府縣ニ依ツテ多少ノ違ヒハアラウト思ヒ
マスガ、縣ニ依リマシテハ相當地元ニ對シ
テ必要ナル工事費ノ負擔ヲ課セラレルノデ
アリマス、斯ウ云フ風ナ國家的見地カラ見マ
シテ、重要ナル路線ノ改修ニ付テノ工事ニ
關シ、其ノ地方ニ受益者トシテ負擔セシムル
コトハ、其ノ工事ヲ速カニ遂行スル上ニ非
常ノ障礙ヲ及ボシテ居ル現狀デアリマス、

今日橋梁資料ノ如キハ非常ニ窮乏デアリマ
シテ、以前ニ比シテ經費モ非常ニ嵩ムヤウ
ニナツテ居リマスガ、其ノ橋梁タルヤ、之
ヲ架スルニハ附近町村ニ於テ其ノ經費ノ或
ル部分ヲ負擔シナケレバナラヌノデアリマ
スガ、其ノ町村方地理的ニ見テ其ノ橋梁ニ
餘リ關係ヲ持タナイト云フヤウナ場合ニハ、
縣ガ如何ニ其ノ工事ノ促進ヲ欲シテモ地
元ノ寄附金ガ出來ナイ爲ニ遲レテ居ル、現
ニ此ノ問題ト並行致シテ居リマスル名教
ノ道路ニ於キマシテモ、姉川ト云フ大キナ
川ガアリマシテ、姉川ノ橋梁ハ非常ニ危殆
ニ瀕シテ居ルノデアリマスガ、其ノ地方ニ
稍關係ガ薄イ爲ニ、其ノ地元ノ寄附金ガ
出來ナイ、出來ナイ爲ニ其ノ橋梁ヲ除ク前
後ノ道路ハ相當改修ガ出來タニモ拘ラズ、
其ノ橋梁ガ未ダニ舊態依然トシテ居リマス
爲ニ、折角多額ノ經費ヲ使ツテ改修致シマ
シタ道路ガ、十二分ノ働キヲ致サナイノデ
アリマス、斯ウ云フヤウナコトハ、國家カ
ラ見マシテ折角ノ道路ガ役ニ立タナイコト
ニナリマスノデ、今後斯ウ云フ風ナ國家的
見地カラ見マシテ、最モ重要ナル路線ニ對
シマシテハ、特別ナル工事ノ施工ヲ考ヘ
ラレマシテ、現在ノ如キ地元ノ受益者負擔
ト云フヤウナナリ方デハ十分ニ出來ナイト
思フノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシ
テ、此ノ機會ニ政府ノ御所見ヲ承ツテ置キ
タイト思フノデアリマス、殊ニ只今請願サ
レテ居リマスル路線ハ、其ノ沿道ニ非常ニ
木材、石材、礦物ト云フヤウナ資源ガ澤山
アリマスノデ、是等ノ開發ノ必要ナルコト
ハ申上ゲルマデモナク、教養園今後ニ於ケ
ル國際上ノ位置ヲ考ヘテ見マシテモ、洵ニ
重要ナル路線ト考ヘノデアリマスルカラ、

速カニ此ノ道路ノ立派ナル完成ヲ見ルヤウ
ニ、一段ノ努力ヲ御願ヒ致シタイト云フ希
望ヲ加ヘマシテ、此ノ請願ヲ採擇御願ヒス
ル次第デアリマス、尙ホ此ノ機會ニ只今申
上ゲマシタ點ニ付テ政府ノ御所見ヲ承リタ
イト思ヒマス

○近藤說明員 私カラ御答ヘ申上ゲマス、
只今森澤君ノ御意見ハ御尤モト思ヒマス、
唯申上ゲマス現在國方直轄改修工事ヲ
ヤルコトニナツテ居リマス國道デスラモ、
僅カニ出來上ツテ居リマスノハ全體ノ二三
パーセント、二割ソコノシカ出來テ居
ナイ、尙ホ八割近クハ未ダ改修デアラ、次ニ
府縣道ノ如キハ僅カニ一割三分シカ出來テ
居ナイ、斯ウ云フ實ハ非常ニ慨カハシイ道
路ノ狀況デアリマス、サウ云フヤウナ
譯デアリマスノデ、府縣道マデモ何カ特殊
ノ方法ニ依ツテ地元ニ任セナイデ、國デヤ
レト云フ御注文ハ尤モデアルト思ヒマスケ
レドモ、中々困難デアリマス、本來國方直
轄デアリマスラモ、今ノヤウナ狀
態トシテ此ノ道路ノ改修ニ、今マデノヤ
ウナ力ヲ入レ方デハ私ハ足りナイト思ヒ
マス、唯道路ノ改修ガ若干緒ニ就キマシタ
ノハ御承知ノ通り、自動車交通ガ繁劇ニナ
リマシタコト數年ト申シマスガ、ソレガ始
マリデアリマスノデ、無理カラスコトデア
ルトハ思ヒマスガ、何レニシテモ今ノヤウ
ナ狀態ハ到底百年河清ヲ待ツ如シ、斯ウ
云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、政府ト
シテハ更ニ此ノ時局ニ鑑ミマシテ、道
路ノ改良ニモツト力ヲ入レマシテ、道
路ノ改良ニ御注文ニナリマシタ點、又
森澤君ノ御意見ノヤウニ、道路ノ改修ヲモ

ツト促進シタケテハイカス、斯ウ考ヘルノデ
アリマスガ、目下ノ狀態ハ先程申上ゲマシ
タヤウナ狀態デアリマスノデ、府縣道ト申
シマスガ、國道ヨリモ次ノ位ニ屬シマス府
縣道ヲ今直チニ國方直轄デアルト云フコト
ハ、願ハシイコトデゴザイマスケレドモ、
實情ガソコマデ行ツテ居ナイデハナイカス
ウ考ヘテ居リマスガ、今後共其ノ點ニ十分
思ヒヲ致シマシテ、道路ノ改修ニ出來ルダ
ケ政府モ努力スル、斯ウ云フコトニ御諒承
願ツテ置キタイト思フノデアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○福井主査 本件ハ採擇ニ御異議アリマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○福井主査 採擇ニ決シマシタ

○福井主査 次ニ日程第六、郷社御祭神社
昇格ニ關スル請願、文書表第二八號——紹
介議員渡邊五三郎君

○渡邊五三郎君 本請願ノ趣旨ハ愛知縣中
島郡起町ニ鎮座シマス郷社御祭神社ヲ
縣社ニ昇格相成リタイト云フ請願デアリマ
ス、此ノ御祭神社ハ從三位御母天神ト稱シ
マシテ、天照大神ト日本武尊、加具土命ヲ
御祭神トシテ御祀リマシテアルノデアリマ
ス、古來武將領主ノ尊崇最モ篤クアリマシ
テ、サウシテ更ニ此ノ地方ノ重要産業デア
リマスル織物ノ神様、裁縫ノ上達スル神様
トシテ、氏子ノ崇敬ガ篤クアラマシタ後、
明治五年ニ郷社ニ宣セラレマシタ後、
大體此ノ愛知縣中島郡起町地方ハ織物ハ全
國ニ冠絶シテ居リマシテ、一箇町村デ年産
額五千萬圓ヲ產シテ居ルト云フ現況デア
ルノデアリマス、斯ウ云フ狀態ハ偏ニ此ノ

神様ノ御加護ノ爲メデアリマシテ、氏子ノ
齊シク崇敬スル所デアリマス、又近郷ノ織
物業者ガ常ニ崇拜シテ參拜者ノ絶ニ間ガア
リマセス、抑、剛健ナル國民精神ハ敬神崇祖
ヲ外ニシテハ期スルコトハ出來ナイト思フ
ノデアリマス、今ノ皇國日本ハ非常ノ秋ニ
際シマシテ、實ニ御神威ニ依ラザルベカラ
ザルヲ痛感スルノデアリマス、此ノ御祭神
社ハ以上申シマシタヤウナ深い御由緒ガア
リ、崇敬者モ他府縣カラモ參拜スルト云フ
ヤウナ實ニアラタカナ神様デアリマス、多
數ノ崇敬者或ハ氏子ノ魂ハ此ノ御神德ニ歸
一シテ、離レベカラザルノ狀態デアリマス、
仍ツテ此ノ際縣社ニ御昇格ニ相成ルヤウ、現
ニ奉贊會ヲ設ケマシテ、神社ノ御神域御造
營ヲ計畫シテ居リマスガ、何トソ氏子ノ至
情ヲ御賢察ヲ賜ハリマシテ、御昇格ニ關シ
格別ノ御配慮相成リマシテ、此ノ要求ヲ實
現シテ戴キタイト、此ノ請願スルノデア
リマス、此ノ際政府ノ御意圖ヲ承リ、而シ
テ御採擇アラシムコトヲ切ニ希望スル次第
デアリマス

○飯沼政府委員 只今ノ郷社御祭神社ニ付
キマシテハ、マダ私共實ハ詳細イ書類ヲ拜
見シテ居リマセス、何レ愛知縣知事カラ神
祇院ノ方ニ書類ノ御提出ガアラウカト考ヘ
テ居リマス、十分ソレヲ拜見致シマシテ、
由緒其ノ他ヲ調査致シマシテ、其ノ上デ處
置致シタイト思ヒマス

○坂東委員 紹介議員ニ一寸御伺ヒシマス
ガ、認可スル前ニオ官サン、拜殿、境内雜
持方法ト云フ條件ガアリマスガ、其ノ條件
ヲ滿タシ得ルダケノ準備ガ今出來テ居ル
デスカ

○飯沼政府委員 氏子ト申シマスノハ各神
社毎ニ氏子區域ガ決ツテ居リマス、是ハ原
則トシテ各神社ソレノ氏子區域ヲ持ツテ
居リマシテ、其ノ區域内ノ住民ガ即チ氏子
ト云フコトニナリマス、ソレカラ神社ニ依
リマシテハ只今御話ニアリマシタヤウニ、
遷カカラ御詣リニ來ル者、或ハ特殊ナ何カ
御造營デアリマス場合ニ經費ヲ負擔スル
ト云フヤウナ者ガアリマスガ、サウ云フ氏
子區域外ノ者ハ崇敬者ト云フコトデ、氏子
ニ準ズルモノトシテ取扱ツテ居リマス、氏
子ノ戶數ト云フモノハ、氏子區域ガハツキ
リ決ツテ居リマスノデ、其ノ中ノ戶數ト云
フコトニナリマス

第三類第三號 請願委員第二分科會議錄 第一回 昭和十六年二月三日

○渡邊(五)委員 其ノ戸數ハ縣社ニシヨウト思フ時ニハドレ位ガ必要デスカ

○飯沼政府委員 縣社ニハドレ位ノ數デアツカト云フコトハ、私記憶致シテ居リマセスカラ一寸申上テ...

○坂東委員 一寸伺ヒマスガ、縣社、郷社、村社ノ境內ノ面積ニ付テ、内務省ト稅務署トノ意見ガ合ハヌコトガアルト云フコトヲ...

○飯沼政府委員 一寸御質問ノ趣意ガ分ラナカツタノデスカ、ソレハ昇格ノ事ニ付...

○坂東委員 例ハ内務省ハ色々ナ關係デ千坪、所ガ稅務署ノ方デハ免稅ト云フヤウ...

○飯沼政府委員 只今ノ請願ハ採擇ト云フコトニ實成致シマス、此ノ際内務省當局ニ序デ...

○渡邊(五)委員 此ノ際内務省當局ニ尙ホ御尋ネシタイノハ、先刻ノ氏子ノ問題デアリ...

○飯沼政府委員 只今伺ヒマシタ所ニ依リマスト、若シ起町全部ガ御社ノ氏子區...

ラ縣社ニナリ、或ハ縣社カラ國幣社ナリ官幣社ナリニ段々社格ガ上ガツテ行ク爲ニハ色...

格ハ立派ニアルベキモノト考ヘテ居リマスガ、其ノ儘ニナツテ居ルコトハ、一ツハ形...

ト云フコトニナツテ居リマスルカ、其ノ點ハ具體的ニ見テ見マセト分ラナイ問題...

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○飯沼政府委員 先程ノ坂東委員ノ御尋ネデアリマスガ、昇格ノコトヲ提ツテ居リ...

○飯沼政府委員 此ノ請願ハ六十九、七十、七十三、七十四、七十五議會ノ五回ニ亙ツテ...

○坂東委員 既ニ其ノ炭山ハ宗谷線ノ本線マデ鐵道線路ノ敷設ノ計畫マデモシテ居ル...

○飯沼政府委員 只今御話ノ日空會社カラ數百萬圓ノ費用ノ寄附ト云フコトハ...

云フコトヲ願ヘバ、靈驗アラタカデアアル料理屋ノ繁昌ヲ御願ヒスレバ靈驗アラタカ...

○飯沼政府委員 先程ノ坂東委員ノ御尋ネデアリマスガ、昇格ノコトヲ提ツテ居リ...

○飯沼政府委員 此ノ請願ハ六十九、七十、七十三、七十四、七十五議會ノ五回ニ亙ツテ...

○坂東委員 既ニ其ノ炭山ハ宗谷線ノ本線マデ鐵道線路ノ敷設ノ計畫マデモシテ居ル...

○飯沼政府委員 只今御話ノ日空會社カラ數百萬圓ノ費用ノ寄附ト云フコトハ...

○飯沼政府委員 此ノ請願ハ六十九、七十、七十三、七十四、七十五議會ノ五回ニ亙ツテ...

○坂東委員 既ニ其ノ炭山ハ宗谷線ノ本線マデ鐵道線路ノ敷設ノ計畫マデモシテ居ル...

○飯沼政府委員 只今御話ノ日空會社カラ數百萬圓ノ費用ノ寄附ト云フコトハ...

リマスガ、第一點ハ神社ノ昇格ノ問題デアリマス、府縣社以下ノ神社ノ昇格ノ問題ハ...

○飯沼政府委員 先程ノ坂東委員ノ御尋ネデアリマスガ、昇格ノコトヲ提ツテ居リ...

○飯沼政府委員 此ノ請願ハ六十九、七十、七十三、七十四、七十五議會ノ五回ニ亙ツテ...

○坂東委員 既ニ其ノ炭山ハ宗谷線ノ本線マデ鐵道線路ノ敷設ノ計畫マデモシテ居ル...

○飯沼政府委員 只今御話ノ日空會社カラ數百萬圓ノ費用ノ寄附ト云フコトハ...

○飯沼政府委員 此ノ請願ハ六十九、七十、七十三、七十四、七十五議會ノ五回ニ亙ツテ...

○坂東委員 既ニ其ノ炭山ハ宗谷線ノ本線マデ鐵道線路ノ敷設ノ計畫マデモシテ居ル...

○飯沼政府委員 只今御話ノ日空會社カラ數百萬圓ノ費用ノ寄附ト云フコトハ...

第三類第三號 請願委員第二分科會議錄 第一四 昭和十六年二月三日

保護ニ付キマシテ、國家トシテ適切ナル施設ヲ講ズベキコトハ、只今御話ノ通りデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ厚生省トシマシテ、現在御承知カト思ヒマスガ、東京ニ財團法人啓成社ト云フモノガアリマシテ、此處テ傷痍軍人、産業不具者及ビ其ノ他一般不具者ノ職業再教育ヲ致シテ居リマスガ、勿論是ダケデハ十分トハ考ヘラレマセ

ルト共ニ、耕地整理ノシテアル田面ニ於キマシテモ、樹植補付ノ方法ヨリ一反歩ノ刈入ニ付キ約七束ヲ増收シ得ルハ明カデアリマス、之ヲ支米ニシマス、一反歩ニ付キ一斗七升五合ノ増産ニナリマスカラ、山間部ノ水田ダケデモ此ノ時時ニ正條植ヲ行ヒマスレバ百万石以上ノ増收ヲ期スルコトハ確實デアルト申スノデアリマス、尙ホ本

ホ農務局長ニ西ヶ原農事試験場デハ昨年本請願者ヲ御召喚ニ相成リマシテ、ソレノ御調ベニウツクヤウニ存ジテ居リマスカラ、此ノ際此ノ請願ニ對シテ御所見ノアル所ヲ伺ヒタイト存スル次第デアリマス

○樋口委員 此ノ請願ハ趣意書ニモアリマスル如ク、請願人ハ不具者ノ人々デアリマシテ、近時事故頻發シテ一層不具者ガ増加スルト云フコトニナリマシテ、此ノ人々ガ自分ノ今日マデノ體驗カラ色々頭ヲ悩マシマシテ結果、何トカシテ政府ニ於テ是等不具者ト雖モ、今日時局ニ協力シ得ルヤウ施設指導ノ方法ヲ講ゼラレマシテ、サウシテ一方精神の慰安ヲ與ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトノ請願デゴザイマス、御承知ノ如ク不具者、昔カラアリマスレドモ、近時機械工業等ガ非常ニ殖エ、且ツ交通ニ依ツテ生ズル所ノ事故等カラ考ヘマスルト、此ノ數ト云フモノハ著シク増加致シテ居ルノデアリマス、完全デ居リマスル者カラ見レバ此ノ不具者ノ苦痛ハ分リマセヌガ小指一本失ク致シマシテモ、其ノ結果ト致シマシテ、其ノ不自由ナルコトハ全ク想像以上ナモノデアリマス、況ヤ手ヲ失ヒ足ヲ失ヒ、若クハ眼ヲ失スルトカ云フヤウナコトニナリマスルト、不具者ノ心中ヲ思ヒマスル時ニ何トカ政府ニ於ケラマシテモ、此ノ點ニ御同情下サイマシテ、是等ノ人々ニ適當ナル職業ヲ與ヘラレヨウ一ツ御指導ヲ願ヒタイ、サウシテ此ノ社會ニ於テ更生セシメラレシコトヲ切ニ御願ヒ致シマシテ、皆サンノ御賛成ヲ得テ御探察アラシコトヲ切ニ希望致ス次第デゴザイマス

○坂東委員 政府委員ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○寺尾説明員 私農事試験場長ノ寺尾デアリマス、實ハ此ノ間ウツクバカリデアリマスノデ何分宜シク御願ヒシマス、五十嵐式ノ正條植ニ付キマシテハ、昨年此ノ御方ニ西ヶ原ヘモ來テ戴キマシテ、前場長ノ安藤先生ト共ニ私モ一緒ニ直接其ノ御話ヲ伺ヒマシタガ、五十嵐サント云フ方ハ、只今御話ノアリマシクヤウニ非常ニ淳朴ナ、實ニ農事ニ熱誠ナ方ノヤウニ見受ケラレマシテ、只今ノ御説明ニモアリマシクヤウニ、賣名デアルトカ、私益ヲ考ヘテ居ルト云フヤウナ點ハ全然ゴザイマセヌ、洵ニ熱心ナ農業者デアリマス、作業ヲヤツテ居ル人ノヤウニ思ハレマシテ、大變尊敬ニ値スルト考ヘ

○坂東委員 政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 次ニ日程第一四、稻作五十嵐式正條植ニ關スル請願、文書表第八號ヲ議題ニ供シマス

○福井主査 次ニ日程第一四、稻作五十嵐式正條植ニ關スル請願、文書表第八號ヲ議題ニ供シマス

○福井主査 次ニ日程第一四、稻作五十嵐式正條植ニ關スル請願、文書表第八號ヲ議題ニ供シマス

○福井主査 次ニ日程第一四、稻作五十嵐式正條植ニ關スル請願、文書表第八號ヲ議題ニ供シマス

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○加藤(知)委員 紹介議員加藤知正君

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

○福井主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

放ツテ置カレタカラ又私ガ技ニ之レヲ紹介シテ此ノ請願書ヲ取次グヤウナコトニナルノ...

テ然ルベキモノト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ意味ヲ持チマシテ今一度本人ヲ呼シ...

轉ガサナイデ、繩ヲ引イテヤツテ居ル所モアリマス、之ニ付テハ努力ノ方面カラ云ツ...

熱心デ御紹介ナサルコトデアリ、又試驗場長トサレテモ實ニ立派ナ人格者デアリ、非...

○福井主査 加藤君一寸御相談シマスガ、他ノ委員ノ方モイラツシヤルシ、政府委員...

毛御忙シヤウデス、又只今林サシノ仰シヤツタ通りニ、本人ヲモウ一應御呼び...

○北村文衛君 只今議題トナリマシタ請願ノ趣旨ハ、文書表記載ノ通りデアリマス...

○福井主査 各委員ニ御諮リ致シマス、本問題ニ付テ御意見ヲ陳述シタイト云フ西村君ノ御申出ヲ許シテ差支ヘアリマセスカ...

又生命素トカ云フモノガナクナル、生命素ノコトハ別扱ヒニ致シマシテ、前ノ三ツノ...

○福井主査 加藤君一寸御相談シマスガ、他ノ委員ノ方モイラツシヤルシ、政府委員...

デモ宜イ、脂肪充足ナケレバ「バター」ヲ食ヘ、蛋白質充足ナケレバ「肉」ヲ食ヘ、事足ルト云フ此ノ觀念ガ「ユダヤ」養養醫學ニ關連シテ居ルノデアリマス、玄米ハ理想ノナモデアリマス、此ノ玄米ハ日本人ニ付キマシテハモウ以上ノ食物ハナイノデアリマス、之ヲ白米トシテ食フヤウニ徳川ノ中世カラナリマシタ爲ニ、肉ヲ食ヒ、砂糖ヲ食ヒ、サウシテ病氣ヲ作ルヤウニナツタ、斯ウ云フコトカラ更ニ明治維新トナリ西洋ノ此ノ「カロリ」説ノ萬能主義、所謂食物ハ熱量ヲ出セバ宜イト云フコトニナツタ、例ヘバ熱量ヨリ多ク出スノナラ酒ヲ飲ムバ宜イ、其ノ次ハ膏ガアツテモ砂糖ヲ食フバ宜イト云ツタ調子デ後日ノ害「ドウナツテモ宜イト」考ヘ方、此ノ「カロリ」説ガ「ユダヤ」説ノ「養養醫學」ノデアリマス、此ノ「カロリ」説ト云フハ、ハイカラ説ノヤウニ見エラガ、此ノ「カロリ」一本槍ノ説ト云フノガ非常ニ間違ッテ居ルノデアリマスカラ吾々ハ十分注意シナケレバナリマセス、是ハ甚ダ長多イ話デアリマスガ、私共臣道實踐トカ申シマスノデ、伊勢ノ外宮マシ、更ニ長多イ話デアリマスガ、宮中デアリ、陛下ノ、御日常ノコトヲ謹記セル數多ノ記録ヲ見マシテモ、半搗米ト麥ノ摺合セラ召上ツテ居ラセラルルノデアリマス、吾々トシマシテモ白米食ノ是非ヲ今更論スルマデモナイコトトド白米ハ止メナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、ソレヲ「アノ半分變質シタ外米」何處ニモ出シテ取寄セテ、サウシテソレニ白米ヲ混ゼテ食フ、コンナ馬鹿ガク政策ハナイ、是ガ即チ「カロリ」説萬能ノ「ユダヤ」養養醫學ノ間違ッテ居ル觀念

ニ立ツテ居ルカラデアリマス、今ノ胚芽米ヲ食ヘト云フコト即チ玄米ノ死ヲ救フ目的ノヲヤル考ヘ方モ、皆同一ノ間違ッテ居ル觀念ヨリ出發シテ居ル私ノ此ノ質問書ニモ出シテ居リマスガ、保健ノコトヲ「ユダヤ」流醫學デアルコトハ、間違ッテ居ル點、私ノ此ノ質問書ニ對シテ反對ノ御意見ノアル方ハ國家ノ爲ニ勇敢ニ申述ベテ貰ヒタイノデアリマス、私ハ何時デモ太刀打ちチラスルト云フコトヲ此ノ質問書ニモ書イテデアリマスガ、私ハ此ノ請願委員會ニ於キマシテハ此處デ此ノ問題ノ太刀打ちチシテ討論スル必要ハナイト思ヒマスカラ、只今滿場ノ委員各位ニ於カレマシテモ、ドナタカノ御發言ノ如ク是ハ重大ナ問題デアル、斯ウ云フ御説デ大臣ノ御出席マデ望セラレタ事柄デアリマスシ、私ノ體験トシマシテモ、玄米ニシマシテハ「養養醫學」ノ數多ク出テ來マシタ、又精神上ニ付マシテモソレハ數多ク嗜ミマスカラ「養養醫學」ノ數多ク出テ來マシテ、昔カラ申シマスヤウニ、食正シケレバ人亦正シタルノデアリマス、簡米ハ食量半以下デ済ム簡米ノ上カラモ、保健衛生ノ上カラ申シマシテモ、是ハ申分ナイ臣道實踐ノ方法デアリマス、初メカラヤキキル半搗米、ト麥トノ攪合セデモ實行シテ欲シイ、ソレデモ右三點ニ付キ白米トハ比較ニナラヌ、斯ウ云フ信念ヲ強ク持ツテ居リマス、只今衛生局長方胚芽米ノコトヲ御述ベニナリマシタガ、ソレハ多クハ「ユダヤ」醫學ノ「カロリ」説ノ觀念カラ出タモトデアルト思ヒマスカラ、此ノ點ニ對シテハ太刀打ちチハ致シマセスガ、衛生局長モ能ク御注意ヲ願ヒタイ

マシテ糖ヲ其ノ方ニ使ヒタイト云フコトハ地方ノ農村ノ非常ニ熱望デゴザイマシテ、實ハ最近米ノ國家管理ヲ致シテ居リマシテ、政府米ノ供出ヲ求メテ居リマス際ニモ、此ノ點ニ付キマシテハ農村ニ相當望ガアルノデアリマス、之ヲ玄米トシテ糖ヲナクシテシマフト云フコトニ付キマシテハ其ノ方ノ調和モ十分圖ラナケレバナラヌト云フコトモ感ズテ居リマス、サウ云フヤウナ點ガゴザイマスノデ、此ノ玄米食ノ普及ト云フコトニ付キマシテハ慎重ニ考ヘナケレバナラヌト云フ風ニ思ツテ居リマス

○北村文衛君 今ノ一番初メノ量デアリマシマスガ、私ハ玄米食ヲ四年前カラヤツテ居リ下デ済ミマス、サウシテ健康ニモ非常ニ良イ、私ハ四年前、議會ニモ眞ツ青ナ顔デ出テ居ツタガ、今デハ喘息モ治ツテコソナニ元氣ニナツテ居リマス、サウシテ私ガ玄米ヲ手ニ入レルノハ、普通ノ所カラ一斗配給ノ白米ヲ貰フノハ玄米三升デ替ヘテ済マシテ居ル、ソレデ近所ノ米屋モ喜ンデ分ケテ呉レマス、私ノ食糧ハソレデ十分足りテ居リマス、是ハ私ノ四年間ノ體験デアリマス、質問書ニモ書イテデアリマスカラ能ク御讀ミニナツテ下サイ、ソレカラ玄米ハ炊キ方ガムツカシトカ時間ガ掛ルトカ言ヒマスガ、ソノナコトハ問題ニナリマセス、玄米ハ高壓釜デナケレバ炊ケヌト云フガ、ソノナコトハアリマセス、普通ノ釜ノ方ガ却テ宜シウゴザイマス、高壓釜デハ蒸氣ガブウツト吹イテ來タ時ニ女中ガ大怪我ヲシマス、手ヲ大火傷シテシマフ、玄米ハ高壓釜ヲ使ハナケレバナラヌカラ駄目ダト云フ

○湯河政府委員 只今玄米ノ試食ニ關スル請願ガ問題ニナツテ居リマスノデ、此ノ問題ハ實ハ食糧政策上カラ申シマシテモ非常ニ重大ナ問題デアルト云フ風ニ請願書ニモ書イテデアリマス、又實際其ノ御心持ニ付キマシテハ私達モ非常ニ深く敬意ヲ以テ慎重ニ考ヘナケレバナラヌ問題ダト云フ風ニ存ジテ居リマス、之ニ付キマシテ食糧管理局トシテノ考ヲ一應申述ベテ置キタイト思フノデアリマスガ、此ノ問題ハ根本ニ於キマシテ色々問題ガゴザイマシテ、只今加藤衛生局長ヨリ御話ノゴザイマシタ國民ノ保健衛生榮養上ノ問題ハ、是ハ最モ重大ナ問題ダト思フノデアリマス、國民ノ保健衛生上ニ疑問アリマスルヤウナ事柄デアリマス、之ヲ如何ニ食糧政策ノ上カラ申シマシテ採リタイト云フ風ニ考ヘテ居リマシテモ、ソコニハ相當疑問ヲ持タナケレバナラヌト云フ風ニ思ハレマス、其ノ點ガ非常ニ重大ナ問題デゴザイマスガ、ソレヲ補足致シマスト申シマス、其ノ他ニ於キマシテ私達考ヘテ參リマス問題ガ「三點」ゴザイマスノデ、或ハ既ニ此ノ請願者ガ紹介議員ノ方モ十分御分り戴イテ居ルコトカ存ジマスガ御説明申上ケタイト思ヒマス、私達ノ方カラ申シマス、玄米ノ健デ食スル時ハ之ヲ七分搗シテ食ヘル時ヨリカ七八百萬石乃至一千万石ノ米ノ消費節約ガ出來ルト云フ御話デゴザイマスガ、此ノコトニ付キマシテハ七分搗スル場合ニ於キマシテノ容量ノ減リ方ハ、現狀ノ玄米ニ比シマシテ容量ニ於キマシテハ僅ニ「二、三、パーセント」ノ分量デアルト云フ風ニ思ハレマスノデ、若シ御話ノ如クニ、此ノ大キナ數字ト云フコトニ付キマシテハ、私達トシテ向ホ能ク御話ヲ伺ヒ十分研究シテ見ナケレバナラヌト云フ風ニ思ツテ居リマス、玄米食ヲ爲シマストシテ之ヲ咀嚼スルト云フ風ナコトカ自然ニ消費ガ減ルト云フ風ナコトモ申サレテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテモ果シテ只今申シマシタヤウナ大キナ數字ガ今日得ラレカト云フコトニ付キマシテ私達尙ホ疑問ヲ持ツテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ此ノコトヲ御主張ニナツタコトノ御話ヲ能ク聽カナケレバナラヌト云フヤウニ思ツテ居リマス、尙ホ玄米ノ炊キ方ニ付キマシテハ、是ハ既ニ各方面御承知ノコトダト思ヒマスガ、白米ニ比シテ中勞力燃料ガ掛ル、或ハ玄米ヲ炊ク特別ノ釜ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトガゴザイマシテ、之ヲ特ニ全國ニ普及セサレト云フコトニ付キマシテハ其ノ點ニ於テ相當ノ困難ガアルコトヲ考ヘテ居リマス、ソレデ玄米ノ普及ト云フコトガ宜イト云フコトニ決マリマシテモ、之ヲ全國ニ普及セサレト云フコトヲ行政上相當考慮ヲ要スルト考ヘテ居リマス

ソレカラモウ一點ゴザイマスノハ、是モ御氣付キノコトト思ヒマスガ、先程北村マシノ御話ガアリマシタ「糖」ノ問題デゴザイマス、食糧ノ重要ナル現代ニ於キマシテ、肥料或ハ飼料ノコトニ付キマシテ此ノ問題ヲ考ヘルト云フコトハ、本末顛倒デアルト云フヤウナ御指摘モアラウカト思ヒマスガ、併シ此ノ點ニ付キマシテハ、實ハ農村ノ問題トシテ七分搗ニ致シマシテ、其ノ取ル糖ト云フモノガ相當重大ナ問題ニナツテ居リ

マ、斯ウ云フヤウナ小サナ工場ガ多イノ
デアリマシテ、之ヲ企業合同ヲスル、其ノ
形態ハ合同體ガ組織者ノ設備ニ應ジテ、絲
ヲ制當テ織物ヲ製造セシメ、一元的ニ經營
ヲ管理シ、實際ノ製造ハ各組織者ニ製造
セシメル、合同體ハ適正設備ニ絲ノ制當ヲ
シ、不適正設備ニハ之ヲセザルヤウナ場合
ガアリマスケレドモ、自治的ニ利潤ノ分配
ヲナシ、所謂隣組の、地域のニ組織ヲシ
テ、相互扶助ノ精神ヲ以テ此ノ時艱ヲ乘切
ルノデアアル、サウシテ國策ニ順應スルコト
ガ必要デアルト思フデアリマス、右ノ趣
旨ハ工業小組合ヲ組織スレバ出來ルノデア
リマス、現ニ政府ガ獎勵シテ居リマス工業
小組合ハ人員ノ制限ニ於テ概ネ十名トナツ
テ居リマスカラ、人員ガ多クテハ工業小組
合法ノ適用ヲ受ケテ斯様ナ方法ニスルコト
ガ出來ナイノデアリマス、殊ニ請願者ハ尾
西地方ノ同業組合ノ組長デアリマシテ、千
五、六百名ノ同業者ガアルノデアリマス、サ
ウシテ其ノ中ニハ毛織工業組合、綿工業組
合ト云フ色々ノ部門ニ屬スルモノガアリマ
スガ、其ノ地方ニ於キマシテハ、一部落デ
五百名位ノ工場ガアル町村モアルノデアリ
マス、隨テ其ノ部置單位申シマシテ、十名
百名位アル所ガアル、隨テ十名ノ工業小組
合ハ適用ガ出來ナイ、之ヲ一部落、隣組の
ニシテ、合同體ヲ會社組織ニスルコトガ最
モ必要デアルト思フデアリマス、次官通
譯ノ第四項ニハ「業者ノ結合方法トシテハ、
人的融和ヲ圖ル趣旨ヲ以テ業者ノ希望ヲ尊
重スル」トアル、是ハ私ハ、尤モナコトト思
フノデアリマス、次ニ人的融和ヲ圖ル趣旨
ヲ以テ業者ノ希望ヲ尊重スルノミナラス、
部落的ニ最寄地域内ノモノヲ組織別ニ結合

セシメルコトヲ原則トスル、斯ウ云フヤウ
ナ趣旨ノ通陳ガ出テ居ルノデアリマス、昨
年夏頃カラ企業合同ヲ獎勵シテ居ラレマス
ケレドモ、此ノ企業合同ノ獎勵ノ方法ガ愛
知縣下デモ實際ノ業者ノ實情ニハ副ヒマセ
スカラ、其ノ實ガ學ツテ居リマセズ、毛織
業者ノ組織ノ根本デアル大日本毛織工業組
合デハ、今年ニナリマシテカラ今日マデニ
大阪附近ニ一ツ、愛知縣デ四軒ノ企業合同
ガアツタノミデアリマス、其ノ合同ノ形態
ニ於キマシテモ、或ルモノハ權利、詰リ暖
廉代、四千圓、貨賃料ガ毎月二十五圓ト云
フヤウナ大ナル合同ノ仕方ノモノガアル、
又地域のデナイモノガアル、斯ウ云フヤウ
ナ譯デ、本當ノ計畫經濟運行ノ上ニ於ケル
必要ナル合同ト思ハレルモノガ少イノデア
リマス、又政府ニ特ニ御考ヘ願ヒタイコト
ハ、企業合同ニ對スル稅ノ問題デアリマス、
是ハ横濱織機ガヤツタノデアリマスガ、愛
知縣ニ於テ優良ナル中小工業ノ會社組織ノ
ナイ所デハ、一臺ガ三百圓位ニ減額サレテ
居ル、先列申上ゲマシタ大阪地方デ四千圓
以上ノ暖廉代ヲ見積ツテ、更ニ織機ノ貨賃
料ヲ見積ラレト云フヤウナ合同ノ仕方ガ
アリ、愛知縣デモ三千圓近クマデハ、既ニ
サウ云フヤウナ方法デサレテ居リマス、斯
様ナ關係カラ申シマスト、合同スル爲ニ合
同スル利益金ガ生レテ來ル、會社デアレバ
其ノ利益金ノ三割、補償金ノ百分ノ六十五
ト云フ税金ガ課カル、個人デモ營業者ガ本
當ニソレタケノ價値ノナイモノヲ老人ガ取
リマシレバ、子ガ相續シナケレバナラス、
併シナカラ子ガ相續スル場合ニハ、其ノ應
大ナ見積リヲ標準トシテ相續稅ヲ納メナケ
レバナラス、斯ウ云フヤウニ、租稅ノ關係

カラ言マシテモ、各工場ニアル儘デ企業合
同ヲスル方法ニ付キマシテハ相當無理ヲ生
ズルノデアリマス、其ノ次ニ輸出入品等ニ
關スル臨時措置ニ關スル法律デアリマスガ、
私ハ此ノ法律案ガ昭和十二年ニ出マシタ時
ニモ特別委員デアリマシタシ、其ノ後十三
年ニ改正サレタ時ニモ特別委員デアリマシ
タケレドモ、其ノ合同體ノ社長ガ善人デア
リマシテモ、其ノ「メンバー」者ガ若シ統制
違反ヲシタ場合ニハ、其ノ人ガ刑法上ノ罪
ヲ負ハナケレバナラス、戰時立法デアリマス
カラ他人ガ犯シタ罪デモ其ノ罪ヲ受ケナケ
レバナリマセズ、斯ウ云フコトハ此ノ措置
法以外ニハナイト信ズルノデアリマス、斯
様ナ關係ノ法律ノ適用ヲ受ケルノデアリマ
ス、次ハ今日ノ企業合同ト申シマシテモ、資
材ガナリ時ニ本當ニ企業合同ヲシテ工場ヲ
一箇所ニ集メルコトハ政府デハ御許シニナ
ツテ居リマセズ、皆管理人名前ハ變ツテモ
自分ノ工場ノヤウナ心持ニナツテ居リマスガ
ラ、ソコニ若シ不正ナコトガアツタラドウ云
フ結果ニナルカ、此ノ點ニ恐レヲナシテ合同
ガ出來ナイコトガアルノデアリマス、次ハ電
力デアリマス、今申シマシタ大多數ノ十臺
以下ノ工場ニハ少イ馬力デアリマスカラ電
力制限ガアリマセズ、十五馬力以上ノ大キ
イ工場ニハ電力制限ガアツテ、月ニ二日
ナリ三日ナリ現ニ休マナケレバナラス、
ソレカラ更ニ絲ノ制當ノ方法ニ付キマシテ
ハ、十臺マデトアリマシガ、ソレハ其ノ儘
見ル、ソレカラ其ノ上ハ運減率ト申シマシ
テ、例ヘバ二十臺アツテ十五臺ト見ルト
云フヤウナ見方ガアリマシテ、絲ノ制當ノ
對象トシテハ大キイ所ニハ少ク制當テル、
更ニ改正サレテ十臺以下ノモノニハ保護率

ヲ設ケル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、
例ヘバ三十臺ノ工場ニ對シテ三臺ノ工場ハ
一割ノ價値ヨリナイカト言ヒマスト、絲ノ
配給量カラ申シマスト二割或ハソレ以上ノ
實力ヲ持つテ居ル、臺數ガ少クシテ絲ノ配
給ガ餘計アルノデアリマスカラ、利益ガ多イ
コトハ當然デアリマス、之ヲドウ云フコト
ニスレバ本當ニ企業合同ガ出來ルカ、斯ウ
云フコトヲ考ヘマス時ニハ、ドウシテモ工
業小組合ノ考ヘヲ以テ行カナケレバナラ
ナイ、殊ニ現在ノ教育方針ニシマシテモ、文
部大臣ハ科學スル心ト言ウテ居ル、此ノ中小
工業ガ少シモ希望ガナク、研究モセズ、統
制ノ結果努力スル所ガナイ、斯ウ云フヤウ
ナ場合、ソレヲ更ニ一ツノ所ヘ集メラレ
マスレバ、却テ政府ノ御考ヘニナツテ居リ
マス、中小工業育成ト云フコトハ出來ナク
ナルト思フノデアリマス、隨テ此ノ請願
ノ趣旨通り、次官通譯ニアリマシテ、合
同體ガ組織者ノ設備ニ應ジテ製法ヲ管理シテ
物ヲ製造セシメ、一元的ニ經營ヲ管理シテ
實際ノ製造ハ各組織者ニサセル、斯ウ云
フヤウナ方法ヲ指導アランコトヲ希望シ
マス、此ノ際政府御當局ノ御意見ヲ承リク
イト存ジマス

○提原政府委員 織物製造業者ノ企業合同
ノ問題デアリマスガ、御説ノヤウニ現在ノ
内外ノ情勢カラ申シマシテ、中小機業ニ付
キマシテハドウシテモ之ヲ一面ニ於テ維持
育成致シテ行キマシテ同時ニ、半面ニ於
テ時局ノ要請致シマスル纖維業ノ確保ヲ圖
ラナケレバナラスノデアリマス、其ノ爲ニハ
ドウシテモ澤山アリマスル所ノ中小機業ヲ
適當ノ方法ヲ以テマシテ整備統合ヲ圖ツテ
參ルコトガ、努力ノ觀點カラモ、原料資材配

給ノ關係カラモ、又能率ヲ向上セシメテ經
營ヲ合理化致シマスル觀點カラモ絕對ニ必
要ト存ズルノデアリマス、此ノ趣旨ヲ以テ
マシテ、昨年來地方廳ニ對シテ通陳モ出シ、
當局ノ方ニモ勸請致シテ居ル次第デアリマ
ス、唯之ヲ實行致シマスル方法ト致シマシ
テハ色々アラウト存ズルノデアリマス、會
社ノ形態ヲ取ル、殊ニ小サイモノニ付キマ
シテハ工業小組合ノ制度ニ依ツテ統合ヲ圖
ツテ參ルト云フコトモアラウト存ジマス、
是等ハ必ズシモ一律ニ斯ウ云フ形態ガ良イ
ト云フコトヲ決メマシテ、之ヲ以テ全部ヲ
律スルト云フ譯ニハ參リ兼ねルト思フノデ
アリマス、ソレデ御引用ニナリマシタ次官
通譯ニ於キマシテモ、有限會社ノ方法、工
業小組合ノ方法、其ノ他其ノ地方ノ實情ニ
即シテ、最モ有效ニ企業ノ整備統合ノ目
的ヲ達成スル形ヲ當業者モ考ヘテ、地方ノ
實情ニ即シテ選ンデ載クヤウニ致シテ居ル
譯デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望シマス
○福井主査 本請願ヲ採擇スルニ御異議ア
リマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○福井主査 採擇ニ決シマシタ
本日ハ之ニテ散會致シマシテ、次會ハ來
ル十日午後一時ヨリ開會致スコトニ致シタ
イト思ヒマス
午後四時三十分散會

向來極ク小サイ家内工業的ノモノニ付キ
マシテハ、是亦非常ニ特質ノアル形デアリマ
スカラ、一面ニ於テ小組合等デ統制ヲ強化致
シマス同時ニ、是等ノ實體ノ持つテ居リ
マスル良イ點ハ、之ヲ急速ニ變ヘルト云フ
コトニ依ツテ混亂ヲ生ゼシムルコトノナイ
ヤウニ指導スルヤウニ致シテ居ル譯デア
リマス、根本ハ企業ヲ整備統合致シテ參リ
マスル趣旨、即チ特ニ生産ヲ統制スルト申シ
マスルカ、御話ノアリマシタ生産ヲ指定シ
テ參ル、計畫生産ヲ圖ツテ行キマシテ上ニ於
テ、的確ニ其ノ趣旨ヲ達シ得ルヤウナ仕組
ヲ地方ノ實情ニ即シテ作り上ゲルト云フ點
ニアルノデアリマシテ、大體御意見ノ所ト
吾々ノ考ヘマス所ト方向ヲ一ニスルヤウ

ニ考ヘル譯デアリマス
○坂東委員 採擇ヲ希望シマス
○福井主査 本請願ヲ採擇スルニ御異議ア
リマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○福井主査 採擇ニ決シマシタ
本日ハ之ニテ散會致シマシテ、次會ハ來
ル十日午後一時ヨリ開會致スコトニ致シタ
イト思ヒマス
午後四時三十分散會

第三類第三號 請願委員第二分科會議錄 第一回 昭和十六年二月三日

昭和十六年二月四日印刷

昭和十六年二月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第三類 第三號

第七十六回帝國議會 衆議院 請願委員第二分科(外務省、内務省、厚生省、農林省及商工省所管)會議錄速記第二回

(三三)

會 議
昭和十六年二月十日(月曜日)午後一時二十分開議
出席委員左ノ如シ
主席代理 森 幸太郎君
川崎巳之太郎君 川 副 隆君
田中 源君 田中 耕君
林 平馬君
兼務
庄司 一郎君 坂東幸太郎君
阿部 茂夫君 小高長三郎君
小野 寅吉君 木村 武雄君
熊谷五右衛門君 中野 寅吉君
樋口善右衛門君 松浦 伊平君
松尾 三藏君 丸山辨三郎君
最上 政三君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ
一 國道十號線並同十一號線改修ノ請願(第一〇四號)
二 千代川河口改修工事促進ノ請願(第一〇六號)
三 天神川改修工事線上施行ノ請願(第七五號)
四 浮標岸壁地ノ信託統一其ノ他ニ關スル請願(第八六號)
五 港務行政ニ關スル請願(第八八號)
六 月形村、峯延間石狩川ニ架橋ノ請願(第五九號)
七 名寄支廳設置ノ請願(第六八號)
八 村社八海神社昇格ニ關スル請願(第六四號)
九 中頓別村ニ簡易保險健康相談所設置ノ請願(第七〇號)
一〇 産婆法制定ノ請願(第九四號)
一一 人工甘味質取締規則一部改正ノ請願(第一〇二號)

請願ハ、長野縣北佐久郡輕井澤町ヨリ、新潟縣高田市、同縣中頸城郡直江津町ヨリ、新潟縣西頸城郡歌外波村、北陸本線親不知驛方面ニ通スル國道十號線、同十一號線ハ、表日本ト裏日本ヲ結ブ國道上、並ニ文化、産業ノ發達上重要ノ幹線ニシテ、今日マデ部分的ノ改修實施アリタルモ、是ガ全線ノ改修ヲナサザレバ主要國道トシテ所期ノ效用ヲ發揮シ能ハサルモノト信ズ、仍テ前記國道中、未改修區間ヲ速カニ改修セラレタイト云フ主意デアリマス、此ノ請願ハ第七十三、第七十四、第七十五、三議會ノ採擇ヲ經テ居リマス、政府ノ之ニ對スル御意見ヲ伺ヒマス

介議員稻田直道君
○稻田直道君 千代川ハ先年四百數十方圓ヲ以テ改修セラレ、仍テ鳥取市ヲ中心トスル因幡地方ノ水禍ヲ大ニ減ジマシタケレドモ、唯憾ムラクハ今尚ホ河口ノ改修ガ全然ナサレテ居ラナイノデアリマス、然ルガ故ニ上流カラ押流シマスル土砂ト、海カラ打寄セマスル土砂トガ積ニ倍シテ全ク文字通り河口ニ堆積シテ居リマシテ、漁船ノ出入ニサヘ困難ヲ生ズルヤウナ現狀ニナツテ居リマス、然ルガ故ニ漁民ノ生業ニ支障ヲ與フルコトハ勿論デアリマス、又從來此ノ川ヲ通ジテ運搬サレテ居リマスル鳥取市ヘノ石炭其ノ他諸物資輸送上ニ於キマシテモ、全ク航運ノ便ガ杜絶致シマシテ、地方ノ交通産業ヲ阻碍スルコトガ洵ニ甚大デアリマス、最近ニ於キマスル地方民ノ遺憾並ニ其ノ困窮ト云フモノガ實ニ甚ダシク其ノ極ニ達シテ居リマス、多年熱誠ヲ籠メマシテ是ガ救済ト改修方ヲ毎年々々繼ルガ如ク當局ニ陳情致シマシテ今日ニ及ンデ居ル實情デアリマス、政府ニ於カレマシテハ色々ノ御都合デ尙且ツ是ガ救済ニ着手シテ居ラレナイ、ドウカ國費多端ノ折カラデハアリマセウケレドモ、此ノ實情ニ對シ御諒承アリマシテ、速カニ千代川河口ノ整理改修ヲ行ハレマシテ、此ノ實害ヲ除去セラレシコトヲ切ニ御願ヒシタイト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテドウカ御理解アル御答辯ヲ戴キマシテ、速カニ其ノ實害ヲ除去シテ戴キマシテ、地方民ニ對シマシテ

委員長 加藤 知正君
出席政府委員左ノ如シ
神祇院副總裁 飯沼 一省君
北海道廳部長 鈴木 脩藏君
農林省農政局長 岸 良一君
食糧管理局長官 湯河 元成君
特許局長官 大貝 晴彦君
厚生省衛生局長 加藤於菟丸君
保險院簡易保險局長 前田 穰君
主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員稻田 直道君 同 松尾 孝三君
同 深澤 吉平君 同 松浦周太郎君
同 土屋清三郎君 同 豐田 收君
同内ヶ崎作三郎君

○森至查代理 是ヨリ開會致シマス、本分科ノ主査稲井君三君ハ用務ノ爲ニ御缺席デアリマス、デ不肖私代理シテ開會致シマス
日程第一、國道十號線並同十一號線改修ノ請願、文書表第一〇四號——紹介議員小山亮君
○坂東委員 代ツテ私ガ紹介致シマス、本

○森至查代理 日程第二、千代川河口改修工事促進ノ請願、文書表第一〇六號——紹介議員小山亮君

○森至查代理 探擇ヲ望ミマス
○森至查代理 探擇ニ御異議アリマセウカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○森至查代理 御異議ナイモノト認メテ探擇ニ決シマシマシ

駐安ヲ與ヘテ載クコトヲ希望スル次第デアリマス

○飯沼政府委員 千代川河口ノ改修ノ必要デアリマス...

○坂東委員 千代川ノ河口ハ、唯河口トシテノ改修デアリマス...

○飯沼政府委員 先程御紹介ノ御言葉ノ中ニモアリマシタ通り...

○坂東委員 一寸政府ニ伺ヒマスガ、是ハ無論地方費支辨ノ川デアルト思ヒマス...

○森主査代理 日程第三、天神川改修工事線上施行ノ請願、文書表第七五號...

○坂東委員 便宜私代ツテ紹介致シマス、鳥取縣東伯郡ノ中央ヲ貫流スル天神川ハ...

○飯沼政府委員 當局ニ於キマシテモ天神川ノ改修ノ急務デアルト云フコトニ付...

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス ○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ...

○森主査代理 日程第四、浮標停置地ノ信號統一其ノ他ニ關スル請願、文書表第八六號...

係者ニ及ボス困惑少カラザルモノガアリマスカラ、一定ノ規準ヲ決定シ、能フ限リ是ガ全國ノ統一ヲ圖ラレタコト云フノガ趣旨デアリマス...

○飯沼政府委員 只今ノ問題ハ船舶關係者ニ取ツテモ色々ト不便アリ...

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス ○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ...

○森主査代理 日程第五、港務行政ニ關スル請願、文書表第八八號...

○坂東委員 是モ代ツテ紹介致シマス、稅關港務部ノ設置アル港ニテハ...

マシテ研究中デゴザイマス、只今御話ノアリマシタ點モ一ツノ問題ト致シマシテ、考究致シタコト思フテ居リマス

○中野(實)委員 一寸政府ニ御伺ヒシマスガ、我方國ノ如キ四方環ラスニ海ヲ以テスル國ノ海軍行政ガ非常ニ統一ヲ缺イテ居ル...

○飯沼政府委員 港務行政ガ各省ニ跨リマシテ、其ノ爲ニ船舶關係ノ方々ニ非常ナ手數ヲ掛ケ、御迷惑ヲ掛ケテ居リマス...

○坂東委員 採擇ニ御異議アリマセスカ ○森主査代理 採擇ニ決シマシタ

○飯沼政府委員 港務行政ニ付キマシテハ、將來改善ヲ致シテ參ラナケレバナラス點ガ澤山アルト存ジマス、目下是等ノ點ニ付キ...

テ居ル所デゴザイマス

○坂東委員 只今ノ中野委員ノ質問ノ趣旨ニハ、私モ賛成ノ者デアリマス...

○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ

○森主査代理 日程第六、月形村、峯延間石狩川ニ架橋ノ請願、文書表第九五號...

○深澤吉平君 本請願ノ理由ハ延長九十餘里ニ及ブ石狩川沿岸ハ、代表的農耕地地林...

テハ交通杜絶致シマシテ、其ノ不便、交通ノ上ニ及ボス惡影響ハヒドイデアリマス...

○坂東委員 便宜私代ツテ紹介致シマス、我方國ノ船舶ハ浮標ニ繫留シ、又ハ投錨スルモノ多キニ拘ラズ...

○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ

○森主査代理 日程第七、名寄支廳設置ノ請願、文書表第六八號...

○坂東委員 採擇ニ御異議アリマセスカ ○森主査代理 採擇ニ決シマシタ

經濟交渉モ亦一段緊密ノ度ヲ加フルコトト存ジマス、サウシテ本架橋ノ成否ハ本地方ノ關係住民ノ浮沈ニ關スル重大使命アリ...

○飯沼政府委員 港務行政ニ付キマシテハ、將來改善ヲ致シテ參ラナケレバナラス點ガ澤山アルト存ジマス、目下是等ノ點ニ付キ...

○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ

○森主査代理 日程第七、名寄支廳設置ノ請願、文書表第六八號...

○坂東委員 採擇ニ御異議アリマセスカ ○森主査代理 採擇ニ決シマシタ

○坂東委員 此ノ請願ハ只今深澤君ノ申シマス通り既ニ數回採擇ニナツテ居ル關係モアリマス...

○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ ○森主査代理 採擇ニ決シマシタ

○森主査代理 日程第七、名寄支廳設置ノ請願、文書表第六八號...

○坂東委員 採擇ニ御異議アリマセスカ ○森主査代理 採擇ニ決シマシタ

シマス、是方爲ニハ宗谷支廳モ或ハ一支部トシテ存在スルダケノ價值ガナクナルノデハナイカト云フヤウナ處モアリマス、本件ハ他ノ支廳ノ管轄區域ト併セマシテ尙ホ慎重ニ考究致ス必要ガアラウト考ヘテ居リマス

○坂東委員 只今政府ノ御答辯ニアリマス如ク、此ノ支廳ヲ作ルコトニナレバ他ニモ影響ノ起ルコトハ勿論デアリマス、現在北海道ハ十四支廳アリマスガ、是ハ交通不備ナ時代ニ出来タノデアリマスカラ、此ノ請願バカリデハナク、外ニモ色々アリマスガ、ドウカ政府ハ此ノ十四支廳全部ニ互ツテ十分ニ行政區域等ヲ調ベマシテ、支廳ノ改廢統合等ヲ企テルヤウニ十分ノ御調査アラントコトヲ切望致シマシテ、本請願ハ採擇ヲ希望致シマス

○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○森主査代理 採擇ニ決シマシタ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○森主査代理 日程第八、村社八海神社昇格ニ關スル請願、文書表第六四號——紹介議員今成留之助君
○坂東委員 是モ便宜上代ツテ紹介致シマス、新潟縣南魚沼郡城内村大字山口鎮座村社八海神社ハ瓊々杵命、國狹穂命、木花咲耶姫命ヲ祀ル延喜式神名帳所載ノ魚沼神社ニシテ由緒深ク古來官民ノ尊崇極メテ篤キ所デアリマス、仍テ同社ヲ郷社ニ昇格セシメラレタイト云フ請願デアリマスガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

ドウカト云フコトニ付キマシテハ、實ハ他ニモ類似ノ神社ガゴザイマシテ、マダ決定致シ兼ねテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ此ノ神社ノ由緒等ニ付キマシテ新潟縣ノ方カラ書類モ出テ參ツテ居ルコトデゴザイマスカラ、篤ト調査シタ上デ處理致シタイト思ヒマス

○坂東委員 一寸此ノ際政府ニ御伺ヒシテ置キマス、此ノ間モ申上ゲマシタガ、時間ノ關係ニ徹底セズニ濟シタノデアリマス、ソレハ此ノ請願ノ如クニ神社昇格ノ場合ノ境内地ノ問題デス、即チ内務省デハ此ノ昇格ハ境内地何方ニ要ルト云フ條件ヲ附ケマシテモ、其ノ境内地所管ノ稅務署ガ境内地トシテ認メテ登記シタ書類ヲ出シマセスト、内務省ハ認メシナイ、所ガ境内地ノ面積ニ關シマシテ内務省デハ假ニ一千坪ニシテ口言ヒマシテモ、稅務署ハ一千坪ニシテ口言ヒマシテモ、其ノ爲ニ境内地ガ決定シナイ、ソレレ内務省ハ之ヲ認メシナイ、サウ云フ實例ガ澤山アリマス、デアリマスカラ内務省デ決定シタ場合ニハ、稅務署デソレニ對シテハ異見ヲ言ハス、必ズ賛成スルヤウニ、内務省ト大藏省ハ能ク話合ヒテ付ケテ置ク必要ガアルト思ヒマスガ、ソレニ對シマシテ政府ノ御考ヘヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 府縣社デアリマスシテ、郷社、村社、ソレレニ神社院ト致シマシテ、一定ノ境内面積ニ付テ標準ヲ設テアルノデアリマス、ソレレニ付キマシテ只今御話ノヤウニ、又別ノ標準ヲ稅務署ノ方面ニ於テ立テ居ルト云フコトハ、私共理想シテ居ラナカッタノデアリマス、若シサウ云フコトガアリト致シマスレバ、是ハ甚ダワカシナコトデアリマスノデ、大分大藏省トモ連

絡ヲ取リマシテ、左様ナ矛盾ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス
○中野(實)委員 神様ノコトヲ聞達ツテハ長多イコトデス、議員ガ之ヲ採擇シテシマツテ、後デ此ノ神様ガ木花咲耶姫デナイ、即チ延喜式ニ於ケル魚沼神社デナイト云フコトニナルト、代議士ハ甚ダ神様ニ付テハ盲目デアルト云フコトニナリマスカラ、今政府ハ新潟縣廳ニ照會中ダト云フ御言葉モアリマシタカラ、坂東君ニ如何デセウ、議會中ニ照會シテ回答ヲ取ツテ戴クト云フコトニシテ、ソノ回答ガコツチニ來ルマデノ間延期ヲシテ戴イタラ宜クハナイノデスカ、代議士ハ神様ニ對シテ大變盲目デアアル、唯請願ヲ聽クニシタト云フ幾リヲ受ケルト思ヒマスカラ、私ハ今申上ゲタヤウニ、政府ハ速カニ新潟縣廳ヨリ回答ヲ求メ、此ノ議會中ニ答辯シ得ル準備ヲ整ヘテ戴クト云フ意味ノ下ニ、延期ヲシタイト主張致シマス

○坂東委員 ソレモ一ツノ方法デアリマスガ、其ノ例ガ澤山アリマスシ、縣カラ返事ガ來テモ直ダニキツバリ決マル譯デハナイ場合モアリマスカラ、ヤハリ十分調査シテ費フト云フ意味ノ採擇ニ何時モ取扱ツテ居ル譯デアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、ドウカ縣廳ノ報告モ聽キマシテ十分調査シテ費フト云フ意味ヲ採擇ヲ御願ヒ致シマス

○中野(實)委員 賛成
○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○森主査代理 採擇ニ決シマシタ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○森主査代理 日程第九、中頓別村ニ簡易保險、健康保險相談所設置ノ請願、文書表第七〇號——紹介議員坂東幸太郎君
○坂東委員 紹介議員坂東幸太郎君ノ體位向上ニ資スル爲ニ、同地方ニ簡易保險健康相談所ヲ設置スルコトハ、同地方ニ於ケル醫師ノ稀薄ナル分布状態ニ鑑ミマシテ緊要ナリト信ジマスルカラ、速カニ前記枝幸郡中交通至便ナル中頓別ニ簡易保險健康相談所ノ設置ヲ要望スル請願デアリマスガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○前田政府委員 簡易保險局ニ於キマシテ簡易保險健康相談所ヲ置キマス要件ト致シマシテ、大體私共ハ保險契約ノ普及狀況、相談所ハドウ云フ風ニ分布サレテ居ルカ、醫療機關ガドウ云フ風ニ普及致シテ居ルカ、ソレカラ其ノ附近ノ保健狀況、交通狀況、斯ウ云フ各種ノ事情ヲ考慮致シマシテ設置スルコトニ致シテ居リマスガ、中頓別村ニ醫療機關ノ普及シテ居ラナイト云フ點ト保險狀況ト云フヤウナ點カラ見マシテ十分ニ考慮ノ餘地ガゴザイマスルガ、何ヲ申シマシテモ毎年設置セラレマス所ノ相談所ノ數ガ多クゴザイマシテ、ノミナラズ又、先順位ノ候補地方多クゴザイマスノデ、急速ニ設置スルコト云フコトニハ一寸參ラナイカモ知レナイノデゴザイマス、左様御諒承置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○庄司委員 厚生當局ニ御伺ヒシタイノハ、中頓別村ニハ現在健康相談所ノ臨時巡回所ガ開設サレテ居リマセスカ

○前田政府委員 大體私ノ方デハ相談所ヲ置キマシテ、農山村方面ニ對シマシテ巡回相談所ヲ設ケテ、醫療方面ノ均等ニ行渡ルヤウナ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、

私共ノ方デ調査シタ所ニ依リマスルト、中頓別村ニハ巡回相談所ノ定期的ノモノヲ實行致シテ居ラスヤウデアリマス
○庄司委員 私ハ醫療機關ニ惠マレテ居リマセスト只今紹介議員カラ御紹介ガアリマシタ此ノ中頓別村ニ、順序トシテ先ヅ以テ臨時ノ保健相談所ガ設置サルノガ、他町村ノ從來ノ慣例ノヤウニ考ヘテ居リマスルガ、根本的ニハ醫療機關ノナイ此ノ村ニ簡易保險健康相談所ヲ設置スルト云フ請願ノ趣旨ヲ尊重シテ採擇ニ對シテハ賛成デアリマス、尙ホ希望ト致シマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、直チニ十六年度ニ於テ此ノ相談所ノ開設ヲ政府ノ御都合ニ依ツテ出來得マセンケレバ、暫定的ニ一月一回トカ二回トカ此ノ村ニ最寄ノ相談所ヨリ巡回出張所ヲ開設サレマシテ、此ノ村ニ醫療上ノ福利ヲ與ヘテ戴キタイト云フコトヲ眞劍ニ御願ヒ致シマシテ、本案ノ採擇ヲ望ミマス
○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

ノノ育成ニ向ツテ、カラ盡サナケレバナラナイコトハ勿論デアリマスガ、悲シイコトニハ我が國ハ乳幼児ノ死亡率ガ非常ニ多イノデアリマシテ、其ノ爲ニ人口問題ニ付テモ、非常ナル支障ヲ與ヘテ居ルコトハ、私ガ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、左様デアリマスカラ、政府ハ昨年から乳幼児ノ體位ノ向上ノ爲ニ、醫師ト共ニ全國六方ノ會員ヲ動員シテ、是ガ指導ニ當ラセテ居ルノデアリマス、産婆ト共ニ全國六方力ナガラモ其ノ責任ヲ痛感致シマシテ、苟且ニモ産婆ノ手ニ依ツテ生レタ子供ガ、育チガ悪クテ死スヤウナコトガアツテハ、自刻ミマシテ、産婆ノ會ノ内輪ニ於キマシテハ、育兒ト榮養ノ知識ヲ會員ニ修得サセルヤウニ努メマシテ、全會員渾身ノ努力ヲ以テ、御奉公シヨウト云フ考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯今日ノ場合其ノ力ノ足ラナイ状態デゴザイマス、御承知ノ通り産婆規則ガ制定致サレマシタカラ、既ニ四十年モ経過シテ居ルノデアリマシタケレドモ、二、三ノ改廢ガアリマシタケレド、内容ノ根本ハ依然舊態ノ儘デ居ルノデゴザイマス、醫學ガ進ミ醫師ノ他ノ關係者ノ教育機關モ、可ナリ完備ノ域ニ達シテ居ルニモ拘ラズ、産婆ノ方ハ昔ノ儘ニナツテ居ルコト云フコトハ、獨リ産婆ノ側カラバカリデナク、國家カラ見テモ非常ニ残念ナコトデアリマス、而モ體力管理法ハ既ニ實施サレマスシ、又衛生法モ本年カラ實施サレルコトニナツテ居リマスニ拘ラズ、之ニ密接ナル關係ヲ持ツテ居ル産婆ニ關スル制度ガ、單ニ昔ナガラノ助産ノ儘デ行クト云フコトハドウシテモ宜クナ

イ、時代ノ要求ニ應ジテ獨リ分娩ノ當座バカリデナク、妊娠カラ分娩ソレカラ生レタ子供ガ一通リ育ツマデノ間、即チ母子雙方ニ對スル難責ヲ全ウサセルニ、ドウシテモ現在ノ産婆ノ教育ノ範圍ヲ擴メ、其ノ程度ヲ高メマシテ、素質ノ優秀ナル産婆ヲ作り上ゲテ行クト云フコトガ、第一ニ必要デアリマス、又其ノ團體ニ法人格ヲ與ヘマシテ、地方ト中央ヲ統一サシタル組織ニシテ、政府ノ指導ノ下ニ、國家ノ要求ノ下ニ、母子ノ保護ノ爲ニ働カシテ行クト云フコトハ、絶對ニ必要デアルト存ジマス、殊ニ段々保險制度ガ進んで參リマシテ、醫師ノ方ハ健康保險デモ、國民健康保險デモ、或ハ職員健康保險デモ、凡ニル社會保險ニ對シテハ、既ニ醫師會ト云フ公法人ガ出来テ居リマス爲ニ、政府ハソレヲ指導シテ、末梢ノ會ニマデ徹底サスヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、産婆ノ方ハ、醫師ガ醫療ヲ擔當スルト同ジヤウニ、助産ヲ擔當シテ居ルニ拘ラズ、其ノ擔當スルガ爲ニハ個々デハ出來マセヌカラシテ、自分等デ自發的ニ産婆會ヲ作ツテ、團體ガ希望ニ應ジテ居ルニモ拘ラズ、其ノ團體ガ依然トシテ元ノ施設ノ儘デアルト云フコトハ、産婆ノ方カラ見マシテモ、非常ニ都合ガ悪イコトデアリマスシ、又國家トシテモ拘ラズ不便デアラウト考ヘルノデアリマス、紹介議員ハ此ノ產婆法請願ノ當初カラ、又同志議員ト共ニ產婆法案提出ノ初メカラ今日マデ、ズツト之ニ關係シテ居ルノデアリマスガ、今マデハ政府ノ意向ガ、産婆ト云フモノハ醫師ヨリモ低級ナルモノデアアル、殊ニソレハ女デアアル、サウ云フモノニ對シテ法律ヲ以テ身分ヲ定メ、又其ノ團體ニ公法人ノ資格ヲ與ヘルト

ニ於キマシテハ、此ノ點ニ十分ナ御同情ト御理解ヲ持ツテ戴キタイト存ジマス、殊ニ此ノ問題ニ付キマシテハ、先年醫藥制度調査會ガ出来マシタ際ニ、私ハ其ノ總會ニ於キマシテ、最初政府ノ方ノ案ハ醫藥制度ニ携ハル身分トシテハ醫師、齒科醫師及ビ藥劑師ダケノ問題ヲ、取上ゲルヤウナモノデアリマシタガ、私ハ産婆ト云フモノヲ除外ニ考ヘルコトハ出来ナイデハナイカト云フコトヲ申シマシテ、産婆モヤハリ此ノ醫藥制度調査會ノ方面ノ改訂ニ向ツテ調査サルルコトヲ云フコトニナリマシタノデ、私ハソレニ期待シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テモ特ニ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、今年ハ吾々年來産婆法案ヲ提出シテ居リマシタ議員カラモ、同様ノ案ヲ出シタノデアリマシケレドモ、御承知ノ通り時局ガ時局デアツテ、成ベク政府ハ此ノ議會ヲ摩摻ノナイ、或ハ簡單ニ片付ケタイ、早ク濟マセタイト云フ考ヘカラ、政府自身モ提出ノ豫定デアツタ過半數ノ法案ヲ提出ヲ見合ヘセラレタヤウナ譯デアリマスガ、私共モ同志協議ノ上、一旦ハ提出ハシテ置キマシタガ、上程ノ點モ十分御諒解下サイマシテ、委員各位ニ於キマシテハ滿場一致、此ノ通過ニ御賛成下サルト同時ニ、政府當局ニ於キマシテモ、ドウゾ之ヲ今後請願委員會ノ年中行事ニ終ラセルコトナクシテ、本當ニ日本ノ第二ノ國民ヲ立派ニ作リ上ゲルモノダト云フ意味ニ於テ、請願ノ趣旨ガ速カニ實現サレルコトヲ希冀致シマス

○坂東委員 政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス
○加藤政府委員 産婆ニ付キマシテ、只今續、御話モゴザイマシタヤウニ、今日其ノ任務ハ頗ル重大ニナツテ来テ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマシテモ、産婆ノ素質ヲ向上サセルト云フ點ニ付キマシテハ、十分其ノ必要ヲ認メテ居ル次第デアリマスガ、茲ニ産婆法ヲ制定致シマシテ、法人ノ産婆會ヲ設ケルコトヲ云フヤウナ點ニ付キマシテハ、尙ホ十分ニ考慮ヲ致シマシテ、其ノ上ニ決定ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス
○坂東委員 茲ニ此ノ委員會テ助産師法制定ノ請願ガ採擇ニナツテ居リマスノデ、同一名稱ヲ行キマスナラバ、審議ヲスルマデモナイ、即チ審議セズ採擇スルノデアリマス、此ノ請願ノ内容ハ大體ソレト似テ居リマシケレドモ、名稱ハ産婆法デアリマスガ、別ノ議案トシテ之ヲ取扱ツタ譯デアリマス、而シテ此ノ請願ノ趣旨ハ、必ズシモ産婆法ト云フ名稱ニ拘泥シテ居ラス、現在ノ名稱ニ産婆ニ關スル法律ノ制定、サウ云フ意味ニ解釋スルノデアリマス、隨テ政府トシテ斯カル法律ヲ作ル場合ニハ、助産師法ト云フ名稱、或ハ産婆法ト云フ名稱等澤山アリマスガ、其ノ名稱ニ關シテハ十分研究セラレテ、サウシテ此ノ請願ノ趣旨ガ實現スルヤウニ、十分御努力、御研究ヲ御願ヒ致シマス、採擇ヲ御願ヒ致シマス
○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○森主査代理 ソレデハ採擇ニ決シマス

○森主査代理 日程第一、人工甘味質取締規則一部改正ノ請願、文書表第一〇二號 紹介議員山本芳治君
○坂東委員 是モ私代ツテ紹介致シマス、本請願ノ趣旨ハ、我ガ國民ノ副食物トシテ日常缺クベカラザル重要食料デアリマシテ、農村副業加工品トシテハ益、改善ノ必要ヲ生ジテ居リマス、而シテ多年ノ技術研究ト市場販賣ニ於ケル實驗ノ結果、漬物ノ製造ニ「サクカリン」ヲ適量ニ使用スル時ハ、保健衛生上無害ナル「ミナラズ」長期ニ互リ變質變味ヲ防止シテ食品價値ヲ向上シ、而シテ生産費ヲ低減スルニ利益スルコトハ實ニ其大デアリマス、然ルニ内務省令タル人工甘味質取締規則ガ、其ノ使用ヲ禁止スルコトハ洵ニ遺憾ニ堪ヘマセズ、仍テ該規則ヲ改正シ、漬物ニ限リ「サクカリン」一万分ノ一ヲ限度トシテ、之ヲ使用シ得ルヤウ除外例ヲ設定ヲ希冀スル請願デアリマス、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○加藤政府委員 本件ニ關シマシテハ、政府ニ於キマシテモ、豫テカラ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、今日マデニ於キマスル試驗ノ結果ハ、一定ノ分量及ビ一定ノ濃度ノ範圍内ニ於キマシテハ、保健衛生上危害ハナイト云フヤウナ結論ヲ見テ居ル次第デアリマスガ、是ガ解釋ノ方法ニ關シマシテ、其ノ適用ラドノ範圍ニシ、ドノ程度ニシテ宜イカト云フヤウナ事情ニ付キマシテハ、尙ホ色々ト研究ノ餘地モゴザイマスノデ、研究ヲ急イデ居ルヤウナ次第デアリマス、政府ニ於キマシテモ、成ベク速カニ本件ノ解決ヲ圖リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○坂東委員 此ノ請願ハマデ第六十五、第七十、七十三、七十四、七十五同程採擇サレ、其ノ度毎ニ政府ハ研究スルト云フテ居リマス、此ノ一万分ノ一「サクカリン」ヲ使フコトハ、實ニ微細ナモノデアリマシテ、現在ハ砂糖缺乏ノ結果、民間デモ「サクカリン」ヲ使ツテ居ル、私共モ實驗シテ居ルガ、一般常識的ニハ大シク害ハナイ、一万分ノ一位ノ「サクカリン」ヲ使ツテモ害ガアルトカ、其ノ外ニ斯ウスレバ害ガアルト云フ何カ理由ガアリマスガ、其ノ點ヲ伺ツテ置キマス
○加藤政府委員 本件ニ付キマシテハ御話ノ通り、數年來請願ガゴザイマス、隨ヒマシテ只今申上ゲマシタヤウニ、政府トシテモ種々研究ヲ致シマシテ、試驗ノ結果ハ、一定ノ分量ト濃度ヲ以テスレバ、保健衛生上ハ支障ナシト云フ結論ヲ得タ次第デアリマス、隨テ今度ハ此ノ請願ニモアリマスヤウニ、取上之ヲ解釋スル點ニ付テノ研究ヲ進メテ居リマシテ、其ノ方法トシテ、ドノ程度ノモノニ、ドノ範圍ニ於テ則チ則チ度々宜イカト云フヤウナコトヲ、目下急イデ研究ヲシテ居リマス、成ベク速カニ、多量本請願委員會問題ニナツテ居ル問題ヲ解決致シタイト考ヘテ居ルコトヲ申述ベタ次第デアリマス
○中野(實)委員 是ハ坂東君カラモ申上ゲタ通りデアリマスガ、數回ニ互リ請願デアシテ、サウシテ衛生試驗所ニ於テ支障ナシト云フ結論ヲ得タノニ、尙ホ採擇ヲ採ラザラヤウナ譯デアリマスガ、是ハ怪シカラズ、エテ問題ノ解決ノ生温イコトヲ稱シテ「サクカリン」的デアルト云フテ居ルガ、此ノ忙シイ政務ヲ進行スルニ、ソナナニ「サクカリン」的ニヤラレテハタラナイ、何時マデ之ヲ實行ニ移スノカ、政府ノ決意ノアル所ヲ伺ヒタイト

○加藤政府委員 試驗ハ一應終了致シマシタコトハ、是ハ申上ゲタ通りデアリマス、隨テ今度ハ請願ノ趣旨ニアリマスヤウニ之ヲ法律上ノ問題トシテドノ程度ニ於テ、ドノ範圍ニ許シタ宜イカト云フ點ヲ、最近急イデ調査ヲシテ居ルト云フ點ヲ申上ゲタノデアリマス、其ノ時期ハ成ベク速カニ解決ヲ致シタイト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、私共ノヤツテ居リマスル事情ガ、相變ラズ試驗ヲヤツテ居ルト云フ譯デアゴザイマセズ、從前ヨリハ餘程進捗致シテ參ツテ居ルコトヲヤウニ考ヘテ居リマス
○坂東委員 採擇ヲ希冀致シマス
○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○森主査代理 ソレデハ採擇ニ決シマシタ

○森主査代理 日程第一、請願文書表第二六號、玄米主食ニ關スル請願 紹介議員 員内ヶ崎作三郎君
○坂東委員 此ノ問題ハ過日審議シマシテ、農林大臣ノ出席ヲ求メテ、其ノ意見ヲ聴イテ決メル、斯ウナツテ居ツタノデスガ、只今紹介議員ガ居ラレマスガ、一應紹介議員員カラ更ニ御伺ヒシテモ差支ヘナイと思ヒマス
○内ヶ崎作三郎君 此ノ請願ハ此ノ前北村代議士ヨリ御紹介致シマシテ、本委員會ニ於テ極メテ慎重ナル御取扱ヲ受ケタノデアリマス、私ハ出席シナカッタノデアリマシケレドモ、速記録ヲ拜見致シマス、玄米食ヲ中心トシテ種々ナル意見ノ交換ガアツタノデアリマス、サウシテ一應農林大臣ノ出席ヲ願ツテ、然ル上ニ更ニ審議ヲシタイト云フヤウナ意向デ、是ハ中止ニナツテ居ルヤウデゴザイマス、農林大臣ハ定メシ御多忙ノコトト思ヒマスレドモ、前ノ委

員會ノ空氣ヲ見マスルト、ドウシテモ農林大臣ノ御意見ヲ承リタイト云フヤウニナツテ居ルヤウデアリマスルカラシテ、他日農林大臣ノ御都合ノ好イ時ヲ見計ツテ、又審議ヲ繼續セラルルヤウニ致シマシテ、本日ハ之ヲ御延期ニナルヤウニ御願ヒ致シマス
○庄司委員 只今内ヶ崎君ノ御聲明モアリマシタガ、ヤハリ本委員會ノ分科會ニ於キマシテハ農林大臣ノ御出席ヲ求メテ、直接責任アル御答辯等モ參考ニ查シタイト云フコトデアリマシタ關係上、此ノ日程第一二ハ大會ノ總會マデ延期ノ程ヲ主査ヨリ御取計ヒ願ヒマシテ、延期ニシタイト思ヒマス
○森主査代理 只今御總キノ理由ニ依リマシテ、延期スルコトニ決定シテ御異議ゴザイマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○森主査代理 デハ左様ニ取計ヒマス

○森主査代理 日程第一三、請願文書表第六三、養蠶防止ニ關スル請願 紹介議員 坂東幸太郎君
○坂東委員 是ハ北海道上川郡新得町ノ柱木彌吉ト云フ個人ノ請願デアリマスガ、其ノ事情ハ北海道全體ニ互ル大キナ問題デアリマス、其ノ趣旨ハ、「從來ノ對症ノ農業補助政策ヲ以テシテハ到底農村部落ヨリ離農ヲ防止スル能ハサルヲ以テ農業ノ基礎タル耕地ノ整理ヲナシ住宅及農業附屬建物ヲ基礎トスル「基礎」ヲ設定シテ農業經營ノ安定化ヲ圖ルノ要アリト信ス依テ速ニ斯ル適正經營方法ヲ指導普及ヲ圖ラシ」ト云フノ旨ガ趣旨デアリマス、尙ホ御參考マデニ申上ゲマスガ、北海道ハ昨年米作ハ約半作デ、一昨年三百四十餘万石ニ對シテ二百万石ガ

切レテ居ルノデアリマス、サウ云フ關係カラ米作農業殊ニ小作ノ方ハ其ノ村ヲ去ツテ勞働者ニナルト云フ傾向ガ非常ニ多イデアリマス、昨年度ノ北海道ノ作付段別ハ八萬三千餘町歩デアリマスガ、現在ノ趨勢ヲ此ノ儘ニ放任シテ置キマスルナラバ、約一割ノ離農者ガ出ルト吾々ハ見テ居ルノデアリマス、サウスルト約一萬八千町歩ケ米作地方減反スルト云フ狀況ニアルノデアリマス、而シテ請願ノ趣旨ハ、是マデノ耕地政策ナルモノガ、單ニ土地ヲ何町ヤル、何町賣ツテヤル、ソレダカラ耕作シロト云フ方針デアリマスガ、ソレデハイケンナイ、ソコデ耕地ノ整理ヲスルガケデハナクシテ、住宅及ビ其ノ建築ノ仕方、或ハ附屬ノ建物、家畜、農具等ヲ基礎トシテ、合理的基礎ヲ標準ニスル所、基礎アル經營方針ヲ立テテ、農業ヲ經營セシムルノデナケレバ、堅實ナル農業ノ發展ハ覺ズナイと思ヘレマス、從來ノヤウナ所謂對症ノヤリ方デハ駄目デアリマス、故ニ基礎アル方針ヲ樹立シテ以テ離農ヲ防止セト云フノガ本請願ノ趣旨デアリマス、之ニ對シマシテ政府ノ御意見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス
○湯河政府委員 只今ノ請願ノ御趣旨ハ、農林省ト致シマシテモ、非常ニ大事ナ問題ダと思ツテ居リマス、實ハ農家ノ安定ヲ圖リマス爲メ、農家ノ經營規模ヲ適正ナラシムルコトヲ云フコトハ、夙ニ必要ト認メマシテ、政府ニ於キマシテハ、本年度カラ全國ノ調査ヲ行ツテ居リマス、サウ致シマシテ、各地帶ソレソレノ事情モゴザイマスノデ、ソレレノ各地帶ノ農業上ノ條件ニ適スル適正標準ト云フモノヲ確立致シマシテ、農家ノ安定ヲ圖ル、所謂安定農家ヲ創設スルト

云フ方針ヲ執ツテ進ンデ居ルノデアリマス、只今ノ請願ノ御趣旨モ、斯ウ云フ風ナ行キ方ニ依リマシテ、達成シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス
○庄司委員 農民ガ農村ヨリ離農スルト云フコトハ固ヨリソコニ色々ナ原因ノアルコトハ、政府ニ於テモ御承知ノ通りデアリマス、意識的ニ農村ヲ離農スル者アリ、或ハ政府ヨリ努力ヲ強要サレテ、農村ノ子弟ガ離農スル場合モアリ、或ハ滿洲ノ青少年義勇軍トシテ募集サレ、或ハ職業紹介所、職業補導所等ノ方面ノ、一日ニ回デアルトカ、三圓デアルトカ、其ノ他色々有利ナ條件ノ「ボスター」ガ貼リ付ケラレテ、ソレニ依ツテ離農スル青少年モ中ニハアルノデアリマス、私ハ只今坂東サンノ御紹介ニナラレマシタ請願ノ趣旨ハ、是ハ北海道ニ於テ特ニ特異性ヲ持ツテ居ル離農問題デアルト考ヘマス、私共モ昨年末頃北海道ノ視察ニ參リマシタガ、北海道ニ於ケル米ノ主産地デアリマス空知、上川支廳管内ニ於テ、田地ノ未作付地方三千八百町歩程アツタト云フコトヲ聴イテ參リマシタ、北海道ニ於テハ過去一箇年間ニ農村ヲ離村シタ者ガ、一萬七千人デアツタト云フ統計モ、ハッキリ調べ參ツタノデアリマス、北海道ニ於キマシテハ、特ニタ張炭、或ハ其ノ他ノ殷賑産業、軍需工業、或ハ空軍、函館等ノ港方面ノ自由労働者、サウ云フ方面ニ農村ノ方々ガ、一時的ノ出稼ギデハナク、農村ニ絶望ヲシテ離村スルト云フ、由キシイ所ノ農村ノ社會問題ガ起ツテ居ルノデアリマス、是ハ食糧局長官ニ於ケレマシテハ、特ニ御研究ノコトト思ヒマスガ、内地ノ農村ト違ヒマシテ、北海道ハ一段歩當リ二石位ノ所ガ最高ノ米ノ生産額デアル、内地ノ

ヤウニ三石五斗、或ハ四石ト云フヤウナ收獲ハゴザイマセス、最高二石デアリマスカ...

リマスタ、船岡ト云フ所ニ海軍ノ工廠ガ出...

依ルト唯代議士ナドノ言フコトハ御土産...

翼賛會ノ役員ナドガ來ルト雖モ撒イテ居...

カラ、サア俺ガ團長ニナツテ行クカラ皆滿...

状態デアリマス、而シテ米ノ實收高見マ...

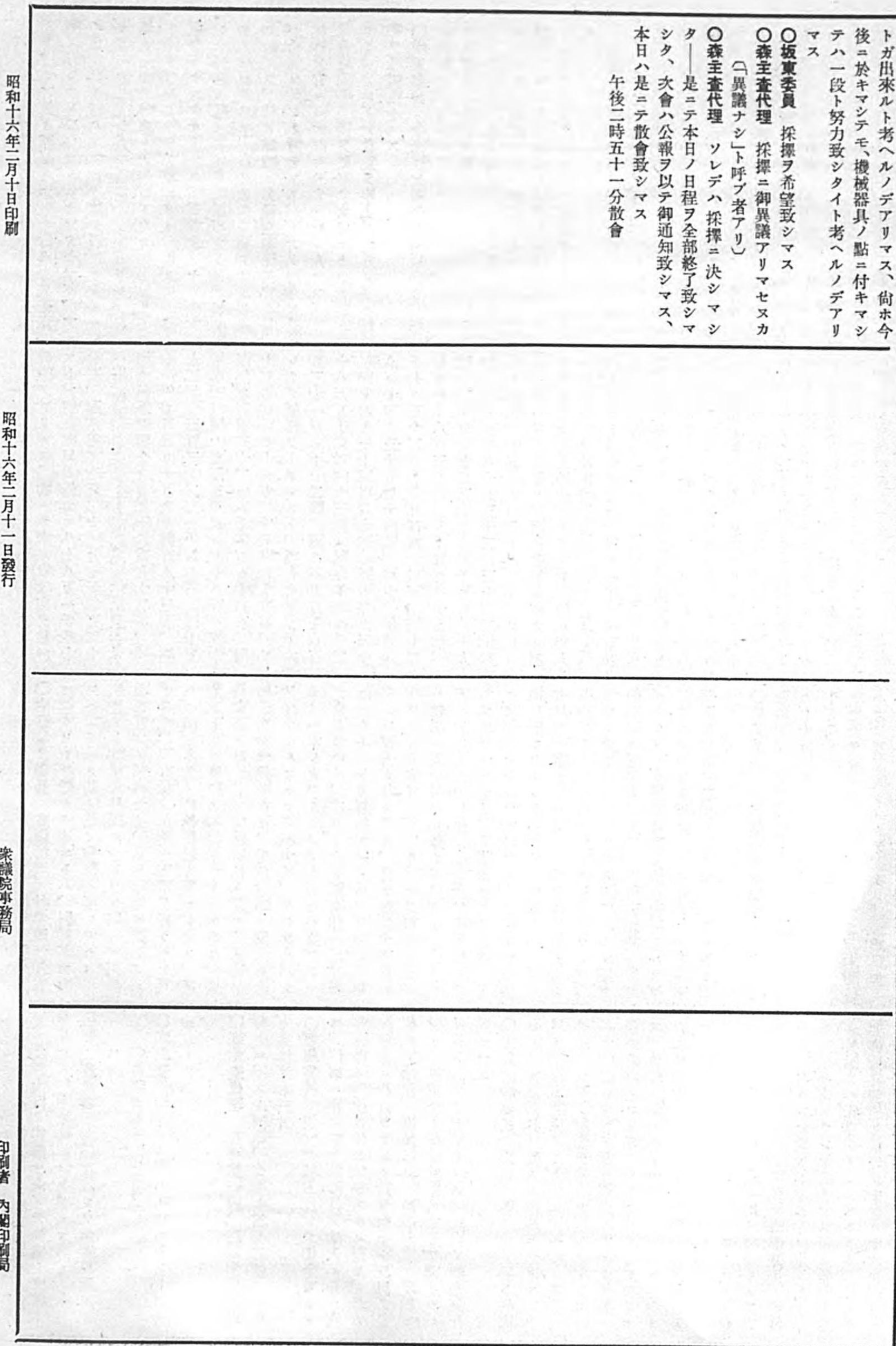
○中野(實)委員 食糧増産ニ付テ湯河長官...

○森至查代理 日程第一四、海軍關係發明...

トガ出来ルト考ヘルノデアリマス、尙ホ今後ニ於キマシテモ、機械器具ノ點ニ付キマシテハ一段ト努力致シタイト考ヘルノデアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
 ○森主査代理 採擇ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)

○森主査代理 ソレデハ採擇ニ決シマシタ
 是ニテ本日ノ日程ヲ全部終了致シマシク、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
 午後二時五十一分散會



昭和十六年二月十日印刷

昭和十六年二月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第三類 第四號

第七十六回帝國議會 請願委員第三分科(陸軍省、海軍省、逓信省及拓務省所管)會議錄(速記第一回)

(八七)

會議
 昭和十六年二月五日(水曜日)午前十時二十八分開議
 出席委員左ノ如シ
 主席 北原阿智之助君
 小山田義孝君 熊谷五右衛門君
 福田 梯夫君 松尾 三藏君
 渡邊 健君 渡邊玉三郎君
 兼務
 北浦圭太郎君 鈴木 正吾君
 坂東幸太郎君 森 幸太郎君
 阿部 茂夫君 小高長三郎君
 川副 隆君 土田 莊助君
 鶴 惣市君 最上 政三君
 委員長 加藤 知正君
 出席政府委員左ノ如シ
 逓信省郵務局長 藤井 崇治君
 逓信省電務局長 安田 丈助君
 逓信省管船局長 尾關 將玄君
 航空局長官 手島 榮君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ
 一 靖國神社境域附近ニ從軍動物慰靈塔建設ノ請願(第五三號)
 二 陸中中野郵便局ニ集配事務開始ノ請願(第五二號)
 三 御明神郵便局ニ電信電話事務開始ノ請願(第三號)
 四 天賣、燒尻兩島岩前港間ニ命令航路開設ノ請願(第四一號)
 五 大洋ニ於ケル霧中船舶衝突豫防ニ關スル請願(第四九號)

六 鳴門海峡並平戸瀬戸ノ海難防止施設ニ關スル請願(第五〇號)
 七 下關海峡ノ海難防止施設ニ關スル請願(第五一號)
 八 稚内町ニ飛行場設置ノ請願(第三八號)
 九 苫前村ニ航路標識施設ノ請願(第四〇號)
 ○北原主査 是ヨリ第三分科會ヲ開會致シマス、私ガ主査ヲ勤メルコトニナツテ居リマスガ、宜シク御願ヒ致シマス、ソコデ一寸願ツテ置キタイノハ、私ハ少シ耳ガウトイノデアリマスカラ、發言ノ御方ハ成ベク高聲ニ御願ヒ致シマス
 是ヨリ日程第二、陸中中野郵便局ニ集配事務開始ノ請願、文書表第五二號ヲ付議致シマス
 ○坂東委員 日程第一、第二、第三ハ、紹介議員モ只今席ニ居リマセスカラ、後廻シニサレシコトヲ希望致シマス
 ○北原主査 日程第一、第二、第三ハ後廻シニスルヤウニト、坂東君ノ御意見デアリマスガ、御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)

○北原主査 次ハ日程第四、天賣、燒尻兩島岩前港間ニ命令航路開設ノ請願、文書表第四一號ニ紹介議員坂東君
 ○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ、北海道苫前、天賣、燒尻兩島ハ同郡苫前港カラ僅カニ一時間餘ヲ以テ航行シ得ル沖合ニアリマシ

テ、物資ノ供給其ノ他ニ於テ密接ナル關係ヲ有スルニ拘ラス、未ダ命令航路ノ開設ガアリマセカス爲ニ、兩島民ノ不利不便ガ少クアリマセスカラ、速カニ前記天賣、燒尻兩島ト苫前港トノ間ニ定期命令航路ノ開設ヲ希望スルト云フノデアリマス、此ノ請願ハ既ニ六十九、七十、七十三、七十四、七十五議會ト互ツテ採擇ニナツテ居リマスガ、政府ハドウ云フ御意見デアリマスルカ、御同ヒ致シマス
 ○尾關政府委員 只今坂東君ノ仰シヤツタ趣旨ハ、洵ニ御尤モナ點デアルト存ズルノデゴザイマスルガ、現在ニ於キマシテ天賣、燒尻、兩島ト苫前トノ間ニハ國庫補助ニ依ル北海道廳命令ノ航路、即チ小樽稚内線ガゴザイマシテ、夏四月カラ十一月マデハ毎月六回船ガ通ツテ居リマス、ソレカラ留前ト苫小前トノ間ニハ鐵道ガアリマスルノデ、結局斯ウ云フ方面ヲ通ツテ今連絡シテ居リマス、隨テ必要ハ認メテ居ルノデアリマスガ、他ノ方面トノ權衡上尙ホ實現サレテ居ラナイノデゴザイマスルガ、是カラ色々此ノ交通トカ貨物其ノ他ノ狀況ニ依リマシテ、尙ホ一層今ヨリモ必要ヲ認メタ時ニハ、他ノ方面トノ權衡モ圖リ、又財政ノ都合モ考慮致シマシテ、御趣旨ニ副マヤウニ研究シテ見タイト思ツテ居リマス
 ○坂東委員 尙ホ一寸私カラ申上ゲマスルガ、現在此ノ苫前港ハ既ニ小規模ナガラ出来テ居リマシテ、更ニ數方圓ヲ投ジテ淺瀬

工事ヲヤルコトニ決マツテ居ルノデアリマス、而シテ天賣、燒尻ハ北門ノ水産ノ寶庫中ノ寶庫デアリマシテ、何時デモ漁獲物ガ山積シテ居ルノデアリマスカラ、ドウシテモ苫前トノ間ノ連絡ヲ取ル爲ニ命令航路ヲ開設シテ戴キタイ、詰リ現今隔日ニ發動機船ガ出テ居ルノデスカラ、實地ニ更ニ御同ヒマシテ、是非此ノ請願ノ趣旨ヲ實施サレマスルヤウニ特段ノ御配慮ヲ御願ヒ致シマス、採擇ヲ願ヒマス
 ○北原主査 坂東君ノ御意見ニ御異議アリマセスカ
 (異議ナシト呼ブ者アリ)

○北原主査 日程第五、大洋ニ於ケル霧中船舶衝突豫防ニ關スル請願、文書表第四九號ニ紹介議員坂東君
 ○坂東委員 此ノ請願ノ趣旨ハ、船舶ノ速力ト船型ハ斯界ノ進歩發達ト共ニ増大致シマシテ、船舶ノ數ハ頗ル増加シテ居リマスガ、大洋ニ於テ霧中降雪暴雨中各船ハ殆ド全速力デ航走スルヲ以テ、船舶ノ衝突頻出シツツアルコトハ洵ニ遺憾ニ堪ヘマセカ、而シテ衝突豫防策トシテハ霧中信號ヲ頻發シ、大洋主要航路ヲ協定シ、各船無線ニテ動靜ヲ知り合ヒ、他船ノ霧中信號ヲ聽イタ時ハ直チニ速力ヲ停減シ、汽笛汽角ハ優良ナルモノヲ使用セシムル等種々ナル方法ガアラウト思ヒマス、仍テ是等ノ實行ノ爲ニ海上衝突豫防法ヲ改正又ハ關係諸外國ト航

第三類第四號 請願委員第三分科會議錄 第一回 昭和十六年二月五日

第三類第四號 請願委員第三分科會議錄 第一回 昭和十六年二月五日

第三類第四號 請願委員第三分科會議錄 第一回 昭和十六年二月五日

第三類第四號 請願委員第三分科會議錄 第一回 昭和十六年二月五日

○北原主査 坂東君ノ御意見ニ御異議アリ
マセヌカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○北原主査 御異議ナシト認メマス、仍テ其ノ通り決シマシタ

○北原主査 次ハ日程第三、御明神郵便局ニ電信電話事務開始ノ請願、文書表第三號、之ヲ付議致シマス——紹介議員田子一民君

○庄司委員 本請願モ前同様に紹介議員八田子先生デアリマスガ、私ガ代ツテ申上ゲマス、本請願ハ岩手縣岩手郡御明神村長谷地重之助君外十二名ノ請願ニ係ルモノデアリマシテ、同村ノ郵便局ニハ未ダ電信電話等ノ通信文化ノ設備ガゴザイマセヌ、最寄ノ磐石郵便局ヘハ道路ノ勾配、屈曲、高低差ダシク村民ガ甚ダ不便ヲ感ジテ居ル、仍テ同村郵便局ヲシテ速カニ電信電話事務ヲ御開始下サルヤウ御願ヒ申上ゲタイト云フ請願ノ趣旨デアリマス、逕信當局ノ御意見ヲ拜聽致シマシテ、採擇ヲ御願ヒ申上ゲマス

○安田政府委員 只今御明神郵便局ニ付キマシテ電信電話ノ事務開始ヲ請願ナサイヤシタニ付キマシテハ、其ノ地況、其ノ通信量ナドニ付キマシテ全ク御尤モノ次第トハ存ジマスルガ、此ノ局ハ元來磐石郵便局ノ加入區域内ニゴザイマスノデ、當省ト致シマシテハ、從來局種ノ上級ノモノヨリ順次ニ開始スルヤウ方針ヲ採ツテ参リマシタガ、時局ノ關係モゴザイマスノデ、サウ一律ノ標準ノミニ依ルコトナクシテ、必要ノ程度ノ高イモノヲ抽出致シマシテ開始スルヤウニ参ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ局ハ磐石局ノ加入區域内ニゴザイマスルガ、是ハ地元ノ逕信局長ニ具體的ニドノ局ニ電信電話

事務ヲ開始スルカト云フコトノ選決ヲ委任致シテ居リマスノデ、コチラノ方デハ單ニ局數ノミヲ配置シテ居ルヤウナ關係デゴザイマスカラ、御趣旨ノ所ヲ十分ニ地元ノ逕信局長ノ方ヘ移讓ヲサセマシテ、地元ノ逕信局長ノ決定ニ資スルヤウ十分ニ考ヘタイ、斯様ニ存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○北原主査 坂東君ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○北原主査 異議ナシト認メマス、仍テ其ノ通り決シマシタ——今日ハ是デ散會致シマス、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス
午前十時三分散會

昭和十六年二月五日印刷

昭和十六年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第三類 第四號)

(一四四)

第七十六回帝國議會 請願委員第三分科(陸軍省、海軍省、逕信省及拓務省所管)會議錄(速記)第二回

會 議
昭和十六年二月十二日(水曜日)午前十時二十七分開始

出席委員左ノ如シ

主査代理 委員長加藤 知正君

小山田義孝君 加藤 健造君

福田 悌夫君 松尾 三蔵君

渡邊 健君 渡邊玉三郎君

北浦圭太郎君 坂東幸太郎君

森 幸太郎君 小高長三郎君

小野 寅吉君 中野 寅吉君

野口 喜一君 最上 政三君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍次官 阿南 惟幾君

文部省實業學務局長 關口 勳君

逕信省郵務局長 藤井 崇治君

逕信省電務局長 安田 丈助君

逕信省管船局長 尾關 將玄君

電氣廳部長 森 秀君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員鶴見 祐輔君 同沖島 鐘三君

同今成留之助君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一 靖國神社境域附近ニ從軍動物慰靈塔建設ノ請願(第五三號)

二 多根村ニ三等郵便局設置ノ請願(第七一號)

三 神田村ニ無集配郵便局設置ノ請願(第一〇五號)

四 花巻駅前ニ無集配三等郵便局設置ノ請願(第五三號)

第三類第四號 請願委員第三分科會議錄

第二回 昭和十六年二月十二日

請願(第一二二號)

五 電燈線引込口ニ避雷設備施工ノ請願(第六〇號)

六 大型船ノ同一船名使用禁止ニ關スル請願(第八七號)

七 商船教育振興ニ關スル請願(第八九號)

八 國際信號ニ關スル請願(第九〇號)

九 官立船舶無線電信學校設立ニ關スル請願(第九一號)

○加藤主査代理 是ヨリ第三分科會ヲ開會致シマス、主査ハ病氣ノ爲ニ缺席セラレマシタカラ、私ガ代理ヲ致シマス

○加藤主査代理 是ヨリ第三分科會ヲ開會致シマス、主査ハ病氣ノ爲ニ缺席セラレマシタカラ、私ガ代理ヲ致シマス

○加藤主査代理 延期ニ御異議アリマセヌカ

○加藤主査代理 ソレデハ延期スルコトニ決定致シマス

○沖島鐘三君 本請願ハ島根縣飯石郡多根村ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシトノ請願デアリマスガ、此ノ多根村ハ雲霧本線ノ多根關ガアリマシテ、同地方ノ木材薪炭其ノ他ノ林産物及ビ農産物ノ集散地トナリマシテ、通信利用關係方激増致シテ居ルノデアリマスガ、未ダ郵便局ノ設置ナク、最寄ノ掛合局及ビ掛山局ハ何レモ二里以上隔ツテ居ルガ爲ニ、通信上住民ノ蒙ル不利不便ガ少クナイノデアリマス、仍テ速カニ本村ニ三等郵便局ヲ設置セラレタイト云フノデアリマス、簡單ニ理由ヲ申述ベマスト、本村ハ島根縣ノ飯石郡ノ中央ニ位シテ居リマシテ、雲霧本線開通同時ニ、多根關ガ設置セラレタ、此ノ雲霧本線ト云フノハ省營自動車ノコトデアリマスガ、爾來木材、薪炭其ノ他ノ林産物並ニ農産物ノ集散地トナリマシテ、時局下益々増産ノ傾向ニアリマス、且ツ簡易保險ニハ全村全戸ガ加入シテ居リ、貯金、小包郵便、爲替等モ益々増加シツツアルヤウナ狀況デアリマシテ、郵便局設置ハ實ニ焦眉ノ急ニアリマス、然ルニ最寄リノ既設局デアリマス掛合、掛山局ヘハ、最長二里半、最短一里半隔ツテ居リマシテ、之ニ往復スルニ半日ヲ要スル有様デアリマス、車便下物資ノ増産ヲ要スル時ニ、住民ノ蒙ル不利不便モ洵ニ大ナルモノガアルバカリデナク、勞働力ノ低下ヲ來ス狀況デアリマス、殊ニ此ノ郵便局ガ本村ニ設置サレマシタ曉ハ、本村ハ固ヨリ隣接村ノ松笠村、中野村、鍋山村ノ一部分モ之ヲ利用スルコトニナリマスカラ、僅ニ四、五百戸ガ其ノ便ヲ得ルコトニナルノデゴザイマス、斯様ナ次第デ速カニ郵便局ノ設置ヲ希望スル次第デアリマス、何卒全會一致御採擇ヲ御願ヒ致シマス

トニナリマスカラ、僅ニ四、五百戸ガ其ノ便ヲ得ルコトニナルノデゴザイマス、斯様ナ次第デ速カニ郵便局ノ設置ヲ希望スル次第デアリマス、何卒全會一致御採擇ヲ御願ヒ致シマス

○藤井政府委員 只今問題ニナリマシタ島根縣飯石郡多根村ニ、郵便局設置ノ件デゴザイマスガ、是ハ只今御説明ノアリマシタヤウニ、省營バスノ雲霧線ニ沿ツテ居ル所デアリマシテ、既設局トノ間ニハ約一里半バカリノ距離ガアリマスノデ、相當不便ハ致シテ居ルデアラウト存ズル次第デアリマス、併シナガラ之ヲ調査致シテ見マスルニ、利用致シマスル戸數ハ僅カニ二百三十戸位デアリマシテ、他トノ振會上今直チニ之ヲ實現スルコトハ、困難ナ事情ニアリマスガ、豫算等ノ都合モ考ヘマシテ、將來ノ計畫上ノ參考ニ致シタイト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤主査代理 採擇ニ決定致シマシタ

○加藤主査代理 次ハ第三、神田村ニ無集配郵便局設置ノ請願、請願文書表第一〇五號——紹介議員松浦伊平君

○坂東委員 便宜上代ツテ紹介致シマス、香川縣三豐郡神田村ハ近時諸産業頗ニ發達シ、阪神地方トノ取引關係モ活潑トナリ、爲ニ通信、爲替ノ利用頗ル増加シテ居リマスルガ、未ダ郵便局ノ設置ナク、而モ最寄

トニナリマスカラ、僅ニ四、五百戸ガ其ノ便ヲ得ルコトニナルノデゴザイマス、斯様ナ次第デ速カニ郵便局ノ設置ヲ希望スル次第デアリマス、何卒全會一致御採擇ヲ御願ヒ致シマス

○藤井政府委員 只今問題ニナリマシタ島根縣飯石郡多根村ニ、郵便局設置ノ件デゴザイマスガ、是ハ只今御説明ノアリマシタヤウニ、省營バスノ雲霧線ニ沿ツテ居ル所デアリマシテ、既設局トノ間ニハ約一里半バカリノ距離ガアリマスノデ、相當不便ハ致シテ居ルデアラウト存ズル次第デアリマス、併シナガラ之ヲ調査致シテ見マスルニ、利用致シマスル戸數ハ僅カニ二百三十戸位デアリマシテ、他トノ振會上今直チニ之ヲ實現スルコトハ、困難ナ事情ニアリマスガ、豫算等ノ都合モ考ヘマシテ、將來ノ計畫上ノ參考ニ致シタイト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤主査代理 採擇ニ決定致シマシタ

○加藤主査代理 次ハ第三、神田村ニ無集配郵便局設置ノ請願、請願文書表第一〇五號——紹介議員松浦伊平君

五

第三類第四號 請願委員第三分科會議錄

第二回 昭和十六年二月十二日

リノ郵便局ハ何レモ一里半ヲ隔タルヲ以テ、住民ノ不利不便甚ク大ナルモ、ガアリマス、仍テ速カニ前記神田村ニ無集配郵便局ノ設置ヲ要望スル請願アリマスガ、政府ノ御考ヘテ御伺ヒ致シマス

○藤井政府委員 只今議題ニナリマシタ香川縣三豐郡神田村ニ、郵便局設置ノ件デゴザイマスガ、此ノ村モ現在郵便局ハナイノデアリマシテ、最寄りノ局マデ約一里ハカリノ距離ガアルノデアリマス、併シナガラ同村モ利用戸數ガ、僅カニ三百二十戸位デアリマシテ、他トノ振合ヲ考ヘマスレバ、豫算經理ノ容易ナラナイ今日ニ於キマシテ、將來ニ實現スルコトハ困難デアリマス、將來適當ナ機會ニ計畫ニ上セルヤウニ致シタイト思ヒマス

○坂東委員 昭和十六年ノ三等郵便局設置ハ何箇所位デスカ、一寸參考マデニ御伺ヒ致シマス

○藤井政府委員 無集配郵便局ヲ二百局作ル豫定ニナツテ居リマス

○坂東委員 現在ハ取扱所ト云フ制度ハモウ廢シタト思ヒマスガ左様デスカ

○藤井政府委員 廢シマシタ、昨年来全テ部ナクナリマシテ、無集配郵便局ニナツテ居リマス

○坂東委員 此ノ無集配郵便局ノ利用戸數ハ、大體内地ハドノ位ニナツテ居リマスガ

○藤井政府委員 是ハ土地ノ狀況ニ依リマシテ、私共ハ差等ヲ付ケテ居ルノデアリマスガ、集配局ノ所在地カラ稍、隔ツテ居ル所、即チ私共ハ之ヲ郵便區市外地ト申シテ居リマス、サウシテ北海道ニ於キマシテハ、大抵二、三キロ以上ト云フコトニシテ居リマシテ、ソレデ三百戸以上、仙臺通信局區内

○加藤主査代理 次ハ第四、花巻驛前ニ無

○加藤主査代理 御異議ナシト認メマス、採擇ニ決シマシタ

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

即チ東北六縣ニ於テハ三百五十戸以上、其ノ他ノ内地ニ於キマシテハ、四百戸以上ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、尤モ離レ小島ノヤウナ所デアリマシテ、全然通信機關ノナイヤウナ所ニ對シマシテハ、此ノ標準ハ多少變更更加ヘマシテ、實情ニ副フヤウニ致シテ居リマス

○坂東委員 サウストル此ノ請願ノ箇所ハ最寄りノ郵便局マデ一里半デアリマスガ、ソレガ三百數十戸ト云フコトニ付テハ、設置スルニモ速カニ設置スルモノニ近イヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○藤井政府委員 此ノ村ハ村ノ端カラ申シマスレバ一里半位モアリマセウガ、大體局ヲ置ク豫定地カラ計リマスト一里ナイノデアリマス、三十町前後ノヤウニ考ヘラレマスガ、此ノ距離ハ毛モ角ト致シマシテ、標準ニ達シテ居ルカラ全部必ズ置タト云フ譯ノモノデハゴザイマセス、實ハ標準ニ達シテ居ルモノモ全國ニハ澤山アルノデアリマス、ソコロモ一定ノ標準ノ中デ設ケマシテハ、同ジ標準ニ達シテ居リマシテモ、戸數ノ非常ニ多イ所ヲ先ニ採リマスガ、左様ナ場所ガ全國ニハ随分幾ツテ居リマス、隨テ是ハ標準ニ稍、近クハゴザイマスガ、後廻シニナツテ居ルコト云フ事情ニナツテ居ル譯デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセス

集配三等郵便局設置ノ請願、文書表第一一〇號ニ紹介議員御見附書

○藤井政府委員 本請願ハ岩手縣稗貫郡花巻町ノ東北本線花巻驛前ニ無集配三等郵便局ヲ設置セラレマシテ、電信電話ノ事務ヲ併セテ取扱ハレタイト云フ請願デアリマス、其ノ理由ヲ申上ゲマス、第一ニ、花巻町ノ殷賑ナル事情デアリマス、花巻町ハ戶數ガ約四千、人口ガ約二万デアリマシテ、其ノ附近二十六箇町村ノ商賣其ノ他ノ中心トナツテ居ルノデアリマス、又東海岸ノ地方トモ頗ル殷賑ナ取引ガアリマシテ、農産物、林産物、礦産物其ノ他ノ集産地トナツテ居ルノデアリマス、隨テ昔ハ盛岡市ニ次グ縣下第二ノ都會デアリマシタ、其ノ後鐵道開通ノ爲メ多少ノ變化ハアリマセケレドモ、只今デモ依然トシテ岩手縣中央ノ重要ナ市街デアリマス、而シテ此ノ東北本線ノ花巻驛ハ、交通ノ關係カラ申シマスレバ、色々ナ線路ノ分岐點ニナツテ居ルノデアリマス、現ニ花巻カラ釜石ニ參リマシテ鐵道ハ、會テ私設ノ輕便鐵道デアリマシタノヲ、昭和十一年ニ買収致シマシテ、現ニ改革ノ工事ガ着々トシテ行ハレテ居リマス、此ノ竣工ノ後ハ、東北沿岸ノ大キナ釜石港ト直接ノ交通ガ開カレルノデアリマス、ノミナラズ其ノ線内ニアル邊野町カラ分岐致シマシテ、岩手縣南部ノ要港デアアル大船渡ノ港ニ接續致シマス所ノ岩手開港鐵道ハ、敷設ノ認可ヲ得マシテ、工事ニ着手セント致シテ居ル譯デアリマス、此ノ兩鐵道完成ノ後ニ至リマスト、花巻驛ノ交通上ノ重要性ハ更ニ幾層倍増スノデアリマス、又南方黒澤尻カラ秋田縣ニモ線路ガ通ジテ居リマス、是等ノ關係カラ申シマシテ、花巻驛ノ交通上ノ重要性ハ十

分ニ考ヘラレト思フノデアリマス、ノミナラス花巻驛ヨリ電車ヲ以テ花巻温泉ニ連絡ヲ致シテ居リマス、花巻温泉ハ東北有數ノ名温泉デアツテ、全日本ヨリ多勢ノ旅行客ノ參ル關係モアリ、益、此ノ地方ノ殷賑ヲ來シテ居ル譯デアリマス、殊ニ近年時局ノ必要上、礦物資源ノ開發サレルコトガ益、多キヲ加ヘマシタ結果、此ノ花巻町ノ中心トスル稗貫郡、和賀郡其ノ他ニ於テ、多クノ礦物資源ガ採掘サレ、運搬サレテ居ル事情モアリ、又一方、雜穀、木炭、木材其ノ他種々ナル物資ガ花巻驛ヲ經テ四方ニ集散サレテ居ルノデアリマス、尙ホ先程申上ゲマシタ釜石市ガ製鐵其ノ他ノ關係上重要デアルト云フ點、又大船渡町ニ將來非常ニ大キナ工業ガ出來ヤウト致シテ居ル點、是等ヲ考ヘマスレバ、此ノ二大要港ヲ連續スル花巻驛ノ重要性ハ益、倍加スル大第デアリマス、然ルニモ拘ラズ、驛ノ廳舎ガ只今ノ工合デハ甚ダ狹隘ヲ感ジテ居リマス、ノデ、鐵道省ニ於キマシテハ其ノ改革ノ事ノ計畫ガアルト云フコトデアリマス、花巻驛ノ中心ト致ス此ノ附近ノ商工業者ナリ、其ノ計畫ガ實現スル後ニ於キマシテハ、花巻驛ヲ中心ト致ス、出張所ヲ設ケル者モ多クアルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、現在花巻驛ノ中ニ公衆電報ノ取扱所ガアルダケデアリマシテ、通信機關モナク、隨テ非常ニ殷賑ヲ加ヘテ居ル譯前ノ關係町民ノ不便ハ甚ダシイノデアリマス、此ノ際花巻驛前ニ三等郵便局ヲ設置セラレマシテ、住民及ビ旅客並ニ貨物其ノ他ノ爲ノ便宜ヲ圖リ、産業ノ發達ニ資セラレタイト云フノ

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○今成留之助君 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居ル、大變熱心ニ運動シテ居ル人々ニ御伺ヒ致シマスレバ、通信省ノ方デハ非常ニ同情アル御實業ヲ戴イテ居ルノデアリマセケレドモ、マダ實現サレナイノデアリマス、願ハクハ法制化シテ下サイマシテ、サウシテ當該會社ト電燈使用者トガ協力シテ、必ズ一戸ニ二箇所ツツ避テ設備スルヤウニシテ貴ヒタイノデス、ソレガ色々權利關係ニ影響致シマシテ法制化ガ出來タイト云フノデアリマス、何トカ之ヲ獎勵シテ戴クヤウニ致シマシテ、或ハ府縣ヲ通ジ、或ハ本省直接ニ會社並ニ當該ノ村役場ヲシテ、斯ウ云フ實用新案若シクハ電氣局ニ於テ有效ダト思フモノガアレバ取付ケルヤウニ獎勵サシテ戴キマスレバ、非常ナ人命救助ニナルバカリデゴザイマセス、此處ニ資

○藤井政府委員 本請願ノ要旨ハ其ノ趣意書ニ明瞭ニ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、官設ノ電信、電話線ノ引込ミハ、ソレノ設備ハゴザイマセケレドモ、電燈ノ引込線ニ避テ設備ガナイ爲ニ、雷鳴ノ時期ニ非常ニ山岳地帯ノ方面テ脅エマシテ、殊ニ其ノ被害トシテ隨分實際ニ於テ即死、感電氣絶、負傷或ハ火災等ガ起キマシテ、年々歳々是ガ爲ニ多數ノ國民ノ中ニ苦シンデ、居ル者ガアルノデアリマス、ソコデ通信省ノ方ヘ色々陳情致シテ居リマスガ、電氣試驗所ノ御審査ニ依リマスト、成績良好デアルト云フ證明ヲ得テ居ルバカリデナク、十五年十一月十四日ニハ、特許局ニ於テ、登錄第二九一五八三號ニ依ツテ實用新案ノ登録ヲ得タモノガゴザイマス、是ハ極メテ少額ノ費用ヲ以テマシテ、一切ノ被害ヲ除クコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、實ハ昨年モ請願致シマシテ御採擇ニナツテ居

第三類第四號 請願委員第三分科會議錄 第二回 昭和十六年二月十二日

ヤウニ、法規的ニ之ヲ拘束スルト云フコトハ難カシイコトデアリマセウケレドモ、出來ルゲケ一般ニモソレヲ獎メテ、雷ニ因ル害ヲ受ケル人ヲ少クスルト云フコトハ結構ナコトト思ヒマス、唯申シマシヤウニ、其ノ避雷器トシテノ效果ニ付テハマダ確實ナ試験調査モ済ンデ居リマセヌノデ、其ノ決定ヲ待ツテカラドウスルカト云フコトヲ決メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○今成留之助君 只今ノ御答辯ノ中ニ私ノ方ガ聴キ違ヘマシタカドウカ分リマセヌガ、落雷ノ爲ニ電燈線カラ被害ガアルカドウカト云フコトガマダハツキリシナイ點モアリ、此ノ器具ガ適切ナル効用ヲ發揮スルカドウカマダ分リ難キマシタ云フ二ツノ御意味ガ前段ト後段ニアツタヤウデセウガ、是ハ何カノ御間違ヒデハゴザイマセヌデ、カ、落雷ノ爲ニ電燈線ヲ通シテ被害ノアルコトハ、既ニ各府縣デハソレノ資料ガ十分ニアリマスバカリデナク、東京電燈、大同電力、只今ノ東邦電力、ソレ等ノ所ニ參リマシマスレバ、明カニ引込線ニ被雷裝置ガナイ爲ニ、人ガ死ンダ實例ガ澤山ゴザイマス、隨テ落雷ノ爲ニ電燈線カラ人命ニ影響スルコト云フコトハ、是ハ殆ド證明ヲ要シナイ問題ト私ハ思フノデゴザイマスガ、其ノ點ノ御不審ガアリマシナラバ、速カニ御調査ヲ願ヒタイト思ヒマス

更ニ是ガ果シテ効用ガアルカ否カト云フ御話デアリマスガ、電氣試驗所デモ開閉器トシテ効用アリ、安全開閉器トシテ効用ガアル、斯ウ云フノデゴザイマシナラバ、是ガ雷トノ關係ハドウナルカト云フコトヲ御調査スルコトハ、私ハサウ至難デナイト思フ、殊ニ特許局ニ於テハ、安全開閉器、並ニ兼用、避雷器トシテ實用新案ヲ許シテ居ルノデアルカラ、是カラ之ヲ發明スル、發明シタカラ檢査シテ與レト云フノチヤナクテ、ソレノ證明ガ出テ居ルノデアリマスカラ、少シ選信當局ガ人命問題ニ付テ御親切デアレバ、直ニ私ハ此ノ試驗ガ出來ルト思フノデアリマスガ、速カニ試驗ヲシテ、サウシテ法制化スルコトガ出來ナカツタナラバ、獎勵ヲナサルカドウカ一ツ御答辯ヲ御願ヒタイト思フノデアリマス

○森政府委員 先程御話ガアリマシタ電燈線ニ雷ガ入ツテ火災ヲ起シ、人命ヲ落スト云フ例ハ私共モ相當聞イテ居リマス、ソレデ私ト致シマシテモ出來ルゲケ有效ナ低壓専用ノ避雷器ヲ欲シト思フツテ一生懸命ヤクテ居リマス、唯ソレヲ付ケマシテモ或ハ却テ逆ニ雷ノ爲ニ毀レマシテ火災等ノ危險モ生ジテ居ルノデアリマシタカ、雷ハ十分ニ其ノ害ヲ防ギ、而シテ付ケテモ火災等ノヤウナ一其處ニ電氣ガ通ツテ居リマシタラ、其ノ爲ニ火災ヲ起サナイヤウナ避雷器ガ欲シト考ヘテ居リマス、ソレデ只今ノ御話ノ安全器避雷器ノ問題ニ付キマシテモ、色々ヤツテ見マセヌコトニハ本當ノ徹底シタ結果ガ分リマセヌカラ、御趣旨ニ依リマシテ電氣試驗所トモ能ク相談致シマシテ十分調査、宜シカツタナラバ之ヲ出來ルゲケ廣ク行フヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 此ノ問題ハ人命ニ關スル大問題デアリマスルシ、既ニ安全開閉器兼用避雷器ト云フモノハ特許局ニ登録ニナツテ居ルノデアリマスルカラ、ドウカ速カニ實地ニ付テ研究サレマシテ、若シ足ラス點ガアリマスルナラバ、ソレニ改良ヲ加ヘテ安全ニテ居リマス

ナモノトシテ之ヲ利用セシメタナラバ宜イ、サウ云フ希望ヲ以テマシテ本案ハ採擇ヲ望ミマス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤主査代理 採擇ニ決シマシタ

○加藤主査代理 次ハ日程第六、大型船ノ同一船名使用禁止ニ關スル請願 文書表第八七號 紹介議員塚本三君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、日本船舶ハ關係管海官廳ノ船舶原簿ニ登録セララルモ、同一船名ノ禁止規定ガアリマセヌカラ、現在同一船名多數ニ上リ、種々ノ支障弊害ヲ惹起シツツアルコトハ事實デアリマスガ、殊ニ又大型船舶ニアリマシテハ其ノ影響スル所頗ル甚大ナルモノガアリマシタカ、總トシテ「數千トシ」以上ノ船舶ニハ同一船名ヲ附セシメナイヤウ適切ナル措置ヲ講ゼラレタイト云フノデアリマスガ、政府ノ御考ヘヲ御伺ヒ致シマス

○尾關政府委員 千トシ以上ノ船ハ御話ノ如ク非常ニ澤山アリマシテ千三百隻程ニナルノデゴザイマス、其ノ中同一船名ヲ附シテ居ルモノモ現在相當ゴザイマシテ、不便ヲ生ジテ居ルモノモアルト思ヒマス、是カラ登録スル時ナドニ於キマシテ、同一船名ノモハ成ベク變ヘタラドウカト云フヤウニ注意スル等ノ方法ニ依ツテ、御趣旨ノ達成ニ出來ル限リ努メタイト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤主査代理 次ハ日程第七、商船教育振興ニ關スル請願、文書表第八九號 紹介議員塚本三君

○坂東委員 是モ代ツテ紹介致シマス、商船學校教育ノ向上充實ヲ圖ルコトハ我が海運界ノ發展上緊切ナルモノガアリマスルカラ、全國七官立商船學校ノ在學期間ヲ一箇年延長シ、是ガ卒業業者中高等商船學校別科ニ入學スル者ノ在學期間ハ一箇年ヲ六箇月ニ改メ、其ノ入學ノ普及獎勵スルト共ニ、高等商船學校ニ修學期間二箇年ノ研究科ノ設置ヲ要望スル請願デアリマスルガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○關口政府委員 商船教育ノ振興ヲ圖ルコトノ緊要ナルコトハ洵ニ御話ノ通りデゴザイマス、政府ト致シマシテモ銳意其ノ内容ノ充實ニ努力致シテ居ルノデゴザイマス、唯官立中等商船學校ハ御存ジノヤウニ昭和十四年度、十五年度一二年間ニ互リマシテ、全國ノ七地方中等商船學校ガ全部官立ニ移サレタノデアリマス、マダ移管暫クコトデモゴザイマシタカ、此ノ際ハ先ヅ以テ其ノ施設ノ内容ニ付キマシテ、鋭意整備充實ヲ圖ルコトガ先決問題デアル、斯様ニ考ヘテ居ル所デゴザイマス、唯最近ノ國際情勢ト今後ノ我が國ノ海運ノ使命カラ考ヘテ見マシルト、商船教育ノ内容ト云フコト同時ニ請願ニモゴザイマシタヤウニ、ソレノ制度ニ付キマシテ十分研究シテ見ナケレバナイト考ヘテ居ル所デアリマス、尙ホ船舶ノ職員ニ對シマシテ更ニ高度ノ再教育ヲ施スコトニ付キマシテモ時局柄必要デ

ハナイカト考ヘテ居リマス、唯其ノ制度ニ付キマシテハ尙ホ將來慎重ニ考究致シマシテ善處致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○坂東委員 官立商船學校ノ入學希望者ハ非常ニ少イト云フコトヲ聞キマシタガ、ソレハ事實デスカ

○關口政府委員 高等商船學校ニ付キマシテハ若干減ツタ向キモナイ譯デハゴザイマセヌガ、決シテ御話ノヤウナ急激ナ減少ヲ來シテ居ルコトハゴザイマセヌ、ソレカラ中等商船學校ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタヤウニ全部本年度ニ於キマシテ官立ニ移管セラレマシテ、昭和十五年ノ三月ニ既ニ官立ニ移管セラレテ居リマシタ四校ノ入學志願者ノ狀況ヲ見マシテ、相當殖エテ居リマス、殆ド定員ノ五倍ニ達スル志願者ヲ得テ居ル状態デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤主査代理 採擇ニ決定致シマシタ

○加藤主査代理 次ハ日程第八、國際信託ニ關スル請願、文書表第九十號 紹介議員塚本三君

○坂東委員 是モ便宜上代ツテ紹介致シマス、國際信託ハ昭和九年選信省令ヲ以テ改正實施セラレ、一般船舶ノ使用スル所デアリマスルガ、開港港則第十二條、海港檢査法第四條又ハ地方港則タル名古屋、清水、三池ノ各港取締規則中未ダ舊國際信託文字ヲ使用スベキ旨ノ規定アル爲、誤解ヲ生ジ甚ダシキ支障ヲ來シツツアルハ頗ル遺憾デ

アリマス、依テ前記法令中ノ舊國際信託文字ヲ速カニ改正セラレタイト云フノガ請願ノ趣旨デアリマスルガ、政府ノ御考ヘヲ伺ヒマス

○尾關政府委員 國際信託ノ改正ハ只今御シヤツタ通りニ前ニ大部分ハ改正シテ不便ガナイヤウニシテアルノデアリマスルガ、今殘ツテ居ル所ハ開港港則第十二條ト海港檢査法ノ第四條トノ二法デアリマス、是ハ兩法一掃ニ改正スル必要ガアリマスルノデ、開港檢査法モ開港港則モドチラモ古イ法令ナノデアリマシテ、開港港則ニ付キマシテハ選信省デ目下全般ニ付テ改正シタイト云フノデ研究シテ居リマス、ソレカラ開港檢査法モ全般ニ付テ改正スル必要ガアルト云フノデ、厚生省ノ方ニ於テ研究シテ居ルト聞イテ居リマス、此ノ兩法ヲ改正スル時ニ當リマシテハ、御趣旨ニ副フヤウニ、不便ノナイヤウニ改正シテ行キタイト思ツテ居リマス、又地方ノ規則ノ改正ニ付キマシテモ、内務省等ト能ク打合セテ支障ノナイヤウニシテ行キタイト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤主査代理 採擇ニ決定致シマシタ

○安田政府委員 左様デゴザイマス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス

○加藤主査代理 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤主査代理 採擇ニ決シマシタ 是ニテ本日ノ議題ハ全部終了致シマシタ、次會ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、是デ散

會政シマス 午前十一時十四分散會

第三類第四號 請願委員第三分科會議錄 第二回 昭和十六年二月十二日

業議院請願第三分科會議錄第一回中正誤

頁 三三三 北浦圭查 正 北原圭查

昭和十六年二月十三日印刷

昭和十六年二月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第三類 第五號)

第七十六回帝國議會 請願委員第四分科(司法省、文部省及鐵道省)所管會議錄(速記)第一回

會 議
昭和十六年二月五日(水曜日)午後一時十五分開議
出席委員左ノ如シ
主席 樋口善右衛門君
北浦圭太郎君 庄司 一郎君
中野 寅吉君 土田 莊助君
米窪 滿亮君
兼務
川崎巳之太郎君 福田 悌夫君
森 幸太郎君 小山田義孝君
川副 隆君 北原阿智之助君
渡邊玉三郎君
委員長 加藤 知正君
委員 同月四日本分科所屬員玉野知義君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月五日中野寅吉君當選シ本分科所屬ト爲リタリ
出席政府委員左ノ如シ

司法省調査部長 中島 弘道君
司法書記官 石田 壽君
鐵道省運輸局長 長崎德之助君
鐵道省建設局長 倉田 玄二君
主席ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員澤田 利吉君 同 西川 貞一君
本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ
一 稚内區裁判所ニ旭川地方裁判所甲號支部設置ノ請願(第三九號)
二 岩内區裁判所廳舎改築ノ請願(第一四號)
三 神宮寺町ニ區裁判所出張所設置ノ請願(第一六號)

- 四 下川根村ニ區裁判所出張所設置ノ請願(第一八號)
- 五 苦前村ニ區裁判所出張所設置ノ請願(第四八號)
- 六 「中德富驛」ヲ「新十津川驛」ト改稱スルノ請願(第三六號)
- 七 沼宮内、平館間省營「バス」運輸開始ノ請願(第一七號)
- 八 瀧棚、岩内間鐵道敷設ノ請願(第一五號)
- 九 小郡、萩間竝大田、於福間鐵道運成ニ關スル請願(第二二號)
- 一〇 占冠、金山間鐵道敷設ノ請願(第三一號)
- 一一 土別、似峽間鐵道敷設ノ請願(第三二號)
- 一二 天鹽沿岸鐵道完成ノ請願(第三三號)
- 一三 雄武、枝幸間鐵道運成ノ請願(第三四號)
- 一四 旭川、沼田間鐵道敷設ノ請願(第三五號)
- 一五 日詰町ニ簡易停車場設置ノ請願(第七號)
- 一六 長坂村字柴宿ニ停車場設置ノ請願(第二二號)
- 一七 苦前村字力盡ニ乗降場設置ノ請願(第三七號)
- 一八 原谷村大字檜原ニ停車場設置ノ請願(第五四號)

開會シマス
日程第一、稚内區裁判所ニ旭川地方裁判所甲號支部設置ノ請願、文書表第三九號——紹介議員坂東幸太郎君
○坂東委員 請願ノ趣旨ヲ紹介シマス、北海道宗谷郡稚内町内區裁判所ノ管轄區域タル宗谷、禮文、利尻及び天鹽郡ノ地方裁判所審理事件ハ現在旭川市ニアリマス旭川地方裁判所ノ管轄ニ屬シテ居リマスガ、近來戸口增加致シマシテ、社會事情亦複雑化スルニ伴ヒマシテ、審理事件益々増加スルノ趨勢ニアリマスノデ、遠隔ナル旭川地方裁判所ヲ以テシテ、時間竝ニ經濟上同地方民ノ蒙ル不利不便方少クアリマス、仍テ北見國枝幸郡ヲ稚内區裁判所ノ管轄ニ編入スルト共ニ、同區裁判所ニ旭川地方裁判所甲號支部ヲ設置セラレタイト云フノデアリマスガ、一應政府ノ御意見ヲ伺ヒマス
○中島(弘)政府委員 御答ヘ致シマス、稚内區裁判所管內ニアリマス支部ノ事件ノ豫定件數ヲ見マスト、餘リ多イ方デアリマス、併シ此ノ管內ノ各地カラ本廳ノ旭川地方裁判所マデノ交通ノ關係ハ大變不便ニナツテ居リマシテ、其ノ關係上殊ニ豫定事件ニ付テハ捜査ガ非常ニ困難ガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、是等ノ點ヲ十分考ヘマシテ將來善處シテ行キタイト思ヒマス
○坂東委員 只今政府委員ノ御答辯ニアリマス如ク、此ノ地方ハ非常ニ交通ガ不便デアリマシテ、殊ニ此ノ禮文郡利尻郡ノ如キハ其ノ最北端カラ旭川市マデ約百里位アリ

マ、サウ云フ交通不便ノ所デアリマスカラ、此ノ請願ノ目的ガ速カニ實現スルヤウニ特ニ御願ヒ致シマス、採擇ヲ希望シマス
○樋口主席 本請願ハ既ニ第七十三、四、五ノ議會デ採擇ニ決シテ居リマス、採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主席 御異議ナイモノト認メマシテ採擇ニ決シマシタ
○澤田利吉君 此ノ請願ハ岩内町ノ區裁判所ノ廳舎ヲ改築シテ敷キタイト云フノデアリマス、是ハ明治時代ノ建築デ、殆ドモウ腐朽シテ居リマス、廳下ヲ歩イテモボツク足ノ下ガ抜ケルト云フ位ニヒドクナツテ居リマス、先年モ此ノ請願ヲ出シタノデアリマスガ、是非改築ヲシテ敷キタイト云フノデアリマス、何卒御採擇ヲ御願ヒシマス
○石田政府委員 御答ヘ致シマス、岩内區裁判所廳舎ハ請願ノ如ク明治二十三年ニ建築セラレタモノデアリマシテ、爾來五十年ニ達シテ居リマス、腐朽甚シク當省ニ於テモ風ニ是ガ改築ノ必要ヲ認メテ居リマシタガ、幸ヒ昭和十六年度ノ豫算ニ計上セラレマシテ、議會ニ協賛ヲ求メテ居リマスヤウナ次第デアリマス、近ク實現スル運ビニ至ルデアラウト思ヒマス
○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

トノヤウニ御考ヘニナルカモ知レマセヌ
薄ノ類デアリマス、色々ノ印刷シタ
モノモゴザイマス、其ノ外規程ノ上ニ
出来マス、サウ簡單ニ考ヘル譯ニ行カ
ナイト云フ内部ノ事情モゴザイマス、併
シソレ等ノコトハ内部ノ仕事ノ關係デ
イマスカラ、差支ナイ限リニ於テハ出来
ルガ地方ノ方々ノ御要望ニ應ジ、旅客、荷
主ノ御便利ニナレバ宜イト云フ風ニ心掛ケ
テ居ル次第デアリマス

○坂東委員 只今長崎運輸局長ノ御答辯ハ
尤モト思ヒマスガ、私モ實ハ内容ヲ知ツテ
居リマスガ、是ハ全國ノ最モ變ヘナケレバ
ナラヌト云フ必要ニ迫ラレテ居ルモノガ澤
山アルノデアリマスカラ、ソレハ切符名ヲ
變ヘルトカ、帳簿上ノ名稱ヲ變ヘルト云フ
コトモ必要デアリマセウケレドモ、ドウカ
此ノ際英斷ヲ以テ是非共稱名ヲ改稱スルヤ
ウニ御實行願ヒタイ、斯ウ云フコトヲ希望
致シマシテ採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○樋口主査 採擇ニ決シマシタ
○樋口主査 日程第七、沼宮内、平館間省
營バス、運輸開始ノ請願、文書表第一七
號——紹介議員田子一民君
○川崎(巳)委員 田子紹介議員公務多忙デ
代理ヲ依頼セラレマシタノデ私カラ申上ゲ
マス、東北本線ノ沼宮内驛ヨリ花輪驛ノ平館
間マデ省營バスノ運輸開始ヲ致シテ載キタ
イト云フ請願デゴザイマス、今既ニ沼宮内カ
ラ花輪マデハ省營バスノ方通ジテ居ルノデ

アリマスガ、一方沼宮内驛カラ花輪驛
ノ平館驛マデハ立派ノ縣道ガ十六、キロノ
長サデ通ジテ居リマス、ソコニハ五箇町コ
ゴザイマシテ、農産物、林産物、畜産物等ノ
甚ク豊富ナル所デアリマシテ、其ノ近邊
ニ硫黄ノ産額ハ東洋一ト稱セラレ、松尾
嶺山ガアルノデアリマス、然ルニ今ノ所交通機
關ガ不備ナリテ洵ニ困ツテ居リマス、
其ノ沿道五箇村ノ町村長ガ連署シテ御願ヒ
シテ居ル次第デゴザイマスカラ、政府ノ事
情モ伺ツテ速カニ御許可アルヤウニ御願ヒ
致シマス

○長崎政府委員 只今御話ガゴザイマシタ
沼宮内、平館間ノ省營バス、運輸開始ノ請
願デゴザイマスガ、此ノ路線ニ付キマシテ
ハ度々請願ガアツタノデアリマス、隨ヒマ
シテ路線ノ狀況デアリマスカ、旅客貨物
ノ移動スル状態等ニ付テモ一應ノ取調ベテ
致シタノデアリマス、併シナガラ御承知
ノヤウニ只今ノ所燃料ノ問題、資材ノ關係
ト云フヤウナコトガ色々混ミ入ツテ參ツテ
居ルノデアリマシテ、殊ニ自動車ノ燃料等
ニ付テ、又自動車ノ製作資材等ニ付テハ相
當ノ考慮ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌヤウ
ナ時世デゴザイマスカトハ御承知ノ通りデ
アリマス、隨ヒマシテ尙ホモウ少シ詳細ナ
調査研究ヲ致シマシタ上ニ之ヲ適當ニ考慮
致シテ參リタイト存ジテ居ル次第デアリマ
ス

○川崎(巳)委員 只今燃料ノ方ノ御話ガア
リマシタガ大抵地方ノ省營自動車ハ、ガソ
リンヲ使ハズニヤウテ居ルノガ普通ノヤ
ウデゴザイマス、殊ニ此ノ邊ハ木炭ノ生産
地デゴザイマスカラ、燃料ノ方ハ大シタ
困難ハナイノデアリカトマア察セラレマ
ス、ソレカラ自動車ノ「ボデー」ヲ造ルノニ
資材ノ困難ハ御察シ致シマスガ、併シ又
方ニ於テハ、ソレヲ拵ヘルノモ唯遊覽ヤナ
ニカニ供スルト云フノデアリマシテ、林業、
農業、畜産業ノ發達ニ資スルノミナラズ、
今最モ時節柄必要ノ硫黄ガ澤山其ノ近所カ
ラ採レルト云フノデアリマスカラ、一ツ御
奮發下サレバ割合ニ合ツテ行クモノト思ハレ
ルノデアリマス、尙ホ一層ノ御調査ヲ願ヒ
マシテ、此ノ委員會ニ於テハ御採擇アラン
コトヲ希望致シマス

○樋口主査 日程第九、小巖、萩間、大田、
於福間鐵道運成ニ關スル請願、文書表第二
一號——紹介議員西川貞一君
○西川貞一君 請願ノ要旨ヲ紹介致シマス、
本請願ハ山口縣下ノ山陽線ノ主要驛デア
ル小郡ヨリ分岐致シマシテ、大田町ヲ經テ
萩市ニ至ル鐵道ノ敷設ト、途中ノ大田町ヨ
リ更ニ分岐シテ秋芳洞及ヒ嘉萬ヲ經テ於福
ニ至ル鐵道敷設ノ請願デアリマス、元來此
ノ小郡ヨリ大田町ヲ經由致シマシテ萩ニ
通ジマス鐵道路線ハ本院ニ於キマシテ廣
願ヲ御採擇ニナリマシタ、政府ニ於カレマ
シテモ其ノ願意ヲ採納サレマシテ、大正十
一年ノ四月ニ鐵道敷設法豫定線ニ編入セラ
レタノデアリマス、而シテ小郡ヨリ大田
町ニ至リマス路線ハ、第一期計畫シテ大
正十三年度ヨリ實施ノコトニ決定致シテ居
ツタノデアリマスカレドモ、大正十二年ノ
關東大震災ノ爲ニ鐵道建設事業ガ繰延トナ
リマシテ、其ノ犧牲トナツタノデアリマス、
續イテ昭和四年ニモ更ニ工事着手ノ豫算ガ

編成サレタノデゴザイマスガ、是亦後ニ財
政緊縮ノ犠牲トナリマシテ繰延トナリ遂ニ
今日マデ實現ヲ見ナイノデアリマス、然
ルニ此ノ路線ノ沿線ハ我が國有數ノ「カ
ル」ト、地方デゴザイマシテ、特ニ秋芳洞ノ如キ
ハ陸軍ノ演習場トシテ極メテ重要ナ軍事上
ノ意義ヲ有スルノデアリマス、又近來軍事
關係ノミナラズ學生青年等ノ軍事講習其ノ
他種々ノ軍事的ノ行事ガ此ノ地方ニ於テ行
ハレテ居リマシテ、交通頗ル輻湊ヲ致シテ來
テ居ルノデアリマス、尙ホ産業關係カラ申
シマスレバ此ノ時局下ニ於キマシテ、非常
ニ缺乏シテ居リマス所ノ銅、コバルト、マン
ガン、石灰岩、大理石等ノ重要ナル礦産物ニ
富ンデ居リマシテ、是等ノ開發モ此ノ路線ニ
俟ツ所頗ル大ナルモノガゴザイマス、尙ホ
更ニ御承知ノ如ク、此ノ地方ヲ中心トスル
大陸トノ交通關係ハ極メテ頻繁トナツテ參
リマシテ、勢ヒ此ノ路線ノ終點デア
ル所ノ萩港ト大勢ノ連絡或ハ大津郡及ヒ豊浦
郡ニ跨リマス油谷、朝鮮及ヒ滿洲方面ト
ノ連絡ト云フコトモ最近非常ニ重要性ヲ持
ツテ參リマシテ、是等ノ計畫モ種々民間ニ
於キマシテハ、具體的ニ計畫サレテ居ルノ
デゴザイマスガ、サウ云フ見地カラ致シマ
シテモ此ノ路線ノ重要性ハ更ニ加ハリツ
アルト思フノデアリマス、是ハ地方ガ熱
烈ニ希望致シテ居リマス所ノミナラズ、現
下ノ時局下ニ於キマシテ、國策上ニモ重要
ナル意義ヲ有スルモノト存ジマスルノデ、
之ニ對シテ當局ノ御見解ヲ御伺ヒ致スト共
ニ、本院ニ於テ御採擇アランコトヲ切望致
ス次第デゴザイマス

○倉田政府委員 只今御話ノゴザイマシタ
小郡萩間デアリマスガ、是ハ御話ニアリマ
シタヤウニ建設線ニ編入セラレテ、現場ノ
測量モ多少ヤウタノデアリマスガ、財政ノ
都合カラ削減ニナツタ分デアリマス、又大
田於福間モ敷設法ノ豫定線ニ入ツテ居リマ
スガ、現在多少經過地ハ遠クデアリマスガ、
出ルト云フヤウニ陰陽連絡ト云フヤウナ意
味モ考ヘラレルノデアリマス、隨ヒマシテ
將來此ノ地方ノ色々開發或ハ運輸ノ状態
ヲ見マシテ又現在非常ニ資材ノ窮乏ナ時デ
アルノデ内外諸般ノ事情ヲ配合セテ考ヘタ
イト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 採擇ニ決シテ御異議アリマセ
スカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○樋口主査 採擇ニ決シマシタ
○樋口主査 日程第一〇、占冠、金山間鐵道
敷設ノ請願、文書表第三一號——坂東幸太
郎君
○坂東委員 請願ノ要旨ヲ紹介致シマス、
北海道勇拂郡穂別村邊富内私設北海道鐵道
邊富内驛ヲ起點トシ沙流郡右左府村、勇拂
郡占冠村ヲ經由シ、根室本線御影驛若シク
ハ清水驛ニ連絡スル鐵道敷設スルニ決セ
ルヤニ仄聞セルモ、斯ル時ハ右左府村、占
冠村方面ヨリ根室本線金山驛方面ニ北上セ
ントスル貨客ハ、大迂回セザルベカラズ、
其ノ不利不便抄カラズ、然ルニ占冠村ヨリ
北上シ根室本線金山驛ニ至ル鐵道敷設ス
ル時ハ、其ノ距離短縮セラレ、且ツ沿線地
方ノ富源開發上立ニ交通軍事上利便大ナリ
ト信ズ、仍テ前記占冠、金山間鐵道敷設
セラレタシト云フデアリマスガ、一應政

○樋口主査 採擇ニ決シテ御異議アリマセ
スカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○樋口主査 御異議ナシト認メマス、採擇
ニ決シマシタ
○樋口主査 日程第八、瀨棚、岩内間鐵道
敷設ノ請願、文書表第一五號——紹介議員
澤田利吉君
○澤田利吉君 此ノ請願ハ北海道ノ瀨棚郡
瀨棚町瀨棚線ノ瀨棚驛ヨリ島牧、壽都ノ海
岸ヲ經マシテ岩内線ノ岩内驛ニ連絡スベキ
鐵道ヲ敷設シテ載キタヒト云フ請願デア
リマス、是ハ過去三四回例年採擇ヲ見テ居
ルノデアリマス、勿論今日資材關係等デ急速
ニ其ノ實現ヲ御願ヒスルト云フコトハ困難
ナコトデアラウト思ヒマスケレドモ、併シ
此ノ線ハ所謂漁業ノ盛ンナ所デ、サウ云フ
モノハ勿論ノコト、最近地下資源ノ重要性
ヲ叫バレル時、アノ附近ハ盛ンニ鑛山ガ發
達シ、尙ホ交通不便ノ爲メ未開發ノ幾多ノ
鑛山ガアリマスカラ、此ノ交通方開ケタナ
ラバ重要ナル鑛物ノ現ハレルト云フコトヲ非
常ニ期待サレテ居ルノデアリマシテ、成ベ
ク速カニ其ノ實現ヲシテ載キタイト云フ請
願デアリマス、何卒御採擇ヲ御願ヒ致シマ
ス、尙ホ政府委員ノ之ニ對スル御意見ヲ御
伺ヒ致シマス

○倉田政府委員 只今御話ノアリマシタ
瀨棚、岩内間ノ鐵道ニ付テ御答ヘ申上ゲマ
ス、此ノ區間ハ大體延長ガ百一「キロ」、
相當長イ距離デアリマシテ、マダ實ハ敷設
法ニハ掲上サレテナイ路線デアリマス、此
ノ沿線ハ壽都ノ町ガアリマシテ、又沿岸
ガ海産物ニ富ンデ居ルノハ今御話ノ通りデ

府ノ御意見ヲ伺ヒマス
○倉田政府委員 只今御話ノ占冠、金山間
ノ鐵道デアリマスガ、是ハ敷設法ノ別表第
百三十四號ニ該當スル豫定線デアリマス、
延長約十七「キロ」デアリマシテ、沿線ハ大體
國有林産物ガアルノデアリマス、途中ノ勇
拂ト石狩ノ國境、是ハ相當ノ陸道ガ出來ル
ノチヤナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ
線ハ今御話ノヤウニ現在建設線ニナツテ居
リマス邊富内線ノ工事ヲ關聯ガアリマスカ
ラ、邊富内線ノ工事ガ進捗シマス、其ノ模
樣ト併セテ考究シタイト考ヘマス
○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 採擇ニ決シテ御異議アリマセ
スカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○樋口主査 異議ナキモノト認メマス、採
擇ニ決シマシタ

○樋口主査 日程第一〇、占冠、金山間鐵道
敷設ノ請願、文書表第三一號——坂東幸太
郎君
○坂東委員 請願ノ要旨ヲ紹介致シマス、
北海道勇拂郡穂別村邊富内私設北海道鐵道
邊富内驛ヲ起點トシ沙流郡右左府村、勇拂
郡占冠村ヲ經由シ、根室本線御影驛若シク
ハ清水驛ニ連絡スル鐵道敷設スルニ決セ
ルヤニ仄聞セルモ、斯ル時ハ右左府村、占
冠村方面ヨリ根室本線金山驛方面ニ北上セ
ントスル貨客ハ、大迂回セザルベカラズ、
其ノ不利不便抄カラズ、然ルニ占冠村ヨリ
北上シ根室本線金山驛ニ至ル鐵道敷設ス
ル時ハ、其ノ距離短縮セラレ、且ツ沿線地
方ノ富源開發上立ニ交通軍事上利便大ナリ
ト信ズ、仍テ前記占冠、金山間鐵道敷設
セラレタシト云フデアリマスガ、一應政

府ノ御意見ヲ伺ヒマス
○倉田政府委員 只今御話ノ占冠、金山間
ノ鐵道デアリマスガ、是ハ敷設法ノ別表第
百三十四號ニ該當スル豫定線デアリマス、
延長約十七「キロ」デアリマシテ、沿線ハ大體
國有林産物ガアルノデアリマス、途中ノ勇
拂ト石狩ノ國境、是ハ相當ノ陸道ガ出來ル
ノチヤナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ
線ハ今御話ノヤウニ現在建設線ニナツテ居
リマス邊富内線ノ工事ヲ關聯ガアリマスカ
ラ、邊富内線ノ工事ガ進捗シマス、其ノ模
樣ト併セテ考究シタイト考ヘマス
○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 採擇ニ決シテ御異議アリマセ
スカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○樋口主査 異議ナキモノト認メマス、採
擇ニ決シマシタ

府ノ御意見ヲ伺ヒマス
○倉田政府委員 只今御話ノ占冠、金山間
ノ鐵道デアリマスガ、是ハ敷設法ノ別表第
百三十四號ニ該當スル豫定線デアリマス、
延長約十七「キロ」デアリマシテ、沿線ハ大體
國有林産物ガアルノデアリマス、途中ノ勇
拂ト石狩ノ國境、是ハ相當ノ陸道ガ出來ル
ノチヤナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ
線ハ今御話ノヤウニ現在建設線ニナツテ居
リマス邊富内線ノ工事ヲ關聯ガアリマスカ
ラ、邊富内線ノ工事ガ進捗シマス、其ノ模
樣ト併セテ考究シタイト考ヘマス
○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 採擇ニ決シテ御異議アリマセ
スカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○樋口主査 異議ナキモノト認メマス、採
擇ニ決シマシタ

ロ、デアリマスガ、沿線ハ農林産物ガ相當
豐富ニアルノデアリマス、此ノ線ニ付キマ
シテハ今後十分研究シテ行キタイ、斯ウ云
フ風ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望シマス
○樋口主査 採擇ニ決シマシテ、御異議アリ
マセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 御異議ナキモノト認メマス、
採擇ニ決シマシタ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 日程第一二、天鹽沿岸鐵道完
成ノ請願、文書表第三三號 紹介議員坂
東幸太郎君

○坂東委員 此ノ請願ハ既ニ屢々本委員會ニ
採擇ニナツテ居リマスガ、關係町村長、留
萌町長岡田市君外八名ノ請願デアリマス、
其ノ要旨ハ、北海道道南郡羽幌町ヨリ、同郡
初山別村ヲ經テ天鹽郡遠別村ニ至ル鐵道豫
定線ハ、昭和十二年度ヨリ五箇年計畫ヲ以
テ着工ノ決定アリタルモノデアリマス、同
地方資源開發ニ軍事上重要路線デアルニ
拘ラス、其ノ後豫期ノ如ク工事進捗スルニ
至ラス、殆ド中止状態ニアルハ甚ダ遺憾デ
アリマス、仍テ前記羽幌、遠別間鐵道ヲ速
カニ敷設シ、天鹽沿岸鐵道ヲ完成セラレン
コトヲ要望スル請願デアリマスガ、政府ノ
御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○倉田政府委員 天鹽沿岸ノ遠別線ト申シ
マスガ、此ノ線ノ工事促進ノ御話デアリマ
スガ、此ノ中羽幌カラ遠別ノ間ハ既ニ土工
工事ニ着手シテ居リマス、目下極力工事ヲ
進メルヤウニ督促シテ居ル次第デアリマス、
唯全線ヲ考ヘマス時ハ、内外ノ諸情勢ノ關
係上、資材ノ調達ガ窮屈デアルノデ、全線

ノ完成ハ二十一年度ニナル豫定デアリマス、
併シ相當額ノ資金ノ多ク線路デアリマスガ
ラ、資材ノ調達ガ困難ニナリマスレバ、極
力工事ヲ早ク進メテ行キタイ、サウシテ完
成ヲ早クシタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リ
マス

○坂東委員 採擇ヲ希望シマス
○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリ
マセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 御異議ナキモノト認メマス、
採擇ニ決シマシタ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 日程第一三、雄武、枝幸間鐵
道促進ノ請願、文書表第三四號紹介議員坂
東幸太郎君

○坂東委員 請願ノ要旨ヲ申上ゲマス、北
海道紋別郡雄武村興南雄武線ヨリ、枝
幸郡枝幸村興北雄武線ニ至ル鐵道
ヲ敷設スルコトハ、南北兩興濱線連絡上、
又沿線ノオホホツクノ海岸ノ漁業進展上、其
ノ他農、林、牧、礦、各種産業發達上最モ
必要ナリト信ジマス、仍テ前記雄武、枝幸
間鐵道ヲ速カニ敷設セラレタイト云フ要望
デアリマスガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シ
マス

○倉田政府委員 雄武、枝幸間ノ鐵道敷設
ノ御話デアリマスガ、本區間ハ鐵道敷設法
ノ豫定線デアリマス、南北興濱線ヲ連絡
スル線路デ、其ノ延長ハ約五十三、キロメ
デアリマス、現場ノ調査ヲ致シマシタガ、沿
線一帯ハ、オホホツクノ海ニ面シテ居リマス
ノデ、海産物資ガアリ、又背後ノ山地ニハ、
林産、礦産物資モ相當アル見込デアリマス、
將來地方ノ發展、運輸ノ狀況並ニ内外諸般

ノ情勢ヲ配合セテ考ヘタイ、斯ウ考ヘマス
○坂東委員 採擇ヲ希望シマス
○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリ
マセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 御異議ナキモノト認メマス、
採擇ニ決シマシタ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 日程第一四、旭川、沼田間鐵
道敷設ノ請願、文書表第三五號 紹介議員
員坂東幸太郎君

○坂東委員 此ノ鐵道ノ請願ハ旭川市長足
立富氏外四町村長ノ請願デアリマス、請願
ノ趣旨ハ、北海道旭川市旭川ヨリ上川郡
鷹栖村、江丹別村及ビ雨龍郡多度志村宇湯
内ヲ經テ同郡幌加内線ノ多度志驛ニ連絡シ、
更ニ同郡札沼線沼田驛ニ接続スル鐵道ハ函
館本線ノ複線タル札沼線ト連絡シテ、非常
輸送ノ安固ヲ期スルニ上ニ於テ、又沿線ノ豐
富ナル資源開發上、並ニ軍事上是ガ敷設ハ
最モ必要ナリト信ジマス、仍テ前記旭川、
沼田間ニ鐵道ヲ敷設セラレタイト云フ希望
デアリマス、尙ホ政府ノ御意見ヲ御伺ヒマ
ス

○倉田政府委員 本區間ハ鐵道敷設法豫定
線ニ掲上セラレテハ居リナイ線路デアリマ
シテ、圖上ニ依リマス、大體延長ガ四十
二、キロメデアリマス、マダ詳細ノ調査ヲシ
タコトハアリマスガ、途中ノ上川、雨龍
ノ郡界ニ相當長イ隧道ガ出來ルノデハナイ
カト考ヘテ居リマス、又多度志川、雨龍川、
江丹別川等ガアリマスガ、今後地形其ノ
他ニ付キマシテ十分考究シテ見タイト考ヘ
テ居リマス

マセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主査 御異議ナキモノト認メマシテ
採擇ニ決シマシタ
○樋口主査 日程第一五、日詰町ニ簡易停
車場設置ノ請願、文書表第七號 紹介議
員田子一民君

○樋口主査 御異議ナキモノト認メマス、
採擇ニ決シマシタ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 日程第一六、長坂村字柴
宿ニ停車場設置ノ請願、文書表第一二
號 紹介議員松川昌藏君

○坂東委員 松川君ニ代ツテ趣旨ヲ辯明致
シマス、本請願ハ岩手縣東磐井郡長坂村
長那須新四郎外二名ノ請願デアリマス、
請願ノ趣旨ハ、岩手縣東磐井郡長坂、猿澤
田河津、興田及ビ江刺郡田原ノ五箇村ハ、
其ノ地域廣大ニシテ、特ニ時局下軍需工業
用ノ石灰岩等ノ產出ガ頗ル増加シ、而シテ是
ガ輸送ハ長坂村ヲ經テ松川驛ニ搬出ラシ、
又定期ノ自動車運輸ノ便モゴザイマスルケ
レドモ、甚ダ輸送上ノ不便ガ少クナイノデ
アリマス、依ツテ以大船渡線陸中松川驛ヨ
リ沼澤驛九、キロ二、二分ノ區間ノ中央ニ位ス
ル長坂村字柴宿ニ停車場設置スルコトハ、
同地方ノ産業開發上極メテ重要ナリト確信
ヲ致シマシテ此ノ請願ヲ提出致シマシタ次
第デアリマス、鐵道當局ノ御意見モ承リマ
シテ、五ヶ町村關係ノ地方民衆ノ熱烈ナル要
望ヲ御採擇下サイマシテ、尙ホ速カニ「ス
テーション」ノ開設ヲ見ルコトガ出來マス
ヤウニ御願ヒ申上ゲタイト云フノガ此ノ請
願ノ趣旨デアリマス

○長崎政府委員 請願ノ場所ハ御話モゴザ
イマシタヤウニ、大船渡線ノ陸中松川、沼
澤兩驛ノ間九、キロ二、二分ノ略、眞中デアリマ
シテ、其處ハ二ツノ縣道ガ丁度丁字型ニ相
會シタ場所ニナツテ居リマス、場所トシマ
シテハ交通關係カラ見マシテ極メテ良好ナ
所デアリマスガ、鐵道線路ト云フ方面カ

困ル、一例ヲ舉ゲレバ、此處ノ町カラ中等
以上ノ學校へ通フ男女學生ガケデモ三百名
近クアルノニ、ソレ等ノ子供達ハ朝夕シイ
短カイ時間ニ連絡スルノニ停車場ガ三、キ
ロ以上モ遠イ所へ出來テ居ルノデ非常ニ
迷惑シテ居ル請願デアリマス、新タニ本式
ノ停車場ヲ拵ヘルノニハ、三、キロ先ノ驛
カラデハ餘リ近過ギルコトモゴザイマセウ
カラ、學生ガ一寸停メテ貫ツテ飛乗リ出來
ル程度ノモノデモ宜シウゴザイマスカラ、
簡易ナ停車場何トカ御工夫ヲ願ヘナイカ
ト云フノガ此ノ請願ノ趣旨デアリマス、
政府委員ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス
○長崎政府委員 日詰町ニ新シイ停車場ヲ
造ツテ興レナイカト云フコトニ付キマシテ
ハ、眞ニ議會ニ度々ノ請願ガゴザイマシタ
シ、又鐵道省ニモ請願ガゴザイマシテ、一
應調査ヲ致シ見タノデゴザイマス、サウ
シテ只今如何ニシテ之ヲ解決シタラ宜イカ
ト云フコトヲ色々ノ研究中デアリマスガ、
只今請願ノ御説明ニモゴザイマシタヤウニ、
此ノ御希望ノ區間、日詰、矢幅ノ距離ハ八
「キロ」四分デゴザイマスガ、停車場ヲ置イ
テ興レナイカト云フ設置希望ノ地點ガ、日
詰驛カラ約二、キロ「デ」ゴザイマシテ、ドウ
モ一方ニ偏シテ居ルヤウニモ思ハレルノデ
アリマス、ソレバカリデナク、新驛設置ト
云フヤウナ關係ノコトハ、全國ノニ申シマ
スト相當ノ數ニ上ツテ居ルノデアリマス、
私共モ出來ルガク皆サシノ御要望ニ副シテ
イト考ヘマスガ、之ヲ漸次片付ケテ參ルト
致シマシテモ、相當ノ資材ガ必要ナノデア
リマス、ソレデ資材不足ノ折柄デモゴザイ
マスルシ、他方又「此處ガドウト」言フノ
デハゴザイマセヌカ、地方ニ依リマシテハ

新シタ軍需工場ガ出來テ、其處ニドウシテ
モ停車場ヲ置カナクテハナラヌ、或ハ
重要物資ガ出ル爲ニドウシテモ其處ニ
貨物ノ取扱場所ヲ造ラナケレバナラヌト云
フヤウナ、時局緊急ヲ要スルモノガ相當
アルノデアリマシテ、サウ云フモノカラ開
設シテ行カナクテハナラヌコトハ申スマデ
モナイノデアリマス、サウ云フヤウナ觀點
カラ、此ノ日詰、矢幅間ノ御希望ノ驛ノ
設置ニ付キマシテハ、只今簡易ナモノデ
モ宜イカラト云フ御話デアリマス、サウシ
ケレドモ、サウ云フモノモ亦相當アルノデ
アリマシテ、甚ダ愛嬌ノナイ御答ヘカモ知
レマセヌカ、早急ノ實現ハコト暫クノ間困
難デアリナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○川崎(己)委員 一應政府委員ノ御説明ヲ
承リマシタガ、色々御都合上ノ點モアラウト
思ヒマス、併シ旗ヲ出セバ停マルト云フ程
度ノモノナラバ、大シク資材ノ要シナイデ
ハナイカト思ヒマス、又通學生ノ話モ申
上ゲマシタガ、一方嶺山ヤ何カガアルノデ、
工夫ノ食糧ヤ色々ノモノヲ運搬スル等ノ必
要ガアルノデアリマシテ、ソレヲ三哩以上
モ運ンデ行クノハ時間ヲ急クニ隨分困ル
ダラウト思ヒマス、又東北興業會社ガ東北
振興ノ爲ニ設備ラシテ、石灰ヲ採ツテ居ル
ト云フノガ近間ニアルノデアリマス、隨テ
出入スル人モ多イト思ヒマスカラ、マア御
役所ノ御都合モアリマセウケレドモ、サウ
云フ觀點ニ於テ、成ベク早ク實現ヲ希望シ
テ居ル次第デアリマス、町長其ノ他ノ差出
シタ請願書ニ依リマス、期成同盟會マデ
拵ヘテ、是非ヤツテ貫ヒタイト云フ希望ニ
燃エテ居ルヤウデアリマスガ、是非政府
ニ於テモ急イデヤツテ裁クヤウニ御願ヒ致

ジマシテ、本委員會ニ於テモ採擇ト云フコ
トニ御願ヒ致シマス
○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主査 御異議ナシト認メマス、採擇
ニ決シマシタ
○川崎(己)委員 一寸序ニ、建設局長ガ御
見エニナツテ居リマスカラ伺ツテ見タイノ
デアリマス、請願ニハ出テ居リマセヌカ、
新線敷設ノ問題ガ前カラ幾度モ出マシタノ
デ、參考ニ伺ツテ置キタイノデアリマスガ、
茨城縣ノ水戸ノ北ニ常磐線ノ勝田驛ガアリ
マスガ、其ノ勝田驛ヨリ水郡線ノ上菅谷驛
ニ至ル間ハ、何十年前ニ豫定線ニナツテ居
ツテ、而モ本線ハ畑ノ中デ、距離モ僅カニ、
三、キロ位デハナカラウカト思ヒマスガ、
一向ソレガ出來ナイ、調査ナドハ無論埃ニ
御濟ミニナツテ居ルコトデアリマセウシ、
最近ニ至ツテハ其處ニ日立製作所ノ分工場
ノ大キナモノガ出來マシテ、今水戸製作所
ト申シテ居リマス、此處デモ期成同盟會ガ
出來マシテ、地方ノ者モ大イニイキリ立ツ
テ居ル請願デアリマス、此ノ勝田驛ト上菅谷
驛トヲ繋グ線ハ豫定線ニ載ツテ居ルノデア
ルカラ、早ク敷設シテ載キタイト云フノデ、
昨年モ請願ガ出マシテ採擇ニナツテ居ル
ノデアリマスガ、其ノ後トナナ御運ビニ
ナツテ居リマスガ、此ノ機會ニ御伺ヒスル
コトガ出來レバ幸ヒデアリマス

ラ見マス、請願ノ地點ノ附近ハ松川滑澤
兩驛カラ何レモ千分ノ二十五ノ下リノ急勾
配ニナツテ居リマシテ、其ノ間僅カニ約百
三十「メートル」程ノ平ラナ水平線ガアル
バカリノ状態デゴザイマス、隨ヒマシテ交
通上、或ハ列車運轉上カラ見テ相當ノ困難
ヲ伴フノデハナイカト思ハレルノデゴザイ
マスケレドモ、是ハ一應圖面ノ上デ見マシ
タ觀察デゴザイマスカラ、尙ホ實地ニ能ク
調査致シマシテ、其ノ採否ヲ決定致シタイ、
斯様ニ存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 採擇ニ決シテ御異議アリマセ
ニ決シマシタ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主査 御異議ナシト認メマス、採擇
ニ決シマシタ

○樋口主査 日程第一七、苦前村字力費ニ
乗降場設置ノ請願、文書表第三七號——紹
介議員坂東幸太郎君
○坂東委員 是ハ北海道苦前郡苦前村大字
力費村字力費ニ乗降場設置ノ請願デアリマ
ス、苦前村字力費ハ農業其ノ他ノ發展途
上ニアリマスガ、停車場マデノ距離約一
里モアリマシテ、其ノ間人家ガ僅カニ存在
スルノミデ背面ハ斷崖高ク海ニ接シ、風強
ク波濤高キ際ハ殆ド交通困難デアリマス、
仍テ速ニ苦前村字力費番屋ノ澤ニ乗降場ヲ
設置セラレタイト云フデアリマス、本請
願ハ屬シ本院ニ於テ採擇ニナツテ居リマス
シ政府モ調査セラレテ居リマスガ、此ノ際
御所見ヲ伺ヒタイ

○長崎政府委員 本件ニ關シマシテハ屬シ
請願ガゴザイマシタ、最近ニ於テモ第七十
四號會議、第七十五號會ト云フ風ニ請願ガア
ツタデアリマス、隨ヒマシテ現地ニ付テ
能ク調査致シテ見マシタ所ガ、設置希望ノ
地點ト云フノハ千分ノ六、七及ビ千分ノ十
ノ勾配ニ跨グル線ノ上ニアリノデアリマシ
テ、構内ノ線ニ約五百「メートル」位ノ水平
線ヲ持セル爲ニハ力費方面ヲ盛土致シマ
シテ古丹別方面ヲ切取ル、其ノ工事費ガ相
當多額ヲ要スル見込デゴザイマス、附近ノ
模様ヲ見マスト地勢ノ關係デ人口モ餘リ多
クナイヤウデゴザイマス、力費驛カラハ僅
カニ二「キロ」餘隔ツテ居ルニ過ギナイノデ
アリマス、驛勢範圍モ極メテ狭イヤウニ思ヒ
マスノデ、新驛ノ利用者モ澤山ハナイノデ
ハナイカト思ヒマス、只今ノ所デハ驛ノ設
置ト云フコトニハ先程カラ申上ゲマシタヤ
ウニ資料其ノ他ノ色々ナ關係カラ致シマシ
テ、早急ニ之ヲヤツテ行ク見込ト云フモノ
ハ非常ニ少ナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリ
マス

○坂東委員 尙ホ調査ヲ切望致シマス、是
ハ最初建設スル時ニ議論ガアリマシタ、停
車場ハ現在力費ニアリマスガ、請願地方實
際其ノ邊ノ中樞デアリマシテ、全ク不便ヲ感
ジテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ凡ル
角度カラ研究セラレンコトヲ切望致シマス、
採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主査 御異議ナキモノト認メ、採擇
ニ決シマシタ

○樋口主査 日程第一八デアリマスガ、是
ハ紹介議員ヨリ延期ノ申出ガアリマシタノ
デ延期致シマス
昭和十六年二月五日印刷
衆議院事務局

之ヲ以テ日程全部ヲ終了致シマシタ、次
會ハ十二日ノ午後一時開會スルコトニ致シ
マシテ、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス
午後二時三十分散會

○樋口主査 日程第一七、苦前村字力費ニ
乗降場設置ノ請願、文書表第三七號——紹
介議員坂東幸太郎君
○坂東委員 是ハ北海道苦前郡苦前村大字
力費村字力費ニ乗降場設置ノ請願デアリマ
ス、苦前村字力費ハ農業其ノ他ノ發展途
上ニアリマスガ、停車場マデノ距離約一
里モアリマシテ、其ノ間人家ガ僅カニ存在
スルノミデ背面ハ斷崖高ク海ニ接シ、風強
ク波濤高キ際ハ殆ド交通困難デアリマス、
仍テ速ニ苦前村字力費番屋ノ澤ニ乗降場ヲ
設置セラレタイト云フデアリマス、本請
願ハ屬シ本院ニ於テ採擇ニナツテ居リマス
シ政府モ調査セラレテ居リマスガ、此ノ際
御所見ヲ伺ヒタイ

○樋口主査 日程第一八デアリマスガ、是
ハ紹介議員ヨリ延期ノ申出ガアリマシタノ
デ延期致シマス
昭和十六年二月六日發行
衆議院事務局

第三類 第五號

第七十六回帝國議會 請願委員第四分科(司法省、文部省及)會議錄(速記)第二回

會 議
昭和十六年二月十二日(水曜日)午後一時十
五分開議
出席委員左ノ如シ
主席 樋口善右衛門君

小野 寅吉君 大橋清太郎君
北浦圭太郎君 庄司 一郎君
中野 寅吉君 土田 莊助君
野口 喜一君

川崎巳之太郎君 福田 梯夫君
森 幸太郎君 小山田義孝君
加藤 鐵造君 南雲 正朝君
林 平馬君 渡邊玉三郎君
委員長 加藤 知正君
出席政府委員左ノ如シ

司法省調査部長 中島 弘道君
文部省圖書局長 松尾 長造君
文部省宗教局長 阿原 謙藏君
鐵道省建設局長 倉田 玄二君
鐵道省需品局長 堀木 鎌三君
主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員宮本雄一郎君 今成留之助君
同 伊藤東一郎君 今成留之助君
同 植原悦二郎君 同 森 肇君
同 稻田 直道君 同 豐田 收君
同 山本 芳治君 同 中田 儀直君
同 青山 憲三君 同 武田德三郎君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ
一 名寄區裁判所ニ地方裁判所甲號支部
併置ノ請願(第七二號)

二 下川根村ニ區裁判所出張所設置ノ請
願(第一八號)
三 國字改善ニ關スル請願(第七九號)
四 禮儀作法改善ニ關スル請願(第八五
號)
五 岐阜縣「薩摩」工事役館址「史蹟指定」ニ
關スル請願(第七八號)
六 名寄町ニ運輸事務所設置ノ請願(第
六九號)
七 長岡鐵道買収ノ請願(第一〇號)
八 南小谷村字倉下ニ停車場設置ノ請願
(第六二號)
九 小鹽江村ニ停車場設置ノ請願(第八
四號)

一〇 佐世保、志佐間省營「バス」運輸開
始ノ請願(第八〇號)
一一 濱物用空樽原産地返送ニ要スル特
別取扱期間延長ノ請願(第一〇一號)
一二 岡山、境間直通列車運轉ノ請願
(第一〇八號)
一三 原谷村大字檜原ニ停車場設置ノ請
願(第五四號)
一四 釧路、相生間鐵道運成ノ請願(第
六一號)
一五 三井、三井間鐵道運成ノ請願(第
六五號、第七六號)
一六 倉吉、勝山間鐵道運成ノ請願(第
七三號)
一七 直江津、六日町間鐵道敷設ノ請願
(第七四號)
一八 横手、本莊間鐵道ヲ豫定線ニ編入

其ノ他ニ關スル請願(第八一號)
一九 若櫻、八鹿間及若櫻、新宮間鐵道
運成ノ請願(第一〇七號)
○樋口主査 是ヨリ第四分科ヲ開會致シマ
ス
日程第一、名寄區裁判所ニ地方裁判所甲
號支部併置ノ請願、文書表第七二號——紹
介議員松浦周太郎君
○坂東委員 私モ紹介議員ノ一人デアリマ
スルカラ紹介致シマス、北海道天鹽國上川
郡、北見國紋別、枝幸ノ兩郡、石狩國空知
郡、一部ノ地方裁判所管轄タル上川、中川ノ兩
郡ノ如キハ交通不便ニ加ヘテ近時管内ニ於
ケル産業ハ躍進シ、社會事象モ亦複雜ヲ加
ヘ、隨テ管理件數益、增加ノ趨勢ニアルヲ以
テ交通上、運轉事件處理上名寄區裁判所ニ
地方裁判所支部ヲ併置スルハ最モ必要ナリ
ト信ス、仍テ名寄區裁判所ニ民事刑事第一
審ノ事務ヲ取扱フ支部ヲ併置セラレタシト
云フ要望ノ請願デアリマスガ、政府ノ御意
見ヲ御伺ヒ致シマス
○中島(弘)政府委員 本請願ノ名寄區裁判
所管内ハ面積ガ非常ニ大キクアリマシテ、
而モ僻陋ノ地ガ多ク、鐵道ヲ利用シ得ル土
地デアツテモ、北部ノ地方カラ本廳ノ所在
地タル旭川市ニ到ルマデハ相當長時間ヲ要
シ、不便ガ多イコトハ極メテハツキリシテ
居ルヤウデアリマス、斯ウ云フ點ト近時此
ノ地方ノ經濟的發展トヲ斟酌シマシテ、將

來ハ十分考慮シタイト考ヘテ居リマス
○坂東委員 設置ノ順番等ハ段々接近シテ
居ル譯デアリマスガ、御伺ヒ致シマス
○中島(弘)政府委員 何分比較シテ考ヘテ
行カナケレバナラス所ガアリマスノデ、ド
ンナ順序ニナツテ居ルカト云フコトハ一寸
今申上ゲ兼ねルノデゴザイマスガ……
○坂東委員 出來ル限リ實現ノ促進ヲ要望
致シマシテ採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 坂東君ノ動議ニ御異議アリマ
セスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主査 御異議ナキモノト認メマシテ、
本案ハ採擇ニ決定致シマス
○樋口主査 次々日程第二、下川根村ニ區
裁判所出張所設置ノ請願、文書表第一八
號——紹介議員宮本雄一郎君
○宮本雄一郎君 本請願ハ場所ハ靜岡縣ノ
榛原郡、志太郡ノ兩郡ニ關スル問題デアリ
マシテ、東海道線ヲ起點ト致シマシテ大井
川ノ兩沿岸ニ數箇村ノ自治體ガゴザイマス、
只今登記所ハ金谷町ニアリマシテ、一番近
イ所デ二里以上ノ距離ガアリマス、此ノ兩
沿岸ノ數箇村ノ最モ便宜ナル下川根村ニ區
裁判所ヲ設置シタイト云フ請願デアリマシ
テ、既ニ本請願ハ每議會請願致シテ採擇ニ
ナツテ居ル問題デアリマスガ、マダ實現ヲ
致サスノデアリマス、此ノ機會ニ政府ノ御
方針ヲ御發表願ヒマシテ、御採擇ヲ御願ヒ
致シマス
○中島(弘)政府委員 此ノ下川根村ハ豫定

件數カラ見マス。僅少ナヤウデアリマス。ケレドモ、交通狀況ヲ考ヘマス、言ハレ...

○坂東委員 便宜上私ヨリ御紹介致シマス。此ノ請願ノ趣旨ハ、國家ノ簡易化ハ...

○樋口主査 御異議ナシト呼ブ者アリ。本請願ハ採擇セラレマシタ。

○樋口主査 日程第三、國字改善ニ關スル請願、文書表第七九號 紹介議員福井共三君外一名

○松尾(長)政府委員 國字ノ整理統一ハ國民精神ノ統一ニ缺クコトノ出來ナイモノデアリ...

○松尾(長)政府委員 「エスベラント」ニ付キマシテハ當面ノ問題ト致シテ居リマセ...

者協力致シマシテ日下國語國字問題ニ付テ鋭意調査研究ヲ進メテ居ル所デアリマス...

○樋口主査 日程第四、禮儀作法改善ニ關スル請願、文書表第八五號 紹介議員宮澤裕君

○川崎(E)委員 此ノ場合文部當局ニ一寸御伺ヒテ置キタイノデスガ、禮儀作法ト云フコトハ勿論家庭方其ノ責ノ半分ヲ負...

ル請願ノ御趣旨ハ全然文部省ト致シマシテモ同感デゴザイマス、只今仰セニナリマシタ...

○松尾(長)政府委員 サウ云フコトハ、私自身ノ學生時代ノ經驗ヲ省ミテモ、ヨクアルコトデアルト認メマス、成程御説ノ通り...

○樋口主査 日程第五、岐阜縣薩摩工事役館址ノ史蹟指定ニ關スル請願、文書表第七八號 紹介議員伊藤東一郎君

○伊藤東一郎君 長ク時間ヲ拜借致シマス。コトヲ前以テ御断リ申上ゲテ置キマス、御承知ノ如ク、濃美平野ニハ木曾、揖斐、長良...

モデアル、併シナガラ是モ 天皇陛下ノ御命令ダトシタナレバドウデアラウカ、而モ假令二百里、三百里ヲ距テテ居ツテモ何レモ...

トハ、附近ノ住民ニ御布合ヲ出シマシテ、薩摩藩士ニハ敢テ座敷ヲ借スコトハナラヌ、軒下ヲ雨露サヘ凌ゲレバ宜イ、而モ朝夕三度ノ食事ハ一汁一菜以上與ヘルコトハ相成ラス、若シ彼ニ好意ヲ寄セテ假令草履一足デモ、一杯ノ茶デモ命令以外ニ出シタ者ガアツタナレバ嚴罰ニ處スルト云フ實ニ殘酷極マル所ノ大干渉ヲ幕府ハシタノデアリマス、併シナガラ是等ノ干渉壓迫ニ堪ヘ、此ノ工事ハ五年ノ五月ノ二十日ニ成功ノ上、目出タク幕府ノ檢分ガ終ツタノデアリマス、斯様ニシマシテ平田親貞總奉行ヲ初メ薩摩藩士ニ同ハ協心戮力、忍苦ニ堪ヘ寢食ヲ忘レ、萬難ヲ克服シテ奮闘努力ヲサレタノデアリマシタガ、度々ノ天災ニ遭遇シ、築イテハ破壊サレ、築イテハ壊サレ、爲ニ工費ハ豫算ヨリ超過スルコト幾倍、ソレヲ只今ノ米價ニ換算致シマスルト約六千万圓ノ工費ヲ要シタノデアリマス、併シナガラ之ヲ中止セシカ、薩摩藩公ノ面目ト地方民ノ此ノ水ヨリ受クル所ノ患苦ヲ如何ニセン、假令豫算超過ヲ來ストモ斷ジテ成シ遂ゲナケレバナラス、若シソレ專斷ノ罪ニ至ツテハ一死以テ之ヲ藩公ニ謝スルノミト、平田先生ハ慨然タル決心ヲ以テ一同ヲ鞭撻奮勵ニ從ヒ、或ハ西ニ走リ東ニ奔ツテ經費ヲ集メ、千辛萬苦、遂ニ此ノ難工事ヲ竣功セシメラレトノデアリマス、此ノ間ニ前後自刃サレタル人ハ五十名、病ニ斃レタル人ハ三十名、實ニ言語ニ絶スル多大ノ犠牲ガ拂ハレタノデアリマス、斯クシテ總奉行平田親貞先生ハ工事一切ニ付テ藩公ヘノ報告ヲ終リ、總テノ責任ヲ一身ニ背負ツテ寶曆五年五月二十五日ニ總司令部タル本請願ノ大卷村ノ役館ニ於テ從容自刃サレタノデアリマシタ、

熟考ヘマスルノニ、古來我々國ハ殉難忠烈ノ士ハ固ヨリ指ヲ屈スルニ迫アリマセズ、併シナガラ泰平ノ世ニ主命ヲ重ンジ大偉業ヲ完成セテ、民人ヲ塗炭ノ苦ニ居ラズ、總テリ名達ガテ而モ自ラ其ノ功ニ居ラズ、總テ責任ヲ一身ニ負ヒ、其ノ身命ヲ他落ノ封土ニ抛チマシタル平田先生ノ如キハ、其ノ忠誠義烈實ニ日月ヲ貫キ眞ニ我々國武士道ノ權化デアリ、實ニ鬼神ヲシテ壯烈ニ哭カシムルトハ此ノコトヲ言フコトデアラウト存ジマス、由來此ノ事蹟ハ幕府ニ對スル關係ニ秘密ノ裡ニ葬ラレテ居リマシタケレドモ、偉業ハ永ヘニ生キ關係地方ノ生民ハ親カラ子、子カラ孫ヘト傳ヘテ何レモ明ケ難クシテ、涙ニ咽ンデ居リマシタガ、義士ノ感涙ノ涙ニ咽ンデ居リマシタガ、今日三大川ノ水ハ洋洋トシテ南ニ流ルルノ邊リ、五穀穰々トシテ實リ黃波浪打チ百萬ノ民怡々トシテ鼓腹安泰ノ樂シミヲ受タルモノ、勿論聖代ノ恩德アルカナルレドモ、又平田先生ヲ初メ義士一同ノ方々ノ犠牲奉公ノ賜ナリト言フベキデアリマス、宜ナル哉明治ノ聖代ニ至リマシテ事蹟漸ク顯ハレ、過タル大正十五年其ノ忠節天聽ニ達シ平田先生ハ贈從五位ノ恩典ニ浴サレ、眞ニ又難工事デアツタ千本松原ハ史蹟ニ編入ヲサレマシタ、而シテ其ノ千本松原ニハ義士ヲ祀ル治水神社ガ創建サレ、又各所ニアリマスル所ノ義士終焉ノ地ハ地方民ノ寄進ニ依リマシテ墓地ガ建設或ハ改造サレマシテ、近時其ノ德ヲ慕フテ參拜スル者ハ續々ト後ヲ斷タズ香煙燦々トシテ立上ツテ居リ實狀デアリマス、本請願ノ地ニハ平田先生初メ義士ノ頌德碑並ニ平田先生ノ銅像ガ建設ラレマシテ、附近一帶ハ小公園地方民崇敬ノ

淨地トナツテ居リマス、斯様ナ次第デアリマスカ速カニ史蹟ニ編入サレ、先人ノ遺德ヲ永ヘニ顯彰スルコトハ時局下國民精神作興ニ寄與スル所又大ナルモノアルコトト信ジマスガ故ニ、此ノ際滿場一致御採擇ヲ冀ヒマスルト同時ニ、政府ノ御所見ヲ併セテ拜聴政シタイト存ジマス

○阿原政府委員 御答ヘ致シマス、本件ノ史蹟ノ指定ニ關シマシテハ昭和十二年五月ニ岐阜縣知事カラ書類等ノ申達ガアツタノデアリマス、ソレニ依リマシテ同年六月ニ本省職員ニ詳細ナ實地調査ヲ致セマシテ、更ニ慎重審議ヲ致シマシタノデアリマス、大變遺憾ナコトニハ其ノ薩摩工事役館跡ト云フノハ、當時ノ狀態ヲ非常ニ毀損致シテ居リマシテ、サウ云フ關係ガ委員會ニモ掛ケタノデアリマス、遺憾ナガラ史蹟名勝天然記念物保存法ニ依ツテハ指定出來ナイト云フコトニナツタノデアリマシテ、其ノ旨昨年七月岐阜縣知事ニ通牒ヲ致シテ置イタヤウナ次第デアリマス、右様ナ次第デアリマスカラ御承願ヒタイト思ヒマス

○伊藤東一郎君 サウ致シマス、今ノ御説明ニ依リマス、總テノ書類ガナイノデアリマス、何カ記録ト申シマス、サウ云フモノガ全ク然ナイノデアリマス、惜シイコトニハ碑ヲ建テラレル時ニ其ノ邊ヲ全部埋シテシマツタ、ソレデスカラ建物モ何モ遺ツテ居ラナイノデアリマス、サウ云フモノノ取扱ハ史蹟名勝天然記念物保存法

ニ依ツテハ、特殊ノ場合以外ニハ認メラレナイト云フコトニナツテ居リマシテ、大變遺憾デアリマスガ、サウ云フヤウナ結果ニナツタ次第デアリマス

○伊藤東一郎君 特殊ノ場合以外ニハ認メラレナイト、斯ウ仰セラレルノデアリマスガ、其ノ特殊ノ場合ニハナリマセヌカ

○阿原政府委員 特殊ノ場合ト云フノハ、例ヘバ皇居ノ跡デアルトカ、行宮ノ跡デアルトカ云フ場合ニ限ツテ取扱ツテ居ルノデアリマス

○坂東委員 其ノ役館ノ形ガナケレバ指定出來ナイ譯デアリマス

○阿原政府委員 例ヘバ其處ノ建物ノ或ハ基礎工事デアルトカ、何カ建物ニ關聯シタモノトカ、工事ノ現場デアツタヤウナ跡デアルトカ、サウ云フヤウナモノガ全然遺ツテ居ラナイ、何カ遺ツテ居リマセヌカ、特殊ノ場合以外ニハ從來取扱ツテ居リマセヌカ、折角サウ云フヤウナ重要ナ案件デアリマスカレドモ、保存セラレベキモノガ遺ツテ居ラナイ點ガ非常ニ遺憾デアツテ、サウ云フ點ガ取扱ガ出來ナイ譯デアリマス

○坂東委員 サウスルト遺蹟、即チ史蹟ト云フ跡ガケデハ詰リ指定ハ出來ナイヤウナ建前ニナツテ居ルノデスカ

○阿原政府委員 左様デゴザイマス

○坂東委員 ソレハ只今政府委員ノ御答辯ニ依レバ、特殊ノ場合ト云フヤウナコトモアリマスカラ、尙ホ一層御研究ヲ願フト云フ程度ガ採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 坂東君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 御異議ナキモノト認メマシテ本案ハ採擇ニ決シマス

○樋口主査 日程第六、名寄町ニ運輸事務所設置ノ請願、文書表第六九號 紹介議員 員松浦周太郎君

○坂東委員 私人紹介議員ノ一人デアリマス、カヲ代ツテ紹介ヲ致シマス、北海道天鹽國上川郡名寄町ニハ、大正十一年ニ保線事務所ノ設置ヲ見マシタガ、其ノ後同地方ノ鐵道交通關係ハ頗ル複雑多岐トナツテ居リマス、カカラ、前記名寄町ニ運輸事務所ヲ設置スルコトハ最モ必要ナリト思ツテ居リマス、仍テ前記名寄町ニ運輸事務所ヲ設置セラレントラ要望スルト云フ請願デアリマス、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○堀本政府委員 只今御紹介ニナリマシタヤウニ、名寄町ニハ大正十一年ニ保線事務所ガ出來タノデアリマスガ、此ノ保線事務所ト云フモノハ、大體鐵道省ガ管段ノ仕事ヲ運管管理致シテ行キマス上ニ於テ適當ナリト考ヘテヤツテ居ルノデアリマシテ、普通ノ場合ニ於キマシテハ、殆ド今鐵道省自體ノ内部的ノ事務ト致シマシテハ、保線事務所ノアル所即チ運輸事務所ノアル所、運輸事務所ノアル所ニ保線事務所ノアル所ヲ希望シテ居ル次第デゴザイマスガ、本地方ニ於キマシテハ、稚内ノ樺太ニ近キ特殊性及ビ運輸系統上ノ特殊性ト云フモノガアリマス爲ニ、運輸事務所ヲ名寄カラ引離シテ稚内ニ置イタヤウナ次第デゴザイマス、現在ノ狀態ト致シマシテハサウ云フ事情デゴザイマス、更ニ稚内カラ引離シテ別ニ名寄ニ運輸事務所ヲ設置スルト云フヤウナ必要性モ、差當リハナイヤウナコトニナツ

テ居ルノデアリマス、只今仰セラレマシタヤウニ、將來北海道ノ産業ノ情勢其ノ他ニ變化ヲ見マス場合ニハ、其ノ際十分ニ研究致シタイト、斯ウ云フ心組デ居ル譯デアリマス

○坂東委員 既ニ名寄カラ朱鞠内間ノ鐵道建設モ出來テ居リマスシテ、又遠野線ノ貫通建設モ近イノデアリマシテ、ドウカ將來ノ鐵道建設ノ事情等ヲ考ヘラレマシテ、引續キ研究ヲ希望致シマシテ、採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 異議ナキモノト認メマシテ、本請願ハ採擇ニ決シマス

○樋口主査 一寸御諮リヲ致シマス、日程變更デゴザイマスガ、紹介議員今成君カラ、他ノ重要會議ニ出席スルト、此ノ日程時分ニハ此ノ委員會ニ來レヌヤウニナルト思フカラ之ヲ一ツ線上ガテ此ノ次ニヤツテ與レト、斯ウ云フ御請求ガアリマスガ如何取計ラツタラ宜シウゴザイマセウカ 日程變更ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 ソレハ御異議ナキモノト認メマシテ、日程第一七上程致シマス

〔政府委員ガ來テ居リマセヌカト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 一寸今成君ニ御諮リシマスガ、只今政府委員ガ來テ居ラレヌサウデアリマシテ、政府ノ意見モ質サレヌダラウト思ヒマス、來ラレレマデ御待チテ願ヒマス 一ツレデハ、只今ノヤウナ次第政府委員ノ意見ヲ質ス必要ガアリマスコト、政府委員

員ノ出席マデ此ノ日程第一七ヲ延バシマシテ、政府委員ノ出席ヲ待ツテ之ヲ審議スルコトニ願ヒマス

○樋口主査 ソレハ日程第七、長岡鐵道買収ノ請願、文書表第一〇號 紹介議員 員加藤知正君外一名 今成君

○今成留之助君 長岡鐵道買収ノ請願ノ趣旨ヲ申上ゲマス、本鐵道ハ私設デ以テ既ニ運輸シテ居リマス、丁度新潟縣ノ中央ノ平野ニアリマス信越本線ノ來迎寺驛カラ更ニ分岐致シマシテ、寺泊ト云フ港ニ通スル小サナ鐵道デゴザイマス、此ノ鐵道ハ丁度中央ヲ貫通シテ居リマシテ、國有鐵道ヲ二本横切ツテ居リマス、豫テ越後鐵道ノ買収ノ際ニモ是ガ當然買収サレベキ譯デアツタノデアリマスガ、ドウ云フ都合デアリマス、財政ノ都合上カモ是ガ殘サレテ居ル、サウシテ運輸回數ナドモ非常ニ疎ラデゴザイマシテ、沿線ノ交通上非常ニ不便ヲ來シテ居ル鐵道デアリマス爲ニ、寺泊港ノ開發ガ出來ナイ、現ニ内務省デモ新潟港ノ補助港ト致シマシテ相當ノ豫算ヲ以テ浚渫シテ居リマス、相當重要ナ港ニ連絡シマス鐵道ガ、私設ノ爲ニ非常ニ不便ヲ地方民ハ感シテ居ル譯デアリマス、之ヲ國營ニナサイマス、米産地デアリ、或ハ漁獲物其ノ他近縣ノ運輸品ヲ或ハ群馬縣或ハ長野縣等ニ極メテ低廉ニ運搬スルコトノ出來ル鐵道デゴザイマス、是非一ツ此ノ長岡鐵道ヲ國營ニスルヤウニ致シタイト云フノガ此ノ請願ノ趣旨デゴザイマス、何卒各位ノ御賛成ヲ得タ上デ更ニ政府ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○堀本政府委員 本鐵道ニ關シマシテハ、

養ニモ御請願ガゴザイマス、鐵道省ト致シマシテ十分考慮ハ致シテ居ル次第デゴザイマスガ、何分ニモ御承知ノ通りノ狀態デアリマシテ、今回モ衆議院ニ買収法案ヲ出シマシテ御諮議ヲ願フ譯デアリマスガ、ソレ等モ時局柄軍需輸送デゴザイマス、トカ、生産力擴充デゴザイマス、建設ノ豫定ニ當ツテ居リマシテ、ソレガ早急ヲ要スルト云フ風ナ原則カラ出タモノヲ從來買収致サユウナ順序ニナツテ居リマシテ、今回提案致シマシタ買収法案ヲ御覽願ヒマシテ、時局柄最モ生産擴充其ノ他ニ必要ナ點ヲ置イテ御諮議ヲ願フ譯居ルヤウナ次第デゴザイマス、只今仰セニナリマシタ新潟港ニ對シマシテモ、新潟臨港線ノ如キ、御説ノヤウナ趣旨カラ新潟港自體ニ對シテ鐵道省トシテ十分重點ヲ置イテ考ヘテ居ツタ次第デゴザイマス、唯本鐵道ハ何分ニモ豫定線ニモ該當致シマセヌシ、他ノ線ト比較致シマス時ニハ、運輸系統其ノ他ニ於テ比較ノ緊要性ガ迫ツテ居ルト云フ風ニモ考ヘラレマセヌカ、尙ホ今後研究、考究ヲ致スコトト致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○坂東委員 考究ヲ願フト云フ意味ガ採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○樋口主査 御異議ナキモノト認メマシテ、本請願ハ採擇セラレマシタ

○樋口主査 ソレハ日程變更セラレマシタ第一七、直江津、六日町間鐵道敷設ノ請願、請願者ハ新潟縣高田市長中川潤治外六十九名 紹介議員増田義一君

第三類第五號 請願委員第四分科會議錄 第二回 昭和十六年二月十二日

第三類第五號 請願委員第四分科會議錄 第二回 昭和十六年二月十二日

第三類第五號 請願委員第四分科會議錄 第二回 昭和十六年二月十二日

第三類第五號 請願委員第四分科會議錄 第二回 昭和十六年二月十二日

○今成留之助君 是八増田氏、武田氏、私三名ノ紹介アリマシテ、兩君御差支ヘデアリマスノデ私ガ代ツテ申上ゲマスガ、此ノ表題ハ御改メ願ヒマス、直江津六日町間鐵道敷設ノ請願デハゴザイマセス、以前ハ上越西線直江津六日町間鐵道敷設ト云フノヲ、今回ハ北越線ト云フコトニシテ、以前アリマス、北越線鐵道敷設ノ請願ト御直シテ願ヒタイノデアリマス、此ノ鐵道ハ新潟縣ノ中頸城郡ノ直江津カラ更ニ東頸城郡ヘ廻リマシテ、中魚沼郡ヲ通りマシテ南魚沼郡ノ上越線ニ連絡致シマス約七十「キロ」ノ鐵道デゴザイマス、此ノ鐵道ノ價值ハ同地方ニハ約五百万坪位ノ石油ノ油田ノ試掘ガゴザイマスシ、其ノ他石炭、鑛物等ノ産物モ出ルノデゴザイマスガ、交通不便ノ爲ニ未開發ノ資源ガ相當アル場所デアリノミナラズ、御承知ノ通り信越線ハ輕井澤ノ「アプト」式ノ關係デ輸送力ガ極メテ減退シテ居リマシテ、富山縣、石川縣、福井縣等ヨリ帝都ノ中央ニ出マスニハ旅客モ貨物モ非常ニ信越線ノミデハ不便ノデアリマス、然ラバ此ノ線ヲナクテモ、宮内ト云フ「アプト」信越線ガ行ツテ、サウシテ上越線ニ分岐スレバト云フノデアリマスガ、是亦非常ニ迂回ニナリマシテ、鐵道ノ經營上カラ考ヘマシテモ、此ノ北越線ヲ開通シテ載ケバ非常ニ交通上便利ヲ得ルト云フ意味デ、新潟縣ノ西部地方ノ各町村長並ニ富山縣、石川縣、福井縣ノ各有力ナ方々ガ請願人トナツテ本請願ヲ致シテ居ル大第デゴザイマス、時局下日本海方面ト帝都ヲ繋グベキ重要ナ幹線ニナルベキモノデゴザイマスガ故ニ、是非一ツ新ナ鐵道ヲ敷設シテ載キタイト云フノガ請願ノ趣旨デゴザイマス、何卒各位ノ

○堀口圭查 探擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○堀口圭查 御異議ナキモノト認メマス、本請願ハ探擇セラレマシタ

○堀口圭查 日程第八、南小谷村字倉下ニ

停車場設置ノ請願、文書表第六二號一 紹介議員植原悦二郎君

○植原悦二郎君 此ノ請願ハ所謂大町糸魚川間ノ鐵道ガ尙未完成サレテ居ラスニ居ル鐵道デアリマスガ、其ノ地方ハ既ニ完成サレテ居ルノデアリマス、其ノ大町糸魚川線所謂大糸線ノ森上驛ト南小谷驛トノ中間ニ於テ南小谷村ノ倉下ト云フ所ニ停車場ヲ設置シテ貫ヒタイト云フ請願デアリマス、此ノ北越線ノ森上ト云フ所ト南小谷村ノ南小谷ノ停車場ノアル所、南中ト申ス所デアリマスガ、其ノ間ハ八「キロ」以上アルノデアリマス、其ノ略中間ニ位スル所ガ倉下ト云フ所デアリマス、此ノ地方ハ山間デアリマシテ、道路ガ一本通ツテ居ルノミデアリマス、此ノ南小谷村ノ實業學校モ小學校モ役場モ郵便局モ、中心ニ皆只今停車場ノアリマサル南小谷村ノ雨中心ト云フ所ニアリマス、コレカラ二里モ三里モ南ノ方ニ此ノ村ハ延長サレテ居ルノデアリマシテ、汽車ノ出來ナイ時ニハ一本ノ道路デアリマスカラ、冬季雪ノ多イ時ニハ村人ガ皆出テ雪掻キヲシテ道路ノ交通ガ出來タノデアリマス、然ルニ鐵道ガ敷カレマシテ、鐵道ノ便ニ依ルノデ左様ナクモナシ、一番困難ノ感ジテ居ルノハ此ノ南小谷村ノ南部カラ二里三里ノ道ヲ通ツテ學校ニ通スル兒童デアリマス、雪ノ多イ時ニハ、只今デハ汽車ニ依リマシテ、他ノ旅客貨物ハ輸送サレテ居ルガ、道ガ塞ガレレバ爲ニ小學校兒童ハ殆ド通學出來ナイノデ休學スルコトガ非常ニ多イノデアリマス、汽車ガ出來タ爲ニ南小谷村ノ停車場ノアル所カラ三里以上モ南ノ方ニ至ル此ノ地方ハ、冬ニナレバ却テ不便ヲ感ズルヤウナ状態ニナツタト云フコトモ一ツノ理由

○植原悦二郎君 此ノ附近ニ千古斧鉞ト申シマスカ、サウ云フ森林ニモ惠マレテ居ル地方デアリマス、最近其ノ地方デ嶺山モ發見サレテ事業モ略開始スルコトニナツテ居リマス、又此ノ地方ニ、今使ハレテ居リマス松本平地方カラ南北安曇ノ「スキー」ノ場所ヨリハモット良イ「スキー」ノ場所モ此ノ附近ニアリノデアリマス、而シテ此ノ倉下ト云フ所ハ丁度森上ト南小谷村ノ驛ノ中間ニアツテ多少ノ勾配ハアルト思ヒマスガ、驛ヲ設置スルニサウ困難ナイト云フコトハ調査ノ結果ハツキリサレテ居ルコトト思ヒマス、大キナ驛ハ設置出來ナクとも、出來ルナラバ取敢ズ簡易停車場デモ宜イ、多數ノ通學兒童ノ爲ニ、此ノ地方ノ資源開發ノ爲ニ、又色々ノ便宜カラ此ノ周圍ノ南小谷村ト云フ全體ノ戶數、人口ヲ考ヘマスル時ニ、此ノ地方ニ停車場ヲ設置スルト云フコトノ必要ナコトハ明ナコトデアルト思ヒマス、唯此ノ地方ニ於テ倉下ガ宜イトカ、或ハ他ノ場所ガ宜イト云ツテ、地方民ノ間ニハ場所ニ付テ多少ノ争ヒヲシテ居ルヤウデアリマスガ、私ノ趣意ハ場所ハ何レデモ宜シイ、此ノ長イ山間部ノ村、南部ニ於テハ殆ド全部交通ニ惠マレテ居ラナイ、却テ交通機關ガ出來タ爲ニ、或ル點カラ言ヘバ通學兒童何カガ不便ヲ感ジテ居ル、斯ウ云フコトモアルノデアリマス、此ノ長イ距離ノ中心ニ一ツ驛ヲ造ツテ貫ヒタイト云フコトデアリマス、其ノ場所ハ鐵道當局ニ於テ何處ガ一番有利ダト御決メニナツテモ宜シイ、唯只今ノ所ハ一番中間部ニアルシ、多少ノ勾配ハアルケレドモ、空地其ノ他カラ行ケバ倉下ガ一番便宜デヤナイカト云フコトデ、倉下ヲ指定シテ請願ニアリマスルケレドモ、要ハ南

小谷ト森上ノ中間ニ於テ一ツノ驛ヲ造ツテ貫ヒタイ、是ガ總テノ方面カラ見テ必要デアル、經費ノ問題ニ於テモ非常ニ影響スル問題デアリナイ、斯ウ云フ點カラ此ノ請願ヲ毎年繼續致シテ居リマスガ、請願委員會ニ於テハイツデモ滿場一致御採擇ヲ願ツテ居リマス、此ノ請願ヲ昨年致シマシテ、昨秋頃デシタカ再ニ調査サレテ居リマスガ、尙ホ新潟ノ鐵道局カラ行ツテ可ナリ綿密ニ調査ヲナサレタ答ダト私ハ推測致シテ居リマス、斯ウ云フコトモ承ツタリセマシテ、此ノ請願ヲ茲ニ御採擇ヲ願フト共ニ大糸線貫通以前ニ於テ、總ベテ工事其ノ他ノ便宜カラ言ツテ此處ニ驛ヲ造ルト云フコトガ一番宜イコトデアラウト信ジマスルガ故ニ、其ノ實現ヲ期シタイト云フコトガ此ノ請願ノ趣意デアリコトヲ御承知願ヒ、政府ノ御意向ヲ伺ヒ、且ツ地方民ノ熱心ナル希望デアリマスルカラ、ドウカ請願委員諸君ハ滿場一致御採擇アラシコトヲ切望致シマス

○堀木政府委員 御話ノゴザイマシタヤウニ前ノ議ニ於キマシテモ本請願ガ採擇サレテ居リマスノデ、御話ノ新潟鐵道局ヲシテ詳シク調査ハ致シテ略々完成致シテ居リマス、段々御述ベニナリマシタヤウナ事由ニ付キマシテモ鐵道省ト致シマシテモ、洵ニ同地方ノ方ト致シマシテハ驛ノ設置要望ノアルノモ亦當然デアルト云フ風ニ考ヘテハ居ルノデアリマスガ、御話ニナリマシタヤウニ同地方ノ線路ノ状態ヲ見マスルト、大體此ノ地方驛ヲ置イテ貫ヒタイト云フ御希望ノアル地方ハ十分ノ十五ノ下リ勾配ニナツテ居リマス、尙ホ曲線モ相當入ツテ居ルノデアリマシテ、標準ニ依リマス驛設置ヲ致シマス、工事費タケデモ大體三十万圓近

○堀木政府委員 御話ノゴザイマシタヤウニ大體出來上ツテ居ルノデゴザイマス、御事情ト致シマシテハ洵ニ同地方ノ方ニオ氣ノ毒デゴザイマスガ、何分ニモ目下ノ所トシテハ各地方ニ此ノ種ノ御請願其ノ他ノ要望ガ多イノデアリマシテ、鐵道省トシテ今記録致シテ居ルダケデモ驛設置其ノ他デ大體七百件近イモノガアルノデゴザイマス、而モ中ニハ最近ノ生産力擴充ノ政策ニ伴ヒ、或ハ軍事上ノ必要ニ伴ヒマシテ差迫リ驛ヲ造ラナケレバナラナイ、或ハ既成ノ驛ノ裏口ヲ作ラナケレバナラナイ、或ハ線路ヲ直サナケレバナラナイト云フヤウナ所ガ非常ニアル譯デアリマス、私共鐵道省ト致シマシテモ、斯ウ云フ風ナ情勢ニ對シマシテ、實ハ急速ニ地方ノ實情ニハ即應出來ナイヤウナ情勢ニアリマスコトヲ非常ニ遺憾ト存ジテ居ルノデゴザイマス、尙ホ將來ニ付キマシテハ考究致シタイト存ジマスガ、今御話ニナリマシタヤウニ、急速ニ實施ヲ致スト云フ風ナコトハ、今ノ情勢カラ見マスルト甚ダ難カシイコトデアリナイカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○植原悦二郎君 今ノ政府委員ノ御説明ハ總テ貨物ノ積卸等マデスル完全ノ停車場ノ御計畫ト思ヒマスガ、昨年私此ノ委員會ニ於キマシテモ希望ヲ申述ベテ置イタノデスガ、簡易停車場トシテ貨物輸送ノ問題ヲ扱キニシテ、小學校兒童ガ冬季ノアル時ニ、通行ガ出來ナイデ長イ間休校スルヤウナ状態デアリノダカラ、取敢ズサウ云フ人ノ乗ツタリ降リタルスル簡易停車場ノ貨物ヲ取扱ハスデモ宜イ簡易停車場ト云フノガアリマスガ、ソレヲ造ルトシテ一ツ實測シテ見テ載キタイ、其ノ方ハ出來テ居ルデセウ

カ如何デセウカ、實ハ他ニモ私承知シテ居ル所デ、十年バカリ前ニ簡易ナ停車場ヲ造ツタ所ガ、ソコガ非常ニ繁昌シテ今度ハ本當ノ停車場ニスルヤウナ所デアリマスガ、是モ取敢ズ必要ナコトハ、通學兒童ガ一番困ツテ居ルノデアリマスカラ、本當ノ總テ完備シタ停車場デナクシテ、人間ガ昇降出來ルダケノ簡易ナ停車場トシテ一體ノ位置シイノデアリナイカ、斯ウ云フ點ノ御研究ヲ願ツテ見タイ、特ニ其ノ方面ノ調査モ願フテ見タイト云フコトヲ昨年此ノ委員會ニ於テモ御願ヒシタノデアリマスガ、サウ云フ簡易停車場設置ニ對スル調査研究ハ遠ダラレテ居ルノデアリマセウカ、ナイノデアリマセウカ、若シナイトスルナラバ、今ノ時局デアノ線路ニ三十万圓掛ケテ、彼處ニ本當ノ驛ヲ造ルトハ如何ニ必要デモ其ノ他ノ事情ガ早急ニ許サナイダラウト云フコトハ私モ略々推測出來マス、故ニ取敢ズ簡易停車場設置ノ問題ニ付テ御調査ト御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○堀木政府委員 今申上ゲマシタヤウニ、現地ノ勾配ガ十分ノ十五デゴザイマスノデ、土木費タケニ相當ノ金ガ要ル、斯ウ云フコトニ御考ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ簡易ナ停車場デゴザイマスレバ、ソレガ土木費ヲ餘リ要シマセウナ勾配ガ少イ箇所デゴザイマス、非常ニ安ク済ムノデアリマスシ、資材モ少クテ済ム状態デ、是ハ仰シヤル通りナノデゴザイマスガ、此ノ地方ニ停車場ヲ造リマスニ、建物其ノモノヲ簡易ト致シマスレバ、大シタコトハナノデゴザイマスガ、土木工事、線路ノ工

○庄司委員 只今ノ政府委員ノ御言葉ハ、土木工事費ノ方ニ多大ノ經費ヲ要スルコトガ、只今議題トナツテ居ル此ノ問題ニ關シテハ最モ御非難ノヤウニ承リマス、仍デ此ノ請願關係ノ町村ガ努力ノ奉仕ヲスル、在郷軍人會或ハ青年團或ハ小學校ノ高等科ノ生徒等ヲ千名或二千名、必要トアラバ、延人員ニシテ五千名位ノ努力奉仕ヲシテ鐵道省ニ御協力申上ゲルコトニ依ツテ土木工事費ノ増額ヲ緩和スル方法モアルノデアリマス、「アメリカ」ニハ「フラスグ」ステーショント云フモノガアルサウデアリマスガ、サウ云フ小サナ簡易ナ「ステーション」ガ將來自分ノ關係町村ニ出來ルト云フ場合ニ於テ、政府ノ經濟ト云フモノモ地方ノ關係町村ニ於テハ考ヘテ居リマスノデ、所要ノ土地、敷地ヲ御寄附申上ゲルトカ、努力ノ一部ヲ提供スルト云フヤウナコトハ、關係町村ト御相談下サレバ極メテ容易ナコトト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ此ノ地方民ガ熱心ニ求メルモノヲ與ヘルコトガ政治ノ要諦デアル、言フマデモナク産業ノ開發ハ交通機關デアリマス、交通機關ハ産業ノ開發デアルト云フヤウナ定義、ハ「ウエルズ」ガ書イタ「世界文化史體系」最初ノ序文ニアル通りデアリマス、ソコデ地方ノ關係町村ガ努力ヲ御協力申上ゲルヤウナ意味ニナリマシタラバ、今一應御考ヘヲ願フ餘地ガアルノデアリナイカト考ヘラレル大第デゴザイマス、即チ鐵道ヲ愛スルコトハ、滿洲デ云ハバ愛路會デアルトカ、鐵道愛護村ト云フ

ヤウナモノガ出来テ居ル、東北地方ニ於キマシテモ、私共モ關係町村ノ一人トシテサウ云フ方面ニ御協力ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、土木工事ノ經費ヲ輕減スル意味ニ於テサウ云フコトモ併セテ御考ヘ下サツテ、此ノ問題ハ成ベク速カニ實現シテ下サツテ解決ヲシタイト思フノデアリマス

○植原悦二郎君 庄司代議士カラ大變宜イ御示岐ガアリマシタガ、此ノ地方デハ殆ンド停車場ヲ造ル爲ニ土地ノ値段ヲ見ル必要ハアリマセス、能ク此ノ場所ヲ私ハ知ツテ居リマセドモ、只今申上ゲテ通り本當ニ完備シタ停車場ヲ造ルトスレバ、今仰セラレタ通り經費ガ掛カルト思ヒマセドモ、簡易ナ停車場ナラバ餘リ經費モ要シマセス、勾配ニシテ所デ僅カデアル、土地ノ間題ガ計算ノ中ニ入ラズ、而モ一二町ノ間ノ線路ヲ少シ直セバ宜イノデ、簡易停車場ヲ造ル爲メナラバ工事モサウ大シコトデハナイト思ヒマス、サウ云フ意味デ庄司代議士ノ御示岐モアリマシタガ、地方ノ人ノ努力ヲ求メヨウトスルナラバ全町舉ツテ善ク之ニ應ズルモノト思ツテ居リマス、隨テ努力ノ費用ハ計上サレナイデモ宜イ、サウ云フモノヲ無報酬デ使フコトハ出来ナイト云フヤウナ御役所式ノ理屈ヲ言ハレルト困リマセドモ、本當ニ國民ト共ニ交通機關ノ完備ヲ一日モ早ク完成シタイト云フ御意見デヤラレマシタナラバ、サウ云フ問題ハ立ドコロニ解決スルト思ヒマス、ドウカ簡易停車場ト云フ意味デモウ一應至急御調べヲ願ツテ、此ノ實現ヲ期スルヤウニ御配慮アラント切望致シマス、ドウカサウ云フ意味デ御探擇アラント切望致シマス

○坂東委員 前日程ト同様ナ意味合デ、採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

員諸君ニ御願ヒ致シマス

○坂東委員 只今庄司代議士ト植原代議士カラ仰セテ通り、日本ニハ現在七百箇所モ停車場設置ノ要望ガアルノデアリマスカラ、政府ハ大變斷ヲ以テ只今仰セラレタヤウナ工合ニ方針ヲ立テテ敷キタイ、努力提供ニ對シテ内務省デハ之ヲ受容レタ例ハアリマス、現ニ北海道デハ全村皆出タ、オ醫者サシモ出レバ坊サンモ出テ努力提供ヲシタ例ガアリマス、ソレデ鐵道省トシテモ努力ヲ提供スルト云フ場合ハ之ヲ受容レルコトニ方針ヲ立テテ宜イト思ヒマスガ、現在ハドウ云フ方針デアリマスカ

○堀本政府委員 現在地方ノ方々ノ御協力ヲ求メテ居ル場合ガナイノデアリマセス、其ノ適例ト致シマシテハ雪害ノ爲ニ線路ガ不通ニナツタ場合、或ハ非常災害ノ場合ニ、主トシテ其ノ地方ノ人々ノ御志ニ依ツテ御協力ヲ求メタル事例ハ澤山アリマス、唯鐵道省自體ガキル土木工事ニ努力奉仕ヲシテ載イタ事例ハ現在マデ持ツテ居ラナイノデアリマス、私共トシテハ前ニ申シマシタ非常災害ノ場合、或ハ雪害ノ場合ニ、勞働力ノ甚ダシク不足シテ居ル今日、特ニ鐵道ニ御理解ヲ持ツテ下サル地方デ、私共ニ協力シテ載イテ居リマセコトヲ感謝致シテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

林平馬君

○林(平)委員 本請願ノ要旨ヲ簡單ニ申上ゲマス、是ハ既ニ屢ニ御探擇ニナツテ居リマスノデ、大體委員諸君モ御承知ノコトダラウト思ヒマスガ、福島縣石川郡小鹽江村ノ史蹟デアル宇津津峯ト云フ所ハ、吉野朝時代ニ北畠親房ノ御子サンノ顯信ガ、後醍醐天皇ノ御孫ニ當リマス宇津津峯ノ宮守永親王ヲ奉ジテ、多年東北地方ニ尊皇ノ大義ヲ唱ヘラレタ所デアリマシタ、東北ト致シマシタハ、其所ヨリ餘リ遠カラザル伊達郡霞山ト此處トノ二箇所ガ吉野朝時代ノ史蹟トナツテ居ル勤王ノ靈地デアリマス、福島縣ニ於キマシテモ、其ノ靈地ニ參詣スル人々ノ便宜ヲ圖ル爲メ、遙カ山裾ノ須賀川町カラ山ノ頂上マデノ道ヲ先年縣道ニ編入シテ、大イテ改修シマシタ、登山者ノ便益ヲ圖ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ山頂ニ宇津津峯ニ居リマス宇津津峯神社ノ祭神ハ、畏クモ 後村上天皇、後龜山天皇及ビ宇津津峯ノ宮守永親王ノ三柱デゴザイマスガ、極メテ小サナ祠デアリマスノデ、先年建武中興六百年祭ニ當リマシタ、地方ノ各種團體ガ協同シテ、雲水峯神社ノ奉齋會ヲ組織シ、社殿建設、社格昇進ノ計畫ヲ樹立シテ、着々其ノ實現ニ歩ヲ進メツツアリマス、恐ラク是ガ實現致シマシタナラバ、皇國精神養成ノ靈地トナルコトハ必然ト思ヒマス、然ルニ表參道デアツテ、且ツ最近距離デアル小鹽江村ノ地内ニ停車場ガアリマセコトハ、遠來ノ參詣者ノ爲ニ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイ所デアリマス、實ハ昭和十三年ニ臨時大祭ヲ執行致シマシタ、中央カラハ貴顯紳士ノ方々、地方カラハ數万ニ上ル多數ノ崇敬者ヲ此ノ山ニ迎ヘルコトニナ

リマシタ際ハ、鐵道省ニ於カレテモ非常ニ御盡力ヲ賜ハリマシタ、村内ニ臨時停車場ヲ設ケテ、此ノ數万ノ人ニ便益ヲ圖ラレタコトモアツタノデアリマス、而シテ其ノ數ノ非常ニ多ク、成績ノ良カツタコトモ鐵道省トシテハ御認め戴イテ居ル苦ト思フノデアリマス、申上ゲルマデモナイコトデスガ、國鐵トシマシテハ、從來地方産業ノ開發、或ハ名所舊跡ノ紹介、或ハ國民體位向上ノ爲ニ登山、旅行者ノ便益ヲ圖ルト云フヤウナコトニ向ツテ積極的ニ御努力ヲナサツテ居ラレルノデゴザイマスガ、サウ云フ觀點カラ見テモ、停車場ヲ置クニ頗ル相應シイヤウニ私共ハ考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、是非トモ表參道デアアル所ノ小鹽江村ニ停車場ヲ造ツテ貴ヒタイ、斯様ナ請願ノ趣旨デゴザイマス、採擇ニハナツテ居ルノデゴザイマスガ、尙ホ今回モ滿場一致御探擇ヲ賜ハラント切望致シマス、御願ヒ致シマシト同時ニ、鐵道省ノ御方針ヲ承知シタイト思ヒマス

○堀本政府委員 聊カ設置致シマス大略ノ方針ナリ情勢ナリニ付キマシタハ、前ノ問題ノ際ニ關聯致シマシテ申上ゲマシタ次第デゴザイマスガ、本請願ニ付キマシテモ、ヤハリ從來衆議院ニ於テ御探擇ニナツテ居リマスノト、只今御説明ニナリマシタヤウニ、國民精神作興ノ觀點カラ見マシレバ、相當特殊ノ事情ガアル次第デゴザイマス、實ハ此ノ地方ハヤハリ線路ノ勾配區間ガ相當アリマスシ、又人口其ノ他ノ情勢カラ見マシテモ、餘リ稠密トハ申上ゲラレナイ状態デゴザイマスガ、只今仰セニナリマシタヤウナ趣旨カラ、尙ホ研究ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

在此ノ返送期間ヲ三箇月ニ致シテ居ルノ、更ニ延長スル方ガ實情ニ合ツテ居ルデハナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、此ノ返送容器モ、鐵道運輸サレタ空容器ノ摺返送デゴザイマスノデ、餘リ期間ガ長クナリマスコトハ、事實上鐵道運輸ニ依ツタモノノ空容器返送アルカドウカ、其ノ認定ガ困難ニナルト云フ比較的事務的ノ問題モアリマス、今仰セラレタ中ニモアリマスヤウニ、成ベク之ヲ反復利用サレテ其ノ效果ヲ擧ゲル、資材不足ノ折柄成ベク運轉回數ガ多クナルト云フコトモ、希望致サレマスガ、此ノ種ノ扱ヒ方トシテ非常ニ特例デアルト云フ事柄カラ、鐵道省ト致シマシタハ今以上ニ返送期間ヲ延長スルコトハ困難ナル事情ニアルト云フコトヲ御承認ヒタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○山本芳治君 政府ノ側デハ期間ガ延ビルト、認定シ難クナル、事務的ニ面倒デアルト云フ御意見デアリマスガ、私ハソレニ付テハ政府ノ方デ特ニ御考ヲ願ヘバ見別ケガ付クノデハナイカト思ヒマス、是ハ發送彈ノ方デ何カ特別ニ御考慮ヲ願フト云フコトニナレバ、自然返送アルモノト返送デナイモノトノ見別ケガ付クノデハナイカ、事務的ニ面倒ガカラト反對セラレヤウデアリマスガ、是ハ事務的ニ御考慮ツテ解決ノ出来ル問題デアナイカト思ヒマスノデ、何卒本委員會ニ於テハ御探擇アラント切望致シマス

○坂東委員 本請願ハ實現ノ速カナランコトヲ希望致シマシタ採擇ヲ願ヒマス

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ

ニ決シマシテ

○樋口主査 日程第一、岡山、境間直通列車運轉ノ請願、文書表第一〇八號——紹介議員稲田直道君

○稲田直道君 境間、日本海ヲ隔テマシテ、北滿鮮及ビソノ聯國ニ對スル最短距離ノ地ニアリマス、而シテ近畿中國各府縣ノ物資ヲ是等ノ北滿鮮、ソノ聯地方ニ運ブ最適地デアリマシテ、北日本ノ諸港灣中新潟伏木、敦賀等ニ優ルトモ劣ラズト云フ自信ヲ持ツテ居ル港デアリマス、而モ境地方ハ國防上ニ於テ

モ重要ナル地域トナリマシテ、近時色々ト其某ノ施設モ新設サレツツアリマス、又東京滿洲國ノ國際飛行場モ此附近ニ設ケラレテ居リマス、其ノ他民間ノ各種工場ガ最近擴テトシテ此ノ地方ニ新設セラレツツアルノデアリマス、而シテ附近ニハ松江、鳥取、米子等ノ商工業ノ盛ンナ都市モ控ヘテ居リマス、山陰道陸海ノ樞要ノ地デアリマシテ、將來中國近畿各地ノ物資ヲ彌増シテ集散シ得ル地ニアルノデアリマス、サウシテ北滿鮮、

「シベリア」地方ト交通運輸モ益、此ノ土地ニ依ツテ隆昌ナラシメル可能性ノアル所デアツテ、將來山陰道ニ於テ最重要ナル港トナラントシテ居リマス、ドウカサウ云フ趣旨ヲ政府ニ於テ認メラレマシテ、境港ノ將來ノ大發展ニ資スル爲ニ、否中國地方ノ物資ノ集散地ヲ此ノ港ニ將來大ニ増大シテ行ク意味ニ於キマシテ、又、聯邦前ニ控ヘマシテ、非常ニ重要ナル地位ニアルト云フ意味ニ於キマシテモ、私ガ今申シマスヤウナ趣旨ニ則テマシテ、現在岡山から米子マデ伯備線ガ通ツテ居リマスノヲ、米子ヨリ一里バカリ延シテ戴キマシテ、境港ヲ終

點トスルコトハ、誰ガ見マシテモ無理ノナイ話デアリマスカラ、岡山ト境間トノ間ヲ直通列車デ、連絡運轉ヲスルコトガ、何處カラ見マシテモ當然過ギル程當然ナコトデアリイカト思ヒマス、多少ノ費用ハ要リマセウケレドモ、ドウカ速カニ岡山、境間直通列車ヲ運轉セラレル運ビニシテ載ツコトヲ希望致ス次第デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ境港省ノ御意見ヲ參考ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○堀本政府委員 實ハ岡山、倉敷カラ境港ニオイデニナル直通ノ旅客ト云フモノハ、一日平均ニ致シマスト非常ニ少イ状態ナリト云フイマス、今仰シヤイマスヤウニ將來ノ態勢ガ非常ニ變ツテ參リマスヤウナ状態ガ生ジマスレバ兎モ角モ、現在マデハ非常ニ少イヤウナ情勢デアリマスシ、又一面ニ於キマシテハ比較的米子デ接續ヲ能ク取ツテ居ル積リデアリマスカラ、差當リ現狀デ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○稲田直道君 現在旅客ガ少イト云フコトデスガ、今マデハソレデ宜イデアリマセウケレドモ、今私ガ申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ於キマシテ、國防上ニ於テモハ忽セニスベカラザル地點ナラデス、詳シクハ申上ゲマセウケレドモ、某々ノ非常ナル擴張モ出來テ居ル、非常ニ其ノ方面ノ物資ナリ人員ナリガ將來大ニ入込ムノデアリマス、現在ハソレデ宜イデアリマセウケレドモ、將來是非トモハ實現シテ貰ハナケレバナラヌノデアリマスルカラシテ、其ノ點ヲ一ツ御考慮ニ入レラレマシテ、至急調査ヲ致サレマシテ、實現ノ運ビニナラント希

望致シマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

簡易停車場ナリトモ設置被下度候本件ハ、帝國議會ヲ煩ヘシ其都御探擇ヲ戴キ居候案件ニ候ヘ共今ニ猶實現ノ曙光見エズ一併同心憂慮ニ堪ヘザル次第ニ付キ何卒實情御察ノ上是非共御助ケヲ蒙リ度重ニ重ね及請願候也」斯ウ云フ文書デゴザイマス、文書表ニ掲ゲラレタルモノトハ全然趣旨ガ違ツテ居ルノデアリマス、即チ交通ノ要衝ト云フ意味デ停車場ガ欲シト云フノデナク、鐵道ガ出來ルト交通ガ困難ニ陥ルカラト云フ譯デゴザイマス、實ハツイ數日前モ非常ナ大雪デゴザイマシテ、五、六尺バカリ雪ガ積リマシテ、サウスルト郵便馬車通フコトガ出來マセズ、デ其ノ郵便馬車通ハセ

ル爲ニ馬六頭空槽ヲ引張ツテ其ノ先頭ニ立ツテ道付ケヲヤラセテノデアリマスガ、六頭ノ馬デサヘモ僅カニ二里バカリシカゴザイマセズ所ヲ二日掛ツテ漸ク道ヲ付ケテ其ノ後ヲ郵便馬車通ヘ得タト云フ實情デゴザイマス、隨テ從來ハ郵便馬車ノ通ツタ跡ヲ百四、五十人ノ子供ガ通學ガ出來テ居ツタモノヲ、今度汽車ガ開通ニナリマスレバ、其ノ郵便馬車ナリ荷物ノ權ナリ運バレタモノガ皆汽車ニ載セラレテシマヒマスカラ、郵便馬車ノ道付ケモヤラナクナル譯デアリマスカラ、子供ノ通學ハ全ク杜絶スルト云フノデ、今カラ戦々兢々デ、多クノ人ガ汽車ノ出來ルノヲ喜ンデ居ルニモ拘ラズ、子供等ハドウナルヲラント戦々兢々デアリマス、ダカラドウカ助ケテ下サイト云フ今讀上ゲ

クヤウナ此ノ請願ノ文章ヲ讀ミマシテ、私ハ全ク涙ナクテハ讀メナイ程ノ悲痛ナ實情ニアルノデゴザイマス、隨テ僅カニ百四、五十人ノ生徒デアリマスガ、又關係部落モ小サ

イノデゴザイマスガ、隨テ算盤ヲ採ツテ、鐵道省トシテハ赤字ニナルカモ知レマセウケラ、其ノ點カラ見ルナラバ、第ニゴザイセウ、

○倉田政府委員 只今御話ノ原谷村ノ停車場設置ノ件デゴザイマス、此ノ倉津線ノ原谷村大字檢原ニ停車場ヲ設ケルコトニ付キマシテハ、本請願委員會デモ再三採擇ニナツテ居リマス、吾々ノ方デモ設置ニ付テハ當初ト違ヒマシテ再檢討ヲ行フテ居ルノデアリマス、殊ニ今御話ノヤウニ積雪地ニ於キマスル交通ノ不便ト云フコトヲ考慮ニ入レテ種々現在研究中デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○樋口主査 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

○堀本政府委員 採擇ヲ希望致シマス

○稲田直道君 採擇ニ決シマシテ御異議アリマセウケ

スト云フコトデ、沿道ノ住民ガ多年要望シタ鐵道ガ出来マシテ、モウ既ニ運轉ヲ開始セラレテ差支ナイ状態ニナツテ居ルニモ拘ラズ、尙ホ其ノ開通ヲ見ナイノデアリマスガ、故ニ此ノ間ニ於テ早ク汽車ヲ通スヤウニシテ戴キタイ、斯ウ云フ意味ヲ持つタ請願デアリマシテ、鐵道當局ノ御意見ヲ伺ヒ、本委員會ニ於テモ採擇アランコトヲ切望スル次第デアリマス

○倉田政府委員 只今御話ノ倉吉カラ勝山ニ參リマス鐵道ノ内、此ノ倉吉カラ南谷村關金驛マデハ大體工事が完了シテ居リマスコトハ御話ノ通りデアリマス、只今ハ上井驛トノ連絡施設ノ工事を鋭意施行中デアリマスカラ、近ク營業ヲ開始スル豫定デアリマス、残りノ南谷カラ勝山マデノ内南谷山守間ハ土工ノ工事を施行中デアリマス、十六年度モ之ヲ續行スル豫定デアリマス、全線ノ完成ニ付キマシテハ物資供給ノ關係ト配合セマシテ出来ルダケ早く完成シタイト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ願ヒマス
○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主査 採擇ニ決シマシタ

○坂東委員 元ハ戻リマシテ日程第十四ノ議題ニ供セラレンコトヲ望ミマス
○樋口主査 只今ノ坂東君ノ動議ノ如ク日程第十四ニ戻リマス
日程第一四、釧路相生間鐵道速成ノ請願文書表第六一號 紹介議員南雲正朝君
○南雲委員 本線ハ東部北海道ニ於ケル富源北見平野ト太平洋岸唯一ノ要港デアアル釧路港ヲ最短距離ニ於テ連絡シヨウトスル地

方拓殖經濟並ニ軍事國防上極メテ重要ナル線ト存ジマス、沿線ニ横ハツテ居リマスル釧路國後方ノ各原野ハ地味肥沃ニシテ農牧ニ適シ、我が國有數ノ馬産地トシテモ知ラレテ居リ、又林産物ニモ富シ、就中石炭ノ如キ地下資源ハ無盡蔵ト稱セラレ、現在其ノ一部デアアル所ノ阿寒炭田ハ雄別炭礦及ビ日發系北陽炭礦ヲ初メ、各種炭礦が開掘セラレテ、是等ノ増産開發ト相俟ツテ北見ノ生産物亦飛躍的發達ヲ遂ゲ、殊ニ本線ハ阿寒國立公園地帯ノ附近ヲ縱斷スルモノデアリマスルカラ、其ノ觀光價値ハ國防經濟上ノ價値ト共ニ國家的ニ輕視スベカラザルモノガアル、斯様ニ存ジテ關係市町村民八百四十七名カラノ熱心ナル請願デアリマス、少シク此ノ際附加ヘテ置キタイト思ヒマスガ、只今申シマシタヤウニ、外ノ委員會等デモ問題ニナツテ居リマシタ日發系デ九百六十萬圓買収シタ北陽炭礦ノ附近ニ屬スル路線デアリマス、此ノ北陽炭礦ニ付キマシテハ、其ノ買収價格其ノ他ニ付テ非常ニ疑雲ガ起キ居ツタノデアリマスガ、幸ヒソレハ拂拭サレタヤウデアリマスケレドモ、今後此ノ開發ヲ速ク進メテハ、ドウシテモ其ノ附近ニ鐵道ヲ持タナケレバ到底其ノ目的ハ達シ得ナイ、恐ラクサウシタ點カラシテ色々疑ヒモ生ジタノデアラウト思フノデスガ、トモアレ九百六十萬圓ト云フ莫大代金ヲ以テ買入レハシマシタケレドモ、現在ノ地位ハ到底物ニナラヌノデアリカト心配シテ居ルノデアリマス、隨テ日發系私設鐵道ヲ作ルカ、或ハ國鐵ヲ作ルカシナケレバ、九百六十萬圓ハ殆ド無駄ニナリハセスカト云フコトガ心配サレルノデアリマス、何レニセヨサウシタ鐵道ノ必要ガアル

トシマシタナラバ、私設デアリマスト、ドウシテモ地方ノ開發トカ外ノ資源ノ開發ニ付テモ機會ノ均等ヲ得ルコトガ出来ヌト云フコトモ心配サレルノデ、資料關係ガ一番建設ニ付テハ障礙ヲラウト思ヒマスケレドモ、何レニセヨ必要デアルト云フ點カラシマスナラバ、是非國鐵ヲ以テ其ノ必要ヲ充シテ戴キタイト考ヘル

○倉田政府委員 只今ノ御話ハ此ノ横莊鐵道ヲ買収シヨト云フ御話デゴザイマセウカ
○土田委員 イヤ買収スル前提ト致シマシテ國家管理ニ致シマシテ、國營移管ニシテ賈ヒタイノデアリマス

○中野(實)委員 今ノ土田君ノ言ハレルノハ、先ヅ政府ニ借上ゲテ賈ツテ政府ノ經費ヲ經營シテ行ク、ソレカラ後ニ政府ニ買上ゲテ戴キタイ、斯ウ云フコトト思ヒマス
○倉田政府委員 只今ノ御話ノ國家管理ト云フ問題ハ、只今ノ所實際問題トシテハ何ニモ話ガ出テ居ナイヤウデアリマス、又借上ゲ等ニ付キマシテハ、從來借上ゲタ例ガ相當アリマスガ、實際問題トシマシテ、借上ゲマスト輸送量ガ相當殖エテ之ニ對スル改良工事を施行スルノニ相當不便ガアリマス、ソコデ鐵道省トシテハ借上ゲテ餘計ヤルコトハ考慮シテナイノデアリマス、隨ヒマシテ借上ゲノ問題ハ餘リ出テ来ナイノデアリカト思ヒマス

○中野(實)委員 是ハ政府ニ借上ゲテ善イカ悪イカヲ御調査願フコトニシテ、採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主査 御異議ナキモノト認メマス、本請願ハ採擇セラレマシタ

ノ需給ノ困難ナリニ、サウ云フモノト配合セテ考ヘタイト思ヒマス、尙ホ御話ノ日發ノ炭礦等ノ關係デアリマスガ、マダ十分開發サレテ居ル譯デハナク、今後開發ノ計畫ノヤウデアリマスカラ、能ク又打合セマシテ、考慮シタイト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○樋口主査 坂東君ノ動議ノ如ク採擇ニ決シマシテ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○樋口主査 御異議ナシト認メマス、仍テ採擇ニ決シマシタ

○樋口主査 日程第一八、横手、本莊間鐵道ヲ豫定線ニ編入其ノ他ニ關スル請願、文書表第八一號 紹介議員中田儀直君
○土田委員 紹介議員ガ缺席デアリマス爲ニ私ガ代ツテ説明致シマス、此ノ鐵道ハ相當重要ナル線路デアリマス、既ニ豫定線ノ設定サレル十年前、大正二年ニ横濱線ト相俟ツテ社線ト致シマシテ政府カラ認可ニ相成ツタノデアリマス、隨テ其ノ近傍ハ農産物、林産物、鑛産物ガ相當豐富ニ生産サレテ居リマシテ、又人口ノ密度カラ言ヒマシテモ、秋田縣第一ニ稠密シテ居ル所デアリマス、最近東北振興計畫ト相俟ツテ横濱線ノ沿線ガ全部開發致サレマシテ、大工場、大鑛山等ハ續々開發サレテ居ル次第デアリマシテ、建設當初ト全ク經濟状態ハ變革ヲ來シテ居リマス、殊ニ又此ノ横手、本莊間ハ所謂日本第一ノ油田デアリマスル御物川油田ノ上流ニ位シテ居ルノデアリマス、盛シニ其ノ地帯カラ現在原油ガ流レ出テ居ル状態デアアルノデアリマス、又本莊ノ近傍ニ於キマシテモ、平澤油田ハ亦御物川油田

政府部内ノ鐵道會議等ノ審議ヲ經ル必要ガアルト思フノデアリマスカラ、此ノ際之ヲ國家管理ニシテ戴キタイ、詰リ此ノ線ヲ國營ニ移管シテ戴キタイ、至急此ノ地方ノ資源ヲ開發シテ賈ヒタイ、斯ウ云フコトガ請願ノ趣旨デアリマスガ、其ノ點ニ對シマスル當局ノ御意見ヲ伺ハレバ大變ニ有難イト思ヒマス

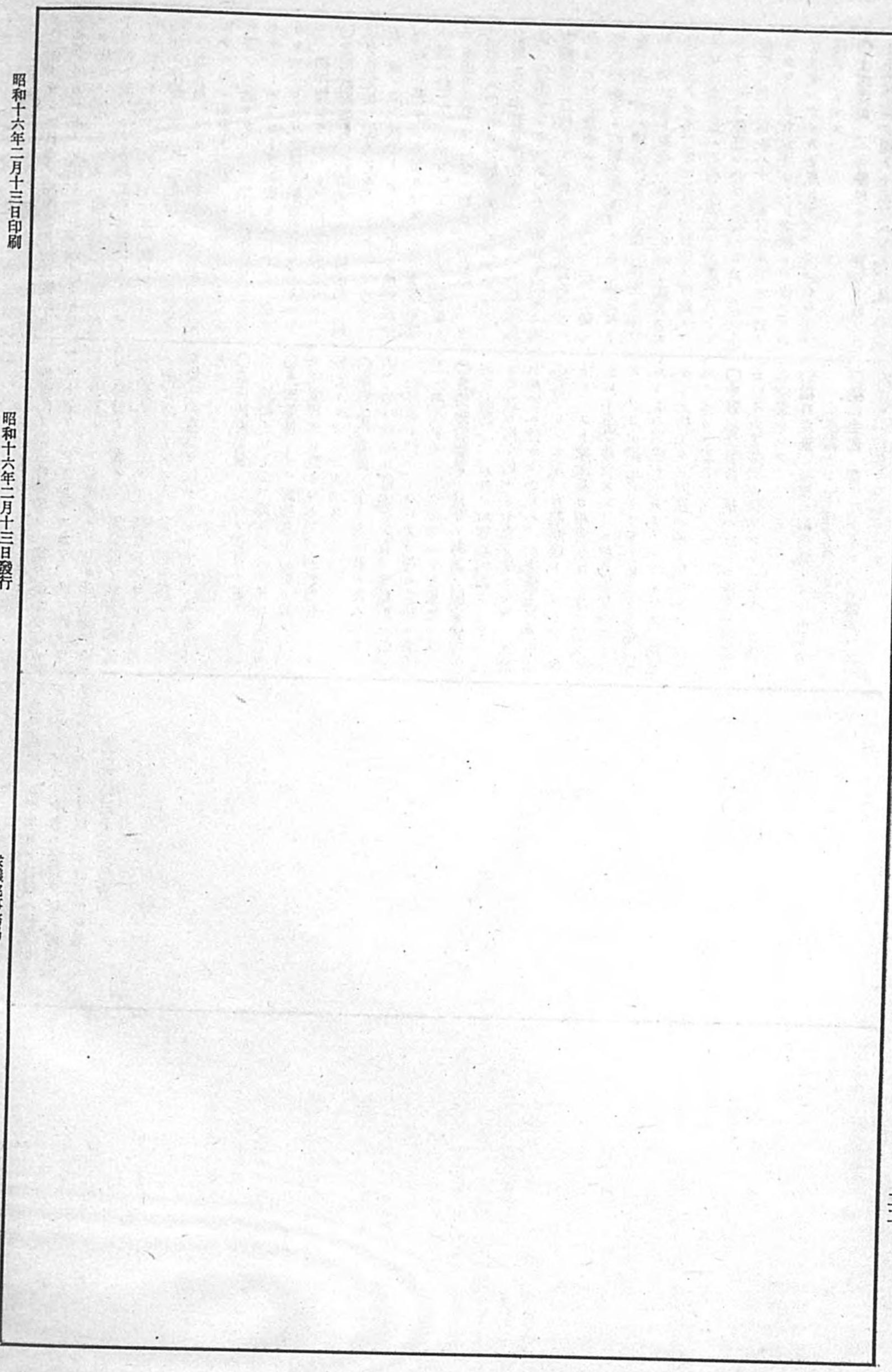
政府部内ノ鐵道會議等ノ審議ヲ經ル必要ガアルト思フノデアリマスカラ、此ノ際之ヲ國家管理ニシテ戴キタイ、詰リ此ノ線ヲ國營ニ移管シテ戴キタイ、至急此ノ地方ノ資源ヲ開發シテ賈ヒタイ、斯ウ云フコトガ請願ノ趣旨デアリマスガ、其ノ點ニ對シマスル當局ノ御意見ヲ伺ハレバ大變ニ有難イト思ヒマス

之ヲ以テマシテ本日ノ日程ハ終了シタ譯デゴザイマス、次會ハ公報ヲ以テ御知ラセヲ致シマス、之ヲ以テ本日ハ散會致シマス
午後三時三十三分散會

ト相俟チマシテ日本ノ生産量ノ約八割以上ヲ此ノ地方デ占メテ居ルヤウナ状態ト相成ツテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ沿線ハ何千万坪ト云フモノガ全部石油鑛區トシテ認可ヲ受ケテ居ルノデアリマス、私共ハ此ノ際此ノ鐵道ヲ至急國有鐵道ニ編入シテ戴キコトガ、第一ノ希望デアリマスルガ、先ヅ以テ資源ノ開發上、此ノ社線ヲ國營トシテ管理シテ戴キタイ、所謂國營移管トシテ戴キタイト云フコトヲ御願ヒ致シタイノデアリマス、ドウゾ當局ノ御意見等モ承リマシテ、御採擇アラスコトヲ御願ヒ致シマス

○倉田政府委員 御話ノ本莊、横手間ノ鐵道ヲ豫定線ニ編入スルコト云フ件デアリマスガ、此ノ間ハ横手ト老方ノ間ヲ横莊鐵道ガ現在營業シテ居リマス、又老方ト前郷ノ間ハ約二十「キロ」アリマスガ、會社ハ工事施行認可ヲ持ツテ居ルダケデアリマス、工事ニハ着手シテ居ラナイノデアリマス、前郷カラ本莊ノ間約十二「キロ」ハ横莊鐵道ノ營業デアリマシタガ、昭和十二年ニ國有鐵道ニ買収シマシテ、目下矢島線ノ一部分トシテ營業シテ居リマス、此ノ線ノ豫定線編入ノ問題デアリマスガ、豫定線ト致シマシテハ國土計畫ト生産力擴充ト云フヤウナ計畫ト配合ハセマシテ、此ノ編入ノ可否ヲ決メタイ、尙ホ御話ノ買収ノ問題デアリマスガ、是ハ買収ノ方針ガ生産擴充ト云フヤウナ趣意ニ合フカ合ハヌカ、或ハ全體ヲ見テ、買収ハサウ餘計ナル譯ニモ行カヌカラ、サウ云フコトヲ考慮シテ決メラレルノデアリカト思ヒマス、大體サウ云フ譯デアリマス

○土田委員 一寸簡單ニ——買収ト云フコトト豫定線ノ編入ト云フコトハ、是ハ色々



昭和十六年二月十三日印刷

昭和十六年二月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十六回帝國議院懲罰委員會會議錄(速記)第一回

委員會成立

本委員ハ昭和十五年十二月二十七日(金曜日)各部選舉ニ依リ左ノ通選定セラレタリ

安倍 寬君

赤松 克麿君

今成留之助君

金井 正夫君

北村 文衛君

曾和 義式君

高岡 大輔君

立川 平君

中野 治介君

西田 郁平君

原 玉重君

牧野 賤男君

松永 義雄君

山本 榮吉君

安藤 孝三君

池田 清秋君

岡本實太郎君

木村作次郎君

小谷 節夫君

田中 亮一君

高橋熊次郎君

坪山 徳彌君

永江 一夫君

服部 英明君

古島 義英君

松永 東君

南 鼎三君

依リマシテ私ガ年長ノ故ヲ以テ投票管理者ト相成リ、是ヨリ委員長及ビ理事ノ投票ヲ行ヒマス

○會和委員 委員長ノ指名ヲ投票管理者ニ一任致シタイト思ヒマス

○牧野投票管理者 曾和君ノ御意見ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○牧野投票管理者 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ委員長ノ指名ヲ致シマス、岡本實太郎君ヲ委員長ニ御願ヒ致シマス

〔拍手起ル〕

〔岡本實太郎君委員長ニ著ク〕

○岡本委員長 諸君ノ御推舉ニ依リマシテ私ガ委員長ニ當選致シマシタ、宜シク御願ヒ致シマス(拍手)、是ヨリ引續キ理事ノ互選ヲ行ヒマスガ、是ハ先例ニ依リマシテ委員長ニ於テ指名スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○岡本委員長 御異議ガナケレバ直チニ指名致シマス

今成留之助君 金井 正夫君

曾和 義式君 中野 治介君

西田 郁平君

以上五名ノ御方ニ理事ヲ御願ヒ致シマス(拍手)、本日ハ是ニテ散會致シマス、午後零時五十分散會

同日午後零時四十七分委員長理事互選ノ爲委員參集ス

其ノ氏名左ノ如シ

安藤 孝三君

岡本實太郎君

曾和 義式君

高岡 大輔君

立川 平君

中野 治介君

牧野 賤男君

松永 義雄君

山本 榮吉君

今成留之助君

北村 文衛君

田中 亮一君

高橋熊次郎君

坪山 徳彌君

服部 英明君

松永 東君

南 鼎三君

〔年長者牧野賤男君投票管理者トナル〕

○牧野投票管理者 開會致シマス、先例ニ

第四類第一號 懲罰委員會會議錄 第一回(委員互選)

昭和十五年十二月二十七日

昭和十五年十二月二十七日印刷

昭和十五年十二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第四類第一號)

第七十六回帝國議會 懲罰委員會議錄(速記)第二回

(1111)

會議

昭和十六年二月十日(月曜日)午後一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 岡本實太郎君
 - 理事金井 正夫君 理事會和 義弉君
 - 理事中野 治介君
 - 安倍 寛君 池田 清秋君
 - 北村 文衛君 小谷 節夫君
 - 田中 亮一君 高岡 大輔君
 - 立川 平君 坪山 徳彌君
 - 服部 英明君 原 玉重君
 - 古島 義英君 牧野 賤男君
 - 松永 義雄君 山本 条吉君
- 委員會ノ要求ニ依リ出席シタル者左ノ如シ
- 議員 田淵 豊吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

議員田淵豊吉君懲罰事犯ノ件(議長宣告)

○岡本委員長 是ヨリ懲罰委員會ヲ開キマス、秘密會ト致シマス、仍テ委員ト議員以外ノ御方ハ退場ヲ命ジマス

(秘密會)

午後三時十五分散會

昭和十六年二月十日印刷

昭和十六年二月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第四類 第一號)

第七十六回帝國議會 懲罰委員會議錄(速記)第三回

(1114)

會 議
昭和十六年二月十二日(水曜日)午後一時三十分開議
出席委員左ノ如シ

- 委員長 岡本實太郎君
- 理事今成留之助君 理事金井 正夫君
- 理事會和 義式君 理事西田 郁平君
- 安倍 寛君 池田 清秋君
- 北村 文衛君 小谷 節夫君
- 高岡 大輔君 立川 平君
- 坪山 德彌君 服部 英明君
- 原 玉重君 松永 義雄君
- 山本 条吉君

本日ノ會議ニ上リタル事件左ノ如シ
議員田淵豐吉君懲罰事犯ノ件(議長宣告)
○岡本委員長 是ヨリ委員會ヲ前會ニ引續キ開會致シマス、都合ニ依ツテ本日ハ是ニテ散會致シマシテ、次ノ委員會ハ明十三日ノ午後一時ニ開會スルコトニ致シマス、今日ハ是ニテ散會シマス
午後一時三十一分散會

昭和十六年二月十二日印刷

昭和十六年二月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第四類 第一號)

(一四七)

第七十六回帝國議會 懲罰委員會議錄(速記)第四回

會議

昭和十六年二月十三日(木曜日)午後二時八分開議

出席政府委員左ノ如シ

委員長 岡本實太郎君

理事今成留之助君 理事金井 正夫君

理事曾和 義次君

安倍 寛君

池田 清秋君

北村 文衛君

木村作次郎君

田中 亮一君

小谷 節夫君

立川 平君

高岡 大輔君

服部 英明君

坪山 德彌君

山本 象吉君

松永 義雄君

本日ノ會議ニ上リタル事件左ノ如シ

議員田淵豐吉君懲罰事犯ノ件(議長宣告)

(秘密會)

午後二時十四分散會

昭和十六年二月十三日印刷

昭和十六年二月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第七十六回帝國議會 院 建議 委員會會議錄(速記)第一回

委員會成立

本委員ハ昭和十五年十二月二十七日(金曜
日)各部選舉ニ依リ左ノ通選定セラレタリ

- 青木 作雄君 伊藤 五郎君
- 稻田 直道君 馬岡 次郎君
- 小申 清一君 岡崎 憲君
- 北 勝太郎君 小平 重吉君
- 齋藤 直橋君 坂本宗太郎君
- 須永 好君 鈴木憲太郎君
- 田中 邦治君 高島龜太郎君
- 陣 軍吉君 內藤 守正君
- 中川 重春君 中原 謹司君
- 則元卯太郎君 廣川 弘禪君
- 星 一君 松井 郡治君
- 松尾 孝之君 松岡 俊三君
- 松田喜三郎君 山田 六郎君
- 行吉 角治君

同日午後零時四十五分委員長理事互選ノ爲
委員參集ス

其ノ氏名左ノ如シ

- 青木 作雄君 伊藤 五郎君
- 稻田 直道君 小申 清一君
- 小平 重吉君 坂本宗太郎君
- 田中 邦治君 中川 重春君
- 中原 謹司君 廣川 弘禪君
- 松井 郡治君 松田喜三郎君
- 松尾 孝之君 山田 六郎君
- 則元卯太郎君

(年長者松井郡治君投票管理者トナル)

○松井投票管理者 先例ニ依リマシテ、私
ガ年長ノ故ヲ以テ投票管理者トナリ、是ヨ

リ委員長及ビ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○稻田委員 投票ヲ用ヒズ、委員長ニハ松
井郡治君ヲ推薦致シタイト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○松井投票管理者 ソレデハ左様決定致シ
マス

(「拍手起ル」)

○松井委員長 一寸御挨拶致シマス、諸君
ノ御推舉ニ依リマシテ、私ガ委員長ニ當選
致シマシタ、何等ノ經歷モ經驗モ持ツテ居
リマセヌカラ、何分宜シク御願ヒ致シマス
(拍手)是ヨリ引續キ理事ノ互選ヲ行ヒマス
ガ、是ハ先例ニ依リ委員長ニ於テ指名スル
ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○松井委員長 御異議ガナケレバ直チニ指
名致シマス

- 伊藤 五郎君 馬岡 次郎君
- 小申 清一君 則元卯太郎君
- 星 一君

以上五名ノ方ニ理事ヲ御願ヒ致シマス
(拍手)本日ハ是ニテ散會致シマス
午後零時四十七分散會

昭和十五年十二月二十七日印刷

昭和十五年十二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第五類 第一號

第七十六回帝國議會 建議委員會議錄(速記)第二回

(二四八)

會議 昭和十六年二月十三日(木曜日)午前十一時八分開議

- 出席委員左ノ如シ
委員長 松井 郡治君
理事伊藤 五郎君 理事馬岡 次郎君
理事星 一君
青木 作雄君 稻田 直道君
岡崎 憲君 齋藤 直橋君
鈴木憲太郎君 田中 邦治君
高島龜太郎君 陣 軍吉君
中原 謹司君 松尾 孝之君
山田 六郎君
二月四日委員松岡俊三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月五日服部岩吉君當選セリ
出席政府委員左ノ如シ
陸軍少將 田中 隆吉君
海軍大佐 高木 惣吉君
文部省社會教育局長 齋藤 彌三君
軍事保護院副總裁 三島 誠也君
軍事保護院援護局長 曾我 梶松君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
議員長野 高一君

本日ノ會議ニ上リタル建議案左ノ如シ
婦人團體統一關スル建議案(齋藤直橋君外五名提出)(第一號)

○松井委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、御諮リシマシマスガ、議席ハ御着席ノ通り決メマシタカラ左様御諒承ヲ願ヒマス、尙ホ建議案ノ審査ニ入ルニ先ダチマシテ其ノ

方針ヲ手續等ニ付テ御諮リ致シタイト存ジマス、先ツ建議案ノ提出ハ前議會ニ比シマスト非常ニ減少ヲ致シテ居リマシテ、今日マデニ僅カ六件提出セラレテ居ルガケデゴザイマス、是ハ勿論嚴選ノ上提出セラレテ結果デアルト存ジマス、審査ニ當リマシテモ建議案ハ院議トシテ決定セラルル譯デアリマスカラ、慎重ニ審査ヲ致シ、十分權威アラシムルヤウニ、又建議ノ貫徹致シマスルヤウニ、當局ノ政府委員ノ御方ノ意見ヲ十分ニ徵シテ決定致シタイト考ヘテ居リマス、ドウカ皆様モ左様御了承ノ上、私ニ足ラナイ所ガ澤山アルト思ヒマスカラ、特別ノ御援助ヲ御願ヒ致シマス

次ニ委員會ノ手續ニ付テ皆様ニ御諮リ致シタイト思ヒマス、先例ニ依リマシテ議案ハ印刷配付ノ時ヲ以テ付託致シタルコトト致シマス、ソレカラ今回ハ特ニ分科ヲ設ケマセス、總會ニ於テ審査ヲ致シ議事ノ進行ヲ圖リタイト思ヒマス、御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)
○松井委員長 御異議ナシト認メマス、次ニ審査ノ日割ノ件デアリマスガ、曩ニ理事會ニ於テ決定致シマシタ如ク、建議案ノ提出ガ依然少イヤウデアリマシタラ、毎週一回開會致シテ審査ヲ進メタイト思ヒマス

次ニ議案ノ提出デアリマスガ、是ハ議院協議會ニ於テ決定致スノデアリマスガ、大體ノ豫定ハ審査ノ都合モアリマスノデ、二月二十日頃締切リタイト考ヘテ居リマス、

決定次第其ノ旨ヲ公報ニ廣告致スコトニナルト存ジマス、其ノ他議案ノ取扱ハ總テ先例ニ依ツテ致シタイト存ジマス、他ニ議案ノ審査方針ニ付テ御意見ガアリマスナラバ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス——御意見ガゴザイマセスケレバ引續キ會議ニ入りマス、日程第一、婦人團體統一關スル建議案、議案第一號、提出者ノ御説明ヲ求メマス——齋藤君

○齋藤委員 私ハ只今議題トナリマシタ婦人團體ノ統一問題ニ付キマシテ提案ノ趣旨ヲ辯明致シマシテ政府ノ所見ヲ質シタイト存ジマス、我が國ニ於テ婦人團體ト申シマス、先ツ愛國婦人會、是ハ御承知ノ通り會員ガ六百萬其ノ次ニハ大日本國防婦人會、是ハ會員ガ九百萬、其ノ次ニハ大日本聯合婦人會、是ハ會員ガ一千万ト稱シテ居ルノデアリマス、先ヅ大體此ノ三ツノ婦人團體ガ我が國ニ於ケル三大婦人團體ト申シテモ宜シカラウト存ジマス、其ノ他産業組合婦人會、或ハ大日本衛生婦人會、其ノ他宗教關係ノ佛教婦人會、キリスト教婦人會、サウ云フモノハ無數ニアリマス、デアリマスケレドモ、私ハ當面ノ此ノ統一問題ト致シマシテ愛國婦人會ト國防婦人會ト大日本聯合婦人會ト、此ノ三ツノ婦人會ヲ取上ガテ統一ノ實現ヲ期シタイト思フノデアリマス、今日改メテ申スマデモナク、我が國ノ内外ノ情勢ハ開國以來ノ超非常時デアリマス、此ノ時ニ當リマシテ國民ハ其ノ國民ノ總力ヲ一元化致シマシテ、各其ノ能力ヲ

最高最大ニ發揮シテ國防國家體制ノ確立ヲ期シナケレバナラヌト存ジマス、此ノ必要カラ或ハ産業團體ノ統制、或ハ經濟新體制、或ハ官界ノ新體制、又御承知ノ通り政黨モ解消致シマシテ、大政黨運動ト云フモノガ澎湃トシテ起ツテ居ルノデアリマス、此ノ際此ノ時ニ當リマシテ先ニ述ベマシタ所ノ我が國ノ婦人團體ノ狀況ヲ見マス、舊態依然トシテ此ノ國防國家體制ノ成立ニ進ンデ居ルヤウナ模様ハ全ク見エナイ、此ノ婦人團體ノ統一問題ハ議會ノ内外デモ度々問題ニナリマシタ、私モ昭和十一年デスカ、議會デ質問ヲ致シマシテ當局ノ意見ヲ質シタコトガアリマス、其ノ後同僚諸君カラ色々ナ機會ニヤハリ質問ヲサレテ、政府ガ答ヘテ居ル、此ノ今日マデノ政府或ハ團體當局ノ所見ヲ申シテ見マス、此ノ團體ハ各、異ナツタ目的ト使命ヲ持ツテ居ルカラ、存在ノ理由ガアル、統一ノ必要ヲ認メヌト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、是ハ昨年ノ議會デモサウデアツテ、又昨年ノ幕大政翼贊會ノ協力會議ノ際ニモ此ノ統一問題ガ議題ニナリマシタガ、其ノ際ニヤハリ當局ハ各、異ナツタ目的ト使命ヲアル團體デアルカラ統一ノ必要ハナイ、斯ウ答ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ餘リ長クナリマスカラ要點ダケ申シマスガ、愛國婦人會ト云フモノハ事業團體デアル、國防婦人會ト云フモノハ修養團體デアル、大日本聯合婦人會ハ修養團體、教化團體デアル、斯ウ申シテ居ツテ各、異ナツタ使命ヲ持ツテ居ル團

第五類第一號 建議委員會議錄 第二回 昭和十六年二月十三日

ハ第一線ノ將兵ガ非常ニ心配シテ居ルノデ 爲ニ近ク私共ヨリ首昌シヤント...

人トカ云ツタヤウナ、何レカト言ハバ軍人ノ團體ニ關係アル人ノ夫人ガ國防婦人ノ役員デアツタノデアリマスガ、今度サウ云フモノガ統一サレマス、其ノ邊最初ニ於テ極メテ周到ノ注意ヲ拂ツテ、圓滑ニ地方ノソレニ關係スル運用ガ出来テ、地方自治ノ上ニモ極メテ良好ナル結果ヲ齎シ得ルルコトヲ組織ニシテ戴クコトガ必要デアリト思ヒマス、事口左様ナコトガ婦人團體ヲ統合スルト云フコトノ目的ノ大キナ部分ヲ占メテ居ルノデハナイカト存ジマスノデ、政府當局ニ於キマシテハ、此ノ邊ニ付テハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルノデアルカ、御尋ネシテ置キタイト思ヒマス

○三島政府委員 婦人會ノ對立ノ弊害、役員間ノ争ヒ乃至ハ暗闘ト云フヤウナコトガ一つノ大キナ弊デアルト云フ御意見ハ、全ク御同意デアリマス、吾等ト致シマシテモ其ノ弊害ヲ實ハ痛感致シテ居リマス、隨ヒマシテ綜合致シマスルコトノ困難サモ、實ハ從來ノ左様ナ行掛リガ相當原因ヲ成シテ居ルト思フノデアリマスガ、今回綜合致シマスニ付キマシテハ、其ノ邊ハ十分考慮致シマシテ、例ヘバ一つノ團體ニ他ノ團體ヲ合併スルト云フヤウナ形ニ致シマス、其處ニ困難サガアルノデ、其ノ邊十分考慮シテ上テ適當ナ判斷ヲ行カネバナラヌデアラウト考ヘテ居リマス、役員ニ付キマシテモ從來ノ行掛リ等ニ因ハレズ、成ベク出来上リマシタ團體ガ圓滿ニ進シテ參リマシマスウニ努力シタイ、折角新シイ團體ヲ作りマシテモ其ノ團體ガ實際其ノ内部ニ舊態依然タル對立關係ガ残ツテ居ルト云フヤウナコトニ相成リマシテハ、殆ド統合ノ目的ヲ達シナイ、御意見見アリマスシ、十分其ノ邊

ナラヌモノデアリマス、ダカラドウゾ此ノ三ツヲ只今申シタヤウナ團體ノ本義ニ副フヤウナモノニシテ戴キタイノデアリマスガ、只今兵務局長サンノ御答辭ニ依リ各省間ニ是ノ統合ニ付テノ意見モ一致シテ居ル、近ク發表スルコトニナルト云フコトデ其ノ方法ノ一端ヲ今政府委員カラ伺ツタノデアリマス、其ノ相當ニ練ラレテ居ラウト思ヒマスカラ、其ノ意見ノ練ラレテ居ラウトモウ少シ伺フコトガ出来レバ仕合せト存ジマス、御願ヒシマス

○三島政府委員 協議ヲ致シテ居リマスガ、マダ政府ノ方針シテ決定スルコト云フ段取ニナツテ居リマセスカラ、明確ニ申上ゲ兼ネマスガ、極クアラマシノ研究ヲ致シテ居リマス事項ダケヲ申上ゲテ、御參考ニ供シタイト思ヒマス、サツキ申上ゲマシタヤウニ、先ツ現在ノ婦人團體ヲ綜合致シマスガ、ドノ團體カドノ團體ヲ合併スルコト云フ形デハ、實現ガ困難デハナカラウカト思ヒマス、其ノ點ハ新シイ團體ヲ作ツテ、ソレニ他ノ團體ハ、謂ハバ發展ノ解消トシテ申シマス、サウ云フ形ヲ以テ統合スル方ガ樂デハナカラウカト存ジマス、隨ヒマシテ左様ナ意圖ノ下ニ研究ヲ協議ヲ致シテ居リマス、從來色々ナ團體ヲ持ツテ居リマシテ長ト申シマス、性質、或ハ目的、左様ナ點ニ付キマシテハ、其ノ長所ト思ハレモ、ハ出来ルダケ之ヲ採用致シマシテ新シイ團體ノ長所ヲ作ツテ行キタイ、從來ノ團體ニナイモノデモ、新シイ團體ニハ成ベク我が國ノ婦人團體トシテ適當デアルト思ハレルヤウナ美點ヲ持チマスヤウニシテ行キタイ、隨ヒマシテ從來ノ團體ノ左様ナ行掛

イコトハ、此ノ婦人團體ヲ作ルニ當ツテ、ヨロコブナリ、「アメリカ」ニアル婦人團體ノ組織ヲ參考ニスルコトハ結構デアリマス、ソレニ因ハレナイコトヲ御願ヒシタイノデアリマス、今ノ御言葉デハ從來ニ因ハレナイト云ハレマスガ、併シ今度ハ外國ノソレニ因ハレナイヤウニ御願ヒシタイノデアリマス、何故カト云フト、新體制ト云ヒ、大政翼賛會ト云ウテモ、動モスルト、個人主義ノ國、自由主義、資本主義ノ所ノモノヲ參考ニスル方ガ多イヤウニ思ハレマス、日本ハ、私カラ説明申上ゲルマデモナク、只今申シタ移ルト云フコト、祖先カラ子孫ニマデ移ツテ行ク、此ノ移ツテ行クト云フコトガ一つノ團體ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ婦人團體ハ、畢竟子孫ノ爲ニ子孫ノ住ム此ノ世ヲ美シイ世ノ中ニスルコト云フ日本國體ノ示、先刻私ノ申上ゲタ三ツ、之ニ從ツタモノニシテ、サウシテ個人主義、自由主義、資本主義ノ國ニ因ハレナイヤウニ御願ヒシタイノデアリマス、果シテソコマデ御考ヘニナツテ居ルカドウカ知リマセスガ、ドウゾ日本ノ國體ヲ究メ外國ノ例ニ因ハレナイヤウニ御願ヒシタイノデアリマス、文部省ノ御方ニモ——モウ少シ此ノコトニ付テ、何處ニ目標ヲ置イテ行クノカト云フコトガチツトモ言ハレテ居ナイ、唯解消シテ新シイモノヲ作ラト云フダケデ、何處ニ目標ヲ置クノカガ分ラナイ、政府ノ今要求シテ居ル大政翼賛會ノ勤キモ、此ノ婦人團體ノ組織如何ニ依ツテ、此ノ團體ノ活動如何ニ依ツテ、其ノ目的ガ達セラレルト思フノデアリマス、何ト云ツテモ日本ハオ母サノ國デアリマス、カ、總テガソコカラ割出サレナケレバ永遠

ノ光榮ト云フモノハ得ラレナイ、日本ハ餘所ノ國ト違フノデアリマス、餘所ノ國ハ、キリストト教デ言フ天國モ、ソレカラ佛敎デ言フ極樂モ、別ニアルト思ツテ居リマス、信仰ニ依ツテソコヘ行カレルノダ、斯ウ思ツテ居リマスケレドモ、日本人ノ未來ト云フモノハ、自分ノ子孫ノ中ニ自分ハ生キテ行クノダ、子孫ノ生命生活ノ中ニ永遠ノ生命生活ヲ求メテ居リマス、是ハ日本ダケデアリマス、死ンデモ此ノ世ノ中ニ生キテ居ルト考ヘル、是ガ日本デアリマスカラ、ドウゾ此ノ婦人團體ガソコマデ行キヤウナ團體ニシテ戴キタイト私ハ御願ヒシマス、形式ナドニ因ハレナイ、高イ深イモノニ御願ヒシタイノデアリマス、何卒ソコマデ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

○青木(作)委員 私ノ地方ハ下關デアリマスガ、今度ノ新體制ニ依リ町内會ノ組織ニ當リマシテ、從來三團體ヲ一掃ニシマシテ兼務デ居リマシタガ、此ノ度其ノ各町内會ニ婦人部ヲ置カナケレバナラヌト云フコトニナリマシタカラ、ソコデ、只今三團體ヲ從來ノ儘ニシテ置キマス、又統合サレタ時ニ再ビ改組シナケレバナラヌト云フノ人會ト云フ名ノ下ニ婦人會ヲ組織シテ居リマス、所ガ政府ノ處置ガ遅レテ居リマス爲ニ、國防婦人會ノ支部カラ、コチヲノ許可ナクシテ國防婦人會ヲ解イテシマフト云フコトガアルカ、サウ云フコトハ誰ノ許可ヲ得テヤツタカ、又愛國婦人會ノ方デハ愛國婦人會ノ方デ、俺ノ方ノ下部組織ヲ勝手ニ無イヤウニシテシマツテ、サウ云フ下部婦人會ト云フ何處ニモナイヤウナモノヲ作ルト云フコトガアルカ、ト言ツテ來ル、又各團

體ガ尙ホ存在シテ居リマスルガ故ニ色々ノ事業計畫ガアリマスカラ、其ノ事業計畫ニ基クテ所ノ事業ノ推進ヲ傳達シテ來テ居ル、斯ウ云フヤウナコトノ爲ニ、折角全國ニ率先シテサウ云フ組織ヲ作ツテ、政府ノ統合ニ應ズルガ如キ態勢ヲ整ヘテ居リマスルニモ拘ラズ、斯様ニ先走ツタ爲ニ御叱リヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナコト、大變困ツテ居ルヤウナ實情デアリマス、之ヲ見マシテモ、先走ルノガ惡イカ良イカト云フコトハ、モウ論ノナイ所デアリマシテ、政府ノ方デ其ノ御方針ガ決マツテ居リマスナラバ、是ハ時刻ノ問題デアリマシテ、早ク決定シテ戴クコトノ方ガ、斯ウ云フ團體ニ取ツテ仕合せデアリマス、今御話ニ依リマス、御發表ガ出来ヌヤウデアリマスルカラ、具體的ナコトヲ知ルコトガ出来ナイヤウデアリマスルガ、併シナガラハ一刻ヲモ忽セニ出来ナイ問題デアリマスルカラ、今日ノ此ノ採決ニ依リマシテ、政府ノ一大決斷ヲ要望シマス、直チニ御採決ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松井委員 御諮リ致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

○松井委員 御異議ナシト呼ブ者アリ

○松井委員 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ可決致サレマシタ、本日は是ニテ散會致シマス、次會ハ公報ニテ御知ラセ致シマス

午後零時二分散會

昭和十六年二月十四日印刷

昭和十六年二月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第五類 第一號

第七十六回帝國議會 建議委員會議錄(速記)第三回

(1117)

會 議

昭和十六年二月二十日(木曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松井 郡治君

理事伊藤 五郎君 理事馬岡 次郎君

理事小串 清一君 理事則元卯太郎君

理事星 一君

青木 作雄君 稲田 直道君

岡崎 憲君 齋藤 直橋君

高島龜太郎君 陣 軍吉君

中川 重春君 中原 謹司君

松尾 孝之君

出席政府委員左ノ如シ

外務省東亞局長 山本 熊一君

内務省土木局長 成田 一郎君

北海道廳長官 戸塚九一郎君

北海道廳長官 鈴木 脩藏君

大藏書記官 梅北 末初君

鐵道省建設局長 倉田 玄二君

拓務省拓南局長 森部 隆君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員澤田 利吉君 議員松浦周太郎君

議員増永 元也君 議員熊谷五右衛門君

議員川崎巳之太郎君

本日ノ會議ニ上リタル建議案左ノ如シ

内務省所管

一 北海道生産擴充綜合計畫ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第一號)

二 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第二號)

三 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第三號)

四 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第四號)

五 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第五號)

六 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第六號)

七 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第七號)

八 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第八號)

九 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第九號)

第十 官幣大社宗像神社殿境域復興ニ關スル建議案(澤田利吉君外八名提出)(第十號)

スル建議案(山崎達之輔君提出)(第四號)

三 臨屋義助公神位昇格ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君外七名提出)(第五號)

四 大前神社創建ニ關スル建議案(増永元也君外一名提出)(第六號)

五 官幣大社札幌神社ニ明治天皇合祀ニ關スル建議案(木下成太郎君外一名提出)(第八號)

六 軍需重要礦産物竝山林開發ノ爲鐵道敷設ニ關スル調査會設置ニ關スル建議案(清水徳太郎君外一名提出)(第三號)

七 海外客死同胞慰靈殿建立助成ニ關スル建議案(安達謙蔵君外六名提出)(第七號)

八 松井委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、日程第一ハ都合ニ依リ後廻シニシマス

九 松井委員長 理由書ハ皆サシテ御手許ニアルダラウト思ヒマス、群シイコトハソレヲ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、宗像神社ハ神代當時ニ山緒ノ深イ、日本デハ非常ニ大事ナ神様デアリマス、ソレガ三柱共ニアスコニ御祀リナツテ居リマスガ、最近非常ニ宮殿方朽果テテ居ルデアリマス、政府ハ經費多端ノ折柄デアリマシテ、

色々ノ御事情モアルダラウト思ヒマスケレドモ、神社ガ殆ド朽果テテ居リマシテ、今日國民精神ヲ作興シ、敬神思想ヲ盛ンシシナケレバナラス時代ニ於キマシテ、洵ニ良多イ感ガ致スデアリマス、ドウカ此ノ機會ニ神城ノ擴張ヲセラレ、神殿ノ御營業ヲセテレンコトヲ希望シテ已マナイ次第デアリマス、ドウカ皆サシテ御可決アラントラ願ヒマス

○成田政府委員 官幣大社宗像神社ハ、邊津宮、中津宮、沖津宮ノ三宮ガ三箇所ニ鎮座マシマスデアリマス、就中中津宮ト沖津宮ノ二宮ハ、非常ニ邊陲ノ島ニアルデアリマス、是等三宮ノ社殿修築ニ境域ヲ整備致シマスコトハ、洵ニ其ノ必要アリト政府ニ於テモ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、國費ヲ以テマシテ修築整備スルコトニ付キマシテハ、一面ニ於テ國庫財政ノ關係モゴザイマス、此ノ點ヲモ十分ニ考慮致シマシテ、適當ナル時期ニ於テ實行スルハウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○増永元也君 只今ノ政府御當局ノ御説明ニ依リマシテ、政府ニ於テモ此ノ官幣大社ニ對シテ十分御理解、御諒承ニナツタヤウニ承リマシテ、洵ニ私共其ノ點ハ安心致シタデアリマス、今適當ノ時期ト云フコトデアリマシタガ、是ハアノ地方民ノ非常ナル熱望デアリマス、私ハ繰返シテ申上ゲマスガ、非常ニ神殿方朽果テテ居リマス、アソコニ參詣シテ、斯ウ云フ日本ノ神代肇國ノ當時カラ非常ニ尊イ官幣大社ニ對シテ、洵ニ私ハ寧ロ政府ノ怠慢チヤナイカ位ニ考ヘテ居リマス、此ノ點ハドウカ適當ノ時期ト云ハレズニ、成ベク速カニ之ヲ御造營アラントラ希望致シマス

○松井委員長 別ニ御發議ハアリマセスカ、ソレデハ御諮リ致シマスガ、本案ノ可決ニ御異議アリマセスカ

(異議ナシ)ト呼ブ者アリ

○松井委員長 御異議ナシト認メマス、ソレデハ可決致シマシタ

○松井委員長 次ニ第三ハ後廻シニ致シマシテ、第四ノ日程ニ移リマス——増永君

○増永元也君 是ハ大前神社ト申シテ居リマスガ、理由書ニ書イテアリマスル通りニ、我が國南北朝時代、後醍醐天皇ノ當時、南朝ノ懷良親王ガ最初征西大將軍トシテ九州ニ御下リニナツテ、非常ニ南朝ノ爲ニ御功績ヲ擧ゲラレタデアリマスガ、其ノ後懷良親王ノ甥御ニ當ラレル後村上天皇ノ第六皇子デアラセラレタ良成親王ガ、懷良親王ノ後ヲ承ケラレテ、九州ノ征西大將軍トナラレタデアリマス、ソレデアノ當時金枝玉葉ノ御身ヲ以テ、非常ニ御奮闘ヲサレマシテ、菊池、阿蘇草野氏其ノ他アノ方面ノ勤王ノ士ト共ニ、非常ニ御苦戰ヲサレタデアリマス、此ノ良成親王ハ極ク御幼少ノ時ニ九州ノ地ニ渡ラレマシテ、三十餘年間ノ長キニ互ツテ、アノ山奥ニ色々ノ苦心ヲナサレ、最後ニハ頭頂所謂南風殿ハスト申シマスガ、遂ニ福岡縣ノアノ山奥ニ御薨去ナサレタデアリマス、而シテ懷良親王

心ノ念ヲ昂揚スル上カラ見マシテモ、地方ノ精神教育又ハ精神作興ノ上カラ見マシテモ、是非トモ——今ハ八代宮ニ配祀サレテ居ルノデアリマスガ、本堂ニ遷去サレタ土地ニ付テハ、既ニ内務省、宮内省モ御認メニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ所ニ御宮ヲ造ツテ戴キテアリマス、是ガ建設計費ナリ、又サウ云フ官幣神社ガ出來マスレバ、維持費ノ如キモ、地方民ニ於テ相當御金スルノ覺悟ヲ持ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ問題ハ、今マデノ成行ヲ承ルト、畏多イ話デアリマスケレドモ、御歴代ノ天皇ニ於テモ御祀リニナツテ居ラス、又親王方ニ於カレテモ色々アルケレドモ、御祀リニナツテ居ラスト云フコトヲ、内務省アタリデ言ハレテ居ルサウデアリマスガ、南朝時代ニ於テ菊池氏ハ、阿蘇氏、其ノ他アア云フ勤王ノ郷土ト共ニ南朝復興ノ爲メ、非常ナル苦闘ヲサレテ遂ニ此ノ山村僻地ニ御遷去サレタコトヲ云フコトニ對シマシテ、非常ニアノ地方民ノ敬虔ノ念方強イ譯デアリマスカラ、サウ云フ意味カラ申シマシテ、是非トモ官幣社ヲ御造戴キヤウ、此ノ建議案ガ可決セラレルヤウニ御願ヒスル次第デアリマス

○成田政府委員 謹ンデ按ジマスルニ、後征西大將軍宮良成親王ハ、後村上天皇ノ皇子ニマシマサレ、懷良親王ノ後ヲ承ケテ征西將軍ニ任ゼラレマシテ、九州ニ於ケル勤王將士ヲ統率セラレマシテ、天運ノ挽回ノ爲ニ執掌セラレルコト多年ニ及バレマシタガ、遂ニ御志ヲ遂ゲ給ハズシテ薨去アラセラレタノデアリマス、現在此ノ土地ニ御墓ガゴザイマス、又御神靈ハ御墓附近ノ大

神社——是ハ現在無格社デアリマスガ、此ノ大神社ニ奉祀セラレテ居リマス、又官幣社ハ八代宮ニハ、其ノ配祀神トシテ奉祀セラレテ居リマス、是ハ只今御述ベニナリマシタヤウニ、良成親王ノ御爲ニ新タニ此ノ地ニ神社ヲ創建スルコトニ付キマシテハ、現在ゴザイマスル大神社トノ關係ヲドウスルカト云フコトヲ、考究スル必要ガアルト存ズルノデアリマス、又官幣社ヲ新タニ創建スルコトニ付キマシテハ、從來皇族ヲ奉祀シテ居リマスル神社トノ權衡モゴザイマスノデ、此ノ點ハ尙ホ慎重ニ考慮ノ必要ガアルモノト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○増永元也君 只今政府御當局カラノ御説明ヲ承リマシタガ、只今アスコニ大神社ト云フ無格社ガアリマスガ、私ガ再三申述ベマシタヤウニ、是ハ地方民ノ非常ナル御敬慕ノ念ノ結果、彼處ニ小サイ神社ヲ建テテ居ルノデアリマシテ、洵ニ私共ハ恐懼ニ堪ヘナイ次第デアリマス、良成親王ガアノ山奥ニ——是ハモウ九州ノ香葉山脈ノ真中ノ、殆ド人里モ絶エタヤウナ淋シイ所ニ行カレテ、武運拙クアスコニ薨去サレマシタ、偉大ナル御功績ノ下ニ、明治十一年御墓ヲ宮内省御認メニナリマシテ以來、アノ方面ニ行啓サレマシタ閣院宮殿下初メ北白川宮殿下モ御參詣ニナツテ居リマス、又地方長官トシテモ、赴任スレバ必ズ參詣スルト云フヤウナ情勢ニナツテ居リマス、只今他ノ皇族方ヲ奉祀セラレテ居ル神社トノ權衡ト云フヤウナ御話モアリマシタガ、是ハ内務省ノ神祇部ノ考査課ニ於テ色々御調ベナルダラウトハ思ヒマスケレドモ、良成親王ガ

サウ云フ金枝玉葉ノ御身ヲ以テ、アノ人里離レタ所マデ行カレテ、三十年ノ長キニ互ツテ苦心サレタコトヲ云フコトニ對シテハ、非常ナ熱烈ナ尊崇ノ念ヲ今日ニ至ルマデ持テ續ケテ居ルノデアリマス、此ノ地方民ノ非常ナ敬慕ト申シマスガ、敬神ト申シマスガ、サウ云フコトヲ表ハシテ行ク爲ニ、色々ノ御都合ヒモアリマセウケレドモ、サウ云フ意味カラ以テ、彼處ニ一ツノ官幣社ヲ造ツテ戴クコトヲ云フコトガ、私ハ本當ノ國民精神作興或ハ國民ノ精神教育上カラ見マシテモ、是ハ適當チヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル者デアリマス、又繰返シテ申シマスガ、今國費多端ノ折柄デアリマスカラ、勿論地方民トシテモ、相當ノ建設費ヲ維持費ニ付テハ獻金申上ケルコトハ覺悟シテ居ル譯デアリマス、ドウカ政府御當局ニ於テモ、其ノ邊ノコトヲ十分ニ御考慮下サイマシテ、一ツ此ノ問題ヲ成ベク速カニ實現スルヤウニ御願ヒシテ置クヤウナ次第デアリマス

○馬岡委員 一寸之ニ關聯シテ——只今大神社トノ問題デ御當局ニ承リマスルト、皇族其他ノ奉祀、其ノ他現在ノ關係上御考慮ヲ遊バサレルト云フ御話デアリマス、然ルニ大神社トハ大體御陵墓ガアリ、現在ノ無格社ト大神社ガ良成親王ヲ御祀リシテアルト云フコトヲ、御當局ガ御認メニナツタ御言葉ヲシク思ヒマス、サウ云フ無格社ヲ昇格サセルコトハ、一社ノ創建デハナイカラ、簡單ニ出來ルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○成田政府委員 只今ノ御尋ネハ、現在無格社デアリマスル大神社ガアルノデアリマスカラシテ、之ヲ御昇格スルコトハ、割合ニ簡單デハナイカト云フ御趣旨ニ拜承致

シタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先程モ御答ヘテ致シマシタヤウニ、官幣社トシテ之ヲ御祀リラスルト云フコトニ付キマシテハ、從來ノ皇族ヲ御祀リ致シテ居リマスル神社トノ權衡ト云フ點ガゴザイマスノデ、十分斯ウ云フ點ヲ研究シタ上デ決定シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松井委員長 他ニ御發議ハアリマセスカ——御諮リ致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○松井委員長 異議ナキモノト認メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ

○松井委員長 日程第五、官幣大社札幌神社ニ 明治天皇合祀ニ關スル建議案——提案者ノ説明ヲ求メマス、松尾君

○松尾委員 私提案者ノ一人デアリマスカラ、茲ニ趣旨ヲ辯明致シマス、官幣大社ノ札幌神社ハ、明治天皇ノ勅ニ依リマシテ、明治二年九月一日、神祇官ニ於テ開拓神ヲ鎮座シ、同月二十一日、開拓使長官之ヲ奉ジテ赴任シテ、札幌ニ遷座シ奉レルモデアツテ、北海道ノ開發ハ、明治大帝ノ御意ニ出テ、夙夜軫念ヲ垂レサセ給ヒシコトハ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘザル所デアリマス、今ヤ北海道ハ生産擴充、即チ此ノ事變下ニ於キマシテ、生産ヲ増強スル最モ優位ヲ占メテ、其ノ拓殖計畫ノ遂行ヲ圖ル際ニ、開拓ノ當初ヲ回顧シテ、明治天皇ノ皇恩ヲ欽向シ奉ル念ガ、北海道民ニ懇切ナルモ、ザアルノデアリマス、此ノ際、明治天皇ノ鎮座セシメ給ヘル開拓神ニ 明治大帝ヲ合祀シ奉レバ、北海道民ハ日々 明治大帝ノ御

ヲ追懷奉戴シテ、感奮興起ノ念ヲ新ニシテ、拓殖ノ業績ガ又大イニ擧ガルニ至ルデアラウト思ハレルノデアリマス、仍テ本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、此ノ建議案ハ數回提案サレマシテ、本院ニ於テ可決ヲ見テ居ルノデアリマスガ、今日マデ政府ハ色色他ノ各地ニ斯ウ云フ希望ガアルト云フノデ、未ダニ其ノ御決定ヲ見ナイヤウデアリマスガ、今申シマシタヤウニ、特ニ北海道ハ 明治大帝ノ御意ニ依ツテ、今日ノ開拓ヲ見テ居ルノデアリマスカラ、此ノ場合ニ於テ特別ナ御計ヲヒヨ以テ、官幣大社札幌神社ニ 明治大帝ヲ合祀セラレルヤウニ御配慮ヲ望ミタイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ内務當局ノ御意向ヲ承リマシテ、本委員會ニ於キマシテモ、前回同様可決アラントトヲ希望致シマス

○成田政府委員 謹ンデ按ジマスルニ、明治以降ニ於キマスル北海道ノ開拓ハ、一ニ 明治天皇ノ宏願ニ出デテ居ルノデアリマス、官幣大社札幌神社ハ、明治二年特別ノ恩ニ依リマシテ、北海道開拓總鎮守ノ神トシテ、大國魂神、大己貴神、少彥名神ヲ奉齋セラレタモノデゴザイマス、其ノ御由緒ノ洵ニ尊貴デアリマシテ、神威ノ顯著ナルコトハ、今更言ヲ要シナイ所デアアルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスノデ、新ニ 明治天皇ヲ合祀シ奉ルコトハ、只今申述ベマシタ本社本來ノ御由緒ニ、影響ヲ及ボスノ嫌ヒガアルト考ヘラレルノデアリマス、又 天皇ヲ官社ニ奉祀致シマスルノハ、一神一社ニ限ルノ例トナツテ居リマスノデ、此ノ案件ニ付キマシテハ、尙ホ慎重考慮ヲ要スルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松井委員長 別ニ御發議ハアリマセスカ——御諮リ致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○松井委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ

○松井委員長 ソレデハ日程第一ニ戻リマシテ、北海道生産擴充綜合計畫ニ關スル建議案ノ審議ヲ進メマス、提案者ノ説明ヲ求メマス——松尾君

○松尾委員 私モ此ノ建議案ノ提案者ノ一人デアリマスカラ、先ツ私カラ其ノ建議ノ趣旨ヲ簡單ニ辯明致シマス、現在北海道ニ於ケル生産總額ハ十三億圓以上ニ達シ、益々發展ノ趨勢ニ在ツテ、眞ニ北海道ガ現下高度國防國家建設上缺クベカラザル所ノ重要物資ノ供給地トシテ注目サレテ居ルモノト云フコトハ、既ニ一一般ニ知ラレテ居リマス、然ルニ各種資源ノ無盡ノ寶庫ト稱セラレ、其ノ間多少見レキ開發施設ハ今日マデ行ハレテ居リマスケレドモ、先進府縣ニ及バザラコトハ甚ダ遠ク、殆ド是等ノ生産物資ハ潛在スル資源ノ一部分ヲ開發セラレタニ止マツテ居ルノデアリマス、此ノ大ナル資源ヲ今後積極的ニ開發施設ヲナスト云フコトハ、現下ノ情勢カラ見マシテモ極メテ急務トシテ思フノデアリマス、先ツ地下資源カラ申シマスレバ、鑛業ノ各種地下資源ノ埋藏量ノ豐富ナルコトハ本邦隨一デアツテ、其ノ生産額ハ年ニ二億數千萬圓以上ニ達シテ居リマス、然ルニ本邦埋藏量ノ約六割ヲ占ムル石炭ノ出炭量ハ、我が國總生産量ノ三割ニ過ギナイ、金、銀ハ其ノ生産量ノ是モ三割デアリマスガ、將來ノ開發ニ俟ツベキ

モノガ頗ル多イ、又鐵ハ本邦生産額ノ四割七分、「クロム」鑛ハ六割、「マンガン」ハ五割五分、硫黃ハ七割二分デアツテ、其ノ他銅、水銀、「ニッケル」等ノ各種地下資源ガ、隨所ニ發見セラレテ居ルノデアリマス、發見セラレテ居ルノハ最近ノ事象デアアルケレドモ、今後調査スル所ニ依リテ、益々其ノ埋藏量ト云フモノガ大キイト云フコトガ分ルト思ヒマス、ソレカラ次ニ地上資源デアリマスガ、北海道ニ於ケル農業ハ、現在既成耕地ガ約九十八万町歩、放牧地ガ約三十万町歩ニ達スルト雖モ、今尙ホ國有未開地ガ二十八万町歩、民有未利用地ガ百三十万町歩ヲ存スル狀態デアアルカラ、寒地農業及ビ畜産業ノ合理的經營ニ依ツテ、開發計畫及ビ増産施設ヲ急速ニ實施シタナラバ、戰時食糧資源並ニ畜産資源ニ於テ、益々國家ノ要望ニ適フノデアリマス、又森林ノ於キマシテハ、面積ガ五百四十万町歩ヲ占メテ、是ガ蓄積量ハ二十數億石ニ達スト首ハレテ居リマスガ、年伐量ガ僅カニ三千萬石程度デアツテ、而モ我が國森林資源ニ於テ、最重要ナル地位ヲ有スル國有林ヨリ伐採セラレル材木ハ、千數百萬石ニ過ギナイノデアリ、是ガ植伐ノ施設經營ヲ計畫的ニ實施シタナラバ、尙ホ相當ノ増伐ヲ期待シ得ルノデアリマス、而シテ治水事業ハ既耕耕地ノ被害防禦、未耕地ノ開發促進、灌漑用水ノ統制、工鑛業用水ノ計畫及ビ發電施設促進上先決的必須ノ事業ナルニ拘ラズ、北海道ニ於ケル河川ノ大部分ハ、未ダ原始河川ノ域ヲ脱シナイヤウナ狀況デアリマス、國費支辨河川二十六河川中、僅カニ石狩川外九河川ニ對シテ、洪水防禦上急務ノ餘儀ナキ區間ニ限ツテ、治水工事ヲ施行シツツ

昭和十六年二月二十日

第五類第一號 建議委員會議案 第三回

心ノ念ヲ昂揚スル上カラ見マシテモ、地方ノ精神教育又ハ精神作興ノ上カラ見マシテモ、是非トモ一今ハ八代宮ニ配祀サレテ居ルノデアリマスガ、本堂ニ遷去サレタ土地ニ付テハ、既ニ内務省、宮内省モ御認メニナツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ所ニ御宮ヲ造ツテ戴キタイノデアリマス、勿論國費多端ノ際デアリマスカラ、是ガ建設費ナリ、又サウ云フ官幣神社ガ出來マスレバ、維持費ノ如キモ、地方民ニ於テ相當御獻金スルノ覺悟ヲ持ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ問題ハ、今マデノ成行ヲ承ルト、良多イ話デアリマスケレドモ、御歴代ノ天皇ニ於テモ御祀リニナツテ居ラス、又親王方ニ於カレテモ色々アルケレドモ、御祀リニナツテ居ラスト云フコトヲ、内務省アリテ言ハレテ居ラスサウデアリマスガ、南朝時代ニ於テ菊池氏ハ或ハ阿蘇氏、其ノ他アア云フ勤王ノ郷土共ニ南朝復興ノ爲メ、非常ナル苦闘ヲシラレテ遂ニ此ノ山村僻地ニ御遷去サレタコト云フコトニ對シマシテ、非常ニアノ地方民ノ敬虔ノ念ガ強イ譯デアリマスカラ、サウ云フ意味カラ申シマシテ、是非トモ官幣神社ヲ造營戴キヤウ、此ノ建議案ガ可決セラレヤウニ御願ヒスル次第デアリマス

○成田政府委員 謹ンデ按ジマスルニ、後征西大將軍宮良成親王ハ、後村上天皇ノ皇子ニマシマサレ、懷良親王ノ後ヲ承ケテ征西將軍ニ任ゼラレマシテ、九州ニ於ケル勤王將士ヲ統率セラレマシテ、天運ノ挽回ノ爲ニ執掌セラレコト多年ニ及バレマシタガ、遂ニ御志ヲ遂ゲ給ハズシテ薨去アラセラレタノデアリマス、現在此ノ土地ニ御墓ガゴザイマス、又御神靈ハ御墓附近ノ大

○増永元也君 只今政府御當局カラノ御説明ヲ承リマシタガ、只今アスコニ大袖神社ト云フ無格社ガアリマスガ、私ガ再三申述ベマシタヤウニ、是ハ地方民ノ非常ニ御敬慕ノ念ノ結果、彼處ニ小サイ神社ヲ建テテ居ルノデアリマシテ、洵ニ私共ハ恐懼ニ堪ヘナイ次第デアリマス、良成親王ガアノ山奥ニ一是ハモウ九州ノ脊梁山脈ノ真中ノ、殆ド人里モ絶エタヤウナ淋シイ所ニ行カレテ、武運拙クアスコニ薨去サレマシタ、偉大ナル御功績ノ下ニ、明治十一年御墓ヲ宮内省デ御認メニナリマシテ以來、アノ方面ニ行啓サレマシタ閣下御殿下初メ北白川宮殿下モ御參詣ニナツテ居リマス、又地方長官トシテモ、赴任スレバ必ズ參詣スルコト云フヤウナ情勢ニナツテ居リマス、只今他ノ皇族方ヲ奉祀セラレテ居ル神社トノ權衡ト云フヤウナ御話モアリマシタガ、是ハ内務省ノ神祇部ノ考査課ニ於テ色々御調べニナルガラウトハ思ヒマスケレドモ、良成親王ガ

サウ云フ金枝玉葉ノ御身ヲ以テ、アノ人里離レタ所マデ行カレテ、三十年ノ長キニ互ツテ苦心サレタコト云フコトニ對シテハ、非常ニ熱烈ノ尊崇ノ念ヲ今日ニ至ルマデ持テ續ケテ居ルノデアリマス、此ノ地方民ノ非常ニ敬慕ト申シマスガ、敬神ト申シマスガ、サウ云フコトヲ表ハシテ行ク爲ニ、色々ノ御振合ヒモアリマセウケレドモ、サウ云フ意味カラ以テ、彼處ニ一ツノ官幣神社ヲ造ツテ戴クト云フコトガ、私ハ本當ノ國民精神作興或ハ國民ノ精神教育上カラ見マシテモ、是ハ適當チヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル者デアリマス、又繰返シテ申シマスルガ、今國費多端ノ折柄デアリマスカラ、勿論地方民トシテモ、相當ノ建設費ヲ維持費ニ付テハ獻金申上ゲルコトハ覺悟シテ居ル譯デアリマス、ドウカ政府御當局ニ於テモ、其ノ邊ノコトヲ十分御考慮下サイマシテ、一ツ此ノ問題ヲ成ベク速ク實現スルヤウニ御願ヒシテ置クヤウナ次第デアリマス

○馬岡委員 一寸ニ關聯シテ一 只今大袖神社ノ問題デ御當局ニ承リマスルト、皇族其他ノ奉祀、其ノ他現在ノ關係上御考慮ヲ遊バサレルト云フ御話デアリマス、然ルニ大袖神社ハ大體御陵墓ガアリ、現在ノ無格社トシテ、御當局ガ御認メニナツタ御言葉ヲシク思ヒマス、サウスレバ無格社ヲ昇格サセルコトハ、一社ノ創建ハナイカラ、簡單ニ出來ルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○成田政府委員 只今ノ御尋ネハ、現在無格社デアリマスル大袖神社ガアルノデアリマスカラシテ、之ヲ御昇格スルコトハ、割合ニ簡單デハナイカト云フ御趣旨ニ拜承致

シタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先程モ御答ヘテ致シマシタヤウニ、官幣社トシテ之ヲ御祀リヤスルト云フコトニ付キマシテハ、從來ノ皇族ヲ御祀リ致シテ居リマスル神社トノ權衡ト云フ點ガゴザイマスノデ、十分斯ウ云フ點ヲ研究シタ上デ決定シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松井委員長 他ニ御發議ハアリマセヌカ一 御話リ致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセヌカ

○松井委員長 異議ナキモノト認メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ

○松井委員長 日程第五、官幣大社札帳神社ニ 明治天皇合祀ニ關スル建議案一 提案者ノ説明ヲ求メマス、松尾君

○松尾(孝)委員 私提案者ノ一人デアリマスカラ、茲ニ趣旨ヲ辯明致シマス、官幣大社ノ札帳神社ハ、明治天皇ノ勅ニ依リマシテ、明治二年九月一日、神祇官ニ於テ開拓神ヲ鎮座シ、同月二十一日、開拓使長官之ヲ奉ジテ赴任シテ、札幌ニ遷座シ奉レルモノデアツテ、北海道ノ開發ハ、明治大帝ノ勅慮ニ出テ、夙夜終念ヲ垂レサセ給ヒシコトハ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘザル所デアリマス、今ヤ北海道ハ生産擴充、即チ此ノ事變下ニ於キマシテ、生産ヲ増強スル最モ優位ヲ占メテ、其ノ拓殖計畫ノ遂行ヲ圖ル際ニ、開拓ノ當初ノ回顧シテ、明治天皇ノ皇恩ヲ欲尚シ奉ル念ガ、北海道民ニ益、切ナルモノデアリマス、此ノ際、明治天皇ノ鎮座シメ給ヘル開拓神ニ 明治大帝ヲ合祀シ奉レバ、北海道民ハ日夕 明治大帝ノ勅慮

ヲ追憶奉戴シテ、感奮興起ノ念ヲ新ニシテ、拓殖ノ業績ガ又大イニ擧ガルニ至ルデアラウト思ハレルノデアリマス、仍テ本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、此ノ建議案ハ數回提案サレマシテ、本院ニ於テ可決ヲ見テ居ルノデアリマスガ、今日マデ政府ハ色色他ノ各地ニ斯ウ云フ希望ガアルト云フノデ、未ダニ其ノ御決定ヲ見ナイヤウデアリマスガ、今申シマシタヤウニ、特ニ北海道ハ 明治大帝ノ勅慮ニ依ツテ、今日ノ開拓ヲ見テ居ルノデアリマスカラ、此ノ場合ニ於テ特別ノ御計ヲヒラヒテ、官幣大社札帳神社ニ 明治大帝ヲ合祀セラレヤウニ御配慮ヲ望ミタイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ會ニ於キマシテモ、前回同様可決アラントラ希望致シマス

○成田政府委員 謹ンデ按ジマスルニ、明治以降ニ於キマスル北海道ノ開拓ハ、一ニ 明治天皇ノ宏願ニ出デテ居ルノデアリマス、官幣大社札帳神社ハ、明治二年特別ノ恩召ニ依リマシテ、北海道開拓總鎮守ノ神トシテ、大國魂神、大己貴神、少彥名神ヲ奉齋セラレタモノデゴザイマス、其ノ御由緒ノ洵ニ尊貴デアリマシテ、神威ノ顯著ナルコトハ、今更言ヲ要シナイ所デアアルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスノデ、新ニ 明治天皇ヲ合祀シ奉ルコトハ、只今申述ベマシタ本社本末ノ御由緒ニ、影響ヲ及ボスノ嫌ヒガアルト考ヘラレルノデアリマス、又 天皇ヲ官祀ニ奉祀致シマスルノハ、一神ニ限ルノ例トナツテ居リマスノデ、此ノ案件ニ付キマシテハ、尙ホ慎重考慮ヲ要スルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松井委員長 別ニ御發議ハアリマセヌカ一 御話リ致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセヌカ

○松井委員長 異議ナシト呼ブ者アリ

○松井委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ

○松井委員長 ソレデハ日程第一ニ戻リマシテ、北海道生産擴充綜合計畫ニ關スル建議案ノ審議ヲ進メマス、提案者ノ説明ヲ求メマス 松尾君

○松尾(孝)委員 私モ此ノ建議案ノ提案者ノ一人デアリマスカラ、先ツ私カラ其ノ建議ノ趣旨ヲ簡單ニ辯明致シマス、現在北海道ニ於ケル生産總額ハ十三億圓以上ニ達シ、益々發展ノ趨勢ニ在ツテ、眞ニ北海道ガ現下高度國防國家建設上缺クベカラザル所ノ重要物資ノ供給地トシテ注目サレテ居ルコト云フコトハ、既ニ一般ニ知ラレテ居リマス、然ルニ各種資源ノ無盡ノ寶庫ト稱セラレ、其ノ間多少見ルベキ開發施設ハ今日マデ行ハレテ居リマスケレドモ、先進府縣ニ及バザルコトハ甚ダ遠ク、殆ド是等ノ生産物資ハ潛在スル資源ノ一部分ヲ開發セラレタニ止マツテ居ルノデアリマス、此ノ大ナル資源ヲ今後積極的ニ開發施設ヲナスト云フコトハ、現下ノ情勢カラ見マシテモ極メテ急務ダト思フノデアリマス、先ツ地下資源カラ申シマスレバ、鑛業ノ各種地下資源ノ埋藏量ノ豐富ナルコトハ本邦隨一デアツテ、其ノ生産額ハ年々二億數千萬圓以上ニ達シテ居リマス、然ルニ本邦埋藏量ノ約六割ヲ占ムル石炭ノ出產量ハ、我が國總生産量ノ三割ニ過ギナイ、金、銀ハ其ノ生産量ノ是モ三割デアリマスガ、將來ノ開發ニ俟ツベキ

モノガ頗ル多イ、又鐵ハ本邦生産額ノ四割七分、クロム、錳ハ六割、マンガンハ五割五分、硫黃ハ七割二分デアツテ、其ノ他銅、水銀、ニッケル等ノ各種地下資源ガ、隨所ニ發見セラレテ居ルノデアリマス、發見セラレテ居ルノハ最近ノ事象デアルケレドモ、今後調査スル所ニ依リテ、益々其ノ埋藏量ト云フモノガ大キイト云フコトガ分ルト思ヒマス、ソレカラ次ニ地上資源デアリマスガ、北海道ニ於ケル農業ハ、現在既成耕地ガ約九十八万町歩、放牧地ガ約三十万町歩ニ達スルト雖モ、今尙本國有未開地ガ二十八万町歩、民有未利用地ガ百三十万町歩ヲ存スル狀態デアルカラ、農地農業及ビ畜産業ノ合理的經營ニ依ツテ、開發計畫及ビ増産施設ヲ急進ニ實施シタラバ、戰時食糧資源並ニ畜産資源ニ於テ、益國家ノ要望ニ適フト思フノデアリマス、又森林ニ於キマシテハ、面積ガ五百四十万町歩ヲ占メテ、是ガ蓄積量ハ二十數億石ニ達スル言ハレテ居リマスガ、年伐量ガ僅カニ三千万石程度デアツテ、而モ我が國林産資源ニ於テ、最重要ナル地位ヲ有スル國有林ヨリ伐採セラレル材木ハ、千數百萬石ニ過ギナイノデアル、是ガ植伐ノ施設經營ヲ計畫的ニ實施シタラバ、尙ホ相當ノ増伐ヲ期待シ得ルノデアリマス、而シテ治水事業ハ既耕田ノ被害防禦、未耕地ノ開發促進、灌漑用水ノ統制、工鑛業用水ノ計畫及ビ發電施設促進上決的必須的ノ事業ナルニ拘ラズ、北海道ニ於ケル河川ノ大部分ハ、未ダ原始河川ノ域ヲ脱シナイヤウナ狀況デアリマス、國費支辨河川二十六河川中、僅カニ石狩川外九河川ニ對シテ、洪水防禦上急務ノ餘儀ナキ區間ニ限ツテ、治水工事ヲ施行シツツ

昭和十六年二月二十日

第五類第一號 建議委員會議錄 第三回

心ノ念ヲ昂揚スル上カラ見マシテモ、地方ノ精神教育又ハ精神作興ノ上カラ見マシテモ、是非トモ——今ハ八代宮ニ配祀サレテ居ルノデアリマスガ、本堂ニ舊去サレタ土地ニ付テハ、既ニ内務省、宮内省モ御所ニ御宮ヲ造ツテ戴キタイノデアリマス、其ノ勿論國費多端ノ際デアリマスカラ、是ガ建設費ナリ、又サウ云フ官幣神社ガ出來マスレバ、維持費ノ如キモ、地方民ニ於テ相當御獻金スルノ覺悟ヲ持ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ問題ハ、今マデノ成行ヲ承ルト、畏多イ話デアリマスケレドモ、御歴代ノ天皇ニ於テモ御祀リニナツテ居ラス、又親王方ニ於カレテモ色々アルケレドモ、御祀リニナツテ居ラスト云フコトヲ、内務省アタリデ言ハレテ居ラスウデアリマスガ、南朝時代ニ於テ菊池氏ハ或ハ阿蘇氏、其ノ他ア云フ勤王ノ郷土ト共ニ南朝復興ノ爲メ、非常ナル苦闘ヲシラレテ遂ニ此ノ山村僻地ニ御遷去サレタコトヲ云フコトニ對シマシテ、非常ニアノ地方民ノ敬虔ノ念方強イデアリマスカラ、サウ云フ意味カラ申シマシテ、是非トモ官幣社ヲ御造營戴キヤウ、此ノ建議案ガ可決セラレルヤウニ御願ヒスル次第デアリマス

○成田政府委員 謹ンデ按ジマスルニ、後征西大將軍宮良成親王ハ、後村上天皇ノ皇子ニマシマサレ、懷良親王ノ後ヲ承ケテ征西將軍ニ任ゼラレマシテ、九州ニ於ケル勤王將士ヲ統率セラレマシテ、天運ノ挽回ノ爲ニ執掌セラレコト多年ニ及バレマシタガ、遂ニ御志ヲ遂ゲ給ハズシテ舊去アラセラレタノデアリマス、現在此ノ土地ニ御墓ガゴザイマス、又御神靈ハ御墓附近ノ大

仙神社——是ハ現在無格社デアリマスガ、此ノ大仙神社ニ奉祀セラレテ居リマス、又官幣中社ハ八代宮ニハ、其ノ配祀神トシテ奉祀セラレテ居リマス、是ハ只今御述ベニナリナツタ通りデゴザイマス、今御述ベニナリマシタヤウニ、良成親王ノ御爲ニ新タニ此地ニ神社ヲ御建スルコトニ付キマシテハ、現在ゴザイマスル大仙神社トノ關係アルト存ズルノデアリマス、又官幣社ヲ新タニ御建スルコトニ付キマシテハ、從來皇族ヲ奉祀シテ居リマスル神社トノ權衡モゴザイマスノデ、此ノ點ハ尙ホ慎重ニ考慮ノ必要ガアルモノト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○増永元也君 只今政府御當局カラノ御説明ヲ承リマシタガ、只今アスコニ大仙神社ト云フ無格社ガアリマスガ、私ガ再三申述ベマシタヤウニ、是ハ地方民ノ非常ナ御敬慕ノ念ノ結果、彼處ニ小サイ神社ヲ建テテ居ルノデアリマシテ、洵ニ私共ハ恐懼ニ堪ヘナイ次第デアリマス、良成親王ガアノ山奥ニ——是ハモウ九州ノ脊梁山脈ノ真中ノ、殆ド人里モ絶エタヤウナ淋シイ所ニ行カレテ、武運拙クアスコニ舊去サレマシタ、偉大ナル御功績ノ下ニ、明治十一年御墓ノ宮内省デ御認メニナリマシテ以來、アノ方面ニ行啓サレマシタ閣院宮殿下初メ北白川宮殿下モ御參詣ニナツテ居リマス、又地方長官トシテモ、赴任スレバ必ズ參詣スルト云フヤウナ情勢ニナツテ居リマス、只今他ノ皇族方ヲ奉祀セラレテ居ル神社トノ權衡ト云フヤウナ御話モアリマシタガ、是ハ内務省ノ神祇部ノ考査課ニ於テ色々御調べニナルダラウトハ思ヒマスケレドモ、良成親王ガ

サウ云フ金枝玉葉ノ御身ヲ以テ、アノ人里難レタ所マデ行カレテ、三十年ノ長キニ互ツテ苦心サレタコト云フコトニ對シテハ、非常ナ熱烈ナ尊崇ノ念ヲ今日ニ至ルマデ持テ續クテ居ルノデアリマス、此ノ地方民ノ非常ナ敬慕ト申シマスガ、敬神ト申シマスガ、サウ云フコトヲ表ハシテ行ク爲ニ、色々ノ御都合ヒモアリマセウケレドモ、サウ云フ意味カラ以テ、彼處ニ一ツノ官幣社ヲ造ツテ戴クコトヲ云フコトガ、私ハ本當ノ國民精神作興或ハ國民ノ精神教育上カラ見マシテモ、是ハ適當チヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル者デアリマス、又繰返シテ申シマスガ、今國費多端ノ折柄デアリマスカラ、勿論地方民トシテモ、相當ノ建設費ヲ維持費ニ付テハ獻金申上ゲルコトハ覺悟シテ居ル譯デアリマス、ドウカ政府御當局ニ於テモ、其ノ邊アコトヲ十分ニ御考慮下サイマシテ、一ツ此ノ問題ヲ成ベク速ク實現スルヤウニ御願ヒシテ置キヤウナ次第デアリマス

○馬岡委員 一寸ニ關聯シテ——只今大仙神社ノ問題デ御當局ニ承リマスルト、皇族其他ノ奉祀、其ノ他現在ノ關係上御考慮ヲ遊バサレト云フ御話デアリマス、然ルニ大仙神社ハ大體御陵墓ガアリ、現在ノ無格社トシテハ、御當局ガ御認メニナツタ御言葉ヲシク思ヒマス、サウスレバ無格社ト昇格サセラルトハ、一社ノ御建テハナイカラ、簡單ニ出來ルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○成田政府委員 只今ノ御尋ネハ、現在無格社デアリマスル大仙神社ガアルノデアリマスカラシテ、之ヲ御昇格スルコトハ、割合ニ簡單デハナイコト云フ御趣旨ニ拜承致

シタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先程モ御答ヘテ致シマシタヤウニ、官幣社トシテ之ヲ御祀リラスルト云フコトニ付キマシテハ、從來ノ皇族ヲ御祀リ致シテ居リマスル神社トノ權衡ト云フ點ガゴザイマスノデ、十分斯ウ云フ點ヲ研究シタ上デ決定シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松井委員長 他ニ御發議ハアリマセスカ——御諮リ致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○松井委員長 異議ナキモノト認メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ

○松井委員長 日程第五、官幣大社札幌神社ニ 明治天皇合祀ニ關スル建議案——提案者ノ説明ヲ求メマス、松尾君

○松尾孝委員 私提案者ノ一人デアリマスカラ、茲ニ趣旨ヲ辨明致シマス、官幣大社ノ札幌神社ハ、明治天皇ノ勅ニ依リマシテ、明治二年九月一日、神祇官ニ於テ開拓神ヲ鎮齋シ、同月二十一日、開拓使長官之ヲ奉ジテ赴任シテ、札幌ニ遷座シ奉レルモノデアツテ、北海道ノ開發ハ、明治大帝ノ勅應ニ出テ、夙夜軫念ヲ垂レサセ給ヒシコトハ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘザル所デアリマス、今ヤ北海道ハ生産擴充、即チ此ノ事變下ニ於キマシテ、生産ヲ増強スル最モ優位ヲ占メテ、其ノ拓殖計畫ヲ遂行ヲ圖ル際ニ、開拓ノ當初ヲ回顧シテ、明治天皇ノ皇恩ヲ欽尚シ奉ル念ガ、北海道民ニ愈々切ナルモノガアルノデアリマス、此ノ際、明治天皇ノ鎮齋セシメ給ヘル開拓神ニ 明治大帝ヲ合祀シ奉レバ、北海道民ハ日々 明治大帝ノ勅

ヲ追懷奉戴シテ、感奮興起ノ念ヲ新ニシテ、拓殖ノ業績ガ又大イニ舉ガルニ至ルデアラウト思ハレルノデアリマス、仍テ本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、此ノ建議案ハ數回提案サレマシテ、本院ニ於テ可決ヲ見テ居ルノデアリマスガ、今日マデ政府ハ色色他ノ各地ニ斯ウ云フ希望ガアルト云フノデ、未ダニ其ノ御決定ヲ見ナイヤウデアリマスガ、今申シマシタヤウニ、特ニ北海道ハ 明治大帝ノ勅應ニ依ツテ、今日ノ開拓ヲ見テ居ルノデアリマスカラ、此ノ場合ニ於テ特別ナ御計ヲヒヨ以テ、官幣大社札幌神社ニ 明治大帝ヲ合祀セラレルヤウニ御配慮ヲ望ミタイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ内務當局ノ御意向ヲ承リマシテ、本委員會ニ於キマシテモ、前回同様可決アランコトヲ希望致シマス

○成田政府委員 謹ンデ按ジマスルニ、明治以降ニ於キマスル北海道ノ開拓ハ、一ニ 明治天皇ノ安謐ニ出デテ居ルノデアリマス、官幣大社札幌神社ハ、明治二年特別ノ恩召ニ依リマシテ、北海道開拓總鎮守ノ神トシテ、大國魂神、北巳貴神、少彥名神ヲ奉齋セラレタモノデゴザイマス、其ノ御由緒ノ洵ニ尊貴デアリマシテ、神威ノ顯著ナルコトハ、今更言フ要シナイ所デアアルノデアリマス、斯様ニ次第デアリマスノデ、新ニ 明治天皇ヲ合祀シ奉ルコトハ、只今申述ベマシタ本本來ノ御由緒ニ、影響ヲ及ボスノ嫌ヒガアルト考ヘラレルノデアリマス、又 天皇ノ官社ニ奉祀致シマスルノハ、一神一社ニ限ルノ例トナツテ居リマスノデ、此ノ條件ニ付キマシテハ、尙ホ慎重考慮ヲ要スルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

別ニ御發議ハアリマセスカ——御諮リ致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○松井委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ

○松井委員長 ソレデハ日程第一ニ戻リマシテ、北海道生産擴充綜合計畫ニ關スル建議案ノ審議ヲ進メマス、提案者ノ説明ヲ求メマス——松尾君

○松尾孝委員 私モ此ノ建議案ノ提案者ノ一人デアリマスカラ、先ツ私カラ其ノ建議ノ趣旨ヲ簡單ニ辨明致シマス、現在北海道ニ於ケル生産總額ハ十三億圓以上ニ達シ、益々發展ノ趨勢ニ在ツテ、眞ニ北海道ガ現下高度國防國家建設上缺クベカラザル所ノ重要物資ノ供給地トシテ注目サレテ居ルト云フコトハ、既ニ一一般ニ知ラレテ居リマス、然ルニ各種資源ノ無盡ノ寶庫ト稱セラレ、其ノ間多少見ルベキ開發施設ハ今日マデ行ハレテ居リマスケレドモ、先進府縣ニ及バザルコトハ甚ダ遠ク、殆ド是等ノ生産物資ハ潛在スル資源ノ一部分ヲ開發セラレタニ止マツテ居ルノデアリマス、此ノ大ナル資源ヲ今後積極的ニ開發施設ヲナスト云フコトハ、現下ノ情勢カラ見マシテモ極メテ急務ダト思フノデアリマス、先ツ地下資源カラ中シマスレバ、鑛業ノ各種地下資源ノ埋藏量ノ豐富ナルコトハ本邦隨一デアツテ、其ノ生産額ハ年ニ二億數千萬圓以上ニ達シテ居リマス、然ルニ本邦埋藏量ノ約六割ヲ占ムル石炭ノ出炭量ハ、我が國總生産量ノ三割ニ過ギナイ、金、銀ハ其ノ生産量ノ是モ三割デアリマスガ、將來ノ開發ニ俟ツベキ

モノガ頗ル多イ、又鐵ハ本邦生産額ノ四割七分、クロム、鎳ハ六割、マンガンハ五割五分、硫黃ハ七割二分デアツテ、其ノ他銅、水銀、ニッケル等ノ各種地下資源ガ、隨所ニ發見セラレテ居ルノデアリマス、發見セラレテ居ルノハ最近ノ事象デアアルケレドモ、今後調査スル所ニ依リテ、益々其ノ埋藏量ト云フモノガ大キイト云フコトガ分ルト思ヒマス、ソレカラ次ニ地上資源デアリマスガ、北海道ニ於ケル農業ハ、現在既成耕地ガ約九十八萬町歩、放牧地ガ約三十萬町歩ニ達スルト雖モ、今尙本國有未開地ガ二十八萬町歩、民有未利用地ガ約三十萬町歩ヲ存スル狀態デアアルカラ、寒地農業及ビ畜産業ノ合理的經營ニ依ツテ、開發計畫及ビ増産施設ヲ急速ニ實施シタナラバ、戰時食糧資源並ニ畜産資源ニ於テ、益々國家ノ要望ニ適フト思フノデアリマス、又森林ニ於キマシテハ、面積ガ五百四十萬町歩ヲ占メテ、是ガ蓄積量ハ二十數億石ニ達スル言ハレテ居リマスガ、年伐量ガ僅カニ三千万石程度デアツテ、而モ我が國林産資源ニ於テ、最重要ナル地位ヲ有スル國有林ヨリ伐採セラレル材木ハ、千數百萬石ニ過ギナイノデアアル、是ガ植伐ノ施設經營ヲ計畫的ニ實施シタナラバ、尙ホ相當ノ増伐ヲ期待シ得ルノデアリマス、而シテ治水事業ハ既耕地ノ被害防禦、未耕地ノ開發促進、灌漑用水ノ統制、工鑛業用水ノ計畫及ビ發電施設促進上先決的必須的ノ事業ナルニ拘ラズ、北海道ニ於ケル河川ノ大部分ハ、未ダ原始河川ノ域ヲ脱シナイヤウナ狀況デアリマス、國費支辨河川二十六河川中、僅カニ石狩川外九河川ニ對シテ、洪水防禦上急務ノ餘儀ナキ區間ニ限ツテ、治水工事ヲ施行シツツ

アルニ過ギズ、爾餘ノ河川ハ、近時漸ク應
急の災害防止工事ノ緒ニ就イタ程度ナル
ト云フコトハ、洵ニ残念デアリマス、海洋
資源ニ於キマシテハ、北海道ハ四面環海デ
アツテ、魚介、海藻ニ富シテ、世界三大漁
場ノ一ヲ控ヘ、夙ニ無盡ノ寶庫トシテ知ら
レ、水産總額ガ約二億圓ニ達シ、本邦水産
總額ノ四分ノ一ヲ占ムルト云フケレドモ、
大部分ハ沿岸漁業及ビ原始的ナ製造業デア
ツテ、今後沖合及ビ遠洋漁業ニ高度加
工業ノ振興ニ俟ツベキモノガ頗ル多イデ
アリマス、即チ北洋北千島漁業ノ殷盛ニ眩惑
セラレテ、未ダ顧ミラレザリシ中部千島、
奥日本海、「オホーツク」海、沿海州及ビ北
太平洋ニ於ケル未知漁場等ノ開發ヲ要スル
モノガアリマス、更ニ近時漁獲物ヨリ藥品
及ビ工業用品製出ノ研究ガ漸ク進シテ、極
メテ將來性ノ多イ工業資源トシテ刮目サレ
テ居ルデアリマス、其ノ次ニハ工業デア
リマス、工業資源ニ於ケル北海道ハ、彼上
如ク各種海産資源ヲ包蔵シ、隨テ其ノ生産
總額ガ七億圓ニ達シテ居リマス、而シテ大
規模工業ニ屬スル麥酒、製糖、製紙、製糖、
醸造、製粉、製糖、煉乳、罐詰等ノ外、石
炭ニ依存スル近代重工業タル製鐵、製鋼、
製鍊、セメント「工業」物興、並ニ「アルプ」、
硫酸、人造石油等ノ新興工業、其ノ他無水
酒精、産金及ビ電化工業等ノ進出ヲ見ルニ
至ツテ居リマスケレドモ、資源ノ豊富ナル
ニ比ストキハ、未ダ先進府縣ニ及バザル
コト極メテ遠イデアツテ、今後發展ノ餘
地アルハ、至大ノ關心ト期待ヲ換起スル所
デアツテ、所謂高度國防國家計畫遂行上、
是ガ急進ナル發展ノ絕對的可能性ヲ振起ス
ベキ要ガアルト思フデアリマス、且ツ工

業地帯ノ設定、工業港ノ築設等ハ、是ガ端
緒トナルベキ緊急ノ事業デアリト思ヒマス、
其ノ次ニ貿易ノ振興狀況デアリトシマスガ、北
海道ノ貿易總額ハ約一億七千万圓ニ上ツテ、
内輸出額ガ一億二千万圓、輸入額ガ五千万
圓デ、輸出超過額ガ七千万圓ニ達シテ、外
貨獲得ニ資スル所ガ相當大キイデアリマ
ス、サウシテ貿易品ノ主ナルモノハ海産糧
詰——鮭、鱈、鰻、蟹、農産物——豌豆、
隠元豆、林産物——樺材、合板材等デアツ
テ、其ノ他牛酪、煉乳、除虫菊、薄荷等重要
輸出品ガ少クナイデアリマス、然ルニ近
時歐洲戰亂ノ勃發ニ依リマシテ、第三國向
輸出ハ漸次困難ヲ加ヘテ、從前ノ如キ活況
ヲ呈セザル狀態デアリマスガ、是ガ難局打
開ノ爲メ、貿易振興或ハ保護策ヲ講ジ、以
テ積極的ニ外貨獲得、並ニ東亞共榮國ノ經
濟提携ニ資スルノ急ヲ認ムル次第デアリマ
ス、彼上ノ北海道生産力擴充綜合計畫ニ必
須ノ點ハ、交通、運輸及ビ港灣計畫ニ文
化施設デアリマス、即チ交通、運輸機關ノ
整備ハ、是等産業ノ開發振興上不可缺ノ施
設デアツテ、寧ろ道路、鐵道、港灣等ノ完
成ハ、産業ニ先驅スベキモノデアリマス、
然ルニ現在北海道ニ於ケル道路延長ハ、一
方里僅カニ一里三十二町ニ過ギナイ、内地
府縣ノ平均延長九里十町ニ比較スルト、甚
シク劣位ニアルデアリマス、隨テ産業交
通ノ進展ニ伴ハザルノ憾ミガ多イデアリ
マス、港灣施設ニ於ケル高港ハ、函館、小
樽、室蘭、釧路、留萌、稚内、根室、網走
ノ八高港ガアルケレドモ、何レモ未完成ノ
築港デアツテ、其ノ最モ古ク著工セラレテ
所ノ小樽港ノ如キハ明治三十五年ノ起工以
來四十年ヲ閉シ、未ダニ其ノ機能ガ完クナ

イ、爾餘ノ商港モ亦其ノ輸ヲ踏ミツツアリ
マス、加フルニ近時輸移出入貨物ノ著シキ
増嵩ニ對シ、円滑ナル輸送ヲ望ミ得ナイノ
ハ、極メテ遺憾トスル所デアリマス、又漁
業施設トシテ、漁港八港ノ外ニ小漁港及ビ
船入湖七十九港ヲ築設シ、又ハ作工ノ道程
ニアルケレドモ、近時大型機船ノ増加ニ依
リテ、是ガ擴張或ハ改修ヲ要スルノミナラ
ズ、是ガ新設ヲ要スル町村ガ非常ニ多ク、
更ニ漁業ノミナラズ、國防上ヨリスルモ、
千島列島並ニ北千島ニ適當ナル港灣施設ヲ
講ズルノ要ガアルト思フデアリマス、次
ニ鐵道ノ總延長ハ四千八百八十六「キロ」デ、
其ノ内國有鐵道三千五百八「キロ」、私設鐵
道ガ五百二十「キロ」、私設鐵道ガ五百十八
「キロ」ニ過ギナイ、近時貨客ノ輸送増大ニ
伴ヒ、是ガ鐵道及ビ軌道ノ延長ヲ圖ルト共
ニ、沿海島嶼及ビ千島列島ニ對シテハ、命
令航路ニ依リ定期船ノ運輸ヲ頻繁ナラシム
ル等、交通運輸機關ノ整備充實ヲ圖ルノ必
要ガアリマス、是等計畫ノ實行ニ並行
シテ、必要ナル教育及ビ文化ハ、肇國ノ大
理念ニ立脚シ、我が國固有ノ民族精神ニ淵
源シテ發展セシムベキハ論ヲ俟タナイ所デ
アツテ、北方文化ノ確立ヲ期シ、本道
ノ特殊性ヲ強調シ、以テ全體的日本文化ニ
貢獻スルコトヲ期セナケレバナラナイト思
ヒマス、是ガ爲メ教育機關ノ整備並ニ文化
施設ノ擴充、道民生活様式ノ改善醇化、其
ノ他保健衛生等、各般ノ施設計畫ヲ確立ス
ル所デゴザイマス、今ヤ國家總力戰體制ノ
下ニ於テ、生産力擴充ニ全力ヲ傾注セント
スル秋ニ當ツテ、我が國北方ノ寶庫タル本
道ヲ現状ノ儘推移セシムルガ如キハ、國家

ノ爲メ洵ニ一大損失ト言ハナケレバナリマ
ス、政府ハ速カニ國內生産力ノ擴充ヲ根
幹トシタル、積極的北海道生産力擴充綜合
計畫ヲ樹立シテ、是ガ實施ヲ圖リ、以テ國力
ノ充實ニ資セラレシコトヲ切望スル所以デ
アリマス、以上ノ理由ニ基キマシテ、茲ニ
本建議案ヲ提出シテ次第デアリマスガ、之
ニ對シマシテ是非本委員會ニ於キマシテハ、
此ノ趣旨ノアル所ヲ認メテ戴キタイト思ヒ
マス

○成田政府委員 北海道ノ豐富ナ各種ノ資
源ニ關シマシテ、之ヲ開發シテ參リマスル
コトハ、現下ノ時局ニ鑑ミテ極メテ重要ト
スル所デアリマス、殊ニ最近ニ於キマスル
拓殖ノ實績ニ鑑ミマシテモ、急速ニ此ノ綜
合的開發ヲ計畫致シマシテ、其ノ實施ニ依
リマシテ生産力ノ擴充ヲ期シマスルコトハ、
喫緊ノ要務ナリト考ヘルノデアリマス、只
今詳シク御述ベニナリマシタコトニ付キマ
シテハ、其ノ通りデアルト考ヘルノデアリ
マス、仍テ積極的ニ是等各種ノ重要資源ノ
開發ヲ圖リマシテ、北海道ノ將來ノ發展ニ
資スルト云フ目的ヲ以チマシテ、昨昭和十
五年六月ニ北海道開發綜合計畫委員會ヲ設
立致シタルデアリマス、此ノ委員ハ森林、
農業、工業、鑛業、水産、交通、利水及ビ
文化ノ八部門ニ分ケテアルノデアリマシテ、
目下ソレノ專門ノ事項ノ具體的實施計畫
ヲ立案中ニ屬スルノデアリマス、其ノ立案
ヲ得マシテモノカラ、順次財政當局ト協議
ヲ遂ゲマシテ、之ヲ豫算化シテ實行ニ移ス
意向ヲ居ルノデアリマス、既ニ森林及ビ農
業ニ關シマシテハ、ソレノ「部」ノ委員會
ノ意見ガ輕マリマシタモノヲ、昭和十六年
度北海道拓殖費ノ中ニ、其ノ所要ノ經費ヲ

計上致シテ居リマス、今後各部門ニ互リマ
シテ立案ヲ急ギ、綜合開發計畫ニ依リマシ
テ、所期ノ目的ヲ達成スルヤウニ、出來ル
ダケノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○松浦周太郎君 私人關聯致シマシテ、提
案者ノ一人トシテ大藏當局並ニ内務當局ニ
御尋ね致シタイト思ヒマス、只今ノ土木局
長ノ御答辯ニ對シテ、更ニ信念ヲ伺ツテ置
キタイト思ヒマス、尙ホ其ノ前ニ大藏當局
ノ仰セラレマシタヤウニ、北海道ノ資源ニ
付テハ、最早其ノ内容ヲ説明スルノ必要ハ
アリマセズ、事變以來五箇年、我が國ニ於
ケル物資ハ次第ニ其ノ不足ヲ告ゲマシテ、
昨年輻輳外交ニナリマシテ以來、自由主義
國家トノ間ノ輸出入ト云フモノハ杜絶サレマ
シテ、就中北海道トノ關係ガ、現在ノヤウ
ナ狀況ニナツテ參リマス時ニ於テ、我が國
ノ物資ノ不足ニ一層ノ拍車ヲ掛ケルノ感ガ
アルト思ヒマス、此ノ時ニ於テ、今東亞ノ
共存權ヲ確立スルト雖モ、此ノ大事業ヲ完
成スル爲ニ必要トスル所ノ物資ヲ、日本デ
ハドノ地ニ之ヲ求メントスルノカ、特ニ地
下資源ニ於テ、今中支那或ハ北支那ノ山西
省方面ニ於ケル石炭ノ採掘ヲナサントスル
ナラバ、之ニ對スル鐵道ノ敷設ヲシナケレ
バナラス、同時ニ鑛山開發ニ對スル所ノ各
種ノ施設ヲシナケレバナラス、港ニ品物ヲ
出シマシテモ、其ノ品物ハ今ノ港ノ狹隘ノ
現狀デハ、直チニ之ヲ積ムコトハ出來
マセズ、隨テ支那ニ於ケル大港灣計畫ヲ立
テネバナラス、然ラバ、祖國日本ノ青島
脈ニドレダケノ地下資源ヲ包蔵シテ居ルカ
ト云フコトハ、今更説明ノ必要ハアリマセ
ズ、特ニ石炭ニ於テ、九州ハ石炭ノ寶庫ト

雖モ、昨年私ハ九州ノ三井ノ經營シテ居リ
マス所ノ井田礦ニ、二千尺ノ地下ニ入ツ
テ、其ノ石炭ノ採掘狀況ヲ觀察致シマシ
タ、二千尺ノ地下ニ於テ一尺四寸ノ石炭
層ヲ掘ツテ居ル現狀デアリマス、又山口縣
ノ多イ製鐵用石炭ハ認メラレナイ、何レ
モ是ハ化學用ノ石炭トシカ見ルコトガ出來
ナイ、然ラバ當該ハドウカト謂ベテ見マシ
テモ、是ハ北海道ノ埋藏量ノソレニ比ベル
ナラバ、ソレハ洵ニ九牛ノ一毛ニ過ギマ
セズ、今其ノ數字ヲハツキ申スコトハ出來
マセズガ、北海道ノ石炭ノ埋藏量ハ、只今
説明サレマシタヤウニ、實ニ全國ノ六割ヲ
占メテ居ル、而モ今石炭ノ助成費ニ對シマ
シテ、生産「コスト」ガ赤字デアアル方面ト、
赤字ニアラザル方面トガアル、北海道ノ石
炭ハ豐富ナ炭層ノ中カラ掘出シテ置イテ、
比較的有利ナ方面ノミニ着業シテ居リマス
ルガ爲ニ、現在他ノ方面程生産「コスト」ヲ
割ツテ居ナイ、是モ此ノ豐富ナル原料ガア
ルト云フコトヲ物語ツテ居ルノデアリマス、
斯様ナ狀況デアリマシテ、東亞ノ新秩序ヲ
建設スルト云フ所ノ物資ハ、只今松尾委員
ガ説明致シマシタヤウニ、悉ク我が北海道
ガ包蔵シテ居リマス、然ルニ此ノ開發計畫
ハドウカト云ヘバ、河島長官時代ニ自陪ヒ
主義ニ於ケル北海道拓殖計畫ト云フモノガ
立テラレ、其ノ建前ノ下ニ立ツテ居リナガ
ラ、政府當局ハ豫算編成ノ時代ニ、其ノ自
陪ヒノ見地ニ立脚シテヤツテ呉レルナラバ
マダシモ宜イガ、其ノ中カラ更ニ色々ノ條
件ヲ付ケテ、サウシテ北海道ノ取ルベキモ
ノヲ出シテ居ラス、然ラバ今此ノ大事業ヲ
完成スル爲ニ、何處ニ於テ此ノ物資ノ需給

計畫ヲ政府ハ執テレルカ、所謂物動計畫生
産擴充計畫、物資ノ需給計畫ニ對スル政府
ノ新體制ハ何處ヲ目指シテ居ルカ、是ハ企
畫院ニモ應テ必要ガアリマスガ、大藏省ヲ
代表シテ居ラレマス政府委員ノ方ニ、此ノ
新體制下ニ於ケル物動計畫、生産擴充計畫、
或ハ物資ノ需給計畫ニ對スル信念ヲ、先ヅ
御尋ねシテ置キタイト思フデアリマス

○梅北政府委員 只今ノ御尋ねニ對シテハ、
或ハ大藏次官アタリカラ御答ヘスルノガ適
當ト存ジマスガ、問題ハ大分根本的デアル
ヤウデアリマス、要スルニ質問者ノ御意見
ノ存スル所ハ、結局北海道ニ相當各種ニ互
ル所ノ地下資源ガ埋藏シテ居ルノニ、ナゼ
之ヲ他ノ外地等ノモノニ率先シテ開發シナ
イノカト云フコトニ、問題ノ焦點ガアルヤ
ニ觀ハレルノデゴザイマスガ、ソレハ勿論
今日ノ時節ト致シマシテハ、財政上ノ關係
モアリマス、又物資努力等ノ關係モゴザイ
マシテ、所謂重點主義ニ依ツテ開發ヲシテ
行ク以外ニ、方法ガナイ現狀ニアルノデア
リマスカラ、此ノ所謂重點主義ノ原則ニ即
應スルモノデアアル限リニ於テハ、假ニ北海
道ガ朝鮮、滿洲、又ハ北支カラ見テ、地理
的ニ近接ノ地ニアルト云フコトハ言フマデ
モノナイデアリマシテ、隨テ其ノ點カラ云
フテ、今申シマシタ重點主義ノ原則ニ即應
スル限リニ於テハ、北海道ノ資源ト云フモ
ノガ、是等外地ノモノヨリモ先ヅシテ開發
セラルベキハ、寧ろ理ノ當然デアルト思フ
デアリマス、唯恐ラタ今日マデノ情勢ト
致シマシテ、或ハ北海道ニソレ程各般ニ互
ル所ノ地下資源ガ多量ニ埋藏存在シテ居ル
ト云フコト、及ビソレノ開發ガ比較的容易
デアルト云フコトガ、或ハ一般的ニ知レテ

居ラナカツタト云フコトニ原因シハシナイ
カト思フデアリマスガ、若シソレガ只今
御話ノアリマシタヤウニ、多量ノ又各般ニ
互ル地下資源ガ豐富ニ存シテ居リマシテ、
サウシテ其ノ開發ガ他ノ地ニ比シテ比較的
容易デアルト云フナラバ、財政上ノ見地カ
ラズル重點主義カラ申シマシテモ、是ハ當
然ニ北海道ニモツト多クノ開發資金ガ投ゼ
ラルベキモノデアルト云フコトハ、申スマ
デモナイカト思フデアリマス、隨テ只今
問題ニナツテ居リマス所ノ建議ガ、或ハ可
決セラレマシタ場合ニ於キマシテ、ソレヲ
如何様ニ取扱フカト云フ問題ハ、財政上ノ
諸般ノ事情トモ配合ハセマシテ、又其ノ資
源ガドウ云フ種類デ、ドウ云フ風ナ程度ニ
存在シテ居ルカト云フコトモ配合ハセマシ
テ、十分ニ考慮セラルベキモノト信ズル
次第デアリマス、一應以上ノ程度ニ御答ヘ
シテ置キマス

○松浦周太郎君 内務省ノ方面ニ一寸御尋
ねシマスガ、六月カラ綜合計畫ヲ御立テニ
ナリマシテ、只今私ノ述べマシタヤウナ所
ニ立脚シテ、重要ナル目下ノ國策ニ合ハスベ
ク、長官ヲシテ實行セシメツツアレマス内務
省ノ意圖ニ對シマシテハ、非常ニ賛意ヲ表ス
ル者デアリマス、併シ今其ノ實施ハ喫緊ノ要務
デアアル、積極的ニ開發計畫ヲヤナケレバナ
ラズガ、具體的ニ開發計畫中デアルト云フコ
トデアリマス、私ハ先程申述べマシタヤウ
ニ、此ノ計畫ヲスルニ當ツテ必然的ニ必要
ナモノハ、財政問題デアルト思ヒマス、此ノ
時ニ於テ今マデ北海道ノ拓殖計畫ト云フモ
ノヲヤツテ來タヤウナ姑息ヲ考ヘ、所謂北
海道カラ上ツタダケノ金デ北海道ヲ拓クト
云フヤウナコトデ、今日ノ此ノ北海道ノ富

源ヲ開發スルコトガ出來ルカドウカ、ソノ
ナ國家ノ要求ガ手生温イモノデアリカドウ
カ、今松尾委員ノ述ベマシクヤウニ、地下
資源ニ於テ、地上資源ニ於テ、或ハ海洋資
源ニ於テ、或ハ工業計畫ニ於テ、或ハ貿易
ノ狀況ニ於テ、凡ニルモノヲ檢討シ致シマ
シテモ、我が國家ノ生産力ノ何割ヲ占メテ
居ルカ、更ニ此ノ開發計畫ヲ致シマシテ
バ、如何様ニナルカト云フコトハ、此ノ案
自體其ノモノガ物語ツテ居ルデアリマス、
隨ヒマシテ今マデノヤウナ自賄ヒ主義ノヤ
ウナモノデ、取レルダケノ金ヲ拓イテヤラ
ウト云フヤウナコトデアリカス、結局先ニ
金ヲ注ギ込シテ、サウシテ國家ノ用ニ立ツ
所ノ物ノ生産ヲ擴充シテ行カナケレバナラ
ス、今ノ時局其ノモノカラ考ヘルナラバ、
ソレハ戰費ヲ調達スル考ヘト同ジ考ヘデ、
少クトモ北海道ノ開發ヲシナケレバナラス、
所謂國ノ戰爭ニ必要ナル資材ヲ包含シテ居
ルカラデアリマス、併シナガラ戰爭ハ永久
ニ繼續スルモノデハナイ、戰爭ガ終リマシ
テモ、戰後ノ經營ニ於ケル所ノ日本ノ豐富
ナル所ニ求メナケレバナラスコトハ、從來ノ
然デアリマス、斯様ヲ見地ニ於テ、從來ノ
ヤウナ考ヘ方デ立案セラシムルカドウカ、
一步進シテ今ノ時局ニ即應スルヤウナ考ヘ
ノ下ニ立案セラシムルカドウカト云フコト
云フコトノ、御信念ヲ伺フテ置キタイと思
ヒマス

総合的ニヤルト云フヤウナ必要性ハ、十分ニ
認メテ居ルデアリマシテ、斯様ヲ考ヘノ
下ニ、先程御答ヘヲ申上ゲマシクヤウニ、
北海道開發綜合計畫委員會ヲ作りマシテ、
ソレノノ部門ニ分ケテ、具體的ニ計畫ヲ
今立テテ居リマス、而シテ其ノ案ノ今出來
上ツタモノニ付キマシテハ、十六年度ノ豫
算ニ既ニ計上シテ御協賛ヲ經タモノガアル
ノデアリマシテ、是モ從來ニ比較シマシレ
バ、相當ノ増加ニナツテ居ルト思ヒマス、
斯様ヲ考ヘ方デ進シテ參リタイ、斯ウ云フ
風ニ吾々ハ考ヘテ居リマス

コトハ差控ヘタイと思ヒマス
○松浦周太郎君 其ノ點ハ言明スルコトハ
出來ナイデゴザマセウガ、財政上ノ關係カ
ラ、綜合的ニ配分ハセナケレバナラスト云
フコトニ付テハ分リマス、併シナガラ先程
カラ述ベマシクヤウニ、必要ナル物資ハ外國
カラ入ツテ來ナイ、ドウシテモ即刻日本ニ
於テ之ヲ自賄ヒ的ニ、所謂自給自足ニ開
發シテ行カナケレバナラス、其ノ必要ナル
所ノ森林資源ニ於キマシテモ、地下資源ニ於
キマシテモ、又食糧政策上ニ必要ナル所ノ農
耕地ノ開發ニ於キマシテモ、或ハ東亞ノ北
海道漁場開拓ニ於キマシテモ、何レノ見地
カラ見テモ、日本ノ物資ノ自給自足ヲヤル
コト云フ時ニ於テ、是ハ放任出來ナイモノ
デアリ、財政上ノ見地モアルデアリマセウ、
併シナガラ是ハ凡ニル方面カラ眺メテ、物
ガナケレバドウシテモ日本ノ國策ヲ遂行ス
ルコトガ出來ナイト云フ時ニ於テハ、唯單
ニ今マデノヤウナ言譯ノ綜合的見地トカ、
財政的關係トカ云フコトハ言ツテ居ラレナ
イデハナイカ、今其ノ資源ガナケレバ戰爭
スルコトガ出來ナイト云フ所ニ打突カツタ
時ニドウサレルカ、私ハソコガ重點ダと思
フ、日本ガ振興スル爲ニ必要ナル所ノ資源
ガ其ノ儘眠ツテ居ル、冬眠シテ居ル、其ノ
扉ノ鍵ヲ開クコト云フコトハ何デ開ク、其ノ
扉ノ鍵ト云フモノハ、大藏省ガ握ツテ居ル
デアリマセウカ、如何ニ内務省ガ計畫ヲ
立テマシテ、北海道ノ總動員ヲシテ、衆智
ヲ集メテ斯ウシテ宜イト云フ具體的ノ案
ガ出來マシテモ、其ノ寶庫ノ鍵ヲ握ツテ居
ルノハ大藏省デアリ、大藏當局ニ於キマシ
テハ、此ノ場合直チニ御答辯サレルコトモ

出來ナイデアリマセウガ、省議ニ於テ十分
檢討セラレマシテ、吾々ノ意ノアル所ノミ
ナラス——私ガ北海道ニ在任スル爲ニ、此
ノ議論ヲ申上ゲテモ、ソレ程響カナイコト
ヲ遺憾ニ存ジマスガ、日本全體カラ見テ、
此ノ寶庫ノ扉ヲ開カナケレバナラスト云フ
コトハ刻下ノ急務デアリ、此ノ意味ニ於テ、
大藏當局ニ於カレテハ十分ニ考慮サレンコ
トヲ望ム者デアリマスガ、來年度ノ豫算編
成ニ際シマシテ、内務省ニ於テ此ノ綜合計
畫ヲ立案シテ出サレタ時ニドウ扱ヘルカ、
之ニ對スル大藏省ノ御意見ヲ伺フテ置キタ
イ

○梅北政府委員 北海道ノ開發計畫ニ關シ
テ、來年度ノ豫算ニ於テ内務省ガ立案サレ
タモノノ要求ガアルト云フ場合ニ於キマシ
テハ、其ノ豫算査定當時ニ於キマスル所ノ
狀況ニ鑑ミマシテ、十分ニ御趣旨ノ存スル
所ヲ體シ、所謂重點主義ノ大原則ニ照シテ
之ヲ査定スルト云フコトハ、是ハハツキリ
申上ゲルコトガ出來ルト思フデアリマス、
唯ソレドノ程度ニ、又ドウ云フ風ナ態度
ヲ以テ見ルカト云フコトハ、今日ノ場合之
ヲドウスウ申上ゲルコトハ、其ノ時期デナ
イト存ジテ居リマス

○澤田利吉君 關聯シテ少し申上ゲテ置キ
マス、尙ホ此ノ際委員諸君ニ申上ゲマセウガ、
是ハ提案者ガ北海道ノ者デアリ、又提案ノ
理由ヲ申上ゲルノモ北海道ノ者デアリガ、
併シハ決シテ單ナル地方的ノ問題デハナ
イト云フコトヲ御諒解ヲ願フト共ニ、暫ク
私共ノ申上ゲルコトヲ聽イテ戴キタイノデ
アリマス、本年ノ議會ハ非常時議會トシテ、
成ベク建議案等不急ノモノハ差控ヘルト云
フ申合セニ依リマシテ、建議案ノ數モ極メ

テ少ク、殊ニ地方的ノ利害ヲ加味シタモノ
ハ殆ド見ラレナイノデアリマスガ、其ノ中
ニ北海道ノ拓殖ニ關スル建議案ヲ私共ガ出
シタト云フコトハ、先程松浦君ノ言ハレ
タ通り、現在ノ時局下ニ於テ、私共北海道
ノ帶ビテ居ル重大ナル使命ヲ見ルト同時ニ、
政府ノ此ノ北海道ノ拓殖計畫ニ依ル資源開
發等ノ熱意ト云フモノニ對シテ、私共ハ多
分ノ疑ヲ持ツノデス、ソレハ例ヘバ本年度
ノ豫算ヲ道廳ガ要求スル、之ニ對スル査定
ノ跡ヲ見マスト、ヤハリ事變前ノ時代ト同
ジ考ヘノ下ニヤツテ居ラレト云フヤウナ
コトヲ考ヘルノデアリマス、事變前ノ時代
ハ、北海道ト云ヘバ或ハ農業、或ハ漁業ト
云フヤウナ方デアツテ、而シテ土木ノ問題
デモ、内地各府縣ト大體配合ハセテヤウナヤ
リ方ヤツテ居ラレタ、而シテ本年アタリ
ノ査定ノ方針ヲ見マシテモ、ヤハリ土木費
ノ如キモ、内地各府縣ト稍似寄ツタヤウナ
ヤリ方ヤラレタ、私ハ斯ウ云フ非常時ニ
對シテハ、單ニ北海道ト云ハズ、全國ヲ通
ジテ今日資源ガ少イノデスカラ、何レノ
費用ニ於テモ節約スル所ハ節約スルガ、使
フベキ場所ニ對シテハ、ヤハリ此ノ時局ト云
フモノノ中心ニシテ考ヘテ行カナケレバ
イカスト考ヘル、先程來地下資源ノ話ガ出
マシタガ、何ト云ヒマシテモ現在外國ノ輸入
ハ思フヤウニナラス、ソコニ新資源ト云フ
モノガ非常ニ大切ナモノニナツテ來タ、北海
道ハ石炭ハ御承知ノ通りニ出ルシ、金ニシ
テモ、朝鮮ヲ除ケバ日本第一ノ産物、
或ハ硫黃、或ハマンガント云フモノハ六
七割ヲ占メテ居ツテ、サウシテ是カラ尙
ホ拓カレルモノガ多分ニ在ツテ、或ハ軍事
上ニ、或ハ工業上ニ、ドウシテモナケレ

バナラスモノガ、或ハ道路ガ完全デナクシ
テ品物ガ出セナイトカ、種々ナル點ガアル、
ダカラシテ内務省モ此ノ點ヲ十分ニ研究セ
ラレルト同時ニ、私ハ大藏省ニ於テ北海道
ヲ見直スト云フコトガ必要デハナカラウカ、
先刻來財政上ノ點ニ配合ハセテ上テト云フ
御話デアリマシタガ、ソレハ當然ノ話デア
ル、當然ノ話デアアルガ、過去ノ北海道ト
現在ノ北海道ト云フモノヲ、私ハ根本的ニ
考ヘ直ス必要ガアルト思フデアリマス、
斯様ナ意味ニ於キマシテ、大藏當局ニ於カ
レテハドンナ御考ヲ持ツテ居ラレカ、ソ
レカラ又財政上ノ問題デモ、戰爭ノ費用ト
云フモノハ、是ハ算盤ニ乗ラヌモノデアリ
マシテ、必要餘儀ナク出スシデス、サウシ
テ今吾々ガ言フ北海道ノ産業ヲ擴充シ、地
下資源ヲ開發シ、其ノ他凡ニル工業ヲ發達
セシムルト云フコトハ、戰爭遂行ノ爲ニ必
要ナルモノト此處カラ引張り出セト云フノ
デス、茲ニハ算盤ヲ外レテ考ヘテ行カ
ナケレバナラスト思フ、ソレハ戦爭ハ
濟ミマシテモ、將來ノ世界ノ經濟ノ戰争ハ
デアリ、私ハ現在政府ノヤツテ居ル跡ヲ見
マスト、總テハ後カラ追跡ケテ居ルヤウニ
思フ、吾々ハ戰争勃發ト同時ニ、モウアメ
リカ邊リカラ、斯ウ云フ目ニ遭フコトハ最
初カラ分ツテ居ツタケレドモ、役所ノ仕事
ハ兎角後カラ追跡主義ニナルコトヲ私ハ遺
憾ニ思フ、是ハ北海道バカリノ爲メデハナ
ク、斯ウ云フ方面ニ對シテ考ヘ直サナケレ
バナラスガ、特ニ北海道ト云フ方面ニ對ス
ル考ヘ方ト云フコトニ對シテ、若シ大藏當
局ガ從來ト同ジ考ヘデアルトシタナラバ、
將來騰ヲ喰ヒノ憂ヒガアル、ドウシテモ北
海道ヲ見直シテ實ハナケレバナラスト思フ

ノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ大藏當局
ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス
○梅北政府委員 只今澤田委員ノ御意見ノ
中ニ、大藏省ハ時局の見地ニ立ツテモノヲ
見テ居ナイト云フヤウナ意味ノ仰セガアツ
タカト存ジマスガ、大藏省ガ時局の見地ニ
立ツタ見方ヲシテ居ナイト云フコトハ、ソレ
ハトシテモナイコトデアリナイカト思フノ
デアリマス、時局の見地ニ立ツテモノヲ見
ナケレバナナイ情勢ニアルガ故ニ、今日ハ
澤田委員ノ御指摘ノヤウニ、軍口算盤外レ
ノ、所謂公債政策ニ依ツテ財政ヲ賄ツテ行
カナクテナラヌト云フヤウナ時期ニアル
ノデヤナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、
唯ココデ問題ハ、北海道ノ時局の意義、時
局の重要ヤト云フモノガ、昔ト今日ト變ツ
テ來テ居ルノダ、斯ウ云フ御話ダトスレバ、
ソレハ私ハ分ルト思ヒマス、隨テサウ云フ
意味ニ於テハ、北海道ノ方々トシテ、北海
道ノ重要ヤト云フモノガ昂揚サレタト云フ
コトヲ、十分ニ御指摘ニナリ、ソレガ政府
一般ニ分ルヤウニ御示シナツテ、政府ノ
方トシテモソレヲ認識シテ、其ノ時局の重
要ヤト即應スルヤウニ、詰リ重點主義ノ立
場カラ、ソレヲ取上ゲ得ルヤウナ形ニシテ
行クト云フコトデ、初メテ仰セノヤウナ結
果ガ得ラレルノデアリナイカト思フノデアリ
マス、ドウ云フヤウナ立場カラ見マシテ、
決シテ、大藏省ガ何等時局の見地ニ立ツテ
モノヲ見テ居ナイトカ、或ハ從來ノ考ヘト
同ジヤウニ、財政上ノ見地ノミカラ北海道
ヲ見テ居ルコトヲ云フヤウナ事實ハナイノデア
リマシテ、詰リ今日ノ時勢ノ要求ト、其ノ
時勢ノ要求ニ對スル北海道ノ地位如何ニ依
ツテ、總テ其ノ取扱ナリ關係ガ重ツテ來ル

ベキ性質ノモノデアリ、斯様ニ考ヘマス
○戸塚政府委員 大藏省ノ來年度豫算ニ對
スル見方ガ、從來ト變ラナイト云フヤウナ
御話ガアリマシテ、來年度ノ豫算ニ關シ
テ折衝ノ役ニ當リマシタ私トシテ默ツテ居
ツテハ申譯ナイヤウナ氣ガ致シマスノデ、
一言申上ゲテ置キタイと思ヒマス、先程
カラ御話ノ皆サンノ御趣旨ニ付テハ、私ハ
能ク解ツテ居リマス、分ツテ居リマス
言フヨリ、寧ロ北海道ノ代議士各位ガ全部
揃ツテ、斯ウシタ建議案ヲ出サレタト云
フコトハ、私トシテ洵ニ有難イノミナラ
ズ、是デ本當ニナツテ來タノダト云フ風ニ
考ヘテ居ルノデアリマス、併シ大藏省ノ當
局モ、能ク皆サンガ御話ニナリマシタヤ
ウナ事情ニ付テハ御理解ヲ持ツテ、少クト
モ來ツツアルヤウニ承知致シテ居リマス、
殊ニ十六年度豫算ノ折衝ニ付テハ、隨分
理解ノアル査定ヲシテ與レタト私ハ考ヘ
テ居リマス、唯私共カラ見レバ、今一步ト
云ヒマスガ、今數歩ト云フヤウナ氣ガスル
ノデアリマス、全然變ラナイトハ私ハ決シ
テ考ヘテ居リマセウ、只今大藏省ノ政府委
員モ、サウ云フヤウナ意味デ能ク理解シテ
ヤツテ居ルト云フ御話デアリマシタシ、又
皆サンカラ北海道ノ實情ニ付テ、モウ少し
政府ノ要路ニ對シテ認識ヲサセタナラバ、
尙ホ分ツテ來ルダラウト云フヤウナ意味ノ
御答辯ガアツタデアリマス、私モ洵ニサ
ウダト思ツテ居リマス、昨年以來北海道當
局トシテ、北海道ノ實情ニ付テ大藏省ニ對
シ色々説明ヲ致シマシタ所ガ、事務當局ノ
實地ノ視察モシテ戴キマシタ、其ノ結果相
當分ツテ來テ與レタコトヲ私喜ンデ居リマ
シテ、此ノ點私カラモ皆サンニ釋明ヲ申上

代ニ奮然立ツテ、所謂萬里ノ波瀾ヲ各方面ニ開拓シ根柢ヲ築イタノガ今日ノ移民ニ、其ノ數ハ現在デ二百六十万人デゴザイマス、其ノ地盤ガ如何ニ鞏固デアレカト云フコトハ、「フイリピン」ノ製材、製麻事業等ヲ見テモ分ルノデアリマス、又「ブラジル」ノ「コーヒー」、野菜、棉等ヲ見マシテモ、亦「カリフォルニア」方面ノ果樹園、野菜等ヲ見マシテモ、或ハ「メキシコ」方面ノ漁業ヲ見マシテモ、日本移民ノ功績ハ他ノ「ヨーロッパ」カラ米ヲ移民ヲ遣カニ凌イデ居ルノデアリマス、ソコデ日本ノ今日アル得マシタノハ、勿論皇室ノ御後威ノ然ラシム所デアリ、内國人ノ奮發ノ結果デアレケレドモ、是等移民ガ海外ニ骨ヲ埋メテ、彼ノ地ノ氣候風土ノ開ヒ、排斥等ヲ押開イテヤツタ結果ニ外ナラスノデゴザイマス、斯様ニ事業上ノ地盤ガ廣クナツテ居ルノミナラス、今日ハモウ一步進メテ社會的、政治的ニ地位ヲ占メテ居ル、例ヘバ今世界ノ大キナ謎ニナツテ居ル「アメリカ」ノ大統領ガ三回目ノ當選ヲスルニ當ツテ、日本人ノ第二世、男女トモ成年以上ノ者ハアソコデ選舉權ヲ持チ且ツ使ツテ居リマスガ、「ハワイ」ニ「米國」デ——是ハ外務省ノ方ハ能ク御承知デアリマセウガ、私傳聞シタ所デハ、日本人ノ第二世ノ今回大統領選舉ニ投票シタル票ガ五萬乃至三萬アルト承ツテ居リマス、ソレカラ又「ハワイ」ニ於キマシテハ日本人ノ第二世ガ、アソコデ議員其ノ他ニ選舉サレテ居ル者ヲ見マスト、「ハワイ」ノ議會ニ於キマシテ上院ニ一名、下院ニ六名、參事ガ六名、檢事ガ一名、判事ガ二名、斯ウ云フ風ニ日本人ガ社會的ニ政治的ニ地歩ヲ占メテ居ルノデゴザイマス、此ノ日本人ハ

故郷ノ風タトカ、水ダトカ、早リダトカ云フヤウナ害ニ當リマシテハ、我がコトノヤウニ心配ヲシテ送金ヤ何カシテ慰メテ居リマスケレドモ、平生移民送金ト云フノハ年ニドレ位アルカ、最近其ノヤウナコトハ御發表ニナリマセウカ分リマセウガ、一千万圓以上アル、是ハ外貨獲得デアル、向フデ働イテ、向フデ食ツテ、サウシテ是ダケノ外貨ヲ送ツテ來ル、其ノ外ニ此ノ事變ニ際シマシテ、昭和十二年ノ七月以降昨年ノ十一月末頃マデニ、我が陸海軍ニ澤山ノ恤兵獻金ト國防獻金ヲシテ居リマス、是ハ大シタモノデゴザイマシテ、其ノ一部分ヲ申上ゲテ見マスト、海軍省ノ方ニ於テハ恤兵ノ方デ二百一十萬六千圓、陸軍省ノ方ニ於テハ換ヘタモノガ十一萬六千圓、ソレカラ國防獻金ガ百三十七萬三千九百四十六圓トナツテ居リマス、是ハ海軍タケデゴザイマス、海軍ハ此ノ國防獻金ヲ以テ飛行機〇臺、其ノ他ノ武器ヲ造ツテ、ソレガ戰場デ働イテ居ルノデゴザイマス、陸軍ノ方ニ於テハ馬シテハ、ヤハハ昨年末マデニ恤兵金ガ三百二十四萬四千六百圓、ソレカラ恤兵品ノ價值ニ見積ツタモノガ二百一十萬四千圓、ソレカラ國防獻金ガ二百四十萬四千二百一圓、ソレカラ國防品ノ品物デ納付シタノガ、換算八萬一千七百六十八圓、合計海軍ノ方ニ海外同胞カラ此ノ事變中ニ寄贈シタモノガ三百五十六萬六千九百六十二圓デアリマス、陸軍ノ方ハ是ノ倍ニナリマシテ七百七十三萬六千六百一十一圓デアリマス、兩方合セルト實ニ千二百四十四萬三千五百七十二圓、之ヲ二百六十萬人ノ海外同胞ガ、此ノ事變ニ際シテ陸海軍ニ寄贈シテ居ルノデゴザイマス、其ノ外ニ彼等ハ年々一千万

圓、三箇年掛レバ三千万圓有餘ノ外貨ヲ日本ノ國ニ郵送シテ居ルノデゴザイマス、ソコデ斯様ナ仕事ヲシテ居ル者ヲ放ツテ置イテ宜イカ、斯ウ云フ話デアリマス、遠方ダカラ分ラナイカラト云ツテ居ルノハ甚ダ相濟マヌ、一億一心ヲ以テ時類ヲ克服スルコトガ今日必要デゴザイマスルガ、一億一心ト云フノハ、内地ノ同胞六、七千万人ダケガ一心ニナル話チヤナイ、外地ノ人間モ一緒ニナラケレバナラス、外地バカリデハ國運モ發展シナイ、是等外地以外ノ世界中ニ出テ居ル者マデ一心ニナラナクチャ、此ノ時類ハ乘切レナイ、一心ニナラセルニハドウシタラ宜イカト云フト、折角左様ナ國家ノ爲ニ功勞ヲ立テタ者ハ、セメテ無縁佛ニダケデモシナイト云フコトヲ内地人ガヤルノハ、當然ノ義務デアルト思フノデアリマス、就中東亞共榮國ト申シマシテ、之ヲスルノガ主ナル仕事デ今戰爭ヲシテ居ルノデゴザイマスガ、東亞共榮國ノ如キハ、今マデ移民ヲ獎勵シナイデ移民ニシテ置キマシタ崇リガ觀面ニ現ハレマシタ、大體キリシテ東亞共榮國——佛印ニ進駐シテ居ル日本軍ガ何万人アルカ、ソレハ私共存ジナイ、ソレヲ除イタナラバ日本人ガ幾ラ行ツテ居ルカ、タノ國ニ今日日本人デ商賣ヲシテ居ル者ガ僅カ五百七十六人シカ行ツテ居ラス、佛印ニハ二百九十四人シカ行ツテ居ラス、「マレー」半島、是ハズツト括メテ「ゴム」ナドヲハツテ居ル所ニ五千四百九十三人、英領「ボルネオ」ニ千七百九十九人、問題ノ蘭印ニハ、アノ三ツツ四ツ大キナ島、日本ノ三倍モアリマスル面積ノ所デ、「ジャバ」其ノ他殘ラズ括メテ僅ニ六千四百八十五名シカ行ツテ居ナイ、總計一萬三千四百九十三人デアル、

是デハ東亞共榮國モ何モ出來タモノチヤナイ、華僑ハ之ニ何十倍スル實力ヲ彼地ニ持ツテ居ルノデアリマス、日本人ノ方ハ更ニ「フイリピン」ノ二萬五千二百六十九人、「グアム」ノ六十二人ヲ合セマシテ三萬八千八百九十六人ニシカナラス、結局四萬ニ足リナイ、之ニ百倍モ恐ラクハ華僑ノ數ハアルダラウト思フ、宜バナルカナ其ノ華僑ガ佛印デモ蘭印デモ此ノ頃ハ英米ノ手先ニナツテ、今朝アタリノ新聞デハ三井物産ノ「ゴム」ノ取引スラ排斥スルト云フコトニナツテ居リマスルガ、餘リニ多勢ニ無勢デ以テ話ニナラスノデゴザイマス、是ハ喜ンデコチカラ日本人ガ積々行ツテ、セメテ華僑ノ十分ノ一、二十分ノ一位ニナラナケレバ、一時的ニ軍隊カ何カ進駐サセテ見タトコロガ、東亞共榮國ノ確立ハ決シテ出カナイ、サウスルノニハドウシタラ宜イカト云フト、住メバ都、到處青山アリ、日本デ死ンデモ共榮國ノ内デ死ンデモ、若シクハ其ノ先ニ行ツテ死ンデモ同ジコトナノダ、吾々ノ斯ウ云フ仕事ヲシテ居ルコトハ、日本内地デ知ツテ與レルノダ、吾々ガ死ンダナラバ野晒シノ無縁佛トナルノチヤナクテ、祭ツテ慰メテ與レル所ガ我が愛スル郷里ニアルノダ、此ノ觀念ヲ持タセナクチャナラスガ、ソレニハ内地ノ方デモ少シ何トカシテヤラナケレバナラスト思フノデアリマス、去年ノ請願委員會ナドニモ物言ハヌ勇士ノ爲ニ記念塔ヲ建テロト云フ請願ガ出、今年モ出タ、陸軍當局ソレニ意見ヲ述ベテ、ソレハ洵ニ結構ナコトダト云フコトデ贊成シテ居ル、ソレハ軍用ノ鳩ヤ犬ヤ馬ノ話デアル、是ハソレトハ違フ、血ヲ分ケタ吾々ノ同胞ガ、戰デハナイ、平和ノ

拓土トシテ行ツテ居ツテ野垂死ニナツタ其ノ儘ダト云フコトデハ、東亞共榮國モ何モ出來ナイト思フ、ソコデ此ノ趣意ノ請願ハ衆議院デ三回通過シテ居リマスシ、貴族院デモ通過シテ居リマスガ、政府ハ贊成ヲ贊成ト代表者ガ辯明ハシテ居リマスケレドモ、拓務省モ、外務省モ其ノ豫算ヲ見マスト、一ツモ之ニ關スル費用ヲ計上シテ居ナイ、現ニ本邦移民カラ此ノ戰爭中ニ千百万圓モ寄附ヲ受ケテ居ル、其ノ十分ノ一位ハ此ノ親元ノ方デ出シテヤル位ノ決心ガナクテハ、是ハ義理ガ濟マヌチヤナイカ、何ヲ考ヘテゴザルノカト思フ、此ノ點ハ外務、拓務ノ當局者ニ對シテ、國民ガ恨ミガアルト云ツテモ宜イト思フ、九段坂下ノ軍人會館ハ先年立派ナモノガ出來テ洵ニ結構デスガ、アレハ滿鐵ガ百万圓出シテ數年前ニ出來タ、如何ニシテ百万圓出シタカト云フト、滿鐵ノ今日在ルヲ得ルノハ、日露戰爭ノ爲ニ我が皇軍ノ勇士ガ約十萬人陣歿ヲシマシタ、十萬少シ抜ケマスケレドモ約十萬、一人十圓位ノ香奠ヲ滿鐵トシテ出サナクテハ工合ガ惡イチヤナイカト、或ル豫備ノ將軍ガ當時ノ滿鐵總裁デアリマシタ所ノ山本宗太郎氏ニ說イテ、ソレハサウダト云フコトデ、總裁山本氏ノ時ニ大體決マツテ、總裁仙石氏ノ時ニ取引ヲシテ、ソレガ百万圓ト云フコトデアノ軍人會館ガ出來テ居ル、拓務省モ外務省モ是等ノモノニ對シテ——陸軍デハ馬ヤ何ヤノ記念塔ヲ建テヨウトサヘ言ツテ居ルノニ、又滿鐵ガ吾々ノ目ノ前ニ突付ケテアンナ實物ヲ示シテ居ルノニ、ソレ程ノ御奮發モナイト云フコトハ、今マデハ國事多端デ仕様がナカツタデゴザイマセウガ、是カラ先海外ノ二百六

十萬ノ大和民族ヲ一ツノ血潮デ結ンデ居ル以上ハ、其處ニ少シカラ用ヒテ戴カネバイケナイト思ヒマス、政府自身ガ先ツ奮發シテ其ノ御積リニナルベシ、勿論吾々内地ノ者モ應分ノ寄附ヲスベシ、ソレカラ外國ニ居ル御連中ガ、此ノ戰爭ニ寄附シタ所ノ十分ノ一位出スコトハ何デモナカララシサヘ作ツテヤレバ方々カラサウ云フモノデ出來マスカラ、先ツ適當ナ助成金——金額ハ此處デ申シマセウガ、適當ナ助成ヲスル程ノ御決心ヲ政府ニシテ戴イテ——政府ト云フノハ外務、拓務ノ兩當局者ニ御決心ヲシテ戴イテ欲シノデス、是ハ又滿ノ中ニ棄テルヤウナ不要ナ金デハナク、非常ニ活キル力ノアル金デゴザイマスカラ、大藏當局ニモ御奮發ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、豫算委員會等ニ於テ松岡外務大臣、秋田拓務大臣ハ、此ノコトニ至極贊成ナルカノ意味ノ御答辯ヲ、或ル議員ノ質問ニ對シテ申サレマシタガ、是ハ序デデハナクシテ、正式ニ一本建ノ建議デゴザイマスカラ、此ノ際改メテ外務、拓務及ビ大藏當局ノ方ニ、此ノ問題ニ付テノ所信ヲ伺ヒタイト思フノデゴザイマス

○山本政府委員 御答ヘ申上ゲマス、本建議案ノ御趣旨ニ對シマシテハ、外務省ト致シマシテモ全然贊意ヲ表スルモノデアリマス、我が對外發展ハ決シテ今日此ノ場合ニ出來タモノデアリマセウガ、是等海外ニ於ケル物故者ノ多年ノ功勞ノ結果デアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ際ニ是在外物故者ニ對シマシテ其ノ功績ヲ讀ム、或ハ其ノ靈ヲ慰メル方途ヲ講ジ、更ニ今後ノ日本國民ノ對外發展ノ基礎ヲ培ヘルト云フコトハ、私共ト致シマシテモ極

メテ便宜ノ措置デアルト存ジテ居ルノデアリマス、又一方ニ於キマシテハ、對外發展ト云フモノハ、極メテ神聖ナルモノデアリマシテ、國際情勢ニモ鑑ミテ、我が國力増進ノ基礎ニナルモノデアルト云フコトヲ、一般國民ニ能ク知ラシメマシテ、サウシテ本當ニ所謂國策ニ順應シテ對外發展ヲナサシムルヤウニ、日本國民ヲシテ外ニ向ケテ行クト云フコトモ、刻下ノ極メテ重要事デアルト存ズルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ意味カラ致シマシテモ、本案ノ如キ計畫ハ頗ル當ヲ得タコトデアルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ具現ニ付キマシテハ、豫ネノ關係方面トモ色々相談致シテ促進方ヲ努力致シテ居リマスルガ、之ニ付キマシテハ今後トモ出來ルダケ御希望ニ副フヤウニ、關係方面トモ協議シテ努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○森部政府委員 海外ノ第一線ニ活動シマシテ、更ニ海外ヨリ内地ニ對シテ、先程御述ベニナリマシタヤウナ送金、其ノ他重要ナル使命ヲ果シテ居ラレマスル所ノ幾多先輩同胞ニ對シマシテハ、御質問者ト同様深キ敬意ト感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、又次イデ赴クベキ人ニ海外發展ノ思想ヲ與ヘルト云フ意味ヲモ加ヘマシテ、御話ノ如キ慰靈殿等ヲ建設スルト云フコトニ付キマシテハ、只今外務省當局カラ至極贊成ダト云フ意味ノ答辯ガアリマシタガ、私等ト致シマシテモ同感ニ存スル所デアリマス、唯是ノ具現方法ニ付キマシテハ、質問者モ御述ベニナリマシタヤウニ、外務省、大藏省其ノ他關係方面ト十分打合セテ進メマシテ、此ノ實現ニ

當リタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○松井委員 本案ヲ可決スルニ御異議アリマセウカ

○松井委員 (異議ナシト呼ブ者アリ)

○松井委員 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ

○松井委員 日程第六ハ都合ニ依リマシテ延期致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時二十分散會

テモ、其ノ中ノ一ツデモ、二ツデモ、三ツデモ、四ツデモ拾ヒ上ゲテ、果シテ汽車ヲ付ケテマデモ急イデ出サナケレバナラズ多量ノ軍需重要物資ガアリ、澤山ノ山林ガアルナラバ、鐵道ノ敷設スルノ要ガアルノ中ニハナイカ、ソレニハ民間ノ權威者ヲ中ニ加ヘテ、關係當局ガ鐵道ノ需用重要物資ニ山林開發ノ爲メ調査會ヲ設ケラレテ、サウシテ早ク鐵道ヲ付ケベキカドウカラ調査シ、以テ鐵道大臣ヲシテ其ノ提案ヲ決セシムベキデハナカラウカ、近キ將來又何時臨時議會ガ開カレルヤウニナラストモ限ラナイデ、其ノ際ニハ直グ提案ノ出來ルヤウニシテ居ラレタナラバ、洵ニ宜イデハナイカ、殊ニサウシテ鐵道ノ路線ガ、從來ノ建設線ノ中ニ入ツテ居ルモノナラバ、唯豫算ニ計上スルダケデアルノデアアルカラ、何デモナイ話デアル、唯肚ノ決メヤウナシテアル、如何ニ鐵道不足デアアルカラト云ツテ、其ノ鐵道掘出スニ要ル汽車ノ材料ハ仕方ガナイデハナイカ、生産擴充ハ其處ニ在ルノデアアル、鐵道省ニ於キマシテハ、此ノ度鐵道ノ建設線ヲ全線ニ互ツテ繰延ベラレタ、是ハ主ニ資材、殊ニ鐵道足ラヌカラデアアル、又車輛ノ如キモ明年度ハ今年度ヨリモ減ツテ居ル、一億二千萬圓ノ車輛ヲ今年ハ造ルコトニナツテ居ルガ、明年ハ凡ソ七千五百萬圓ニ減ラサレテ居ル、此ノ旅客貨物増進シ、汽車ガ拂底ノ際ニ、鐵道ノ他ノ資材ガ不足スルカラト云ツテ、鐵道ノ建設ヲ延バシ、車輛ヲ造ルノモ延バシ、ソレ程ニ鐵道足ラヌノナラバ、茲ニ假ニ一年ニ一千万トシテモ出來ルヤウ

ナ鐵ノ山ガ、マアソレ程デナクテモ、ソレニ近イ數量ノ山ガ見付カツタトスレバ、一年ニ百万トシテモ運ボトガ出來ル汽車ヲ付ケルコトニシタナラバ、非常ニ救ハレルノデアアル、サウナレバ「アメリカ」カラ來ナクナツタ鐵ノ補充ガ幾分出來ルノデアナイカ、サウシテナラバ建設線モ左程延バサナクテモ濟ムノデアアル、又車輛ノ造ルノヤウ延バシ必要モナイノデアアル、以上鐵ノ例ヲ採ツテ述べタノデアリマスガ、石炭トカ、銅トカ、鉛トカ、硫黃等、軍需品トシテ大切トナモノガ見付カツタナラバ、之ヲ早ク多量ニ開發シ、所謂無ヨリ有ヲ生ジテ、生産擴充ニ資セン爲ニハ、是非鐵道敷設ガ必要ナリト考ヘマシテ提案シタ譯デアリマス、尙ホ又必要ニ應ジマシテ説明スルコトニ致シマシテ、大要斯クノ如クデアリマス、何卒御贊成ヲ御願ヒ致シマス

○倉田政府委員 只今鐵ノ關係ニ付テ特ニ御話デゴザイマシタガ、大體ノ御話ハ、生産擴充、重要資源ノ開發、サウ云フコトニ對シテ輸送ノ必要ヲ御述ベ、ナツタヤウニ思フノデアリマスガ、全ク御説ノ通りデアリマス、鐵道省ト致シマシテモ、從來關係方面ト緊密ナル連絡ヲ執リマシテ、其ノ建設計畫ト生産擴充、重要資源ノ開發計畫ト成ベク一致サセテ、斯ウ云フ風ニ處置シテ居ルノデアリマス、鐵ノ鑛石ニ付テハ例ハナイノデアリマスガ、例ヘバ建設線ノ中ノ小本線ト云フノガアルノデアリマスガ、是ガ製鐵ノ爲ノ耐火粘土ノ產出ニ關係アル線デアリマス、此ノ線ニ付キマシテハ、生産者ト關係各官廳ト密接ナル連絡ヲ執リマシテ、工事ノ繰上ゲヲ行フコトニ致シタノデアリマス、先程御話ノヤウニ、全面的ニハ建設

線ハ繰延ベラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ線ニ付キマシテハ、企業院カラ特別ニ鐵鋼ノ御配慮ヲ願フツタシ、鐵道省ト致シマシテハ、此ノ線ダケハ十六年度ノ年額豫算ノ増額ヲ提案シタヤウナ次第デアリマス、此ノヤウニ鐵道省ト致シマシテハ、鐵道敷設ハ生産者及ビ主管各官廳ト打合セテ實行シテ居ルノデアリマスガ、其ノ他御承知ノヤウニ新線ヲ敷設スル場合、是ハ多少只今ノ御話トハ違フ點モゴザイマスガ、鐵道會社ト云フモノガアルマシテ、之ニ御諮詢スルコトニナツテ居リマス、制度ト致シマシテモ、多少御話ノヤウナ關係ニアルノデアリマス、軍需ノ重要物資ニ山林開發ノ爲ニ鐵道敷設ニ關シテ、更ニ特別ノ委員會ヲ設置シタラドウカト云フ御話デアリマスガ、或ハ是ハ敷設ノ決定ヲ促進スル方ニ向カナイト云フ風ナコトニモ考ヘラレマス、又政府ト致シマシテハ、各種委員會等ヲ整理シテ、行政能率ノ向上ヲ期シテ居ルノデアリマスガ、今後鐵道會議ノ運用如何カト存ジマスガ、今後鐵道會議ノ運用方法、又會議等ノ形式ニ依リマセズ、各有力ナル御意見ヲ聽イテ、重要資源及ビ山林ノ開發、或ハ生産擴充ト鐵道建設ノ關係ニ遺憾ナキヲ期シタイと思フノデアリマスガ、建議ノ御趣旨ニ付キマシテハ十分研究シタイ、斯様ニ存ズル次第デアリマス

○鈴木英政府委員 我方國ノ鑛物ノ存在狀態ニ付キマシテハ、只今提案者ノ御説明ガアリマシタ通り、既ニ交通ノ利便ノ地方ニ於テハ、我方國ノ狭イ國情カラ見マシテ、十分鑛山ノ開發サレテ居ルノデアリマス、殘ル所ハ山間ノ僻地ノ方ノ交通ノ不便ナ所ニアルノデアリマス、此ノ方面ニハ尙ホ相當ノ鑛物ガ存在シテ居ルコト云フコトハ想像サレマス、又調査ノ結果サウ云フコトニモナツテ居ルノデアリマス、鑛產當局トシマシテハ、之ヲ開發スルニハ是非鐵道ノ建設ト云フヤウナ交通ノ便ヲ圖ルコト云フ以外ニハ、開發ノ方法ハナイノデアリマス、其ノ新ナル鐵道建設ト云フコトニハ、多大ノ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、全ク御説ノ通り御同感ノ次第デアリマス、但シ調査會其ノ他ノコトニ付キマシテハ、只今鐵道省ノ方カラ御説明ガアリマシタヤウナ次第デアリマス、今後此ノ點ニ對シテドウ云フ風ニヤツテ行クカト云フコトニ付テ、十分關係省トモ連絡ヲ執リマシテ研究致シタイト存ジマス

○清水徳太郎君 實ハ先程説明ガ少シ足りナイ所ガゴザイマシタガ、帝室林野局ノ範圍内ニ於テ、詰リ帝室御所有ノ山林ノ中ニ隠レタル鑛物ノ存在ガアルノデアナイカ、此處デハ試掘權、採掘權ヲ許サレナイモノダカラ、マダ未開發ノ所ガアルノデアナイカ、斯ウ云フヤウナ感シガ致シマス、此ノ點ハ鈴木鑛產局長モ此處ニ居ラレマスカラ、ドウカ帝室林野局ノ方ト能ク打合セテ下サイマシテ、帝室林野局ノ管轄ノ範圍内ニ、軍需重要物資ノ多量ニアル部分ガアリハセスカドウカ適當ニ調査シテ貰ヒタイと思ヒマス、尙ホ先程ノ説明ニ足ラヌ所ヲ補充シテ置キタイ、鐵道會議ト關係デアリマスガ、御承知ノ通り鐵道會議ハ鐵道省ノ建設原案ニ付テ、適當ニ審查シ意見ヲ述ブル機關デアリマス、此ノ調査會トハ重複デアリマセズ、鐵道會議ヲ無視スルノデモ何デモナイノデアリマス、即

鐵道省原案ヲ立テテ後ニ、鐵道大臣ノ諮問機關タル鐵道會議ノ方ニ御掛ケニナルノハ、是ハ宜シイノデアアル、私ノ茲ニ建議致シマスルノハ、鐵道省原案ヲ立テラレル基礎的材料ナラデス、今日鐵道省ガ建設計畫ヲ致シタクテモ、資材關係カラ企業院トカ或ハ陸海軍トカノ要求ニ制セラレテ、思フヤウニ建設ノ計畫ヲスルコトガ出來ナイノデアアルカラ、鐵道當局ヲシテ建設計畫ヲ容易ナラシメル爲ノ一ツノ手段トシテ、適宜此ノ調査會ヲ設ケテラバト云フノデアリマス、附加ヘテ御説明申上ゲテ置ク次第デアリマス、何卒皆サニ於キマシテモ御贊成アラシコトヲ偏ニ希望致シマス、尙ホ私ノ希望シテ居リマシタ企業院當局、陸海軍當局ノ意見ヲ聽クコトノ出來ナイノラ遺憾ニ思ヒマス、他ノ委員會モアリマス、他ノ委員會デ關聯質問出席シテ戴イテ、御意見ヲ聽クコトニシタイと思ヒマス

○松井委員長 ソレデハ御諮リ致シマス、本案ヲ可決スルニ御異議ハアリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○松井委員長 御異議ナシト認マセマス、仍テ本案ハ可決致シマシタ
○松井委員長 日程第二ハ都合ニ依リマシテ後廻シニ致シマス
○松井委員長 日程第三ニ移リマス、人的資源活用ニ關スル建議案 提出者庄司一郎君
○庄司一郎君 本建議案ノ理由ヲ陳述サセテ戴キマス、本建議案ノ要旨ハ一、世界ノ危局ニ即應スル國家總動員法

第一條ノ「本法ニ於テ國家總動員トハ戰時(戰争ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム)以下之(ニ同ジ)ニ際シ國防目的達成ノ爲メ國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ」トアル規定ハ、世界ノ危局ニ即應シテ、國民ノ適材ヲ其ノ適所ニ置キ、人材資源ノ總合力ヲ整備充實スル爲メ、之ヲ發動スル必要アリト認メ、本建議案ヲ提出致シマス所以デアリマス
其ノ要旨ノ第二ハ、國民ノ適材ヲ適所ニ置ク人材資源ノ整備充實ハ、適材適所ノ就職ニ關シ、平時法令ノ形式的條件ヲ排除シ、實際ノ身心能力ノ帶有(年齢ノ老若、性ノ男女ヲ問ハズ)以外、形式的身分條件ノ有無ヲ問題視シテ居ナイニモ拘ラズ、求職統計報告ニ依レバ、實際ノ身心能力ノ帶有方求職條件ト一致シテ居ルニ拘ラズ、形式的身分條件ニ拘ラズ、就職不能者ノ多キ實情ヲ看過スルコトハ出來得ナイノデアリマス
提案要旨ノ第四、求職者ノ形式的身分條件缺格ノ爲メ、急務事業ノ求人ト求職者ノ一致ヲ缺キ、適材ヲシテ適所ヲ得セシメナイ要旨第三ノ如キ實情ハ、人材資源ノ總合力ヲ整備充實スル國家總動員ノ趣旨ニ反スル事態トシテ、絕對ニ之ヲ看過シ得ナイノデアリマス
要旨第五、求職者ノ形式的身分條件缺格ノ最大多數ヲ占ムル者ハ

(イ)、法令ニ依リ形式的資格身分條件中、前科者ニアラザルコトノ證明ヲ要求スル法令ノ存在
(ロ)、就職ニ關スル一定ノ資格獲得ノ受驗資格中、前科者ニアラザル形式的身分證明ヲ要求スル法令ノ存在
(ハ)、法令ニ依ラザル就職者ノ形式的身分條件中、(イ)ニ依リ形式的身分條件トシテ、前科者ニアラザルコトノ證明ヲ要求スル民間會社、銀行、新聞社、出版業者等ノ慣例
提案者ハ本提案ノ目的ヲ達成スル爲メ、要旨二、三、四ノ實情ヲ提案ノ目的ニ即應セシムル方法トシテ、要旨五、(イ)、(ロ)指稱ノ如キ、求人求職ノ一致ヲ乖離セシムル、形式的身分條件ヲ缺格セシムル、前科者ノ身分證明ヲ取消セシムル、左記勸令ヲ發動ヲ要求スルモノデアリマス
總動員法第一條ニ基キ現行法令中就職者ノ前科者ニアラザルコト、若シクハ受驗資格者ノ前科者ニアラザル身分證明ヲ要スル條項ニ基キ、市長(市制第六條ニ基キ區長ヲ含ム)町村長(町村制第五十七條ニ依ル島司ヲ含ム)ノ發行スル身分證明ニハ、左記各號ニ從フテ前科者ノ身分ヲ記入セザルコト
一、初犯者ニ付テハ受刑後實決刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過シタルトキ、但シ其ノ期間ガ七年ヲ超ユルトキハ、受刑後七年ヲ經過シタルトキ
二、再犯以上ノ累犯者ニ付テハ、受刑後其ノ犯數ニ一ヲ加ヘタル數ヲ以テ、實決刑

期ヲ倍増シタル期間ヲ經過シタルトキ、但シ實決刑期倍増ノ期間ガ十年ヲ超ユルトキハ、受刑後十年ヲ經過シタルトキ
以下提案ノ内容ヲ解説致シマス、一、國家ハ前科者ヲ法令ニ依ツテ一定ノ就職者トシテハ受驗ノ資格者ヲラシムルコトニ付キ、國民生活ノ軌道ヲ逸脱シテ所謂犯罪者ヲ改過教導シテ、國民生活ノ軌道ニ復歸セシムル所ノ刑罰目的ニ鑑ミ、純理上ノ矛盾ガアルト云フコトヲ反省サレナケレバナラナイ、何故ナラバ、純理上カラ云フ前科ハ、清淨ナ白イ者ノミガ國民生活ヲ共ニシテ行クコトガ許サレルト云フ刑法治安ノ軌道ヲ確保スル爲メ、不幸ニシテ黒ク色付イタ者、少クモ白イ者トシテ國民生活ヲ共ニスルコトノ許サレナイ汚點者ニ對シ、其ノ汚點ヲ洗滌シテ、徹底ノナ元ノ白サニ還ヘス爲ニ執行セラレテ受刑アル、ソレ故其ノ黒染ンダ汚色ガ濃イモノハ濃イダケ、實決刑期ヲ長クシテ汚點ノ洗滌掃拭ヲ鄭重ニシ、到底汚點ヲ洗滌掃拭スル見込ナシト云フ、白サノ還テハ、無期若シクハ死刑ト云フ、白サノ還元ヲ絶望シタ刑ヲ加ヘルコトニ依ツテ明白デアルト云フモノ、決シテ其ノ比喩ヲ誤ラズテ居ルモノトハ考ヘマセズ、斯クシテ所謂前科者ハ、黒染ンダ汚點ヲ洗滌スルニ必要ダト國家ノ教導ヲ受ケテ、其ノ汚點ヲ掃拭サレタモノニ當リ、其ノ白サヲ同ジウスル刑法治安ノ軌道ニ復歸シタ國民共同生活ノ就職者トシテハ受驗ニ關シ、適材適所ノ發揮ト處遇ト精進ヲ妨ガレバキ理由ガ無イニモ拘ラズ、現行諸法令中、所謂前科者ノ就職者トシテハ受驗ノ資格者ヲラシムル處遇ハ、當ニ刑罰目的ヲ自ら否定スル矛盾ニ陥ツテ